

平成 30 年度
文京区子育て支援に関するニーズ調査
報 告 書



平成 31 年 3 月
文 京 区



目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の概要	3
3. 回収結果	3
4. 調査結果の見方	4

第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性	7
(1) 子どもの年齢と学年	7
(2) 子どもの人数／末子の年齢／兄弟姉妹中での生まれた順番	8
(3) 同居家族と同居人数	9
(4) 居住地区	9
(5) 回答者と配偶者の有無	9
2. 子育ての環境	10
(1) 主に子育てを行っている人	10
(2) 日常的に子育て（教育を含む）に関わっている人	10
(3) 子育てに最も影響が強いと思われる環境	11
(4) 子どもをみてもらえる親族・知人の状況	11
3. 保護者の就労状況	13
(1) 父親の就労状況	13
(2) 父親－フルタイム就労者の就労状況	14
(3) 父親－パート・アルバイト就労者の就労状況／就労希望	15
(4) 父親－就労していない人の就労希望	15
(5) 母親の就労状況	16
(6) 母親－フルタイム就労者の就労状況	18
(7) 母親－パート・アルバイト就労者の就労状況／就労希望	19
(8) 母親－就労していない人の就労希望	22
4. 育児休業制度について	27
(1) 父母の育児休業制度の取得状況	27
(2) 育児休業給付の支給・社会保険料免除の認知度	28
(3) 育児休業後の職場復帰状況	28
(4) 短時間勤務制度の利用状況	30
(5) 母親－1歳時に預け先が確保されている場合の職場復帰時期の希望	31
5. 教育・保育事業について	32
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況	32
(2) 定期的にご利用している教育・保育事業の利用日数／利用時間	35
(3) 定期的にご利用している教育・保育事業の所在地	36
(4) 定期的な教育・保育事業を利用している理由	36
(5) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由	37
(6) 定期的な教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢	38
(7) 今後利用したい定期的な教育・保育事業	39
(8) 利用したい定期的な教育・保育事業の所在地	41
(9) 幼稚園の利用希望	41
(10) 土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	42
(11) 幼稚園の長期休暇期間中の定期的な利用希望	45

目 次

6. 病児・病後児保育について	46
(1) この1年間に子どもの病気やケガ等で保育園や学校を休んだ経験.....	46
(2) 子どもの病気やケガ等の際の対処.....	47
(3) 病児・病後児保育施設の利用希望.....	50
(4) 病児・病後児保育施設を利用する際に希望する事業形態.....	51
(5) 病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった理由.....	52
(6) 仕事を休んでの看護	52
7. 一時預かり保育について	54
(1) 一時預かり事業の利用状況.....	54
(2) 一時預かり事業を利用していない理由.....	57
(3) 一時預かり事業の利用希望.....	58
(4) 一時預かり事業の利用希望の目的/利用希望日数.....	59
(5) 一時預かり事業を利用する際に希望する事業形態.....	60
(6) この1年間に子どもを泊りがけで預けなければならなかった経験.....	61
(7) 子どもを泊りがけで預けなければならなかった時の対処方法.....	62
(8) 親族・知人に預けた場合の困難度.....	63
8. 地域子育て支援拠点事業について.....	64
(1) 地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用状況.....	64
(2) 地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用希望.....	67
9. 放課後の過ごし方について	69
(1) 小学校の放課後を過ごさせたい場所・過ごしている場所.....	69
(2) 小学校の放課後を過ごす1週間当たりの日数/希望日数.....	70
(3) 育成室の利用時間/希望利用時間.....	72
(4) 育成室・民間の学童保育を利用しない理由.....	73
(5) 育成室・民間の学童保育を利用したい理由.....	73
(6) 育成室(学童保育)の平日以外の利用希望.....	74
(7) 普段過ごす場所	76
(8) 普段の過ごし方	77
(9) 放課後を過ごす場所の希望.....	78
10. 児童館について	82
(1) 児童館の利用頻度	82
(2) 児童館として充実してほしい活動.....	83
(3) 児童館を利用しない理由.....	83
(4) 児童館の利用希望	85
11. 青少年プラザ (b-1ab) の利用状況について.....	87
(1) 青少年プラザ (b-1ab) の認知度.....	87
(2) 青少年プラザ (b-1ab) の利用頻度.....	88
(3) 青少年プラザ (b-1ab) を利用しない理由.....	89
(4) どのような施設(機能)があれば利用したいか.....	92

目 次

12. 子育てのイメージ／不安・悩みについて.....	94
(1) 子育ての楽しさ・辛さの感じ方.....	94
(2) 子育てをする上での不安や悩み.....	96
(3) 児童虐待や不適切な子育て防止のために最も効果的と思うこと.....	100
(4) 子育て（教育含む）に関する相談先.....	100
(5) 現在の不安・悩み／相談相手.....	102
(6) 子育て支援サービスの認知度.....	103
(7) 子育て支援サービスの利用状況・利用希望.....	106
(8) 困ったときの相談窓口.....	108
(9) 子育てする上で周囲の人や行政担当者などからほしいサポート.....	109
(10) 子どもの人数の希望・現実.....	112
13. 体験や経済的にできないこと・ないことについて.....	115
(1) 過去1年における家庭での体験.....	115
(2) 家庭において経済的にできないもの.....	116
(3) 家庭において経済的にないもの.....	118
14. 子育て支援サービスについて.....	119
(1) 子育て支援サービス情報の入手方法.....	119
(2) 役立つ子育て支援の施設・サービス.....	120
(3) 出産時から4か月健診までの間に受けたい保健サービス.....	124
15. 生活の安心・安全について.....	125
(1) 子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安.....	125
(2) 子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安を感じる理由.....	126
(3) 子どもの安全や犯罪防止についての情報入手（収集）方法.....	127
(4) 災害時の避難所生活に必要な物資.....	128
16. 住環境について.....	129
(1) 現在の住まい.....	129
(2) 子育てに重要と思う住宅や住宅周辺環境.....	129
(3) 子どもの遊び場としての利用場所.....	130
17. 親子のコミュニケーションについて.....	133
(1) 家族との会話.....	133
18. 近所や地域との関わり方について.....	135
(1) 近所の人とのあいさつ・会話の程度.....	135
(2) 地域活動・ボランティア活動の参加状況.....	136
(3) 参加している・参加してみたい地域活動・ボランティア活動.....	137
(4) 地域活動・ボランティア活動内容に参加していない理由.....	139
19. 運動について.....	140
(1) 運動する頻度.....	140
(2) 運動する理由.....	141
(3) 運動をしていない理由.....	141

目 次

20. 現在の就学・就労の状況、通学状況、進路に対する考え、困りごと.....	142
(1) 就学・就労の状況	142
(2) 学校に行きたくないと思ったことの有無.....	142
(3) 学校に行きたくないと思った理由.....	143
(4) 卒業後の進路に対する考え方.....	144
(5) 今後の進路に対する考え方.....	144
(6) 就学に当たっての困りごと.....	144
(7) 就労に当たっての困りごと.....	145
(8) 充実した生活を送れるようになるために必要な取組(支援).....	145
21. 子育て環境や支援への満足度について.....	146

第3章 自由回答

区の子育て支援に関する意見・要望・提案.....	151
(1) 就学前児童の保護者	151
(2) 小学生の保護者	162
(3) 中学生の保護者	168
(4) 中学生本人	171
(5) 高校生世代本人	173

使用した調査票

(1) 就学前児童の保護者用	177
(2) 小学生の保護者用	209
(3) 中学生の保護者用	233
(4) 中学生本人用	241
(5) 高校生本人用	249

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

文京区に居住する子どもを養育する家庭の生活実態、ニーズ量及び子育ての状況等を把握し、次期計画となる「文京区子育て支援計画（平成 32 年度～36 年度）」の策定に向けた基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の概要

(1) 調査区域：文京区全域

(2) 調査対象及び標本数：区内に居住する

- ①就学前児童の保護者 … 1,600 人
 - ②小学生の保護者 … 1,400 人
 - ③中学生の保護者 … 650 人
 - ④中学生本人 … 650 人
 - ⑤高校生世代本人 … 650 人
- } 同一世帯へ配布

※中学生本人の回収については、保護者用とは別の封筒を同封し、中学生本人が封かんした上で、保護者がまとめて投函

(3) 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法：自記式調査票による郵送配布、郵送回収（礼状形式の督促を 1 回実施）

(5) 調査時期：平成 30 年 10 月 5 日～平成 30 年 11 月 26 日

3. 回収結果

	配布数	不在返送数	有効配送数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童の保護者	1,600 人	12 人	1,588 人	897 人	56.5%
②小学生の保護者	1,400 人	3 人	1,397 人	769 人	55.0%
③中学生の保護者	650 人	3 人	647 人	320 人	49.5%
④中学生本人	650 人	3 人	647 人	314 人	48.5%
⑤高校生世代本人	650 人	1 人	649 人	218 人	33.6%

4. 調査結果の見方

- (1) 図・表中の調査対象の記載は、以下の通り。
- ①就学前児童の保護者 = 「就学前児童」
 - ②小学生の保護者 = 「小学生」
 - ③中学生の保護者 = 「就学前児童」または「小学生」と併記の場合は「中学生」、
「中学生本人」または「高校生世代本人」と併記の場合は「中学生保護者」
 - ④中学生本人 = 併記する対象に関わらず「中学生本人」
 - ⑤高校生世代本人 = 併記する対象に関わらず「高校生世代本人」
- (2) 図・表中の n は該当質問での回答者総数を表す。
- (3) 複数回答は質問に対する回答がいくつでもよい質問を表し、特にことわり書きのない場合は質問に対する回答が 1 つの単数回答を表す。
- (4) 回答は n を 100% として百分率で算出してある。小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。
- (5) グラフに表示される数値が 0.0 の場合は、回答数 0 件を表す。
- (6) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が 100% を超える。
- (7) 年齢別、学年別及び地区別のグラフは、年齢、学年及び居住地区無回答者がいるため、合計と一致しない。

第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

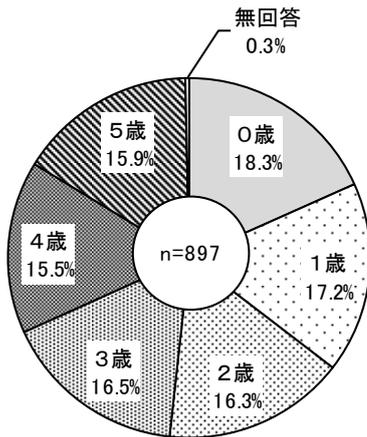
(1) 子どもの年齢と学年

〔就学前児童：問2〕〔小学生：問2〕〔中学生：問2〕〔高校生世代本人：問2〕

子どもの年齢については、就学前児童は学年年齢（平成30年4月1日時点の年齢）で「0歳」が18.3%と他の年齢より割合が多くなっている。小学生は「2年生」が17.9%と他の学年に比べてやや多くなっている。中学生は「中学2年」が35.9%と他の学年よりやや多くなっている。高校生世代は「17歳」が39.9%と他の年齢より多くなっている。

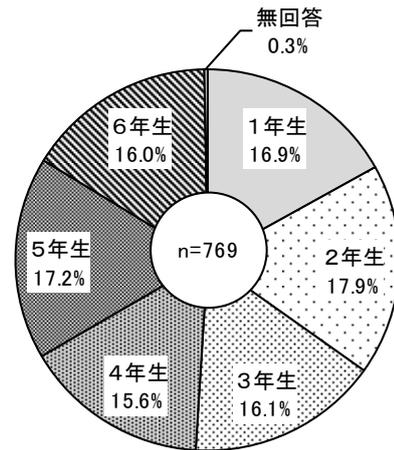
就学前児童

平成30年4月1日時点の年齢



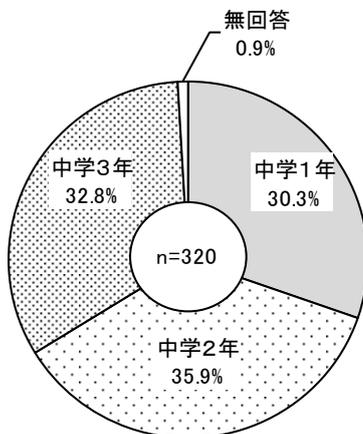
小学生

平成30年10月現在の学年



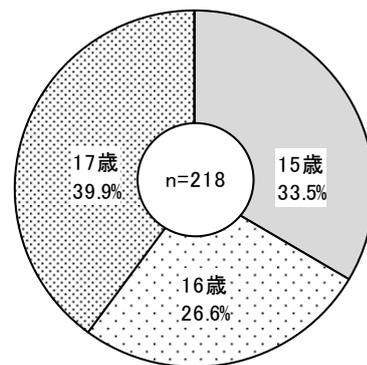
中学生

平成30年10月現在の学年



高校生世代

平成30年4月1日時点の年齢

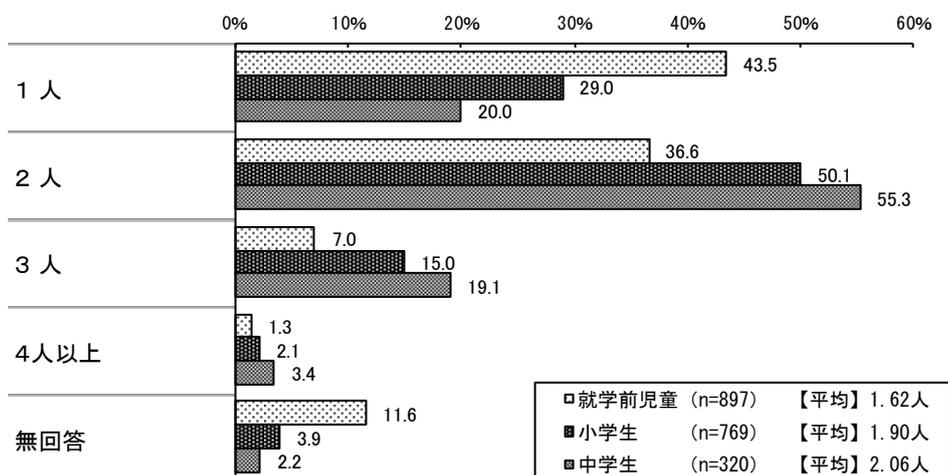


(2) 子どもの人数／末子の年齢／兄弟姉妹中での生まれた順番

①子どもの人数

〔就学前児童：問3〕〔小学生：問3〕〔中学生：問5〕

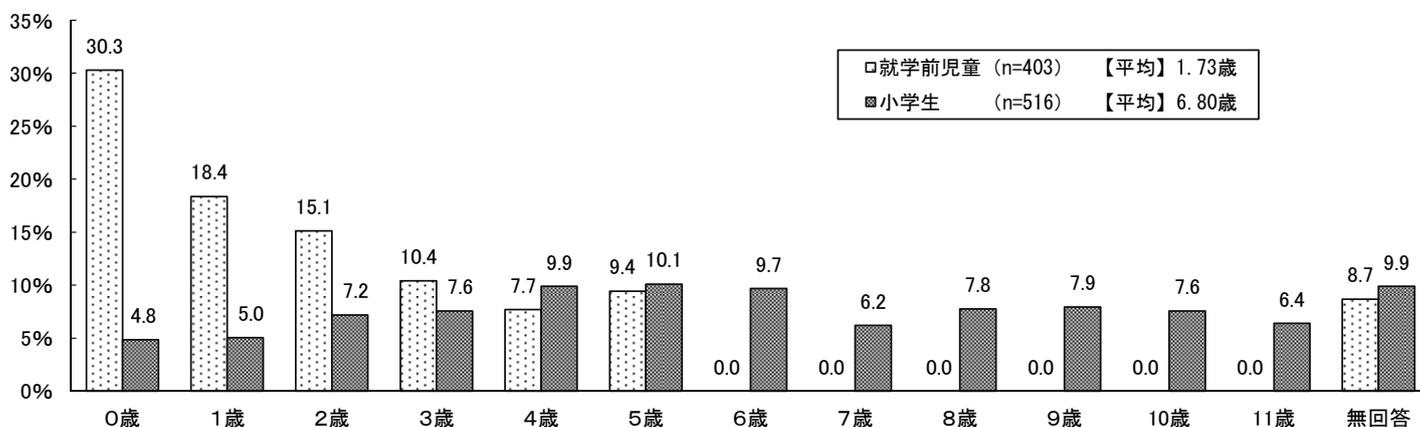
子どもの人数については、就学前児童は「1人」が43.5%と最も多く、次いで「2人」が36.6%となっている。小学生は「2人」が50.1%と半数を超えて最も多く、次いで「1人」が29.0%となっており、中学生は「2人」が55.3%と最も多く、次いで「1人」が20.0%となっている。中学生は「2人」、「3人」の割合は就学前児童や小学生より多く、「1人」は少なくなっている。平均人数は就学前児童は1.62人、小学生は1.90人、中学生は2.06人と、年齢が高くなるにつれて人数が多くなっている。



②末子の年齢

〔就学前児童：問3〕〔小学生：問3〕

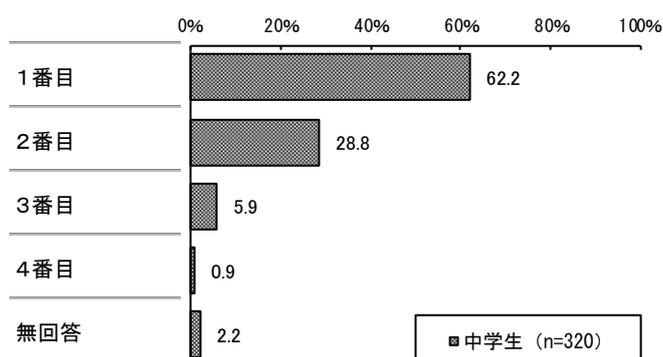
末子の年齢については、就学前児童は「0歳」が30.3%と最も多く、次いで「1歳」18.4%、「2歳」15.1%となっている。小学生は「5歳」が10.1%と最も多く、「4歳」9.9%、次いで「6歳」9.7%となっている。末子の平均年齢は、就学前児童は1.73歳、小学生は6.80歳となっている。



③兄弟姉妹中で生まれた順番

〔中学生：問5〕

兄弟姉妹中での生まれた順番について、中学生にのみ尋ねたところ、「1番目」が62.2%と最も多く、「2番目」が28.8%となっている。



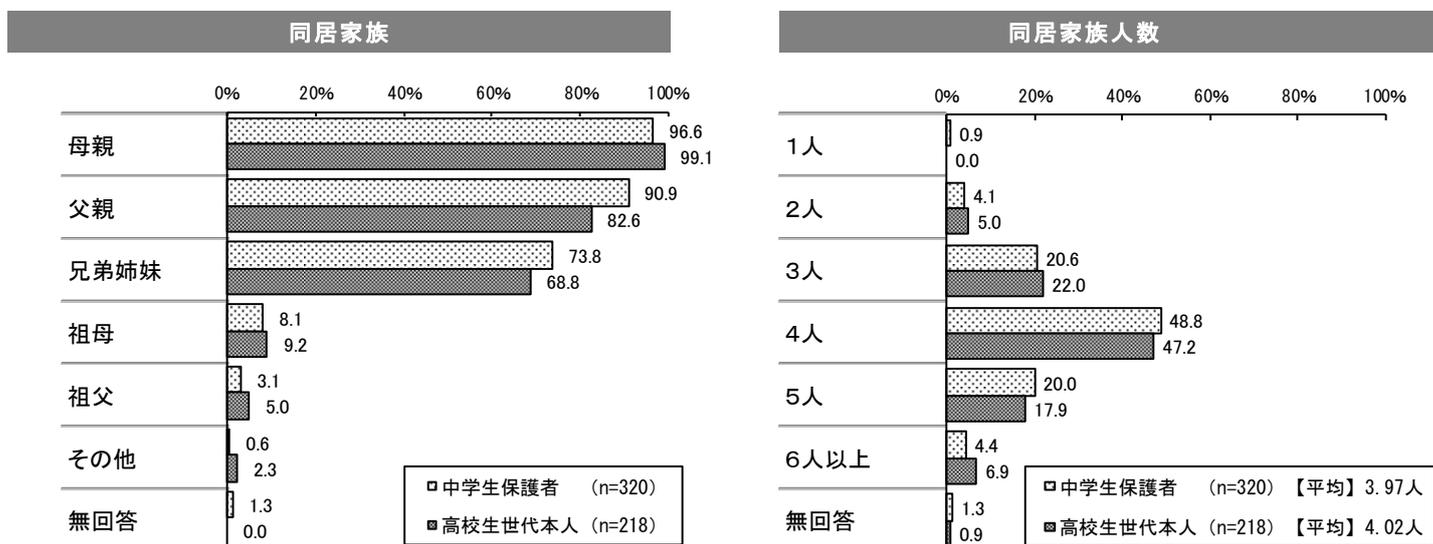
(3) 同居家族と同居人数 (複数回答)

[中学生：問3、問4] [高校生世代本人：問3、問4]

同居家族と家族人数について中学生の保護者、高校生世代本人に尋ねたところ、家族構成について中学生は「母親」96.6%、「父親」90.9%、「兄弟姉妹」73.8%、高校生世代本人は「母親」99.1%、「父親」82.6%、「兄弟姉妹」68.8%となっている。

家族人数について中学生、高校生世代本人ともに「4人」が最も多く、それぞれ48.8%、47.2%であり、次いで「3人」がそれぞれ20.6%、22.0%となっている。

平均人数は中学生が3.97人、高校生世代本人が4.02人となっている。



(4) 居住地区

[就学前児童：問1] [小学生：問1] [中学生：問1] [高校生世代本人：問1]

居住地区については、就学前児童、小学生、中学生、高校生世代ともに「本駒込」がそれぞれ10%以上を占めて最も多くなっている。

	(n)	後楽	春日	小石川	白山	千石	水道	小日向	大塚	関口	目白台	音羽	本郷	湯島	西片	向丘	弥生	根津	千駄木	本駒込	無回答
就学前児童	(897)	0.7	2.8	10.8	8.6	7.5	4.0	4.8	8.0	3.8	3.3	2.9	8.9	3.5	1.4	3.1	1.1	3.1	9.0	11.5	1.1
小学生	(769)	0.3	3.3	11.7	8.2	8.6	2.6	3.9	7.3	2.6	3.9	1.7	8.3	4.2	3.1	2.9	1.8	2.7	8.1	13.7	1.3
中学生	(320)	1.9	1.6	9.7	10.9	9.7	3.4	5.9	5.3	3.1	2.5	2.2	9.1	0.9	2.8	3.8	1.6	1.3	9.7	12.8	1.9
高校生世代	(218)	0.0	3.2	8.7	10.6	10.1	1.8	3.7	5.0	0.9	4.1	2.8	10.6	3.2	2.8	2.8	0.5	1.4	11.5	16.5	0.0

(5) 回答者と配偶者の有無

[就学前児童：問4・問5] [小学生：問4・問5] [中学生：問6]

本調査の回答者については、就学前児童の保護者、小学生の保護者では「母親」が約9割、中学生の保護者では約8割を占めている。

回答者の配偶者の有無については、「いる」が就学前児童の保護者で96.2%、小学生で92.7%となっている。

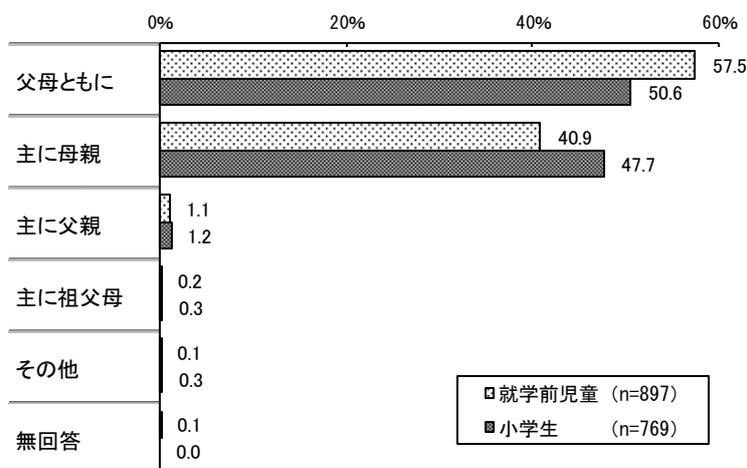
	(n)	回答者 (%)				配偶者の有無 (%)		
		父親	母親	その他	無回答	いる	いない	無回答
就学前児童	(897)	11.7	88.0	0.2	0.1	96.2	3.5	0.3
小学生	(769)	12.6	87.3	0.0	0.1	92.7	7.2	0.1
中学生	(320)	20.3	78.4	0.0	1.3	(項目なし)		

2. 子育ての環境

(1) 主に子育てを行っている人

〔就学前児童：問6〕〔小学生：問6〕

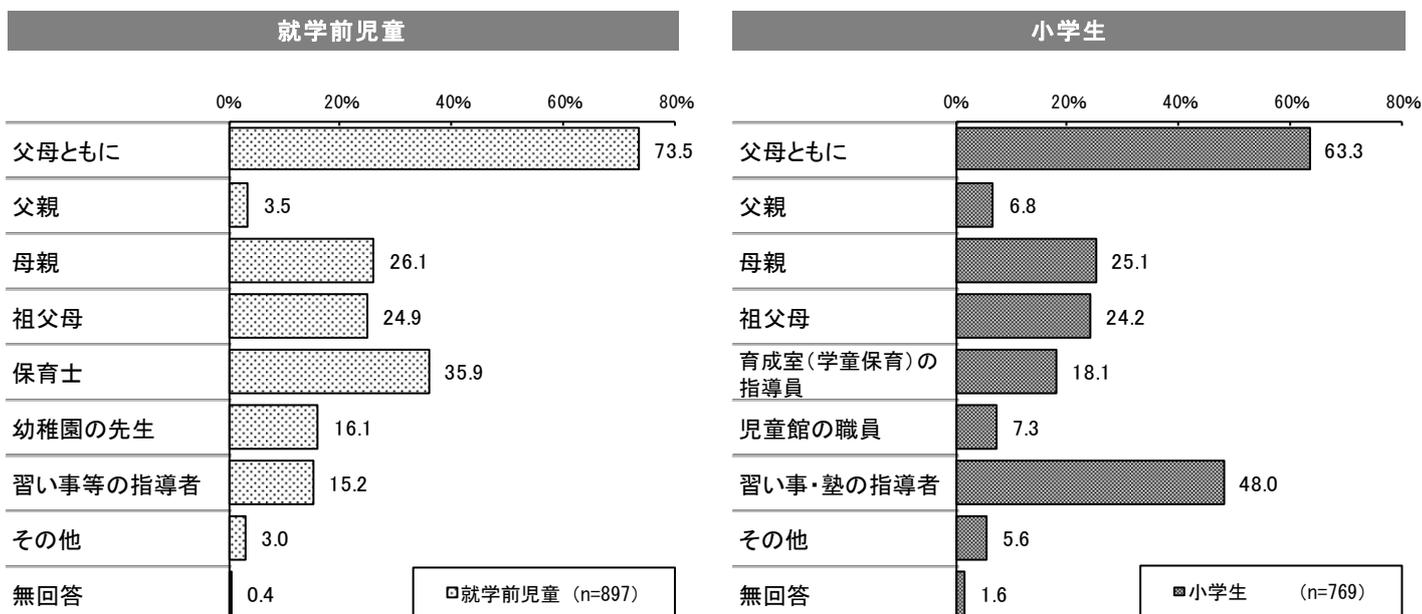
主に子育てを行っている人について単数回答で尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「父母ともに」が50%を超えて最も多く、次いで「主に母親」が40%台となっている。



(2) 日常的に子育て（教育を含む）に関わっている人（複数回答）

〔就学前児童：問7〕〔小学生：問7〕

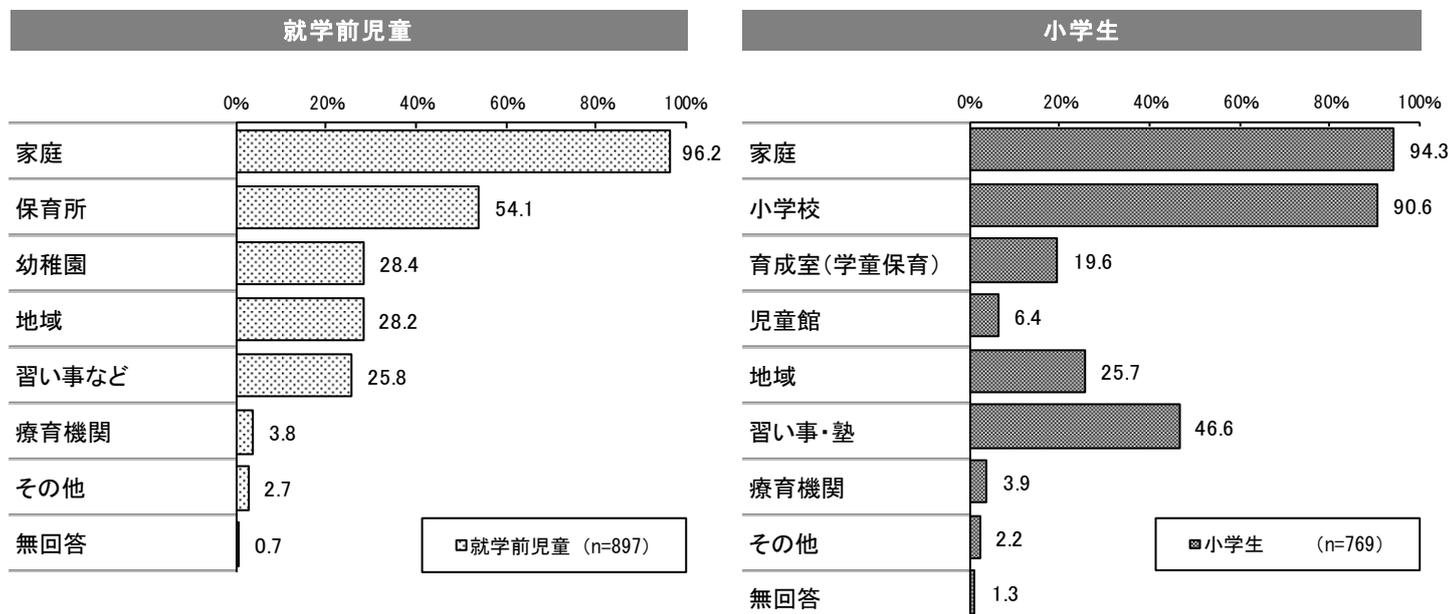
日常的に子育て（教育を含む）に関わっている人について複数回答で尋ねたところ、「父母ともに」が就学前児童の保護者は73.5%、小学生の保護者は63.3%とそれぞれ最も多くなっている。就学前児童の保護者は、次いで「保育士」35.9%、「母親」26.1%となっている。小学生の保護者は「習い事・塾の指導者」が48.0%と「父母ともに」に次いで多く、「母親」が25.1%、「祖父母」が24.2%と就学前児童の保護者と同程度となっている。



(3) 子育てに最も影響が強いと思われる環境（複数回答）

〔就学前児童：問8〕〔小学生：問8〕

子育てに影響が強いと思われる環境について尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「家庭」が90%を超えて最も多くなっている。就学前児童の保護者は、次いで「保育所」が54.1%、「幼稚園」が28.4%となっており定期的な教育・保育事業の影響も大きいと考えられている。小学生の保護者は「小学校」が90.6%と家庭に次いで多くなっており、「習い事・塾」が46.6%で続いている。「地域」は就学前児童で28.2%、小学生で25.7%となっている。



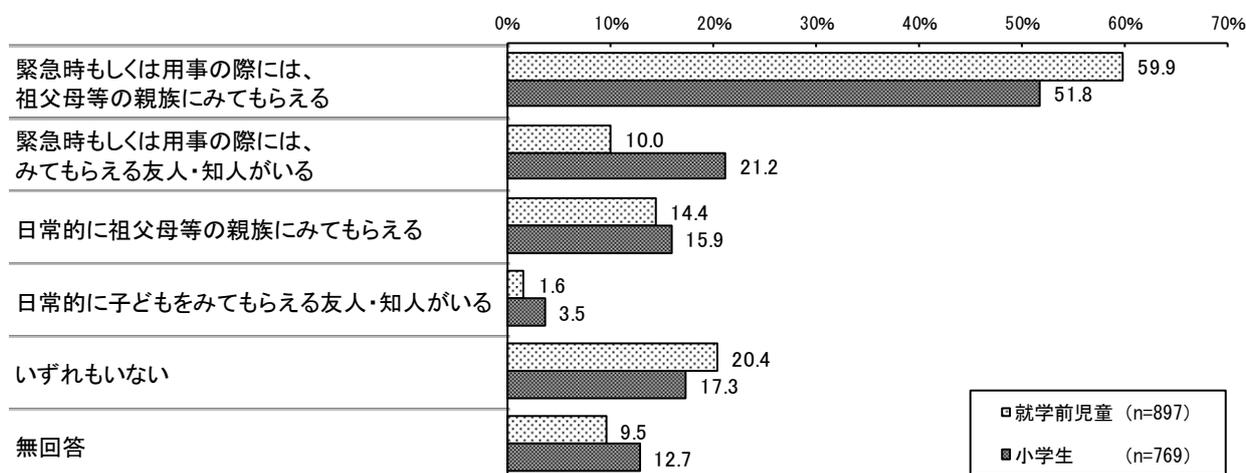
(4) 子どもをみてもらえる親族・知人の状況

① 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

〔就学前児童：問9〕〔小学生：問9〕

子どもをみてもらえる親族・知人の有無について尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」が50%を超えて最も多く、就学前児童が小学生を上回っている。「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに15%前後となっており、小学生が就学前児童を若干上回っている。

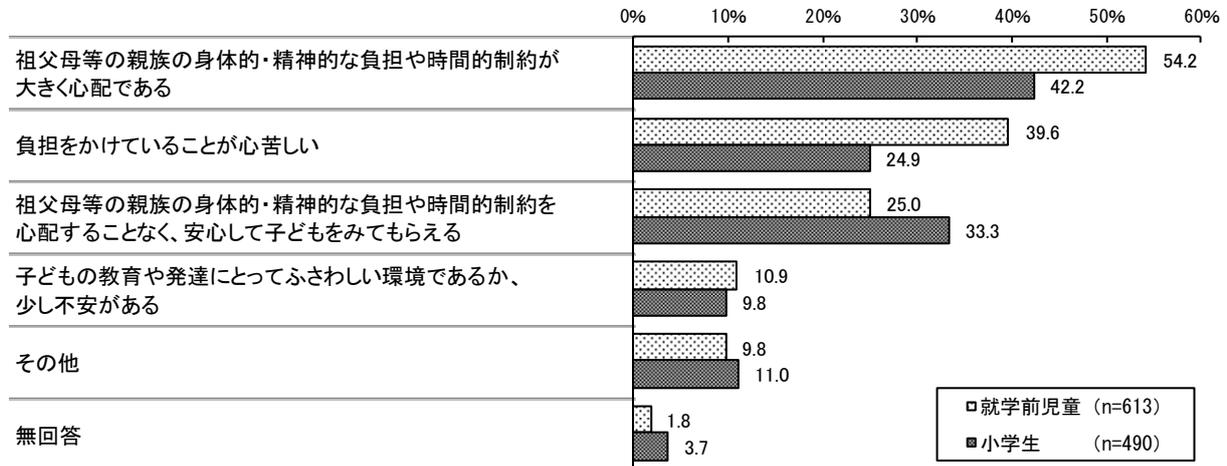
一方、友人・知人にみてもらえる状況については、就学前児童に比べ小学生で多くなる傾向となっており、緊急時もしくは用事の際にみてもらえる状況は、就学前児童の保護者は10.0%であるのに対し、小学生の保護者では21.2%となっている。



②祖父母等の親族に子どもをみてもらえる状況（複数回答）

〔就学前児童：問9-1〕〔小学生：問9-1〕

祖父母等の親族に子どもをみてもらえる状況について、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が最も多くなっている。次いで就学前児童では「負担をかけていることが心苦しい」、小学生では「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が続いており、就学前児童の保護者における親族に預ける際の不安が大きくなっている。

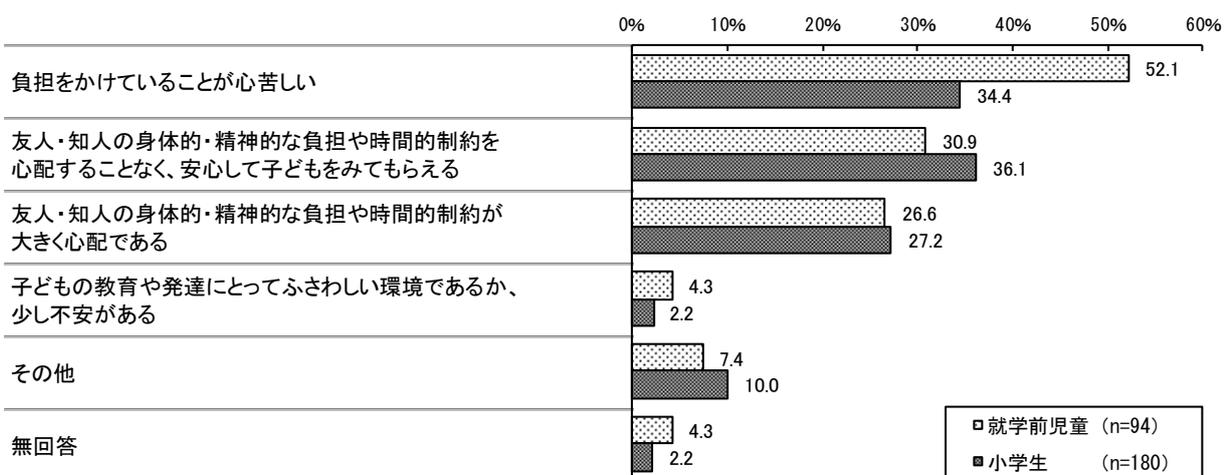


③友人・知人に子どもをみてもらえる状況（複数回答）

〔就学前児童：問9-2〕〔小学生：問9-2〕

友人・知人に子どもをみてもらえる状況について、就学前児童の保護者では「負担をかけていることが心苦しい」、小学生の保護者では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多くなっており、傾向が異なっている。

「負担をかけていることが心苦しい」は就学前児童の保護者で 52.1%、小学生で 34.4%となっており、祖父母等の親族に比べて負担をかけることへの心苦しきは大きくなっている。



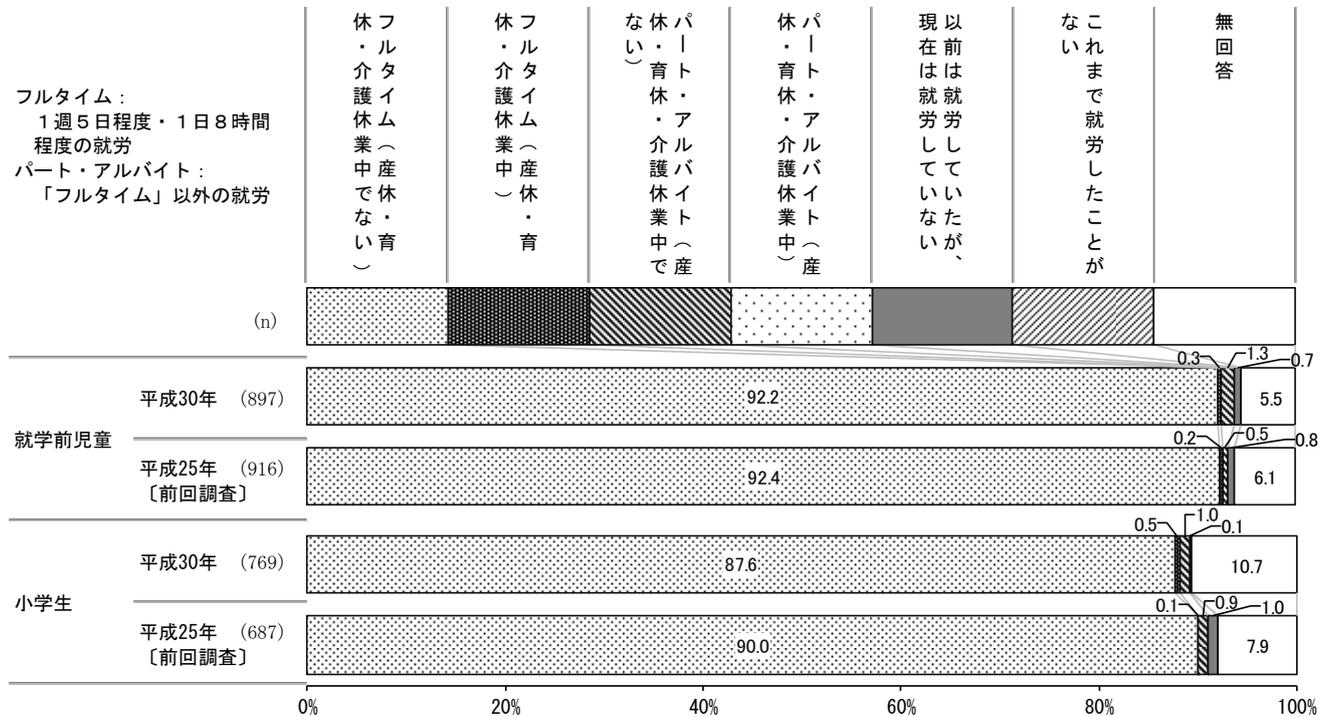
3. 保護者の就労状況

(1) 父親の就労状況

〔就学前児童：問 10 (1)〕〔小学生：問 10 (1)〕

父親の就労状況については、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「フルタイム（産休・育休・介護休業中でない）」が 90%前後となっている。「パート・アルバイト」や「現在は就労していない」はそれぞれ 1.0%前後となっている。

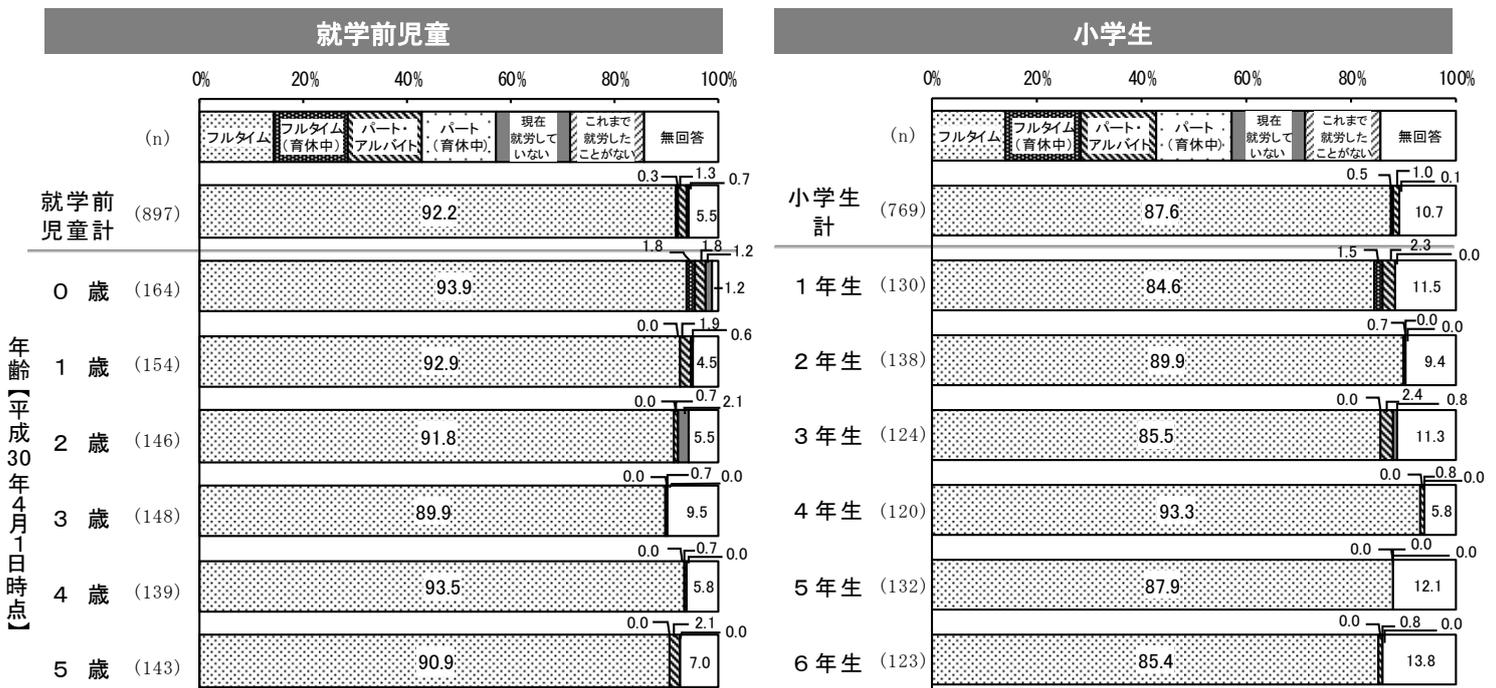
平成 25 年の調査結果と比較すると、大きな変化は見られないが、就学前児童の保護者では「パート・アルバイト（産休・育休・介護休業中でない）」が増加している。



※ 「パート・アルバイト（産休・育休・介護休業中）」は就学前児童（平成 30 年・25 年）、小学生（平成 30 年）はともに 0.0%。
「これまで就労したことがない」は就学前児童（平成 30 年・25 年）、小学生（平成 30 年・25 年）ともに 0.0%。

《 父親—就労状況—子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童においては、育児休業中を含めた「フルタイム」が全年齢で 90%前後を占め、小学生においても 80%以上を占めている。

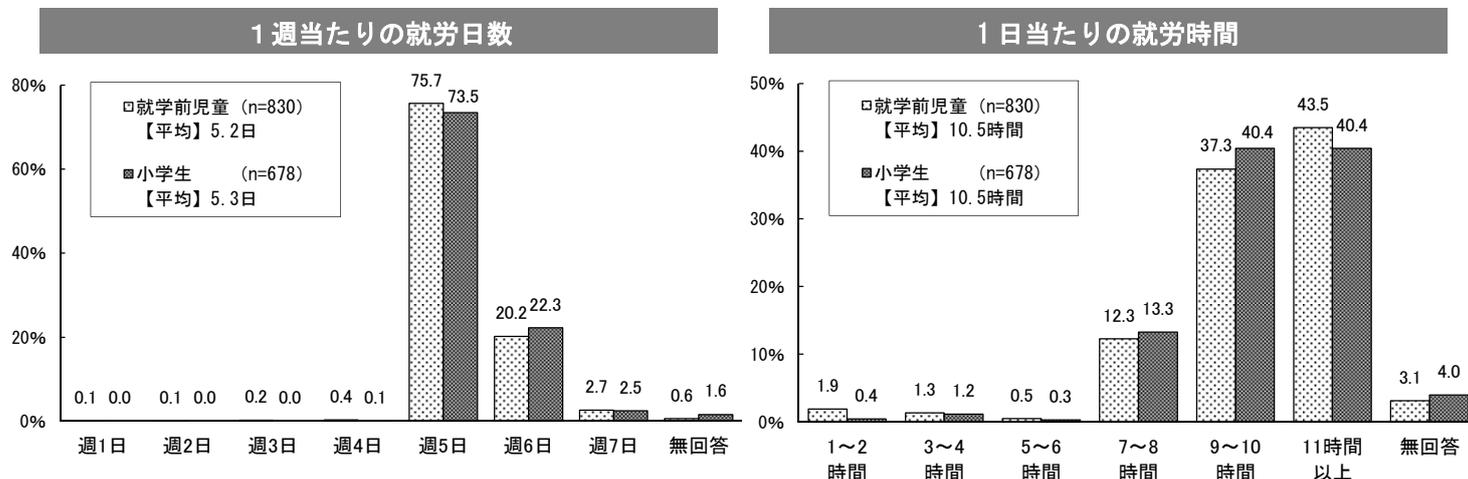


(2) 父親－フルタイム就労者の就労状況

①父親－【フルタイム就労者】就労日数／就労時間 〔就学前児童：問 10 (1) -1〕〔小学生：問 10 (1) -1〕

フルタイムで就労している父親の1週当たりの就労日数は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「週5日」が7割台半ば、「週6日」が約2割となっている。

また、1日当たりの就労時間は、「11時間以上」が就学前児童の保護者で43.5%、小学生の保護者で40.4%と4割以上を占めており、平均就労時間はともに約10.5時間となっている。



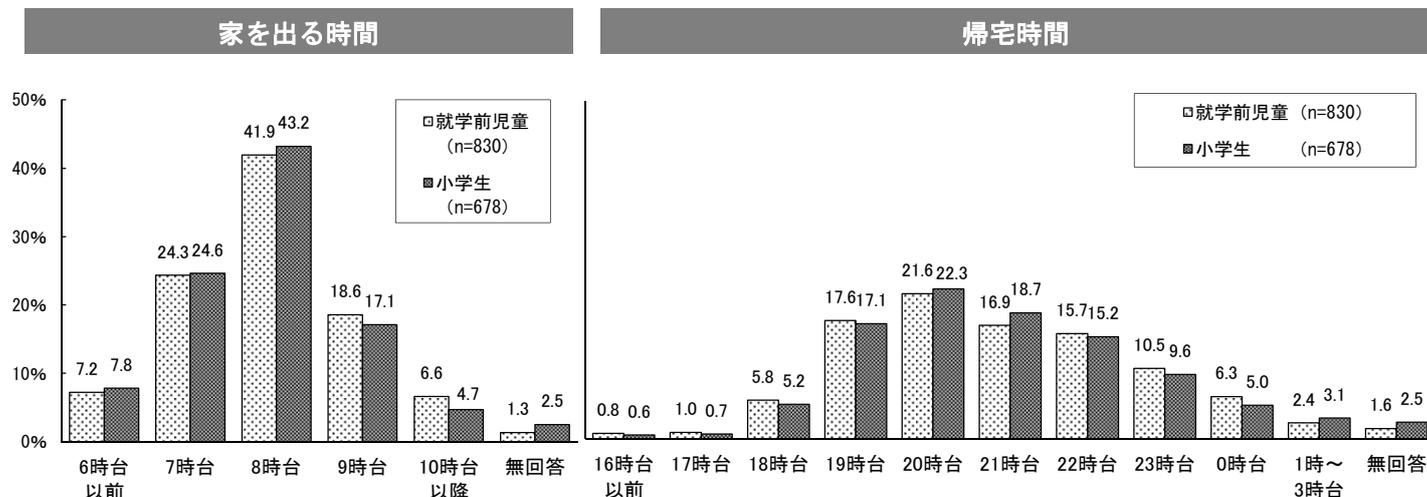
〔就学前児童：問 10 (1) -1〕

〔小学生：問 10 (1) -1〕

②父親－【フルタイム就労者】家を出る時間／帰宅時間

フルタイムで就労している父親の家を出る時間は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「8時台」が40%を超えて最も多く、「7時台」が約25%となっている。後述のフルタイムで就労している母親と比較してやや早い時間帯に家を出る傾向となっている。

帰宅時間については、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「20時台」がピークを示しており、後述のフルタイムで就労している母親の帰宅時間は「18時台」から「19時台」に集中しているのに対し、父親は分散が大きくなっている。



(3) 父親－パート・アルバイト就労者の就労状況／就労希望

①父親－【パート・アルバイト就労者】就労日数／就労時間

〔就学前児童：問 10 (1) -1〕

〔小学生：問 10 (1) -1〕

「パート・アルバイト」で就労している父親の回答は0件であった。

※回答数がないため作図せず。

②父親－【パート・アルバイト就労者】家を出る時間／帰宅時間

〔就学前児童：問 10 (1) -1〕

〔小学生：問 10 (1) -1〕

「パート・アルバイト」で就労している父親の回答は0件であった。

※回答数がないため作図せず。

③父親のフルタイムへの転換希望

〔就学前児童：問 10 (1) -2〕〔小学生：問 10 (1) -2〕

「パート・アルバイト」で就労している父親の回答は就学前児童の保護者で10件、小学生の保護者で8件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

(4) 父親－就労していない人の就労希望

①父親－【就労していない人】就労希望

〔就学前児童：問 10 (1) -3〕〔小学生：問 10 (1) -3〕

就労していない父親の回答は、就学前児童の保護者で5件、小学生の保護者で1件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

②父親の希望する就労形態

〔就学前児童：問 10 (1) -3〕〔小学生：問 10 (1) -3〕

就労していない父親の回答は、就学前児童の保護者で5件、小学生の保護者で0件であった。

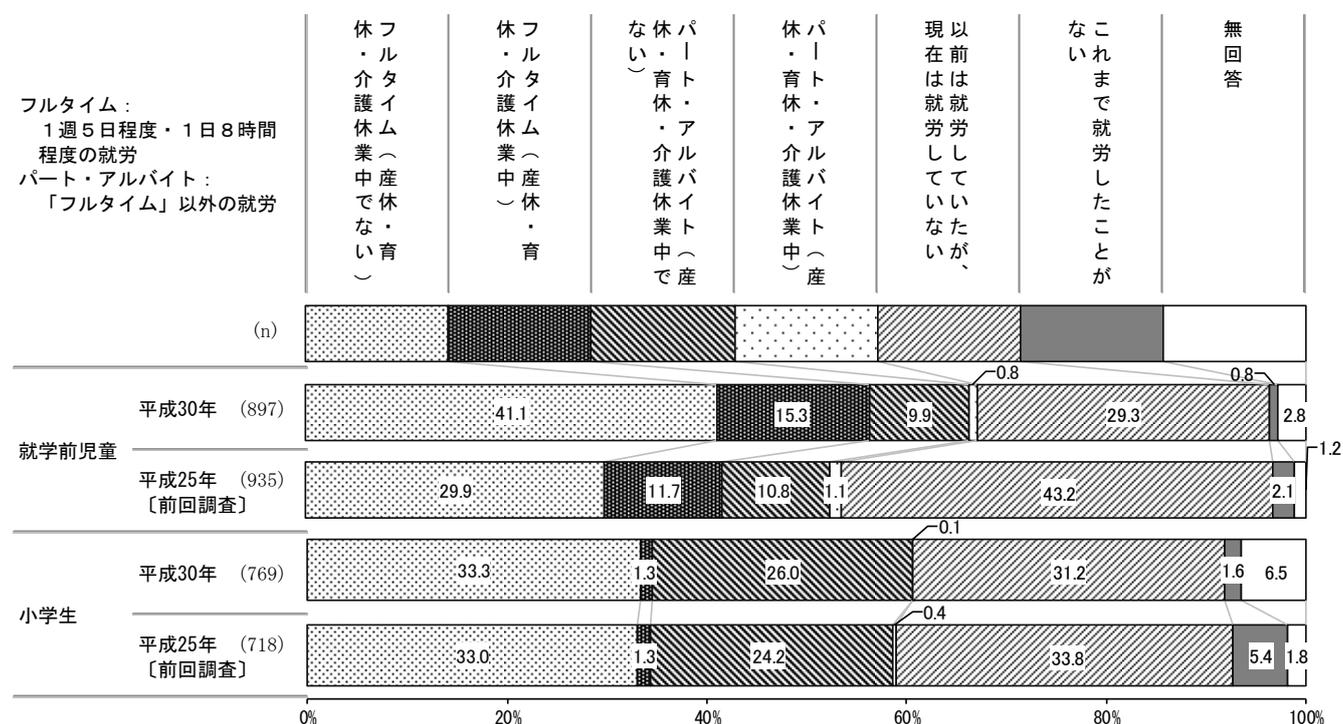
※回答数が少ないため作図せず。

(5) 母親の就労状況

〔就学前児童：問 10 (2)〕〔小学生：問 10 (2)〕

母親の就労状況について、「フルタイム（産休・育休・介護休業中でない）」の割合は就学前児童の保護者が 41.1%、小学生の保護者が 33.3%で就学前児童の保護者が多くなっている。「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」の割合は就学前児童の保護者が 15.3%と、小学生の保護者の 1.3%と比べて多くなっている。「パート・アルバイト（産休・育休・介護休業中でない）」の割合は小学生の保護者が 26.0%と就学前児童の保護者の 9.9%より多くなっている。「以前は就労していたが、現在は就労していない」は小学生の保護者で 31.2%と、就学前児童の保護者の 29.3%と大きな差はみられない。

平成 25 年の調査結果と比較すると、就学前児童の保護者では「フルタイム（産休・育休・介護休業中でない）」が 11.2 ポイント増加、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 13.9 ポイント減少しており、それぞれ 10 ポイント以上の変化が見られ、就学前児童の保護者におけるフルタイムで就労する母親が増加している様子うかがえる。

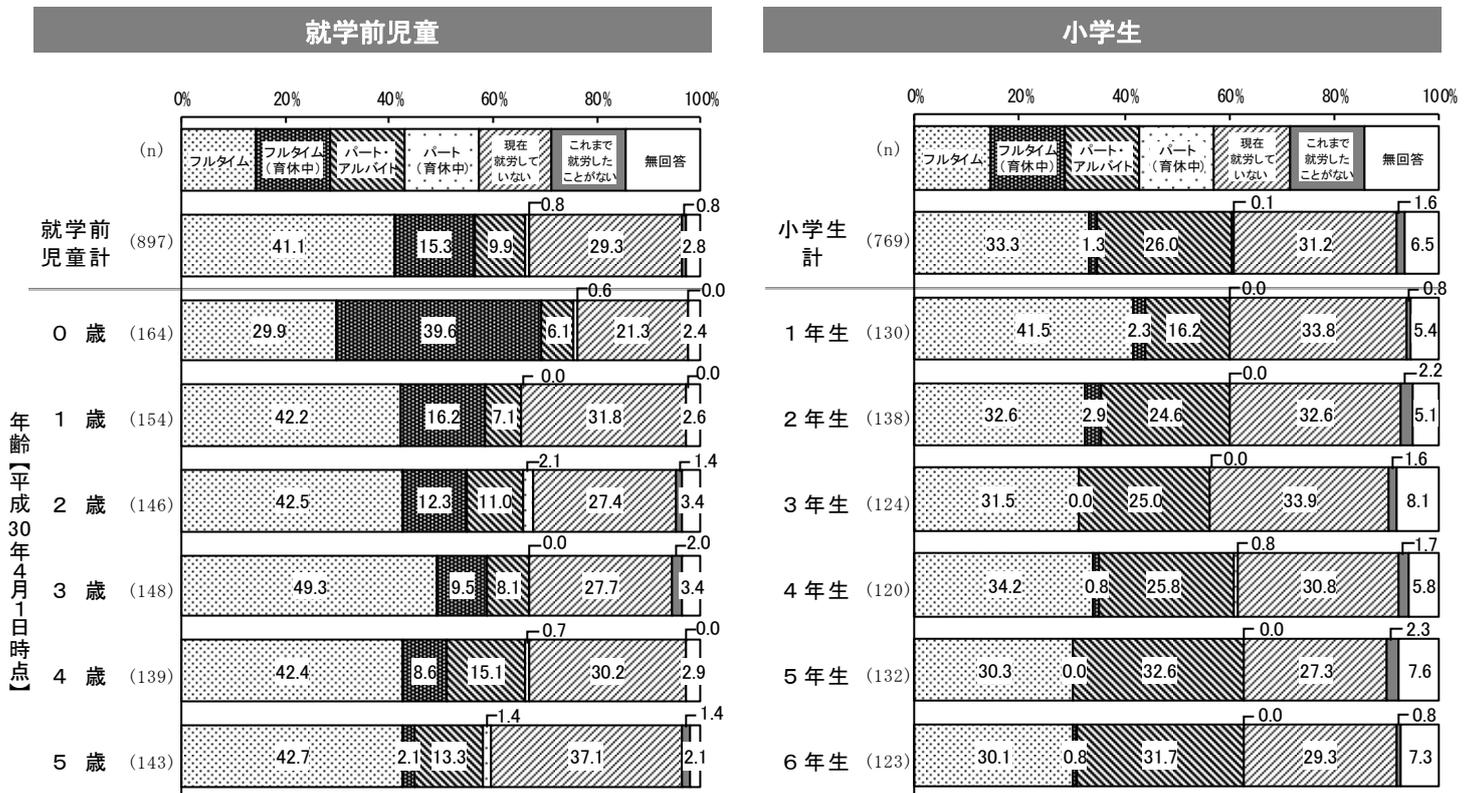


《 母親—就労状況—子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童においては、0歳は「フルタイム」が約3割、「フルタイム（育休中）」が約4割、あわせてフルタイムは約7割と多くなっている。

1歳以上では、「フルタイム」は40%台となっており、「フルタイム（育休中）」は年齢が上がるにつれてその割合は少なくなっている。

小学生については、1年生では「フルタイム」が4割を超え、他の学年より多く、5、6年生では「パート・アルバイト」が3割を超え、他の学年より多い傾向となっている。



(6) 母親－フルタイム就労者の就労状況

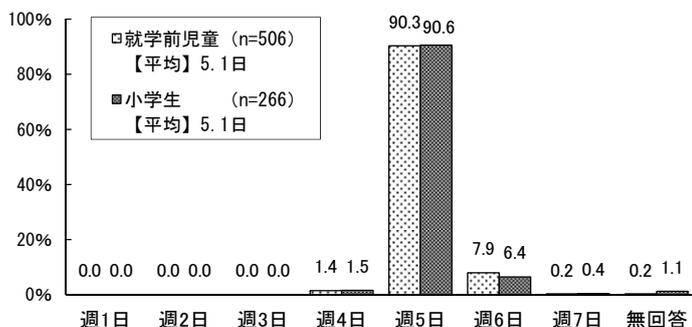
①母親－【フルタイム就労者】就労日数／就労時間

〔就学前児童：問 10 (2) -1〕〔小学生：問 10 (2) -1〕

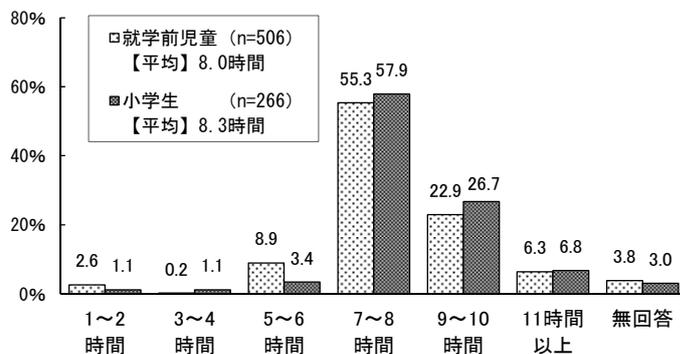
フルタイムで就労している母親の1週当たりの就労日数は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「週5日」が9割強、「週6日」が1割未満となっている。

また、1日当たりの就労時間は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「7～8時間」が5割台半ば、「9～10時間」が2割台半ばとなっている。

1週当たりの就労日数



1日当たりの就労時間



②母親－【フルタイム就労者】家を出る時間／帰宅時間

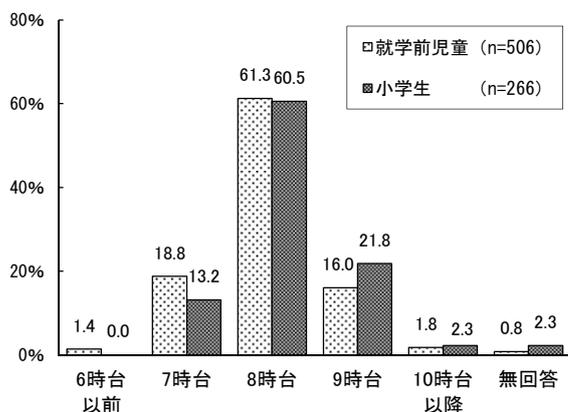
〔就学前児童：問 10 (2) -1〕

〔小学生：問 10 (2) -1〕

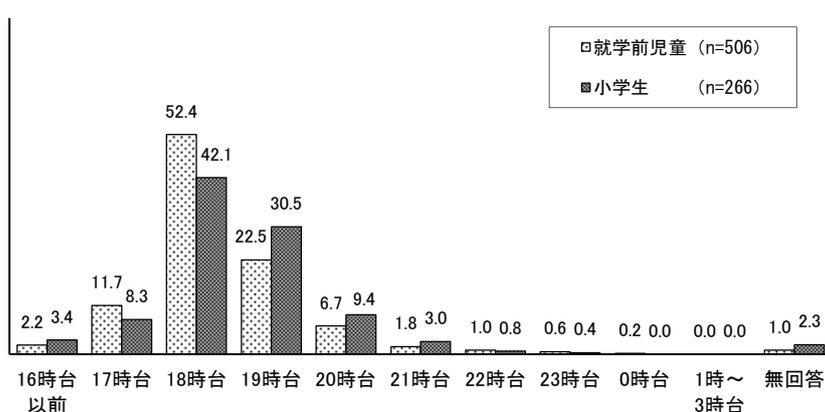
フルタイムで就労している母親の家を出る時間は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「8時台」が6割強で最も多く、その前後の「7時台」及び「9時台」がともに2割前後となっている。

帰宅時間については、「18時台」が就学前児童の保護者で5割強、小学生の保護者で4割強と最も多く、「19時台」が次いでいる。「20時台」「21時台」の割合は就学前児童の保護者より小学生の保護者で多くなっている。

家を出る時間



帰宅時間



(7) 母親－パート・アルバイト就労者の就労状況／就労希望

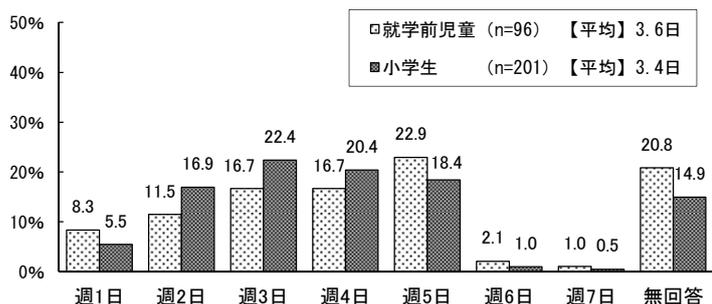
①母親－【パート・アルバイト就労者】就労日数／就労時間〔就学前児童：問 10 (2) -1〕〔小学生：問 10 (2) -1〕

パート・アルバイトで就労している母親の1週当たりの就労日数は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「週3日」「週4日」「週5日」が20%前後で分散している。平均日数は就学前児童の保護者は3.6日、小学生の保護者は3.4日となっている。

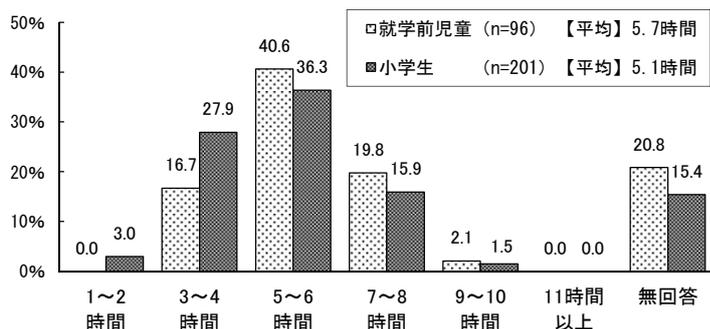
1日当たりの就労時間は、「5～6時間」が就学前児童の保護者は40.6%、小学生の保護者は36.3%と最も多く、次いで就学前児童の保護者で「7～8時間」、小学生の保護者で「3～4時間」となっている。平均時間は、就学前児童の保護者は5.7時間、小学生の保護者は5.1時間となっている。

1か月当たりの就労時間の平均は、就学前児童の保護者は83.6時間、小学生の保護者は70.6時間となっている。

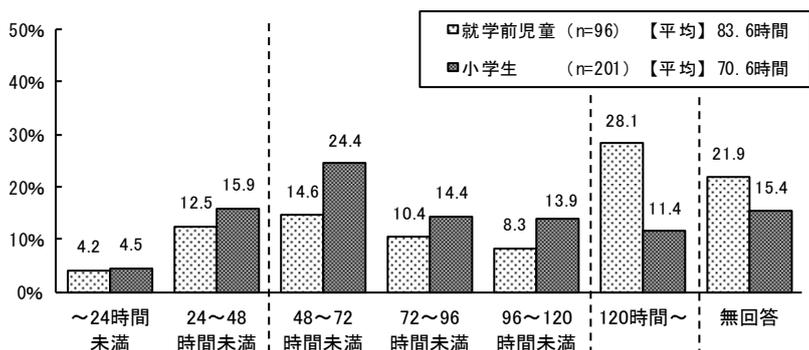
1週当たりの就労日数



1日当たりの就労時間



1か月当たりの就労時間



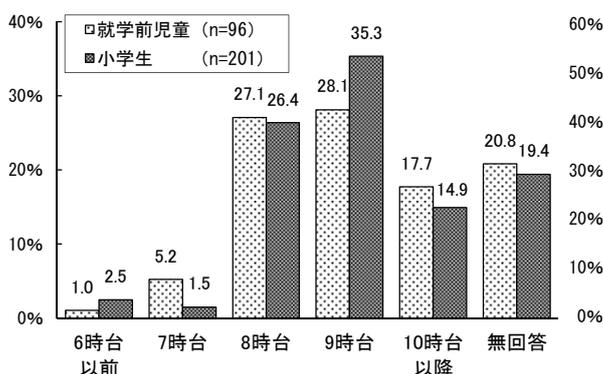
〔就学前児童：問 10 (2) -1〕
〔小学生：問 10 (2) -1〕

②母親－【パート・アルバイト就労者】家を出る時間／帰宅時間

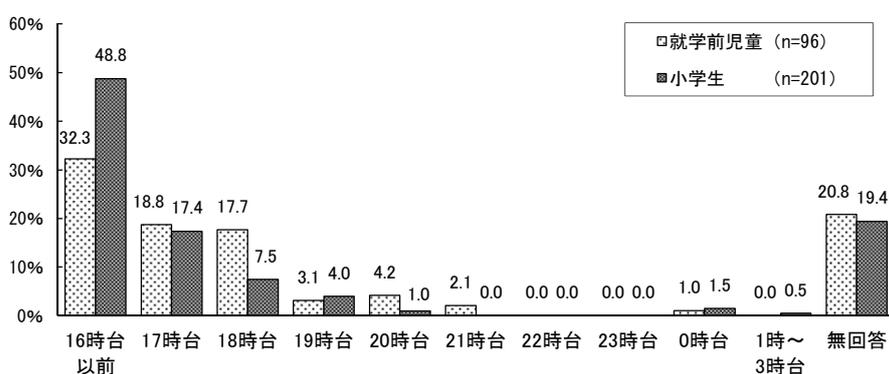
パート・アルバイトで就労している母親の家を出る時間は、「9時台」が就学前児童の保護者で約3割、小学生の保護者で3割半ばと最も多く、「8時台」「10時台以降」と続いている。

帰宅時間は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「16時台以前」が最も多く、「17時台」「18時台」と続いている。

家を出る時間



帰宅時間

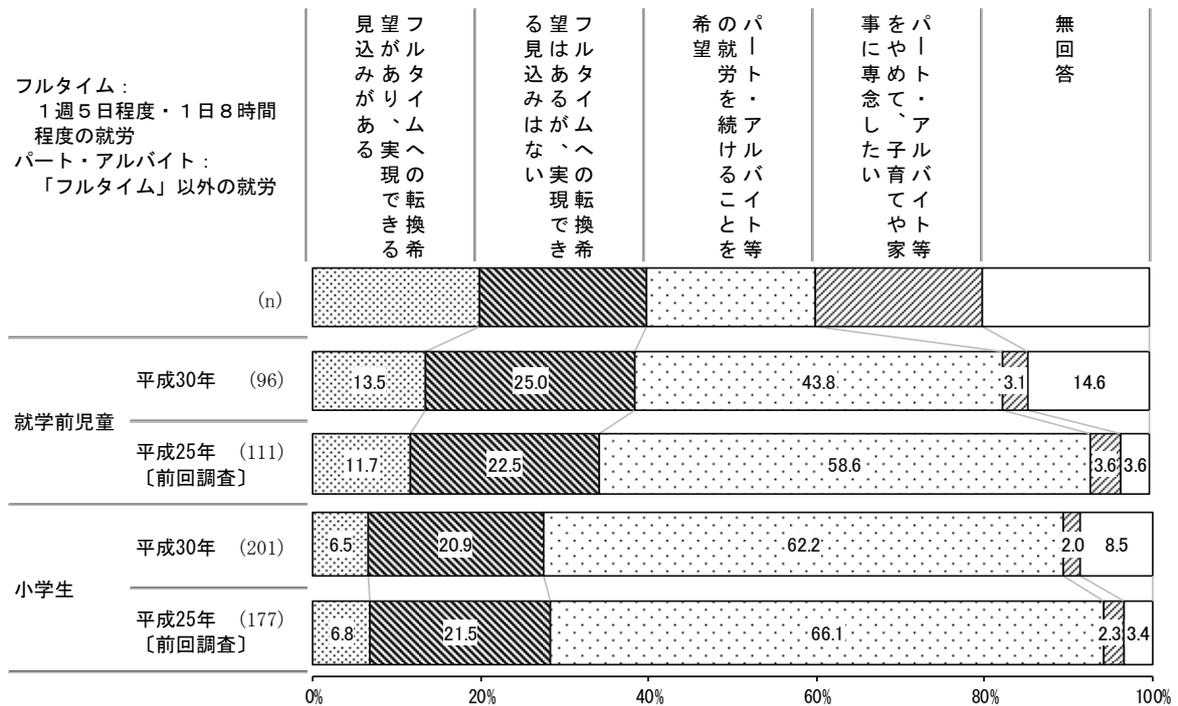


③母親－【パート・アルバイト就労者】フルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで就労している母親のフルタイムへの転換希望について、「実現できる見込みがある」の割合は、就学前児童の保護者が 13.5%、小学生の保護者が 6.5%と、就学前児童の保護者の方が多くなっている。

一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は就学前児童の保護者が 25.0%、小学生の保護者が 20.9%となっており、出産、子育てのために退職後の再就職に壁があることがうかがえる。

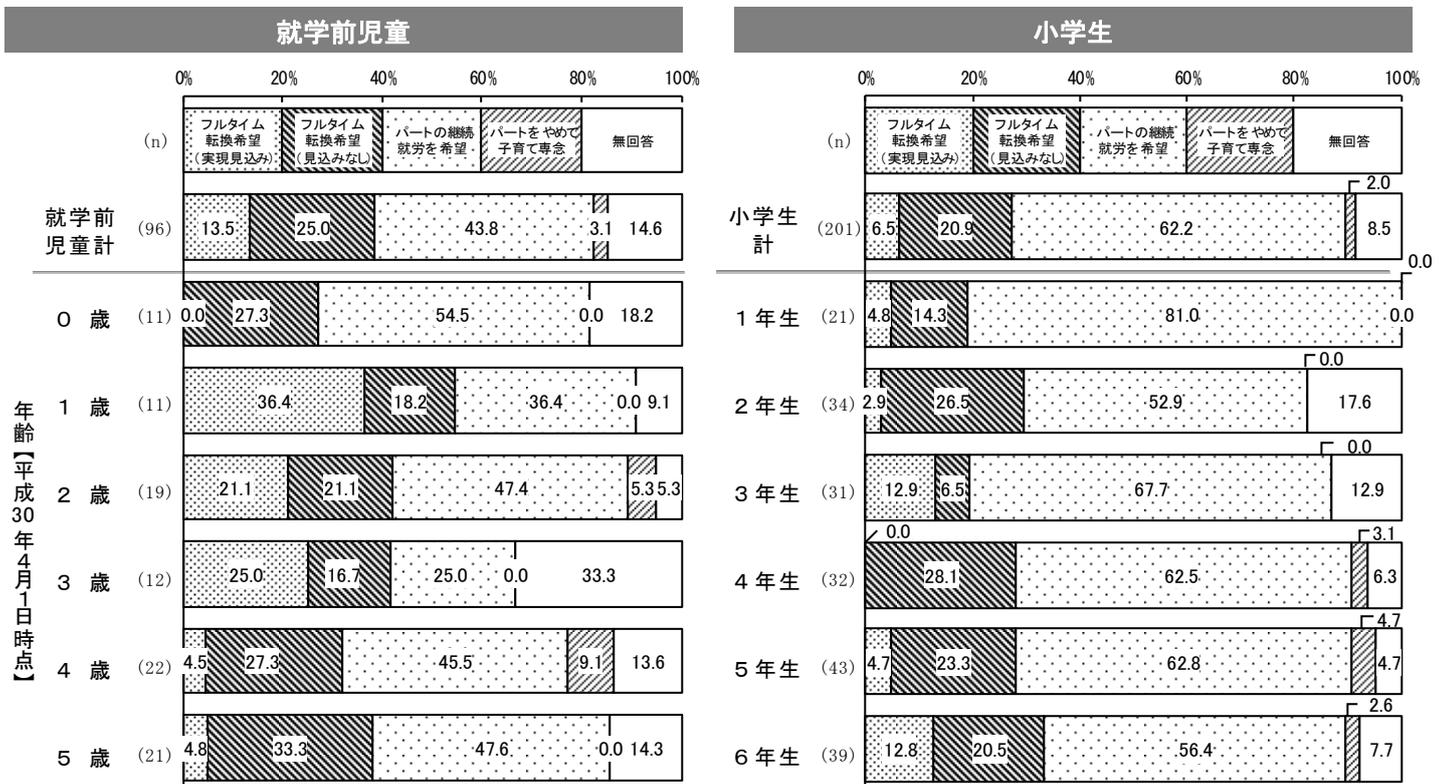
平成 25 年の調査結果と比較すると、就学前児童の保護者では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 1.8 ポイント増加、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 2.5 ポイント増加、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 14.8 ポイント減少しており、就学前児童の保護者におけるフルタイム就労を希望する母親が増加している様子が見えてくる。



《 母親－【パート・アルバイト就労者】フルタイムへの転換希望－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童の保護者は1歳で「フルタイム転換希望（実現見込みあり）」が3割半ばと他の年齢より高く、2、3歳では2割台となっている。また、「フルタイム転換希望（実現見込みなし）」は0歳、2歳、4歳、5歳で2割台以上を占めて他の年齢より高くなっている。

小学生の保護者は3年生、6年生で「フルタイム転換希望（実現見込みあり）」が1割以上を占め、他の学年に比べて多く、また、「フルタイム転換希望（実現見込みなし）」は2年生、4～6年生で2割台以上を占めて他の年齢より高くなっている。



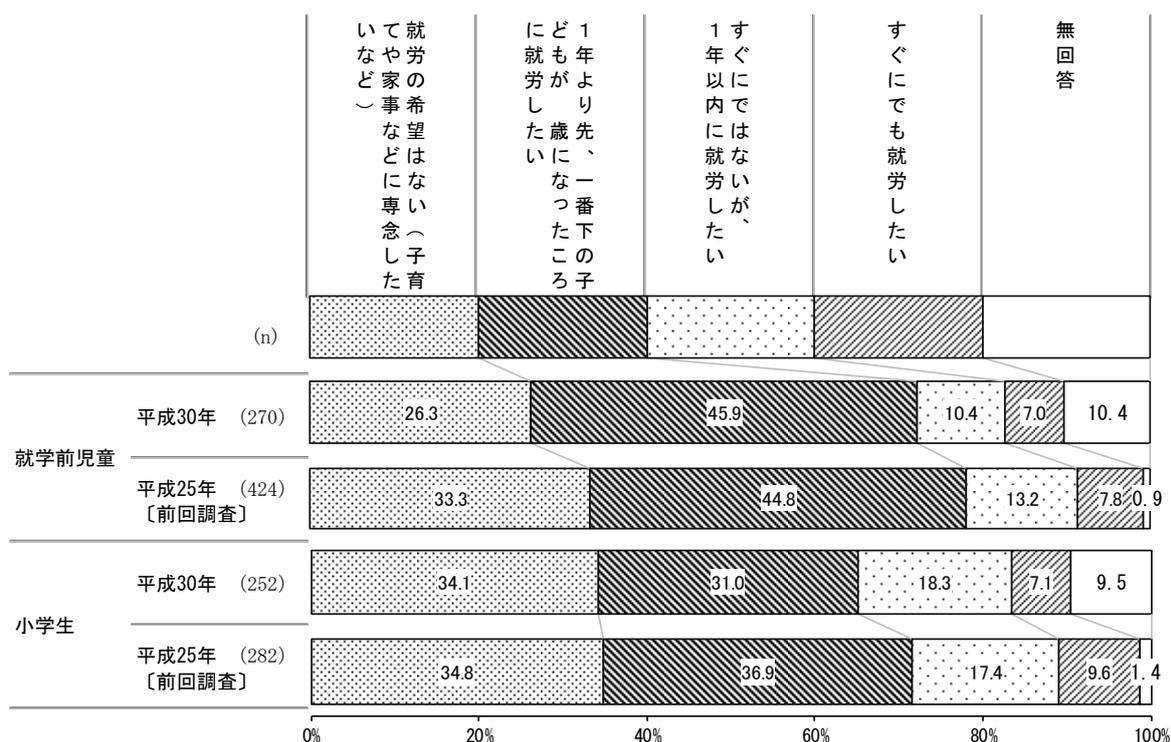
(8) 母親—就労していない人の就労希望

①母親—【就労していない人】就労希望

〔就学前児童：問 10 (2) -3〕〔小学生：問 10 (2) -3〕

現在就労していない、またはこれまで就労したことのない母親の就労希望については、「就労の希望はない（子育てや家事等に専念したい）」が就学前児童の保護者が 26.3%、小学生の保護者が 34.1%となっている。1 年より先に就労の希望がある割合は就学前児童の保護者が 45.9%、小学生の保護者が 31.0%となっているが、「すぐにでも就労したい」または「すぐにではないが、1 年以内に就労したい」の割合は小学生の保護者が 25.4%と、就学前児童の保護者の 17.4%と比べて多く、より早期の就労を望む声がみられる。

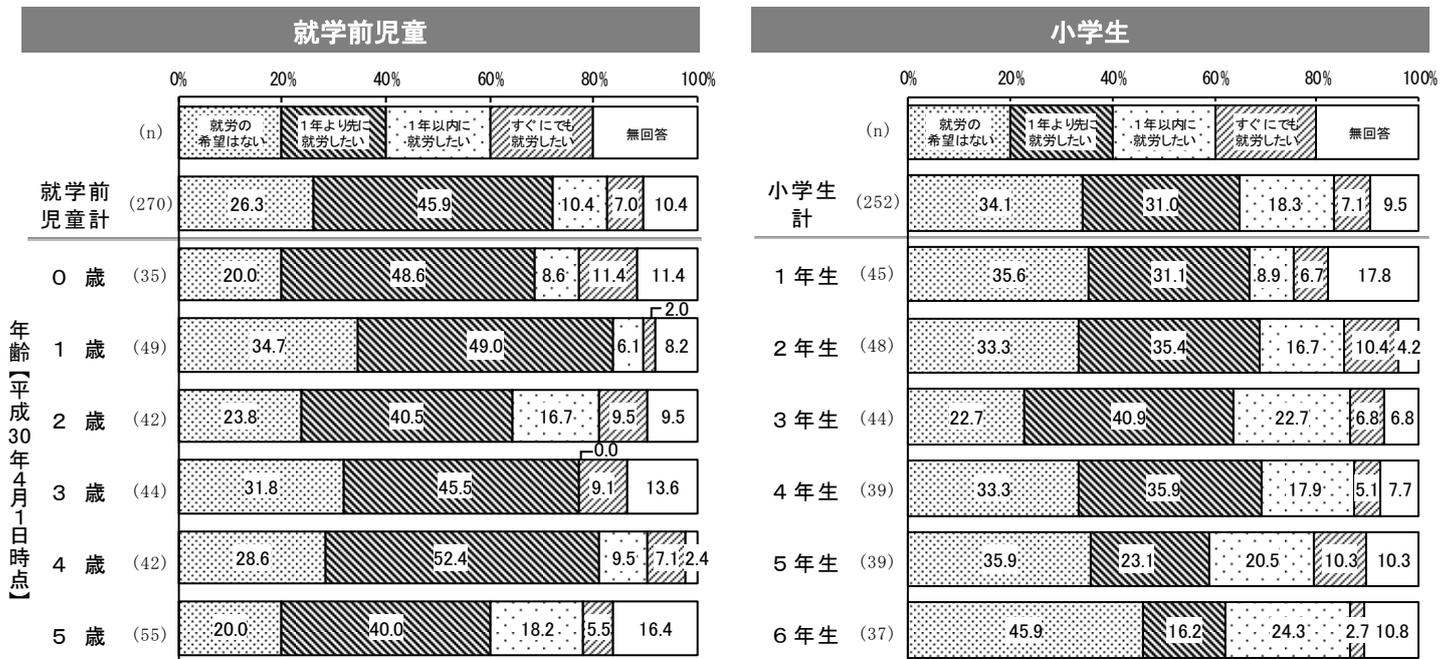
平成 25 年の調査結果と比較すると、就学前児童の保護者では「就労の希望はない」が 7.0 ポイント減少、「1 年より先、一番下の子どもが__歳になった頃に就労したい」が 1.1 ポイント増加しており、就学前児童の保護者における就労を希望する母親が増加している様子うかがえる。



《 母親－【就労していない人】就労希望－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童の保護者は「すぐにでも就労したい」と「1年以内に就労したい」の計は2歳が26.2%、5歳が23.7%、0歳が20.0%と2割以上を占め、他の年齢より多くなっている。また、「1年より先に就労したい」は全年齢で4割以上を占め多くなっている。

小学生の保護者は「すぐにでも就労したい」と「1年以内に就労したい」の計は、ややバラつきはあるものの、学年が上がるにつれて多くなる傾向となっている。一方で、「就労の希望はない」の割合もまた高学年で多くなる傾向となっている。



②母親－【就労希望者】希望する就労形態

〔就学前児童：問 10 (2) -3〕〔小学生：問 10 (2) -3〕

現在就労しておらず、かつ就労希望のある母親の希望する就労形態は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が多く、それぞれ 58.5%、57.8%となっている。

パートタイム、アルバイトを1か月の就労希望時間で区分すると、「48時間以上120時間未満」の割合が多くなっており、就学前児童の保護者の47.4%、小学生の保護者の43.0%を占めている。「フルタイム」の割合は、就学前児童の保護者が18.7%、小学生の保護者が11.3%となっており、就学前児童の保護者の方が多くなっている。

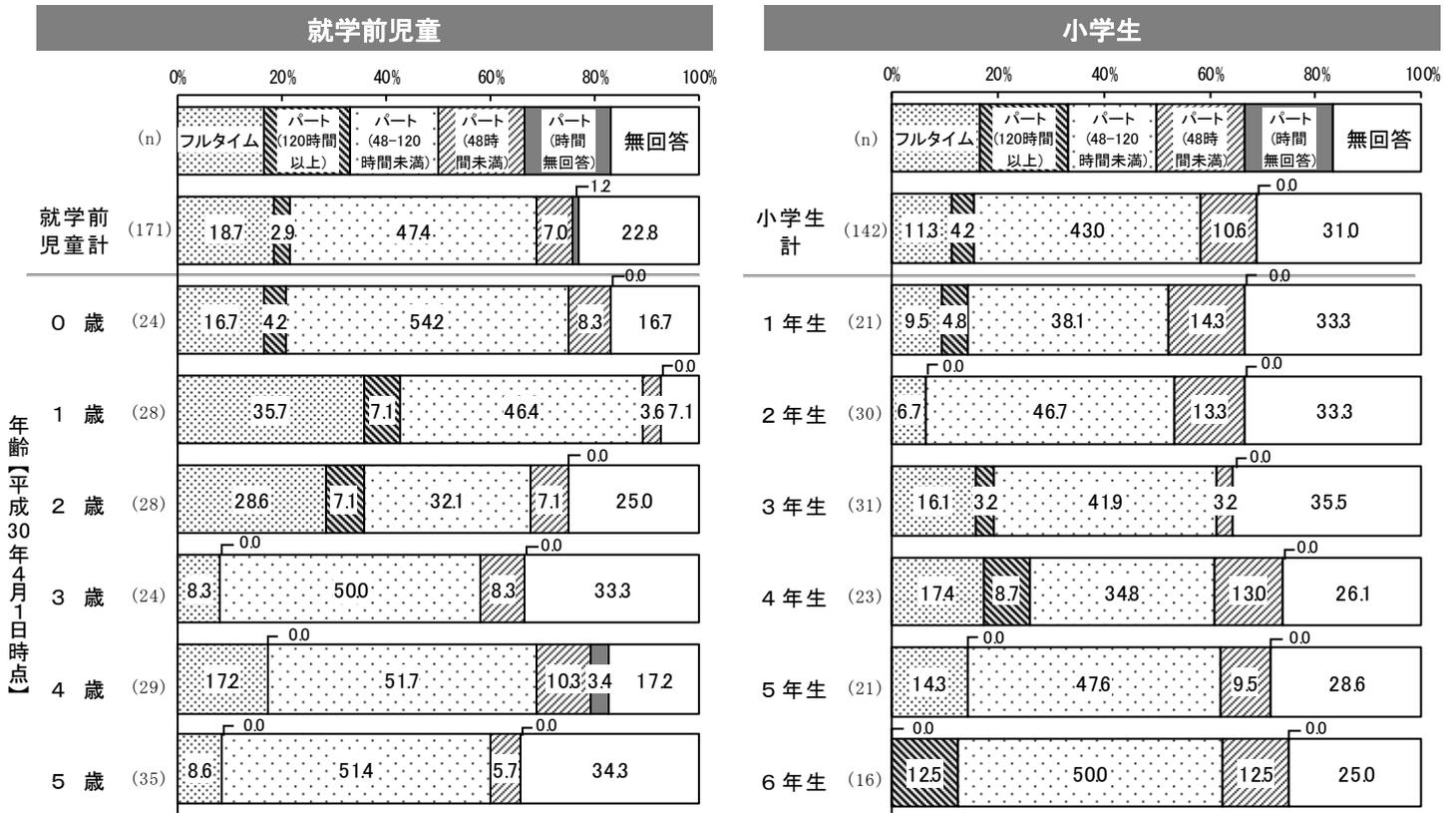


パートタイム・アルバイト等計
 就学前児童 58.5%
 小学生 57.8%

《 母親－【就労希望者】希望する就労形態－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童の保護者では、1歳、2歳の低い年齢で「フルタイム」や「パート（120時間以上）」の長時間就労を希望する傾向がみられる。「パート（48時間～120時間未満）」は0歳で最も多く、3～5歳の高い年齢でも5割を超え多くなっている。

小学生の保護者では、「フルタイム」が3～5年生で1割台半ばとなっている。



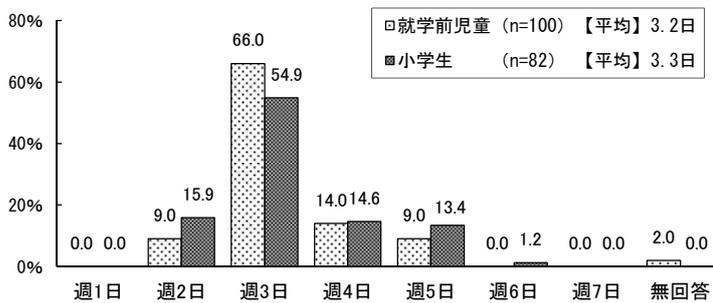
③母親－【パート・アルバイト就労希望者】希望就労日数／希望就労時間

パート・アルバイトを希望する母親の1週当たりの希望就労日数は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「週3日」が最も多く、それぞれ66.0%、54.9%となっている。次いで就学前児童の保護者では「週4日」、小学生の保護者では「週2日」となっており、平均日数は就学前児童の保護者が3.2日、小学生の保護者が3.3日となっている。

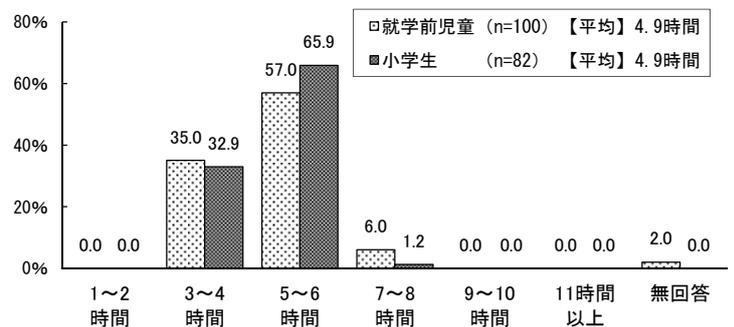
1日当たりの希望就労時間は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「5～6時間」が最も多く、それぞれ57.0%、65.9%となっており、「3～4時間」が35.0%、32.9%で次いでいる。平均時間は就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに4.9時間となっている。

1か月当たりの希望就労時間は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「48～72時間未満」が5割前後で最も多く、「72～96時間未満」、「24～48時間未満」と続き、平均時間はともに約64時間ほどとなっている。

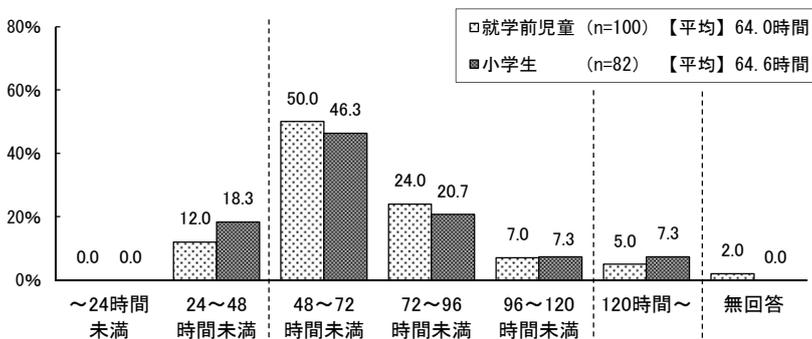
1週当たりの希望就労日数



1日当たりの希望就労時間



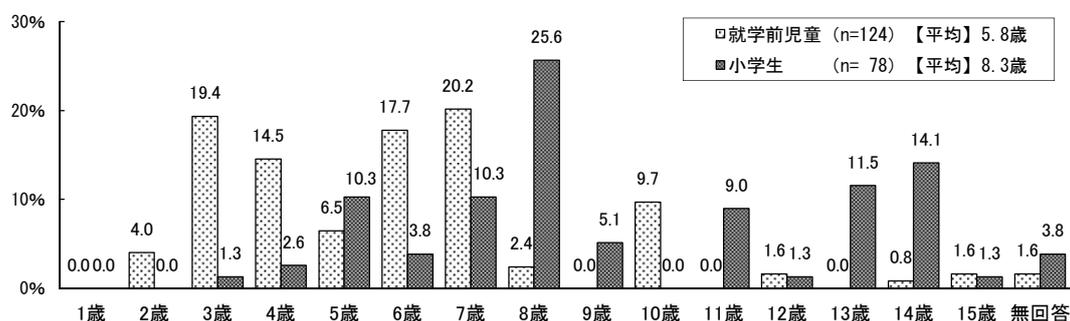
1か月当たりの希望就労時間



④母親－【1年より先の就労希望者】就労希望時の末子の年齢

現在就労していない母親の就労希望において「1年より先に就労したい」と回答した人に、就労希望時の末子の年齢を尋ねたところ、就学前児童の保護者は「7歳」20.2%が最も多く、末子の就学を機に就労を希望する様子が見えてくる。次いで「3歳」19.4%となっており、末子の幼稚園等の入園を機に就労を希望している様子が見えてくる。

小学生の保護者については、「8歳」25.6%が最も多く、そのほかの年齢は比較的分散している。



4. 育児休業制度について

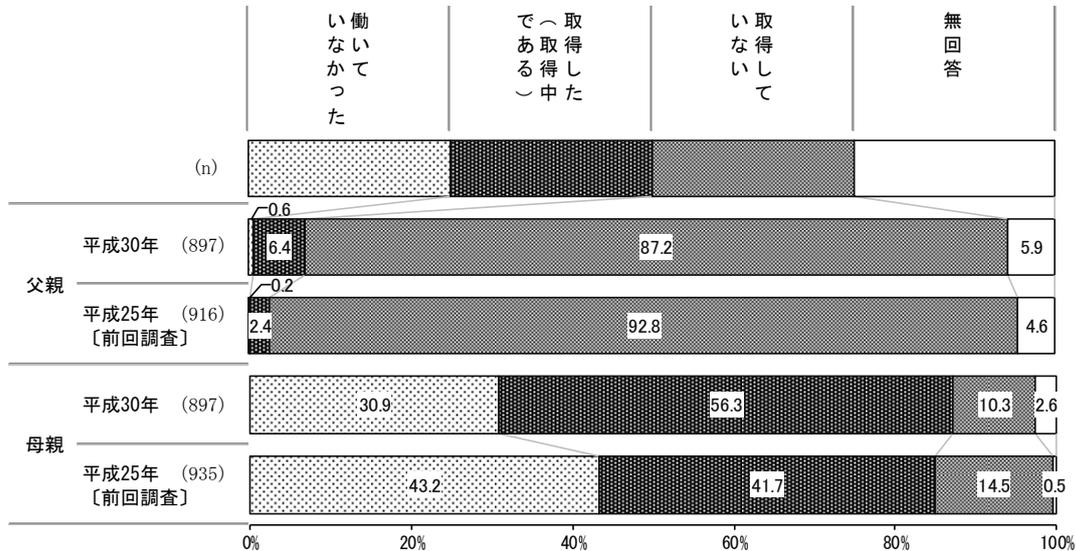
(1) 父母の育児休業制度の取得状況

〔就学前児童：問 25〕

①取得経験

就学前児童の父母の育児休業制度の取得状況については、父親は「取得していない」が 87.2%と大部分を占めており、平成 25 年の調査結果より 5.6 ポイント減少し、「取得した（取得中である）」が 6.4%と 4.0 ポイント増加している。

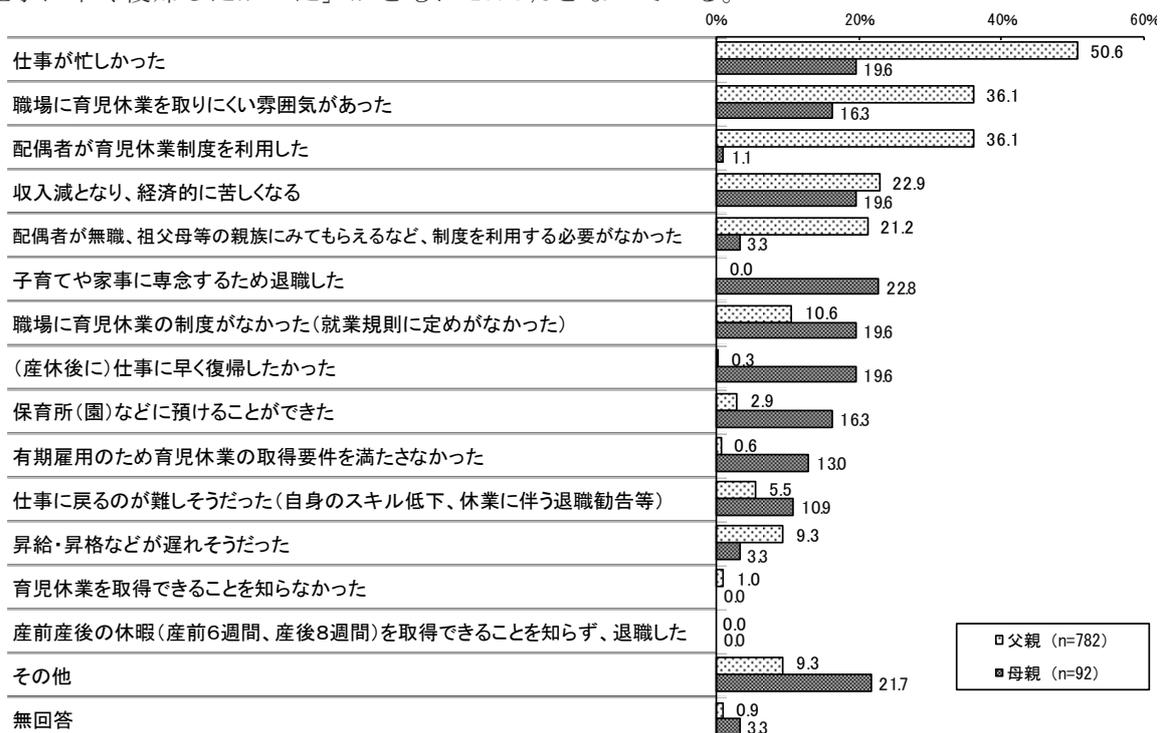
母親は「取得した（取得中である）」が 56.3%、「取得していない」は 10.3%となっており、平成 25 年の調査結果より、「取得した（取得中である）」は 14.6 ポイント増加、「取得していない」は 4.2 ポイント減少している。



②【育児休業制度を「取得していない」人】取得していない理由（複数回答）

育児休業制度を「取得していない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、父親は「仕事が忙しかった」が 50.6%と半数を超えて最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「配偶者が育児休業制度を利用した」がともに 36.1%となっている。

母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が 22.8%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」がともに 19.6%となっている。

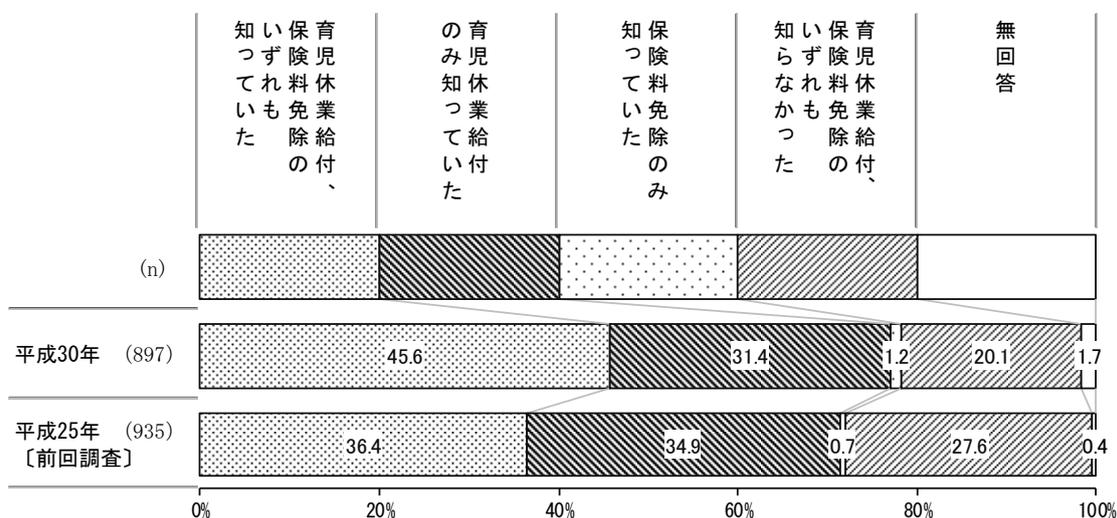


(2) 育児休業給付の支給・社会保険料免除の認知度

〔就学前児童：問 25-1〕

育児休業給付の支給・社会保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 45.6%、「育児休業給付のみ知っていた」が 31.4%、「いずれも知らなかった」が 20.1%となっている。

平成 25 年の調査結果と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は 9.2 ポイント増加し、「育児休業給付のみ知っていた」は 3.5 ポイント、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は 7.5 ポイント減少している。

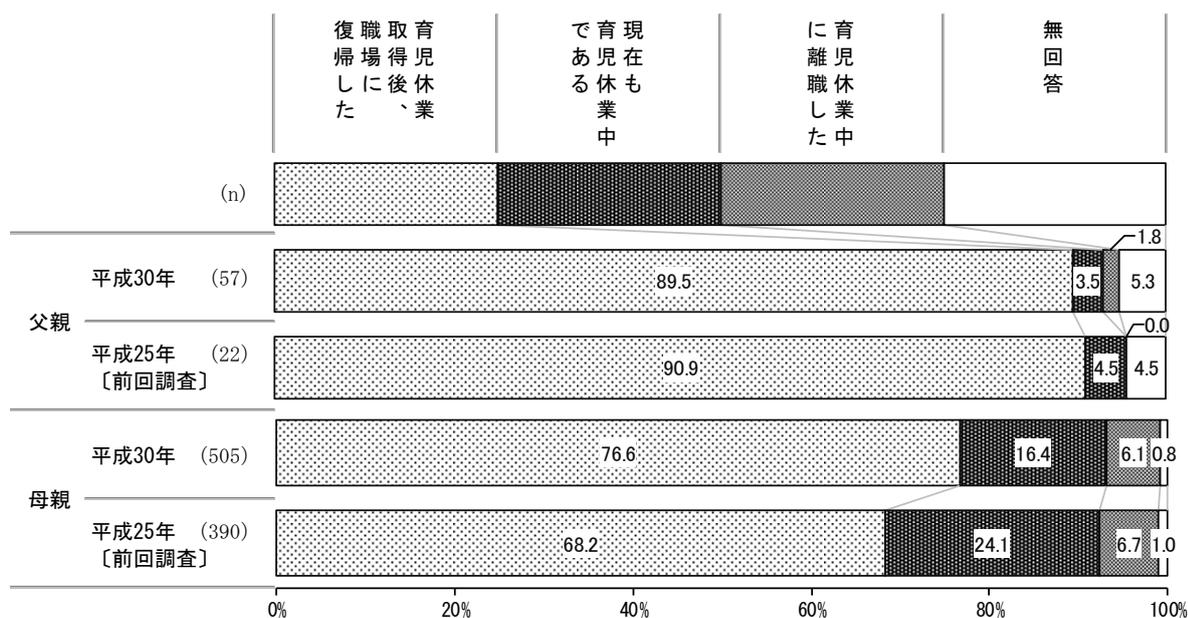


(3) 育児休業後の職場復帰状況

① 【育児休業取得者】 育児休業後の職場復帰状況

〔就学前児童：問 25-2〕

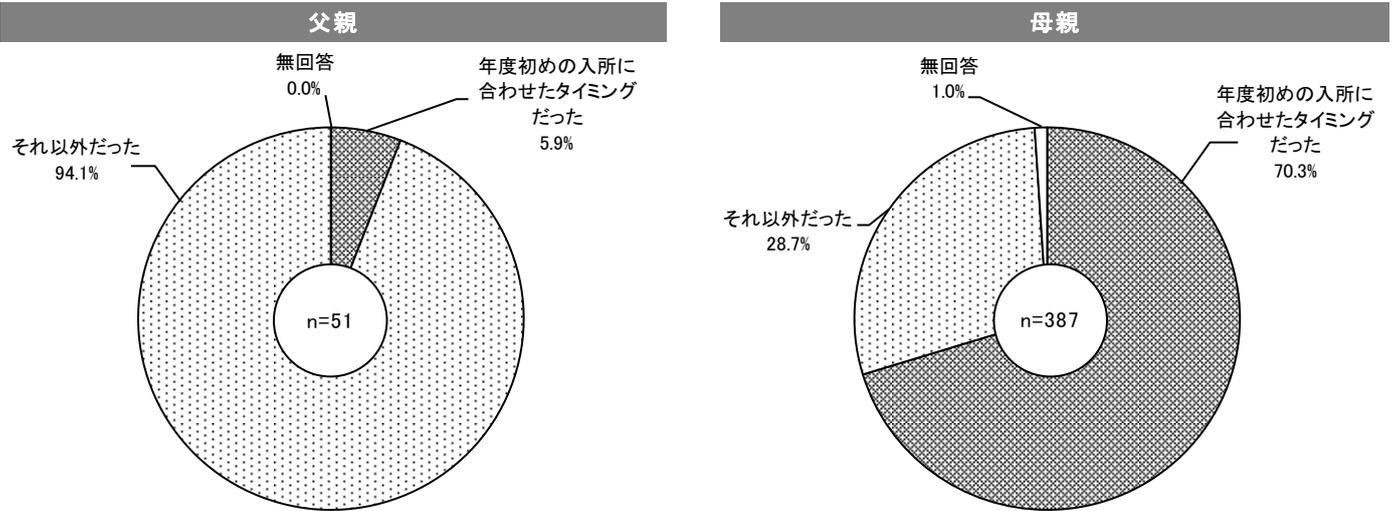
育児休業後の職場復帰の状況については、育児休業を取得した母親のうち 76.6%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答しており、平成 25 年の調査結果より 8.4 ポイント増加している。



②【育児休業後職場復帰者】育児休業後の職場復帰のタイミング

〔就学前児童:問 25-3〕

育児休業後に職場復帰した人に、復帰のタイミングを尋ねたところ、父親では「それ以外だった」が94.1%でほとんどを占めており、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が70.3%、「それ以外だった」が28.7%となっている。



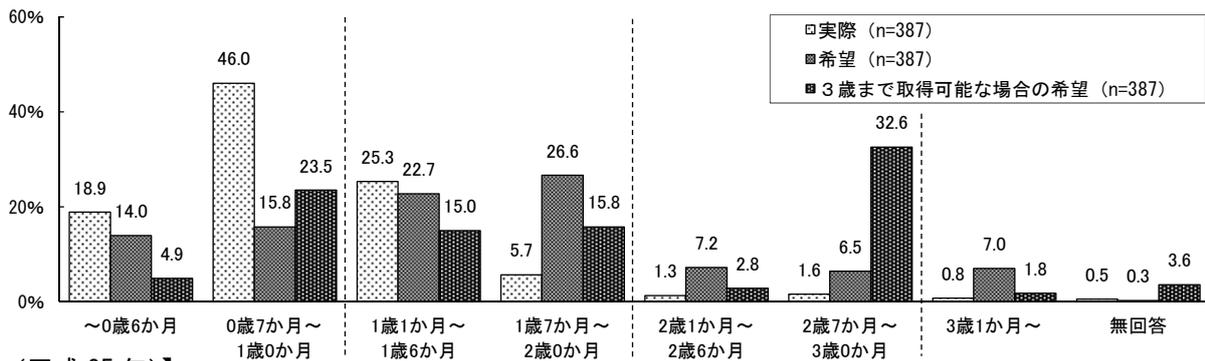
③母親—【育児休業後職場復帰者】育児休業期間の実際と希望／3歳まで取得可能な場合の取得希望期間

〔就学前児童:問 25-4、25-5〕

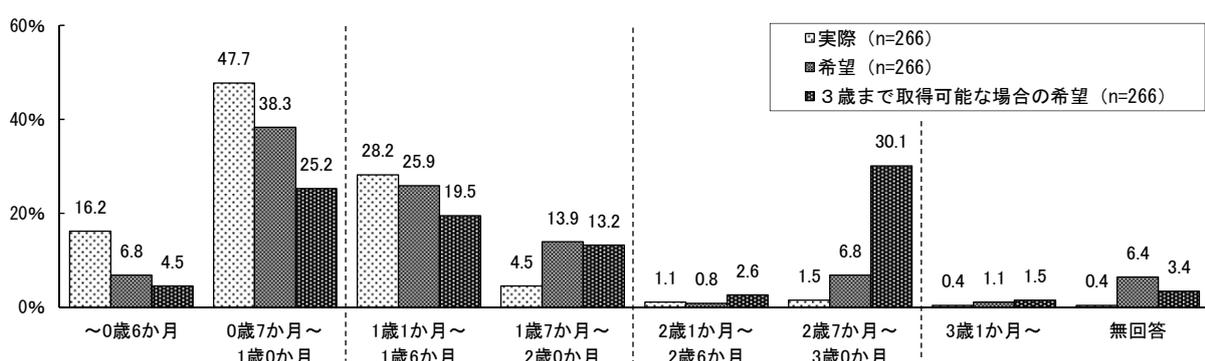
育児休業期間について、母親の実際は「0歳7か月～1歳0か月」が46.0%と最も多く、「～0歳6か月」の18.9%と併せて64.9%が1歳までに育児休業を終えている。希望については、1歳までの計で29.8%と、実際に比べて35.1ポイント少なくなっている。1歳1か月以降の計は実際が34.7%に対し希望は70.0%と35.3ポイント多くなっている。3歳まで取得が可能な場合に希望する期間は、「2歳7か月～3歳0か月」が32.6%と最も多くなっている。

平成25年の調査結果と比較すると、希望については、1歳までの計は平成25年の45.1%から平成30年の29.8%と15.3ポイント減少している。また、1歳1か月から2歳までの計は39.8%から49.3%と9.5ポイント増加している。

【母親（平成30年）】



【母親（平成25年）】



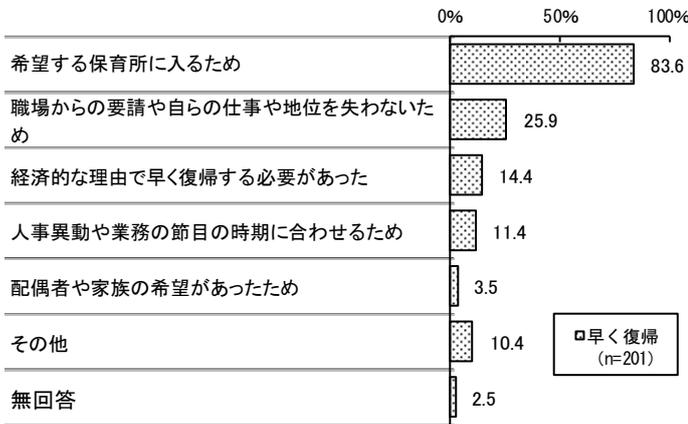
④母親－希望時期より早く職場復帰した理由／遅く職場復帰した理由

〔就学前児童:問 25-6〕

希望より早く復帰した人にその理由を尋ねたところ、母親では「希望する保育所に入るため」が83.6%と最も多くなっている。反対に、希望より遅く復帰した人にその理由を尋ねたところ、「希望する保育所に入れなかったため」が57.1%と最も多く、保育所の入所状況が職場復帰に影響している様子が見える。

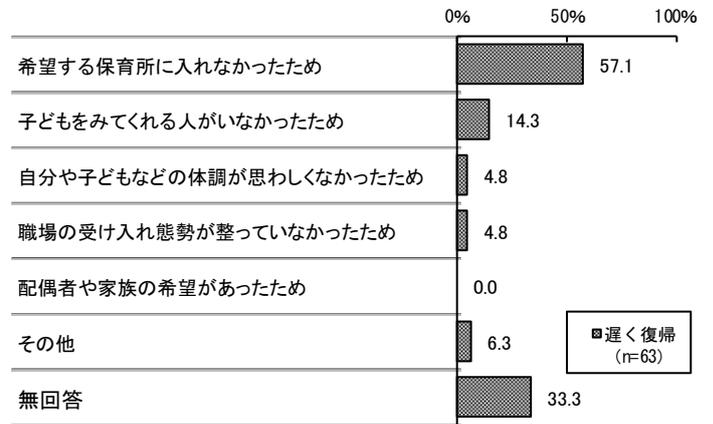
希望より早く職場復帰した理由

【育児休業取得かつ希望より早く職場復帰した人】



希望より遅く職場復帰した理由

【育児休業取得かつ希望より遅く職場復帰した人】



(4) 短時間勤務制度の利用状況

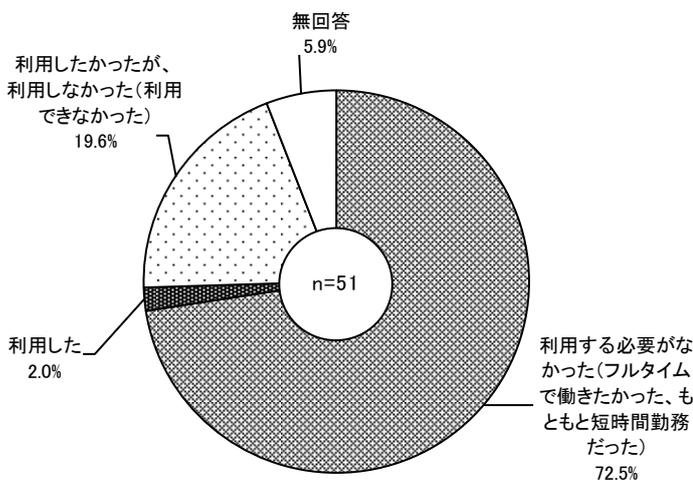
①【育児休業職場復帰者】短時間勤務制度の利用状況

〔就学前児童:問 25-7〕

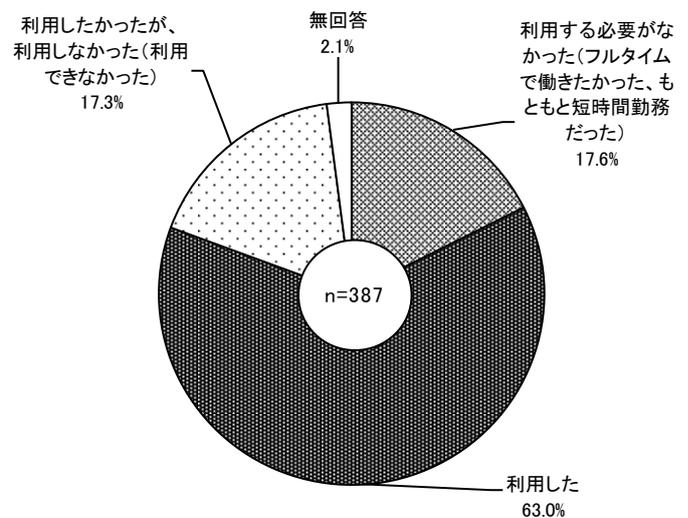
育児休業後、職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況については、母親では「利用した」が63.0%と6割以上となっている。「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」と「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」がそれぞれ1割半ばとなっている。

父親では、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が7割以上となっている。

父親



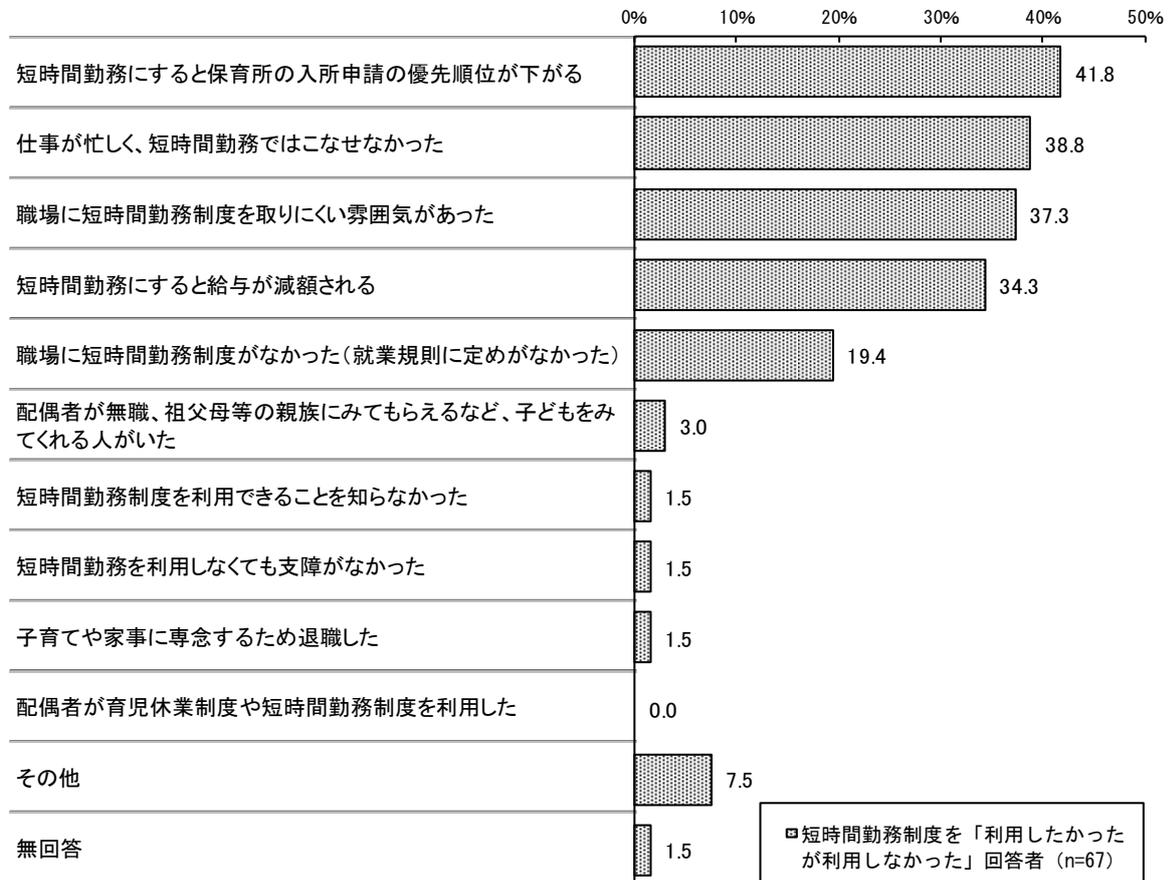
母親



②母親－【短時間勤務制度を「利用したかったが利用しなかった」人】短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

〔就学前児童:問 25-8〕

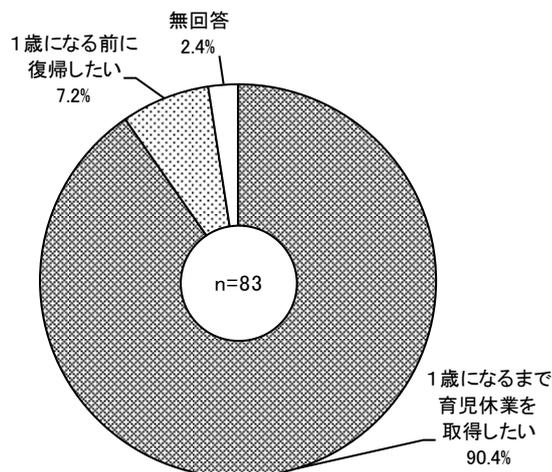
短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した人にその理由を尋ねたところ、母親では「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が41.8%と最も多く、次いで「仕事が忙しく、短時間勤務ではこなせなかった」が38.8%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が37.3%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が34.3%となっている。



(5) 母親－【現在育児休暇中の人】1歳時に預け先が確保されている場合の職場復帰時期の希望

〔就学前児童:問 25-9〕

現在も育児休業中と回答した人に、1歳時に預け先が確保されている場合の職場復帰の時期の希望について尋ねたところ、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.4%、「1歳になる前に復帰したい」が7.2%となっている。



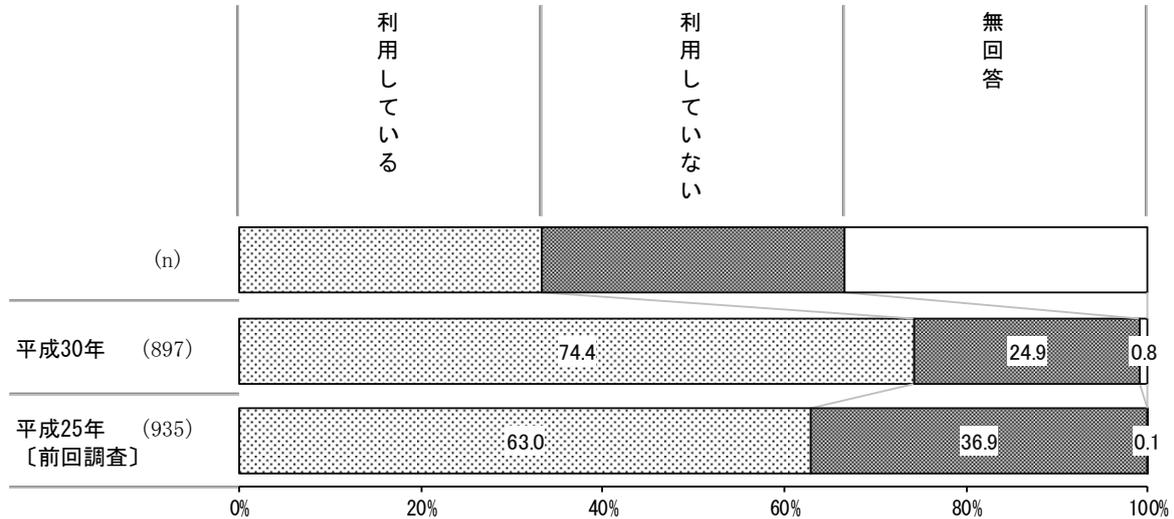
5. 教育・保育事業について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

〔就学前児童：問11〕

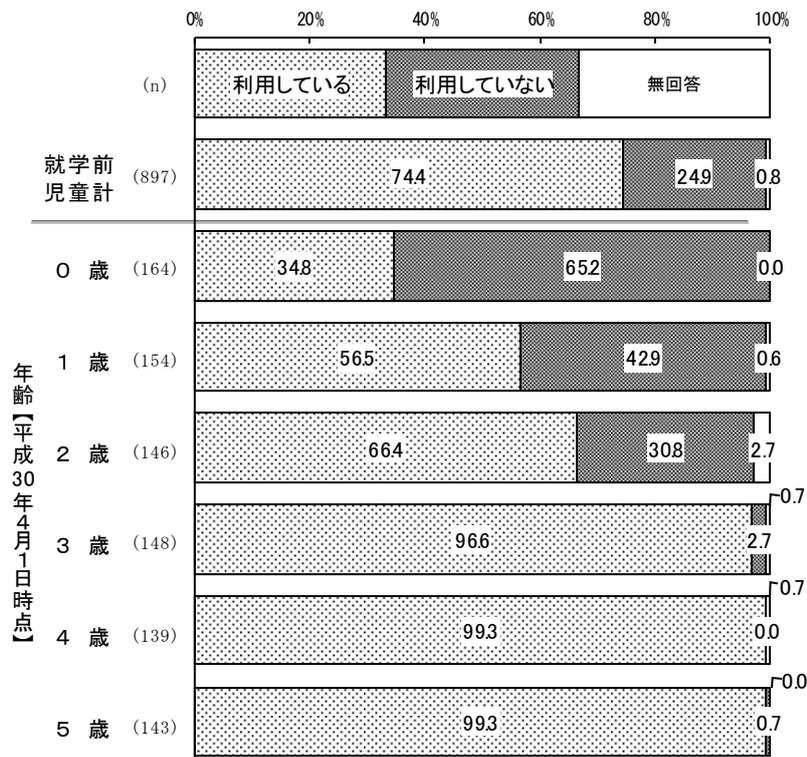
①利用の有無

就学前児童の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が74.4%、「利用していない」は24.9%となっており、平成25年の調査結果より、「利用している」が10ポイント以上増加している。



《 定期的な教育・保育事業の利用状況—子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、「利用している」は0歳では34.8%、1歳は56.5%、2歳は66.4%と年齢が上がるにつれて利用者の割合も多くなっている。3歳以降は保育園等に加え幼稚園も含まれるため、9割半ばから後半に達している。

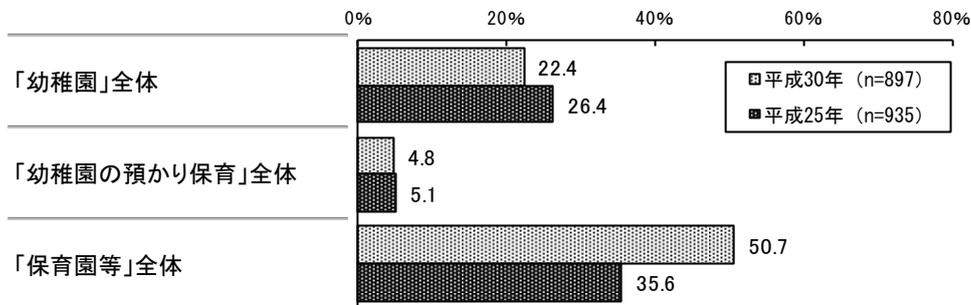


②定期的に利用している教育・保育事業（複数回答）

〔就学前児童：問 11-1〕

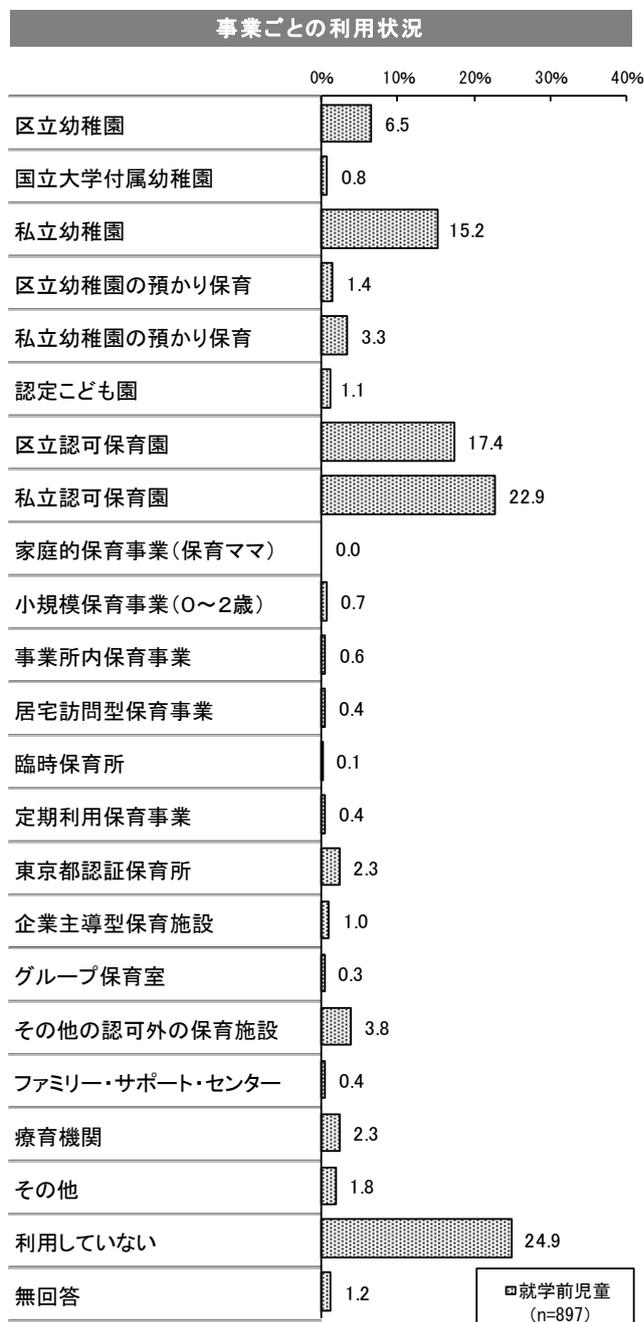
定期的に利用している教育・保育事業については、「幼稚園」全体で 22.4%、「幼稚園の預かり保育」全体で 4.8%、「保育園等」全体で 50.7%となっている。平成 25 年の調査結果と比較すると、「保育園等」全体は 15.1 ポイント増加しており、保育園の環境が向上している状況がうかがえる。

事業ごとの利用状況を見ると、「私立認可保育園」が 22.9%で最も多く、平成 25 年の調査結果から増加している。



※「全体」は下記の対象事業のいずれか1つ以上選択した者の割合

	いずれかを利用
「幼稚園」全体	区立幼稚園 国立大学付属幼稚園 私立幼稚園
「幼稚園の預かり保育」全体	区立幼稚園の預かり保育 私立幼稚園の預かり保育
「保育園等」全体	認定こども園 区立認可保育園 私立認可保育園 家庭的保育事業(保育ママ) 小規模保育事業(0~2歳) 事業所内保育事業 居宅訪問型保育事業 臨時保育所 定期利用保育事業 東京都認証保育所 企業主導型保育施設 グループ保育室 その他の認可外の保育施設



《 定期的に利用している教育・保育事業—子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、「保育園等」全体は0歳で34.1%、1歳から4歳では50%を超え、利用者が比較的多くなっている。「幼稚園」全体は5歳で57.3%と多くなっている。

保育園のうち、私立認可保育園は0歳で15.2%、1歳で25.3%、2歳で28.8%、3歳で31.1%と、0歳から3歳まで年齢が上がるにつれて利用率が上昇している。

また、「幼稚園の預かり保育」全体は3歳、4歳、5歳と年齢が上がるにつれて利用率が上昇し、5歳では1割を超えている。

		(%)					
	就学前 児童 計 (n)	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)	(143)
区立幼稚園	6.5	0.0	0.0	0.0	3.4	15.1	22.4
国立大学付属幼稚園	0.8	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	2.1
私立幼稚園	15.2	0.0	0.0	0.0	31.8	28.1	32.9
「幼稚園」全体	22.4	0.0	0.0	0.0	36.5	44.6	57.3
区立幼稚園の預かり保育	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	3.6	4.9
私立幼稚園の預かり保育	3.3	0.0	0.0	0.0	7.4	5.0	8.4
「幼稚園の預かり保育」全体	4.8	0.0	0.0	0.0	8.1	8.6	13.3
認定こども園	1.1	0.0	0.6	0.0	1.4	2.2	2.8
区立認可保育園	17.4	5.5	11.7	21.9	22.3	25.9	19.6
私立認可保育園	22.9	15.2	25.3	28.8	31.1	22.3	15.4
家庭的保育事業(保育ママ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模保育事業(0~2歳)	0.7	0.6	1.3	2.1	0.0	0.0	0.0
事業所内保育事業	0.6	1.2	1.3	0.7	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育事業	0.4	1.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7
臨時保育所	0.1	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
定期利用保育事業	0.4	0.0	1.9	0.7	0.0	0.0	0.0
東京都認証保育所	2.3	3.0	6.5	2.7	0.7	0.7	0.0
企業主導型保育施設	1.0	2.4	1.3	1.4	0.7	0.0	0.0
グループ保育室	0.3	0.0	0.6	0.7	0.7	0.0	0.0
その他の認可外の保育施設	3.8	6.1	3.9	4.8	2.7	2.9	2.1
「保育園等」全体	50.7	34.1	55.2	63.7	59.5	54.0	40.6
ファミリー・サポート・センター	0.4	0.0	0.0	1.4	0.7	0.7	0.0
療育機関	2.3	0.0	1.9	0.0	4.7	5.0	2.8
その他	1.8	0.0	1.3	1.4	2.7	2.9	2.8
無回答	1.2	0.6	0.6	4.8	0.7	0.7	0.0
利用していない	24.9	65.2	42.9	30.8	2.7	0.0	0.7

※「全体」は対象事業のいずれか1つ以上を選択した者の割合

(2) 定期的に利用している教育・保育事業の利用日数／利用時間

①【定期的な教育・保育事業利用者】定期的な教育・保育事業の利用日数・希望日数／利用時間・希望時間

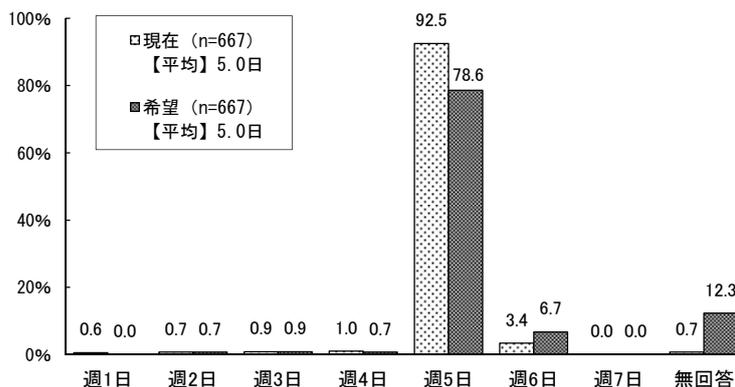
〔就学前児童:問 11-2 (1) (2)〕

定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数は、現在は「週5日」が92.5%となっている。希望は「週5日」が78.6%、「週6日」が6.7%となっている。1日当たりの利用時間は、現在は「9～10時間」が48.0%、「5～6時間」が22.2%となっている。

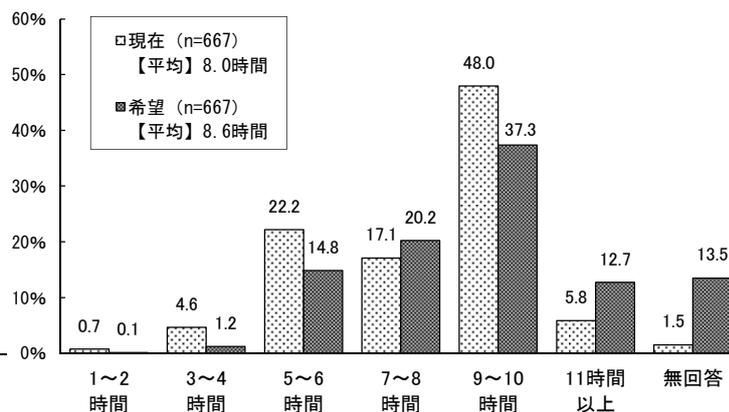
希望については「5～6時間」と「9～10時間」が現在と比べて少なくなるのに対し「7～8時間」と「11時間以上」が増えている。

平均利用時間は現在の8.0時間に対し、希望は8.6時間と、平均約0.6時間の増加希望となっている。

1週当たりの利用日数



1日当たりの利用時間



②【定期的な教育・保育事業利用者】定期的な教育・保育事業の利用開始時間・希望開始時間／

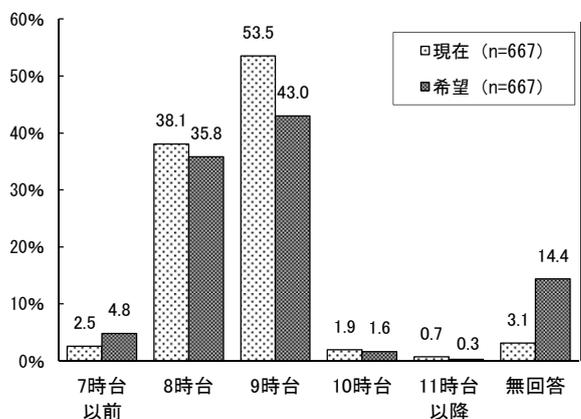
終了時間・希望終了時間

〔就学前児童:問 11-2 (1) (2)〕

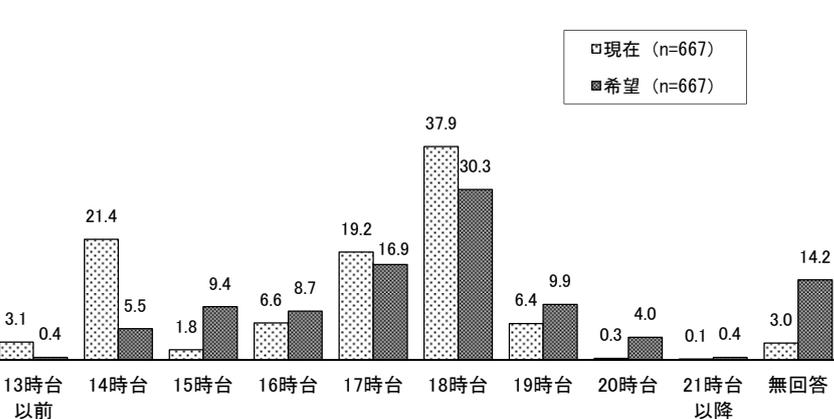
定期的な教育・保育事業の利用開始時間は、現在は「9時台」が53.5%と半数以上を占め、「8時台」が38.1%となっている。希望についても現在と同様「9時台」が最も多くなっている。

終了時間は、現在は「18時台」が37.9%、「14時台」が21.4%となっている。希望についても現在と同様「18時台」が最も多く、比較的に時間帯が分散している傾向がみられる。

開始時間

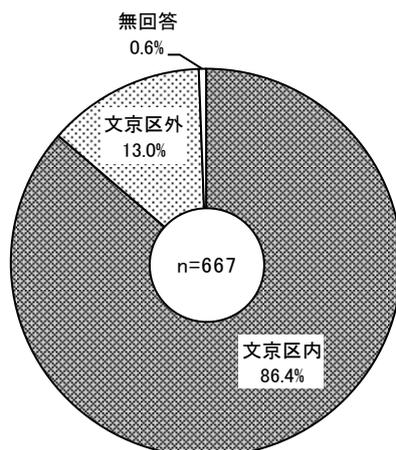


終了時間



(3) 【定期的な教育・保育事業利用者】定期的に利用している教育・保育事業の所在地〔就学前児童：問 11-3〕

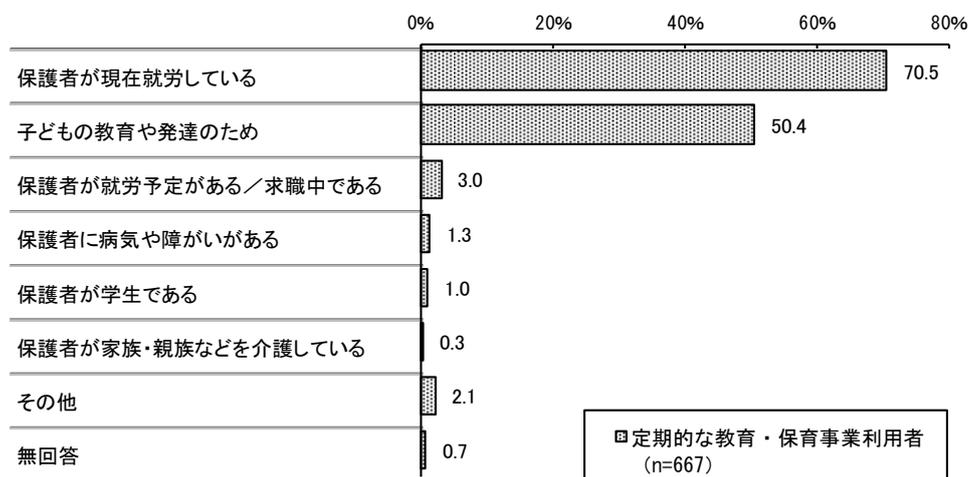
利用している定期的な教育・保育事業の所在地は、「文京区内」が 86.4%、「文京区外」が 13.0%となっている。



(4) 【定期的な教育・保育事業利用者】定期的な教育・保育事業を利用している理由（複数回答）

〔就学前児童：問 11-4〕

定期的な教育・保育事業を利用している理由については、「保護者が就労している」が 70.5%、「子どもの教育や発達のため」が 50.4%とこの 2 項目が中心となっている。



《 定期的な教育・保育事業を利用している理由—子どもの年齢別 《

子どもの年齢別にみると、0歳～2歳では「保護者が就労している」が 90%前後と最も多く、3歳～5歳では「子どもの教育や発達のため」が 60%前後で年齢が上がるにつれて多くなっている。

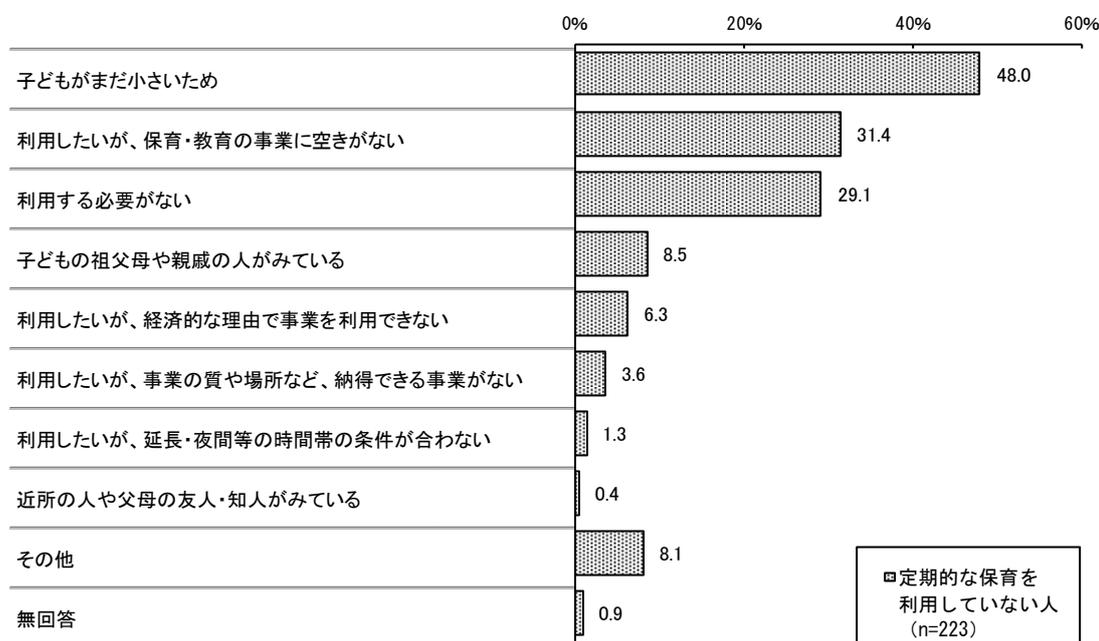
	就学前児童計 (n)	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
保護者が現在就労している	70.5	93.0	89.7	91.8	65.0	57.2	54.9
子どもの教育や発達のため	50.4	19.3	32.2	34.0	58.0	60.9	67.6
保護者が就労予定がある／求職中である	3.0	7.0	4.6	5.2	1.4	1.4	2.1
保護者に病気や障がいがある	1.3	0.0	0.0	4.1	1.4	1.4	0.7
保護者が学生である	1.0	1.8	1.1	2.1	0.7	0.7	0.7
保護者が家族・親族などを介護している	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7
その他	2.1	1.8	1.1	4.1	2.1	2.2	1.4
無回答	0.7	0.0	1.1	1.0	0.7	0.0	0.0

(5) 【定期的な教育・保育事業を利用していない人】 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

(複数回答)

〔就学前児童：問 11-5〕

定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が 48.0%と最も多く、次いで「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 31.4%、「利用する必要がない」が 29.1%となっている。



《 定期的な教育・保育事業を利用していない理由—子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、「子どもがまだ小さいため」は、年齢が低い0歳、2歳で5割を超え多くなっている。主に待機児童にあると想定される「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」は、0歳が 35.5%、1歳が 33.3%、2歳が 20.0%となっている。

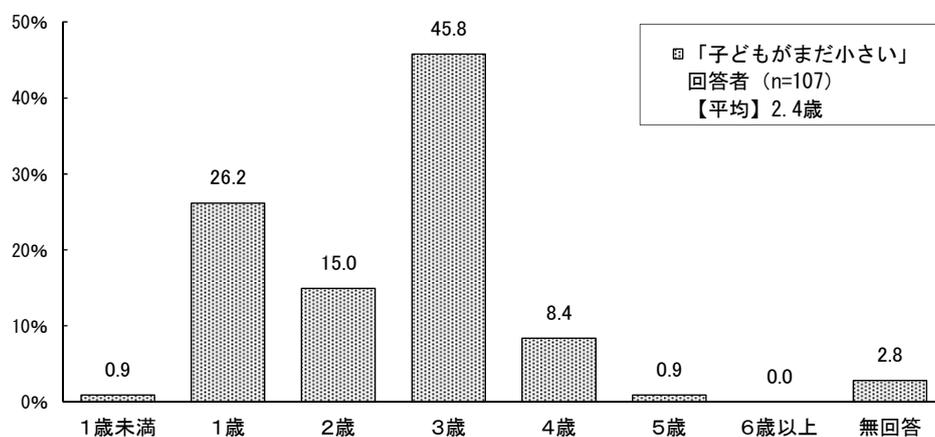
	就学前児童計	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
(n)	(223)	(107)	(66)	(45)	(4)	(0)	(1)
子どもがまだ小さいため	48.0	58.9	31.8	51.1	0.0	0.0	0.0
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	31.4	35.5	33.3	20.0	25.0	0.0	0.0
利用する必要がない	29.1	16.8	42.4	37.8	25.0	0.0	100.0
子どもの祖父母や親戚の人がみている	8.5	3.7	12.1	13.3	25.0	0.0	0.0
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	6.3	0.9	7.6	15.6	25.0	0.0	0.0
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	3.6	3.7	4.5	2.2	0.0	0.0	0.0
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1.3	0.9	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の人や父母の友人・知人がみている	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.1	4.7	12.1	8.9	25.0	0.0	0.0
無回答	0.9	0.9	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0

(6) 【定期的な教育・保育事業を利用しない理由「子どもがまだ小さいため」回答者】

定期的な教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢

〔就学前児童：問 11-5〕

定期的な教育・保育事業を利用していない理由について「子どもがまだ小さいため」と回答した人に、利用を希望する子どもの年齢を尋ねたところ、「3歳」が45.8%と最も多く、次いで「1歳」が26.2%、「2歳」が15.0%となっている。

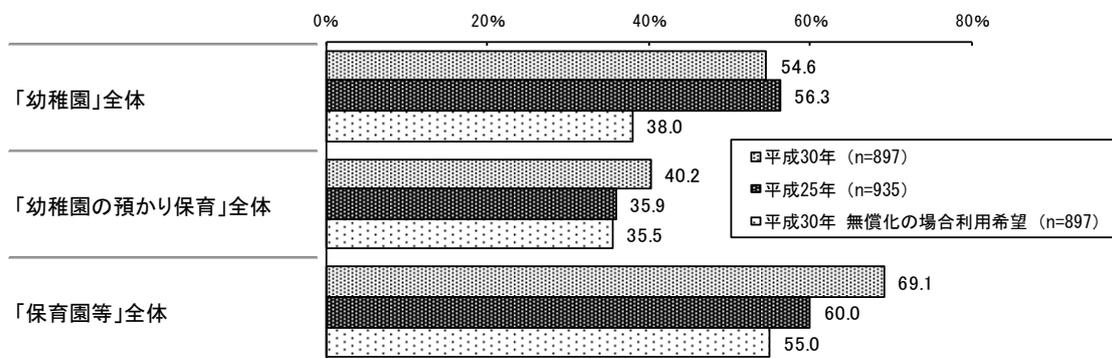


(7) 今後利用したい定期的な教育・保育事業（複数回答）

〔就学前児童：問12〕

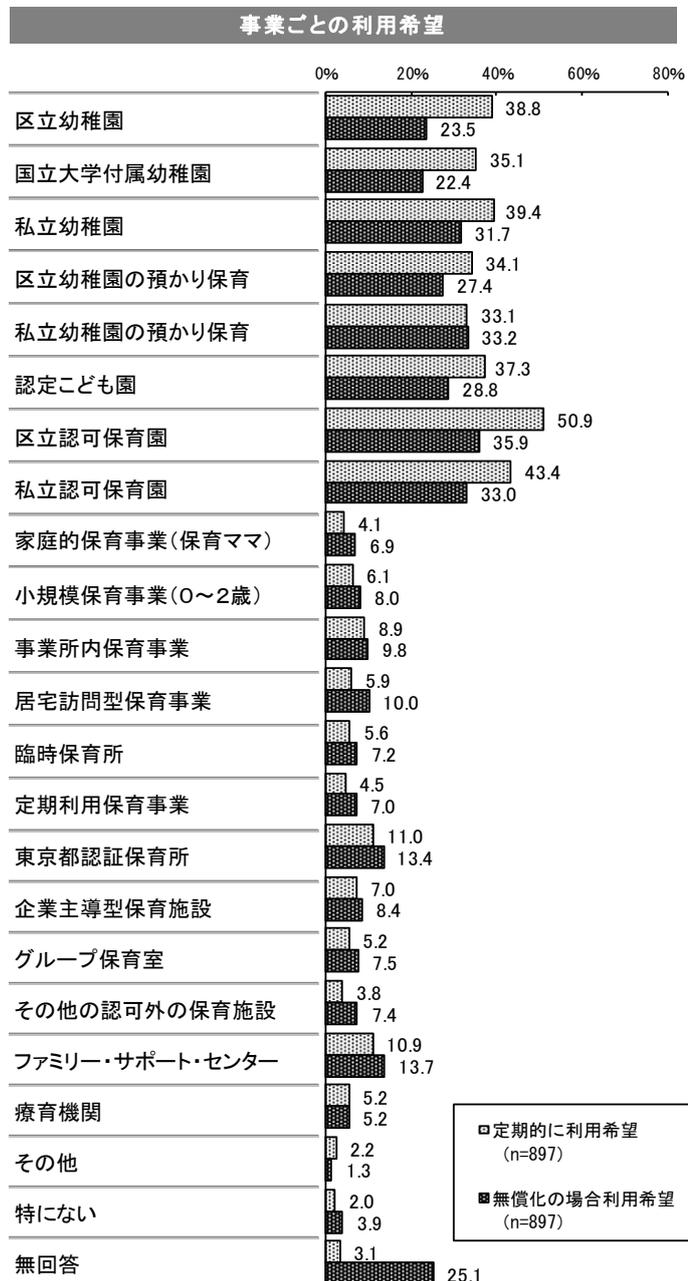
今後利用したい定期的な教育・保育事業については、定期的な利用では「幼稚園」全体で54.6%、「幼稚園の預かり保育」全体で40.2%、「保育園等」全体で69.1%となっている。平成25年の調査結果と比較すると、「幼稚園」全体は1.7ポイント減少し、「幼稚園の預かり保育」全体は4.3ポイント、「保育園等」全体は9.1ポイント増加している。

幼児教育の無償化が実施された場合の利用希望は、「幼稚園」全体、「幼稚園の預かり保育」全体、「保育園等」全体ともに減少している。



※「全体」は下記の対象事業のいずれか1つ以上選択した者の割合

	いずれかを利用
「幼稚園」全体	区立幼稚園
	国立大学付属幼稚園
	私立幼稚園
「幼稚園の預かり保育」全体	区立幼稚園の預かり保育
	私立幼稚園の預かり保育
「保育園等」全体	認定こども園
	区立認可保育園
	私立認可保育園
	家庭的保育事業(保育ママ)
	小規模保育事業(0~2歳)
	事業所内保育事業
	居宅訪問型保育事業
	臨時保育所
	定期利用保育事業
	東京都認証保育所
	企業主導型保育施設
	グループ保育室
	その他の認可外の保育施設



《 今後利用したい定期的な教育・保育事業—子どもの年齢別 《

子どもの年齢別にみると、「保育園等」全体は0歳が85.4%、1歳が77.9%、2歳が76.0%と7割を超え、年齢が低いほど希望する割合が多くなっている。

「幼稚園」全体は4歳を除くすべての年齢で50%を超えているものの、「保育園等」全体の利用意向の割合を下回っている。

「区立認可保育園」「私立認可保育園」は0歳で多く、それぞれ72.0%、68.3%となっている。

(%)

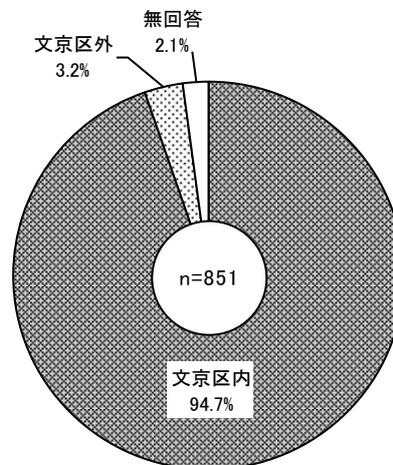
	就学前 児童 計 (n)	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)	(143)
区立幼稚園	38.8	46.3	44.8	41.1	37.2	25.2	36.4
国立大学付属幼稚園	35.1	41.5	42.9	35.6	36.5	20.1	31.5
私立幼稚園	39.4	37.2	42.2	43.2	41.9	35.3	36.4
「幼稚園」全体	54.6	51.2	54.5	57.5	56.8	48.9	58.7
区立幼稚園の預かり保育	34.1	40.2	44.2	34.2	32.4	20.1	31.5
私立幼稚園の預かり保育	33.1	32.3	42.2	34.2	36.5	20.1	32.2
「幼稚園の預かり保育」全体	40.2	42.7	47.4	39.7	41.2	28.1	41.3
認定こども園	37.3	49.4	50.0	42.5	31.8	23.7	23.8
区立認可保育園	50.9	72.0	57.8	52.7	50.0	40.3	29.4
私立認可保育園	43.4	68.3	51.3	43.8	38.5	30.9	23.8
家庭的保育事業(保育ママ)	4.1	7.3	2.6	4.8	3.4	2.9	3.5
小規模保育事業(0~2歳)	6.1	15.9	5.8	2.1	6.1	1.4	3.5
事業所内保育事業	8.9	15.9	9.7	6.8	8.1	5.0	6.3
居宅訪問型保育事業	5.9	9.1	5.2	4.8	5.4	3.6	7.0
臨時保育所	5.6	13.4	5.2	4.1	4.7	1.4	3.5
定期利用保育事業	4.5	7.9	4.5	4.1	4.7	0.7	4.2
東京都認証保育所	11.0	28.0	11.0	6.8	8.1	5.8	4.2
企業主導型保育施設	7.0	15.2	7.8	6.2	6.1	1.4	4.2
グループ保育室	5.2	9.8	7.1	2.7	6.8	1.4	2.1
その他の認可外の保育施設	3.8	6.1	2.6	5.5	3.4	2.2	2.8
「保育園等」全体	69.1	85.4	77.9	76.0	67.6	58.3	46.9
ファミリー・サポート・センター	10.9	7.9	9.7	11.0	15.5	12.2	9.8
療育機関	5.2	3.0	3.9	2.7	8.8	6.5	7.0
その他	2.2	1.2	1.9	4.1	2.0	3.6	0.7
無回答	3.1	0.6	5.2	2.7	4.1	3.6	2.8
特になし	2.0	1.2	0.6	2.7	1.4	3.6	2.1

※「全体」は対象事業のいずれか1つ以上を選択した者の割合

(8) 【定期的な教育・保育事業の利用希望者】 利用したい定期的な教育・保育事業の所在地

〔就学前児童：問 12-1〕

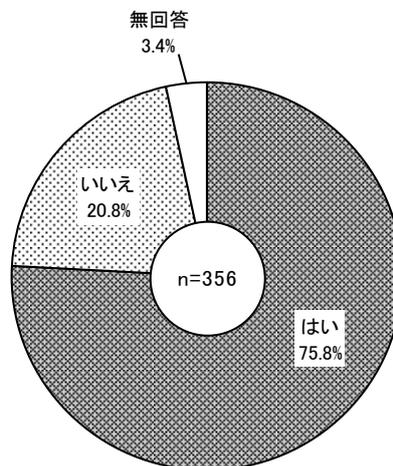
利用したい定期的な教育・保育事業の所在地については、「文京区内」が 94.7%、「文京区外」が 3.2%となっている。



(9) 【幼稚園と保育園の両方の利用希望者】 幼稚園の利用希望

〔就学前児童：問 12-2〕

幼稚園と幼稚園の預かり保育、保育園等の両方を希望する方に、特に幼稚園の利用を希望するかどうかについて尋ねたところ、「はい」が 75.8%と多くなっている。

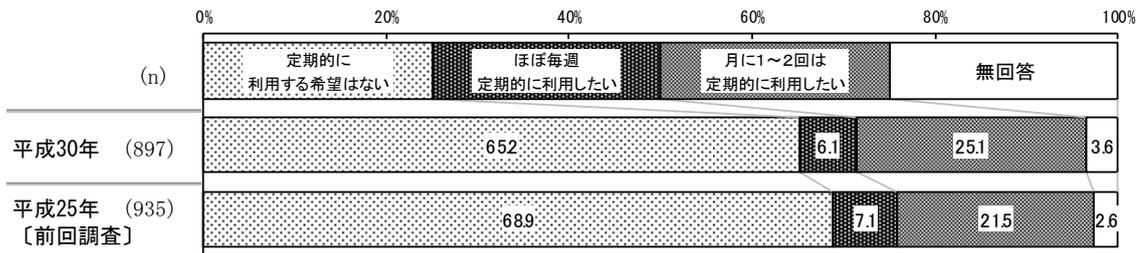


(10) 土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

①土曜日の利用希望

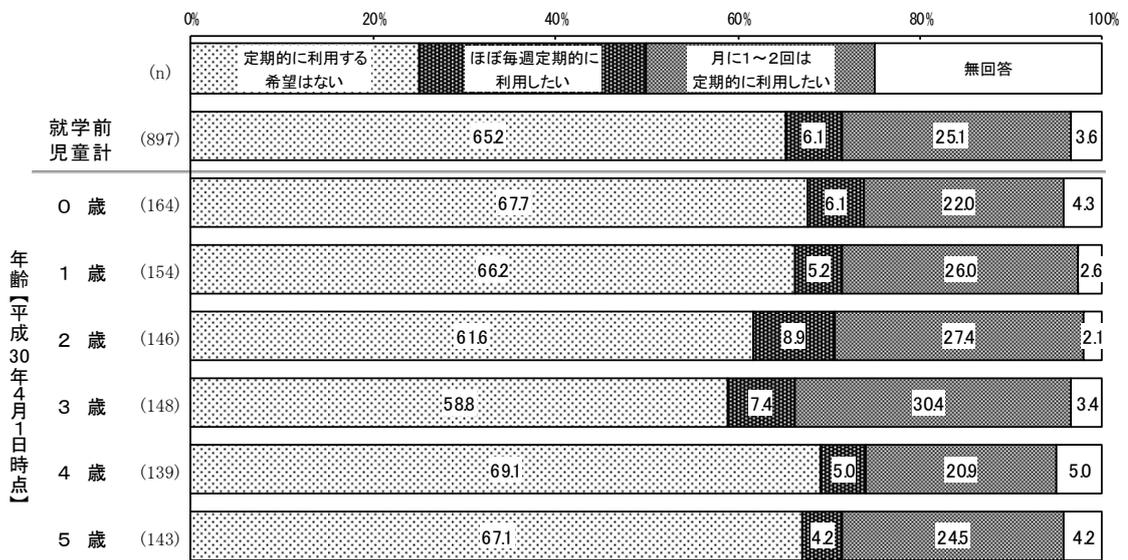
〔就学前児童：問 13 (1)〕

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週定期的に利用したい」が6.1%、「月に1～2回は定期的にご利用したい」が25.1%と、利用希望の計は31.2%となっており、平成25年の調査結果と比較すると、2.6ポイント増加している。



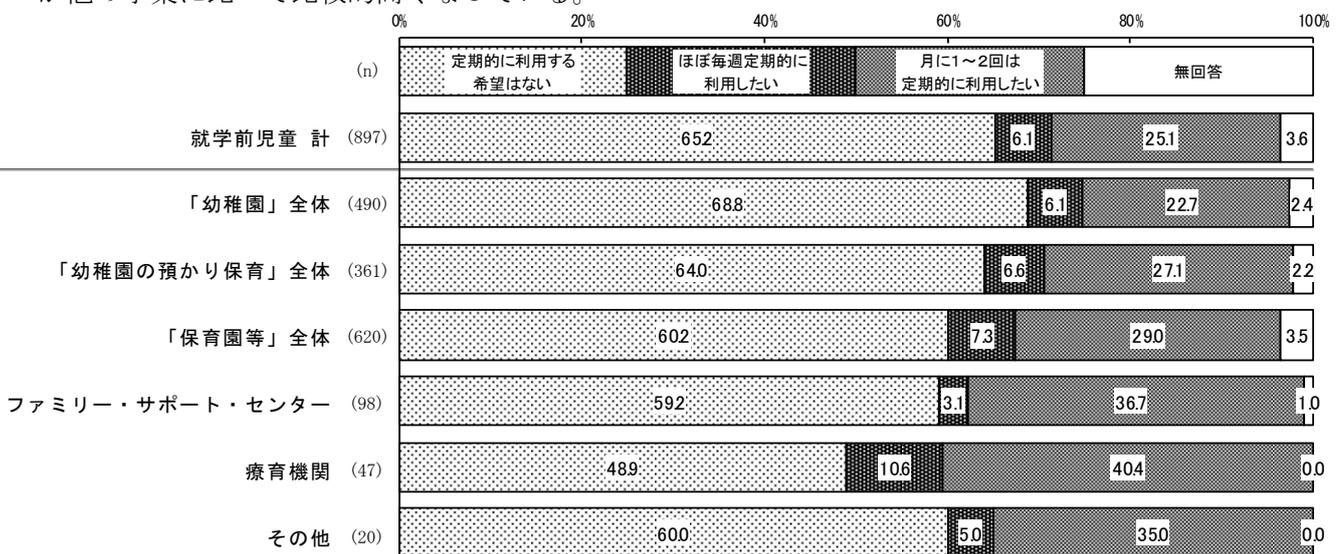
《 土曜日の利用希望—子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、「ほぼ毎週定期的に利用したい」と「月に1～2回は定期的にご利用したい」の利用希望の計は、1歳、2歳、3歳で3割を超え、比較的多くなっている。



《 土曜日の利用希望—利用希望教育・保育事業別 》

利用を希望している教育・保育事業別にみると、保育園等の保育事業希望者は、幼稚園希望者と比べて土曜日の定期的な利用を希望する割合が多い傾向となっている。また、療育機関は「ほぼ毎週定期的に利用したい」が他の事業に比べて比較的高くなっている。

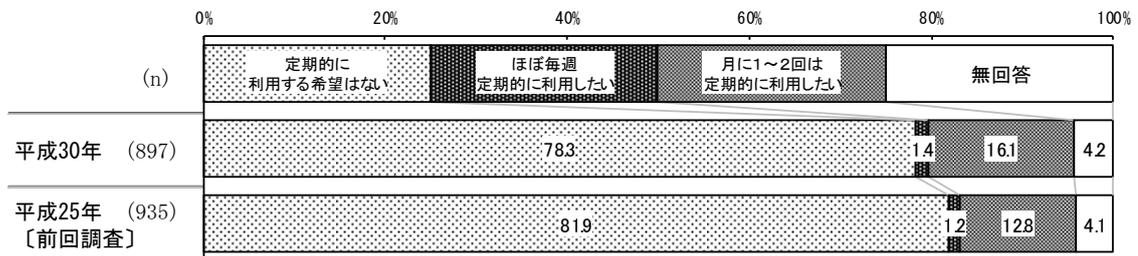


※「全体」対象事業はP39を参照

②日曜日・祝日の利用希望

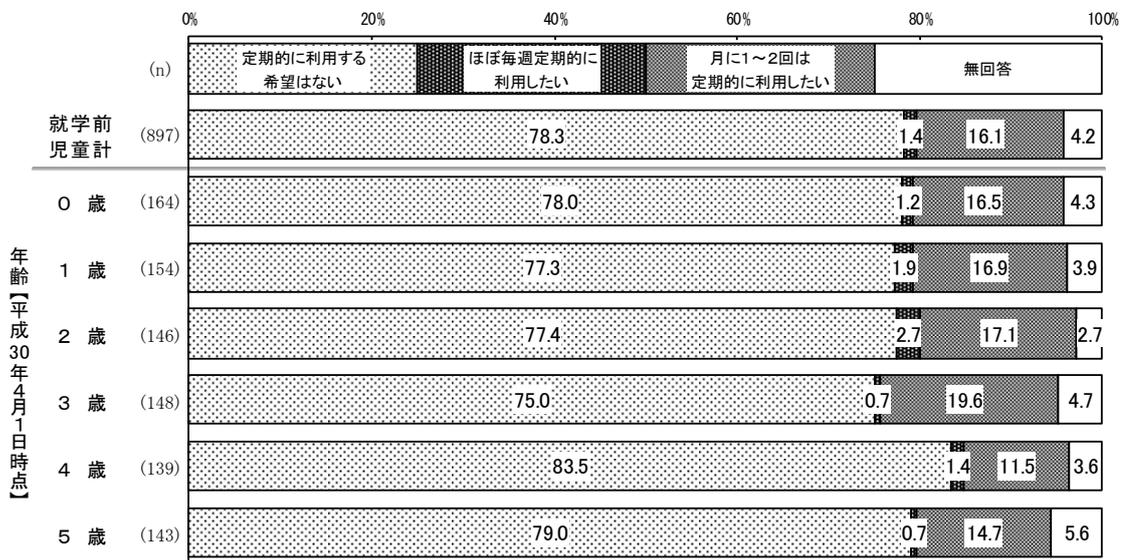
〔就学前児童：問 13 (2)〕

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週定期的に利用したい」が 1.4%、「月に1～2回は定期的利用したい」が 16.1%と、利用希望の計は 17.5%となっており、平成 25 年の調査結果と比較すると、3.5 ポイント増加している。また、前述の土曜日と比べて、利用を希望する割合は少なくなっている。



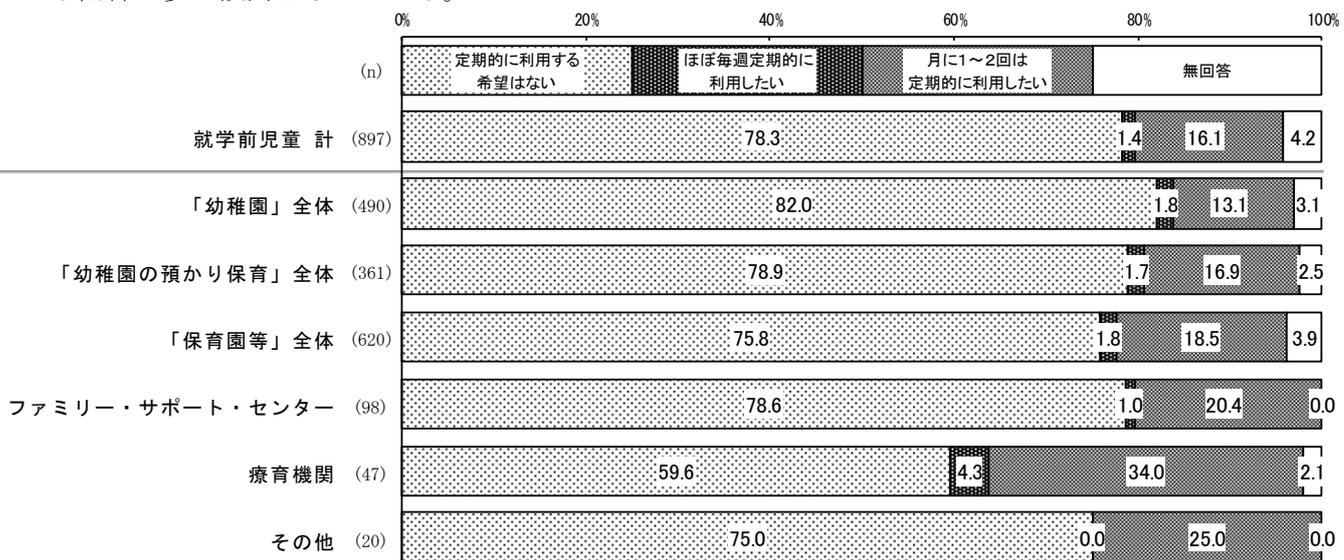
《 日曜日・祝日の利用希望—子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、前述の土曜日の定期的利用希望ほど年齢による特徴はみられず、「月に1～2回は定期的に利用したい」については、0歳～3歳で1割台半ばから後半となっている。



《 日曜日・祝日の利用希望—利用希望教育・保育事業別 》

利用を希望している教育・保育事業別にみると「ほぼ毎週定期的に利用したい」は「療育期間」希望者で 4% 台となっている。「月に1～2回は定期的利用したい」は「幼稚園」希望者に比べて「保育園等」希望者の方が多く、前述の土曜日と同様に、保育園等の保育事業希望者は、幼稚園希望者と比べて定期的な利用を希望する割合が多い傾向となっている。



※「全体」対象事業は P39 を参照

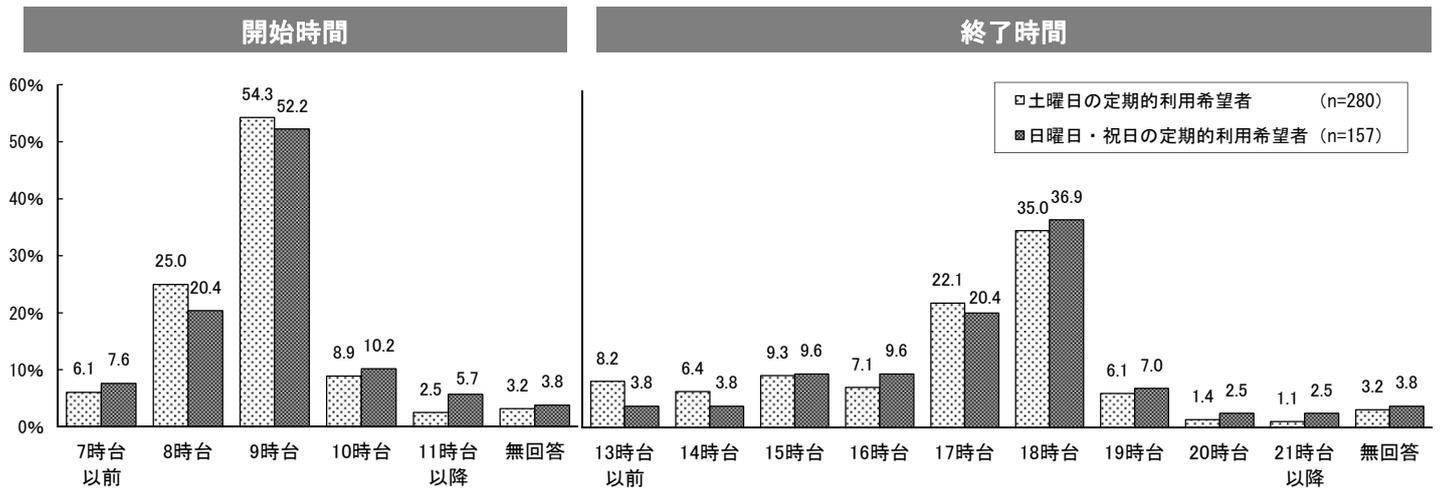
③【土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望者】土・日・祝日の利用を希望する開始時間／

終了時間

〔就学前児童：問 13 (1) (2)〕

土・日・祝日の定期的教育・保育事業の利用希望開始時間は、土曜日の利用希望者、日曜日・祝日の利用希望者ともに「9時台」が50%を超えて最も多く、次いで「8時台」となっている。

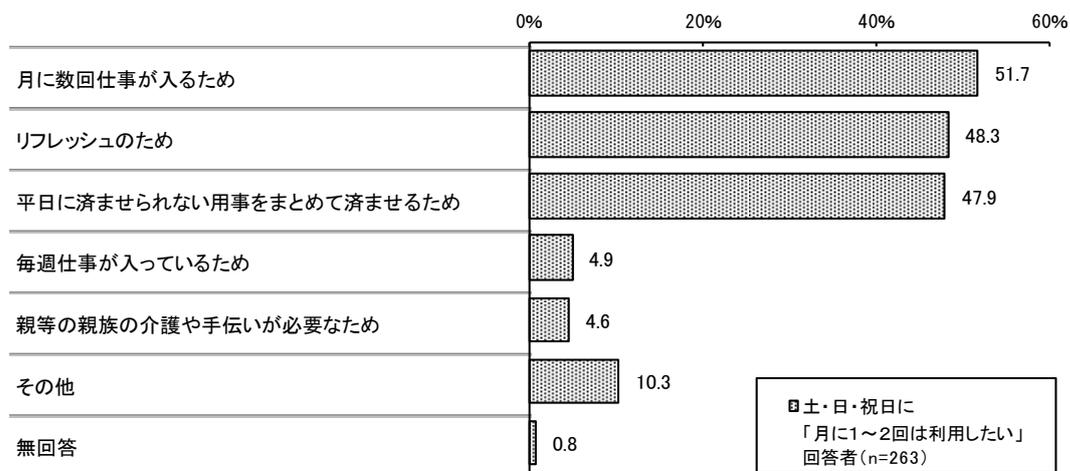
希望終了時間については、土曜日、日曜日・祝日希望者ともに「18時台」がそれぞれ35.0%、36.9%と最も多く、次いで「17時台」がそれぞれ22.1%、20.4%となっている。また、日曜日・祝日希望者は土曜日希望者に比べて、19時台以降の遅い時間帯を希望する傾向がみられる。



④【土・日・祝日に「月に1～2回は定期的に利用したい」回答者】土・日・祝日に月1～2回利用したい理由（複数回答）

〔就学前児童：問 13-1〕

土・日・祝日に「月に1～2回利用したい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「月に数回仕事が入るため」が51.7%と最も多く、次いで「リフレッシュのため」が48.3%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が47.9%となっている。

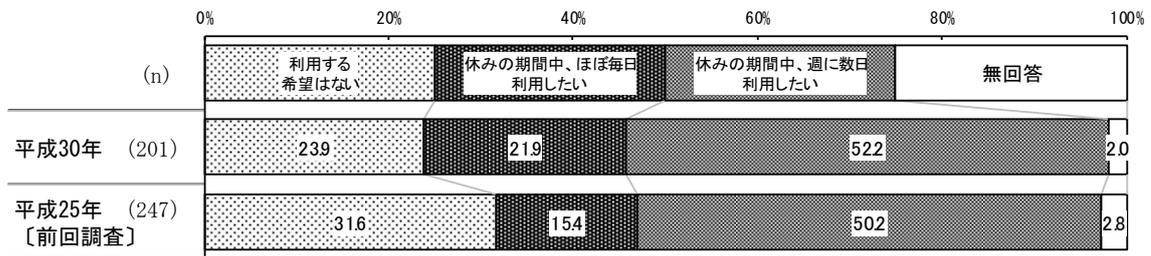


(11) 幼稚園の長期休暇期間中の定期的な利用希望

①【幼稚園利用者】幼稚園の長期休暇期間中の利用希望

〔就学前児童：問 14〕

現在幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期休暇中の定期的な利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 21.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 52.2%と、利用希望の計は 74.1%となっており、平成 25 年の調査結果と比較すると、8.5 ポイント増加している。

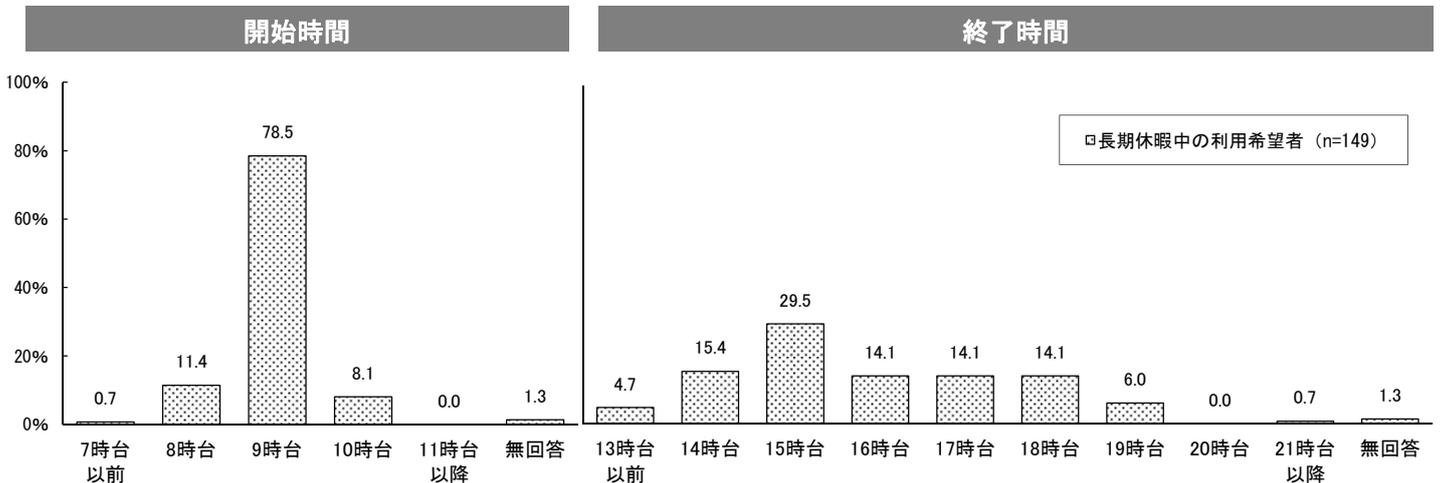


②【幼稚園の長期休暇中の定期的な利用希望者】幼稚園の長期休暇期間中の利用を希望する開始時間／終了時間

〔就学前児童：問 14〕

幼稚園の長期休暇期間中の定期的利用希望者の希望開始時間は、「9 時台」が 78.5%となっている。

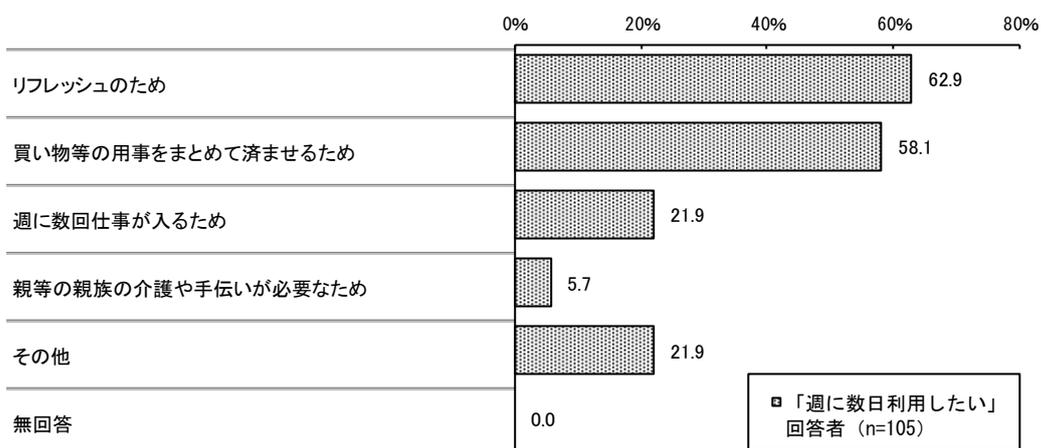
希望終了時間は、「15 時台」が 29.5%と最も多く、「14 時台」、「16 時台」、「17 時台」、「18 時台」が 15%前後で分散している。



③【幼稚園の長期休暇中に「週に数日利用したい」回答者】幼稚園の長期休暇期間中に週に数日利用したい理由（複数回答）

〔就学前児童：問 14-1〕

幼稚園の長期休暇期間中に「週に数日利用したい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「リフレッシュのため」が 62.9%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 58.1%、「週に数日仕事が入るため」が 21.9%となっている。

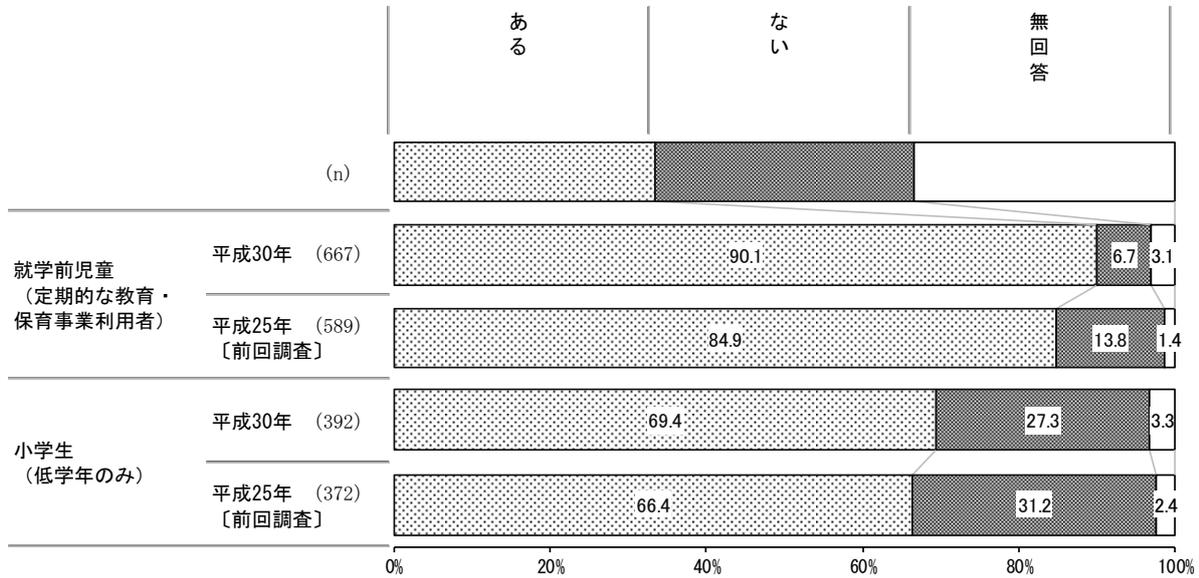


6. 病児・病後児保育について

(1) この1年間に子どもの病気やケガ等で保育園や学校を休んだ経験 〔就学前児童：問 15〕〔小学生：問 29〕

定期的な教育・保育事業を利用している就学前児童の保護者及び小学校低学年の保護者に、この1年間に子どもが病気やケガで保育園や学校を休んだことがあったかを尋ねたところ、「ある」と回答した人は就学前児童の保護者で90.1%、小学生低学年の保護者で69.4%となっている。

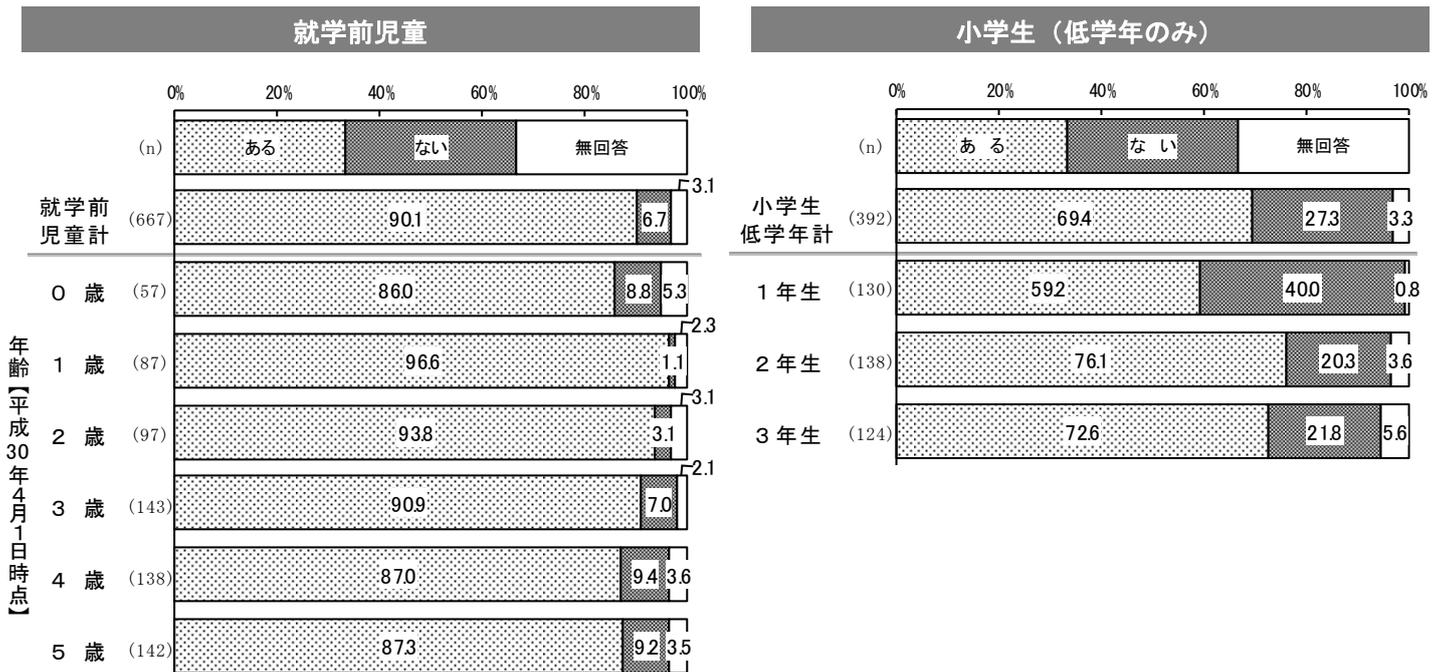
平成25年の調査結果と比較すると、就学前児童、小学生ともに、保育園や学校を休んだことが「ある」の割合が増加している。



《 この1年間に子どもの病気やケガ等で保育園や学校を休んだ経験—子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、「ある」の割合は、就学前児童では1歳が96.6%と最も多く、2歳が93.8%、3歳が90.9%となっており、4歳以降と比べて低年齢で多い傾向となっている。

小学生は、2年生76.1%、3年生72.6%、1年生59.2%の順に多くなっている。



(2) 子どもの病気やケガ等の際の対処

①【保育園や学校を休んだ経験がある人】子どもの病気やケガ等の際の対処方法（複数回答）

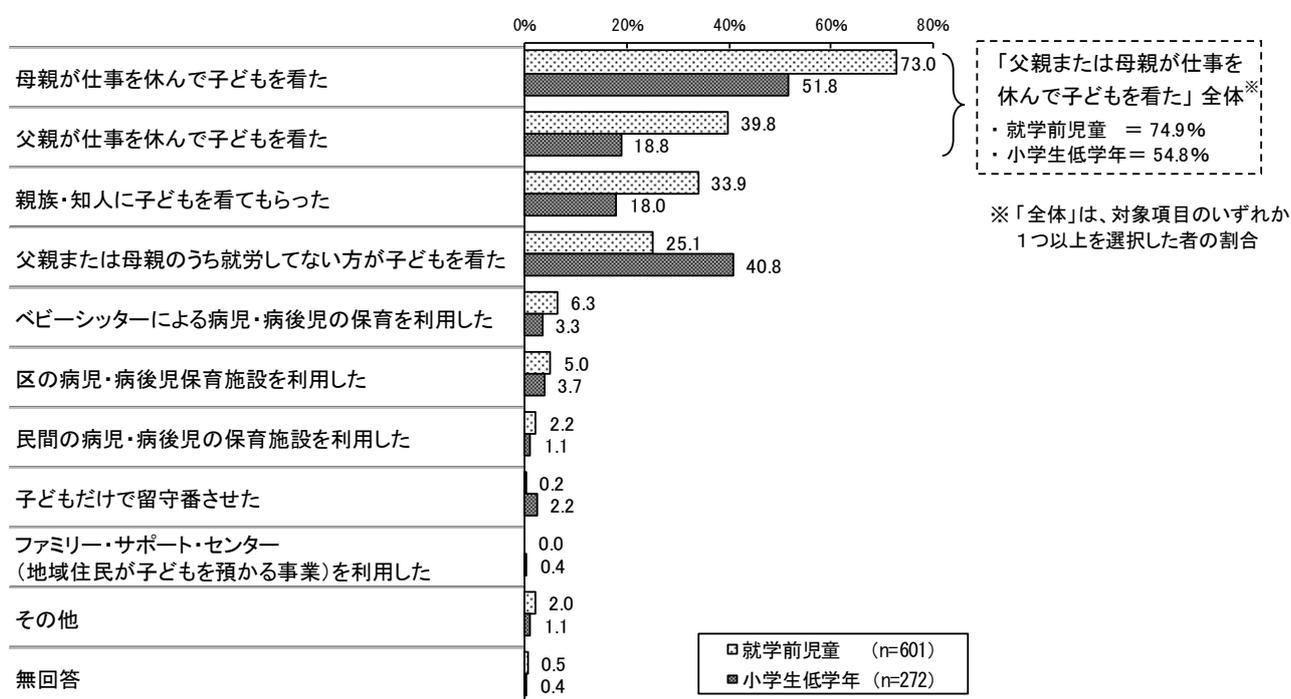
〔就学前児童：問 15-1〕〔小学生：問 29-1〕

この1年間に子どもの病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休んだ際の対処方法については、就学前児童の保護者は「母親が仕事を休んで子どもを見た」が73.0%と最も多く、「父親が仕事を休んで子どもを見た」「親族・知人に子どもを看てもらった」が30%台が続いている。

小学生低学年の保護者は「母親が仕事を休んで子どもを見た」が51.8%と最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」が40.8%となっている。

「父親または母親が仕事を休んで子どもを見た」全体では、就学前児童の保護者が74.9%、小学生低学年の保護者が54.8%と、就学前児童の保護者の方が多くなっている。

また、「区の病児・病後児保育施設を利用した」は就学前児童の保護者が5.0%、小学生低学年の保護者が3.7%となっている。



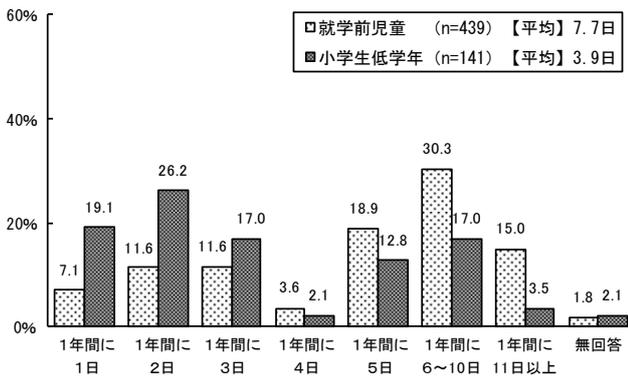
②【病気やケガ等で対処した人】子どもの病気やケガ等の際の対処方法別の日数

〔就学前児童：問 15-1〕〔小学生：問 29-1〕

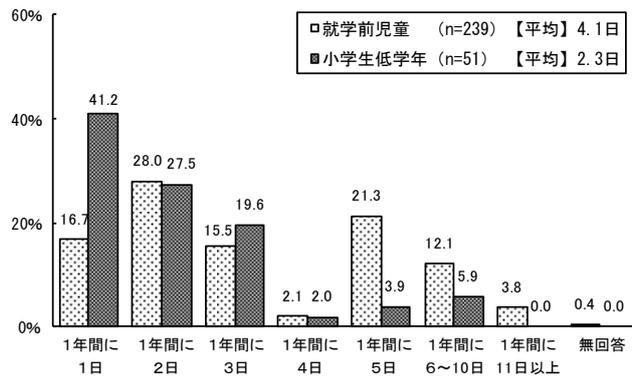
子どもの病気やケガ等の際の対処方法について、1年間の日数をみると、平均日数は、就学前児童の保護者は、父親または母親のうち就労してない方が子どもを見た（8.7日）、母親が仕事を休んで子どもを見た（7.7日）、親族・知人に子どもを看てもらった（6.7日）の順となっている。

小学生の保護者も就学前児童と上位2項目は同順に多く、父親または母親のうち就労してない方が子どもを見た（4.1日）、母親が仕事を休んで子どもを見た（3.9日）となっており、次いで、区の病児・病後児保育施設を利用した（3.6日）が3番目に多い項目となっている。

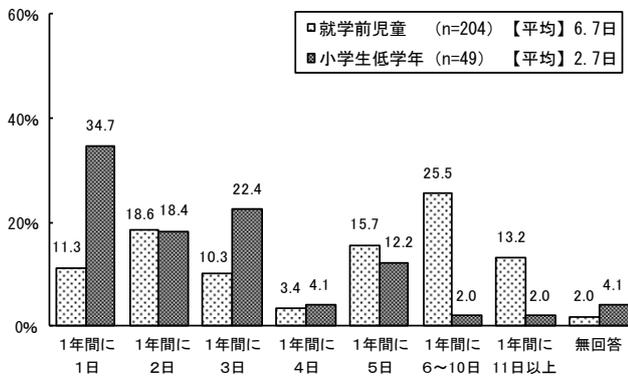
■母親が仕事を休んで子どもを見た



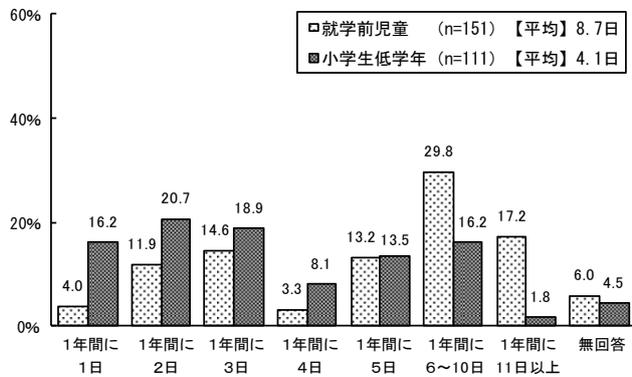
■父親が仕事を休んで子どもを見た



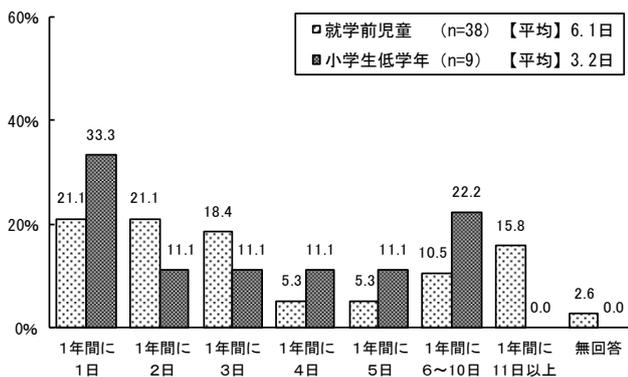
■親族・知人に子どもを看てもらった



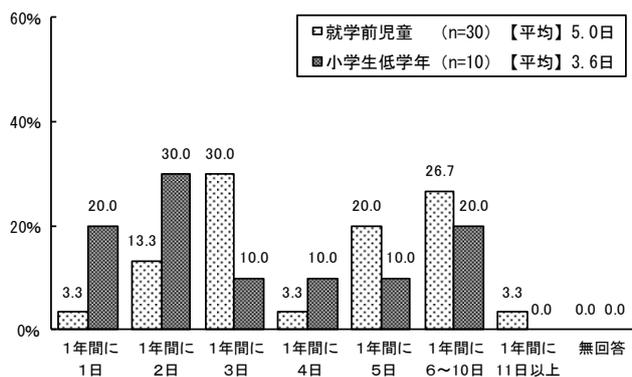
■父親または母親のうち就労してない方が子どもを見た



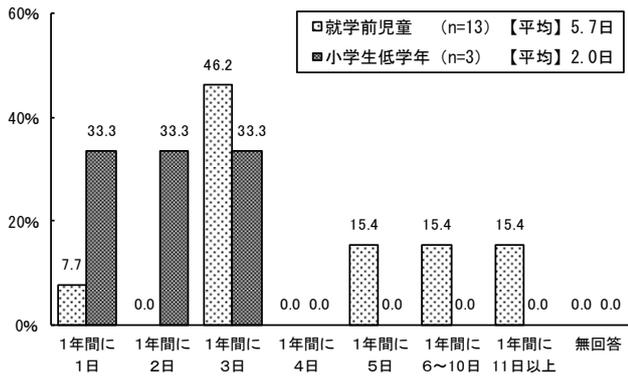
■ベビーシッターによる病児・病後児の保育を利用した



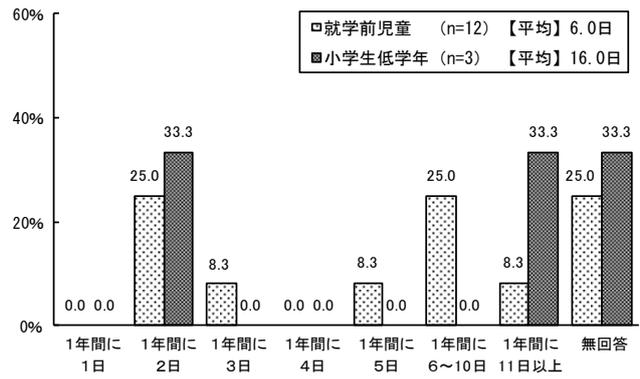
■区の病児・病後児保育施設を利用した



■ 民間の病児・病後児の保育施設を利用した



■ その他



※「子どもだけで留守番させた」「ファミリー・サポート・センターを利用した」は回答数が少ないため作図せず。

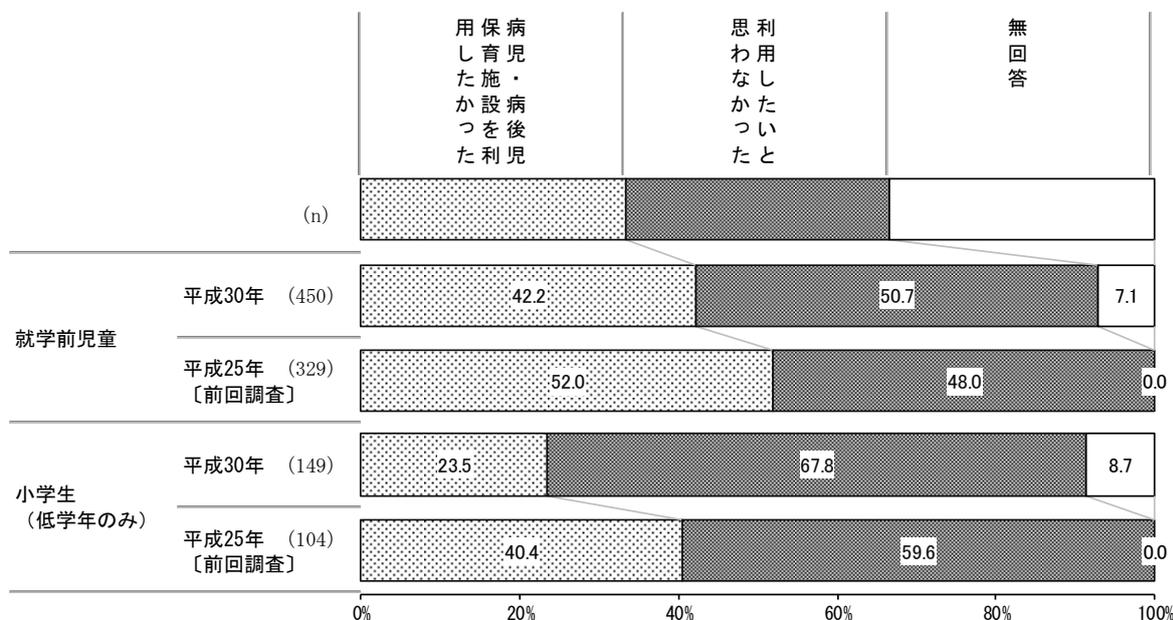
(3) 病児・病後児保育施設の利用希望

①【父親または母親が仕事を休んで子どもを見た人】病児・病後児保育施設の利用希望

〔就学前児童：問 15-2〕〔小学生：問 29-2〕

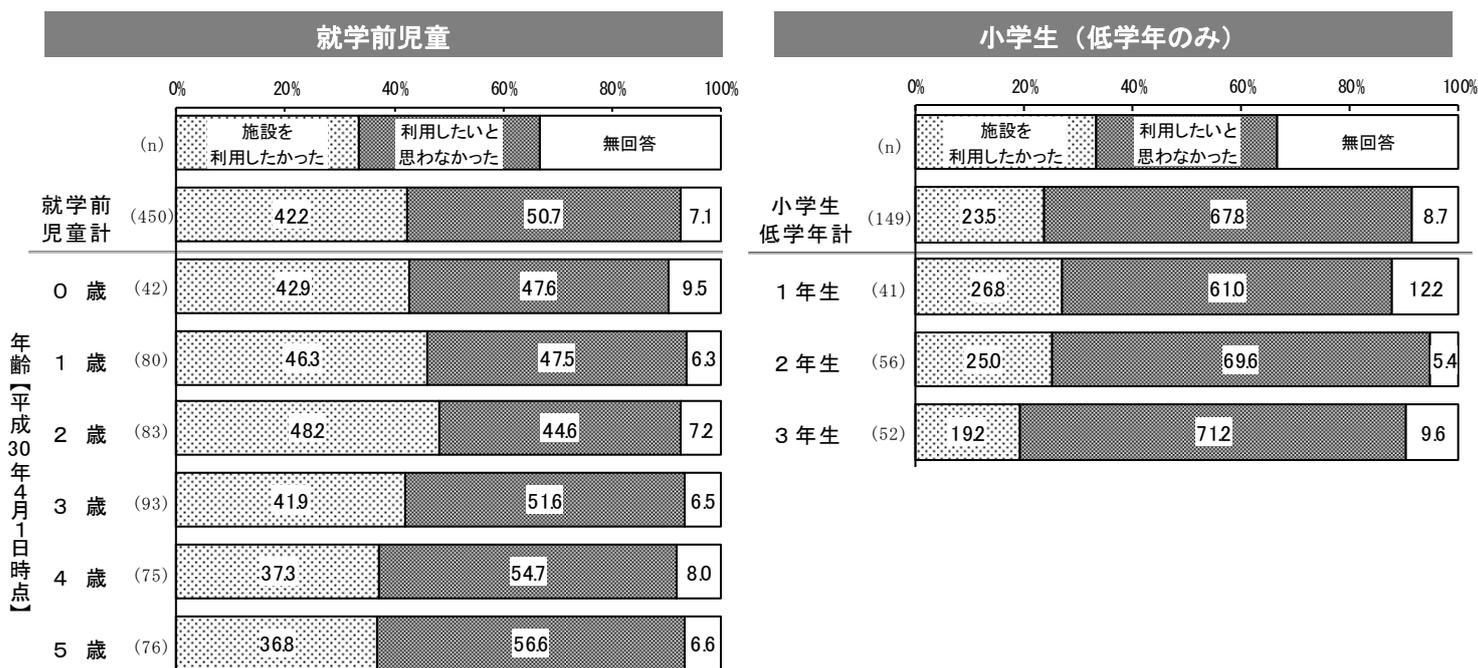
父親または母親が「仕事を休んで子どもを見た」と回答した人の病児・病後児保育施設の利用希望の割合は、就学前児童の保護者は 42.2%、小学生低学年の保護者は 23.5%となっている。

平成 25 年の調査結果と比較すると、病児・病後児保育施設の利用希望の割合はともに減少しており、就学前児童の保護者で 9.8 ポイント、小学生低学年の保護者で 16.9 ポイント減少している。



《 病児・病後児保育施設の利用希望—子どもの年齢/学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、利用希望の割合は、就学前児童は0歳～3歳で4割台となっており、4歳以降と比べて多くなっている。小学生は、1年生が 26.8%、2年生が 25.0%、3年生が 19.2%と学年が低いほど利用希望の割合が多い傾向となっている。

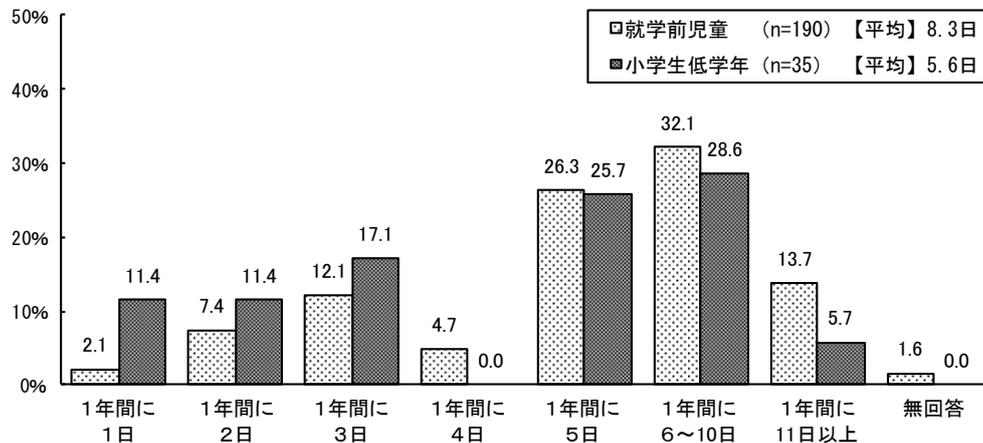


②【病児・病後児保育施設の利用希望者】病児・病後児保育施設の1年間の利用希望日数

〔就学前児童：問 15-2〕〔小学生：問 29-2〕

病児・病後児保育施設の利用希望者の1年間の利用希望日数については、就学前児童の保護者は「1年間に6～10日」が32.1%、「1年間に5日」が26.3%と、平均日数は8.3日となっている。

小学生の保護者は「1年間に6～10日」が28.6%、「1年間に5日」が25.7%と、平均日数は5.6日となっており、就学前児童の保護者の方が平均2.7日程度多くなっている。

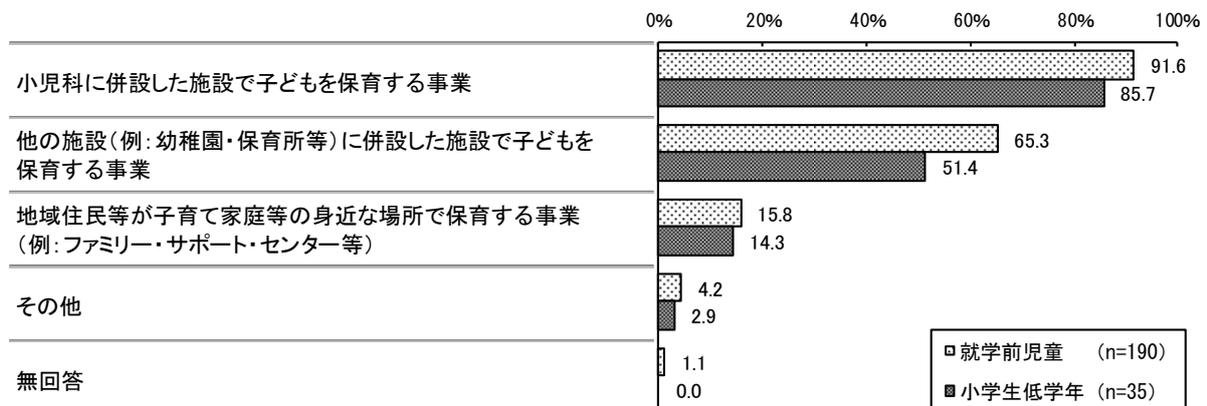


(4)【病児・病後児保育施設の利用希望者】病児・病後児保育施設を利用する際に希望する事業形態

(複数回答)

〔就学前児童：問 15-3〕〔小学生：問 29-3〕

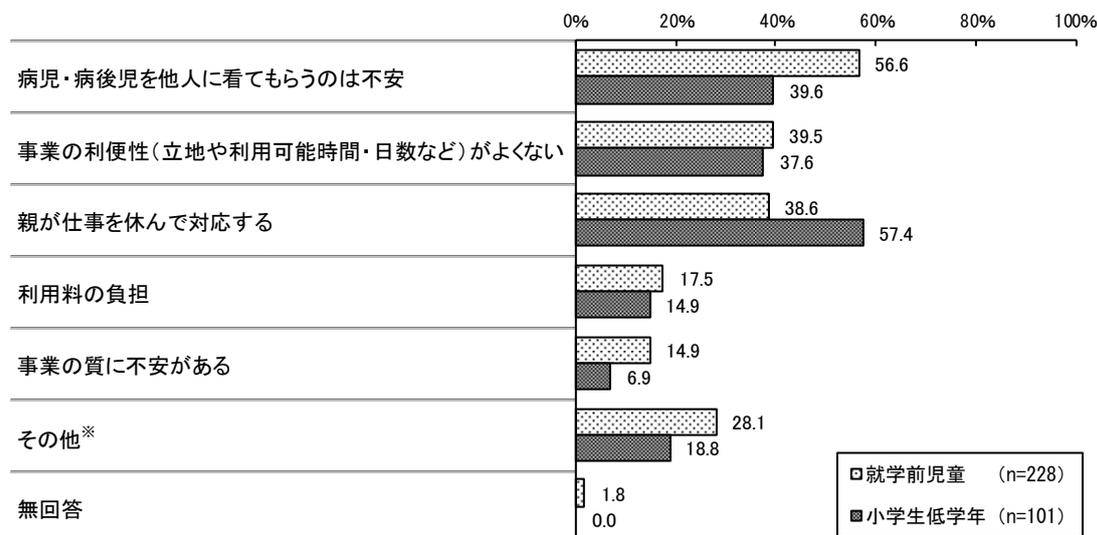
病児・病後児保育施設を利用する際に希望する事業形態については、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が90%前後で最も多く、次いで「他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が就学前児童の保護者が65.3%、小学生の保護者が51.4%となっている。



(5) 【病児・病後児保育施設の利用を希望しない人】病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった理由
(複数回答) [就学前児童：問 15-4] [小学生：問 29-4]

病児・病後児保育施設を「利用したいと思わなかった」と回答した人にその理由を尋ねたところ、就学前児童の保護者は「病児・病後児を他人に看てもらふのは不安」が56.6%と最も多く、次いで「事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」が39.5%となっている。

小学生の保護者は「親が仕事を休んで対応する」が57.4%と最も多く、就学前児童と比較して18.8ポイント多くなっている。次いで「病児・病後児を他人に看てもらふのは不安」が39.6%となっており、就学前児童に比べて少なくなっている。



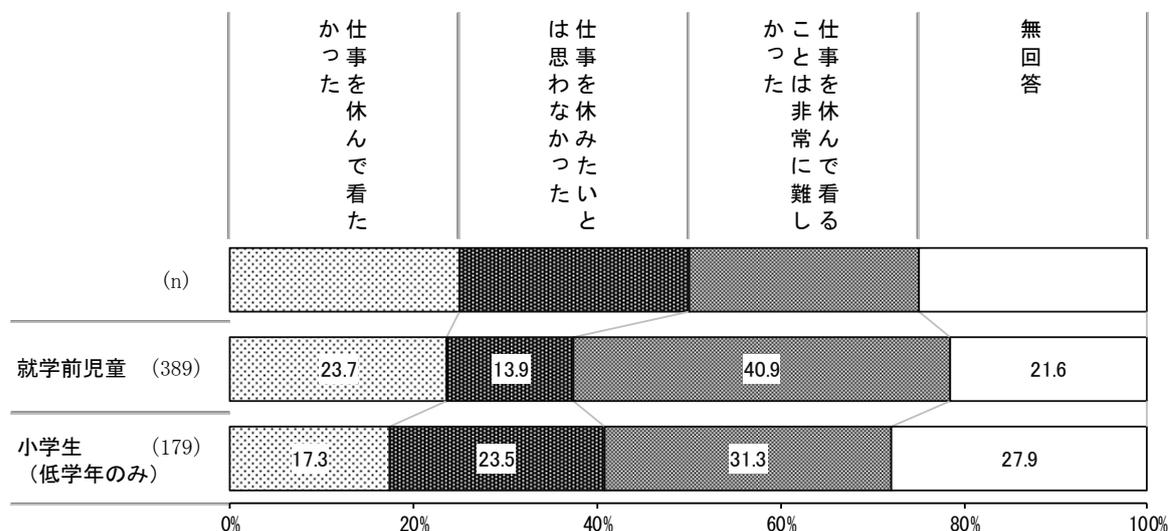
※その他：環境に馴染めないと思う、準備が負担(手続き、昼食)、空気がないと思う、他の病気が心配など

(6) 仕事を休んでの看護

① 【「父親または母親が仕事を休んで子どもを見た」以外の人】仕事を休んでの看護希望

[就学前児童：問 15-5] [小学生：問 29-5]

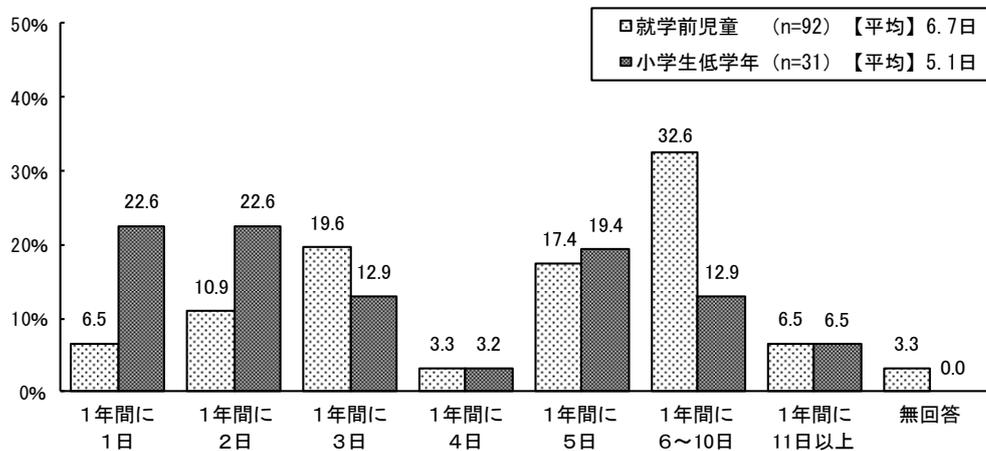
父親または母親が仕事を休む以外の対処方法を行った際の、仕事を休んでの看護希望については、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「仕事を休んで看することは非常に難しかった」が最も多く、それぞれ40.9%、31.3%となっている。「仕事を休んで看たかった」は、就学前児童の保護者は23.7%、小学生の保護者は17.3%と就学前児童の保護者の方が多くなっている。



②【仕事を休んで見たかった人】1年間に保護者が仕事を休んで看護したかった日数

〔就学前児童：問 15-5〕〔小学生：問 29-5〕

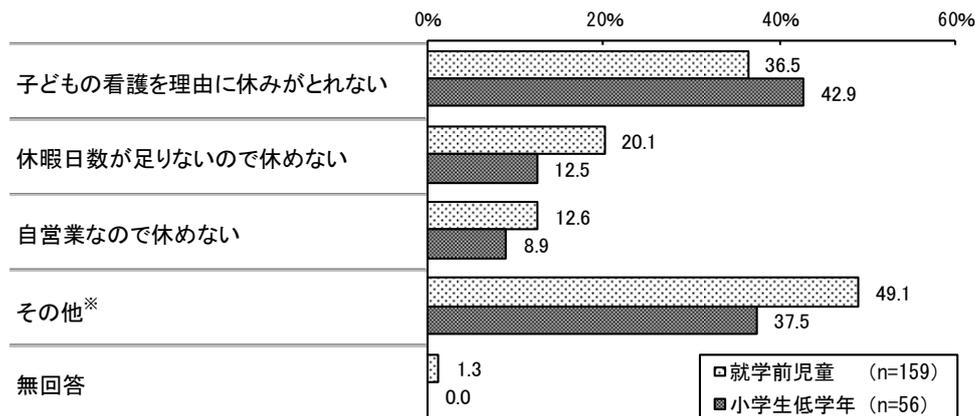
父親または母親が「仕事を休んで見たかった」と回答した人にその1年間の日数を尋ねたところ、就学前児童の保護者は「6～10日」が32.6%と最も多く、平均6.7日、小学生の保護者は「1日」「3日」がともに22.6%と最も多く、平均5.1日となっており、就学前児童の保護者の方が平均1.6日程度多くなっている。



③【仕事を休んで看することは非常に難しかった人】子どもの看護のために仕事を休めない理由（複数回答）

〔就学前児童：問 15-6〕〔小学生：問 29-6〕

子どもの病気やケガの際、「仕事を休んで子どもを見ることは非常に難しかった」と回答した人にその理由を尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「子どもの看護を理由に休みがとれない」が30%半ばから40%前半で最も多くなっている。



※その他：どうしても外せない仕事や繁忙期のため休めない、休むと周囲に迷惑がかかる、評価が下がる
連続して休めないなど

7. 一時預かり保育について

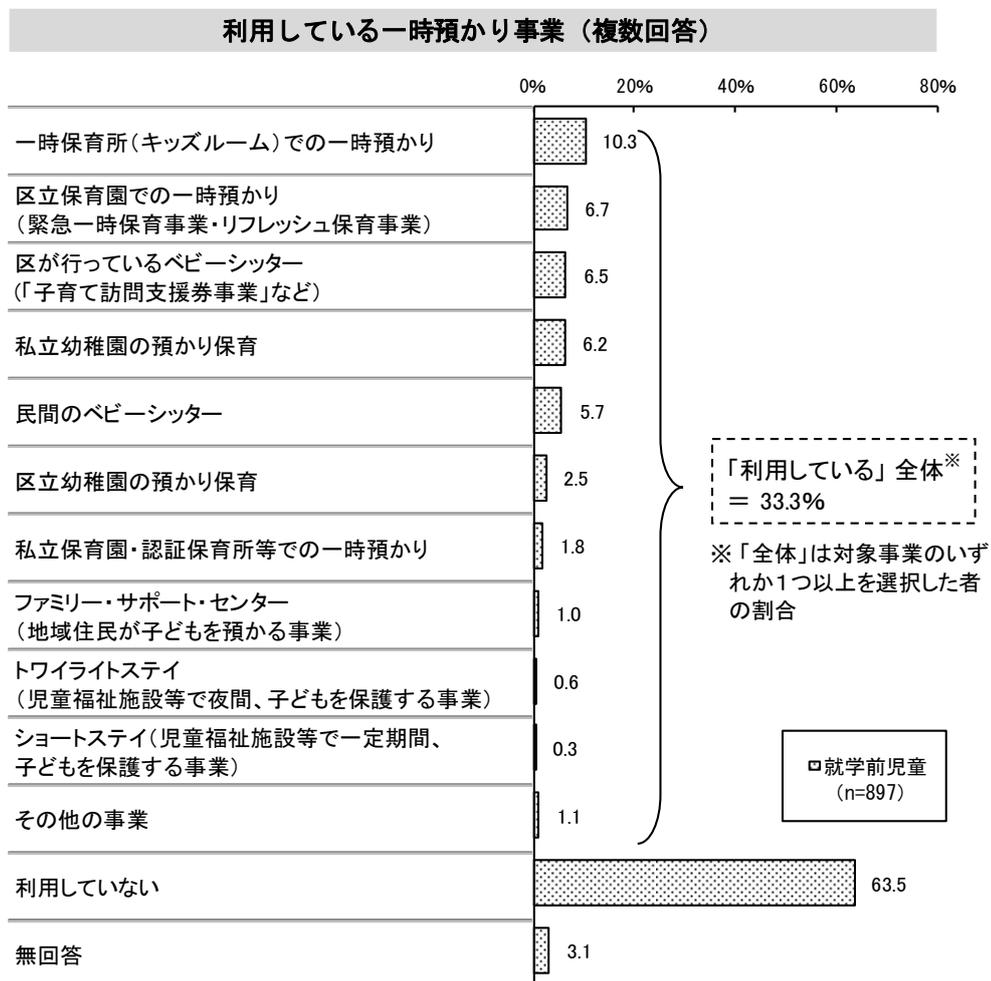
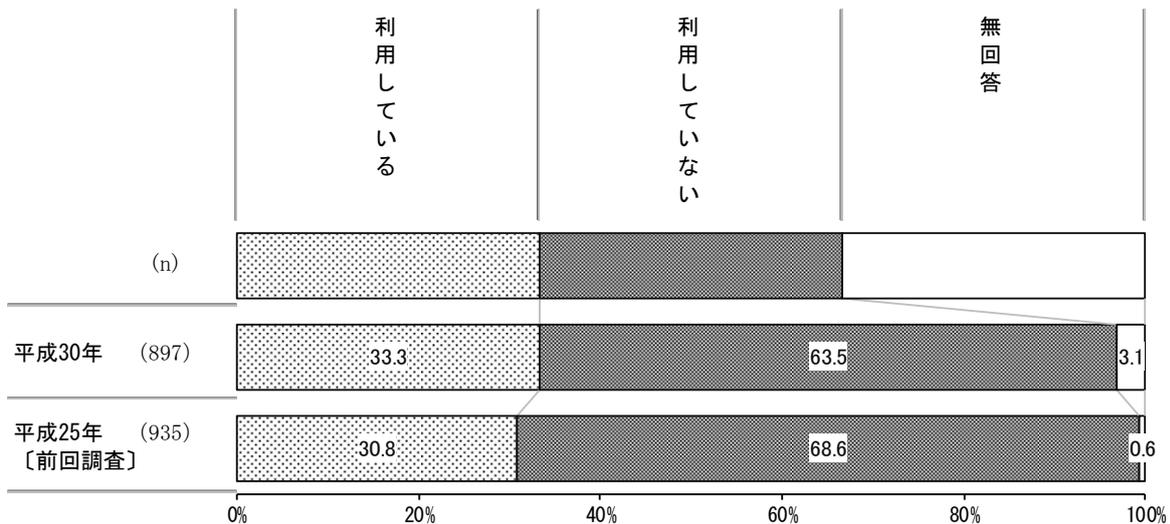
(1) 一時預かり事業の利用状況

①利用している一時預かり事業（複数回答）

〔就学前児童：問16〕

この1年間の一時預かり事業（日中の定期的な保育や病気のため以外の私用、親の通院、不定期の就労等の目的での不定期利用）の利用状況について、就学前児童の保護者に尋ねたところ、33.3%が何らかの事業を利用しており、平成25年の調査結果より2.5ポイント増加している。

事業別でみると、「一時保育所（キッズルーム）での一時預かり」が10.3%と最も多く、次いで「区立保育園での一時預かり」が6.7%、「区が行っているベビーシッター」が6.5%となっている。



《 利用している一時預かり事業—子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、「利用している」全体は0歳が26.2%、1歳が28.6%、2歳が32.2%と、4歳までは年齢が上がるにつれて、利用者の割合が多くなる傾向となっている。

「一時保育所（キッズルーム）での一時預かり」は0歳を除いたすべての年齢で10%を超え、「区立保育園での一時預かり」は1歳で10%を超え多くなっている。

0歳においては、「区が行っているベビーシッター」が15.2%と利用者割合が多くなっており、0歳と1歳を対象とした「子育て訪問支援券事業」により、0歳、1歳の利用割合が高くなっている。

		(%)					
	就学前 児童 計 (n)	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)	(143)
一時保育所(キッズルーム)での一時預かり	10.3	2.4	11.0	14.4	13.5	10.8	10.5
区立保育園での一時預かり (緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業)	6.7	7.9	11.0	8.9	2.7	5.0	4.2
区が行っているベビーシッター (「子育て訪問支援券事業」など)	6.5	15.2	9.7	3.4	3.4	2.9	2.8
私立幼稚園の預かり保育	6.2	0.6	0.0	0.0	10.8	13.7	12.6
民間のベビーシッター	5.7	6.1	2.6	8.9	8.1	5.8	2.8
区立幼稚園の預かり保育	2.5	0.6	0.0	0.7	0.7	7.2	6.3
私立保育園・認証保育所等での一時預かり	1.8	1.8	0.6	1.4	2.7	2.9	1.4
ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1.0	0.0	0.6	3.4	0.0	1.4	0.7
トワイライトステイ(児童福祉施設等で夜間、 子どもを保護する事業)	0.6	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	0.7
ショートステイ(児童福祉施設等で一定 期間、子どもを保護する事業)	0.3	0.0	0.6	0.7	0.7	0.0	0.0
その他の事業	1.1	0.6	2.6	0.0	0.7	1.4	1.4
「利用している」全体	33.3	26.2	28.6	32.2	36.5	40.3	37.1
利用していない	63.5	70.1	69.5	66.4	57.4	56.1	60.8
無回答	3.1	3.7	1.9	1.4	6.1	3.6	2.1

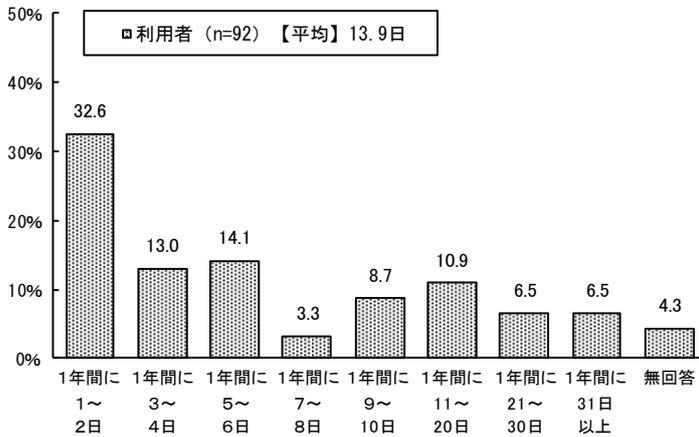
※「全体」は対象事業のいずれか1つ以上を選択した者の割合

②【各事業の利用者】一時預かり事業の1年間の利用日数

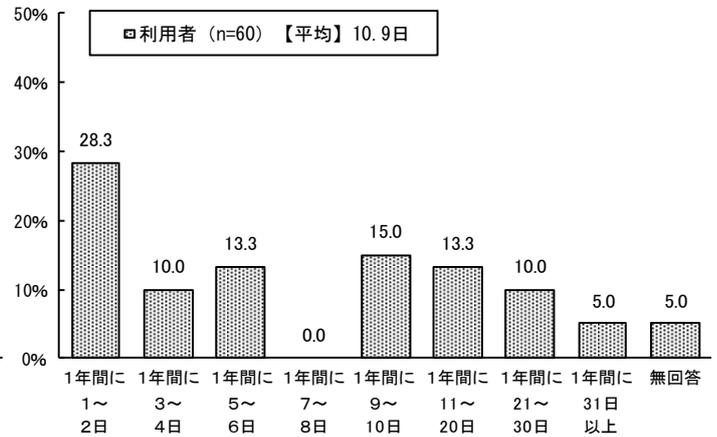
〔就学前児童：問16〕

利用している一時預かり事業別の1年間の利用日数の平均は、区立幼稚園の預かり保育（39.5日）と最も多く、次いで私立幼稚園の預かり保育（23.2日）、民間のベビーシッター（21.3日）、私立保育園・認証保育所等での一時預かり（14.8日）の順となっている。

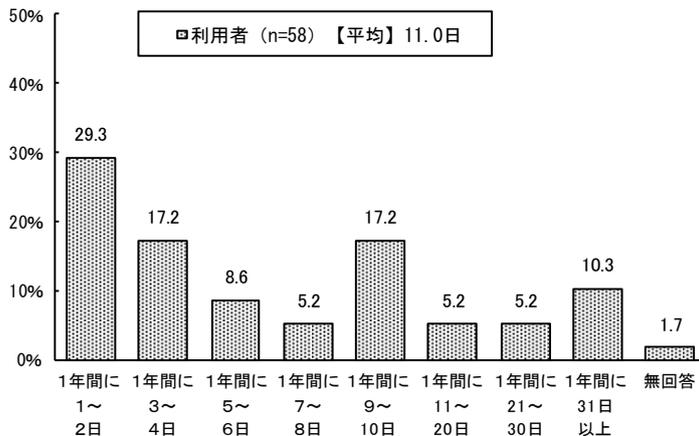
■一時保育所での一時預かり



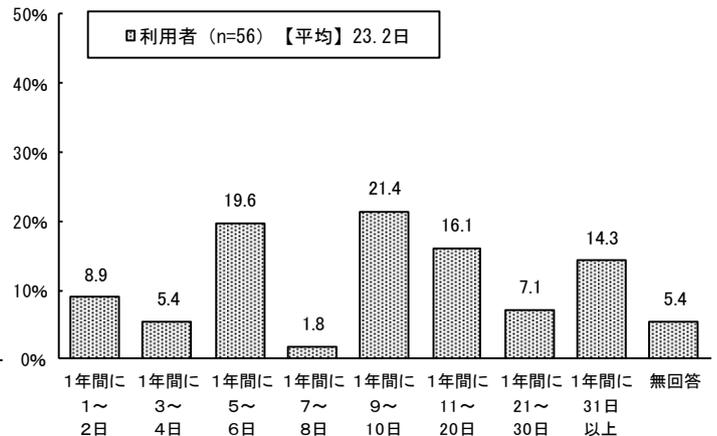
■区立保育園での一時預かり



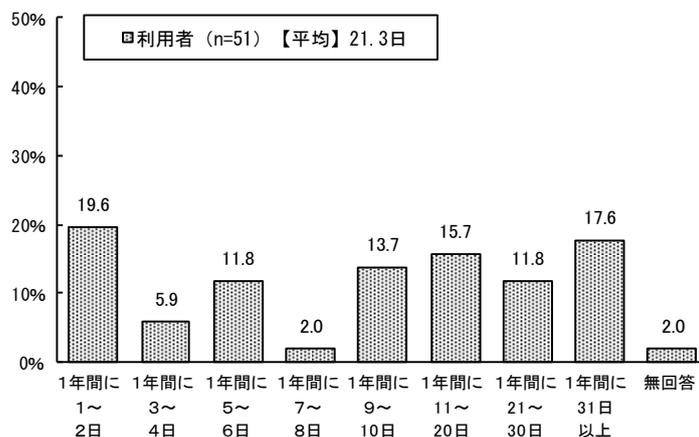
■区が行っているベビーシッター



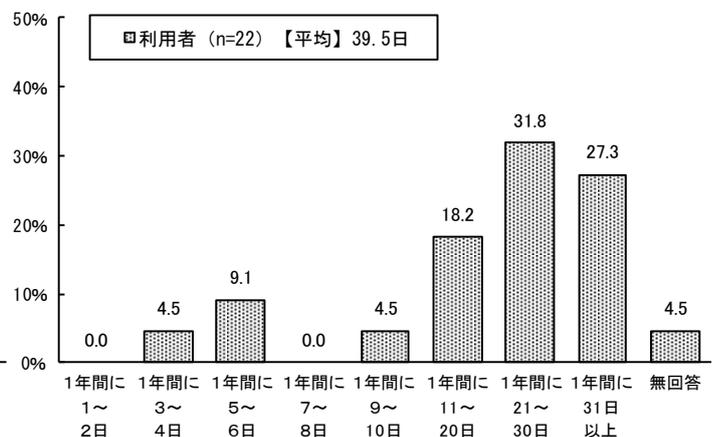
■私立幼稚園の預かり保育



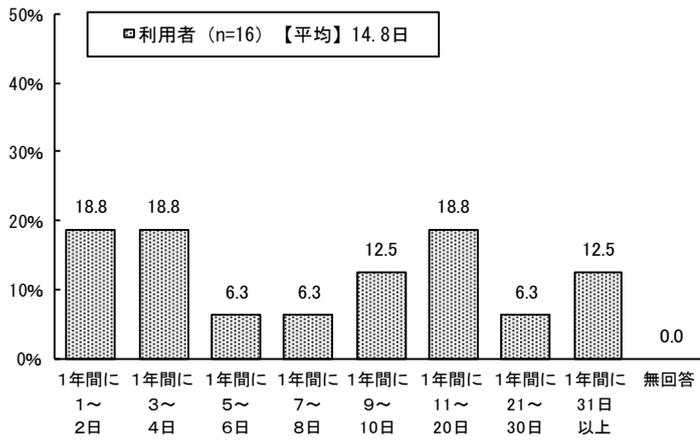
■民間のベビーシッター



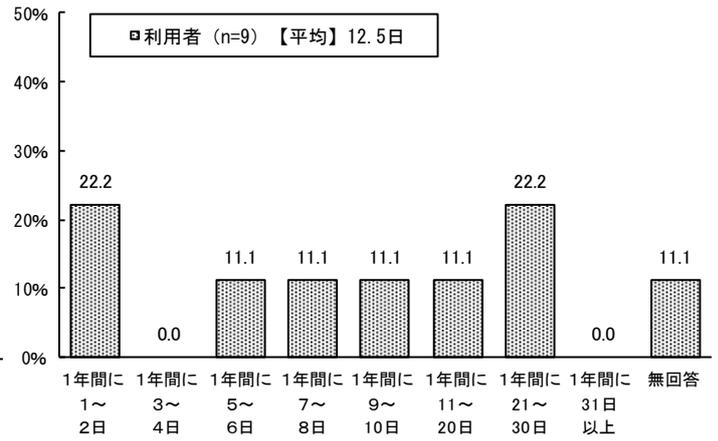
■区立幼稚園の預かり保育



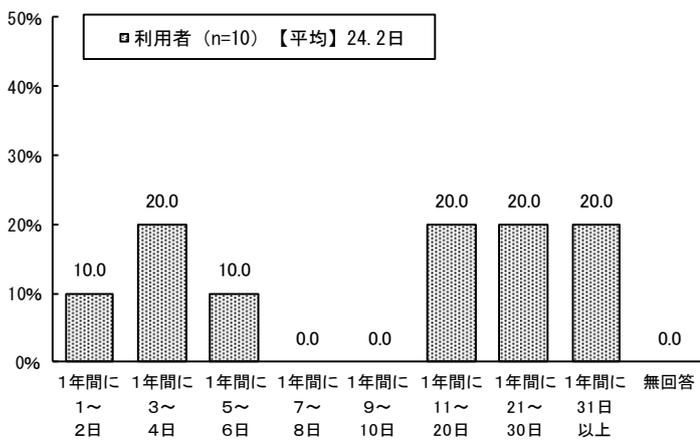
■私立保育園・認証保育所等での一時預かり



■ファミリー・サポート・センター



■その他の事業

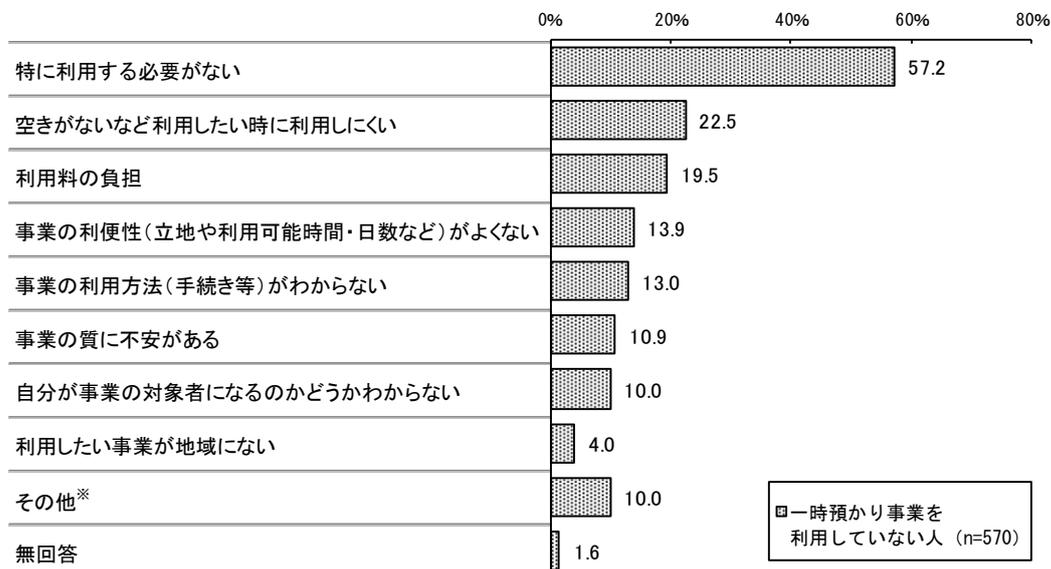


※トワイライトステイ、ショートステイは回答数が少ないため作図せず。

(2)【一時預かり事業を利用していない人】一時預かり事業を利用していない理由（複数回答）

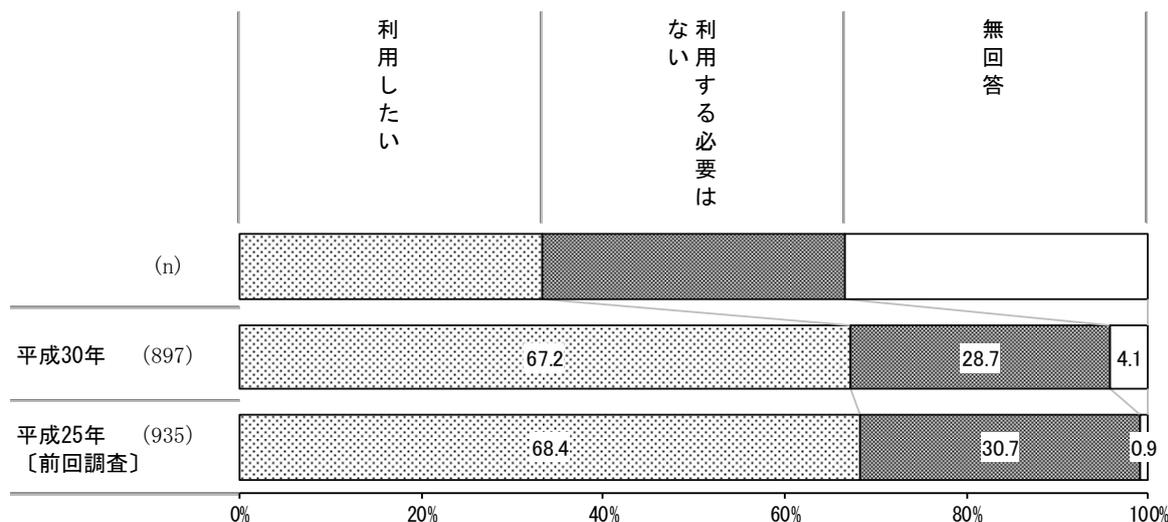
〔就学前児童：問 16-1〕

一時預かり事業を利用していない就学前児童の保護者にその理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」が57.2%と最も多く、理由の大部分を占めている。次いで「空きがないなど利用したい時に利用しにくい」が22.5%、「利用料の負担」が19.5%となっている。



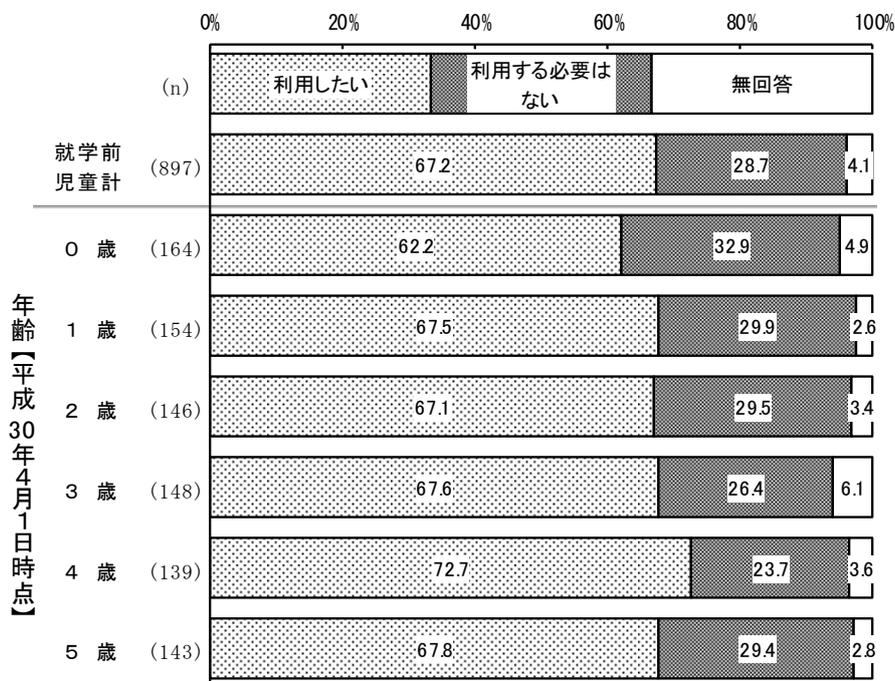
※その他：子どもが嫌がる、手続きが面倒、幼稚園、保育園を利用するなど

今後1年間の一時預かり事業の利用希望については、就学前児童の保護者のうち67.2%が「利用したい」と回答しており、平成25年の調査結果と大きな差はみられない。



《 一時預かり事業の利用希望—子どもの年齢別 》

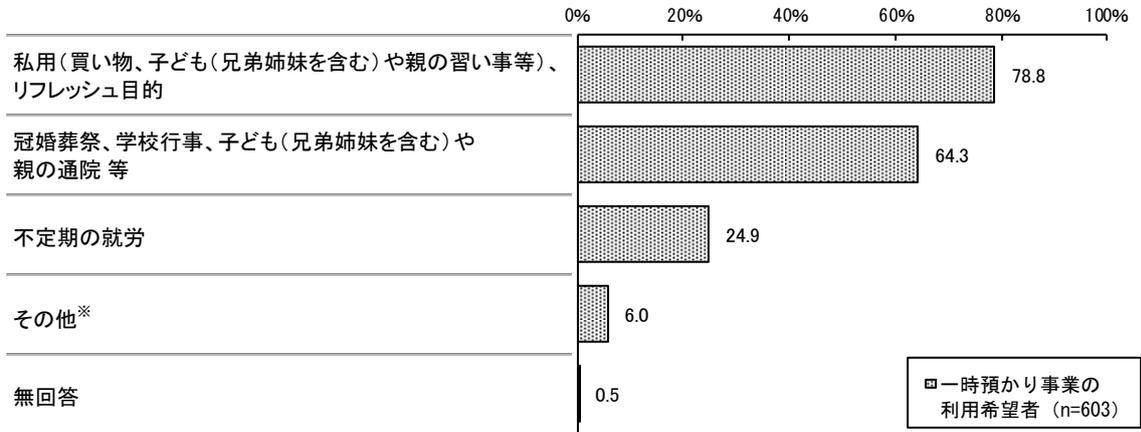
利用希望の割合を子どもの年齢別にみると、0歳は62.2%と他の年齢に比べて若干少ないが、1歳以降は年齢による特徴的な差異はみられず、各年齢ともに70%前後が「利用したい」と回答している。



(4) 一時預かり事業の利用希望の目的／利用希望日数

①【一時預かり事業の利用希望者】一時預かり事業の利用希望の目的（複数回答） [就学前児童：問17]

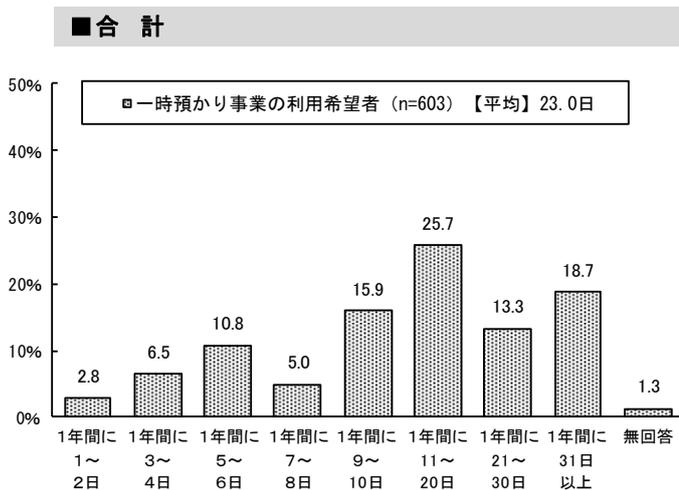
一時預かり事業を利用したいと回答した就学前児童の保護者に、利用希望の目的を尋ねたところ、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が78.8%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が64.3%となっている。



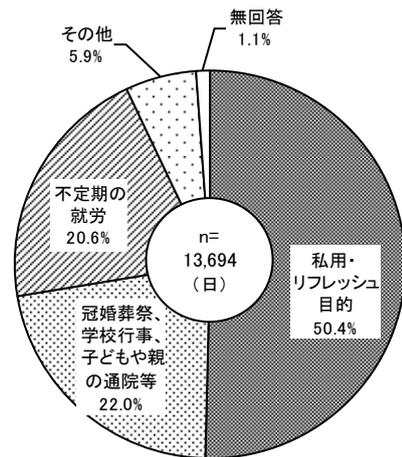
※その他：出張や残業の時、幼稚園、保育園の休園時、親が病気の時など

②【一時預かり事業の利用希望者】一時預かり事業の利用目的別の利用希望日数 [就学前児童：問17]

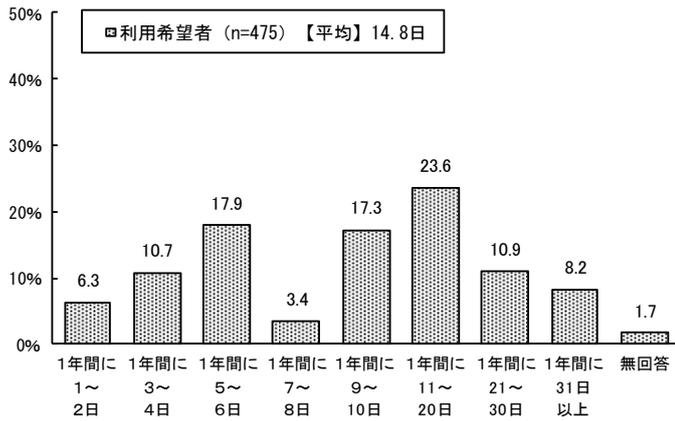
一時預かり事業の1年間の利用希望日数については、目的問わず合計で年間平均23.0日となっている。目的別では、不定期の就労が19.1日と最も多く、次いで私用・リフレッシュ目的が14.8日となっている。



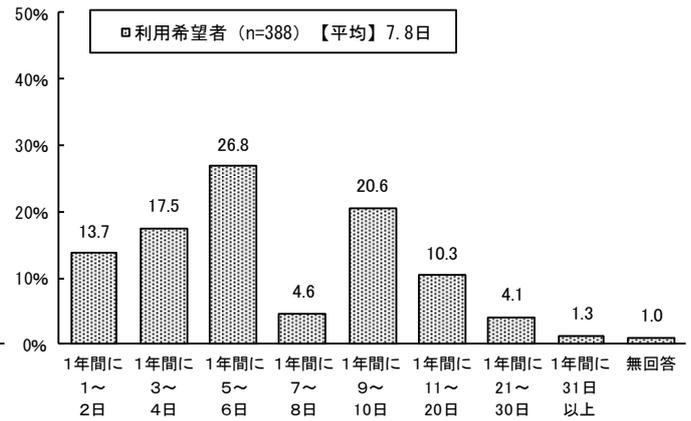
《 目的の内訳(日数の構成比) 》



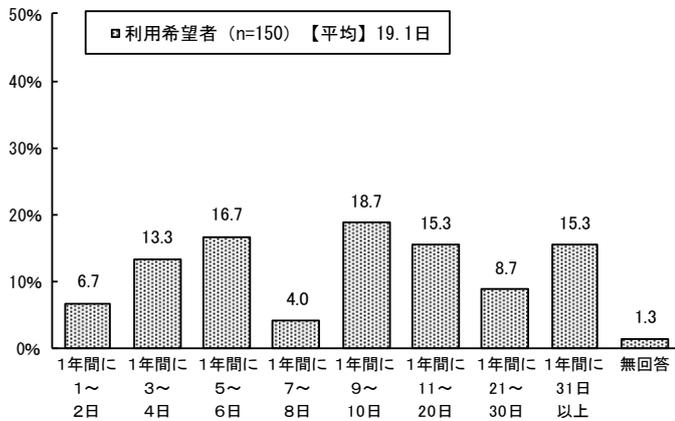
■私用・リフレッシュ目的



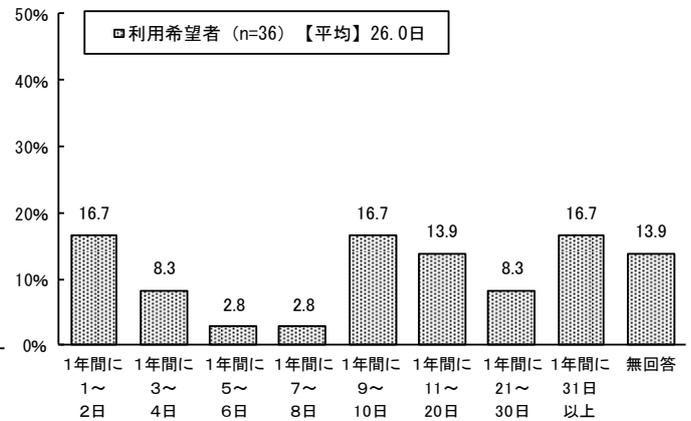
■冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



■不定期の就労



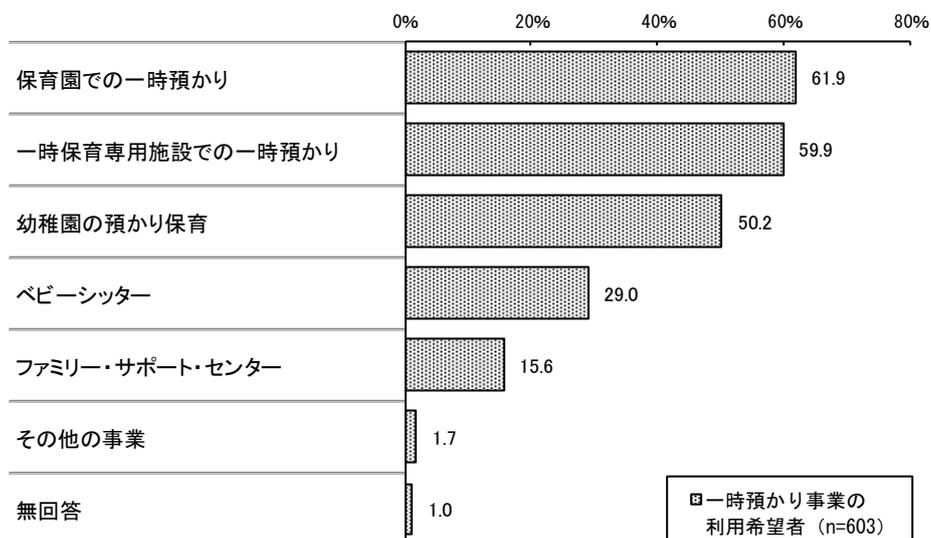
■その他



(5) 【一時預かり事業の利用希望者】一時預かり事業を利用する際に希望する事業形態（複数回答）

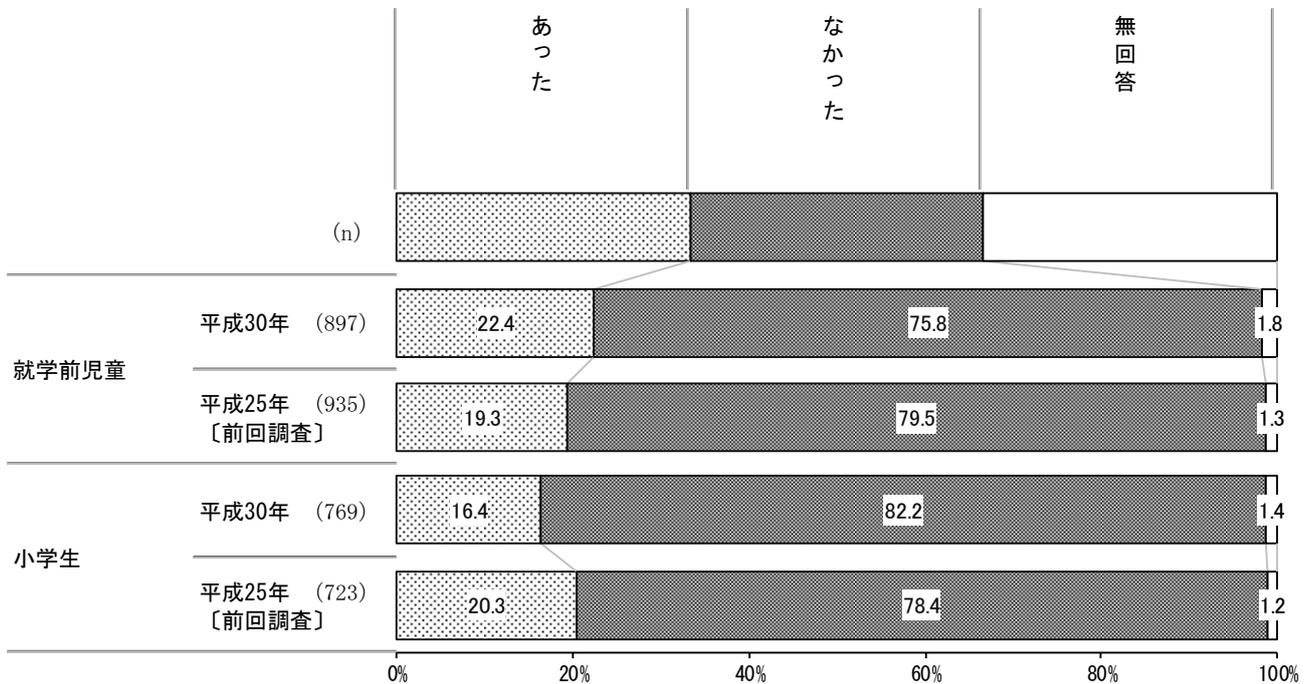
〔就学前児童：問17-1〕

一時預かり事業を利用する際に希望する事業形態については、「保育園での一時預かり」が61.9%と最も多く、次いで「一時保育専用施設での一時預かり」が59.9%、「幼稚園の預かり保育」が50.2%となっている。



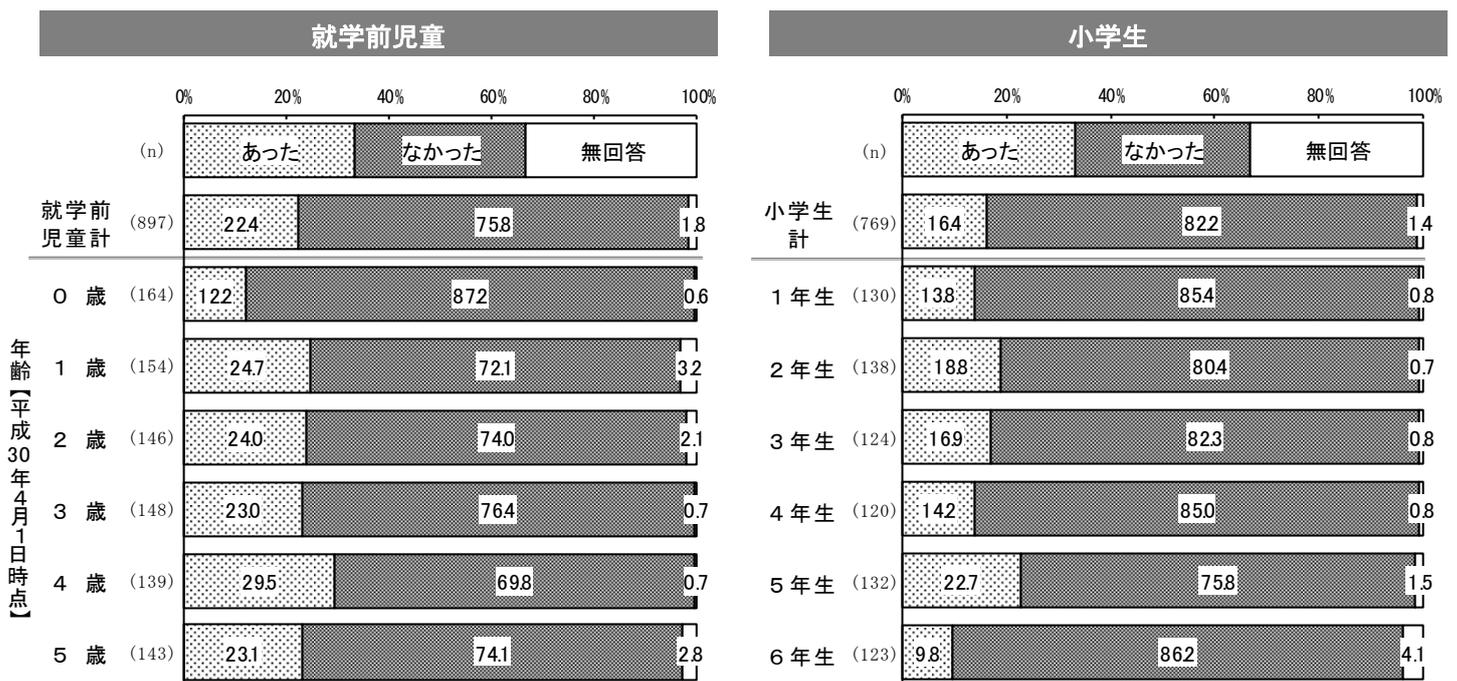
(6) この1年間に子どもを泊りがけで預けなければならなかった経験

この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで預けなければならなかった経験について、「あった」と回答したのは就学前児童の保護者が 22.4%、小学生の保護者が 16.4%となっている。平成 25 年の調査結果と比較すると、「あった」は就学前児童では 3.1 ポイント増加、小学生の保護者では 3.9 ポイント減少している。



《 子どもを泊まりがけで預けなければならなかった経験—子どもの年齢/学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童は、子どもを泊まりがけで預けなければならなかった経験が「あった」の割合は0歳が 12.2%、1歳以降はすべての年齢で2割台と高い年齢で多くなっている。小学生は1年生から4年生では1割台、5年生は2割を超えて比較的高くなっている。



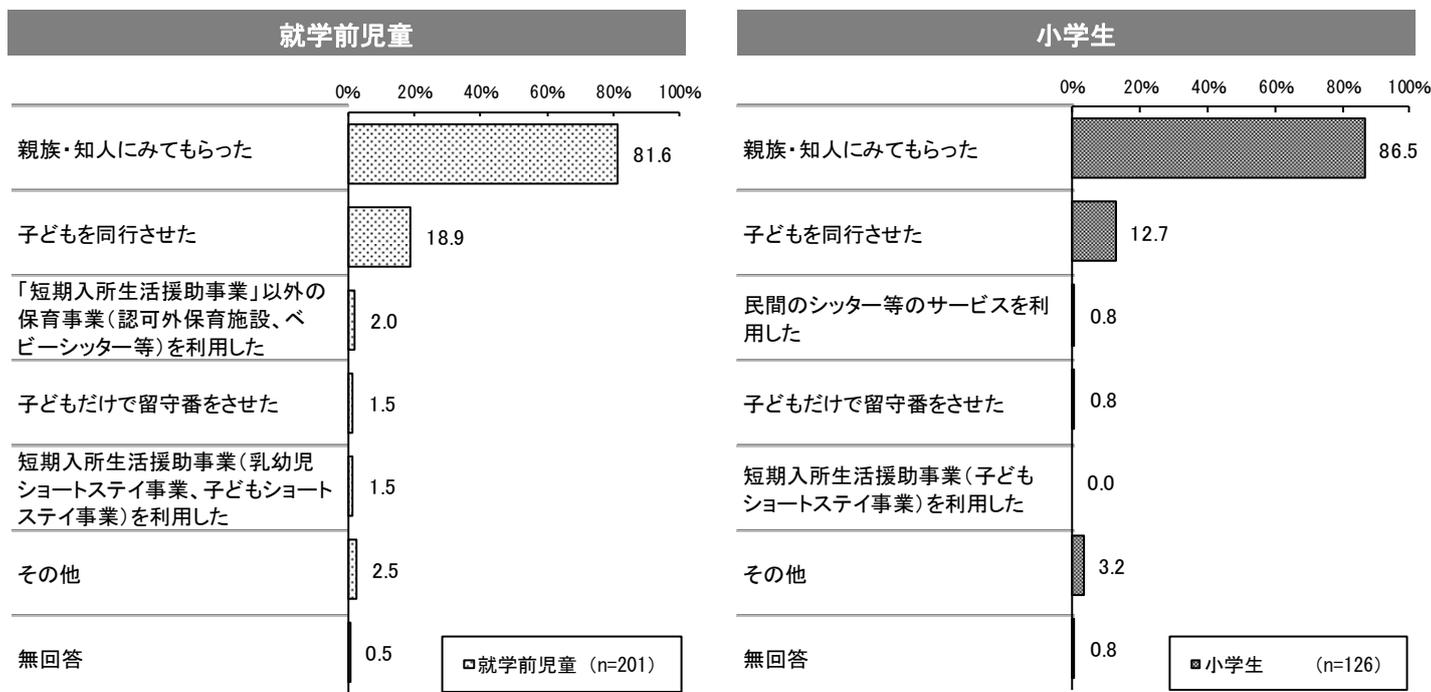
(7) 子どもを泊りがけで預けなければならなかった時の対処方法

①【この1年間に泊りがけで子どもを預けた経験が「あった」人】子どもを泊まりがけで預けなければならなかった時の対処方法（複数回答）

〔就学前児童：問 18〕〔小学生：問 30〕

この1年間に子どもを泊りがけで預けた経験が「あった」と回答した人に、その際の対処方法を尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「親族・知人にみてもらった」が80%を超えている。次いで「子どもを同行させた」が就学前児童の保護者で18.9%、小学生の保護者で12.7%となっている。

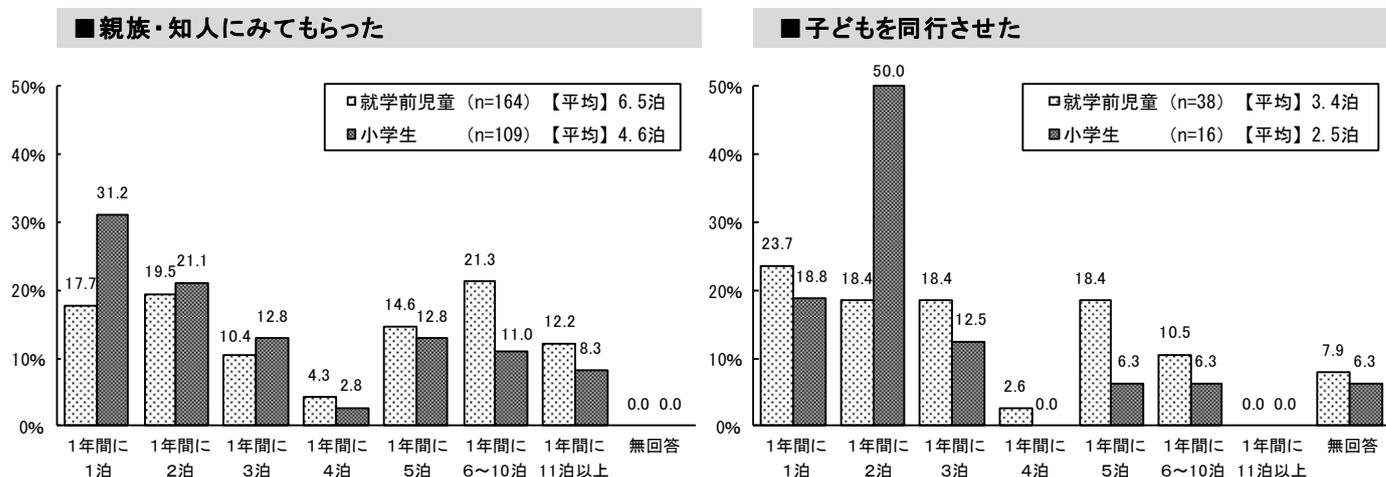
「短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）」は就学前児童で1.5%、小学生では回答がなく、少なくなっている。



②【子どもを泊まりがけで預けた経験者】子どもを泊まりがけで預けた1年間の日数

〔就学前児童：問 18〕〔小学生：問 30〕

子どもを泊まりがけで預けなければならなかった際の対処方法別の1年間の日数については、「親族・知人にみてもらった」が就学前児童の保護者で平均6.5泊、小学生の保護者で4.6泊、「子どもを同行させた」が就学前児童の保護者で3.4泊、小学生の保護者で2.5泊となっている。



※ 回答数が少ない項目は作図せず。

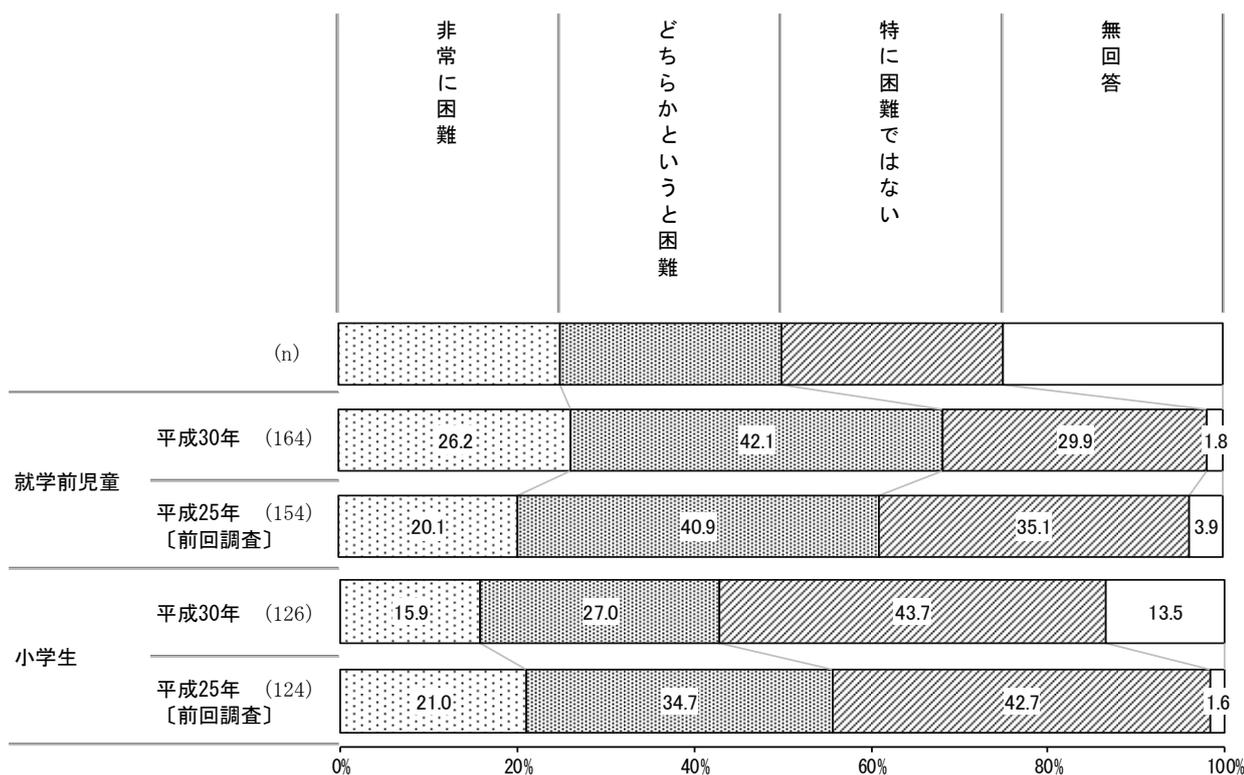
(8) 【「親族・知人にみてもらった」人】親族・知人に預けた場合の困難度

〔就学前児童：問 18-1〕〔小学生：問 30-1〕

子どもを親族・知人に預けた場合の困難度については、就学前児童の保護者は「非常に困難」が 26.2%、「どちらかという困難」が 42.1%と、「困難」計は 68.3%となっている。

小学生の保護者は「非常に困難」が 15.9%、「どちらかという困難」が 27.0%と、「困難」計は 42.9%となっている。

平成 25 年の調査結果と比較すると、「非常に困難」「どちらかという困難」は、就学前児童では増加し、小学生保護者では減少している。



8. 地域子育て支援拠点事業について

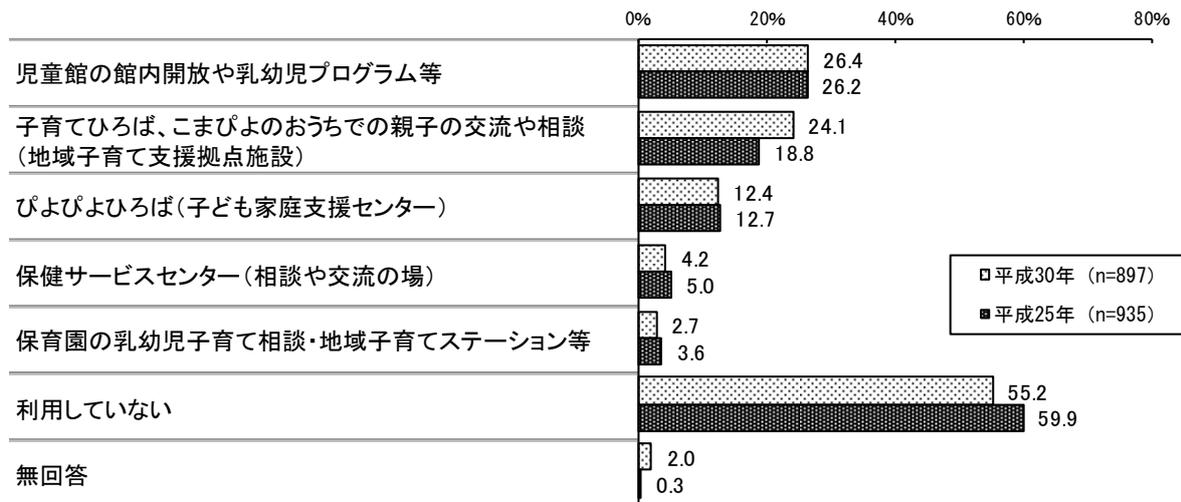
(1) 地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用状況

①利用している地域子育て支援拠点施設・類似施設（複数回答）

〔就学前児童：問19〕

地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用状況については、就学前児童の保護者の5割以上は「利用していない」と回答しており、「利用している」と回答した約4割の利用状況としては「児童館の館内開放や乳幼児プログラム等」が26.4%と最も多く、次いで「子育てひろば、こまびよのおうちでの親子の交流や相談」24.1%、「ぴよぴよひろば（子ども家庭支援センター）」12.4%などとなっている。

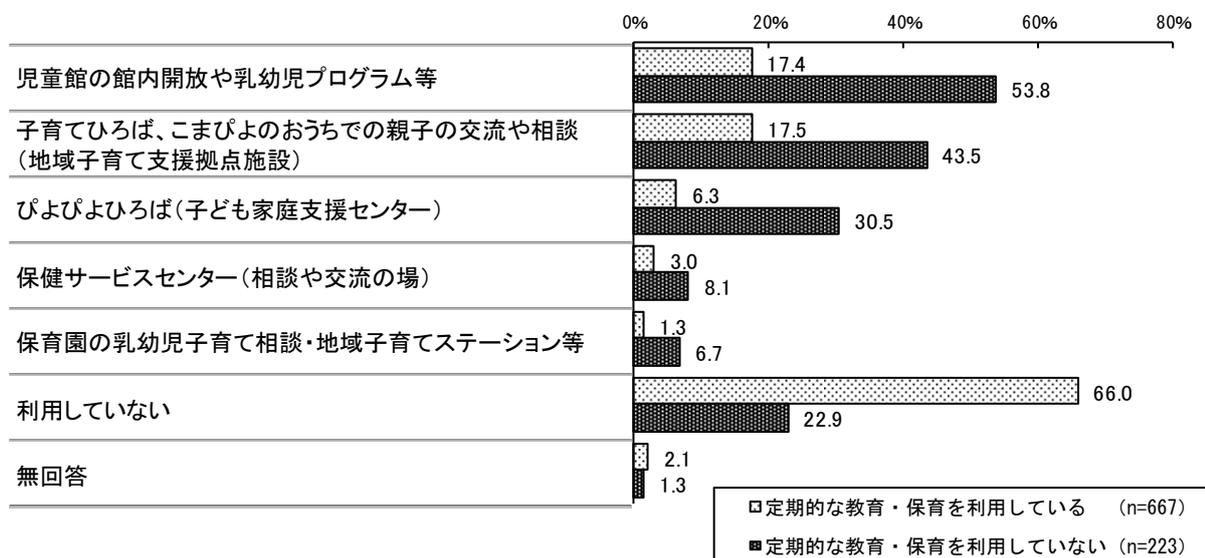
平成25年の調査結果と比較すると、「児童館の館内開放や乳幼児プログラム等」は大きな変化はみられず、「子育てひろば、こまびよのおうちでの親子の交流や相談（地域子育て支援拠点施設）」は5.3ポイント増加している。



《利用している地域子育て支援拠点施設・類似施設—定期的な教育・保育事業の利用の有無別（問11）》

問11において、「定期的な教育・保育事業を利用していない」と回答した方の地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用状況をみると、全体結果よりも、利用状況の割合が全ての施設で増加し、「児童館の館内開放や乳幼児プログラム等」が53.8%と最も多く、次いで「子育てひろば、こまびよのおうちでの親子の交流や相談」43.5%、「ぴよぴよひろば（子ども家庭支援センター）」30.5%などとなっている。

また、「定期的な教育・保育事業を利用している」と回答した方では、全体結果よりも、施設を「利用していない」が増加し66.0%となっている。



《 利用している地域子育て支援拠点施設・類似施設－子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、0歳、1歳を中心に「子育てひろば、こまびよのおうちでの親子の交流や相談（地域子育て支援拠点施設）」「児童館の館内開放や乳幼児プログラム等」「ぴよぴよひろば（子ども家庭支援センター）」の施設の利用が多くなっている。

0歳では「保健サービスセンター（相談や交流の場）」が14.6%と他の年齢より多くなっている。

3歳以降では「利用していない」が6割を超えており、4歳、5歳で利用されている施設としては「児童館の館内開放」が2割以上となっている。

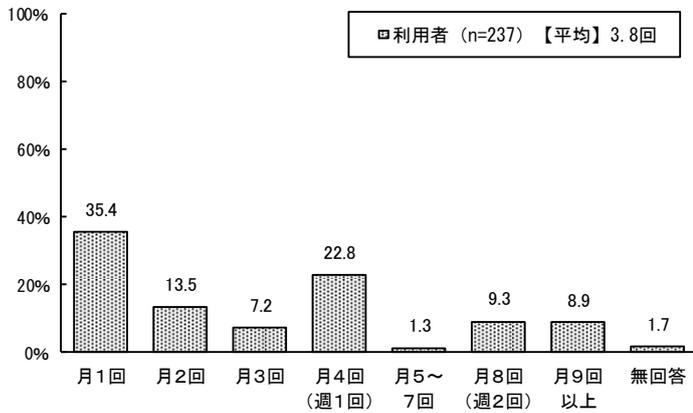
(%)

	就学前 児童 計 (n)	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)	(143)
児童館の館内開放や乳幼児プログラム等	26.4	40.9	29.2	27.4	16.2	22.3	20.3
子育てひろば、こまびよのおうちでの親子の交流や相談(地域子育て支援拠点施設)	24.1	42.1	32.5	28.1	18.2	8.6	11.9
ぴよぴよひろば(子ども家庭支援センター)	12.4	32.9	18.8	11.6	4.1	2.9	0.7
保健サービスセンター(相談や交流の場)	4.2	14.6	4.5	2.7	0.7	1.4	0.0
保育園の乳幼児子育て相談・地域子育てステーション等	2.7	8.5	1.9	3.4	0.7	0.7	0.0
利用していない	55.2	31.7	42.9	54.1	66.9	68.3	71.3
無回答	2.0	0.0	1.9	3.4	2.7	3.6	0.7

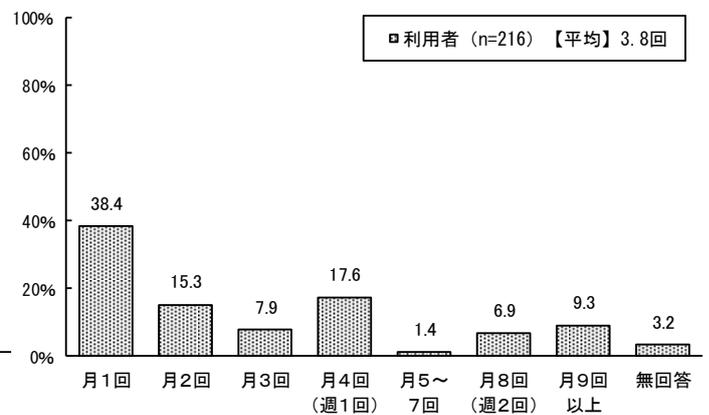
②【各事業の利用者】地域子育て支援拠点施設・類似施設の1か月当たりの利用回数 [就学前児童：問19]

地域子育て支援拠点施設・類似施設の1か月当たりの平均利用回数は、多い順に、「児童館の館内開放乳幼児プログラム等」「子育てひろば（地域子育て支援拠点施設）」（それぞれ3.8回）、「ぴよぴよひろば（子ども家庭支援センター）」（2.6回）となっている。

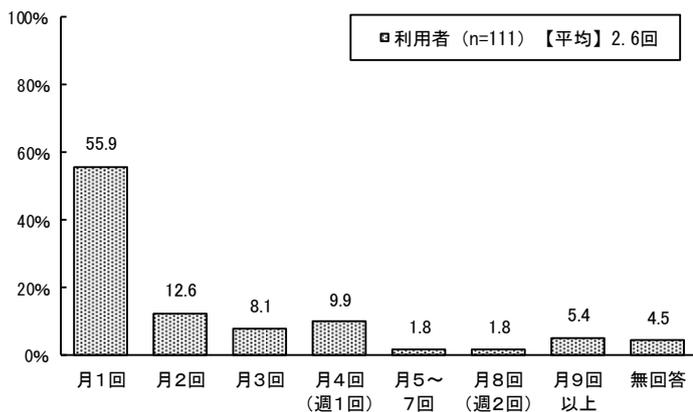
■児童館の館内開放や乳幼児プログラム等



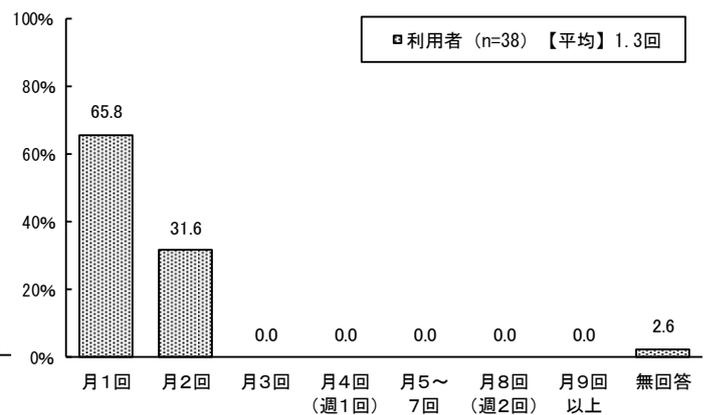
■子育てひろば（地域子育て支援拠点施設）



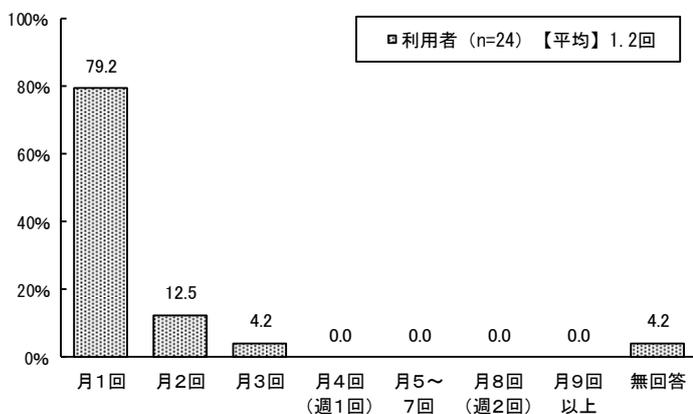
■ぴよぴよひろば（子ども家庭支援センター）



■保健サービスセンター（相談や交流の場）



■保育園の乳幼児子育て相談・地域子育てステーション等



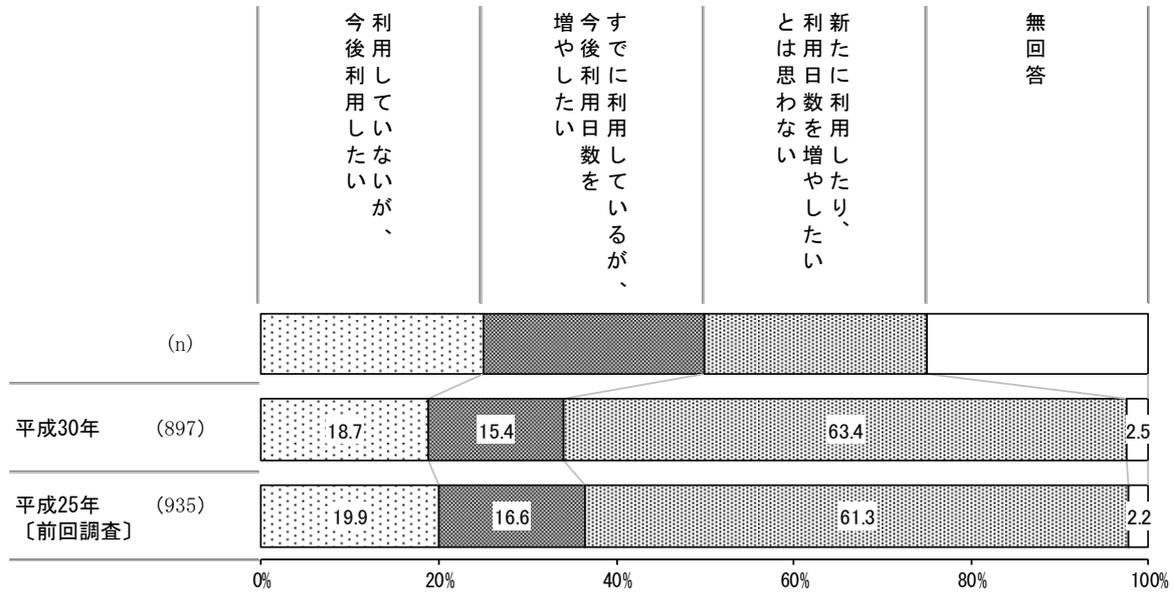
(2) 地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用希望

①地域子育て支援拠点施設・類似施設の利用希望

〔就学前児童：問 20〕

地域子育て支援拠点施設・類似施設の今後の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 63.4%を占めている。次いで「利用していないが、今後利用したい」の新規の利用希望が 18.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の増加の利用希望が 15.4%となっている。

平成 25 年の調査結果と比較すると、大きな変化はみられないが、利用希望は 1 ポイント程度減少している。

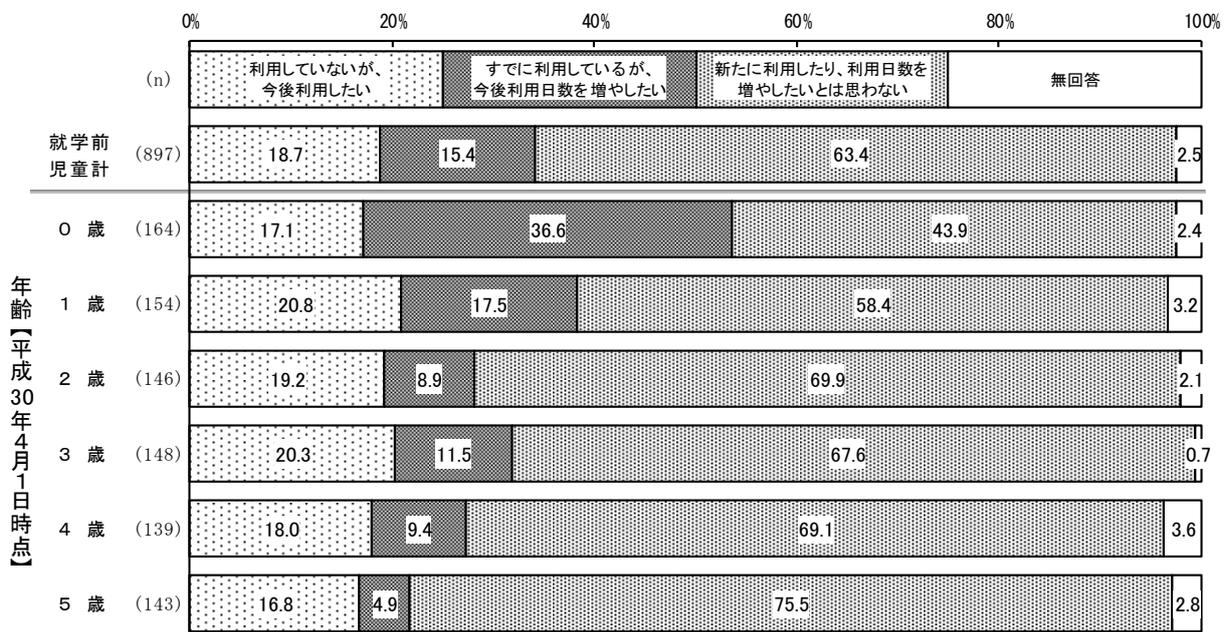


《 地域子育て支援拠点施設・類似施設の今後の利用希望—子どもの年齢別 》

子どもの年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」の新規の利用希望は、1歳、3歳がともに2割を超えており、そのほかの年齢では1割台となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の増加の利用希望については、0歳が36.6%で最も多く、1歳、3歳で1割台となっている。

「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の計は、ややバラつきはあるものの、年齢が低いほど利用希望が高い傾向となっている。



②【「今後利用したい」「今後利用日数を増やしたい」回答者】地域子育て支援拠点施設・類似施設の

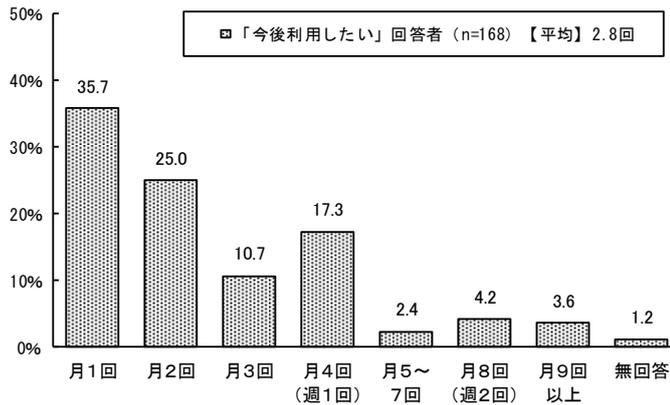
1か月当たりの利用希望回数／利用を増やす希望の回数

〔就学前児童：問20〕

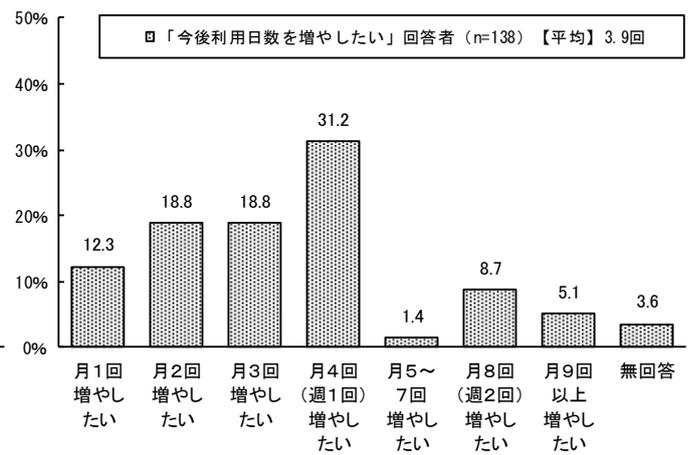
地域子育て支援拠点施設・類似施設を「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の1か月当たりの利用希望回数は、平均2.8回となっている。

地域子育て支援拠点施設・類似施設を「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の1か月当たりの利用を増やす希望回数は、平均3.9回となっている。

1か月当たりの利用希望回数



1か月当たりの利用を増やす希望回数



9. 放課後の過ごし方について

〔就学前児童：問 21、22〕

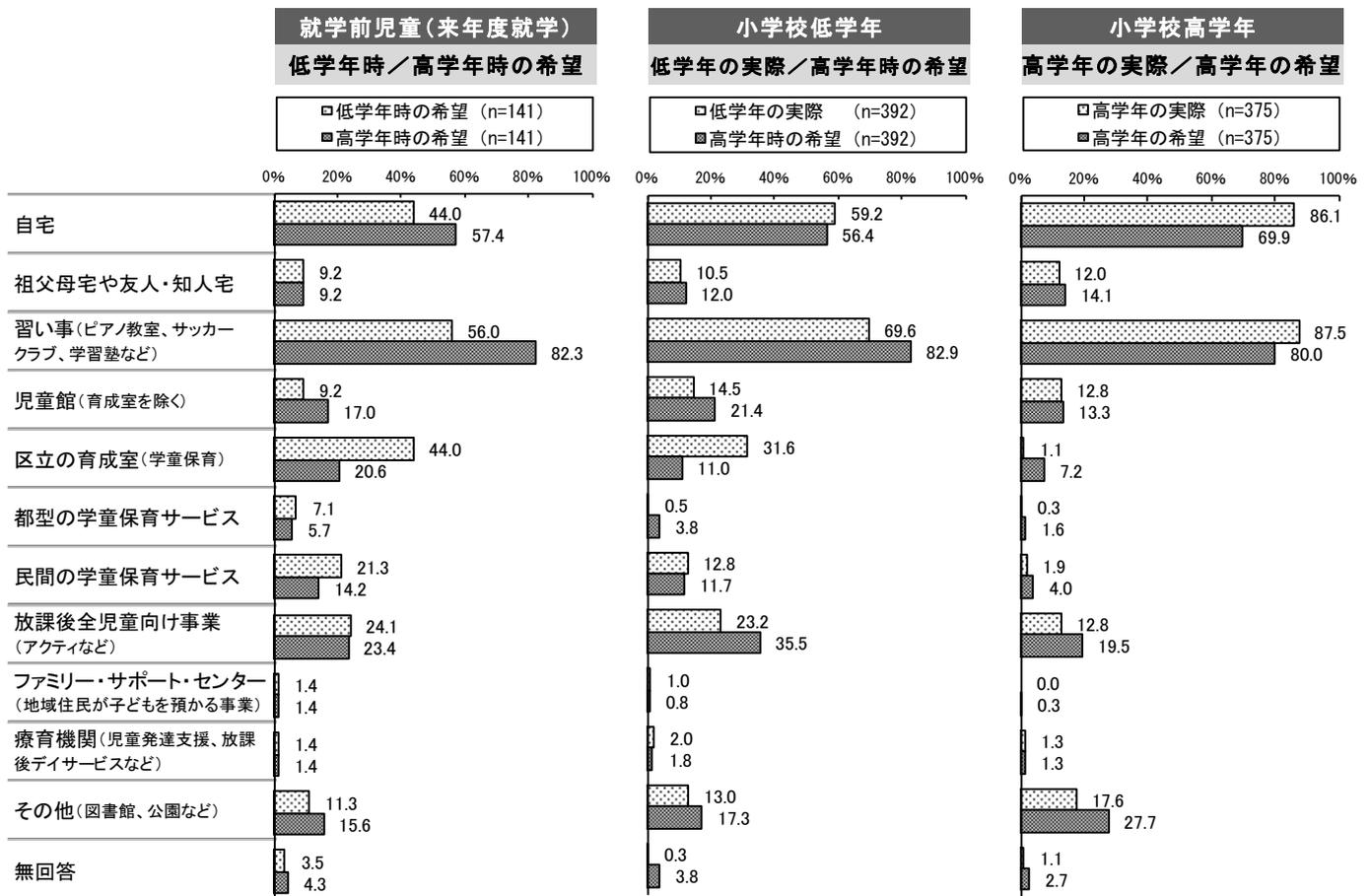
(1) 小学校の放課後を過ごさせたい場所・過ごしている場所（複数回答）

〔小学生：問 25、26〕

小学校の放課後の過ごし方について、就学前児童（来年度就学する児童）の保護者へ将来の希望を尋ねたところ、低学年時、高学年時ともに「習い事」が最も多く、低学年時は56.0%、高学年時では82.3%となっている。低学年時は、次いで「自宅」「区立の育成室（学童保育）」が44.0%となっている。

小学校低学年の保護者に低学年の実際と高学年時の希望を尋ねたところ、ともに「習い事」が最も多く、次いで「自宅」となっている。低学年の実際は「区立の育成室（学童保育）」が31.6%となるのに対し、高学年時の希望は「放課後全児童向け事業（アクティなど）」が35.5%となっている。

小学校高学年の保護者に高学年の実際と希望を尋ねたところ、実際は「習い事」が87.5%と最も多く、次いで「自宅」が86.1%となっている。希望は「習い事」が80.0%、「自宅」が69.9%となっている。



(2) 小学校の放課後を過ごす1週間当たりの日数/希望日数 [就学前児童：問21、22] [小学生：問25、26]

小学校の放課後を過ごす日数、希望日数については、就学前児童の低学年時の希望は、自宅が平均2.8日、習い事が2.1日、高学年時の希望は、自宅が平均2.4日、習い事が2.8日となっている。

小学校低学年の実際は、自宅が平均3.3日、習い事が2.6日、高学年時の希望は、自宅が平均2.7日、習い事が2.8日となっている。

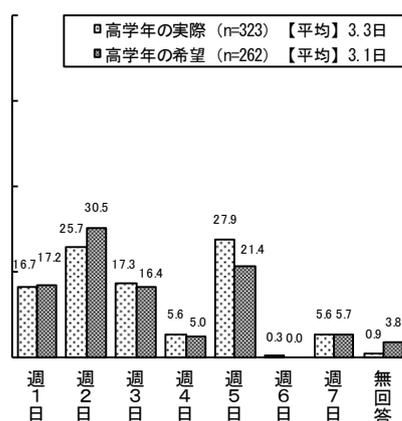
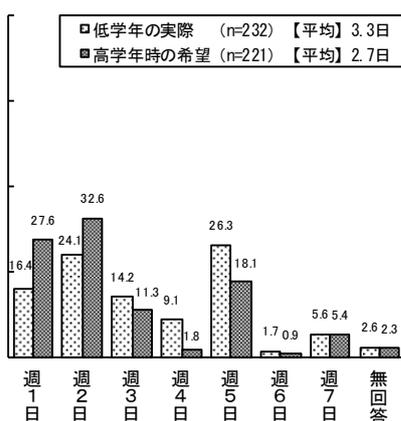
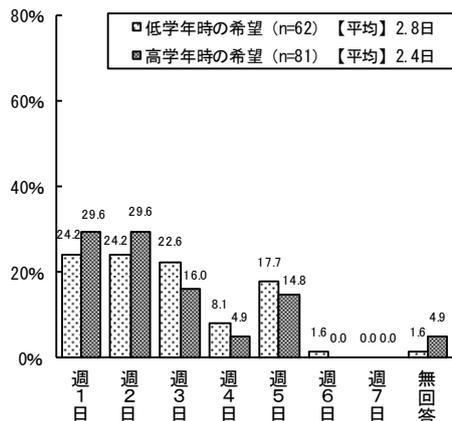
小学校高学年の実際は、自宅が平均3.3日、習い事が3.1日、高学年の希望は、自宅が3.1日、習い事が2.9日となっている。

就学前児童 (来年度就学)

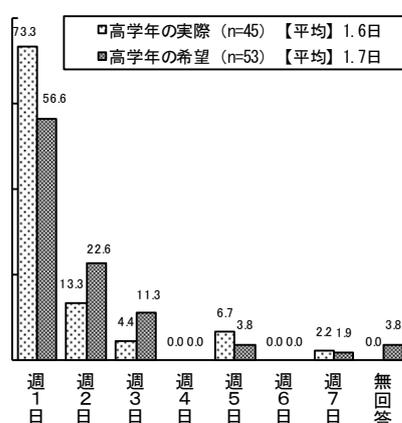
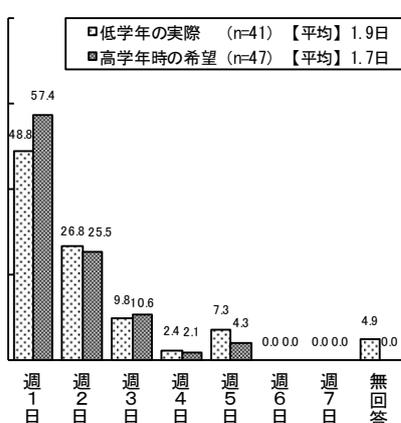
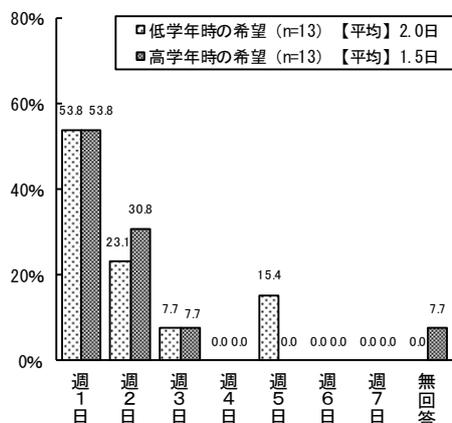
小学校低学年

小学校高学年

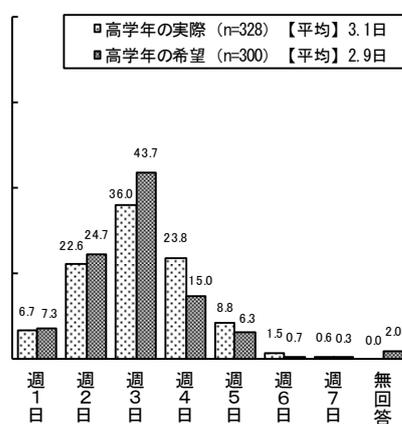
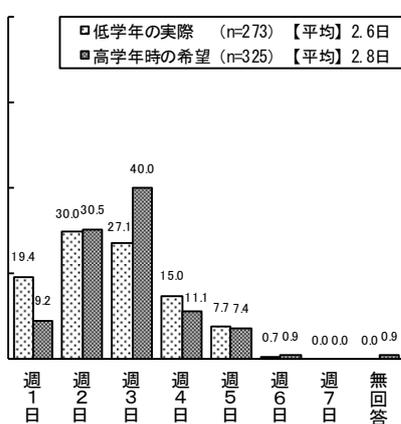
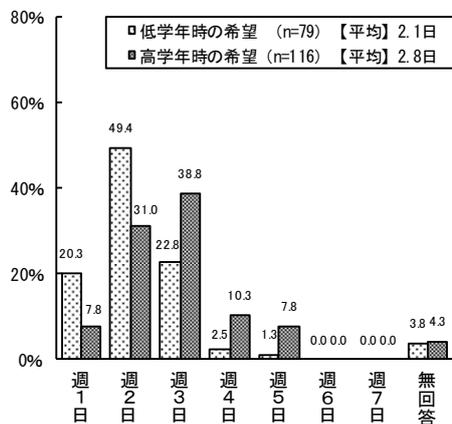
■自宅



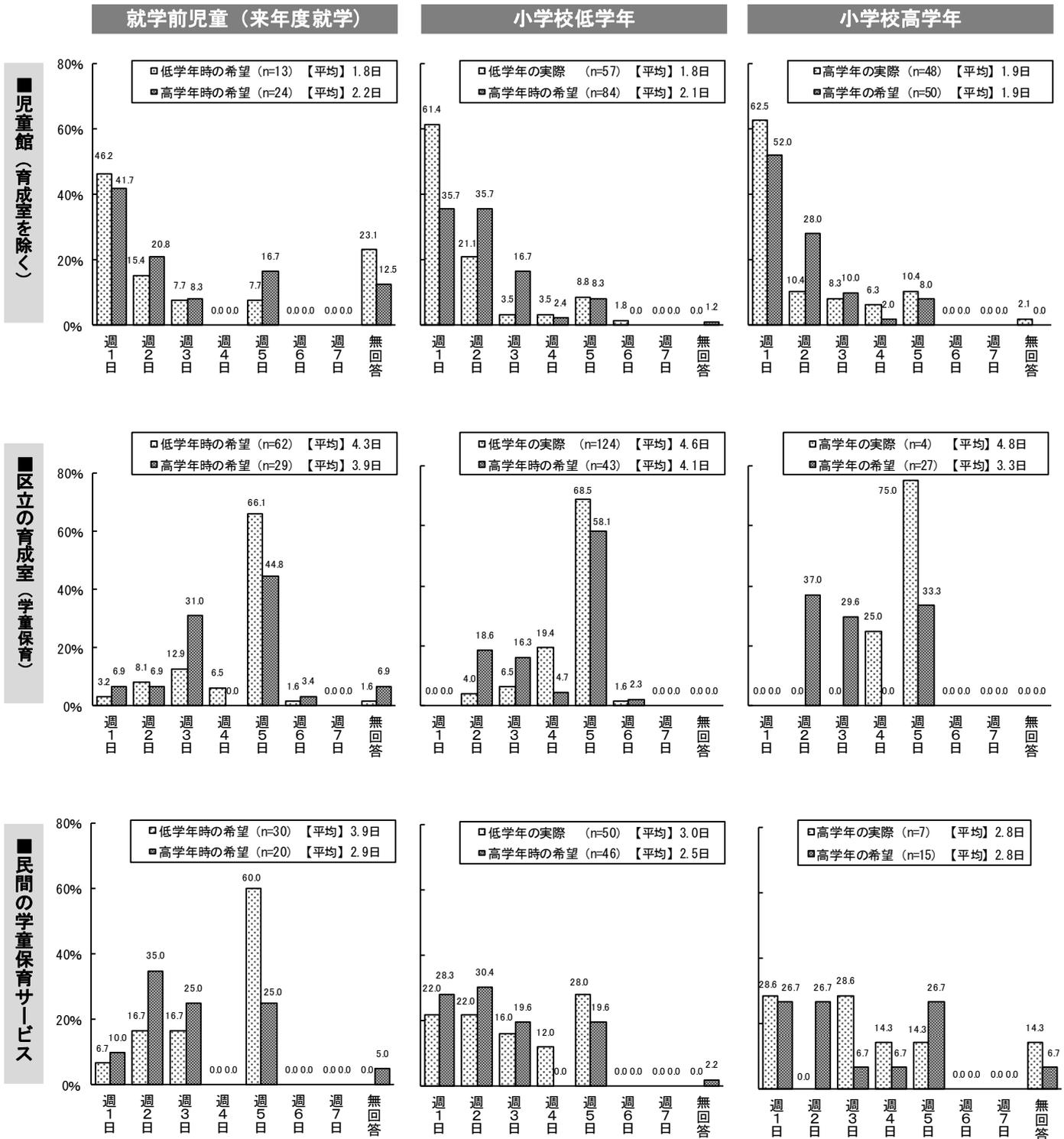
■祖父母宅や友人・知人宅



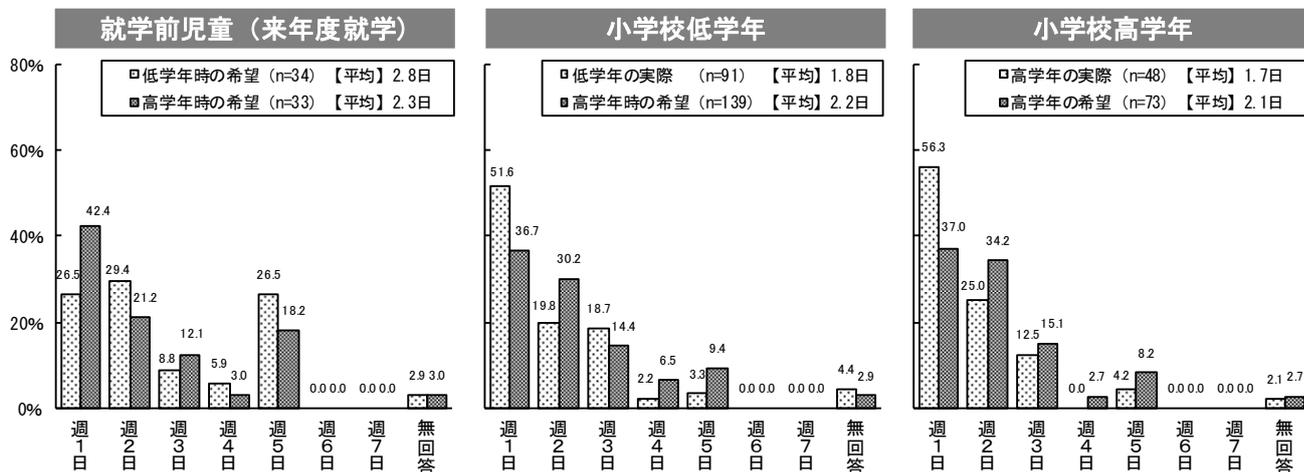
■習い事 (ピアノ教室、サッカー、クラフ、学習塾など)



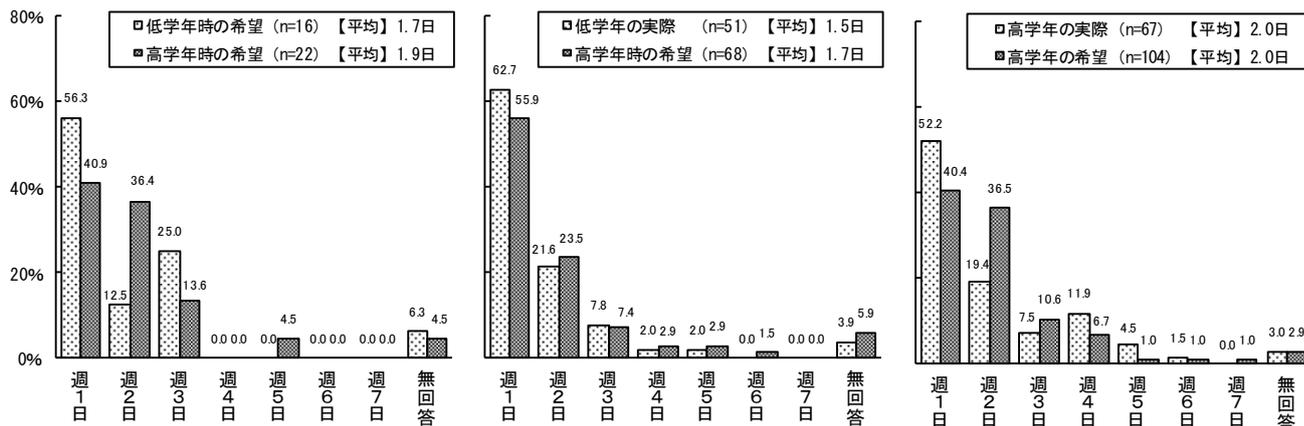
区立の育成室（学童保育）については、就学前児童の低学年時の希望は「週5日」が66.1%であるのに対し、高学年時の希望では「週5日」は44.8%に減少し、「週3日」が31.0%となっている。平均日数は、低学年時では4.3日、高学年時では3.9日となっている。小学校低学年の実際は、「週5日」が68.5%であるのに対し、高学年時の希望は「週5日」は58.1%に若干減少し、「週2日」が18.6%となっている。平均日数は、低学年の実際が4.6日、高学年時の希望は4.1日となっている。小学校高学年の希望については、「週2日」が37.0%、「週5日」が33.3%となっており、平均日数は3.3日となっている。



■放課後全児童向け事業
(アクティなど)



■その他（図書館・公園など）



※都型の学童保育サービス、ファミリー・サポート・センター、療育機関は回答数が少ないため作図せず。

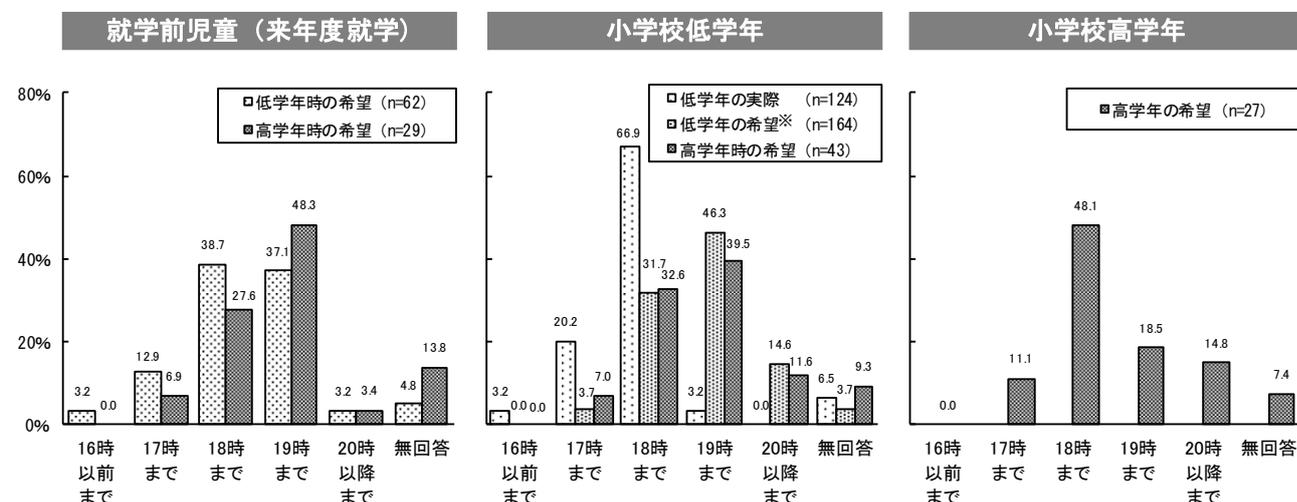
(3) 育成室の利用時間／希望利用時間

〔就学前児童：問21、22〕〔小学生：問25、25-1、問26〕

育成室の利用時間、利用希望時間（下校時からの終了時間）については、就学前児童の低学年時の希望は、「18時まで」が38.7%、「19時まで」が27.6%、高学年時の希望は、「19時まで」が48.3%、「18時まで」が27.6%と高学年時の方が遅い時間まで希望する傾向となっている。

小学校低学年の実際は、「18時まで」が66.9%、「17時まで」が20.2%であるが、希望では「17時まで」や「18時まで」が実際よりそれぞれ半数以上減少し、「19時まで」が46.3%、「20時まで」が14.6%と、1～2時間遅い時間まで希望する傾向となっている。

小学校低学年の高学年時の希望は、低学年の希望と同様の傾向にあり、「19時まで」が39.5%で最も多く、次いで「18時まで」が32.6%となっている。



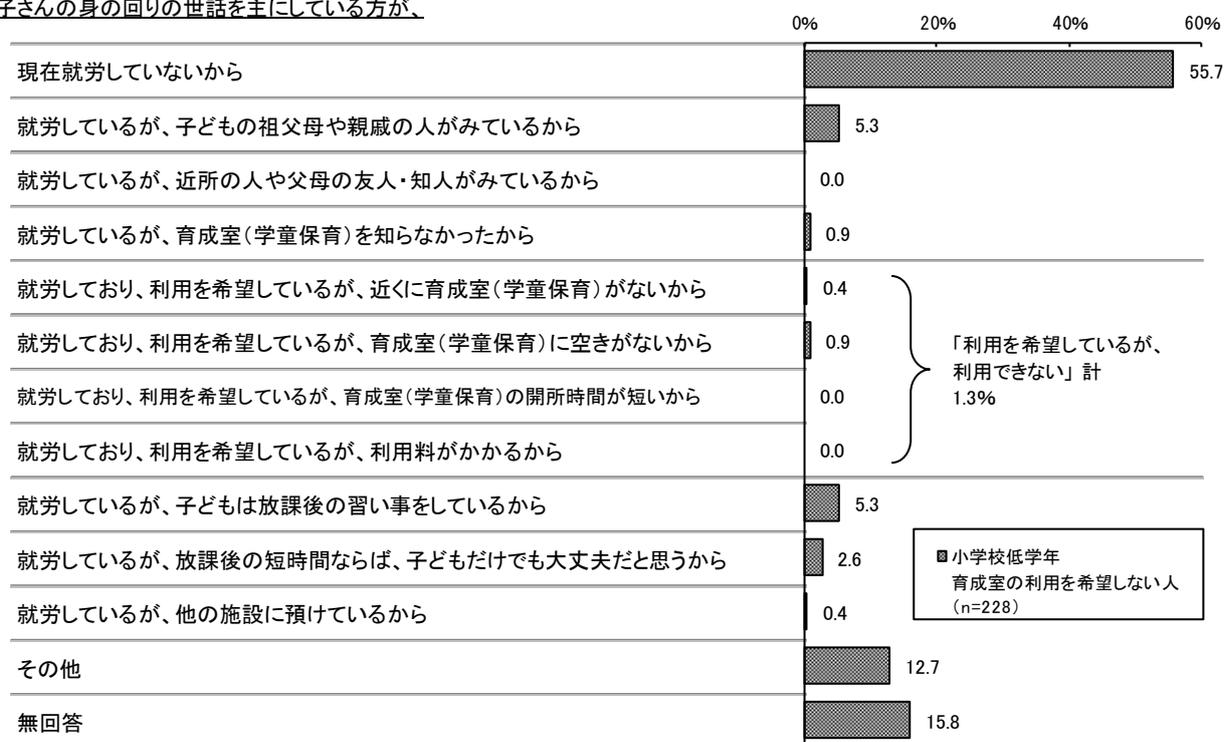
※小学校低学年の希望は、現在区立の育成室、都型の学童保育サービスまたは民間の学童保育サービス利用者の希望時間。

(4) 【小学校低学年－育成室・民間の学童保育の利用を希望しない人】 育成室・民間の学童保育を利用しない理由（単数回答）

〔小学生：問25-2〕

育成室・民間学童を利用していない小学校低学年の保護者に、その理由を尋ねたところ、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が「現在就労していないから」が55.7%と半数を超え最も多くなっている。「就労しており、利用を希望しているが、育成室（学童保育）に空きがないから」は0.9%と、その他項目を含めた「利用を希望しているが、利用できない」計は1.3%と少数派となっている。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

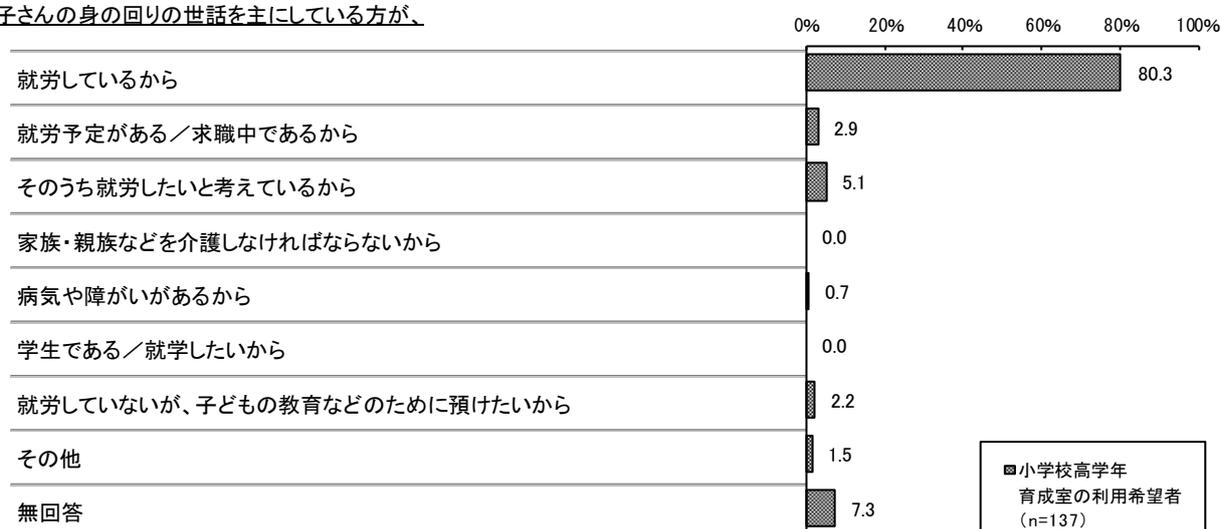


(5) 【小学校高学年－育成室・民間の学童保育の利用希望者】 育成室・民間の学童保育を利用したい理由（単数回答）

〔小学生：問26-1〕

育成室・民間学童を利用したいと回答した小学校高学年の保護者に、その理由を尋ねたところ、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、「就労しているから」が80.3%と大部分を占め、次いで「そのうち就労したいと考えているから」が5.1%となっている。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、



(6) 育成室（学童保育）の平日以外の利用希望

〔就学前児童：問 23 (1) (2)、問 24〕

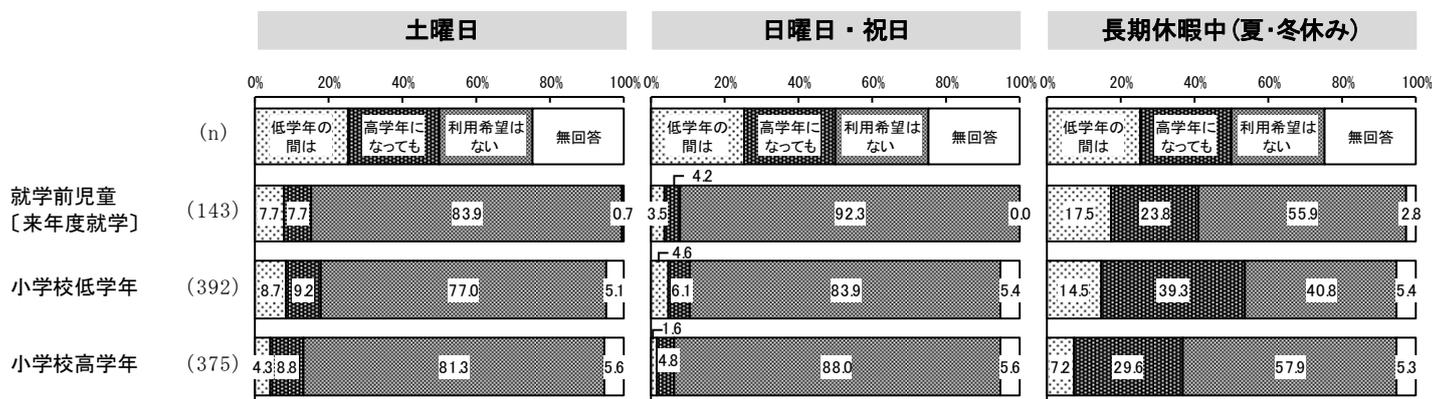
〔小学生：問 26-2 (1) (2)、問 26-3〕

① 育成室（学童保育）の平日以外の利用希望

育成室（学童保育）の土曜日の利用希望は就学前児童（来年度就学）の保護者は「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」がともに 7.7% となっており、就学前児童の保護者の希望の計は 15.4% となる。小学校低学年の保護者は「低学年の間は利用したい」より「高学年になっても利用したい」の割合が就学前児童の保護者、小学校高学年より多く、希望の計は 17.9% となっている。

日曜日・祝日の利用希望は各属性ともに土曜日と比べ少なくなっており、希望の計は、就学前児童の保護者は 7.7%、小学校低学年の保護者は 10.7%、高学年の保護者はそれぞれ 6.4% となっている。

夏・冬休みの長期休暇中の利用希望は土曜日と比べて多く、希望の計は、就学前児童の保護者は 41.3%、小学校低学年の保護者は 53.8%、高学年の保護者は 36.8% となっている。

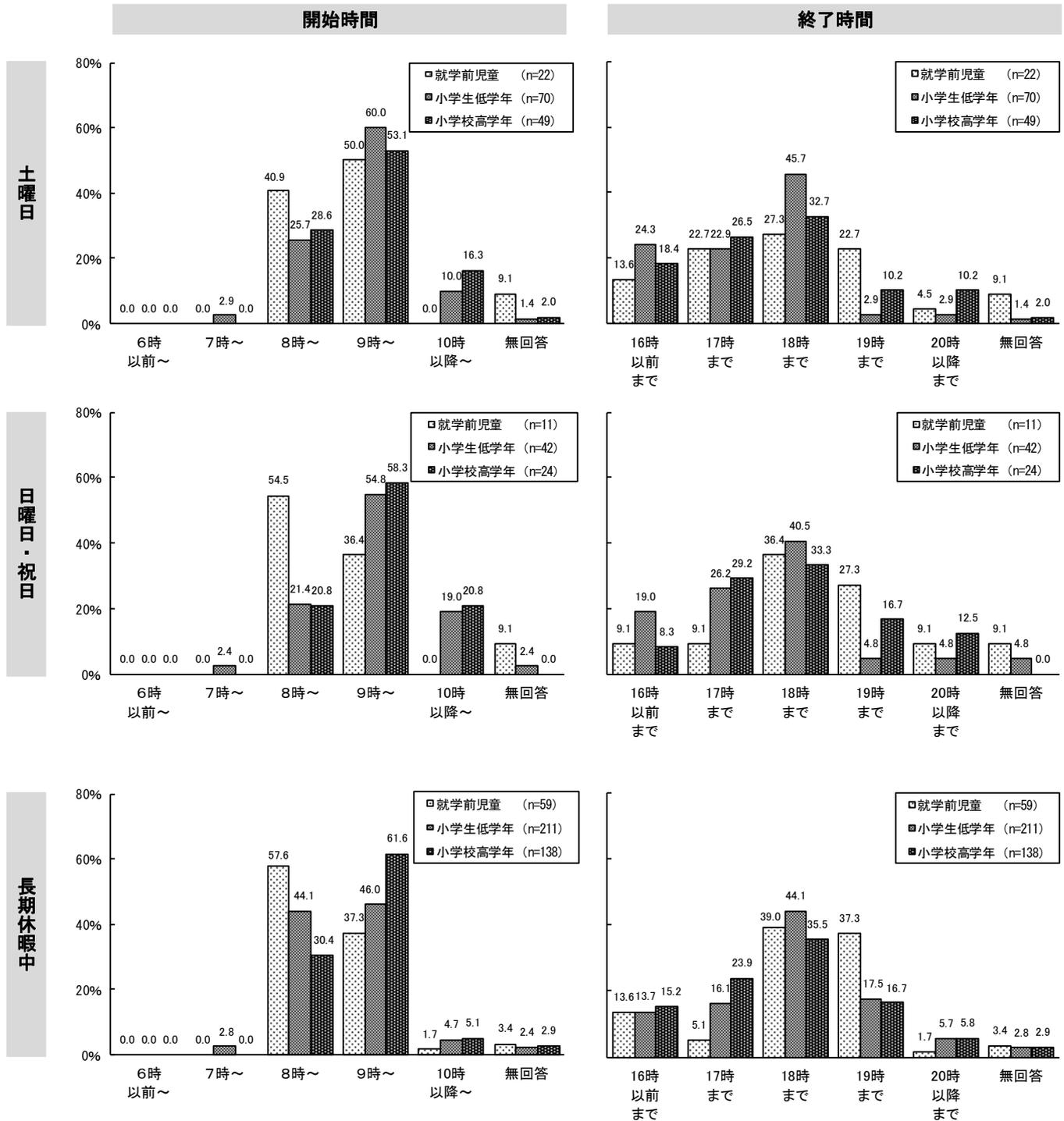


※就学前児童は、放課後を過ごさせたい場所で「区立の育成室（学童保育）」回答者に対し、平日以外の利用希望を質問しているが、小学生には全員に質問しているため、小学生にあわせて就学前児童全員（来年度就学児童）を母数として集計。

②【土・日・祝日／長期休暇中の利用希望者】育成室（学童保育）の平日以外の希望開始時間／希望終了時間
 時間 [就学前児童：問23(1)(2)、問24] [小学生：問26-2(1)(2)、問26-3]

育成室（学童保育）の平日以外の希望開始時間は、土曜日では就学前児童の保護者、小学校低学年、高学年ともに「9時～」が最も多く、次いで「8時～」となっている。日曜日・祝日では、就学前児童の保護者は「8時～」が最も多く、小学校低学年、高学年は「9時～」が最も多く、年齢による違いがみられる。

希望終了時間は、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中ともに「18時まで」がいずれの年齢においても最も多くなっている。

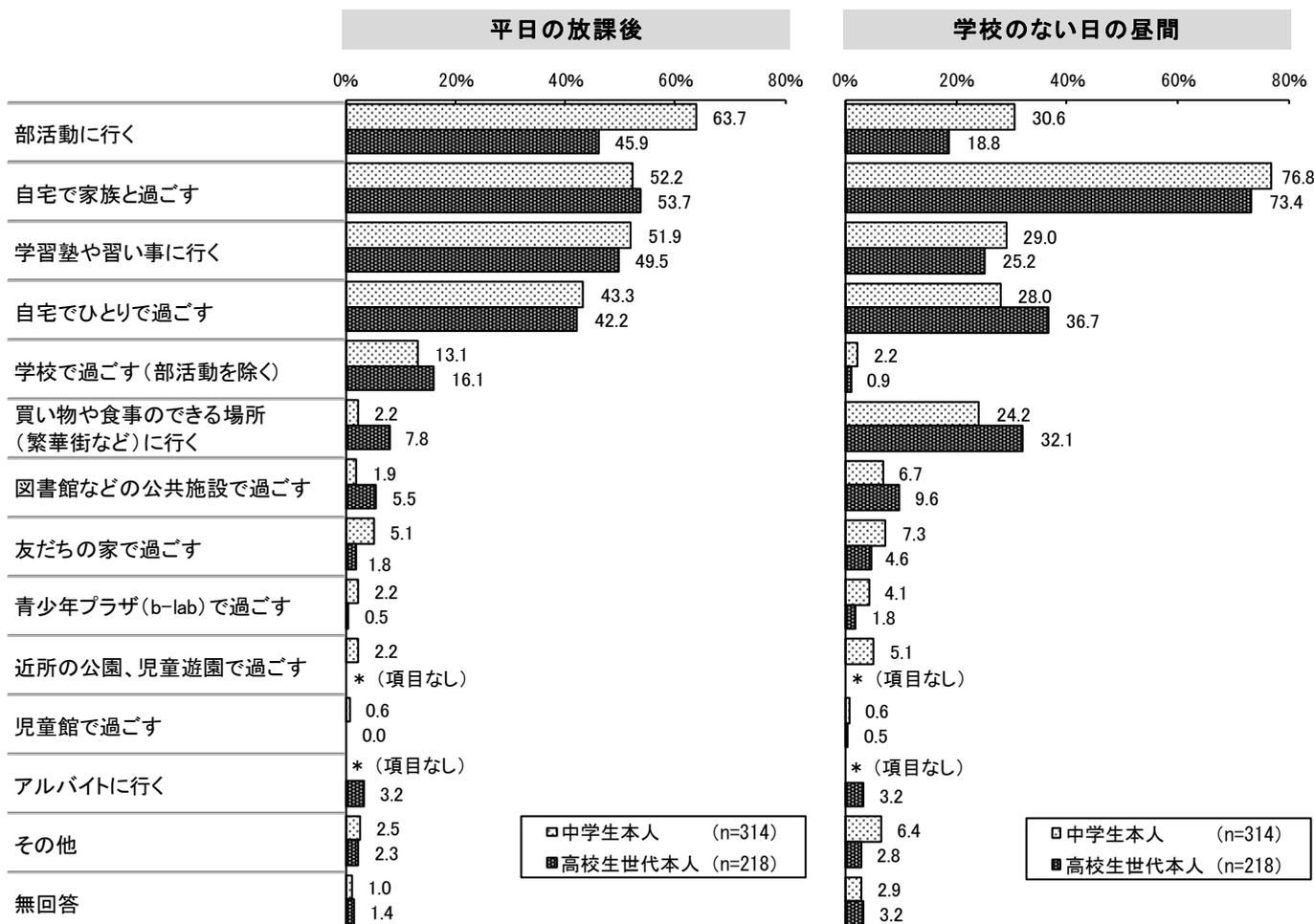


(7) 普段過ごす場所（複数回答）

〔中学生本人：問4〕〔高校生世代本人：問8〕

中学生本人と高校生世代本人に、普段過ごす場所を尋ねたところ、平日の放課後は、中学生では「部活動に行く」が63.7%、高校生世代では「自宅で家族と過ごす」が53.7%と最も多くなっている。次いで中学生では「自宅で家族と過ごす」が52.2%、「学習塾や習い事に行く」が51.9%、高校生世代では「学習塾や習い事に行く」が49.5%、「部活動に行く」が45.9%となっている。

学校のない日の昼間は、中学生、高校生世代ともに「自宅で家族と過ごす」が最も多くなっている。



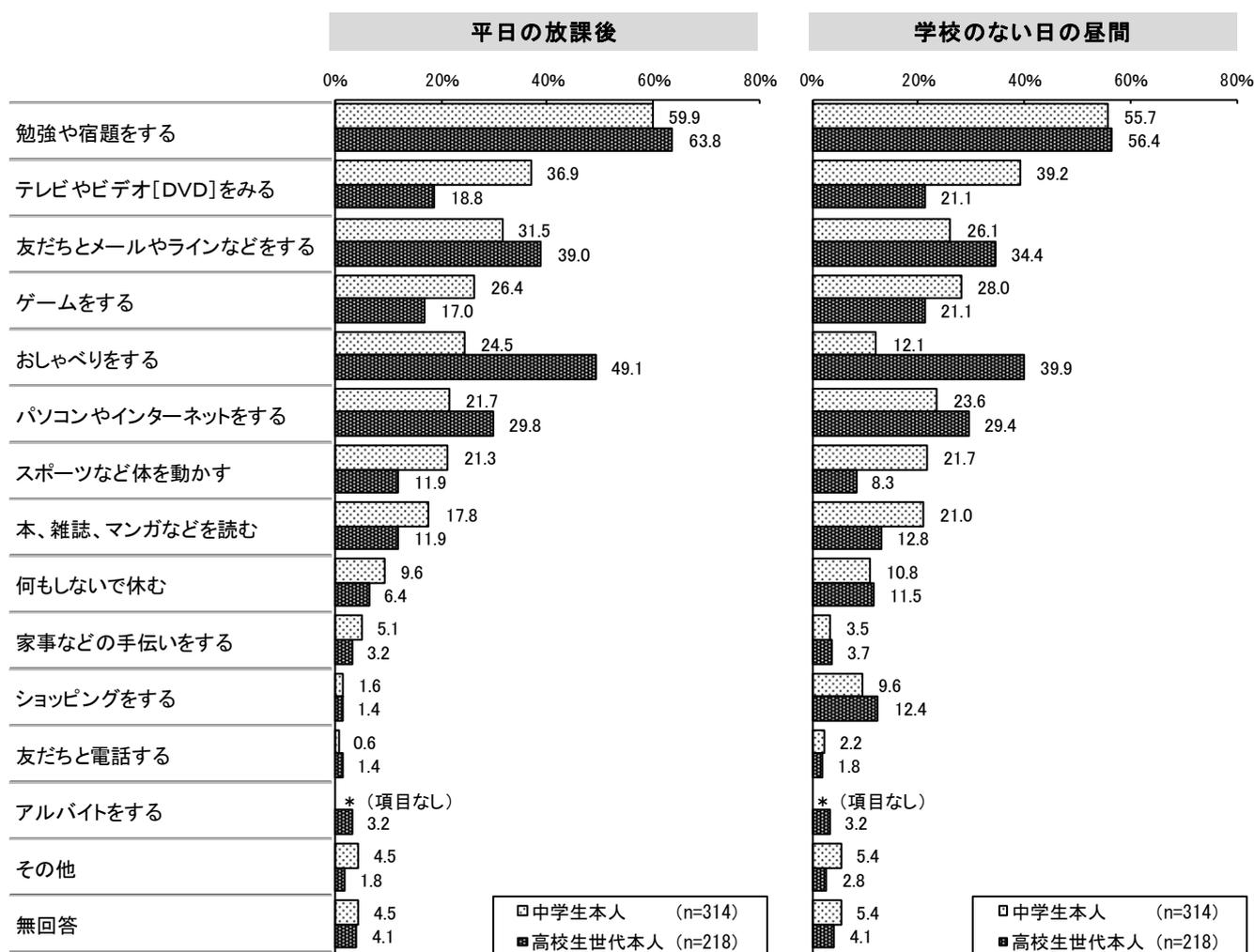
(8) 普段の過ごし方 (複数回答)

[中学生本人：問5] [高校生世代本人：問9]

中学生本人と高校生世代本人に、普段の過ごし方を尋ねたところ、中学生、高校生世代ともに、平日の放課後、学校のない日の昼間において「勉強や宿題をする」が5割を超えて最も多くなっている。次いで、中学生では「テレビやビデオをみる」、高校生世代では「おしゃべりをする」が上位となっている。

中学生、高校生世代で比較すると、「テレビやビデオをみる」、「ゲームをする」、「本、雑誌、マンガなどを読む」は中学生の方が多く、「友だちとメールやラインなどをする」、「おしゃべりをする」、「パソコンやインターネットをする」は高校生世代の方が多くなっており、高校生世代では他者とのコミュニケーションやつながりに時間を使っていることがわかる。

一方、「スポーツなど体を動かす」は中学生の方が多く、高校生世代では体を動かす機会が減少する傾向がみられる。



※ 選択肢内[]は、中学生本人向けと高校生世代本人向けで表現が異なる

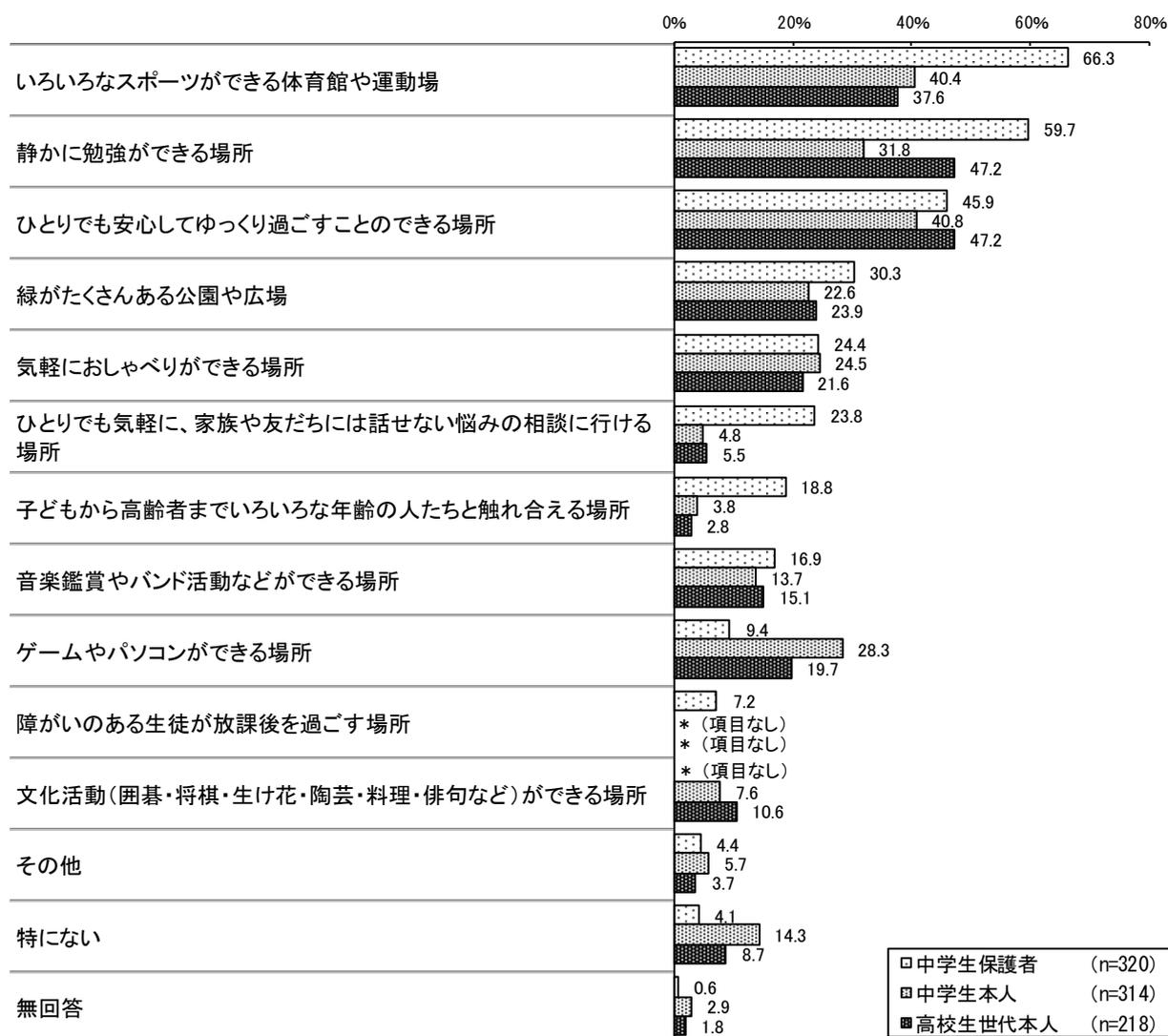
(9) 放課後を過ごす場所の希望 (複数回答)

[中学生：問 12] [中学生本人：問 6] [高校生世代本人：問 10]

中学生の保護者と本人、高校生世代本人に放課後を過ごす場所の希望について尋ねたところ、中学生保護者では「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が 66.3%、中学生本人では「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」が 40.8%、高校生世代本人では「静かに勉強ができる場所」、「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」がともに 47.2%で最も多くなっている。

中学生の保護者と中学生本人の希望を比べると、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」、「静かに勉強ができる場所」、「ひとりでも気軽に、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所」、「子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所」などで中学生保護者の希望の方が多くなっており、一方、「ゲームやパソコンができる場所」では中学生本人の希望の方が多くなっている。

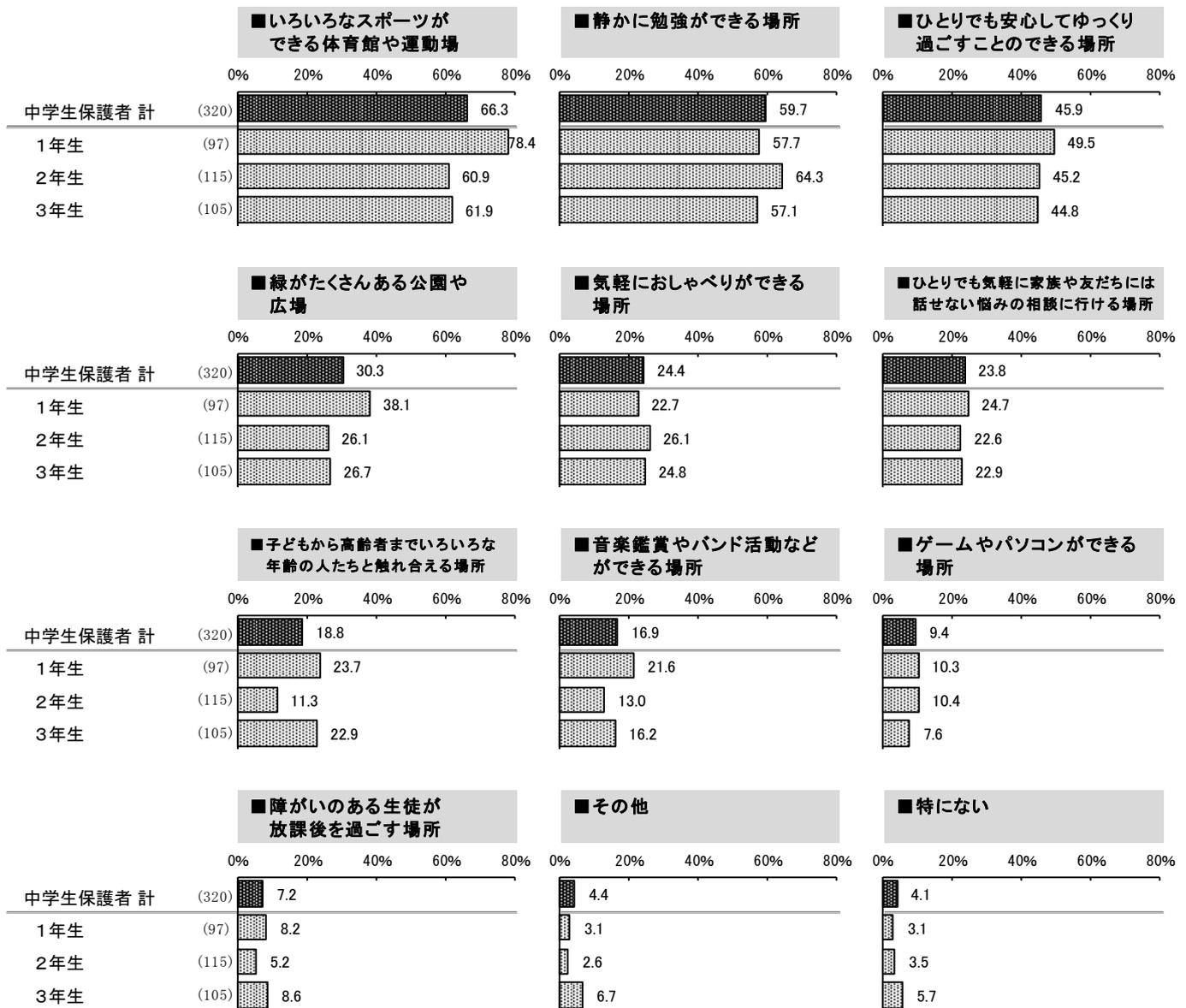
中学生本人、高校生世代本人ともに、悩みの相談や他世代とのコミュニケーションを図れる場所に比べ、運動や勉強のできる場所や安全に過ごせる居場所を求める傾向がみられる。



《 【中学生保護者】子どもが放課後を過ごす場所の希望—子どもの学年別 《

子どもの学年別でみると、1年生、3年生では「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が最も多く、それぞれ78.4%、61.9%となっており、2年生では「静かに勉強ができる場所」が64.3%で最も多くなっている。

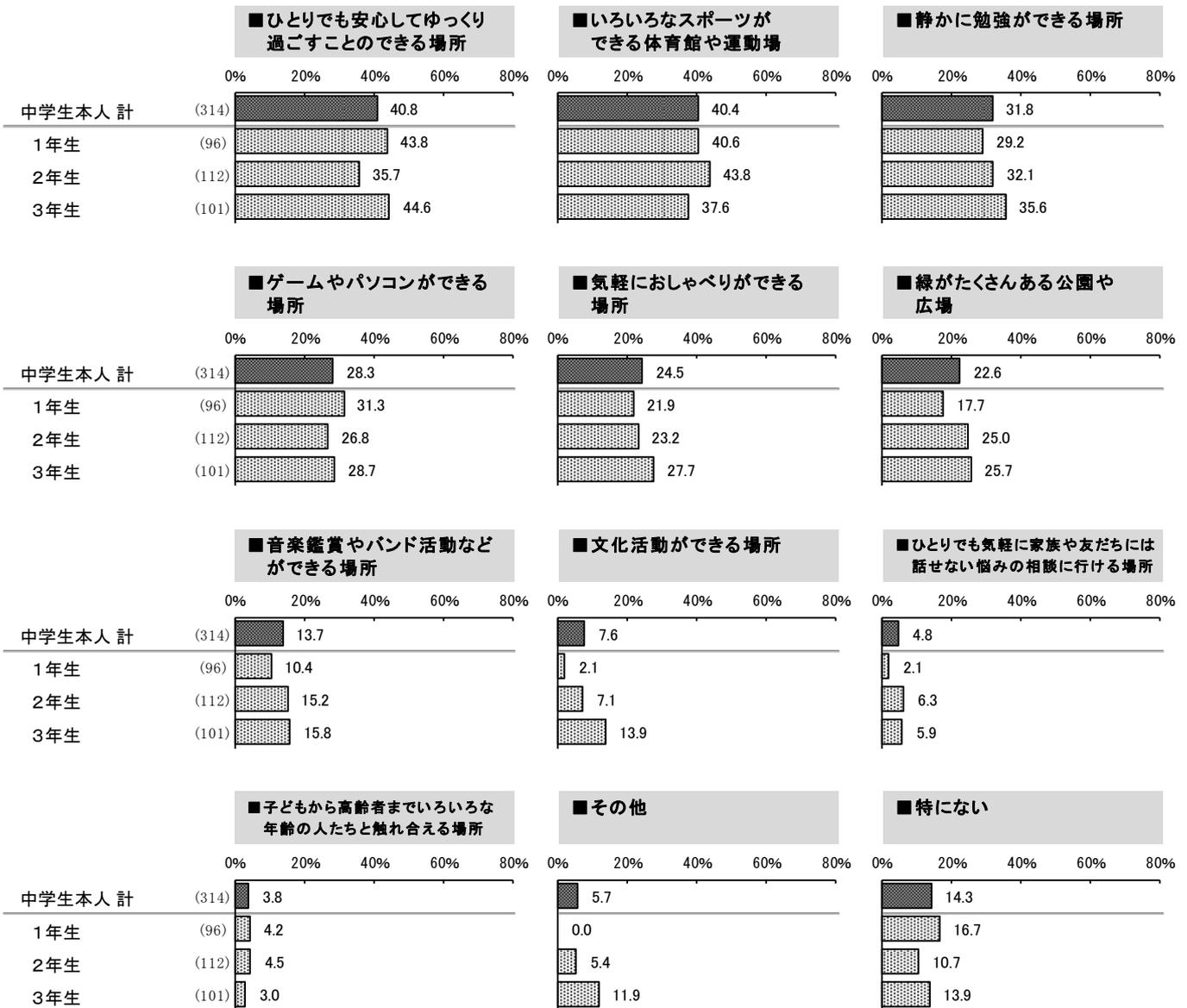
また、「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」「緑がたくさんある公園や広場」は1年生の保護者で比較的多い傾向となっている。



《 【中学生本人】 放課後を過ごす場所の希望－学年別 》

中学生本人の学年別で見ると、1年生、3年生では「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」が最も多く、それぞれ43.8%、44.6%となっており、2年生では「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が43.8%で最も多くなっている。

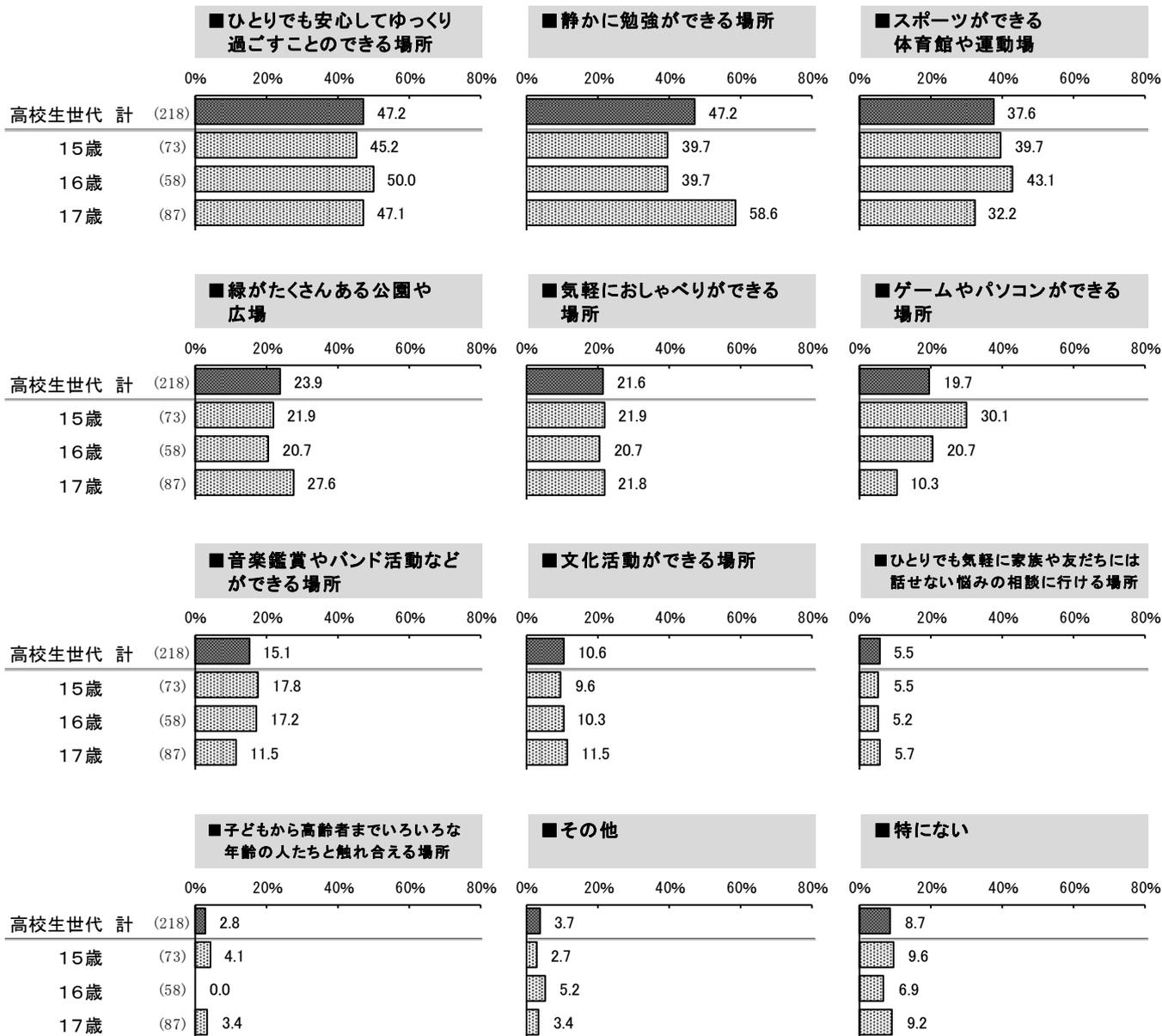
また、「静かに勉強ができる場所」「気軽にしゃべりができる場所」「緑がたくさんある公園や広場」「音楽鑑賞やバンド活動などができる場所」「文化活動ができる場所」は学年が上がるにつれて多くなる傾向となっている。



《 【高校生世代本人】放課後を過ごす場所の希望－学年別 《

高校生世代本人の年齢別でみると、15歳、16歳では「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」が最も多く、それぞれ45.2%、50.0%となっており、17歳では「静かに勉強ができる場所」が58.6%で最も多くなっている。

また、「静かに勉強ができる場所」「文化活動ができる場所」は年齢が上がるにつれて多くなる傾向にあり、反対に「ゲームやパソコンができる場所」「音楽鑑賞やバンド活動などができる場所」は年齢が上がるにつれて少なくなる傾向となっている。



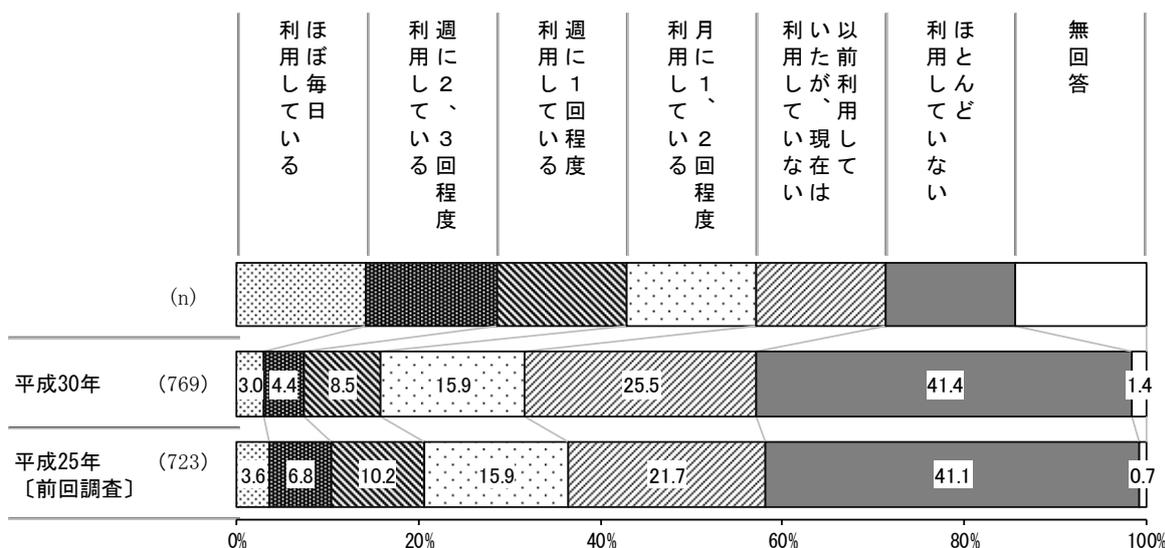
10. 児童館について

(1) 児童館の利用頻度

〔小学生：問27〕

小学生の児童館の利用頻度については、「ほぼ毎日利用している」3.0%、「週に2、3回程度利用している」4.4%、「週に1回程度利用している」8.5%、「月に1、2回程度利用している」15.9%と「利用している」計で31.8%となっている。「以前利用していたが、現在は利用していない」の過去利用は25.5%、「ほとんど利用していない」の未利用は41.1%となっている。

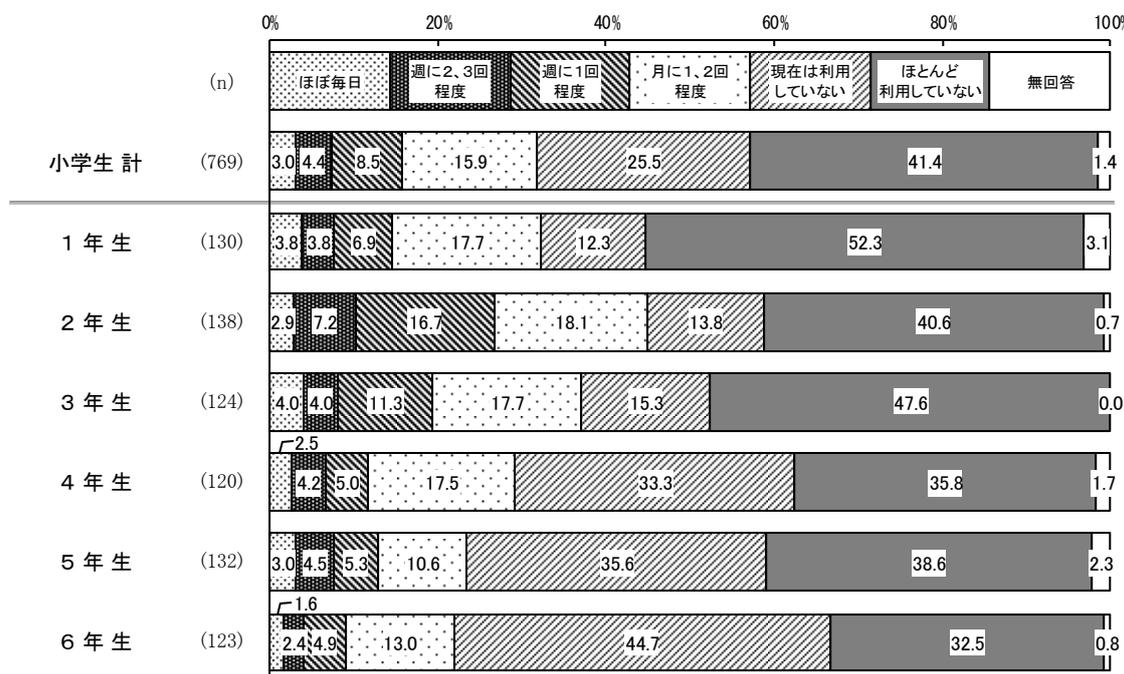
平成25年の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日利用している」「週に2、3回程度利用している」「週に1回程度利用している」が減少し、「以前利用していたが、現在は利用していない」が増加している。



《 児童館の利用頻度－子どもの学年別 》

子どもの学年別にみると、「ほぼ毎日」「週に2、3回程度」「週に1回程度」「月に1、2回程度」利用しているまで含めた「利用している」計は、2年生で最も割合が多く、3年生以降は割合が低くなる傾向がみられる。

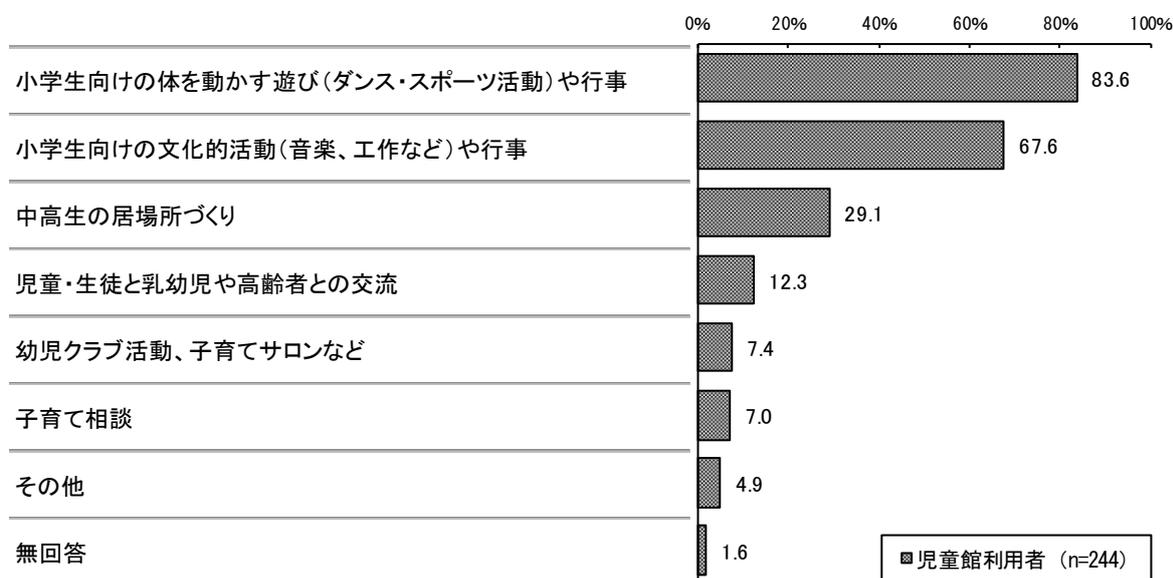
4年生以降の高学年については、低学年に比べて「現在は利用していない」の割合が多くなっている。



(2) 【児童館利用者】児童館として充実してほしい活動（複数回答）

〔小学生：問27-1〕

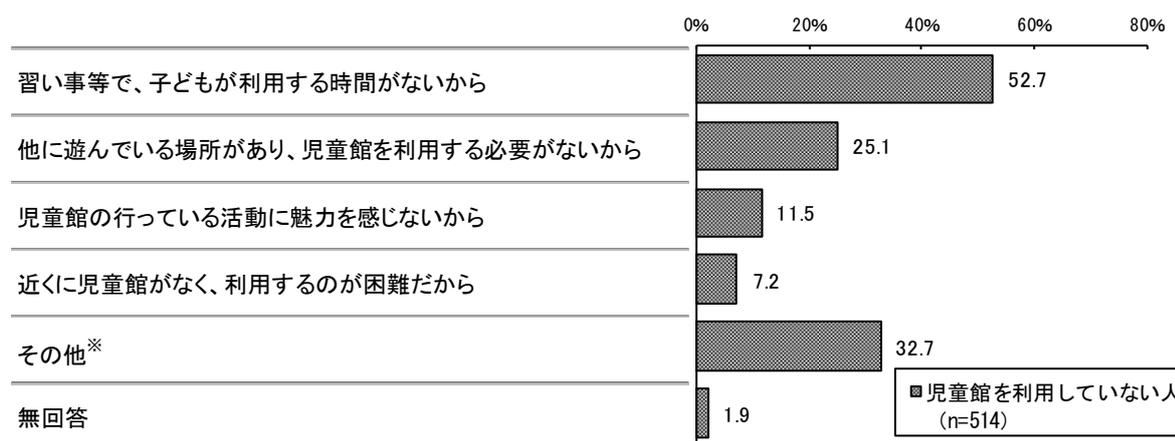
児童館を利用している小学生の保護者に対し、児童館として充実してほしい活動を尋ねたところ、「小学生向けの体を動かす遊び（ダンス・スポーツ活動）や行事」が83.6%と最も多く、次いで「小学生向けの文化的活動（音楽、工作など）や行事」が67.6%となっている。



(3) 【児童館を利用していない人】児童館を利用しない理由（複数回答）

〔小学生：問27-2〕

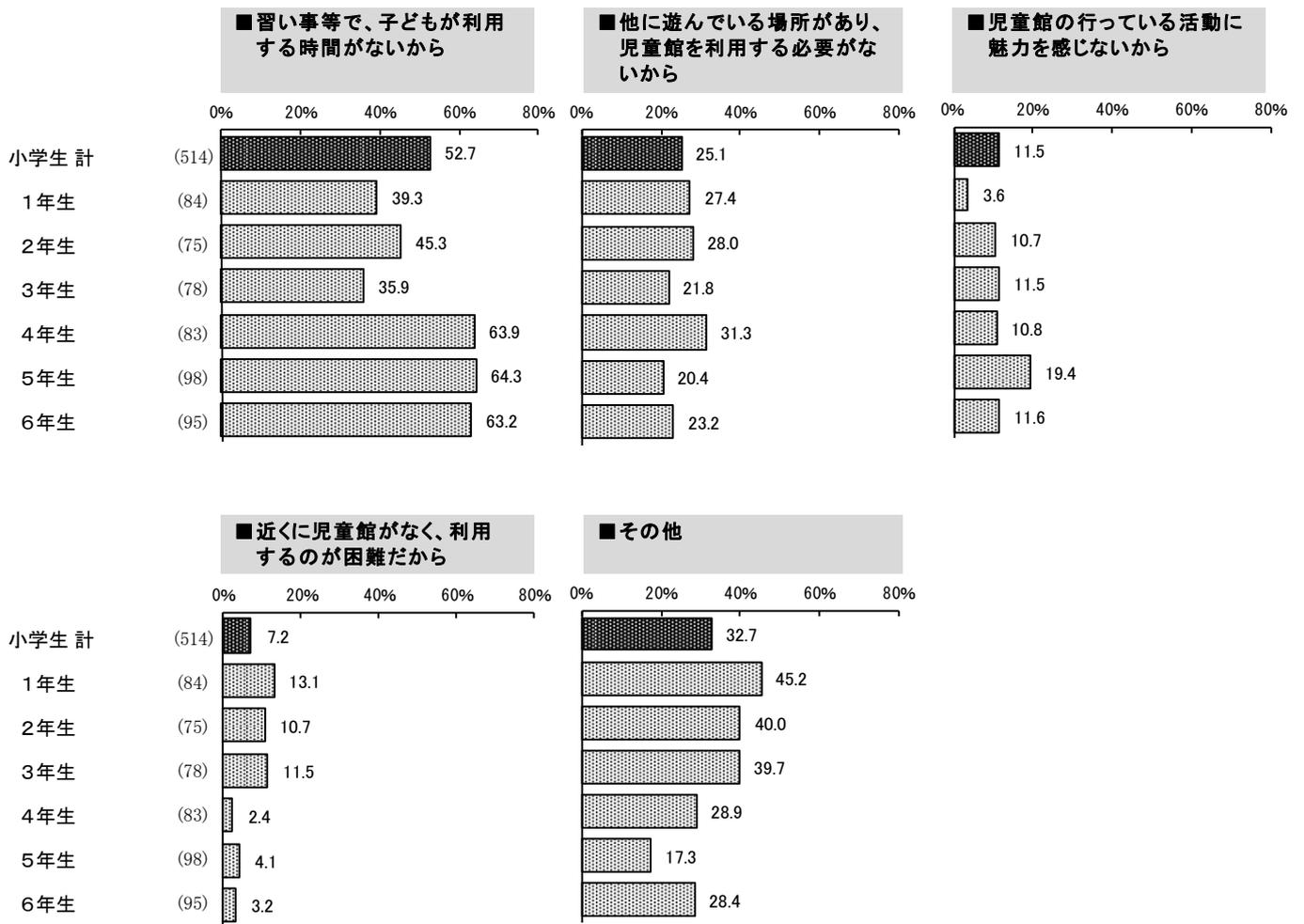
児童館を利用していない人にその理由を尋ねたところ、「習い事等で、子どもが利用する時間がないから」が52.7%と最も多く、次いで「他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから」が25.1%、「児童館の行っている活動に魅力を感じないから」が11.5%となっている。



※その他：育成室を利用している、友達が利用していない、子どもが行きたがらない、低学年の利用が多く高学年児童が利用しづらいなど

《児童館を利用しない理由－子どもの学年別》

子どもの学年別にみると、「習い事等で、子どもが利用する時間がないから」は4年生以上の高学年で6割を超え多くなっている。また、「近くに児童館がなく、利用するのが困難だから」は3年生以下の低学年で1割を超え、比較的多くなっている。

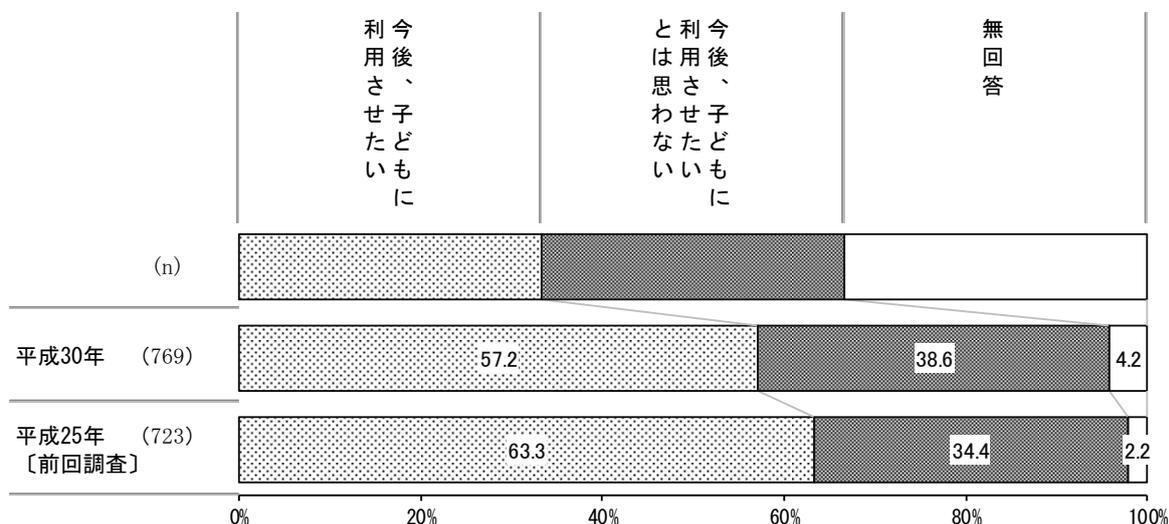


(4) 児童館の利用希望

①児童館の利用希望

[小学生：問28]

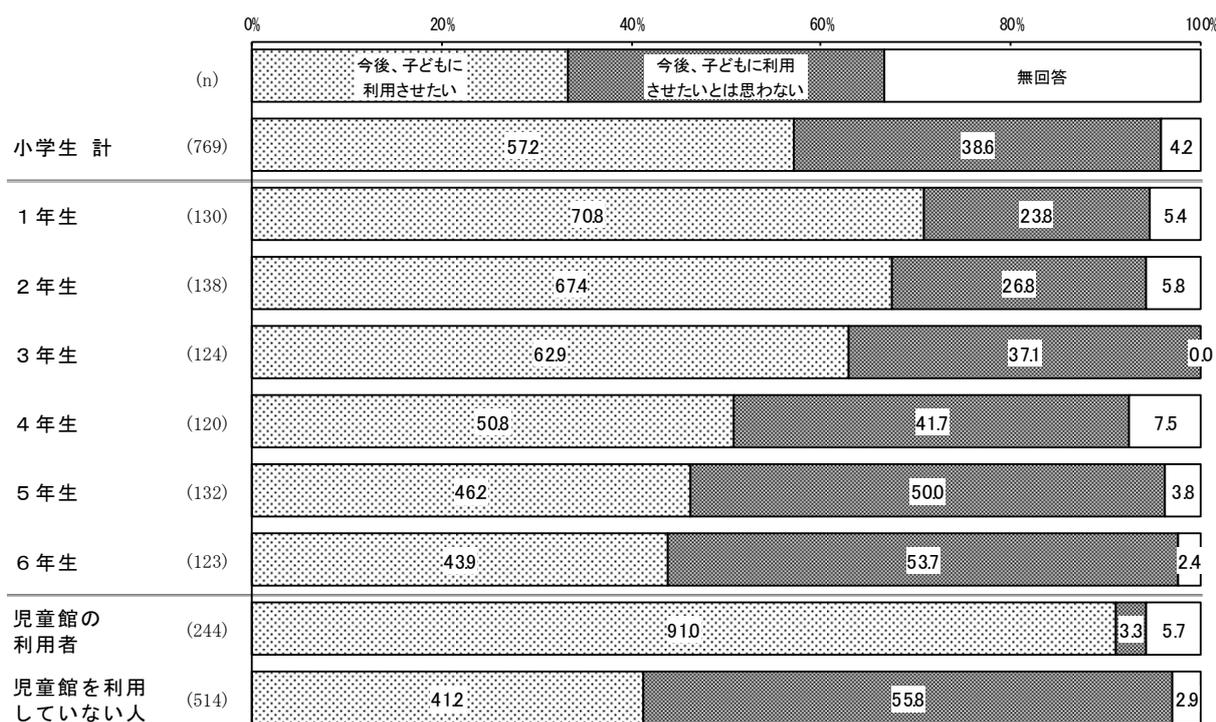
今後の児童館の利用希望について小学生の保護者全員に尋ねたところ、「今後、子どもに利用させたい」が57.2%、「今後、子どもに利用させたいと思わない」が38.6%となっており、平成25年の調査結果と比較して、「今後、子どもに利用させたい」が6.1ポイント減少している。



《 児童館の利用希望—子どもの学年別／児童館の利用状況別 》

子どもの学年別にみると、「今後、子どもに利用させたい」は学年が小さいほど多く、1年生が70.8%、2年生が67.4%、3年生が62.9%となっている。

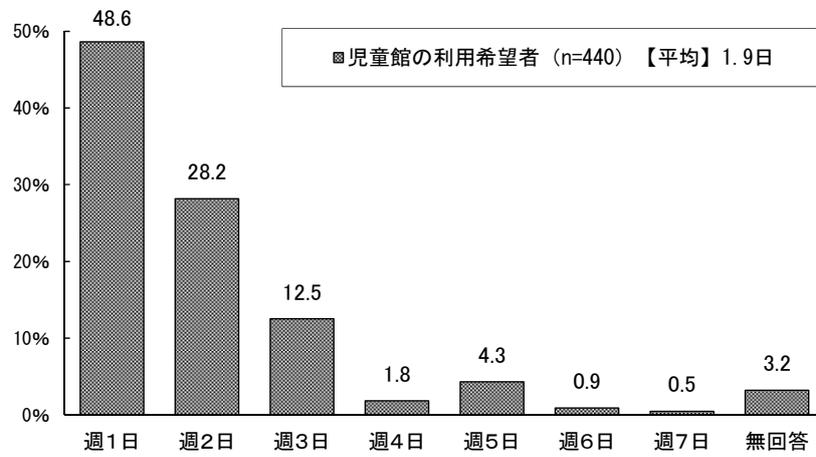
児童館の利用状況別にみると、児童館利用者の91.0%は今後も継続利用希望を示しており、児童館を利用していない人の今後の利用希望は41.2%となっている。



②【児童館の利用希望者】児童館の1週当たりの利用希望日数

〔小学生：問28〕

児童館の利用希望者の1週当たりの利用希望日数については、「週1日」が48.6%と最も多く、次いで「週2日」が28.2%、「週3日」が12.5%となっており、平均日数は1.9日となっている。

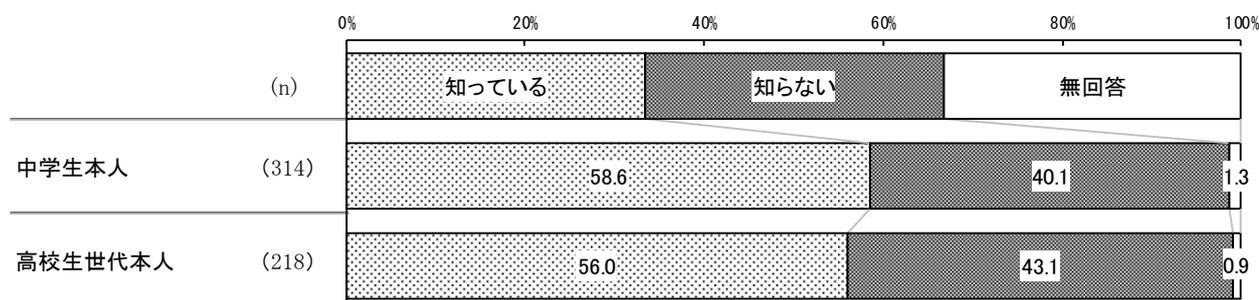


11. 青少年プラザ (b-lab) の利用状況について

(1) 青少年プラザ (b-lab) の認知度

[中学生本人：問 7] [高校生世代本人：問 11]

中学生本人と高校生世代本人に青少年プラザ (b-lab) の認知度を尋ねたところ、中学生、高校生世代ともに「知っている」が5割以上となっている。

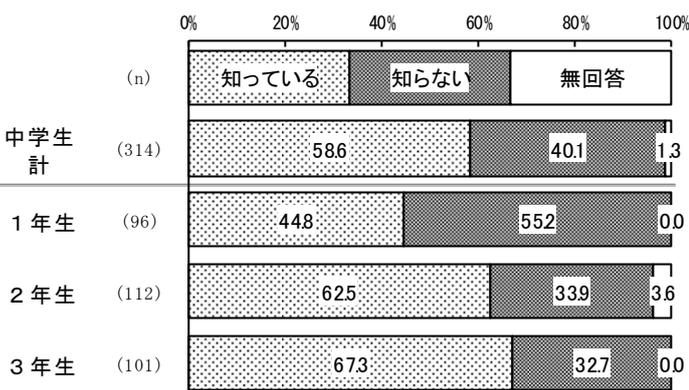


《青少年プラザ (b-lab) の認知度—子どもの学年／年齢別》

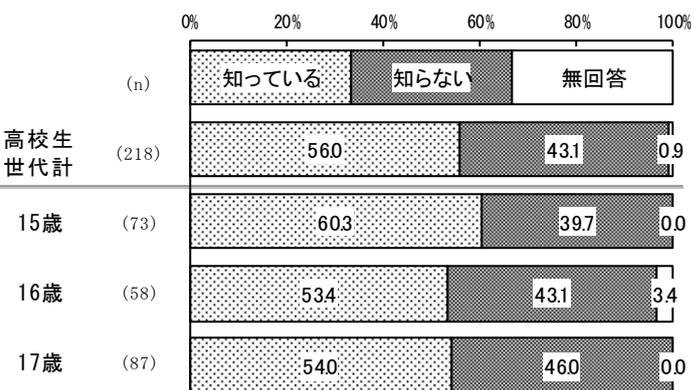
子どもの学年・年齢別にみると、「知っている」の割合は、中学生では1年生が44.8%、2年生が62.5%、3年生が67.3%と学年が上がるにつれて「知っている」の割合が多い傾向となっている。

高校生世代は、15歳が60.3%で最も多く、次いで17歳が54.0%、16歳が53.4%となっている。

中学生本人



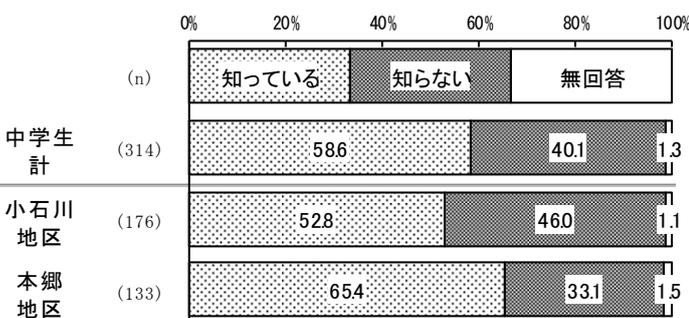
高校生世代本人



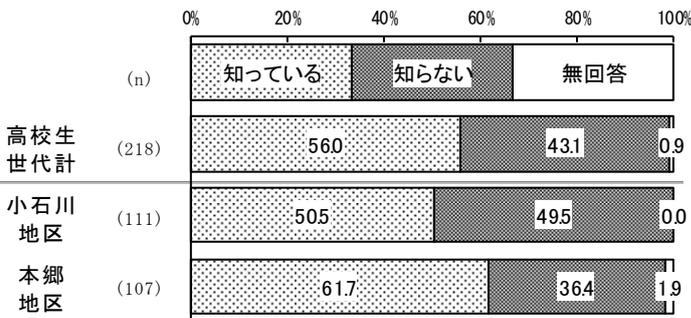
《青少年プラザ (b-lab) の認知度—地区別》

地区別にみると、「知っている」の割合は、中学生本人、高校生世代本人ともに本郷地区がそれぞれ65.4%、61.7%と多く、青少年プラザ (b-lab) が立地している本郷地区で割合が多い傾向となっている。

中学生本人



高校生世代本人



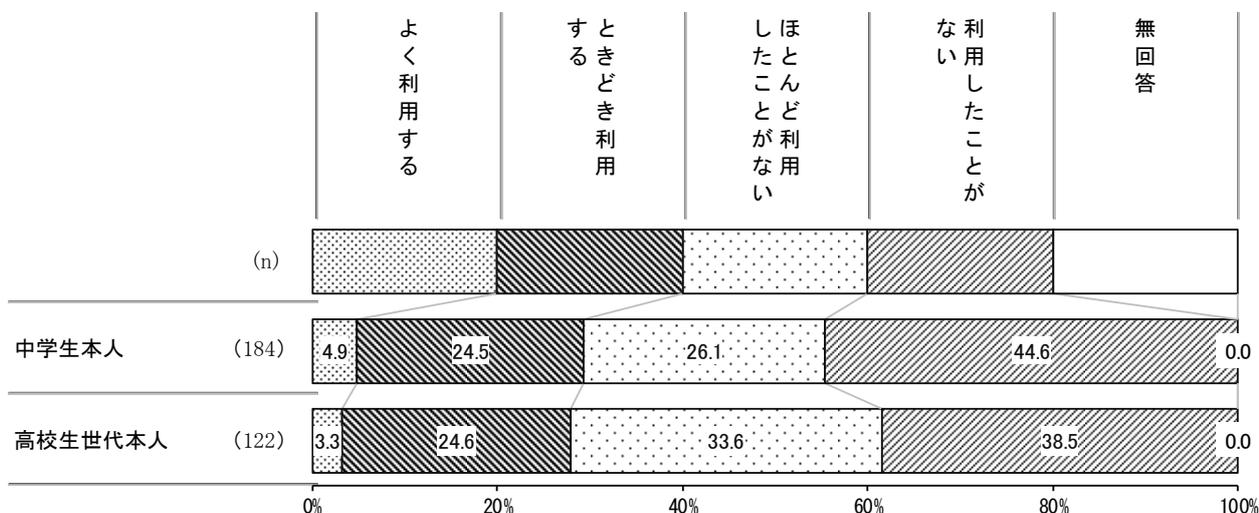
※小石川地区：後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽

本郷地区：本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

(2) 【青少年プラザ (b-lab) を知っている人】青少年プラザ (b-lab) の利用頻度

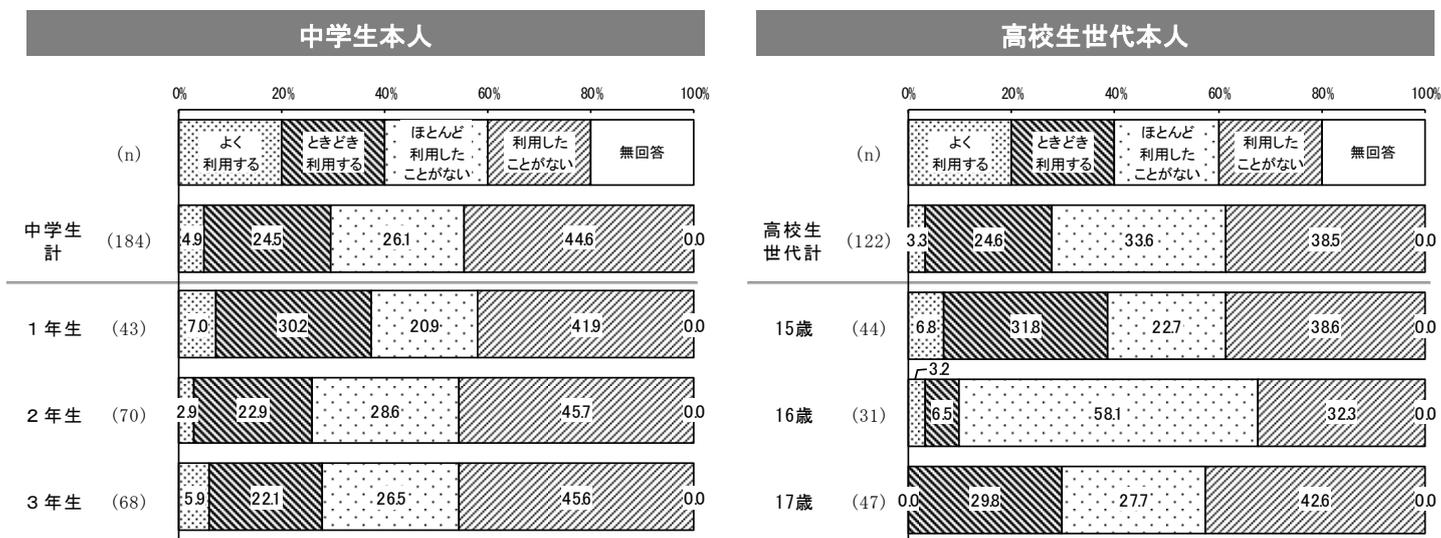
[中学生本人：問 7-1] [高校生世代本人：問 11-1]

青少年プラザ (b-lab) を知っている人と回答した人に同施設の利用頻度を尋ねたところ、「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた「利用する」計は中学生、高校生世代ともに約3割となっている。



《青少年プラザ (b-lab) の利用頻度—子どもの学年／年齢別》

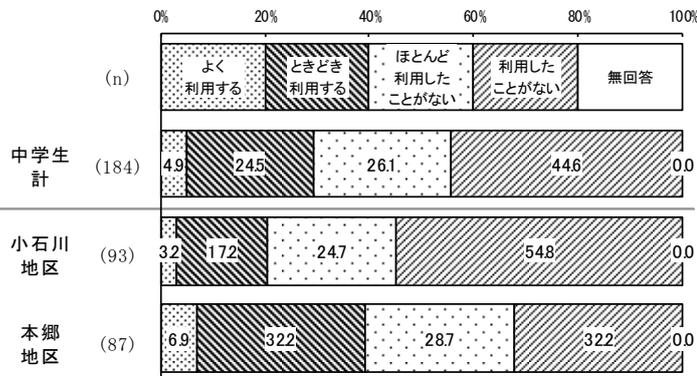
子どもの学年・年齢別にみると、「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた「利用する」計は、中学生では1年生、高校生世代では15歳が3割を超えて最も多くなっている。



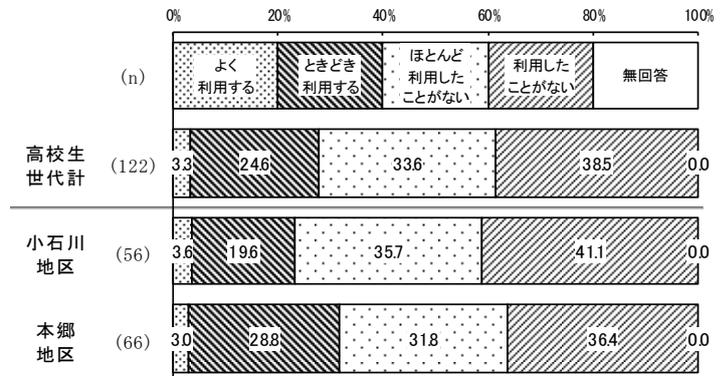
《青少年プラザ（b-lab）の利用頻度－地区別》

地区別にみると、「よく利用する」「ときどき利用する」をあわせた「利用する」計は、本郷地区で多く、中学生で39.1%、高校生世代本人で31.8%となっている。

中学生本人



高校生世代本人

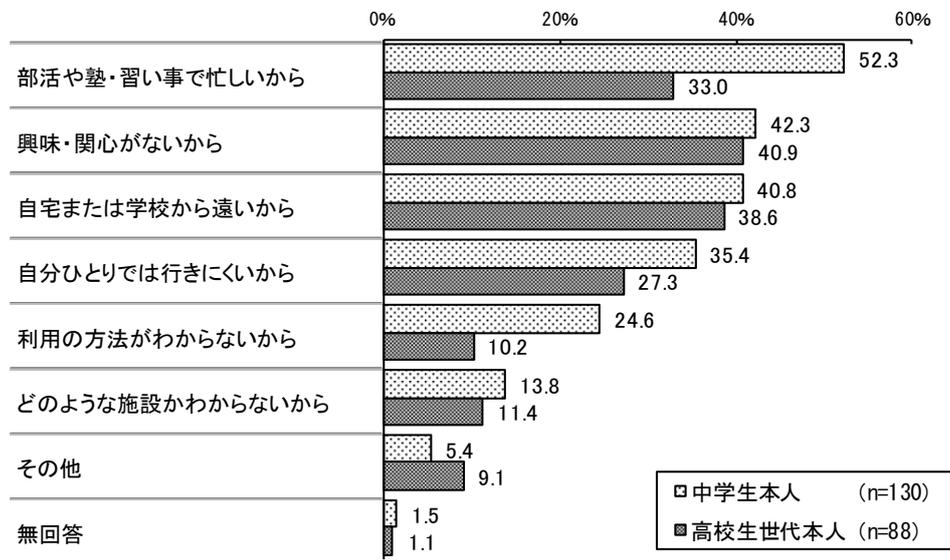


※小石川地区：後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区：本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

(3) 【「ほとんど利用したことがない」「利用したことがない」回答者】青少年プラザ（b-lab）を利用しない理由（複数回答）

〔中学生本人：問 7-2〕〔高校生世代本人：問 11-2〕

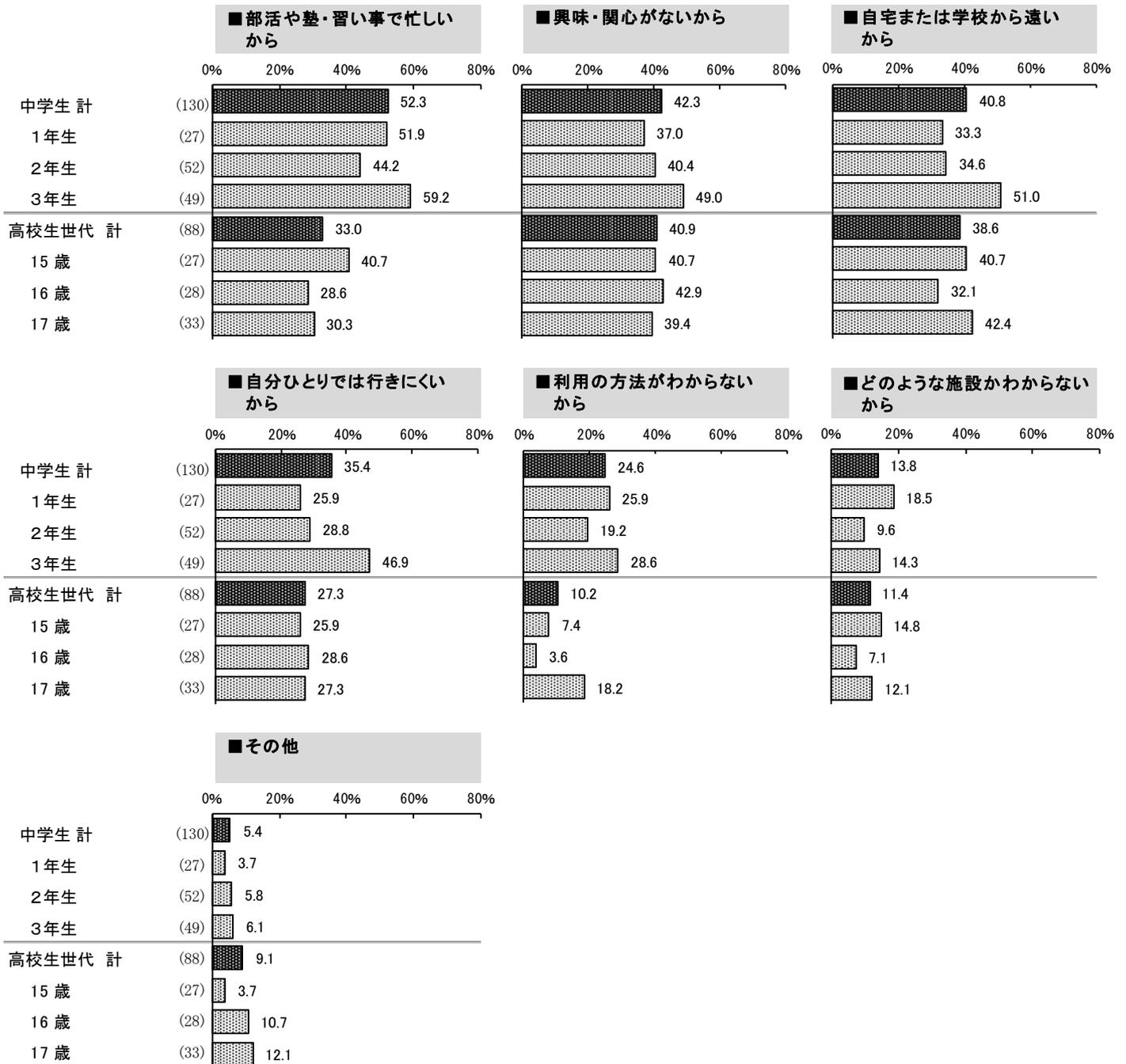
青少年プラザ(b-lab)を利用しない理由については、中学生では「部活や塾・習い事で忙しいから」が52.3%、高校生世代では「興味・関心がないから」が40.9%で最も多くなっている。



《青少年プラザ（b-lab）を利用しない理由（複数回答）－子どもの学年／年齢別》

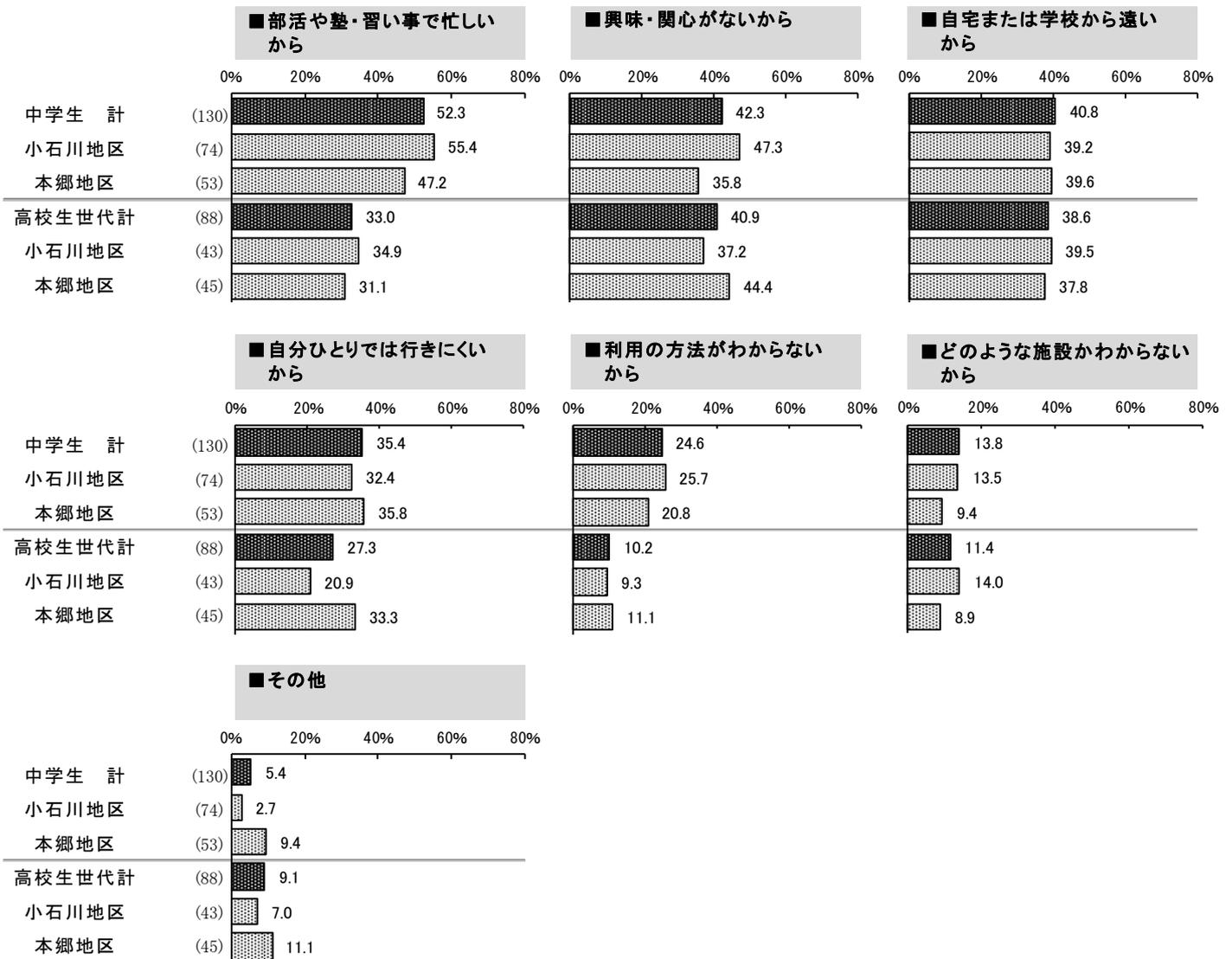
子どもの学年・年齢別にみると、「部活や塾・習い事で忙しいから」は中学生では3年生が59.2%、高校生世代本人では15歳が40.7%で最も多くなっている。「興味・関心がないから」は中学生では3年生が49.0%、高校生世代本人では16歳が42.9%で最も多くなっている。

「自分ひとりでは行きにくいから」「自宅または学校から遠いから」は、中学生では学年が上がるにつれて割合が多くなる傾向にある。



《青少年プラザ（b-lab）を利用しない理由（複数回答）－地区別》

地区別にみると、地区による特徴的な傾向は見られないが、「自宅または学校から遠いから」は両地区とも大きな差がなく、利用しない理由として、施設の立地場所はそれほど影響していないと考えられる。

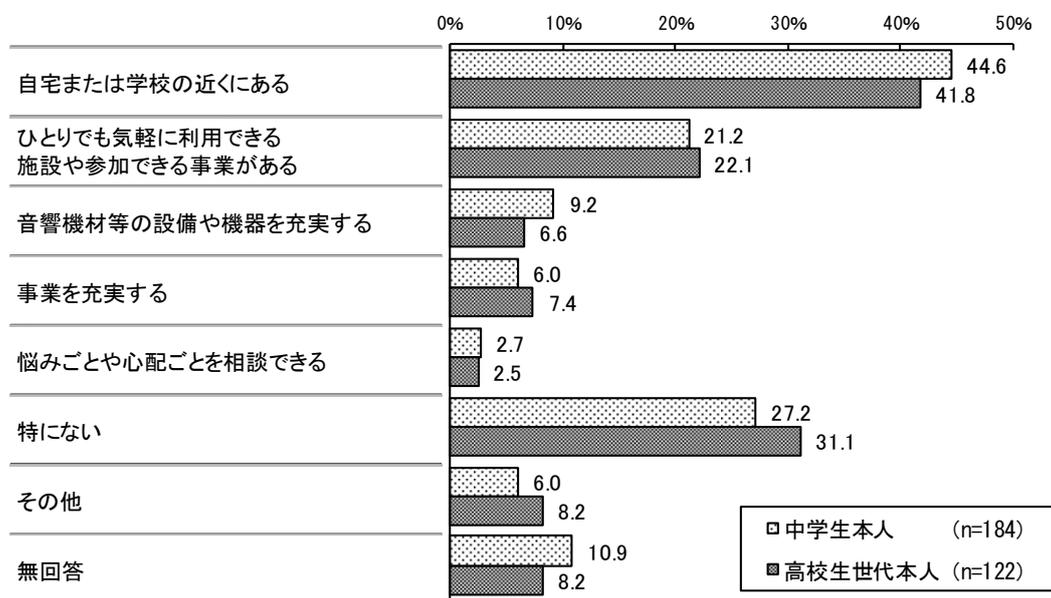


※小石川地区：後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区：本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

(4) 【青少年プラザ (b-lab) を知っている人】どのような施設 (機能) があれば利用したいか

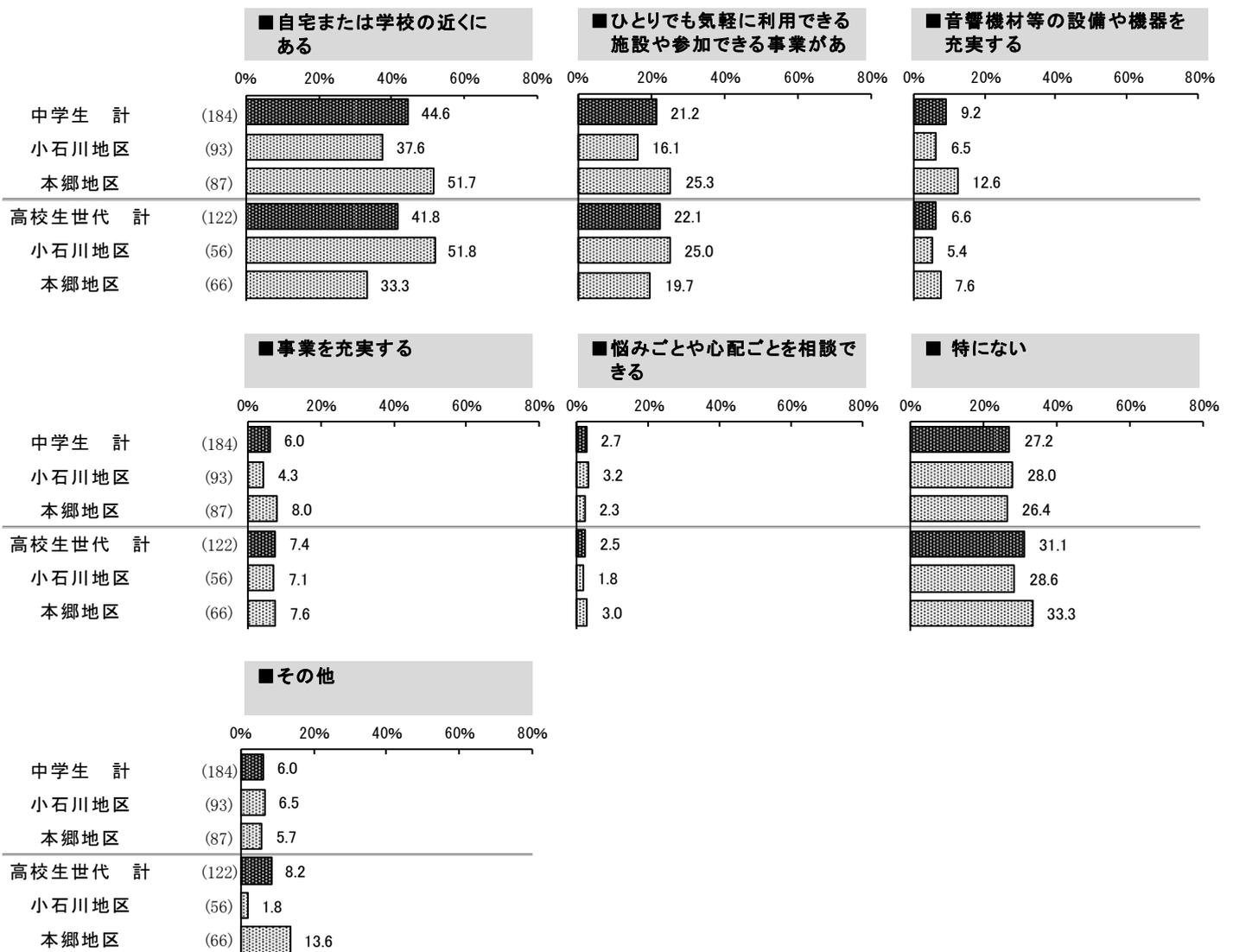
〔中学生本人：問 7-3〕〔高校生世代本人：問 11-3〕

青少年プラザ (b-lab) にどのような施設 (機能) があれば利用したいかについては、中学生、高校生世代ともに「自宅または学校の近くにある」が最も多く、それぞれ 44.6%、41.8%となっており、次いで「ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある」がともに約 2 割となっている。



《どのような施設（機能）があれば利用したいかー地区別》

地区別にみると、「自宅または学校の近くにある」は中学生では本郷地区が 51.7%、高校生世代では小石川地区が 51.8%で最も多く、世代によって傾向が異なっている。



※小石川地区：後楽、春日、小石川、白山、千石、水道、小日向、大塚、関口、目白台、音羽
 本郷地区：本郷、湯島、西片、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込

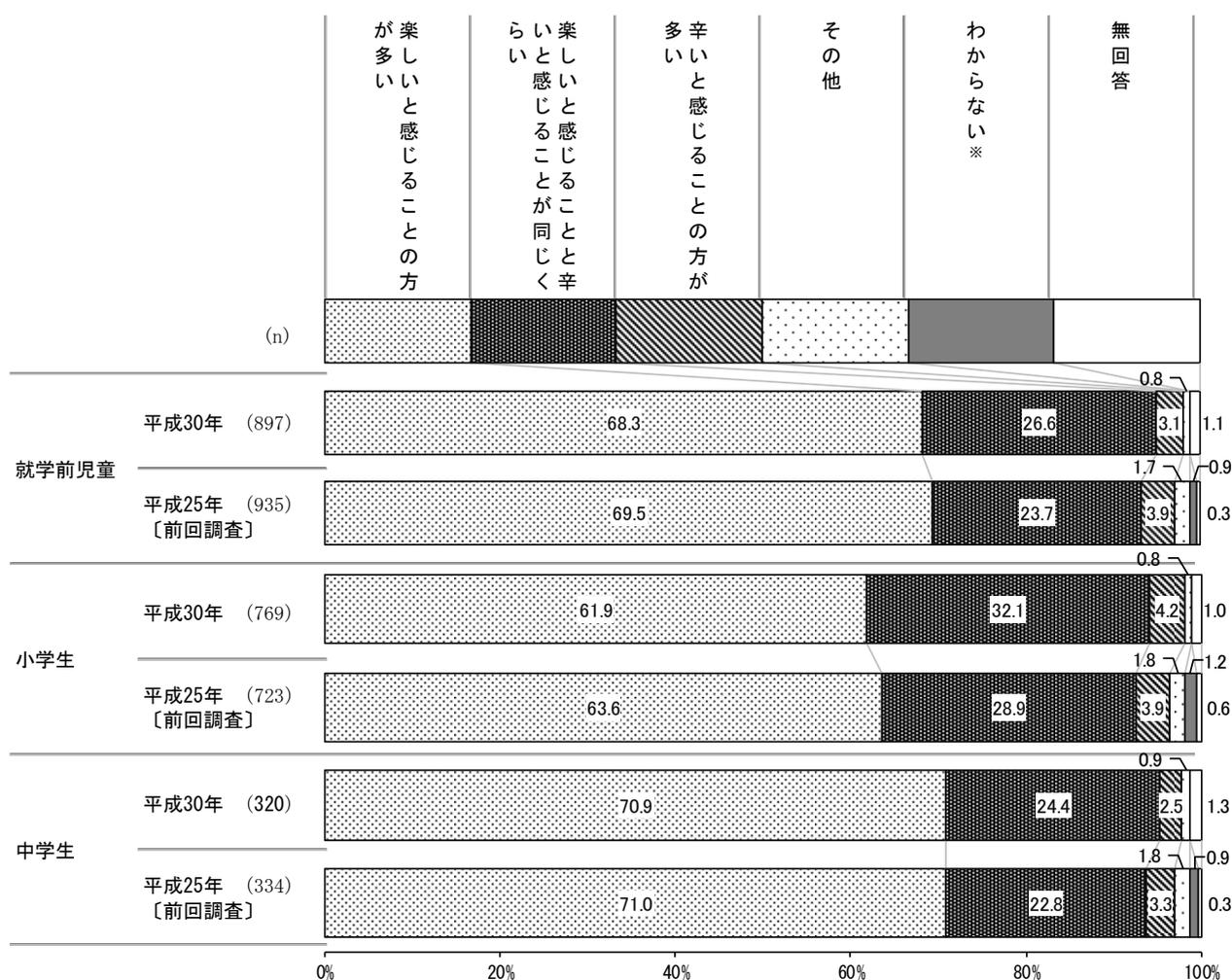
12. 子育てのイメージ／不安・悩みについて

(1) 子育ての楽しさ・辛さの感じ方

〔就学前児童：問26〕〔小学生：問11〕〔中学生：問8〕

子育ての楽しさ・辛さの感じ方について、「楽しいと感じることの方が多い」と回答したのは、就学前児童の保護者が68.3%、小学生の保護者が61.9%、中学生の保護者が70.9%となっており、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」は就学前児童の保護者が26.6%、小学生の保護者が32.1%、中学生の保護者が24.4%となっている。

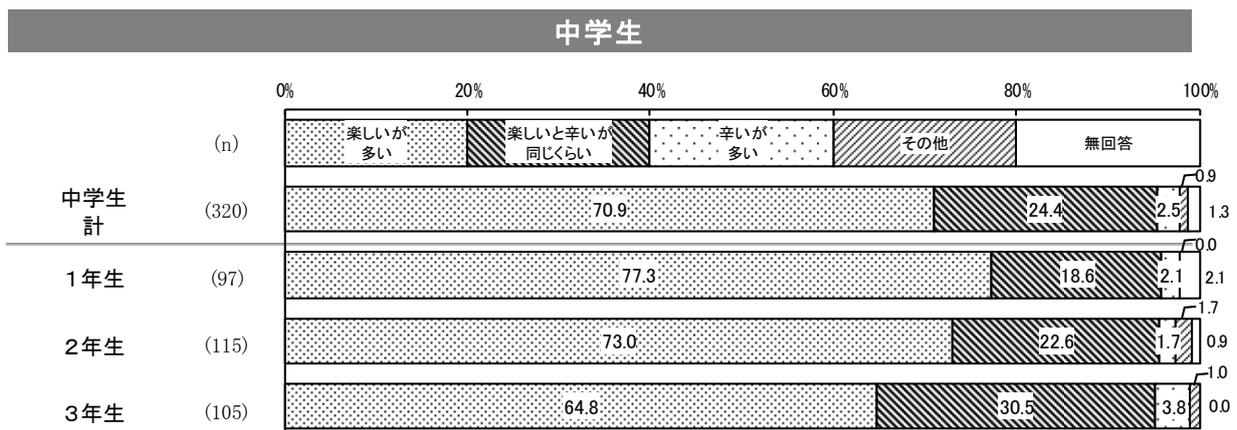
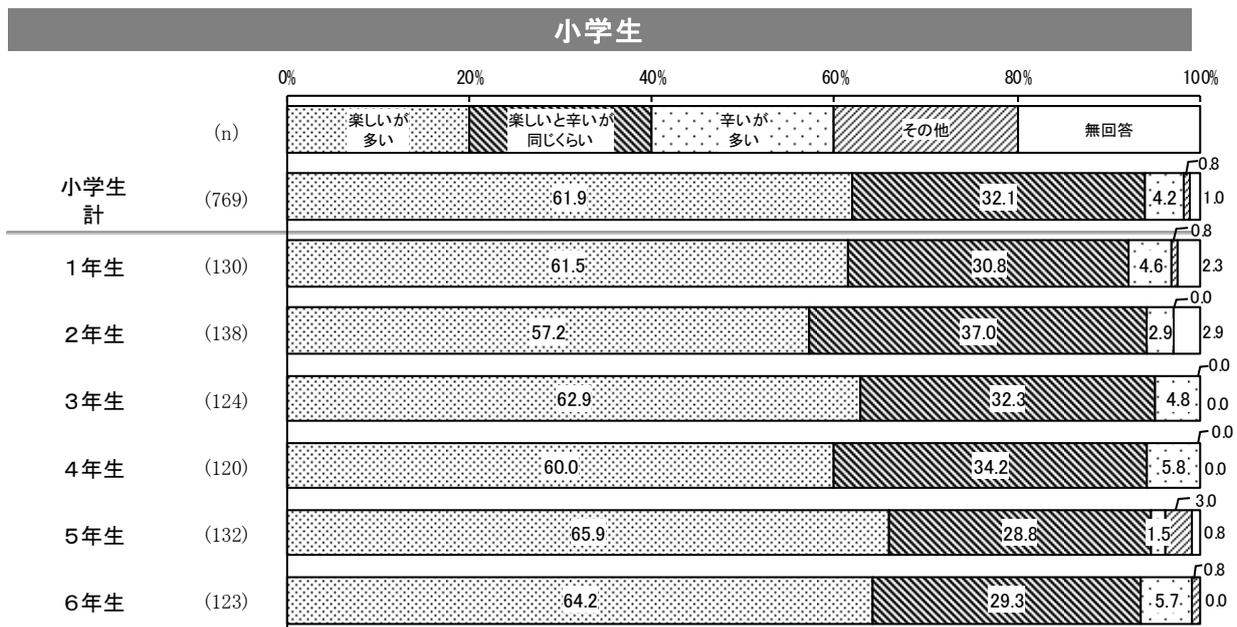
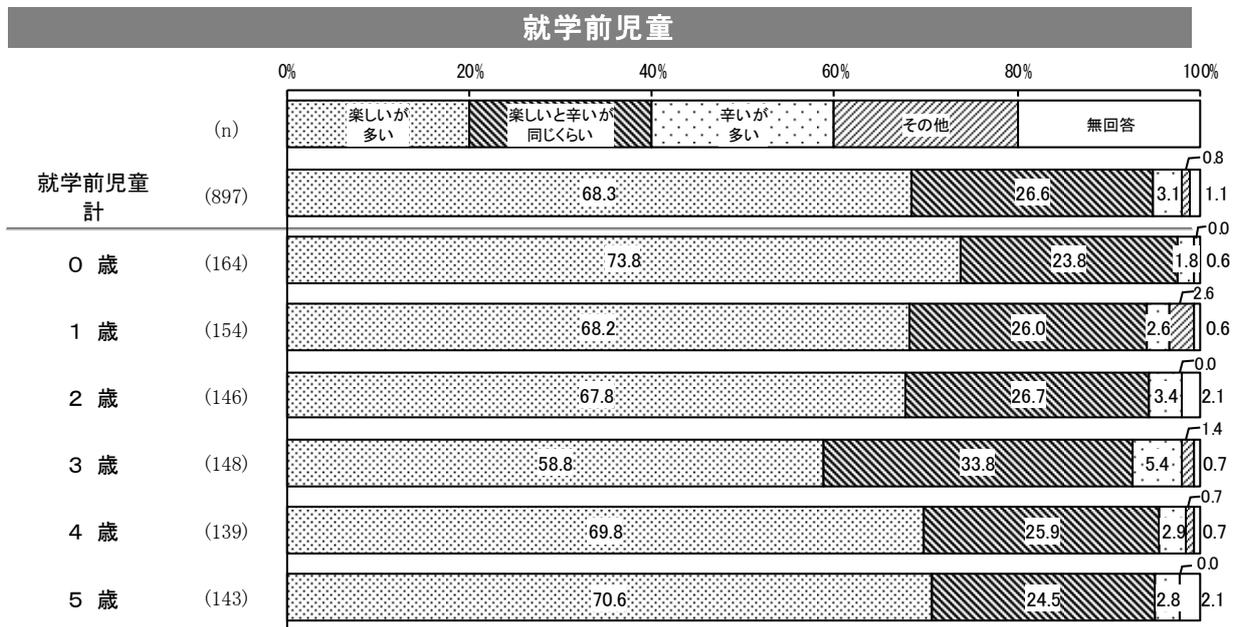
平成25年の調査結果と比較すると、「楽しいと感じることの方が多い」は就学前児童の保護者が1.2ポイント、小学生の保護者が1.7ポイント、中学生の保護者が0.1ポイント減少している。



※「わからない」は平成30年調査では項目なし

《 子育ての楽しさ・辛さの感じ方—子どもの年齢／学年別 《

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童においては、「楽しいと感じることが多い」が最も多いのは0歳で7割以上となっており、3歳までの間にその割合は減少し、4歳、5歳になると、また「楽しいと感じることが多い」の割合が7割前後となっている。小学生は5年生、6年生で、中学生は1年生で「楽しいと感じることが多い」の割合が他の学年と比べて多くなっている。

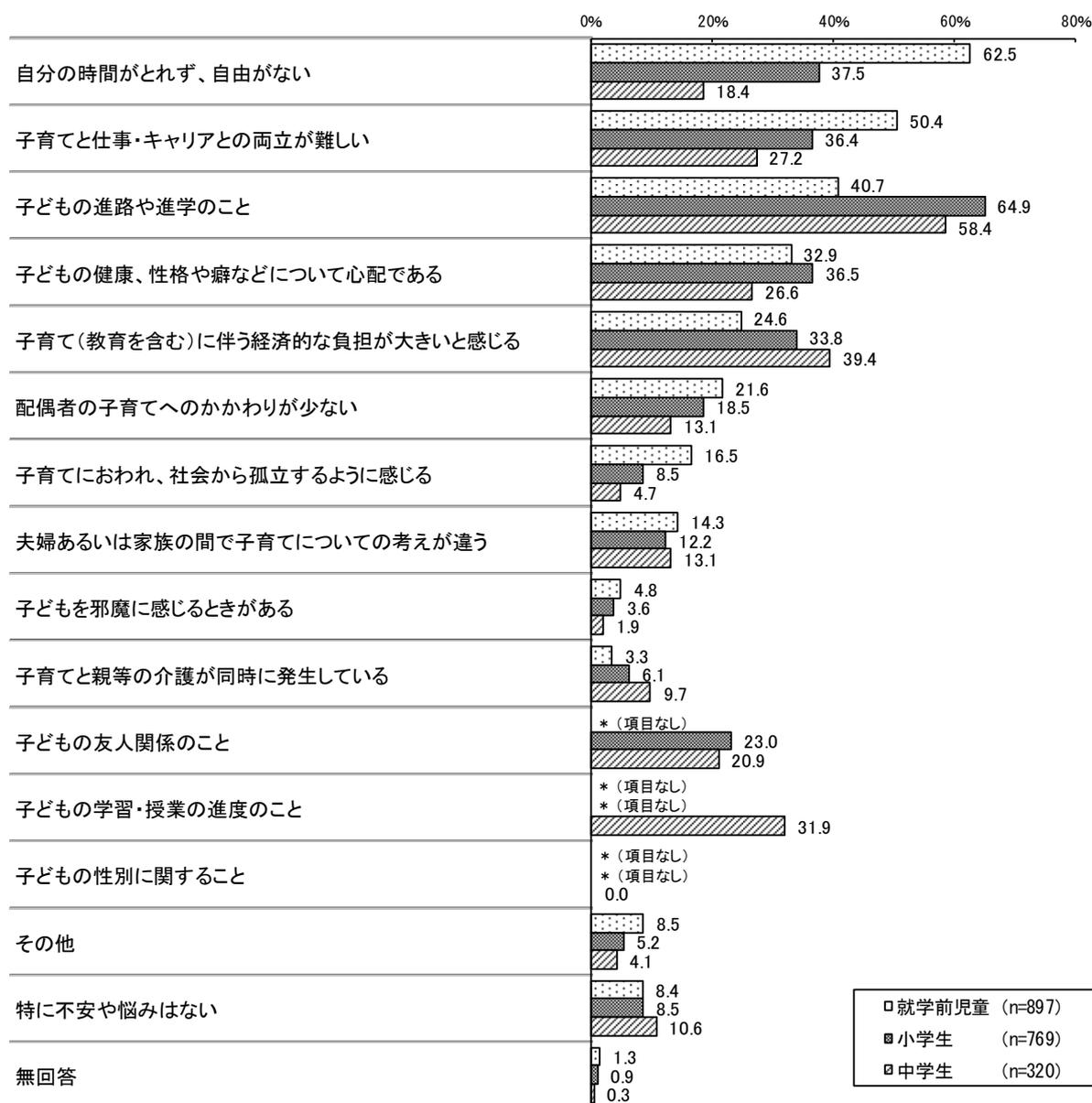


(2) 子育てをする上での不安や悩み（複数回答）

〔就学前児童：問 27〕〔小学生：問 12〕〔中学生：問 10〕

子育てをする上での不安や悩みについて、就学前児童の保護者は「自分の時間がとれず、自由がない」が 62.5%と最も多く、次いで「子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい」50.4%と、ワーク・ライフ・バランス関連の項目が上位に挙げられている。

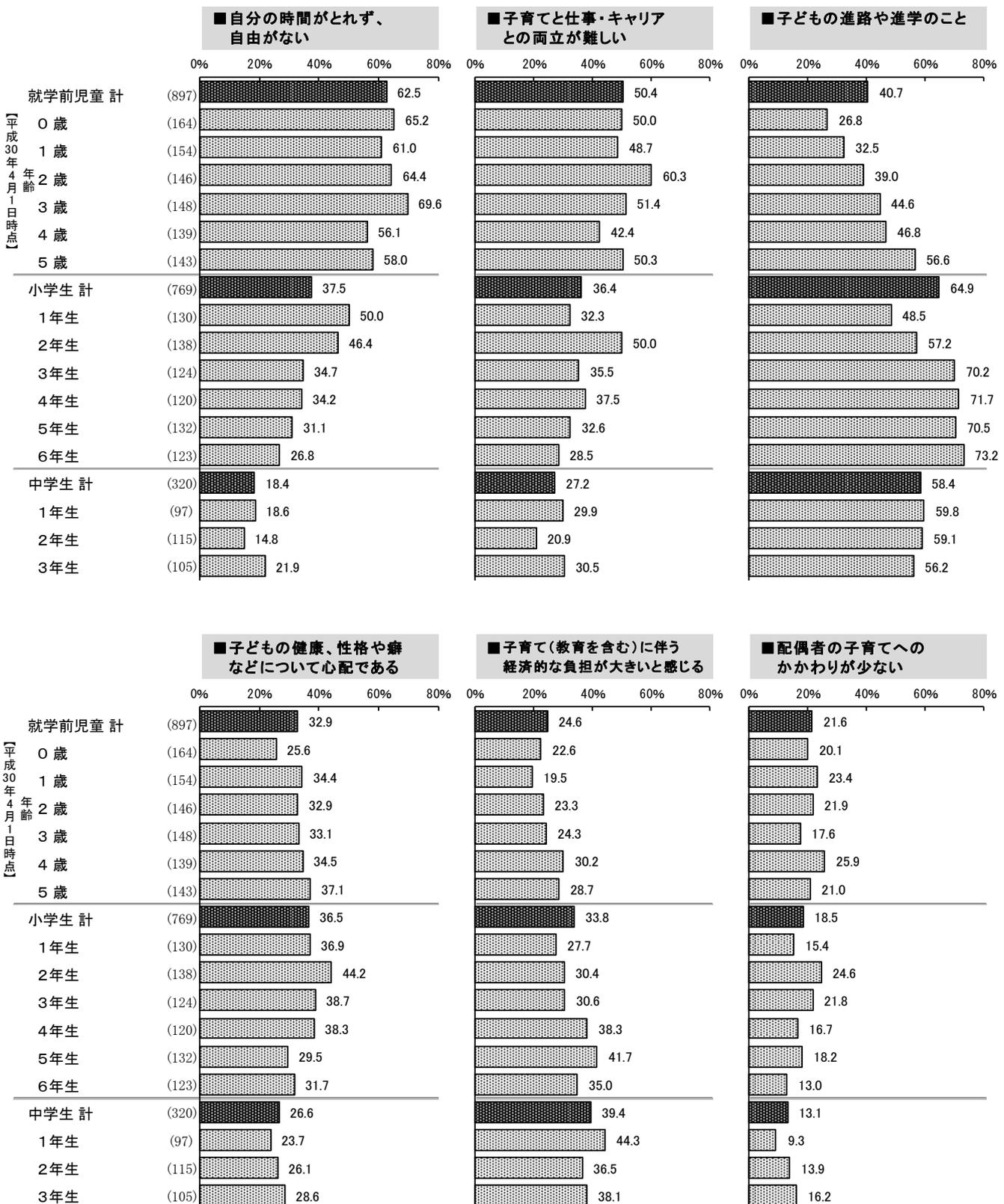
一方、小学生の保護者及び中学生の保護者で最も多いのは「子どもの進路や進学のこと」でそれぞれ 64.9%、58.4%、次いで小学生の保護者では「自分の時間がとれず、自由がない」が 37.5%、中学生の保護者では「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいと感じる」が 39.4%となっており、子どもの成長に伴う教育や経済的不安が上位に挙げられている。

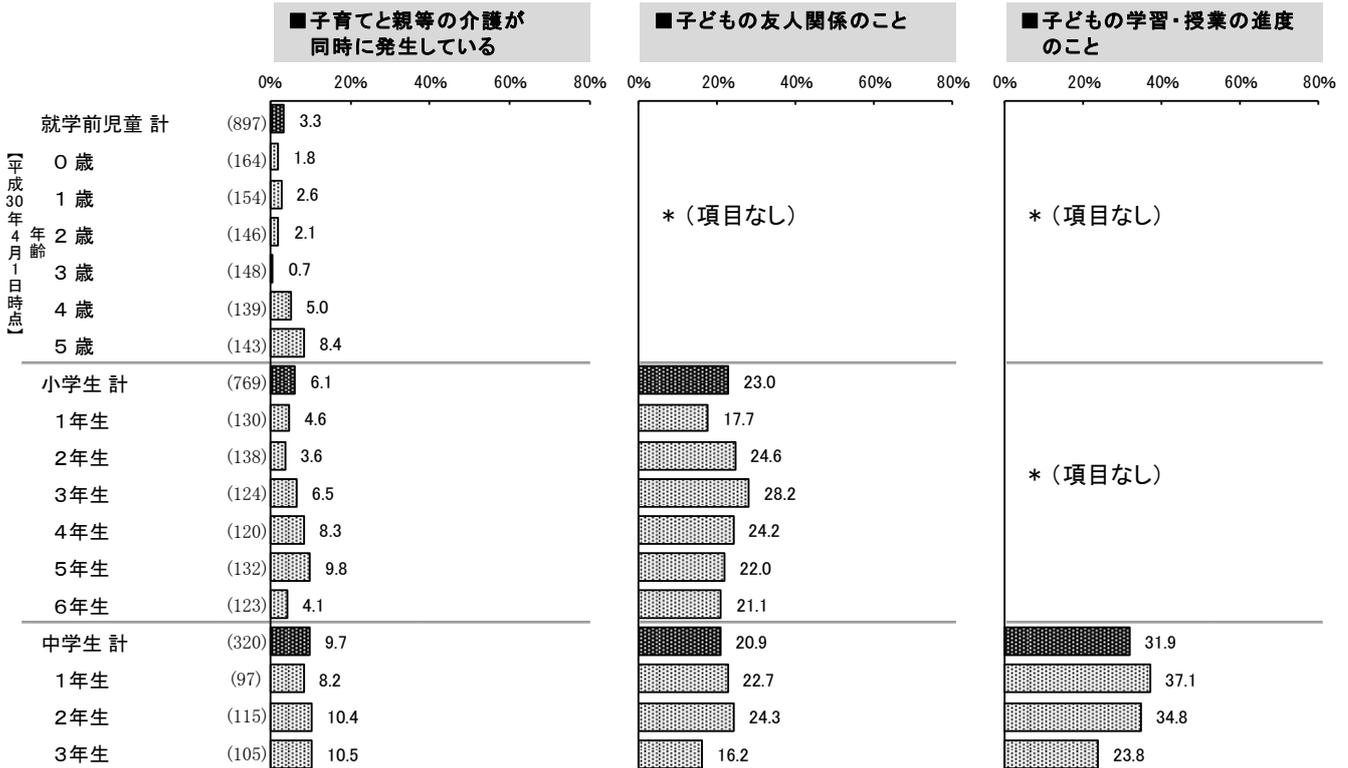
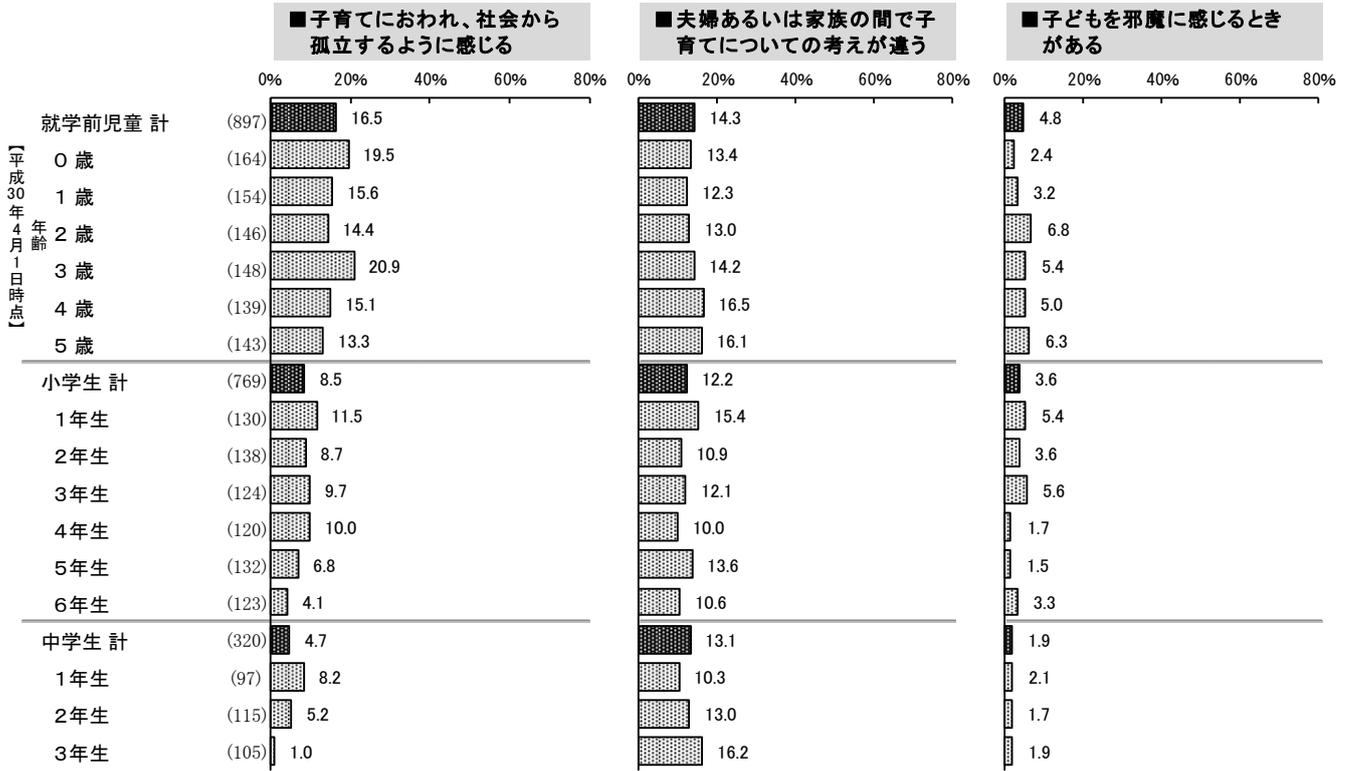


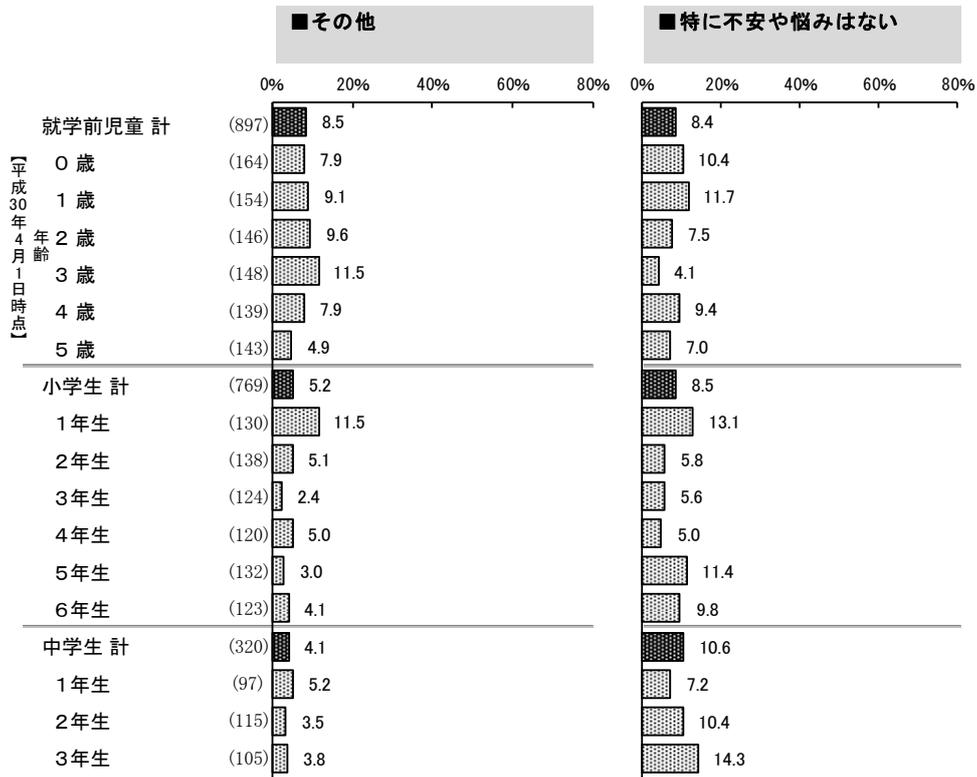
《 子育てをする上での不安や悩み－子どもの年齢／学年別 《

子どもの年齢・学年別にみると、「自分の時間がとれず、自由がない」は、就学前児童の1歳～3歳で6割を超え多く、就学して学年が上がるにつれて少なくなる傾向となっている。

「子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい」は0歳、1歳で比較的多く、就学して学年が上がるにつれて少なくなる傾向となっている。「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいと感じる」は多少バラつきがあるものの年齢が上がるにつれて多くなっている。「子どもの進路や進学のこと」は、就学前児童、小学生では年齢・学年が上がるにつれて多くなる傾向となっている。







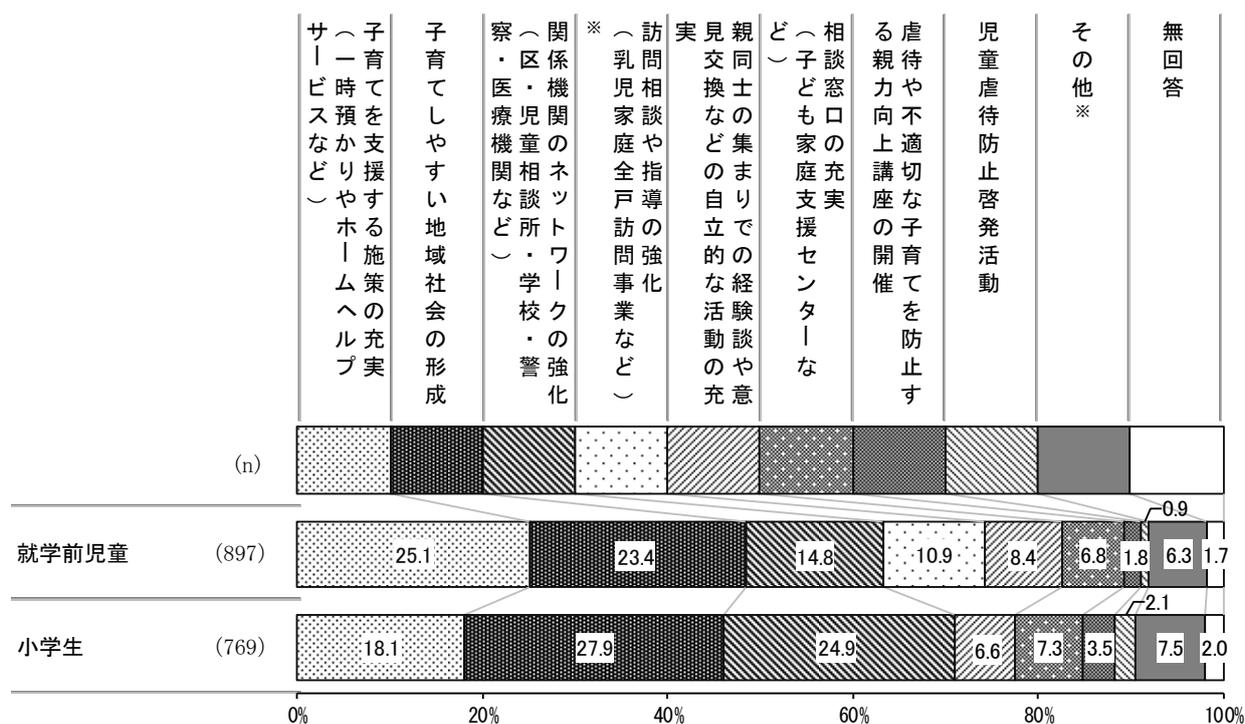
※「子どもの性別に関すること」は回答数がないため作図せず。

(3) 児童虐待や不適切な子育て防止のために最も効果的と思うこと

〔就学前児童：問28〕〔小学生：問16〕

児童虐待や不適切な子育て防止のために最も効果的と思うことを単数回答で尋ねたところ、就学前児童の保護者では「子育てを支援する施策の充実」が25.1%、小学生の保護者では「子育てしやすい地域社会の形成」が27.9%で最も多くなっている。次いで、就学前児童の保護者は「子育てしやすい地域社会の形成」が23.4%、小学生の保護者は「関係機関のネットワークの強化」が24.9%となっている。

「関係機関のネットワークの強化（区・児童相談所・学校・警察・医療機関など）」は就学前児童の保護者に比べ、小学生の保護者が10.1ポイント多く回答しており、小学生の保護者においては特に実感の強い項目であることがうかがえる。



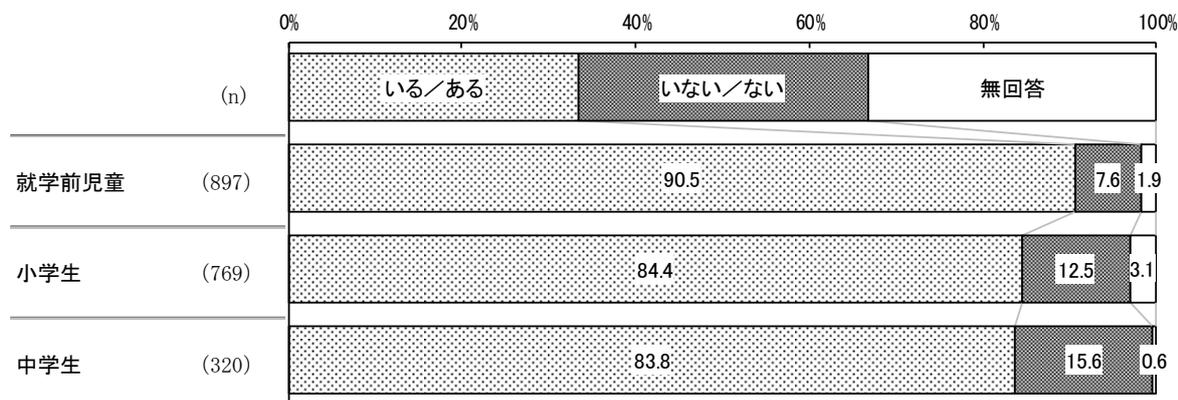
※「訪問相談や指導の強化（乳児家庭全戸訪問事業など）」は小学生調査では項目なし
 ※その他：学校教育の充実、児童相談所等行政の権限強化、経済的負担の軽減など

(4) 子育て（教育含む）に関する相談先

①相談先の有無

〔就学前児童：問29〕〔小学生：問13〕〔中学生：問11〕

子育て（教育含む）に関する相談先の有無については、「いる／ある」と回答したのは、就学前児童の保護者は90.5%、小学生の保護者は84.4%、中学生の保護者が83.8%と、子どもが小さいほど相談先がいる／ある傾向となっている。

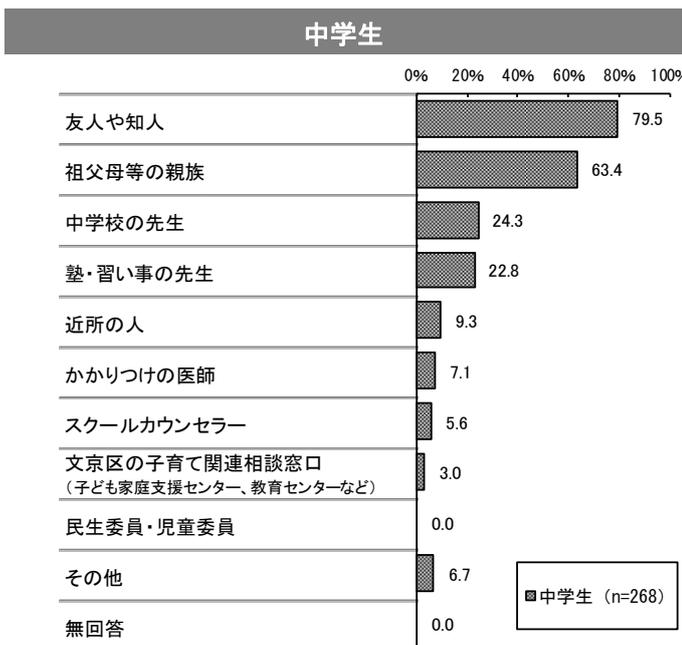
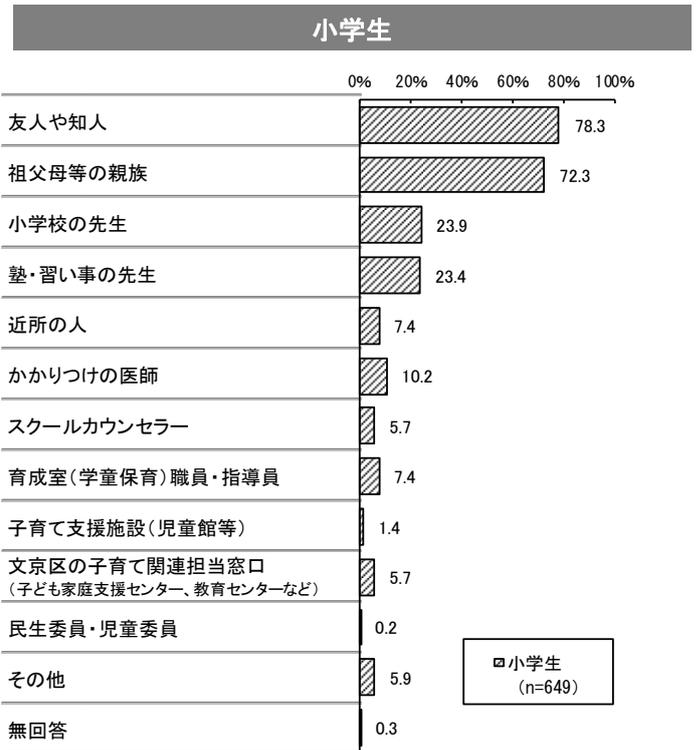
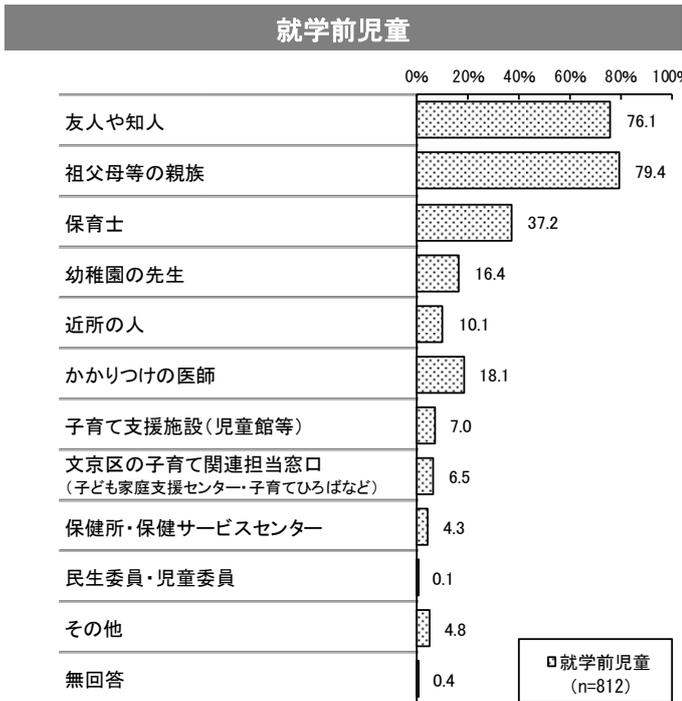


②【相談先「ある／いる」人】相談相手・場所（複数回答）〔就学前児童：問29〕〔小学生：問13〕〔中学生：問11〕

子育て（教育含む）に関する相談先が「ある／いる」と回答した人に、相談相手・場所を尋ねたところ、就学前児童の保護者は「祖父母等の親族」が79.4%と最も多く、次いで「友人や知人」が76.1%となっている。

小学生の保護者及び中学生の保護者は、就学前児童の保護者と順位は入れ替わるものの、同様にこの2項目が上位をとっている。

また、親族や友人・知人以外では、就学前児童の保護者は「保育士」、「かかりつけの医師」、「幼稚園の先生」など、小学生の保護者は「小学校の先生」や「塾・習い事の先生」など、中学生の保護者は「中学校の先生」「塾・習い事の先生」など、日常的に接触頻度が高いと思われる保育・教育関係者が続いている。



(5) 現在の不安・悩み／相談相手

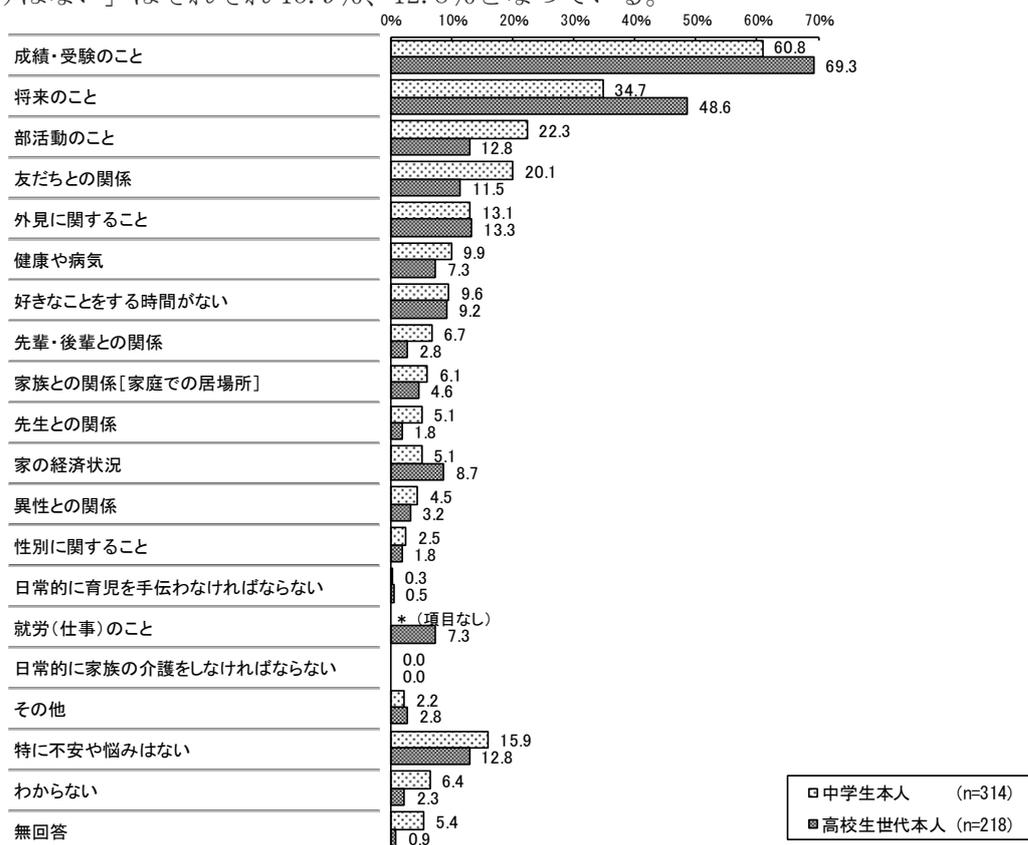
①現在の不安・悩み（複数回答）

〔中学生本人：問2〕〔高校生世代本人：問6〕

中学生本人と高校生世代本人に、現在の不安・悩みを尋ねたところ、中学生、高校生世代ともに「成績・受験のこと」がそれぞれ60.8%、69.3%と最も多く、次いで「将来のこと」がそれぞれ34.7%、48.6%となっている。その他には「部活動のこと」「友だちとの関係」「外見に関すること」などが続いている。

中学生は「部活動のこと」、「友だちとの関係」など、比較的自身に身近なことについて、高校生世代は「成績・受験のこと」、「将来のこと」、「家の経済状況」といった、将来や家庭のことなどで悩みを抱える傾向がうかがえる。

また、「特に不安や悩みはない」はそれぞれ15.9%、12.8%となっている。

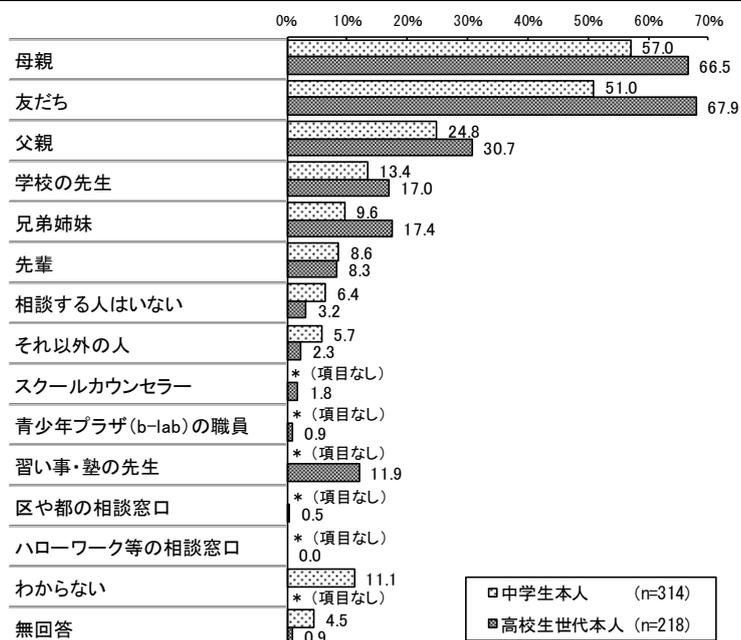


②不安・心配ごとの相談相手（複数回答）

〔中学生本人：問3〕〔高校生世代本人：問7〕

中学生本人と高校生世代本人に、不安や心配ごとの相談相手を尋ねたところ、中学生では「母親」が57.0%、高校生世代では「友だち」が67.9%で最も多くなっている。

また、「父親」はそれぞれ24.8%、30.7%となっている。

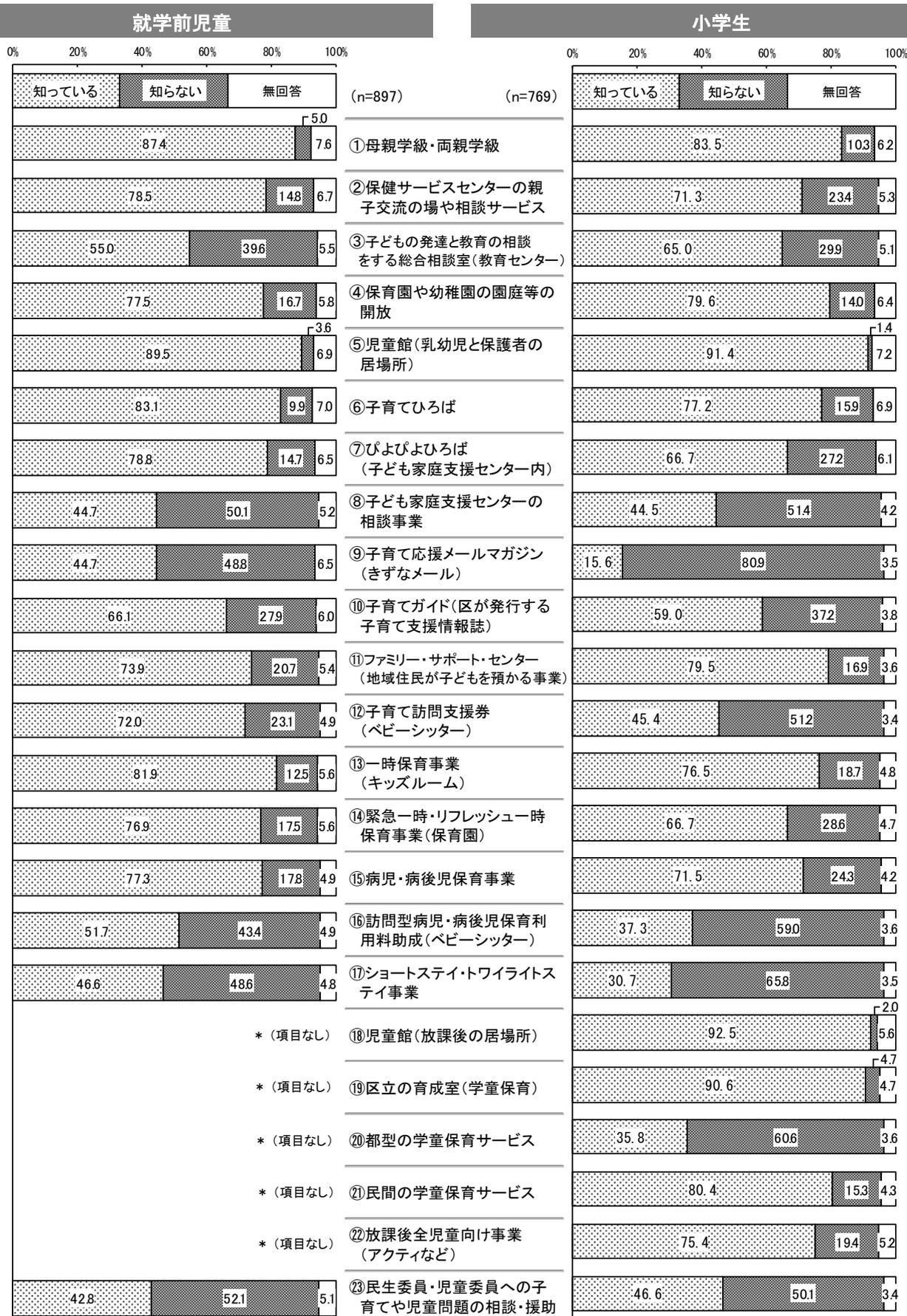


(6) 子育て支援サービスの認知度

〔就学前児童：問31〕〔小学生：問14〕

子育て支援サービスの認知度を尋ねたところ、就学前児童では「⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）」が89.5%と最も多く、「①母親学級・両親学級」が87.4%、「⑥子育てひろば」が83.1%と続いている。

小学生では、「⑱児童館（放課後の居場所）」が92.5%と最も多く、次いで「⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）」が91.4%となっている。



《子育て支援サービスの認知度—子どもの年齢／学年別》

子どもの年齢・学年別にみると、全ての年齢・学年で「知っている」が8割以上の認知度が高い項目は、「①母親学級・両親学級」「⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）」「⑩児童館（放課後の居場所）」「⑭区立の育成室（学童保育）」となっている。

就学前児童で全体の認知度が最も高い「⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）」をみると、5歳で93.7%と最も多く、次いで0歳の90.2%となっている。

小学生で全体の認知度が最も高い「⑩児童館（放課後の居場所）」をみると、2年生で95.7%と最も多く、次いで1年生の95.4%となっている。

	年齢【平成30年4月1日時点】							小学生計	学年					
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1年生		2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
	(n)	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)		(143)	(769)	(130)	(138)	(124)	(120)
①母親学級・両親学級	87.4	93.3	87.7	83.6	82.4	90.6	87.4	83.5	84.6	88.4	76.6	81.7	84.1	84.6
	5.0	2.4	4.5	5.5	6.8	3.6	7.0	10.3	10.0	5.8	15.3	11.7	9.1	10.6
	7.6	4.3	7.8	11.0	10.8	5.8	5.6	6.2	5.4	5.8	8.1	6.7	6.8	4.9
②保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス	78.5	84.8	83.1	74.7	76.4	76.3	75.5	71.3	73.1	71.7	68.5	71.7	68.9	73.2
	14.8	10.4	9.7	16.4	14.9	18.7	19.6	23.4	23.8	23.2	24.2	21.7	24.2	23.6
	6.7	4.9	7.1	8.9	8.8	5.0	4.9	5.3	3.1	5.1	7.3	6.7	6.8	3.3
③子どもの発達と教育の相談をする総合相談室（教育センター）	55.0	40.9	53.9	52.7	52.0	66.2	67.1	65.0	56.2	72.5	61.3	70.0	67.4	61.8
	39.6	55.5	39.6	43.2	37.8	30.2	28.7	29.9	39.2	24.6	32.3	24.2	25.0	35.0
	5.5	3.7	6.5	4.1	10.1	3.6	4.2	5.1	4.6	2.9	6.5	5.8	7.6	3.3
④保育園や幼稚園の園庭等の開放	77.5	71.3	74.7	76.7	79.7	84.9	79.7	79.6	83.1	79.0	74.2	83.3	77.3	80.5
	16.7	25.0	18.8	16.4	10.1	12.9	16.1	14.0	13.8	13.8	16.1	10.0	15.9	14.6
	5.8	3.7	6.5	6.8	10.1	2.2	4.2	6.4	3.1	7.2	9.7	6.7	6.8	4.9
⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）	89.5	90.2	89.0	89.7	85.8	89.9	93.7	91.4	93.8	91.3	87.9	92.5	90.2	92.7
	3.6	6.1	3.9	1.4	3.4	5.0	1.4	1.4	0.8	2.9	2.4	0.0	1.5	0.8
	6.9	3.7	7.1	8.9	10.8	5.0	4.9	7.2	5.4	5.8	9.7	7.5	8.3	6.5
⑥子育てひろば	83.1	86.6	85.7	81.5	77.0	84.2	83.9	77.2	74.6	80.4	74.2	82.5	76.5	74.8
	9.9	9.8	7.1	8.2	12.8	10.1	11.2	15.9	19.2	13.0	16.1	9.2	16.7	21.1
	7.0	3.7	7.1	10.3	10.1	5.8	4.9	6.9	6.2	6.5	9.7	8.3	6.8	4.1
⑦びよびよひろば（子ども家庭支援センター内）	78.8	85.4	82.5	79.5	70.3	76.3	79.7	66.7	70.8	75.4	67.7	64.2	62.9	57.7
	14.7	9.8	11.7	13.7	18.9	18.0	16.1	27.2	26.2	20.3	23.4	27.5	28.8	38.2
	6.5	4.9	5.8	6.8	10.8	5.8	4.2	6.1	3.1	4.3	8.9	8.3	8.3	4.1
⑧子ども家庭支援センターの相談事業	44.7	42.1	41.6	45.2	41.9	46.0	53.1	44.5	42.3	48.6	39.5	45.0	47.0	44.7
	50.1	54.3	51.9	50.0	49.3	51.1	42.7	51.4	55.4	49.3	54.8	48.3	47.0	52.8
	5.2	3.7	6.5	4.8	8.8	2.9	4.2	4.2	2.3	2.2	5.6	6.7	6.1	2.4
⑨子育て応援メールマガジン（きずなメール）	44.7	60.4	48.7	50.0	44.6	37.4	25.2	15.6	20.0	21.0	12.1	15.8	15.9	8.1
	48.8	36.0	45.5	43.2	44.6	56.8	69.2	80.9	77.7	77.5	83.1	80.0	78.8	88.6
	6.5	3.7	5.8	6.8	10.8	5.8	5.6	3.5	2.3	1.4	4.8	4.2	5.3	3.3
⑩子育てガイド（区が発行する子育て支援情報誌）	66.1	65.9	66.9	65.1	66.2	69.8	64.3	59.0	63.8	69.6	54.8	60.0	57.6	46.3
	27.9	29.9	27.3	28.8	25.7	25.9	28.7	37.2	33.8	29.0	39.5	34.2	36.4	52.0
	6.0	4.3	5.8	6.2	8.1	4.3	7.0	3.8	2.3	1.4	5.6	5.8	6.1	1.6

上段：知っている
中段：知らない
下段：無回答

(%)

(%)

	就 学 前 児 童 計	年齢【平成30年4月1日時点】						小 学 生 計	学 年					
		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳		1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生
		(n)	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)		(139)	(143)	(769)	(130)	(138)	(124)
⑪ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	73.9 20.7 5.4	65.9 32.3 1.8	64.3 30.5 5.2	76.7 17.1 6.2	76.4 14.9 8.8	84.9 10.8 4.3	78.3 16.1 5.6	79.5 16.9 3.6	85.4 13.1 1.5	81.9 16.7 1.4	74.2 20.2 5.6	79.2 16.7 4.2	78.0 15.2 6.8	78.0 19.5 2.4
⑫子育て訪問支援券(ベビーシッター)	72.0 23.1 4.9	86.6 12.2 1.2	80.5 13.6 5.8	80.1 15.1 4.8	65.5 27.0 7.4	66.2 29.5 4.3	51.7 42.7 5.6	45.4 51.2 3.4	54.6 42.3 3.1	59.4 39.1 1.4	46.8 49.2 4.0	41.7 54.2 4.2	34.1 59.8 6.1	35.0 63.4 1.6
⑬一時保育事業(キッズルーム)	81.9 12.5 5.6	79.9 17.7 2.4	80.5 13.0 6.5	82.2 11.6 6.2	81.1 10.8 8.1	84.9 10.8 4.3	84.6 9.8 5.6	76.5 18.7 4.8	73.8 20.8 5.4	78.3 18.1 3.6	78.2 16.1 5.6	79.2 15.8 5.0	72.7 20.5 6.8	76.4 21.1 2.4
⑭緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)	76.9 17.5 5.6	78.0 20.1 1.8	77.9 16.2 5.8	81.5 11.6 6.8	73.6 17.6 8.8	78.4 17.3 4.3	73.4 21.0 5.6	66.7 28.6 4.7	70.8 25.4 3.8	77.5 18.8 3.6	68.5 25.0 6.5	70.0 25.0 5.0	56.1 37.1 6.8	56.1 41.5 2.4
⑮病児・病後児保育事業	77.3 17.8 4.9	75.0 22.6 2.4	74.7 20.1 5.2	81.5 13.0 5.5	79.7 13.5 6.8	82.0 13.7 4.3	72.7 22.4 4.9	71.5 24.3 4.2	73.8 21.5 4.6	82.6 15.9 1.4	67.7 26.6 5.6	77.5 18.3 4.2	62.9 30.3 6.8	64.2 33.3 2.4
⑯訪問型病児・病後児保育利用料助成 (ベビーシッター)	51.7 43.4 4.9	58.5 38.4 3.0	49.4 44.8 5.8	60.3 35.6 4.1	55.4 35.8 8.8	46.0 51.1 2.9	40.6 54.5 4.9	37.3 59.0 3.6	46.2 51.5 2.3	48.6 50.0 1.4	38.7 55.6 5.6	37.5 57.5 5.0	28.8 65.2 6.1	23.6 74.8 1.6
⑰ショートステイ・トワイライトステイ事業	46.6 48.6 4.8	56.7 40.9 2.4	48.7 46.1 5.2	49.3 45.9 4.8	44.6 47.3 8.1	43.2 53.2 3.6	36.4 58.7 4.9	30.7 65.8 3.5	36.9 60.8 2.3	40.6 58.0 1.4	29.0 66.1 4.8	29.2 65.8 5.0	25.0 68.9 6.1	22.8 75.6 1.6
⑱児童館(放課後の居場所)		*(項目なし)						92.5 2.0 5.6	95.4 1.5 3.1	95.7 1.4 2.9	88.7 4.0 7.3	92.5 0.8 6.7	88.6 2.3 9.1	93.5 1.6 4.9
⑲区立の育成室(学童保育)		*(項目なし)						90.6 4.7 4.7	94.6 2.3 3.1	97.1 1.4 1.4	86.3 6.5 7.3	91.7 4.2 4.2	82.6 9.1 8.3	91.1 4.9 4.1
⑳都型の学童保育サービス		*(項目なし)						35.8 60.6 3.6	36.9 60.8 2.3	34.1 64.5 1.4	41.9 52.4 5.6	39.2 56.7 4.2	31.1 62.1 6.8	31.7 66.7 1.6
㉑民間の学童保育サービス		*(項目なし)						80.4 15.3 4.3	80.8 15.4 3.8	87.0 10.1 2.9	82.3 12.1 5.6	83.3 11.7 5.0	72.7 20.5 6.8	75.6 22.8 1.6
㉒放課後全児童向け事業(アクティなど)		*(項目なし)						75.4 19.4 5.2	80.0 15.4 4.6	81.9 13.0 5.1	72.6 20.2 7.3	75.8 19.2 5.0	72.0 21.2 6.8	69.1 28.5 2.4
㉓民生委員・児童委員への子育てや 児童問題の相談・援助	42.8 52.1 5.1	51.8 45.7 2.4	43.5 51.3 5.2	34.2 60.3 5.5	44.6 45.3 10.1	41.0 56.1 2.9	41.3 53.8 4.9	46.6 50.1 3.4	45.4 53.1 1.5	44.9 53.6 1.4	47.6 46.8 5.6	47.5 48.3 4.2	44.7 49.2 6.1	50.4 48.0 1.6

(7) 子育て支援サービスの利用状況・利用希望

①就学前児童の保護者

〔就学前児童：問31〕

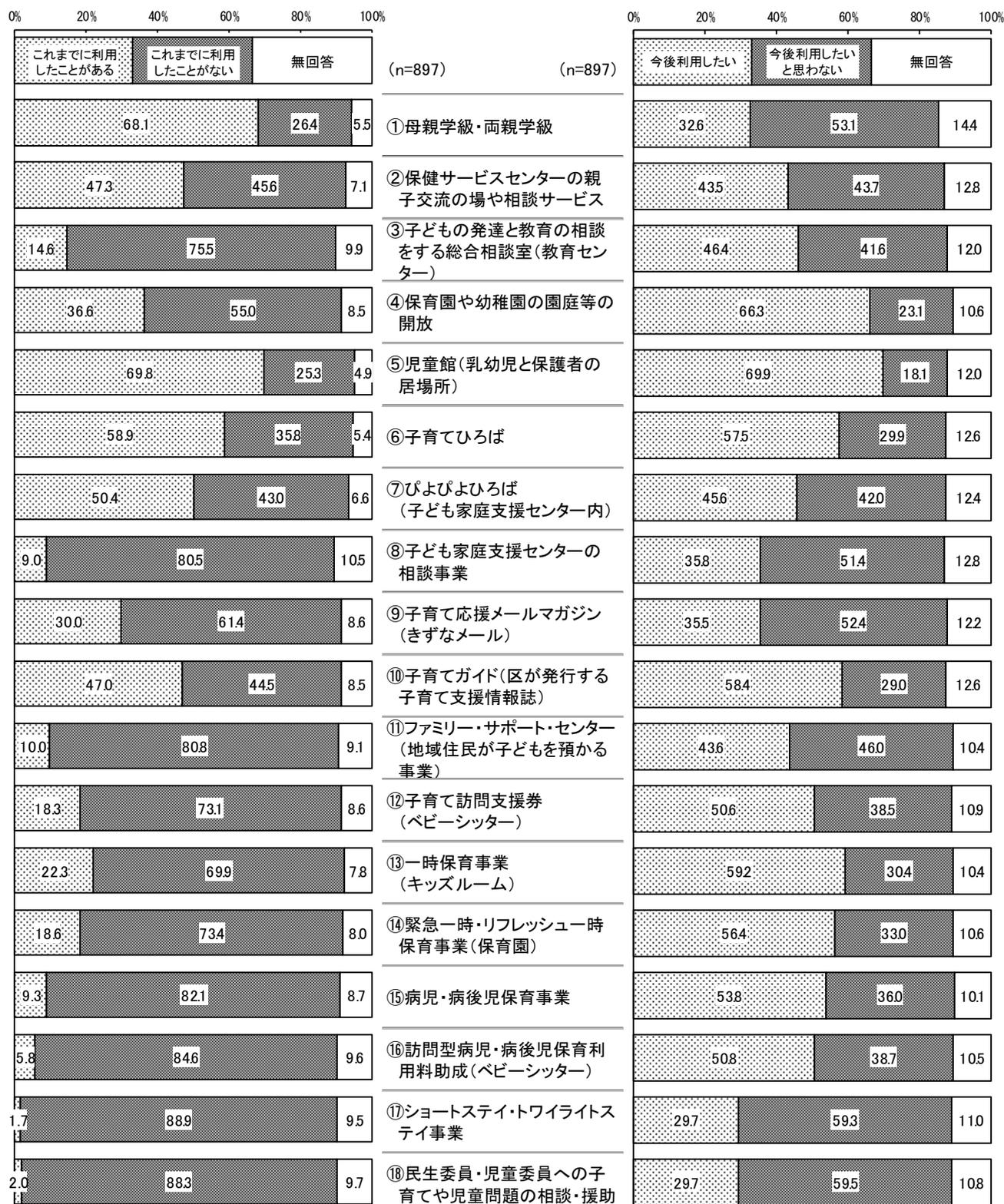
子育て支援サービスのこれまでの利用状況を尋ねたところ、「⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）」が69.8%と最も多く、「①母親学級・両親学級」が68.1%、「⑥子育てひろば」が58.9%と続いている。

今後の利用希望を尋ねたところ、「⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）」が69.9%と最も多く、「④保育園や幼稚園の園庭等の開放」が66.3%、「⑬一時保育事業（キッズルーム）」が59.2%と続いている。

全体として、これまでの利用状況は、児童と保護者の居場所やひろばといった交流事業が多く、今後の利用希望は居場所だけでなく、一時預かり事業なども多くなる傾向が見られる。

利用状況（これまで利用したことがある）

利用希望（今後利用したい）

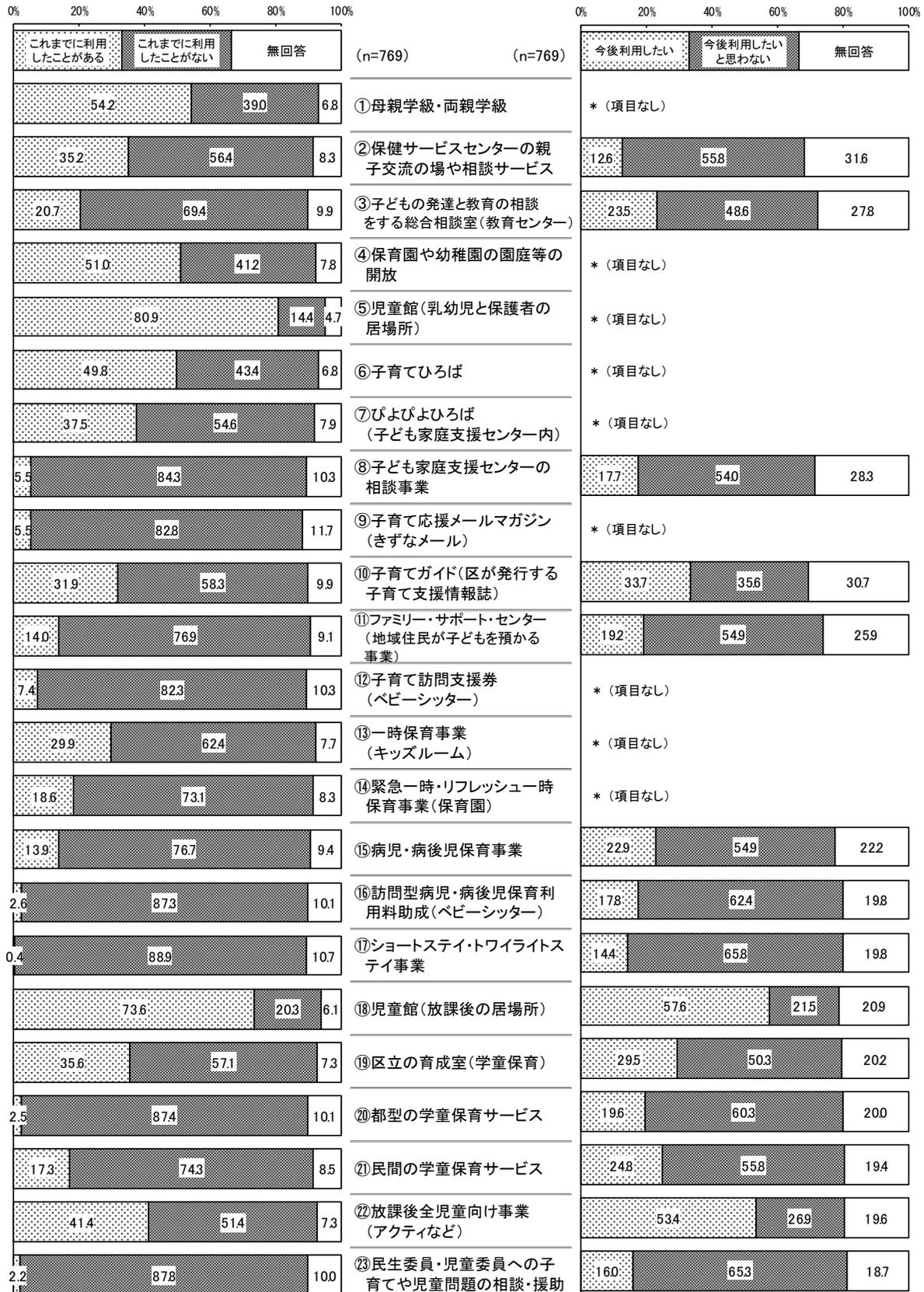


子育て支援サービスのこれまでの利用状況を尋ねたところ、「⑤児童館（乳幼児と保護者の居場所）」が80.9%と最も多く、次いで「⑩児童館（放課後の居場所）」が73.6%となっている。

今後の利用希望を尋ねたところ、「⑩児童館（放課後の居場所）」が57.6%と最も多く、「②放課後全児童向け事業（アクティなど）」が53.4%と続いており、これまでの利用状況、利用希望ともに児童館などの児童の放課後の居場所への需要が高くなっている。

利用状況（これまで利用したことがある）

利用希望（今後利用したい）

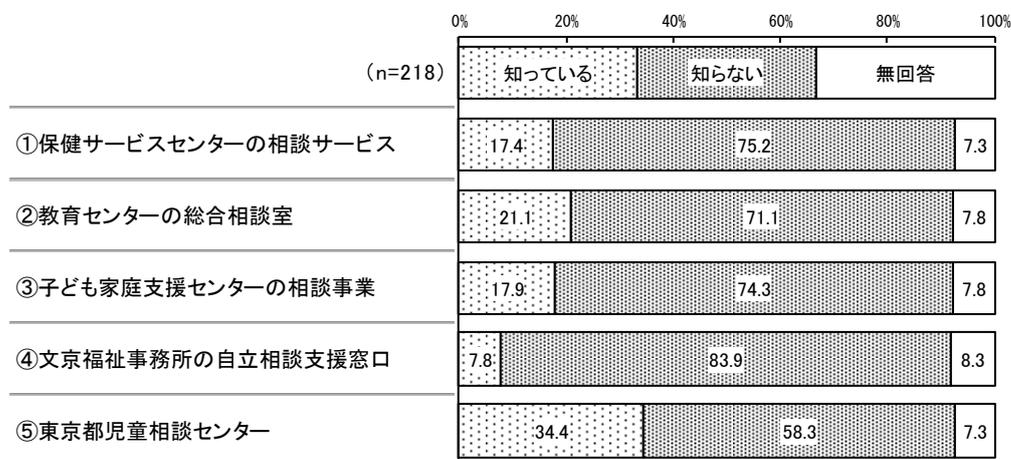


(8) 困ったときの相談窓口

①相談窓口の認知度

〔高校生世代本人：問 15〕

高校生世代本人に困ったときの相談窓口の認知度を尋ねたところ、「⑤東京都児童相談センター」が 34.4%と最も多く、「②教育センターの総合相談室」が 21.1%、「③子ども家庭支援センターの相談事業」が 17.9%と続いている。



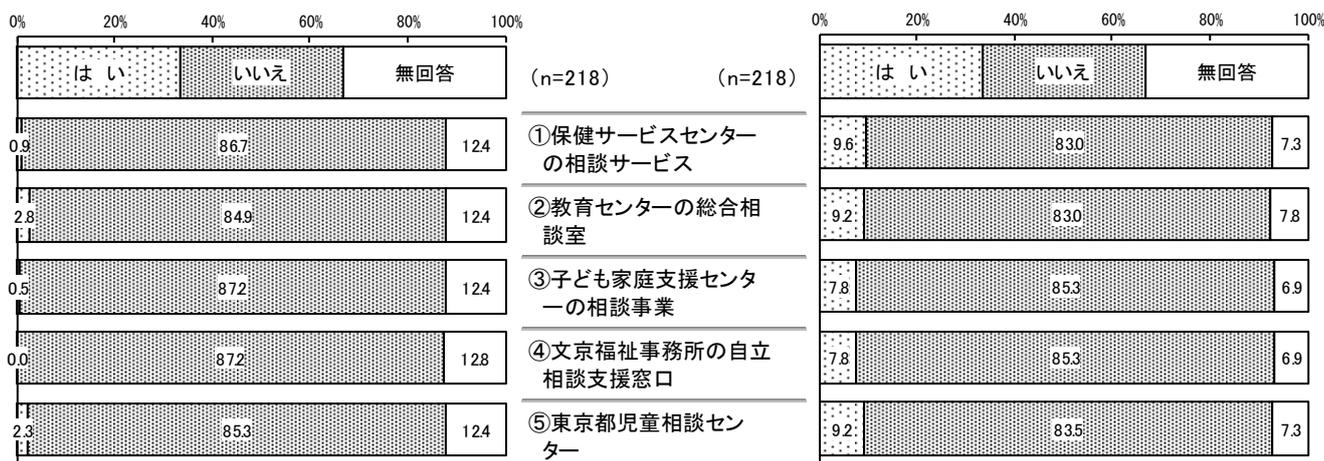
②相談窓口の利用状況・利用希望

〔高校生世代本人：問 15〕

高校生世代本人に困ったときの相談窓口について尋ねたところ、利用状況は①～⑤のすべての窓口で「利用したことがない」が8割以上となっている。利用希望についてもすべての窓口で「利用したいと思わない」が8割以上となっている。

利用状況（これまで利用したことがある）

利用希望（今後利用したい）

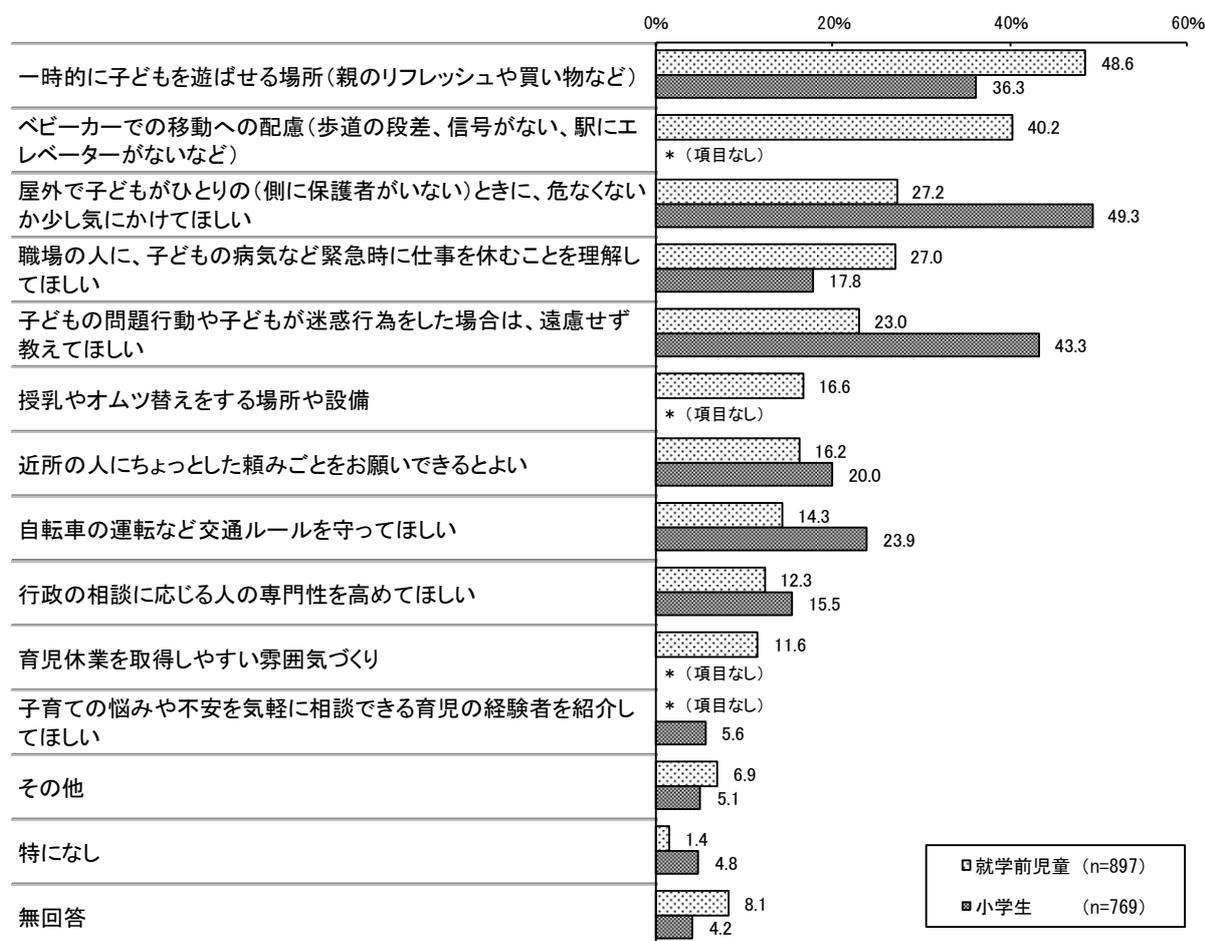


(9) 子育てする上で周囲の人や行政担当者などからほしいサポート（3つまで）

〔就学前児童：問30〕〔小学生：問15〕

子育てをしていく上で周囲の人や行政担当者などからほしいサポートについて尋ねたところ、就学前児童の保護者は「一時的に子どもを遊ばせる場所（親のリフレッシュや買い物など）」が48.6%と最も多く、次いで「ベビーカーでの移動への配慮（歩道の段差、信号がない、駅にエレベーターがないなど）」が40.2%、「屋外で子どもがひとりの（側に保護者がいない）ときに、危なくないか少し気にかけてほしい」が27.2%となっている。

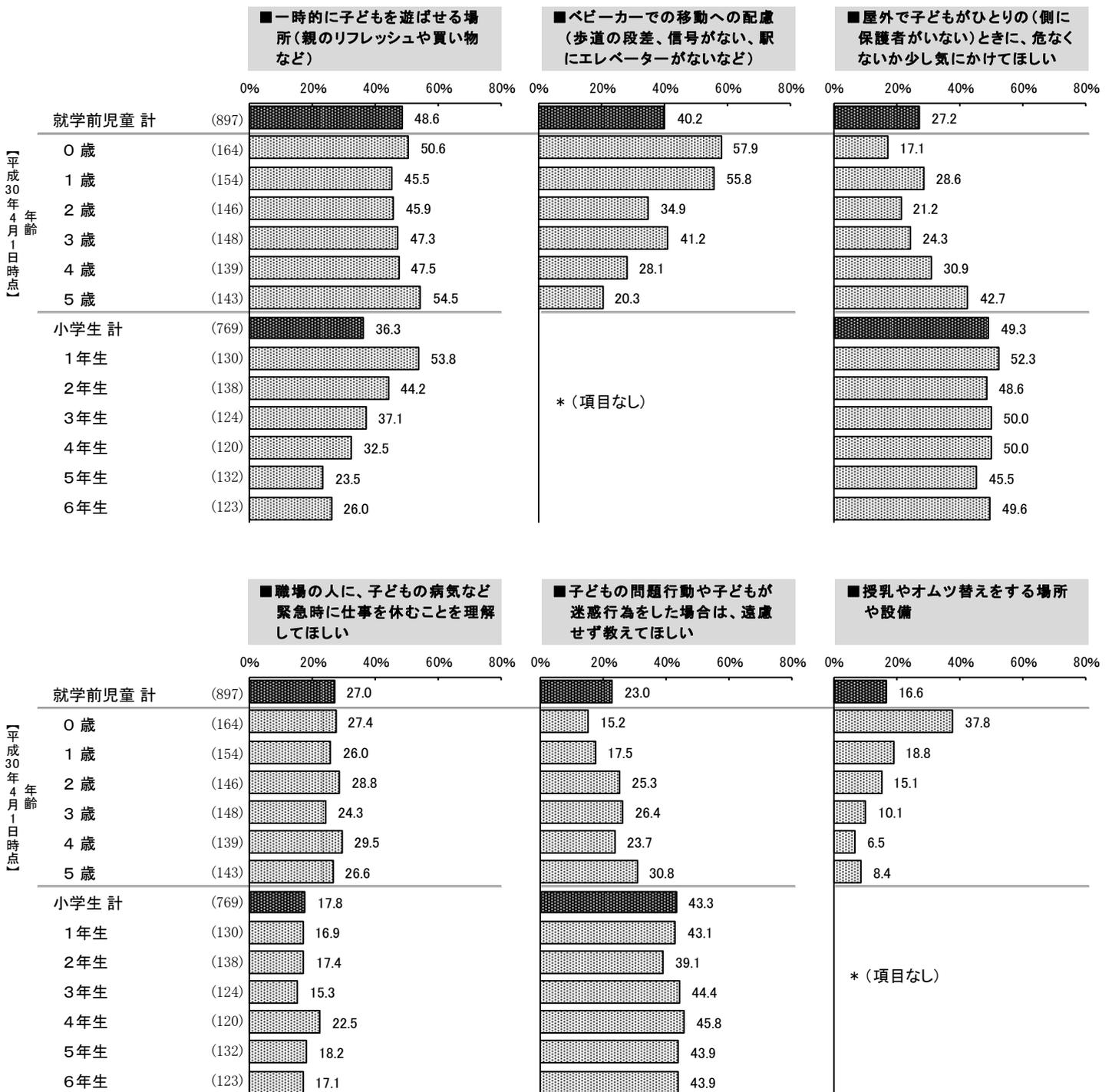
小学生の保護者は「屋外で子どもがひとりの（側に保護者がいない）ときに、危なくないか少し気にかけてほしい」が49.3%と最も多く、次いで「子どもの問題行動や子どもが迷惑行為をした場合は、遠慮せず教えてほしい」が43.3%となっている。これは小学生の子どもは行動範囲が広がり、保護者の目が届きにくくなることが原因と推察される。



《 子育てをする上で周囲の人や行政担当者などから欲しいサポート—子どもの年齢／学年別 《

子どもの年齢・学年別にみると、「一時的に子どもを遊ばせる場所（親のリフレッシュや買い物など）」は、就学前児童では年齢による差異はほとんどなく、年齢を問わず求められている。また、「ベビーカーでの移動への配慮（歩道の段差、信号がない、駅にエレベーターがないなど）」は、0～1歳を中心に多い傾向となっている。

「屋外で子どもがひとりのときに、危なくないか少し気にかけてほしい」や「子どもの問題行動や子どもが迷惑行為をした場合は、遠慮せず教えてほしい」は、就学前児童では年齢が上がるにつれて多くなっているが、小学生では学年による差は少なく、学年を問わず求められている。



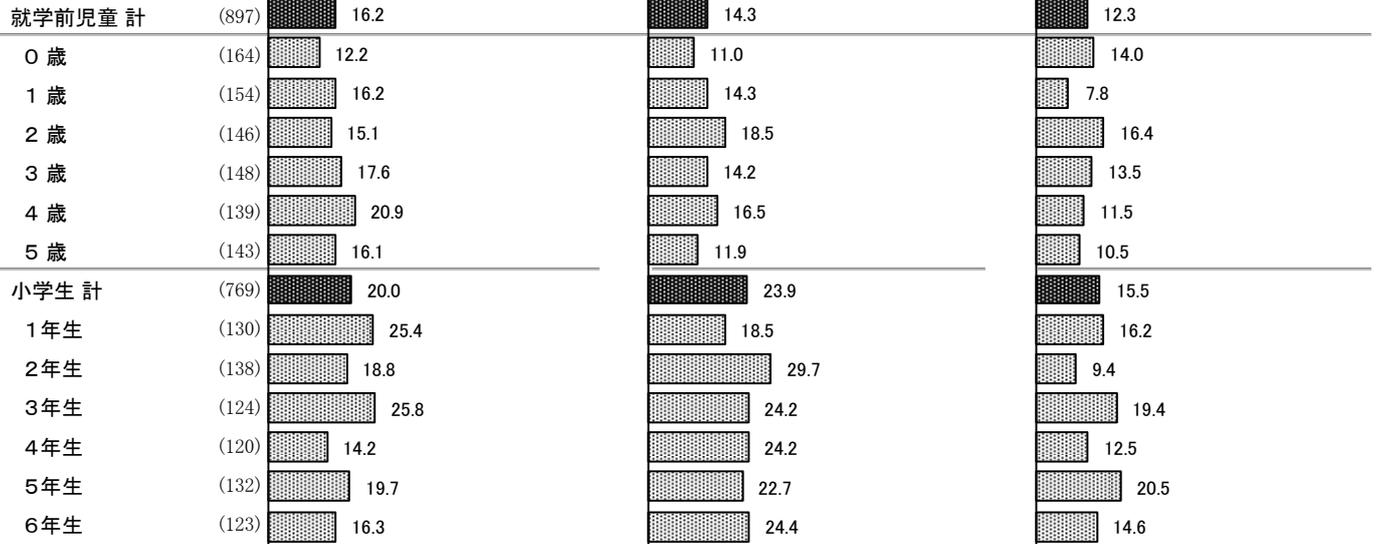
【平成30年4月1日時点】
年齢

■近所の人にちょっとした頼みごとをお願いできるとよい

■自転車の運転など交通ルールを守ってほしい

■行政の相談に応じる人の専門性を高めてほしい

0% 20% 40% 60% 80%



■育児休業を取得しやすい雰囲気づくり

■子育ての悩みや不安を気軽に相談できる育児の経験者を紹介してほしい

0% 20% 40% 60% 80%

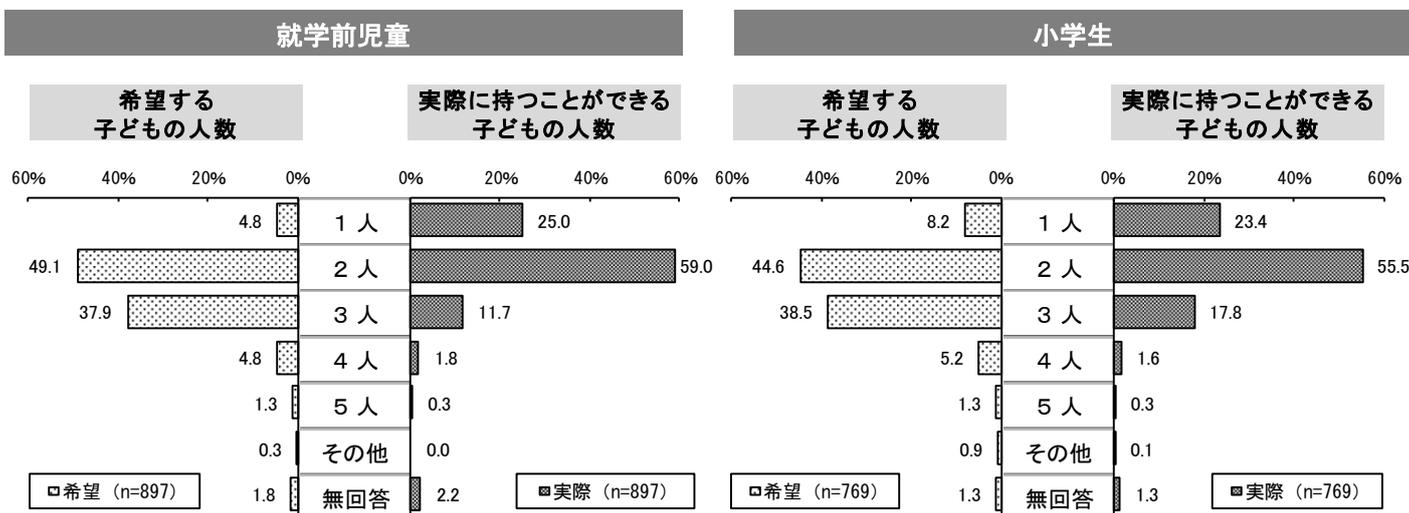
【平成30年4月1日時点】
年齢



(10) 子どもの人数の希望・現実

①希望する人数と実際に持つことができると思う人数 [就学前児童：問32(1)(2)] [小学生：問22(1)(2)]

希望する子どもの人数と実際に持つことができると思う子どもの人数を尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに希望する子どもの人数は「2人」が40%台で最も多く、実際に持つことができると思う子どもの人数は「2人」がともに60%弱となっている。「1人」を希望する人はともに10%未満と少ないが、実際に持つことができる子どもの人数として「1人」はともに20%強となっている。希望する子どもの人数に対し、実際に持つことができると思う人数は少なくなる傾向となっている。



《 希望する子どもの人数－子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童の3歳を除くすべての年齢で「2人」の希望が最も多く、特に0歳・1歳では5割を超えている。これは実際に子どもが1人の時点より、第2子を出産してから、「3人」の希望が増すことなどが考えられる。

	就学前児童計	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
(n)	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)	(143)
1人	4.8	4.3	5.2	5.5	3.4	5.0	5.6
2人	49.1	57.3	52.6	46.6	43.2	46.8	46.2
3人	37.9	34.1	32.5	38.4	44.6	36.0	42.7
4人	4.8	3.0	5.2	4.8	2.7	9.4	4.2
5人	1.3	0.6	1.3	2.1	3.4	0.7	0.0
その他	0.3	0.6	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
無回答	1.8	0.0	3.2	2.1	2.7	1.4	1.4

	小学生計	学年					
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
(n)	(769)	(130)	(138)	(124)	(120)	(132)	(123)
1人	8.2	13.1	8.0	9.7	4.2	6.8	6.5
2人	44.6	46.9	45.7	45.2	45.8	45.5	39.0
3人	38.5	33.1	34.8	37.1	40.8	39.4	47.2
4人	5.2	3.1	8.7	4.0	5.8	3.8	4.9
5人	1.3	2.3	0.7	1.6	0.8	0.0	2.4
その他	0.9	0.8	1.4	0.8	0.0	2.3	0.0
無回答	1.3	0.8	0.7	1.6	2.5	2.3	0.0

《 実際に持つことができると思う子どもの人数－子どもの年齢／学年別 》

実際に持つことができると思う人数については、年齢・学年問わず「2人」が中心となっており、年齢や学年による大きな差はみられないが、就学前児童の0歳、1歳では「2人」が6割を超えている。

就学前児童

(%)

	就学前児童計	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
(n)	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)	(143)
1人	25.0	22.0	22.1	28.1	26.4	24.5	28.0
2人	59.0	64.0	63.0	58.2	55.4	56.8	54.5
3人	11.7	11.6	10.4	8.2	12.2	14.4	14.0
4人	1.8	0.6	1.3	2.7	2.7	1.4	2.1
5人	0.3	0.6	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.2	1.2	3.2	2.1	2.7	2.9	1.4

小学生

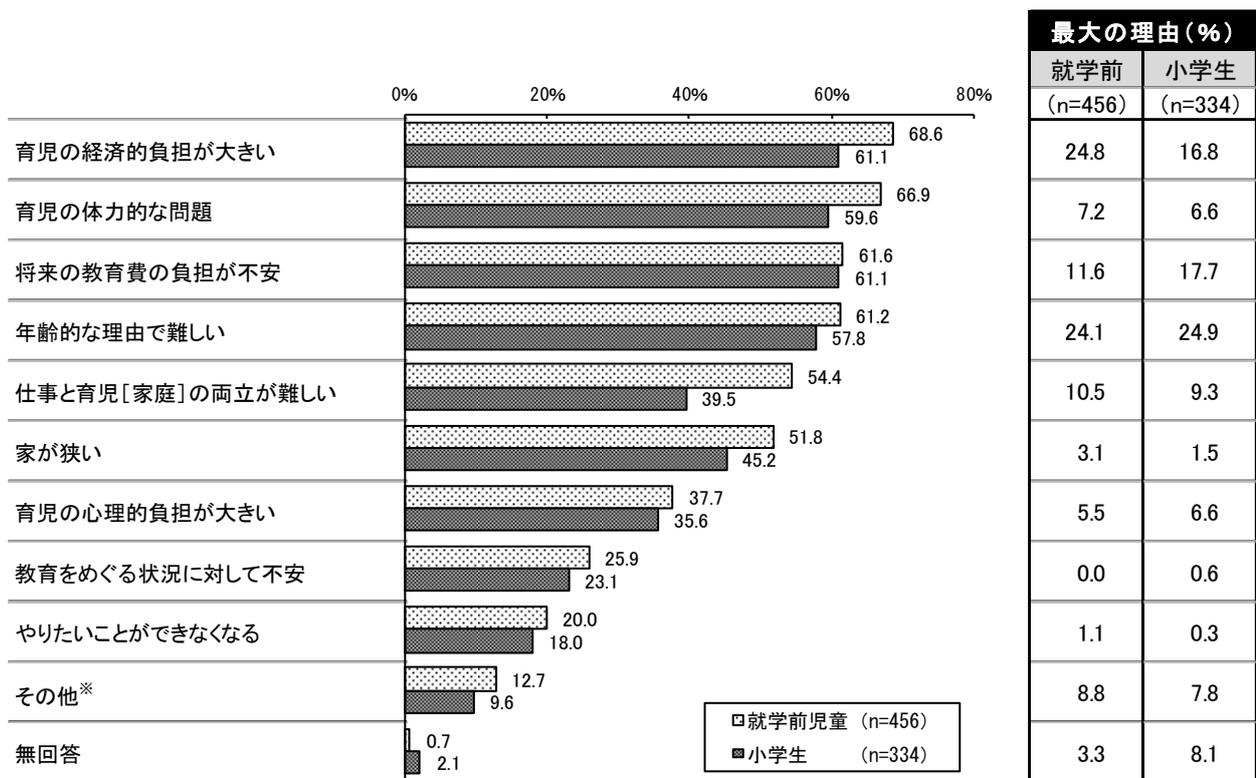
(%)

	小学生計	学年					
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
(n)	(769)	(130)	(138)	(124)	(120)	(132)	(123)
1人	23.4	23.8	23.9	21.0	25.0	23.5	22.8
2人	55.5	59.2	58.0	60.5	48.3	53.8	52.8
3人	17.8	15.4	15.9	12.9	22.5	18.9	22.0
4人	1.6	0.8	1.4	3.2	0.8	0.8	2.4
5人	0.3	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0
その他	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
無回答	1.3	0.8	0.7	1.6	2.5	2.3	0.0

②【希望する子どもの人数より実際に持つことができる子どもの人数「少ない」人】子どもの人数が希望より少ない理由（複数回答） 〔就学前児童：問 32-1〕〔小学生：問 22-1〕

実際に持つことができる子どもの人数が希望より少ない人に、その理由を尋ねたところ、就学前児童の保護者では「育児の経済的負担が大きい」が最も多く、小学生の保護者では「育児の経済的負担が大きい」と「将来の教育費の負担が不安」が同率で最も多くなっている。就学前児童の保護者では「育児の体力的な問題」、「将来の教育費の負担が不安」と続いている。小学生の保護者は「育児の体力的な問題」「年齢的な理由で難しい」と続いている。

実際に持つことができる子どもの人数が希望より少ない最大の理由（単数回答）については、就学前児童の保護者では「育児の経済的負担が大きい」が24.8%、小学生の保護者では「年齢的な理由で難しい」が24.9%と最も多くなっている。



※ 選択肢内[]は、就学前児童の保護者向けと小学生保護者向けで表現が異なる

※その他：パートナーとの考え方の相違、妊娠・出産の負担、健康上の問題など

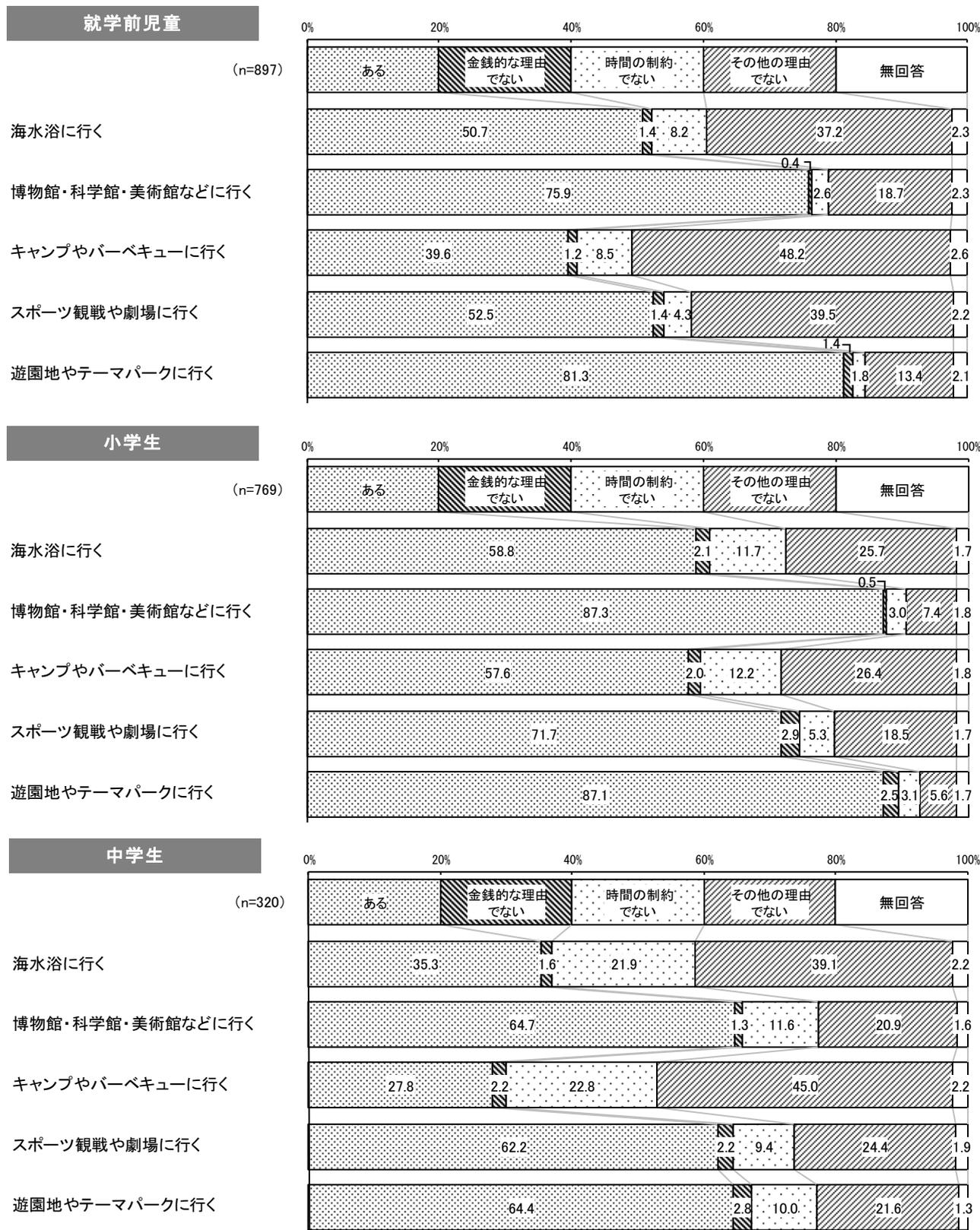
13. 体験や経済的にできないこと・ないことについて

(1) 過去1年における家庭での体験

〔就学前児童：問33〕〔小学生：問17〕〔中学生：問13〕

家庭での体験について尋ねたところ、「金銭的な理由でない」は全体でいずれも3%未満となっているが、調査ごとに合計すると、就学前児童で5.8ポイント、小学生で10.0ポイント、中学生で10.1ポイントとなり、小学生及び中学生がほぼ同じとなっている。

また、「時間の制約でない」は、小学生、中学生と年齢が上がるほど多くなる傾向がみられる。

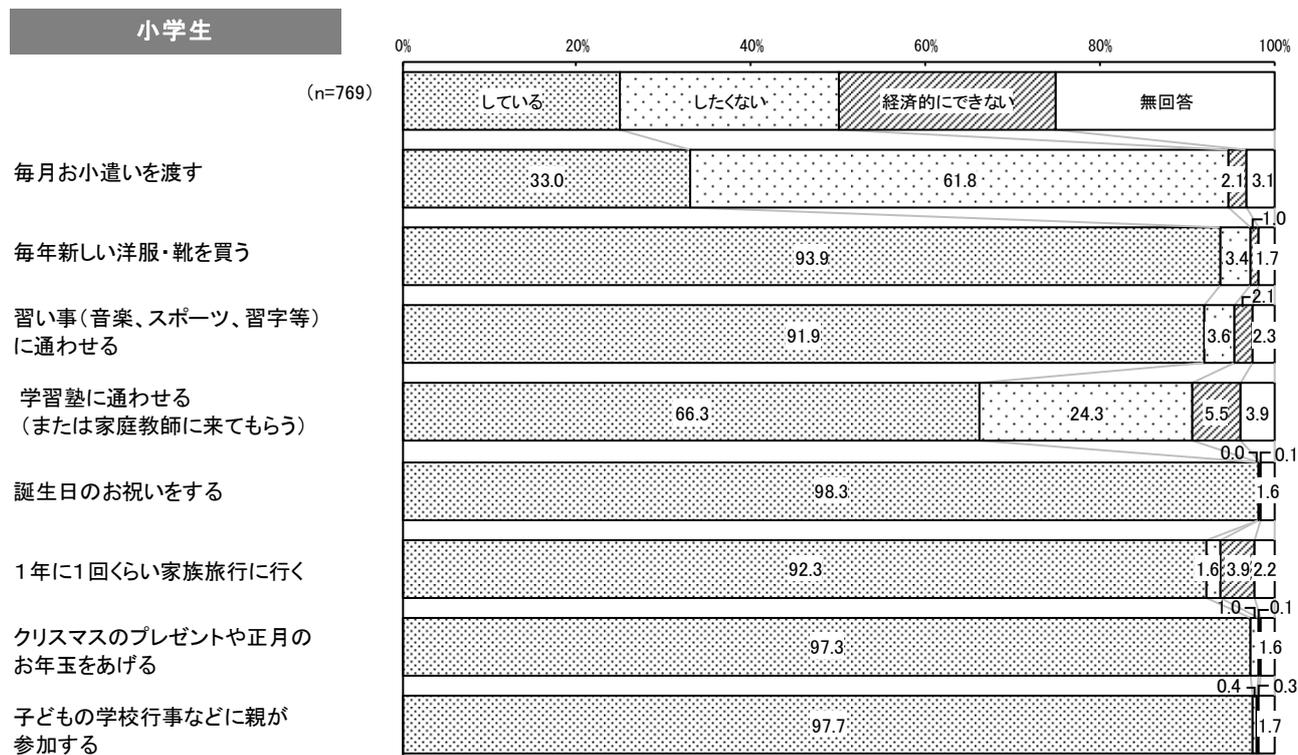
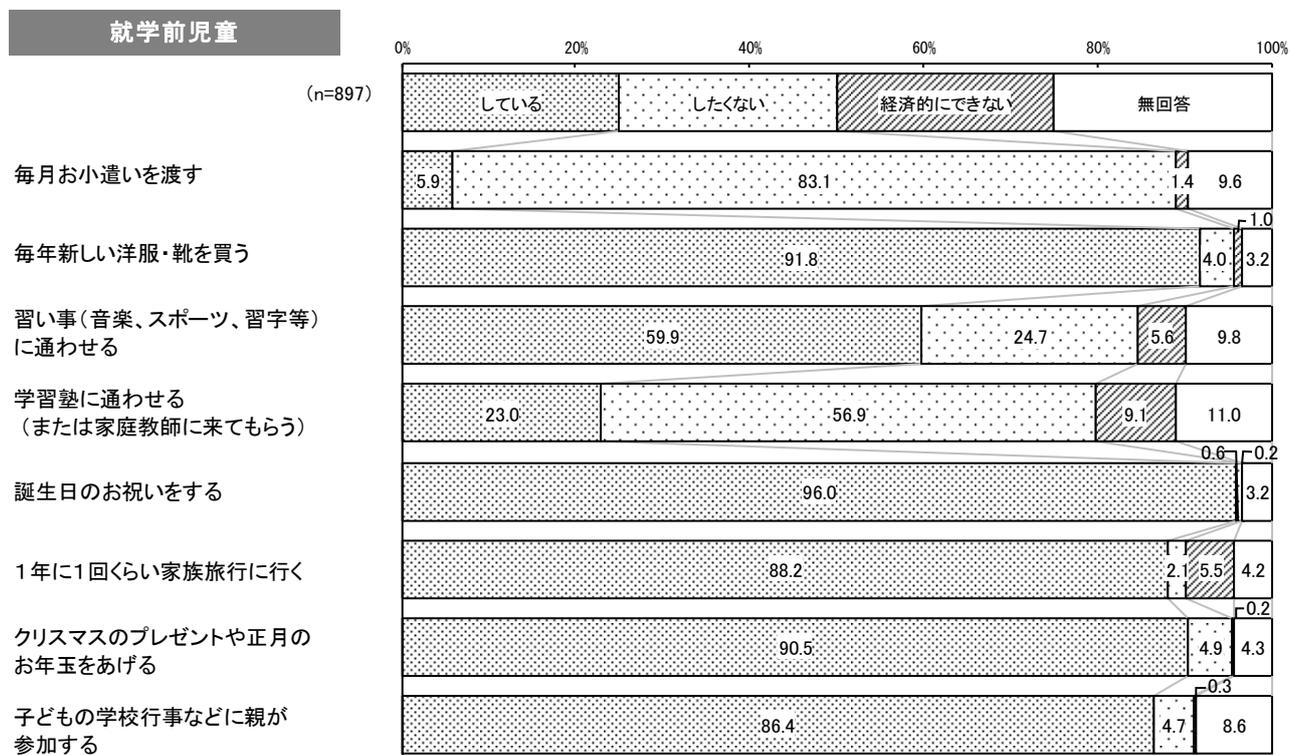


(2) 家庭において経済的にできないもの

〔就学前児童：問 34〕〔小学生：問 18〕〔中学生：問 14〕

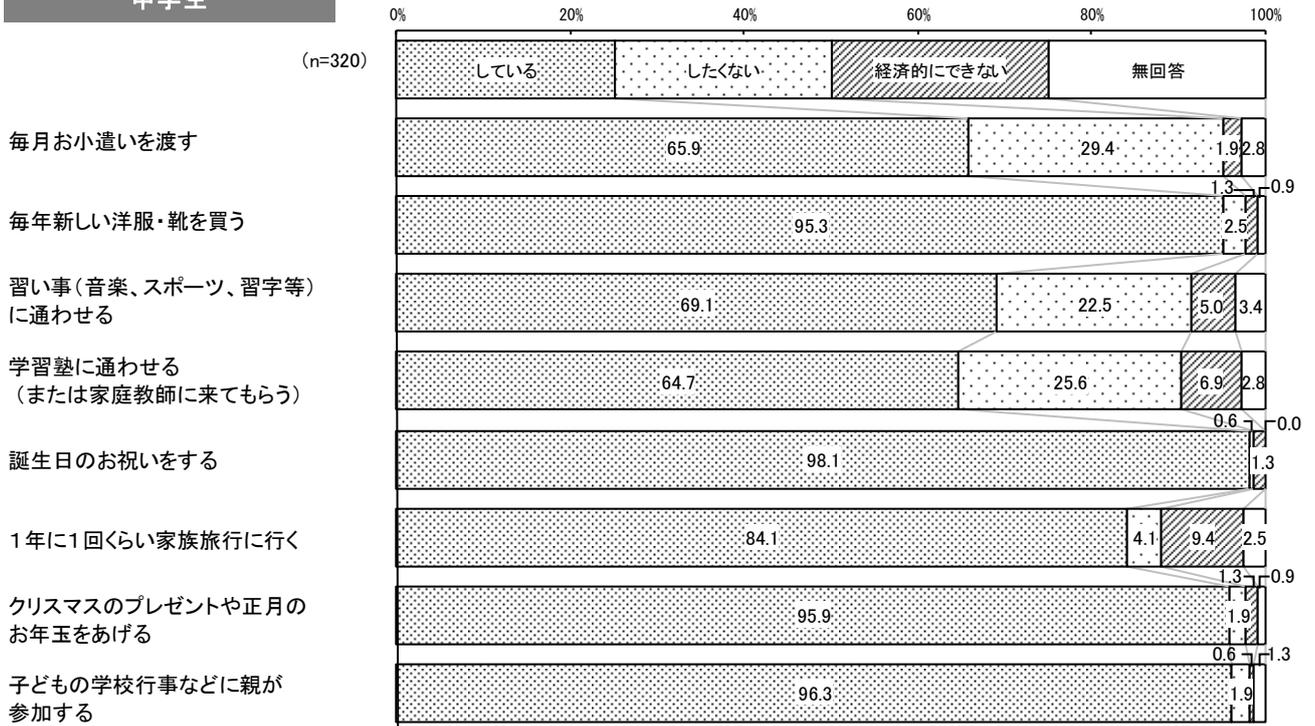
家庭においてできないものを尋ねたところ、「経済的にできない」と答えた方は、就学前児童の保護者、小学生の保護者、中学生の保護者いずれにおいても 10%未満となっている。その中でも「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」は就学前児童と小学生の保護者で最も多く、中学生では「1年に1回くらい家族旅行に行く」が最も多くなっている。

また、「経済的にできない」を調査ごとに合計すると、就学前児童で 23.3 ポイント、小学生で 15.1 ポイント、中学生で 27.7 ポイントとなり、中学生が最も多くなっている。



中学生

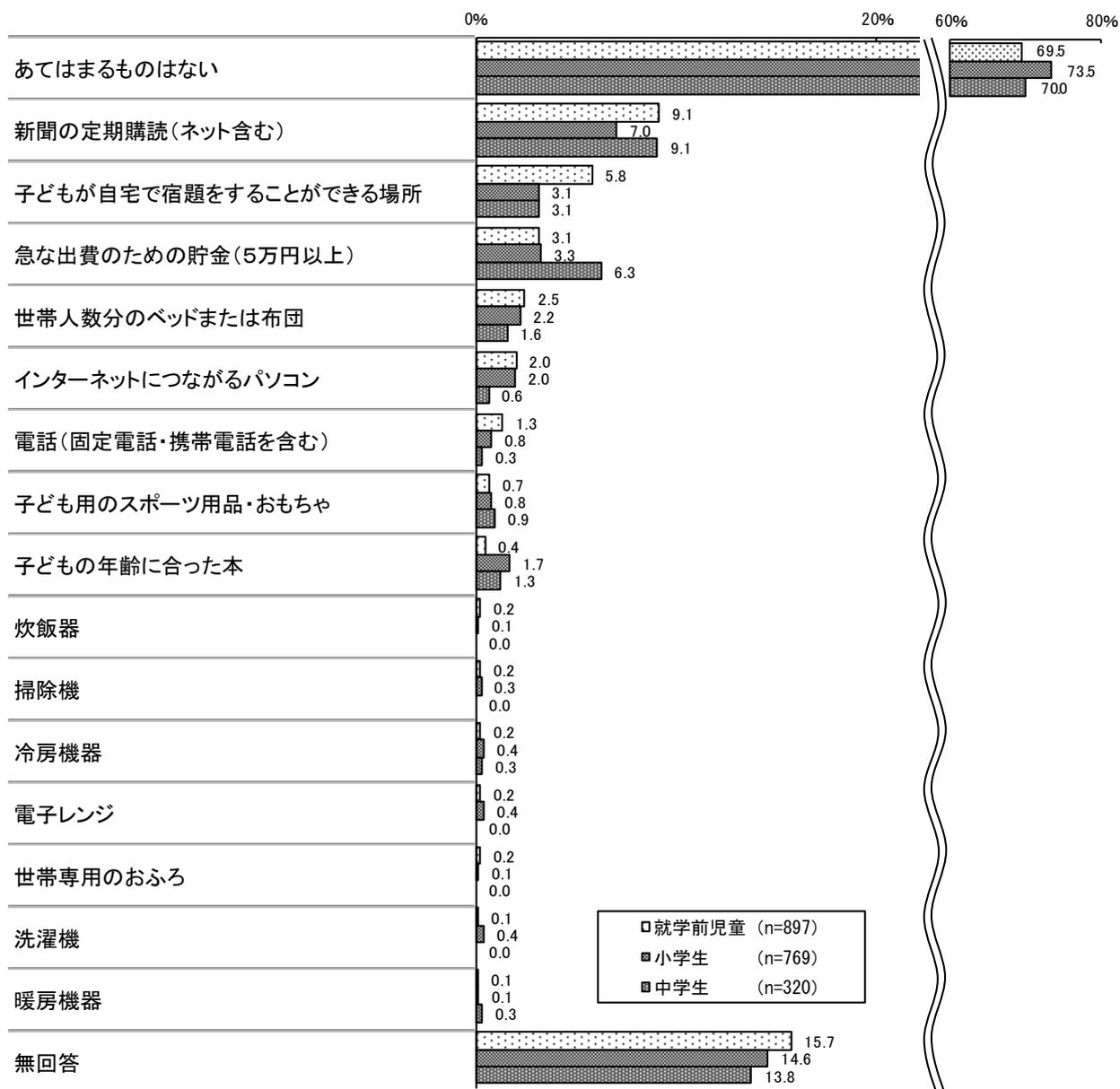
(n=320)



(3) 家庭において経済的にないもの（複数回答）

〔就学前児童：問35〕〔小学生：問19〕〔中学生：問15〕

家庭にないものを尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者、中学生の保護者ともに「あてはまるものはない」、「新聞の定期購読（ネット含む）」が多くなっている。次いで、就学前児童は「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」、小学生と中学生は「急な出費のための貯金（5万円以上）」が多くなっている。



14. 子育て支援サービスについて

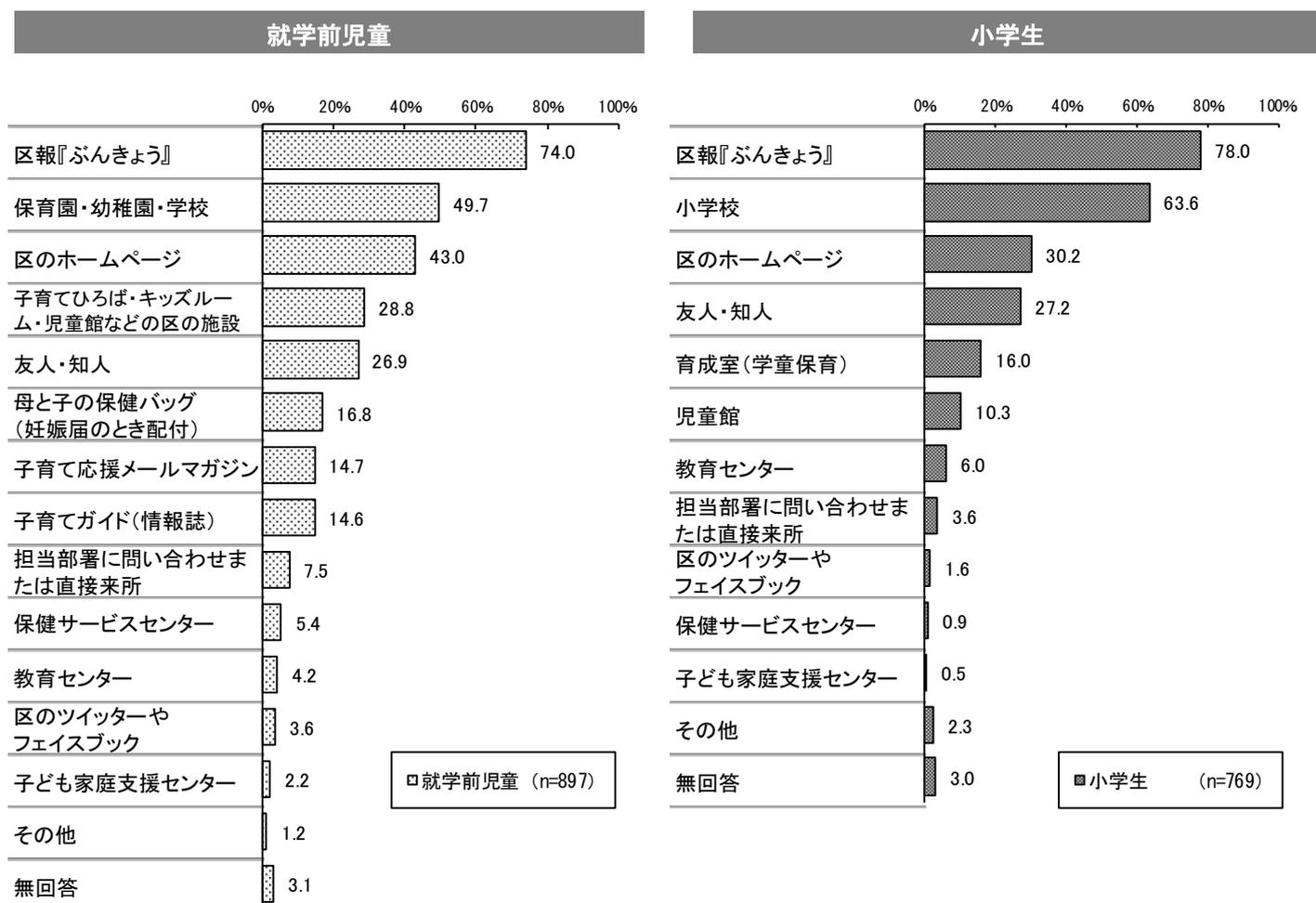
(1) 子育て支援サービス情報の入手方法（複数回答）

〔就学前児童：問36〕〔小学生：問21〕

子育て支援サービス情報の入手方法については、就学前児童の保護者は「区報『ぶんきょう』」が74.0%と最も多く、「保育園・幼稚園・学校」が49.7%、「区のホームページ」が43.0%の順となっている。

小学生の保護者では「区報『ぶんきょう』」が78.0%、「小学校」が63.6%、「区のホームページ」が30.2%の順となっている。

就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「区報『ぶんきょう』」が最も多く、児童が通う「保育園・幼稚園・学校」、「区のホームページ」の順で上位となっている。



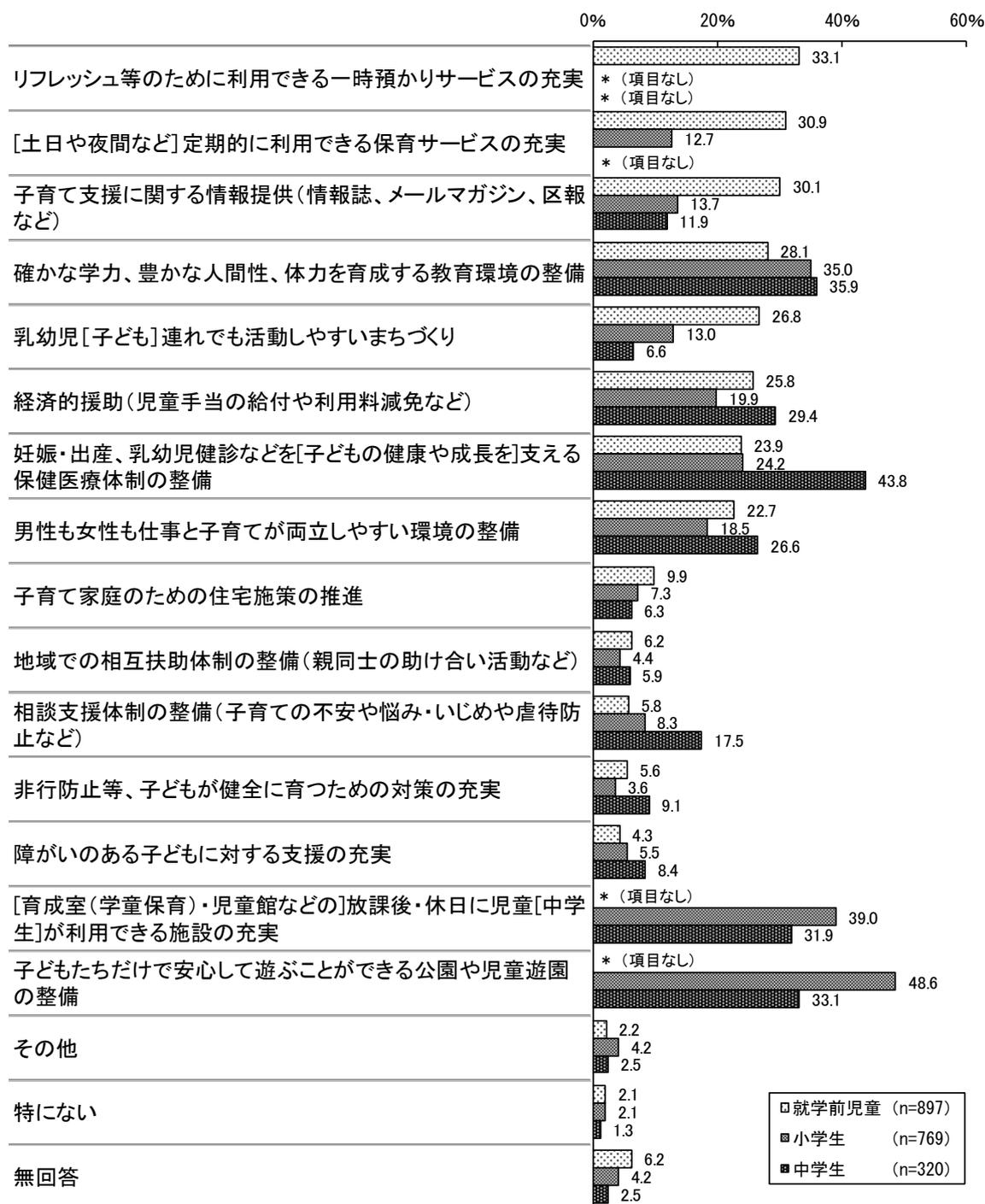
(2) 役立つ子育て支援の施設・サービス（複数回答）

〔就学前児童：問37〕〔小学生：問20〕〔中学生：問9〕

役立つ子育て支援の施設・サービスについて尋ねたところ、就学前児童の保護者は「リフレッシュ等のために利用できる一時預かりサービスの充実」をはじめ、「定期的に利用できる保育サービスの充実」など上位6項目が約25%から約35%となっている。

小学生の保護者は「子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備」が48.6%と最も多く、次いで「育成室（学童保育）・児童館などの放課後・休日に児童が利用できる施設の充実」が39.0%、「確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備」が35.0%の順となっている。

中学生の保護者は「子どもの健康や成長を支える保健医療体制の整備」が43.8%と最も多く、「確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備」が35.9%、「子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備」33.1%の順となっている。



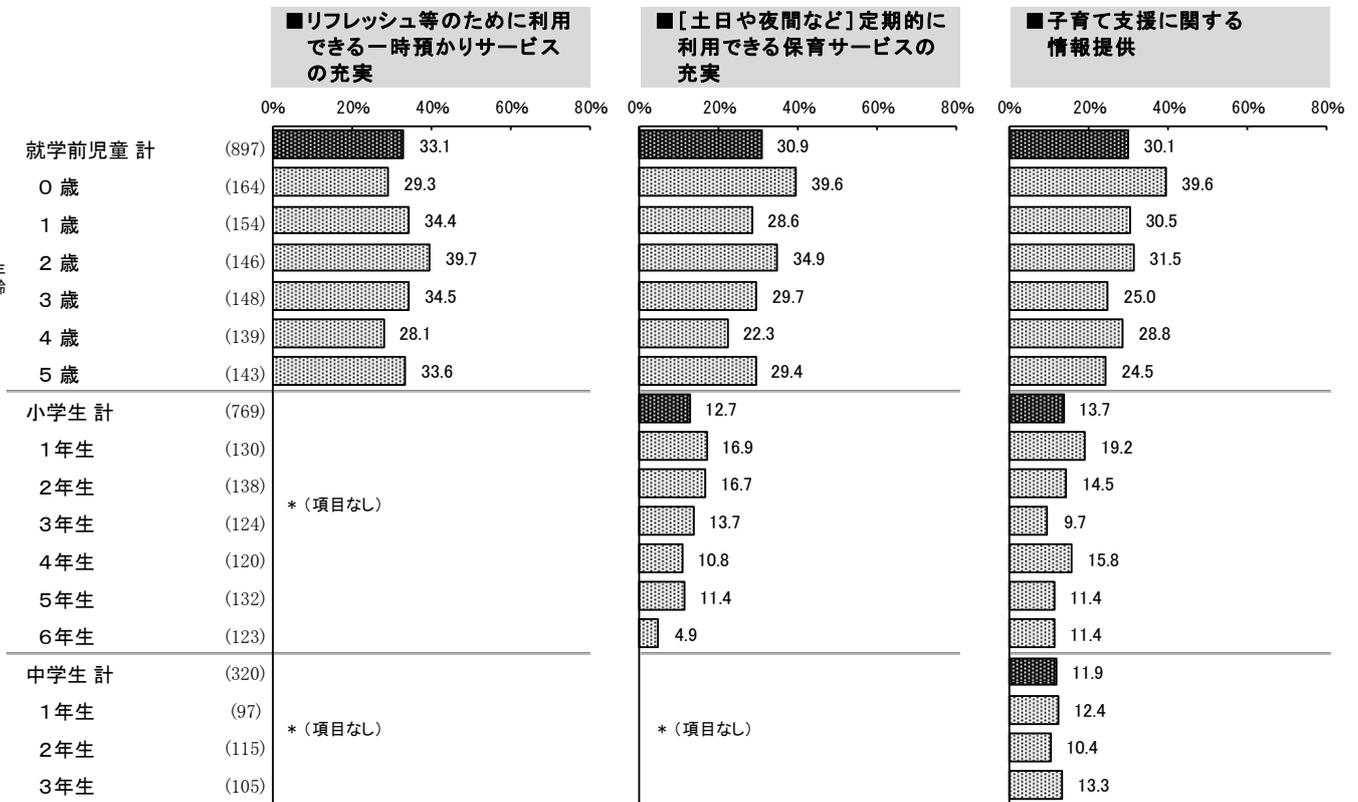
※ 選択肢内[]は、小学生保護者向けと中学生保護者向けで表現が異なる

《 役立つ子育て支援の施設・サービス—子どもの年齢／学年別 《

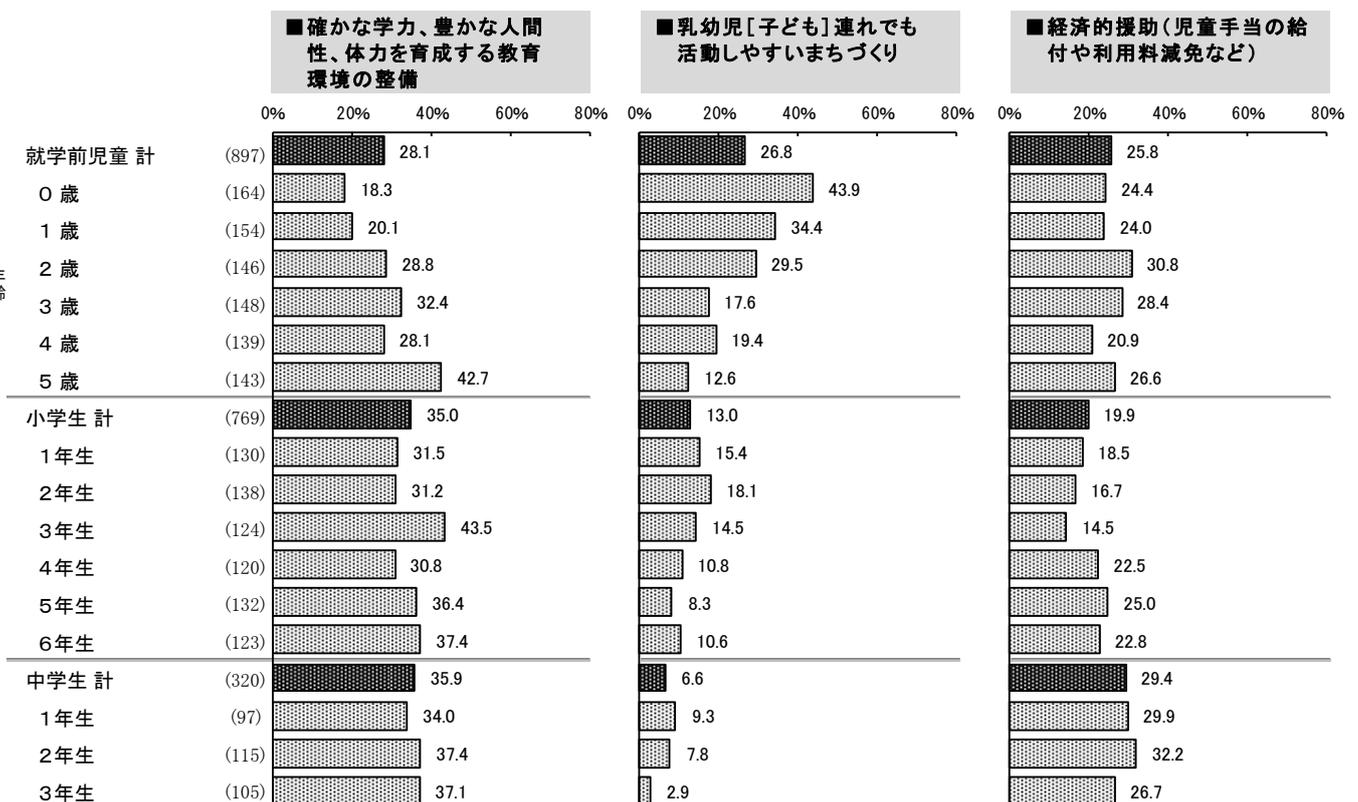
子どもの年齢・学年別にみると、「[土日や夜間など] 定期的にご利用できる保育サービスの充実」「子育て支援に関する情報提供」「乳幼児 [子ども] 連れでも活動しやすいまちづくり」は就学前児童、小学生ともに年齢や学年が低いほど多くなっている。

「妊娠・出産、乳幼児健診などを [子どもの健康や成長を] 支える保健医療体制の整備」は就学前児童で年齢が低いほど多く、小学生、中学生では年齢・学年が上がるほど多くなっている。

【平成30年4月1日時点】
年齢



【平成30年4月1日時点】
年齢

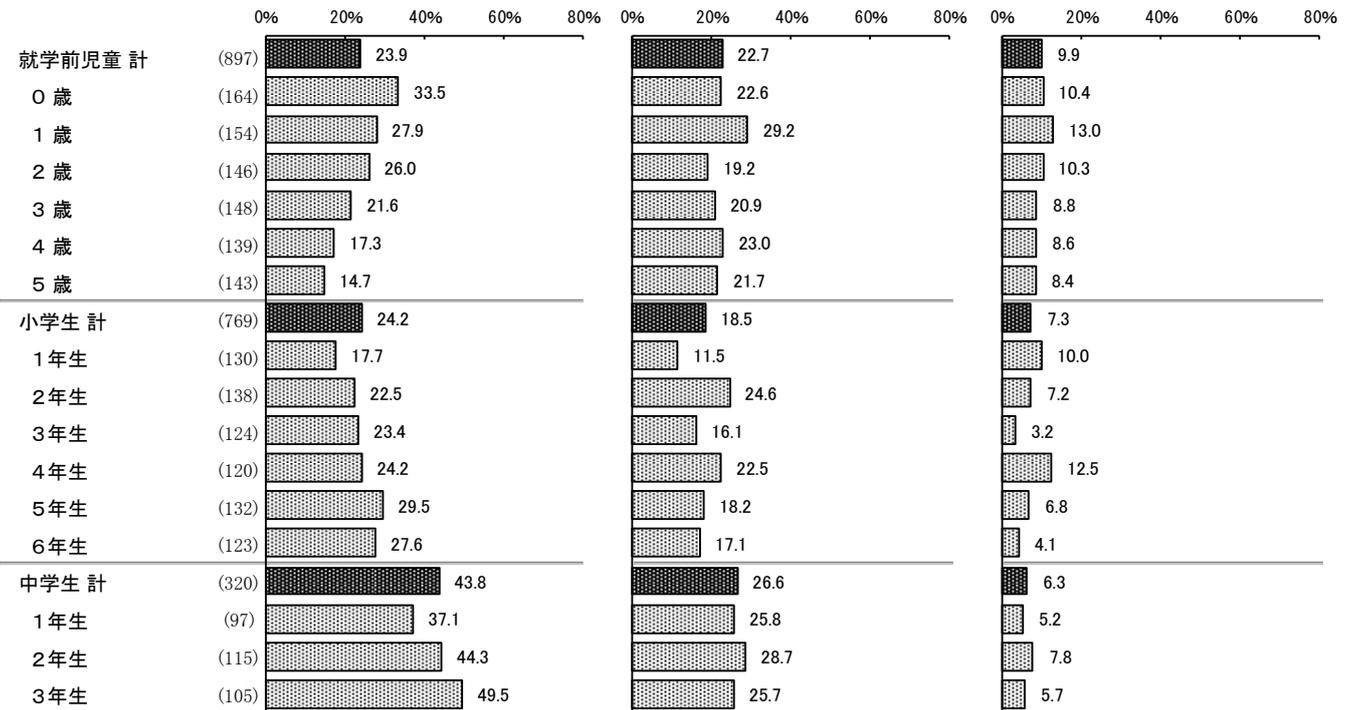


【平成30年4月1日時点】
年齢

■妊娠・出産、乳幼児健診などを[子どもの健康や成長を支える保健医療体制の整備

■男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備

■子育て家庭のための住宅施策の推進

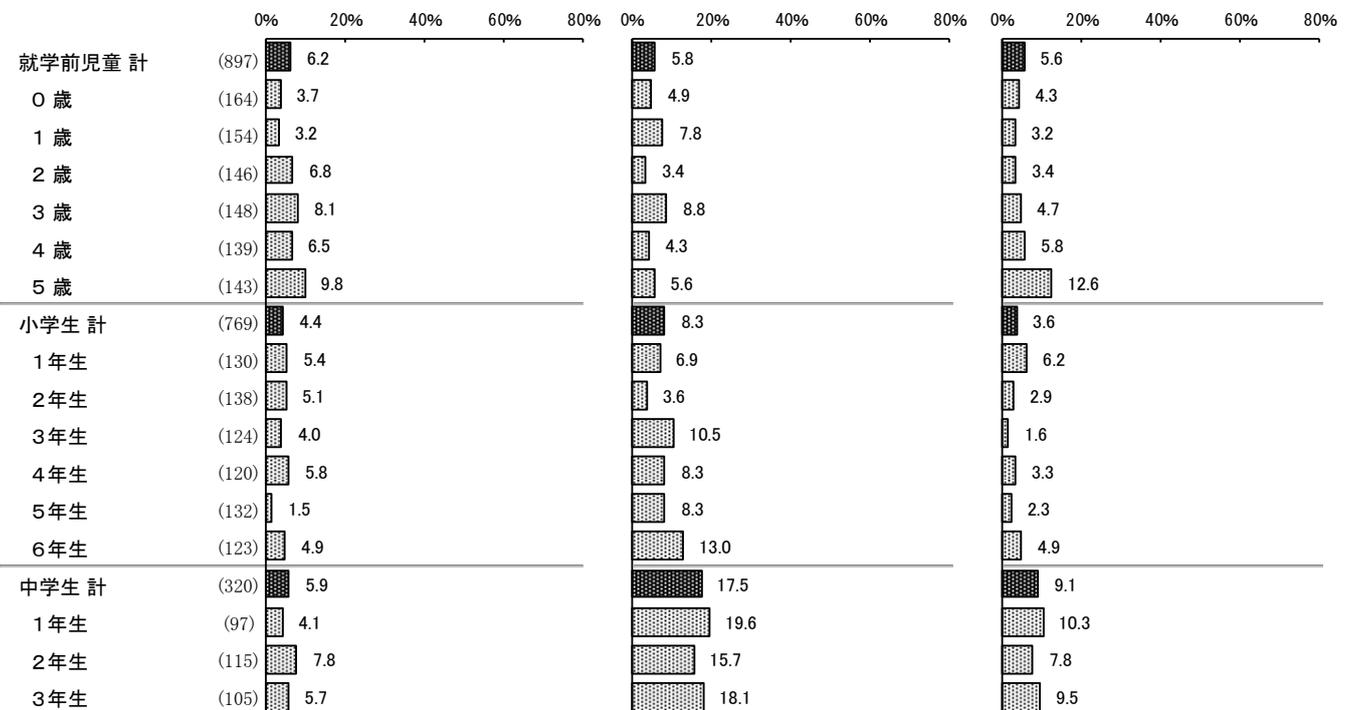


【平成30年4月1日時点】
年齢

■地域での相互扶助体制の整備(親同士の助け合い活動など)

■相談支援体制の整備(子育ての不安や悩み・いじめや虐待防止など)

■非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実

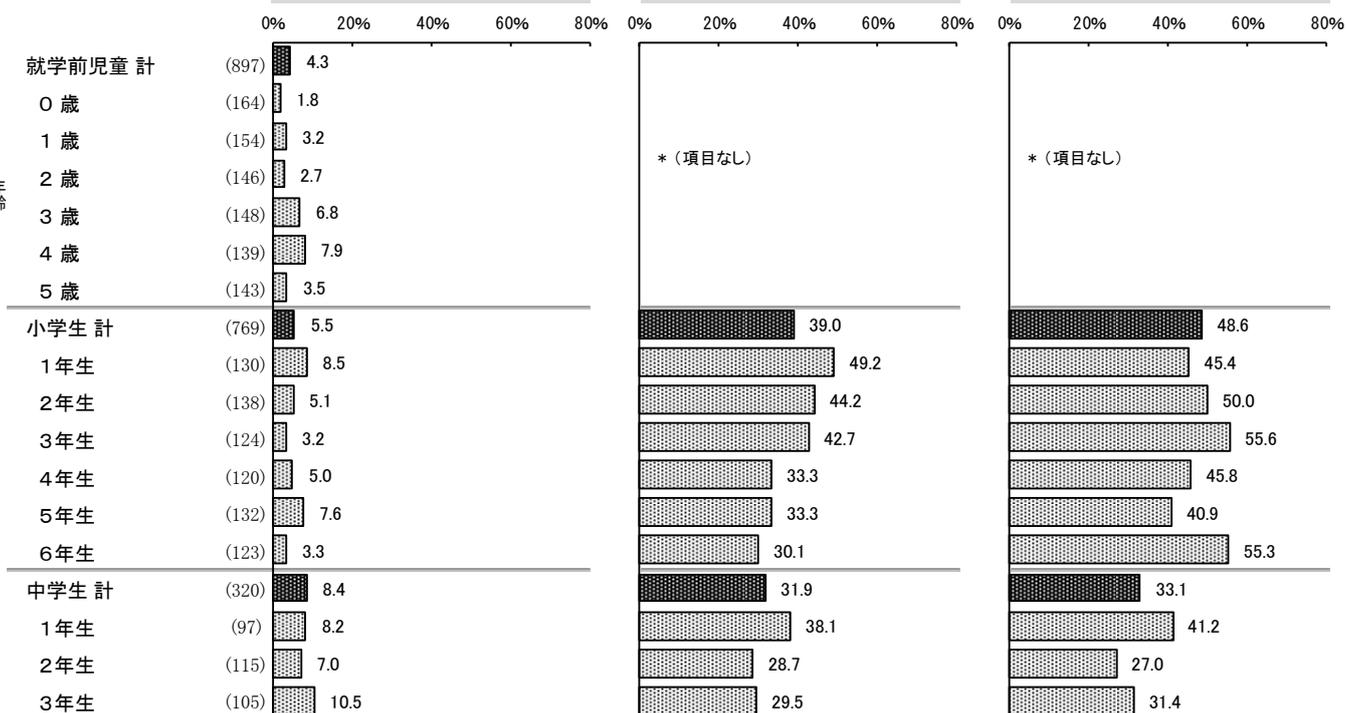


【平成30年4月1日時点】
年齢

■障がいのある子どもに対する支援の充実

■[育成室(学童保育)・児童館などの]放課後・休日に児童[中学生]が利用できる施設の充実

■子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備

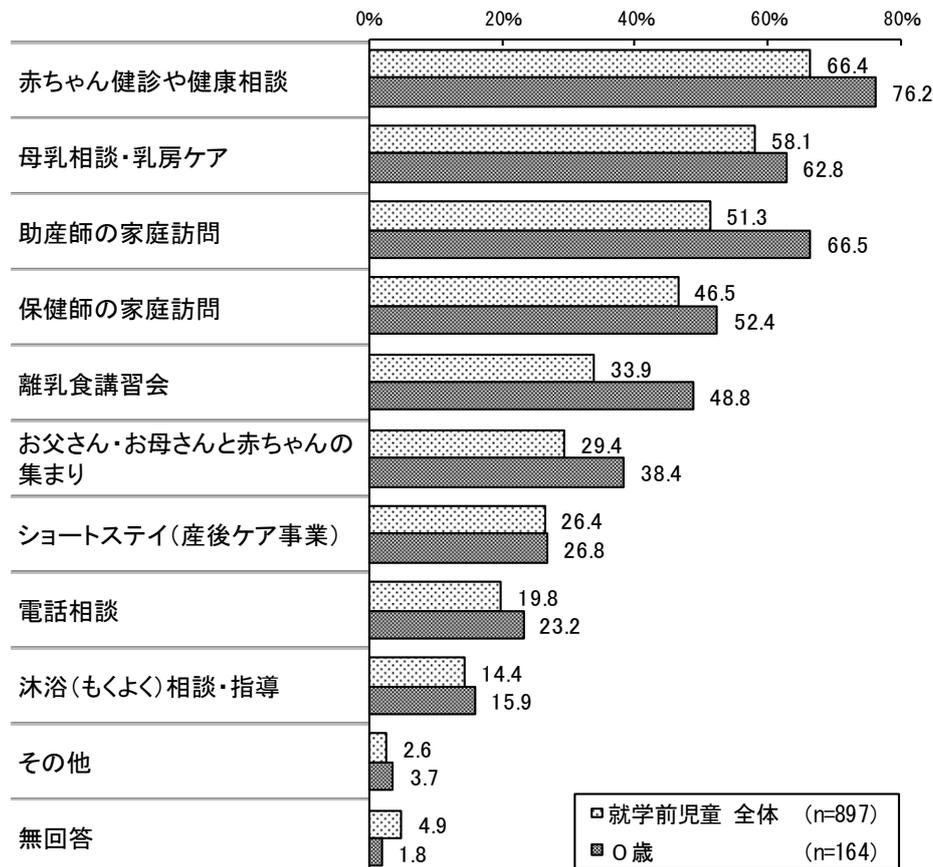


(3) 出産時から4か月健診までの間に受たい保健サービス（複数回答）

〔就学前児童：問38〕

就学前児童の保護者に対し、出産時から4か月健診までの間に受たい保健サービスを尋ねたところ、就学前児童全体で「赤ちゃん健診や健康相談」が66.4%と最も多く、次いで「母乳相談・乳房ケア」58.1%、「助産師の家庭訪問」51.3%、「保健師の家庭訪問」46.5%、「離乳食講習会」33.9%の順となっている。

4か月までの対象に最も近い0歳のみで見ると、「赤ちゃん健診や健康相談」は76.2%と全体と同様に最も多く、次いで「助産師の家庭訪問」66.5%、「母乳相談・乳房ケア」62.8%、「保健師の家庭訪問」52.4%の順と全体とほぼ同様の傾向となっている。



15. 生活の安心・安全について

〔就学前児童：問 39〕〔小学生：問 23〕
〔中学生：問 16〕〔中学生本人：問 11〕

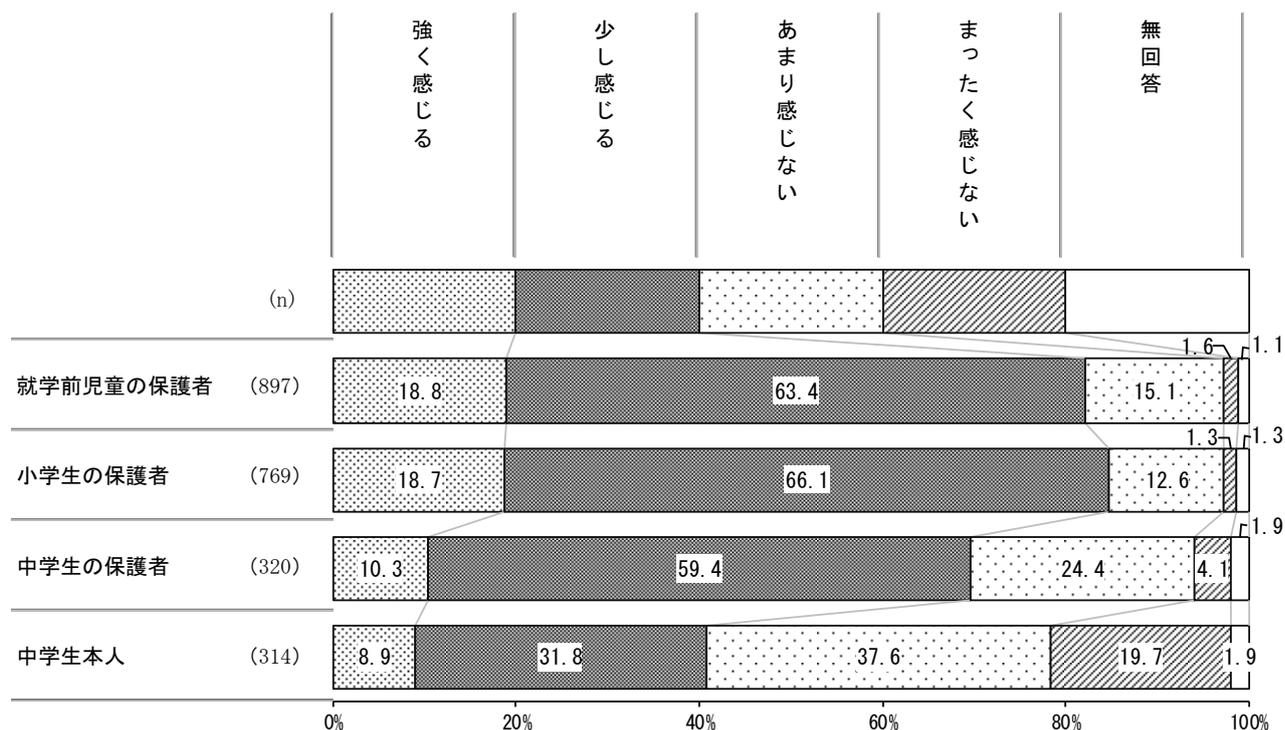
(1) 子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安

子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安については、就学前児童の保護者は「強く感じる」18.8%、「少し感じる」63.4%と、「不安を感じる」計で82.2%となっている。

小学生の保護者は「強く感じる」18.7%、「少し感じる」66.1%と、「不安を感じる」計で84.8%となっている。

中学生の保護者は「強く感じる」10.3%、「少し感じる」59.4%と、「不安を感じる」計は69.7%となっている。

一方、中学生本人は「強く感じる」8.9%、「少し感じる」31.8%と、「不安を感じる」計は40.7%となっており、中学生の保護者と比較して不安を感じる割合が少なくなっている。



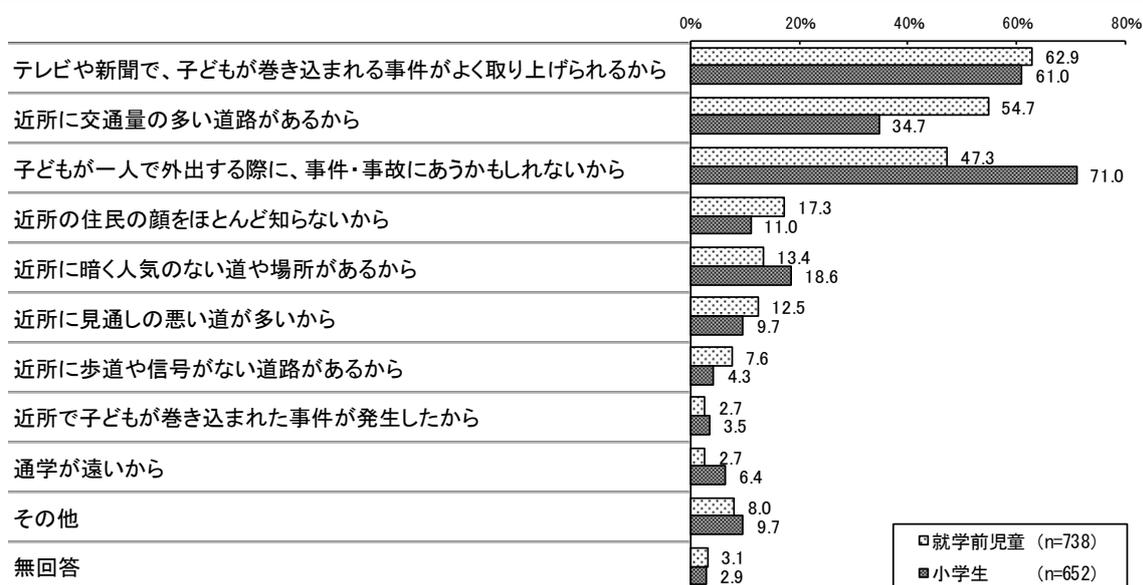
(2) 【事故や犯罪に巻き込まれる不安「強く感じる」「少し感じる」回答者】子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安を感じる理由（複数回答）
 [就学前児童：問 39-1] [小学生：問 23-1]
 [中学生：問 16-1] [中学生本人：問 11-1]

子どもが事故や犯罪に巻き込まれる不安を感じている人に、不安を感じる理由を尋ねたところ、就学前児童の保護者は「テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから」が62.9%と最も多く、次いで「近所に交通量の多い道路があるから」54.7%、「子どもが一人で外出する際に、事件・事故にあうかもしれないから」47.3%の順となっている。

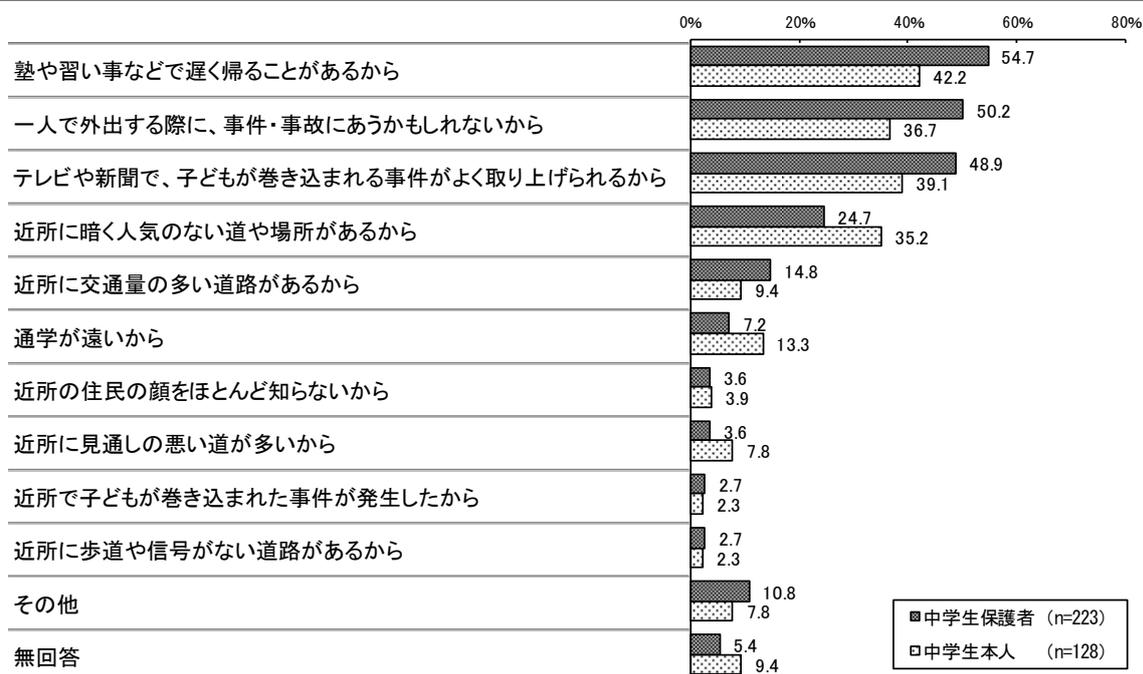
小学生の保護者は「子どもが一人で外出する際に、事件・事故にあうかもしれないから」が71.0%と最も多く、「テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから」61.0%、「近所に交通量の多い道路があるから」34.7%の順となっている。

中学生の保護者は「塾や習い事などで遅く帰ることがあるから」「一人で外出する際に、事件・事故にあうかもしれないから」「テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから」が50%前後で上位に挙げられている。中学生本人は保護者の上位3項目に加え、「近所に暗く人気のない道や場所があるから」が上位となっている。

就学前児童の保護者 及び 小学生の保護者

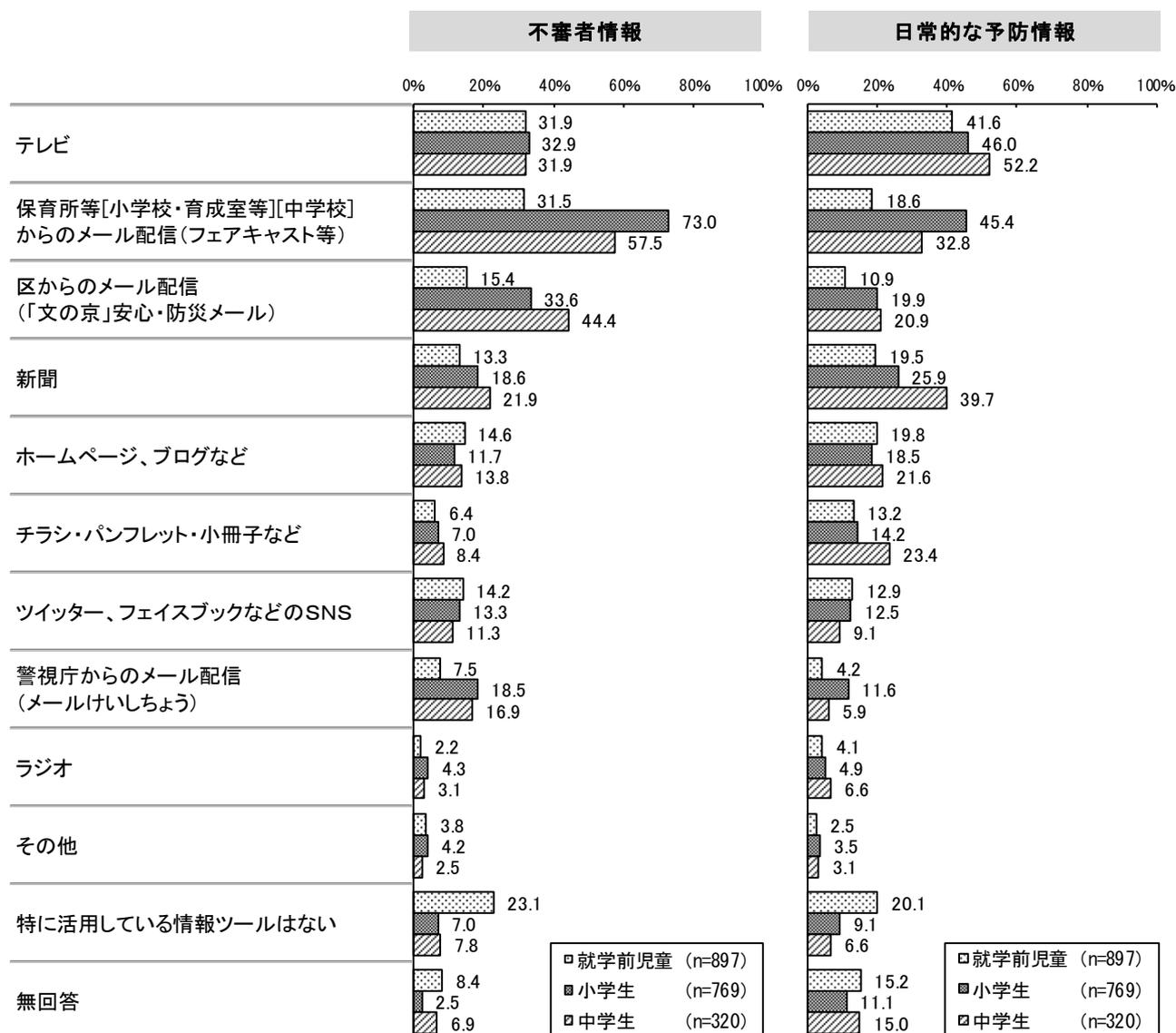


中学生の保護者 及び 中学生本人



(3) 子どもの安全や犯罪防止についての情報入手（収集）方法（複数回答） [小学生：問 24] [中学生：問 17]

子どもの安全や犯罪防止についての情報入手（収集）方法については、就学前児童の保護者に比べ小学生の保護者及び中学生の保護者は全般的に活用率が高くなっている。不審者情報は、小学生の保護者は「小学校・育成室等からのメール配信（フェアキャスト等）」が 73.0%、「区からのメール配信（「文の京」安心・防災メール）」が 33.6%など、中学生の保護者も同様の項目が上位となっており、地域情報の活用の様子がうかがえる。日常的な予防情報は、「テレビ」や「新聞」などマスメディアの活用率が相対的に高く、中学生の保護者でより高い傾向となっている。



※ 選択肢内[]は、小学生の保護者向けと中学生保護者向けで表現が異なる

(4) 災害時の避難所生活に必要な物資（自由記述：複数回答）

※粉ミルクや調整用飲料水、離乳食などの乳幼児用の食料、ほ乳瓶や離乳食などの乳幼児用の食器、紙おむつ、ウェットティッシュ以外

〔就学前児童：問41〕

就学前児童の保護者に、災害時に避難所生活を余儀なくされた場合に必要な物資を自由記述形式で尋ねたところ、590人から1,431件（延べ件数）の回答があった。

その内容については、小計では「遊び道具・子どもの環境」計が416件（29.1%）と最も多く、内訳は「おもちゃ・折り紙・ぬいぐるみ・ゲーム」が168件（11.7%）、「絵本・本・紙芝居」が130件（9.1%）、「子どもが遊べる・動き回れる・安心できるスペース」が67件（4.7%）の順となっている。

次いで「衣類・寝具」計が405件（28.3%）となっており、内訳は「衣服・下着・肌着」が163件（11.4%）、「寝具・毛布・ブランケット」が69件（4.8%）、「タオル・バスタオル・大きめの布」が67件（4.7%）の順となっている。

そのほかには、「仕切り・パーテーション、スペース、テント（授乳・おむつ交換・周囲への配慮等のため）」が73件（5.1%）、「医薬品・薬（内服薬・外用薬）」が45件（3.1%）などが挙げられている。

	(件数)	(%)
■ 衣類・寝具 計	405	28.3
衣服・下着・肌着	163	11.4
寝具・毛布・ブランケット	69	4.8
タオル・バスタオル・大きめの布	67	4.7
抱っこひも・スリング・おんぶひも	47	3.3
授乳ケープ	19	1.3
靴・スリッパ	15	1.0
よだれかけ・スタイ	13	0.9
防寒具	11	0.8
その他の衣類・寝具	1	0.1
■ 衛生用品・生活用品 計	267	18.7
ガーゼ・清浄綿・綿棒	31	2.2
消毒剤・除菌剤	30	2.1
子ども用歯ブラシ・歯みがきナップ・歯みがき粉	27	1.9
ビニール袋・ゴミ袋・ゴミ箱	23	1.6
子ども用マスク	20	1.4
石鹸・洗剤・シャンプー	17	1.2
ティッシュ・トイレトペーパー・体用ウェットティッシュ	15	1.0
爪切り	13	0.9
母乳パッド	13	0.9
ストロー	13	0.9
おしり拭き	10	0.7
保湿クリーム・ワセリン・ローション	10	0.7
鼻水吸引器	6	0.4
サランラップ	5	0.3
その他の衛生用品・生活用品	34	2.4
■ 医薬品・薬 計	45	3.1
医薬品・薬（内服薬・外用薬）	45	3.1

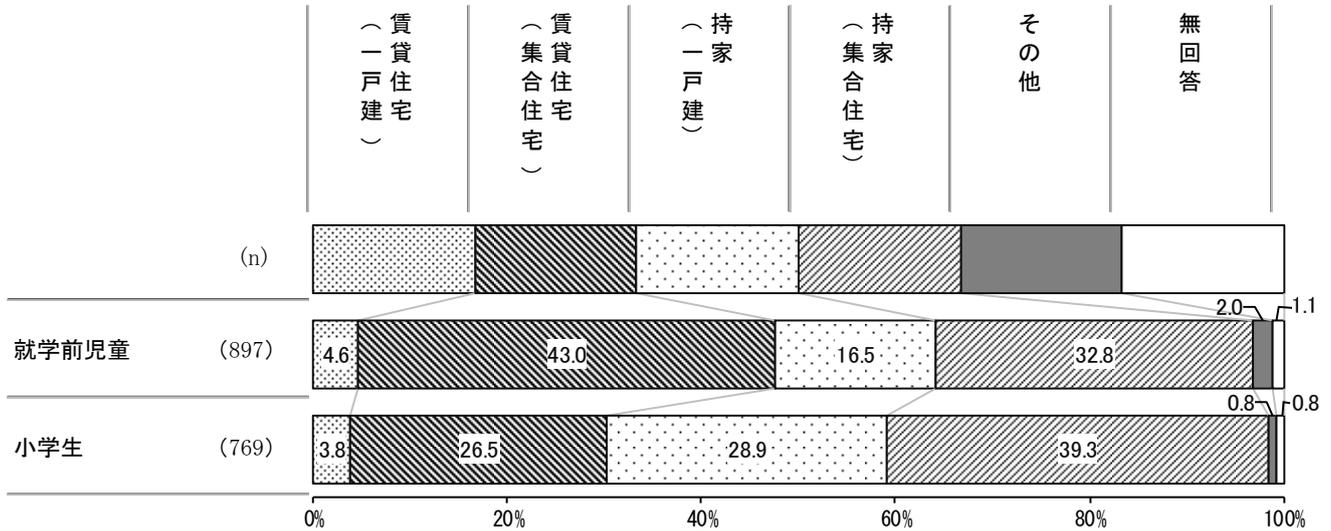
	(件数)	(%)
■ 遊び道具・子どもの環境 計	416	29.1
おもちゃ・折り紙・ぬいぐるみ・ゲーム	168	11.7
絵本・本・紙芝居	130	9.1
子どもが遊べる・動き回れる・安心できるスペース	67	4.7
体を動かせる道具（ボール・なわとび・遊具等）	18	1.3
鉛筆・色鉛筆・クレヨン（ぬり絵・お絵かき道具）	15	1.0
CD・DVD・テレビ	15	1.0
おしゃぶり	1	0.1
その他子どもの環境整備	2	0.1
■ 飲食品 計	84	5.9
お菓子・おやつ	37	2.6
アレルギー対応食	21	1.5
液体ミルク	13	0.9
飲料（お茶・ジュース等、粉末含む）	10	0.7
母親の食料・飲料水（母乳対策）	3	0.2
■ その他設備・施設・防災グッズ等 計	214	15.0
仕切り・パーテーション、スペース、テント（授乳・おむつ交換・周囲への配慮等のため）	73	5.1
簡易トイレ・おまる	32	2.2
暖さ・寒さ対策（うちわ・扇風機、暖房等）	22	1.5
レジャーシート・マット・簡易ベッド・イス	18	1.3
非常用ライト・ろうそく・非常電源	18	1.3
入浴設備（ベビーバス・沐浴）	16	1.1
保温・冷却グッズ（カイロ・シート・アイスノン等）	9	0.6
お湯・ポット・水筒・調理器具・電子レンジ	9	0.6
ベビーカー・ベビーカー・バウンサー	8	0.6
その他情報・防犯等（ラジオ・防犯ベル・名前バンド・ヘルメット等）	8	0.6
その他設備・物資	1	0.1
合 計	1,431	100.0

16. 住環境について

(1) 現在の住まい

〔就学前児童：問42〕〔小学生：問31〕

現在の住まいについては、就学前児童の保護者は「賃貸住宅（集合住宅）」が43.0%と最も多く、「持家（集合住宅）」32.8%、「持家（一戸建）」16.5%となっている。小学生の保護者は、「持家（集合住宅）」39.3%、「持家（一戸建）」28.9%、「賃貸住宅（集合住宅）」26.5%の順となっており、小学生の保護者では持家の割合が増える様子がうかがえる。



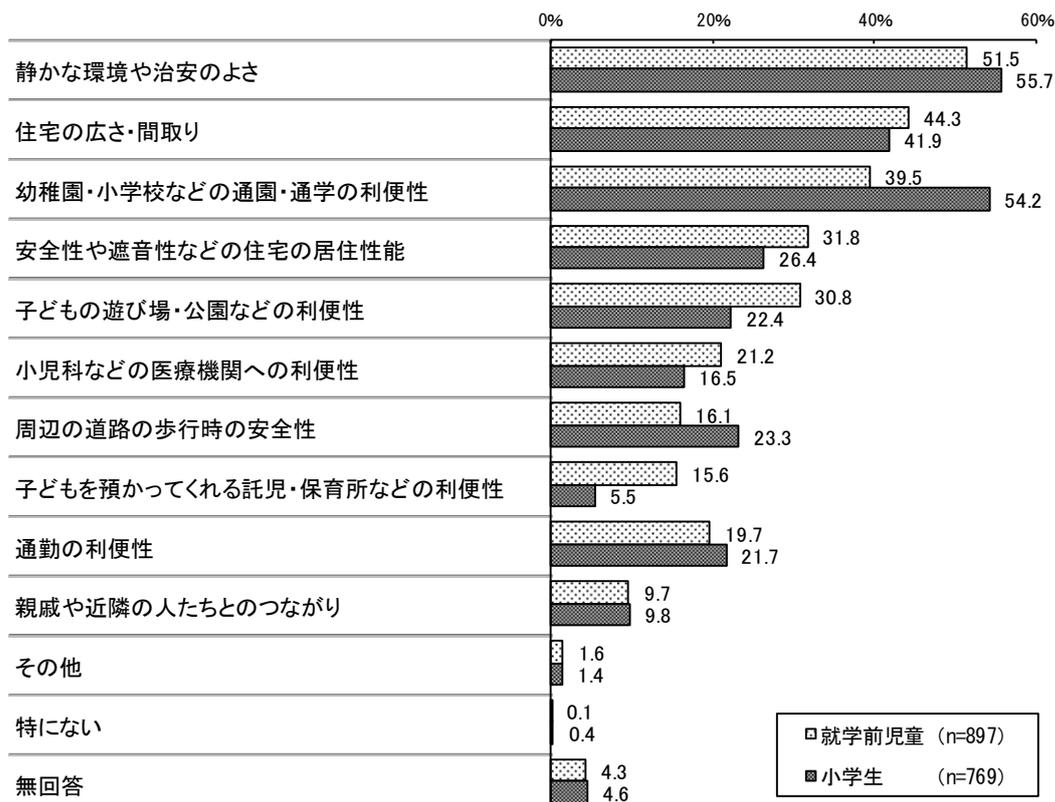
(2) 子育てに重要と思う住宅や住宅周辺環境（複数回答）

〔就学前児童：問43〕〔小学生：問32〕

子育てをする上で重要と思う住宅や住宅周辺環境について尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「静かな環境や治安のよさ」が50%以上と最も多くなっている。

就学前児童の保護者では次いで「住宅の広さ・間取り」、「幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性」の順となっている。

小学生の保護者では次いで「幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性」、「住宅の広さ・間取り」が続き、その他「安全性や遮音性などの住宅の居住性能」、「周辺の道路の歩行時の安全性」の順となっている。



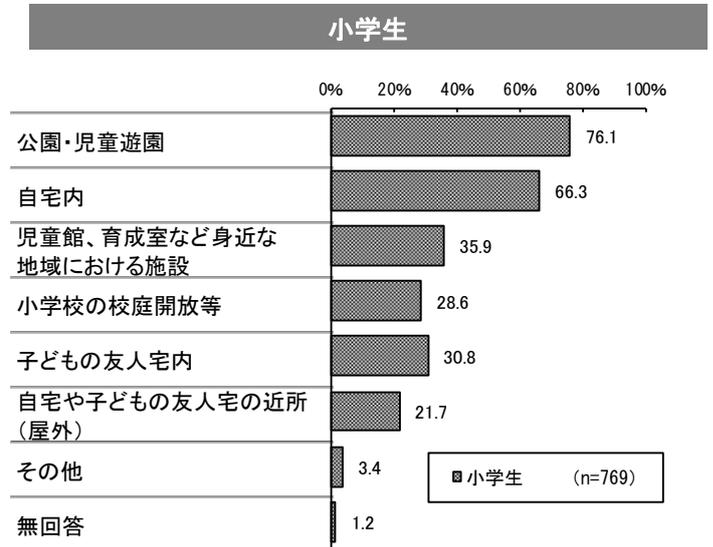
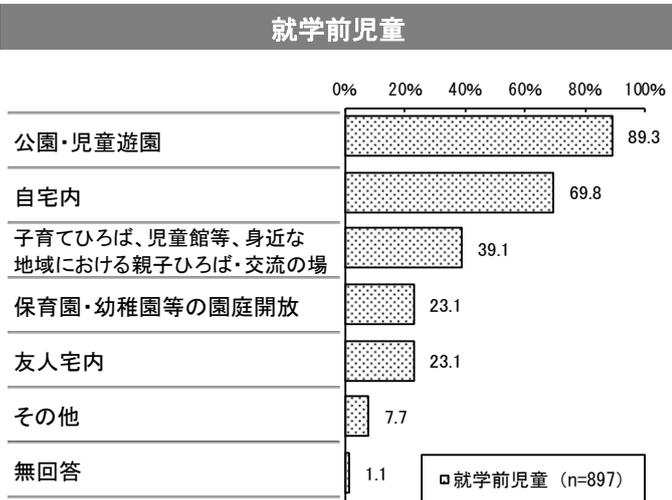
(3) 子どもの遊び場としての利用場所

①子どもの遊び場としての利用場所（複数回答）

〔就学前児童：問44〕〔小学生：問33〕

子どもの遊び場としての利用場所については、就学前児童の保護者では「公園・児童遊園」が89.3%と最も多く、次いで「自宅内」69.8%となっている。小学生の保護者も同様の順だが、「公園・児童遊園」は76.1%と就学前児童と比べて10ポイント以上少なくなっている。

子育てひろばや児童館、育成室などの「身近な地域における場や施設」は就学前児童では39.1%、小学生の保護者では35.9%となっている。



《 子どもの遊び場としての利用場所—子どもの年齢／学年別 》

子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童では「公園・児童遊園」が0歳を除く全ての年齢で9割を超え、「身近な地域のひろば・交流の場」が0歳で6割、「保育園・幼稚園等の園庭開放」が5歳で3割を超えて他の年齢より多くなっている。

小学生は「公園・児童遊園」が1～4年生で7割を超え、5、6年生と比べて多くなっている。1～3年生の低学年は「児童館、育成室など身近な地域の施設」が4割台と高学年に比べて多く、4～6年生の高学年は「自宅や子どもの友人宅の近所(屋外)」が低学年に比べて多くなっている。

就学前児童

(%)

	就学前児童計	年齢【平成30年4月1日時点】					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
(n)	(897)	(164)	(154)	(146)	(148)	(139)	(143)
公園・児童遊園	89.3	65.9	92.9	95.2	95.9	93.5	95.1
自宅内	69.8	77.4	70.8	69.2	64.9	66.2	69.9
身近な地域におけるひろば・交流の場	39.1	62.2	48.1	41.8	30.4	25.9	22.4
保育園・幼稚園等の園庭開放	23.1	11.6	16.9	26.0	25.7	23.7	36.4
友人宅内	23.1	25.0	16.9	19.9	25.0	22.3	29.4
その他	7.7	5.5	7.8	8.2	8.8	10.1	6.3
無回答	1.1	0.6	1.9	2.1	1.4	0.7	0.0

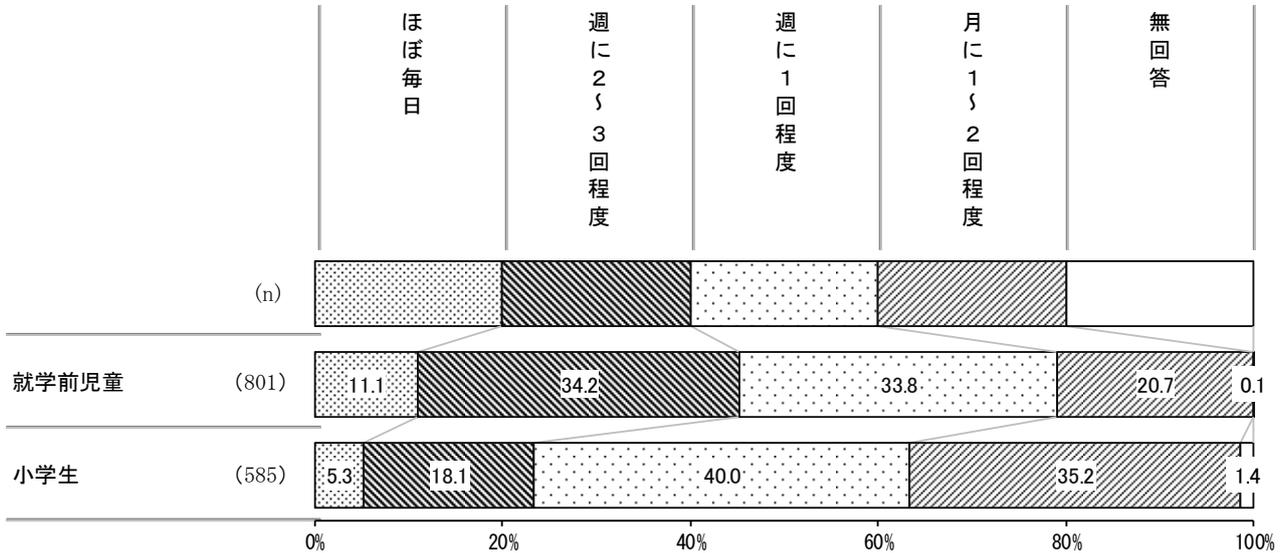
小学生

(%)

	小学生計	学年					
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
(n)	(769)	(130)	(138)	(124)	(120)	(132)	(123)
公園・児童遊園	76.1	87.7	86.2	75.0	78.3	67.4	61.0
自宅内	66.3	66.9	64.5	70.2	63.3	69.7	64.2
児童館、育成室など身近な地域における施設	35.9	44.6	48.6	49.2	25.8	26.5	19.5
小学校の校庭開放等	28.6	33.1	26.8	32.3	27.5	23.5	28.5
子どもの友人宅内	30.8	23.8	23.2	37.9	32.5	30.3	39.0
自宅や子どもの友人宅の近所(屋外)	21.7	16.2	15.9	21.8	24.2	22.7	30.9
その他	3.4	3.8	2.9	1.6	5.0	4.5	2.4
無回答	1.2	0.0	1.4	1.6	0.8	0.8	2.4

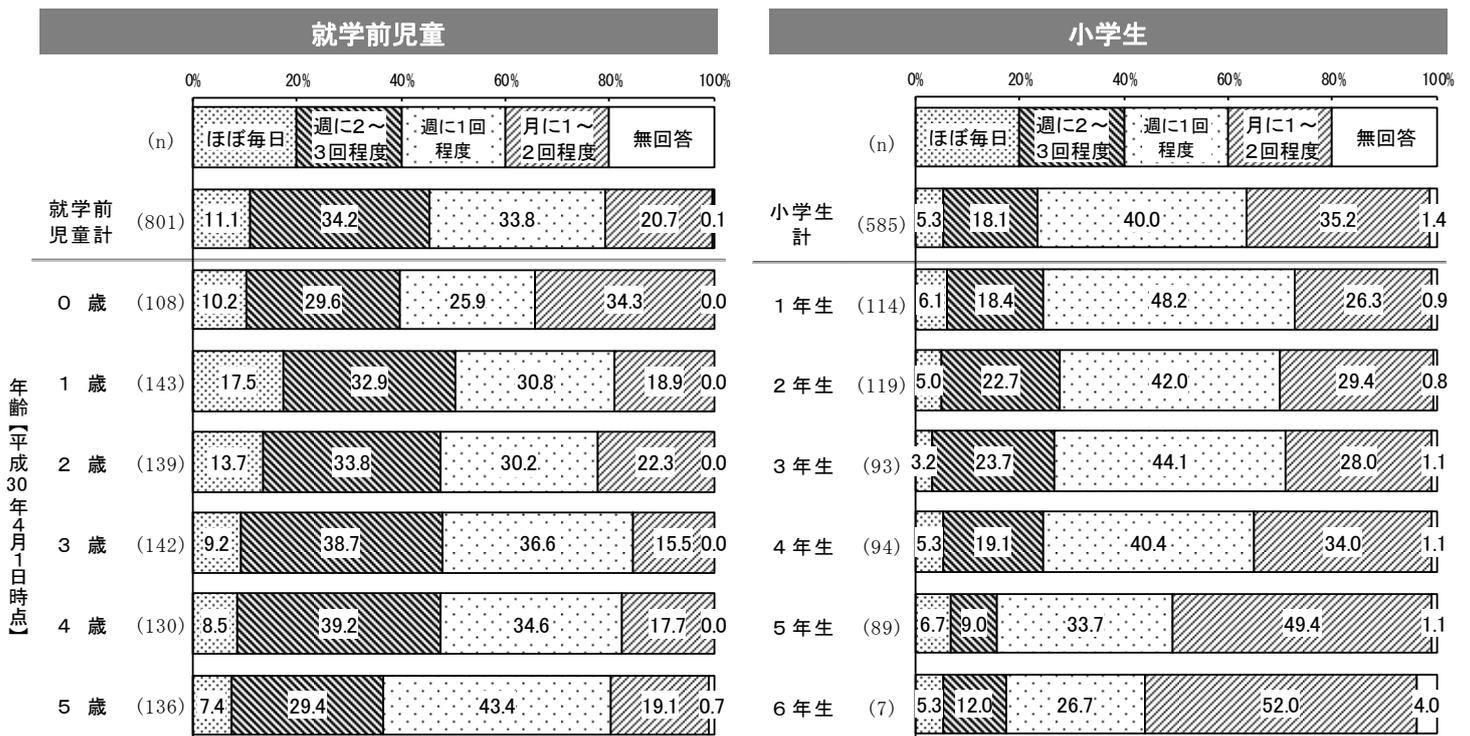
②【子どもの遊び場として「公園・児童遊園」利用者】公園・児童遊園の利用頻度

子どもの遊び場として公園・児童遊園を利用している人に利用頻度を尋ねたところ、就学前児童の保護者は「ほぼ毎日」が11.1%、「週に2～3回程度」が34.2%、小学生の保護者は「ほぼ毎日」が5.3%、「週に2～3回程度」が18.1%と就学前児童の方が小学生より頻度が高い傾向となっている。



《公園・児童遊園の利用頻度—子どもの年齢／学年別》

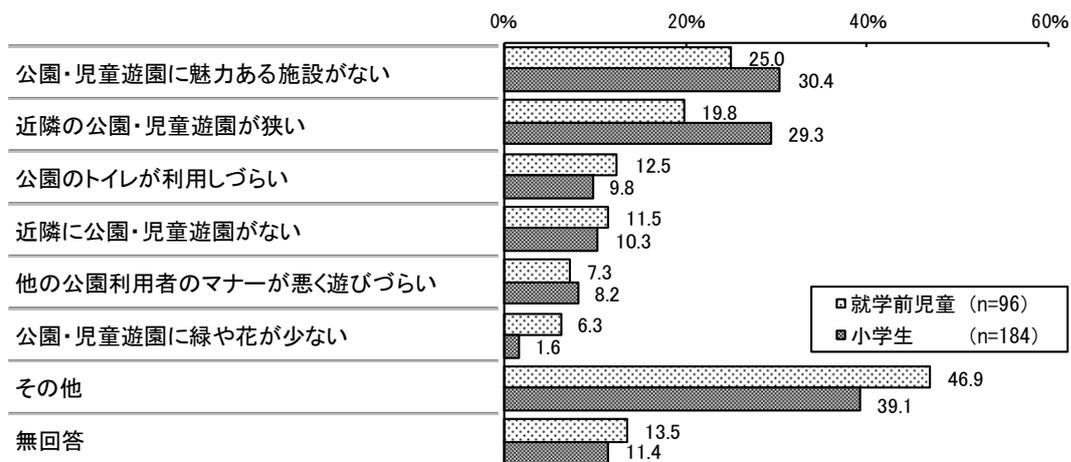
子どもの年齢・学年別にみると、就学前児童では、「ほぼ毎日」は1歳で頻度が最も高くなり、2歳以降で緩やかに低くなる傾向となっている。小学生では、「ほぼ毎日」「週に2～3回程度」「週に1回程度」の計は、ややバラつきはあるものの学年が上がるにつれて低くなり、また「月に1～2回程度」は学年が上がるにつれて多くなっている。



③【子どもの遊び場として「公園・児童遊園」を利用していない人】公園・児童遊園を利用していない理由
 (複数回答) 〔就学前児童：問 44-2〕〔小学生：問 33-2〕

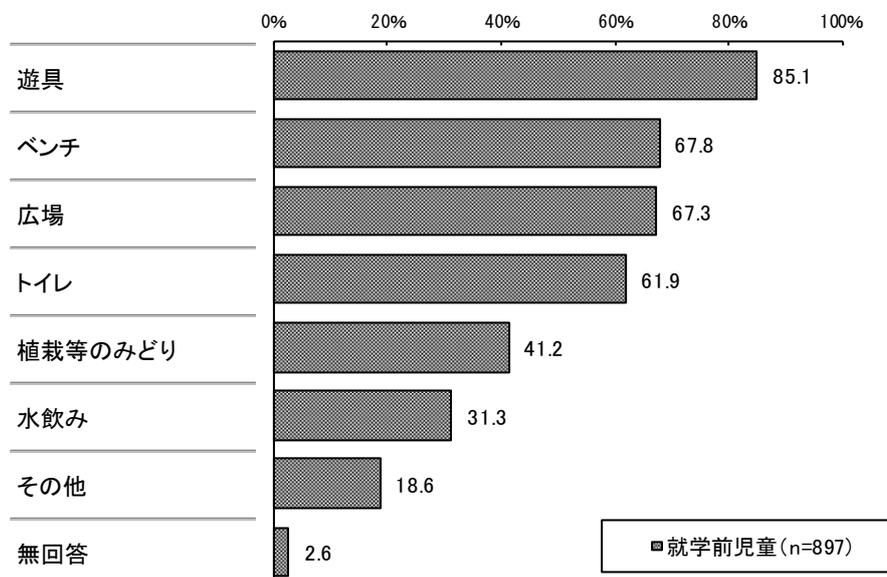
子どもの遊び場として公園・児童遊園を利用していない人にその理由を尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「公園・児童遊園に魅力ある施設がない」が最も多く、就学前児童の保護者は 25.0%、小学生の保護者は 30.4%となっている。次いで「近隣の公園・児童遊園が狭い」となっており、就学前児童の保護者は 19.8%、小学生の保護者は 29.3%となっている。この上位 2 については、就学前児童の保護者より小学生の保護者で多い傾向となっている。

また、「その他」としては、時間がない、まだ子どもが小さいため、ボール遊びができないなどの意見が多くみられる。



④公園・児童遊園に欲しい施設 (複数回答) 〔就学前児童：問 44-3〕

就学前児童の保護者に、公園・児童遊園に欲しい施設を訪ねたところ、「遊具」が 85.1%と最も多く、次いで「ベンチ」が 67.8%、「広場」が 67.3%、「トイレ」が 61.9%となっている。



17. 親子のコミュニケーションについて

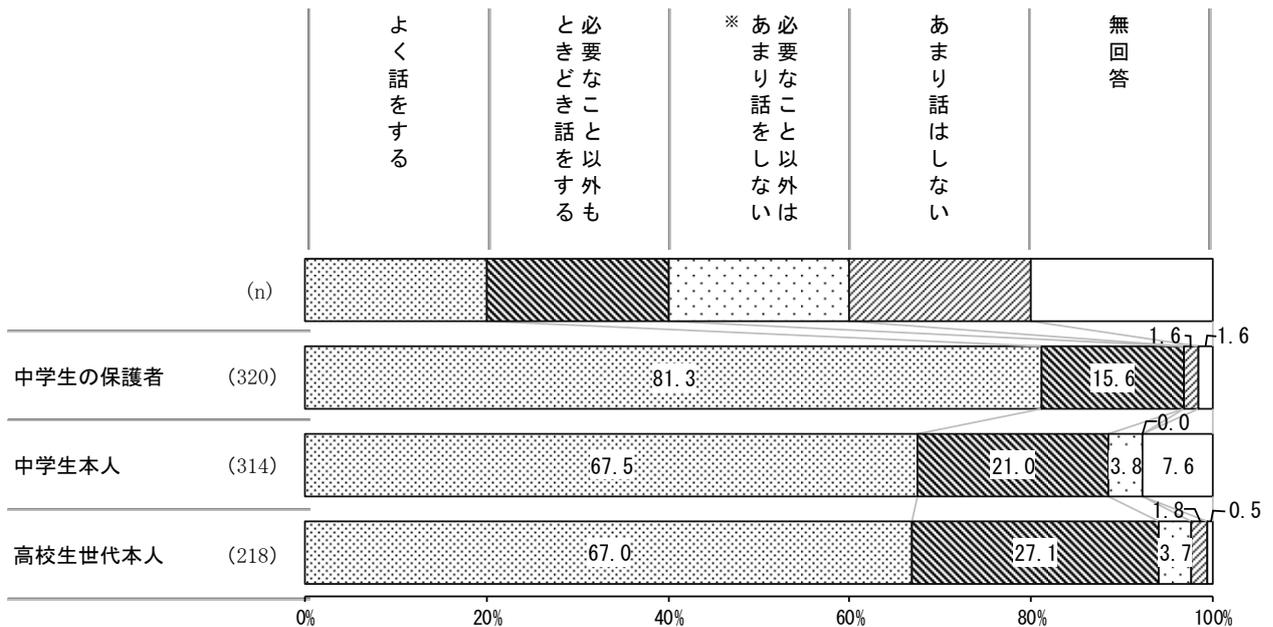
(1) 家族との会話

① (子どもが) 家族と会話をする頻度

〔中学生：問7〕〔中学生本人：問1〕〔高校生世代本人：問5〕

家族と会話をする頻度については、中学生の保護者は「よく話をする」81.3%、「ときどき話をする」15.6%、中学生本人は「よく話をする」67.5%、「ときどき話をする」21.0%と、親と子では親の方がよく会話している印象を持っている。高校生世代本人では「よく話をする」67.0%、「ときどき話をする」27.1%となっている。

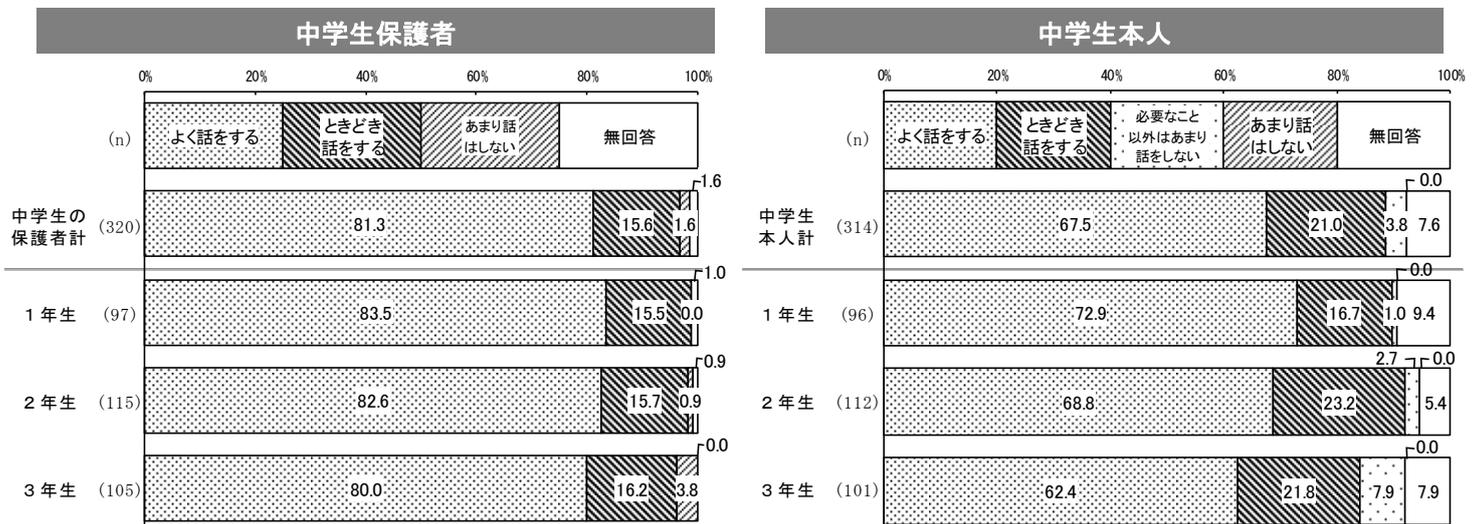
また、中学生本人と高校生世代本人を比較すると、「よく話をする」はあまり差がないものの、「必要なこと以外もときどき話をする」では高校生世代本人が6.1ポイント多くなっており、中学生よりも高校生世代本人が家族と会話をしていることがうかがえる。



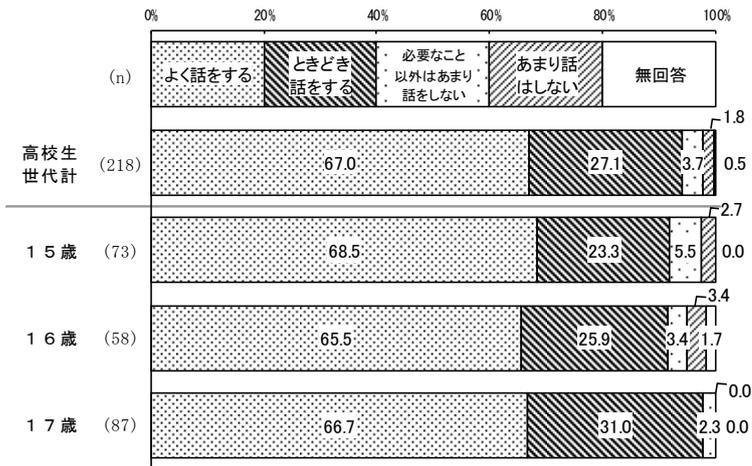
※「必要なこと以外はあまり話をしない」は中学生の保護者調査では項目なし

《 (子どもが) 家族と会話をする頻度 - (子どもの) 学年別 》

(子どもの) 学年別にみると、中学生保護者の回答は子どもの学年による大きな差はみられないが、中学生本人では「よく話をする」の割合は学年が上がるにつれて少なくなり、反対に「必要なこと以外はあまり話をしない」は学年が上がるにつれて多くなる傾向となっている。また、高校生世代では、「ときどき話をする」の割合は年齢が上がるにつれて多くなる傾向となっている。



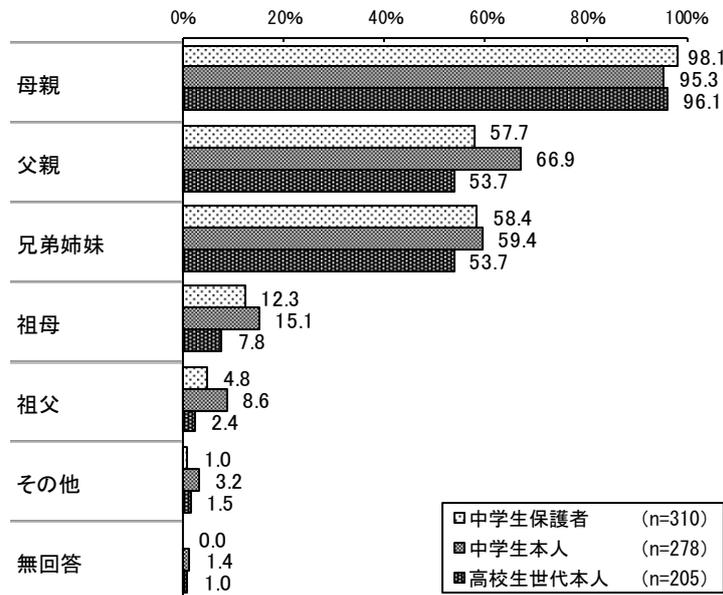
高校生世代本人



②【家族との会話「よく話をする」「ときどき話をする」回答者】(子どもが) 会話をする主な家族(複数回答)

[中学生：問7-1] [中学生本人：問1-1] [高校生世代本人：問5-1]

家族と会話を「よく話をする」、「ときどき話をする」と回答した人に会話をする主な家族を尋ねたところ、中学生保護者、中学生本人、高校生世代本人ともに「母親」が90%を超えて最も多く、次いで「父親」、「兄弟姉妹」がそれぞれ50~60%となっている。

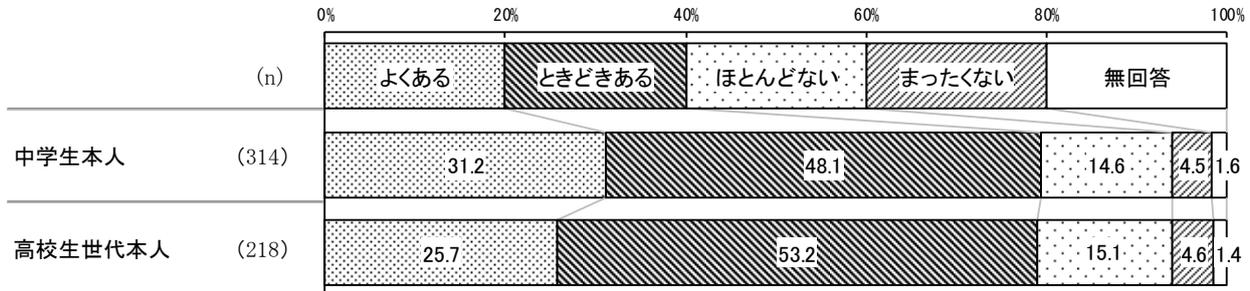


18. 近所や地域との関わり方について

(1) 近所の人とのあいさつ・会話の程度

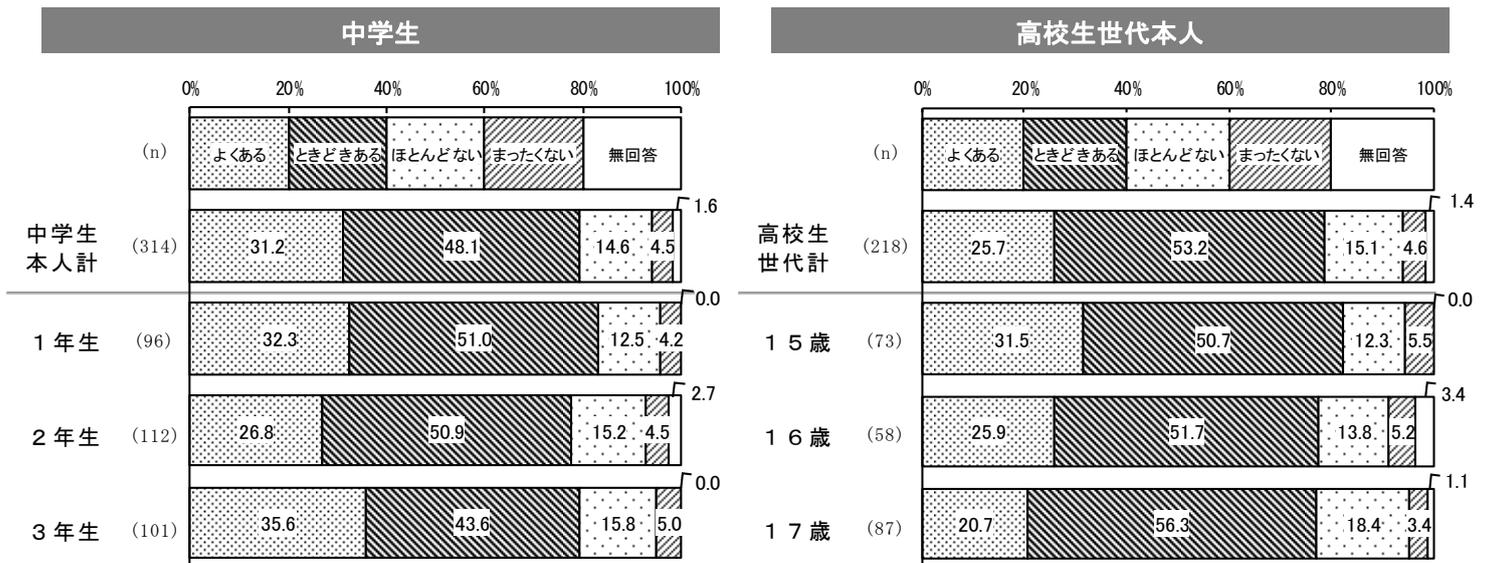
〔中学生本人：問8〕〔高校生世代本人：問12〕

(子ども) 近所の人とのあいさつや会話の程度について尋ねたところ、中学生本人は「よくある」31.2%、「ときどきある」48.1%、高校生世代本人は「よくある」25.7%、「ときどきある」53.2%と、合計ではそれぞれ約8割とほぼ同率の回答となっている。



《 近所の人とのあいさつ・会話の程度—学年／年齢別 》

学年・年齢別でみると、中学生では「よくある」は3年生で最も多くなっているが、「ときどきある」は1年生で最も多くなっている。また、高校生世代では、「よくある」は年齢が上がるにつれて少なくなり、反対に「ときどきある」「ほとんどない」は年齢が上がるにつれて多くなる傾向となっている。



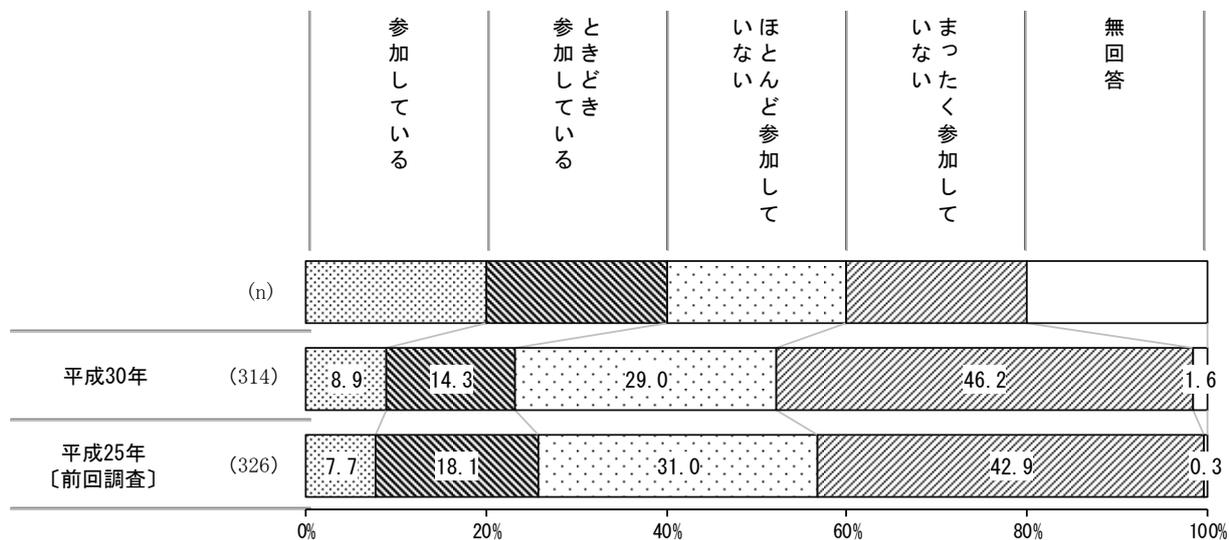
(2) 地域活動・ボランティア活動の参加状況

[中学生本人：問9]

中学生本人に、地域活動・ボランティア活動の参加状況を尋ねたところ、「参加している」8.9%、「ときどき参加している」14.3%であり、「参加している」計が23.2%となっている。

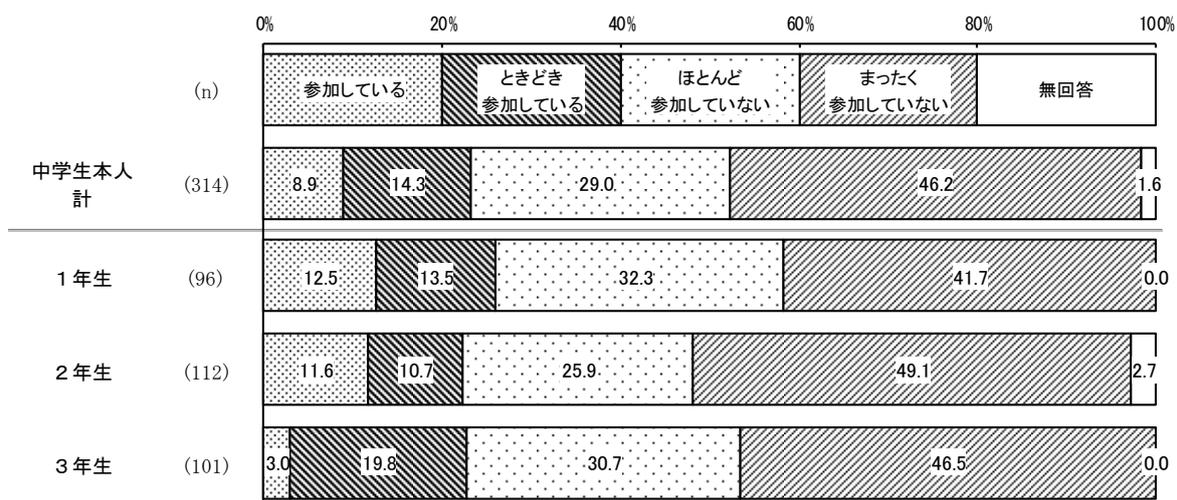
一方、「ほとんど参加していない」、「まったく参加していない」の合計である、「参加していない」計は75.2%に及び、地域との関係性やボランティア活動への関心は低くなっている。

平成25年の調査結果と比較すると、「参加している」は1.2ポイント増加しており、「まったく参加していない」も3.3ポイント増加している。



《 地域活動・ボランティア活動の参加頻度－学年別 》

中学生の学年別にみると、「参加している」計は1年生12.5%、2年生11.6%、3年生3.0と、学年が上がるにつれて少なくなる傾向がみられる。



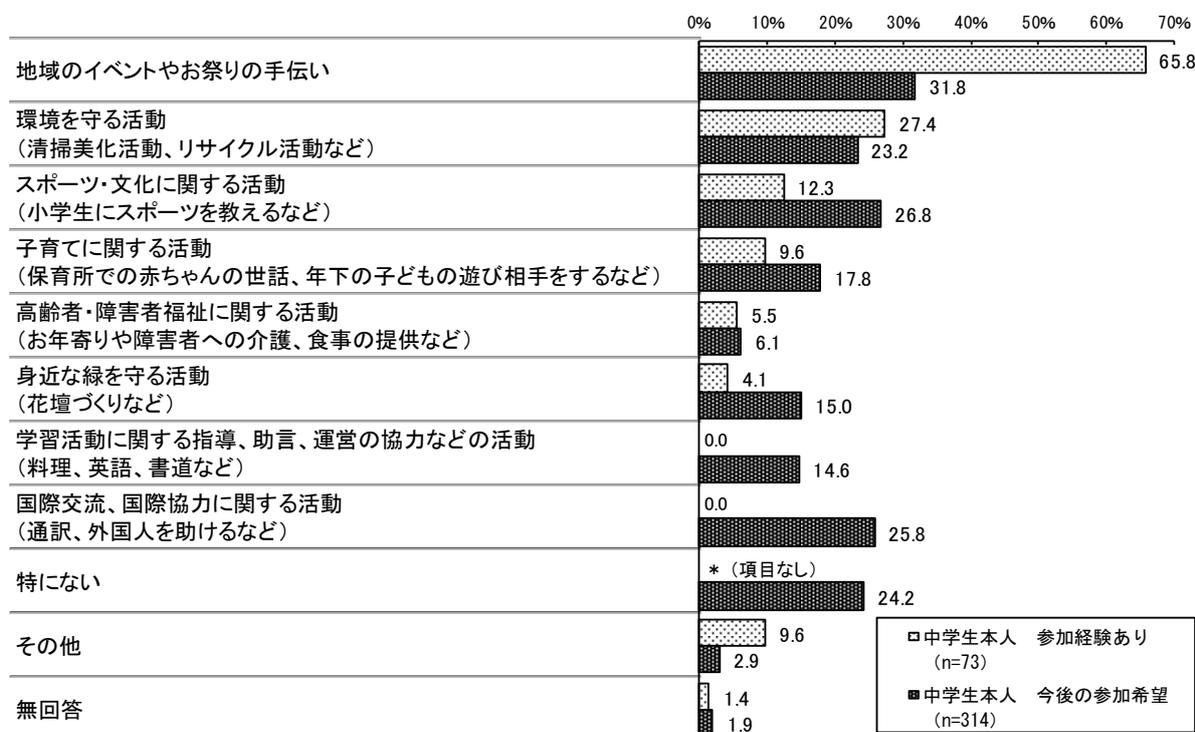
(3) 参加している・参加してみたい地域活動・ボランティア活動（複数回答）

①中学生本人

〔中学生本人：問9-1、10〕

地域活動・ボランティア活動に「参加している」「ときどき参加している」と回答した中学生本人に参加している活動内容について尋ねたところ、「地域のイベントやお祭りの手伝い」が65.8%で最も多く、次いで「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」が27.4%となっている。

また、中学生本人全員に参加したいボランティア活動を尋ねたところ、「地域のイベントやお祭りの手伝い」31.8%、「スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）」26.8%となっている。



《 参加している・参加してみたい地域活動・ボランティア活動内容—学年別 》

学年別でみると、参加している活動は、1年生は「スポーツ・文化に関する活動」、3年生は「地域のイベントやお祭りの手伝い」「環境を守る活動」などが他の学年より多い傾向となっている。

参加してみたい活動は、1年生は「国際交流、国際協力に関する活動」、2年生は「地域のイベントやお祭りの手伝い」、3年生は「子育てに関する活動」などが他の学年より多い傾向となっている。

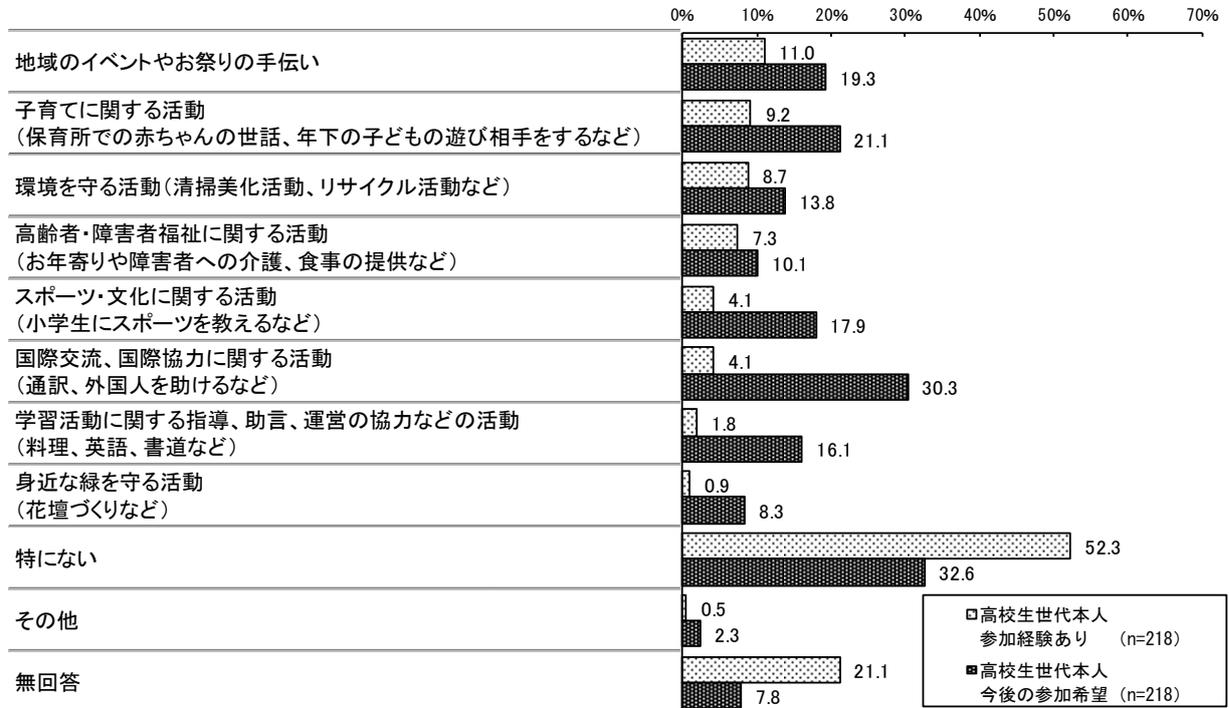
	中学生計 (n)	学年 (%)		
		1年生	2年生	3年生
地域イベントやお祭りの手伝い	(73) (314)	(25) (96)	(25) (112)	(23) (101)
環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など)	65.8 31.8	64.0 31.3	64.0 33.9	69.6 30.7
スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど)	27.4 23.2	20.0 24.0	24.0 23.2	39.1 23.8
スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど)	12.3 26.8	20.0 25.0	12.0 28.6	4.3 26.7
子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子ども遊び相手をするなど)	9.6 17.8	8.0 18.8	8.0 14.3	13.0 21.8
高齢者・障害者福祉に関する活動(お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)	5.5 6.1	8.0 8.3	4.0 4.5	4.3 5.9
身近な緑を守る活動(花壇づくりなど)	4.1 15.0	8.0 11.5	0.0 15.2	4.3 18.8
学習活動に関する指導、助言、運営の協力などの活動(料理、英語、書道など)	0.0 14.6	0.0 16.7	0.0 12.5	0.0 15.8
国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど)	0.0 25.8	0.0 31.3	0.0 26.8	0.0 20.8
その他	9.6 2.9	8.0 4.2	12.0 0.9	8.7 4.0
無回答	1.4 1.9	0.0 0.0	0.0 2.7	4.3 1.0

②高校生世代本人

〔高校生世代本人：問13〕

高校生世代本人に地域活動・ボランティア活動への参加について尋ねたところ、「特にない」が現在の参加状況で52.3%、今後の参加希望で32.6%と最も多くなっている。

今後の参加希望では「国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど）」が30.3%と次いで多くなっており、国際親善活動への関心の高さがうかがえる。



《 参加している・参加してみたい地域活動・ボランティア活動内容一年齢別 》

高校生世代の年齢別にみると、現在の参加状況では、15歳は「国際交流、国際協力に関する活動」、16歳は「高齢者・障害者福祉に関する活動」などが他の年齢より多い傾向となっている。

今後の参加希望は、15歳は「環境を守る活動」「国際交流、国際協力に関する活動」、17歳は「子育てに関する活動」、「スポーツ・文化に関する活動」などが他の年齢より多い傾向となっている。

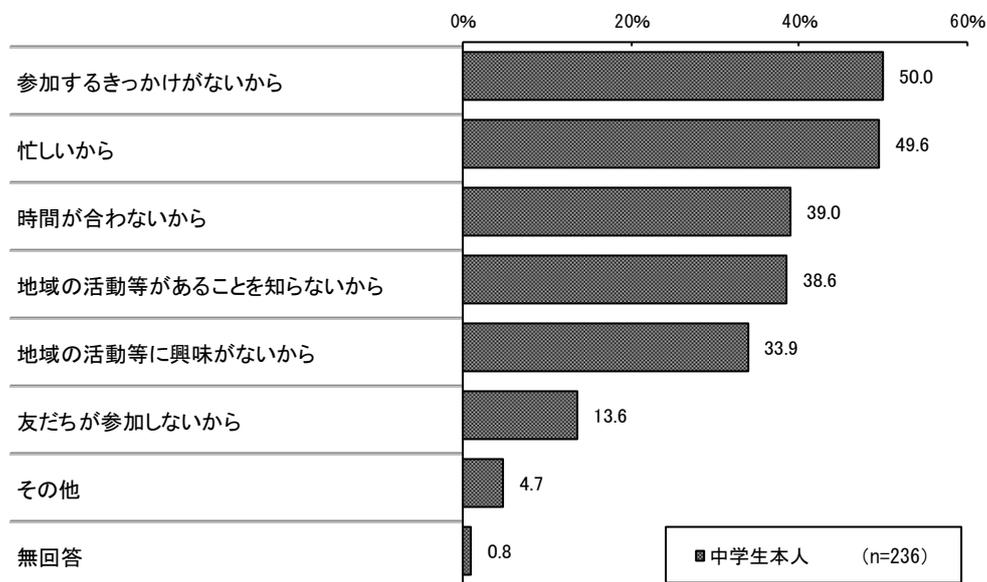
	高校生世代計	年齢		
		15歳	16歳	17歳
上段：参加経験あり	(218)	(73)	(58)	(87)
下段：今後の参加希望	(218)	(73)	(58)	(87)
地域イベントやお祭りの手伝い	11.0 19.3	6.8 19.2	15.5 15.5	11.5 21.8
子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもとの遊び相手をするなど)	9.2 21.1	4.1 21.9	13.8 12.1	10.3 26.4
環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など)	8.7 13.8	5.5 20.5	10.3 6.9	10.3 12.6
高齢者・障害者福祉に関する活動(お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)	7.3 10.1	5.5 11.0	12.1 1.7	5.7 14.9
スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど)	4.1 17.9	4.1 16.4	5.2 12.1	3.4 23.0
国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど)	4.1 30.3	6.8 37.0	1.7 20.7	3.4 31.0
学習活動に関する指導、助言、運営の協力などの活動(料理、英語、書道など)	1.8 16.1	1.4 15.1	3.4 12.1	1.1 19.5
身近な緑を守る活動(花壇づくりなど)	0.9 8.3	1.4 8.2	1.7 8.6	0.0 8.0
特にない	52.3 32.6	60.3 23.3	53.4 44.8	44.8 32.2
その他	0.5 2.3	1.4 2.7	0.0 0.0	0.0 3.4
無回答	21.1 7.8	16.4 5.5	19.0 12.1	26.4 6.9

(4) 【地域活動・ボランティア活動「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」回答者】

地域活動・ボランティア活動内容に参加していない理由（複数回答）

〔中学生本人：問9-2〕

地域活動・ボランティア活動に「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」と回答した中学生本人に参加していない理由を尋ねたところ、「参加するきっかけがないから」が50.0%と最も多く、次いで「忙しいから」が49.6%、「時間が合わないから」が39.0%、「地域の活動等があることを知らないから」が38.6%となっている。



《 地域活動・ボランティア活動内容に参加していない理由—学年別 》

中学生本人の学年別でみると、1年生は「参加するきっかけがないから」「友だちが参加しないから」、3年生は「忙しいから」、「地域の活動等に興味がないから」などが他の学年より多い傾向となっている。

	中学生 本人 計 (n)	学 年 (%)		
		1年生	2年生	3年生
	(236)	(71)	(84)	(78)
参加するきっかけがないから	50.0	53.5	48.8	48.7
忙しいから	49.6	53.5	38.1	57.7
時間が合わないから	39.0	40.8	35.7	41.0
地域の活動等があることを知らないから	38.6	36.6	39.3	41.0
地域の活動等に興味がないから	33.9	32.4	29.8	38.5
友だちが参加しないから	13.6	18.3	9.5	14.1
その他	4.7	1.4	4.8	7.7
無回答	0.8	0.0	2.4	0.0

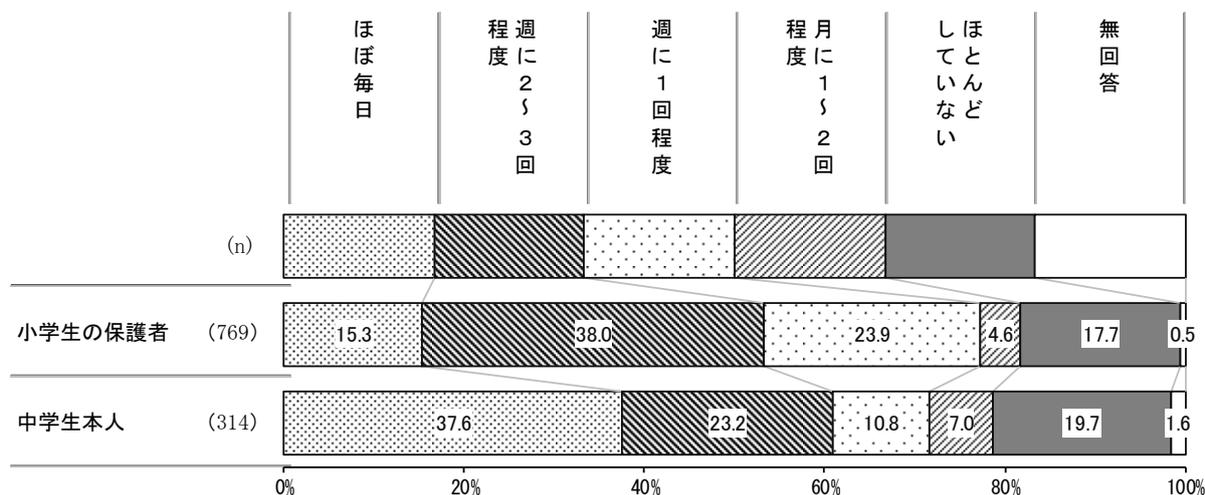
19. 運動について

(1) 運動する頻度

〔小学生：問 34〕〔中学生本人：問 12〕

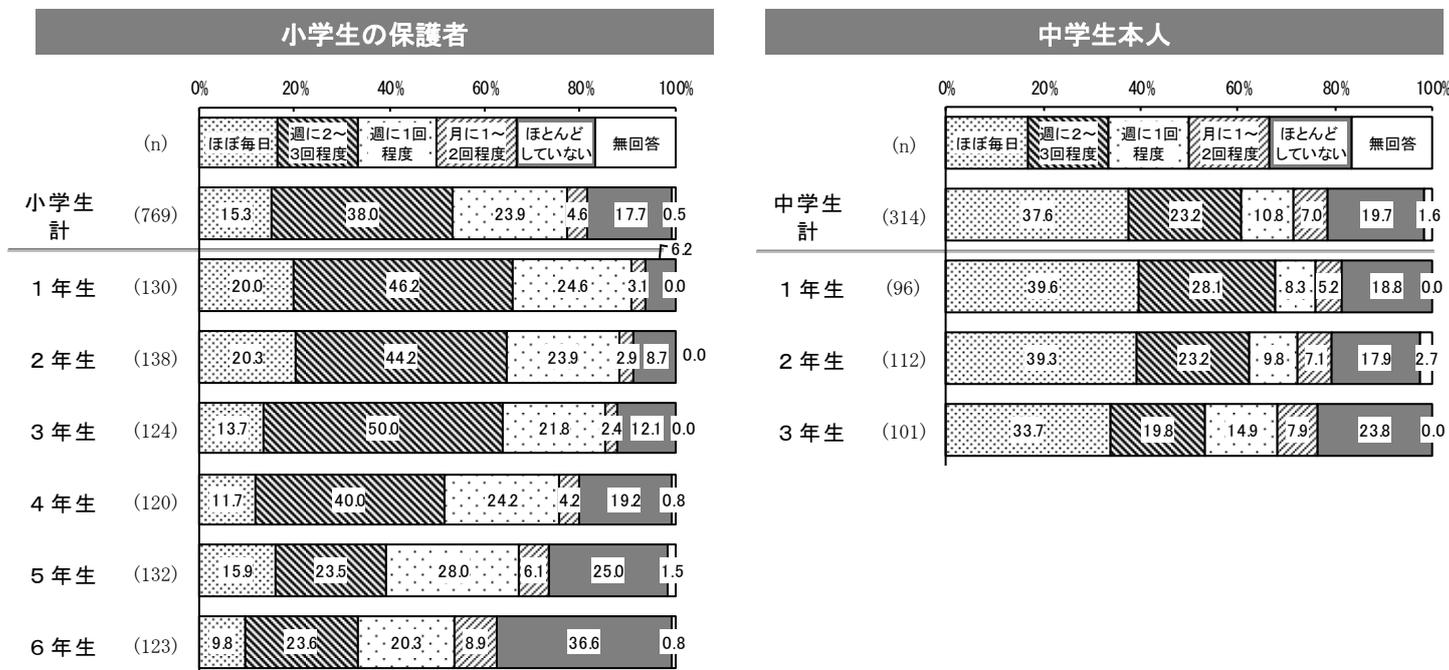
子どもが運動をする頻度について、小学生の保護者及び中学生本人に尋ねたところ、小学生は「ほぼ毎日」15.3%、「週に2～3回程度」38.0%、「週に1回程度」23.9%、「月に1～2回程度」4.6%と「運動をしている」計は81.8%となっている。

中学生は「ほぼ毎日」が37.6%と小学生に比べて多くなっているが、「運動をしている」計では78.6%と小学生よりやや少なくなっている。



《 運動をする頻度－（子どもの）学年別 》

（子どもの）学年別にみると、小学生は3年生までは頻度が維持されており、4年生以降は頻度が下がる傾向となっている。中学生は学年が上がるにつれて頻度が低くなっている。

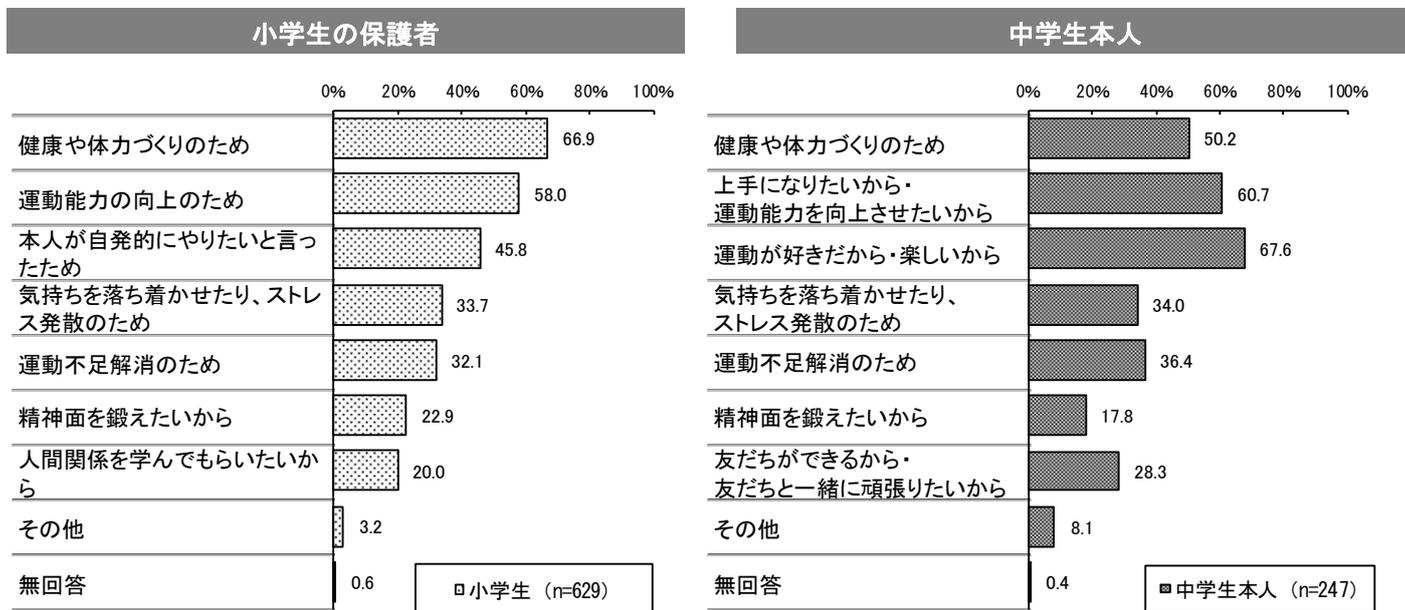


(2) 【運動をする頻度「ほぼ毎日」～「月に1～2回程度」回答者】運動する理由（複数回答）

〔小学生：問34-1〕〔中学生本人：問12-1〕

運動を「ほぼ毎日」～「月に1～2回程度」行っていると回答した小学生の保護者と中学生本人に、運動する理由について尋ねたところ、小学生の保護者では「健康や体力づくりのため」が66.9%で最も多く、次いで「運動能力の向上のため」58.0%となっている。

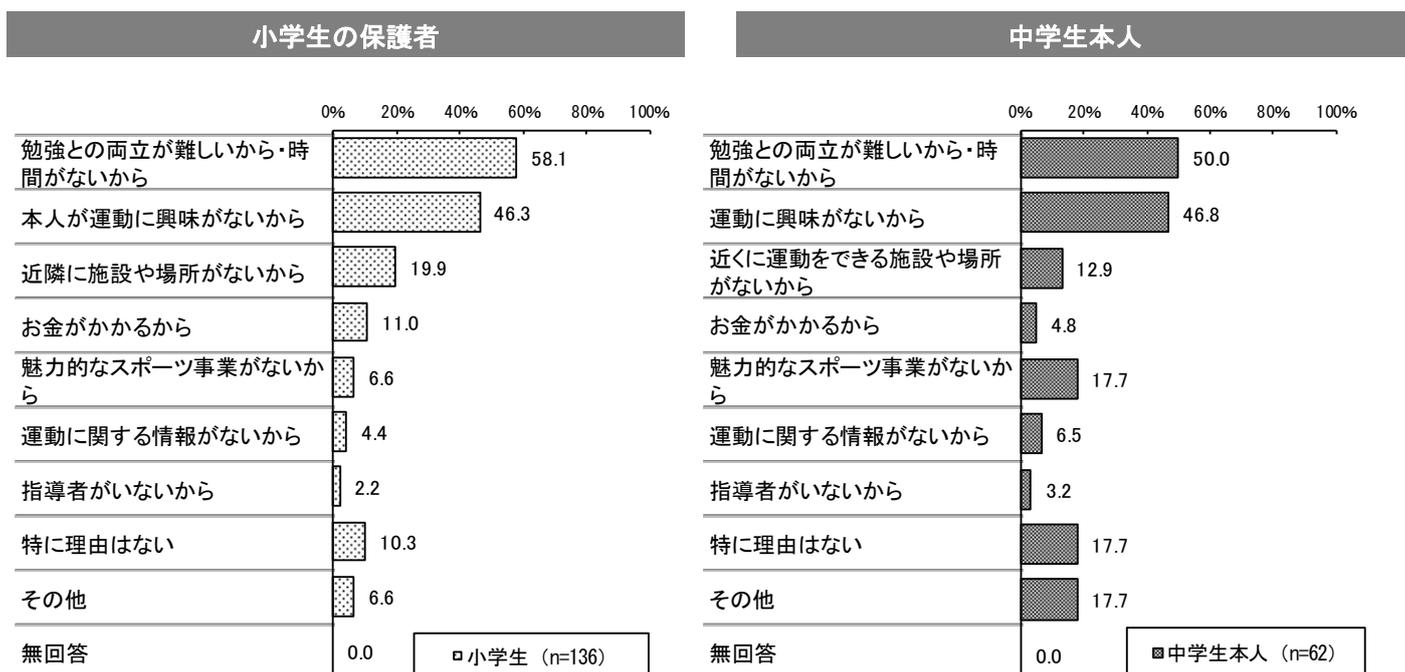
中学生本人では、「運動が好きだから・楽しいから」が67.6%で最も多く、次いで「上手になりたいから・運動能力を向上させたいから」60.7%となっている。



(3) 【運動「ほとんどしていない」回答者】運動をしていない理由（複数回答）

〔小学生：問34-2〕〔中学生本人：問12-2〕

運動を「ほとんどしていない」と回答した小学生の保護者と中学生本人に、運動しない理由を尋ねたところ、小学生の保護者では「勉強との両立が難しいから・時間がないから」が58.1%と最も多く、次いで「本人が運動に興味がないから」が46.3%となっている。中学生本人においても同様の項目が上位となっている。



20. 現在の就学・就労の状況、通学状況、進路に対する考え、困りごと

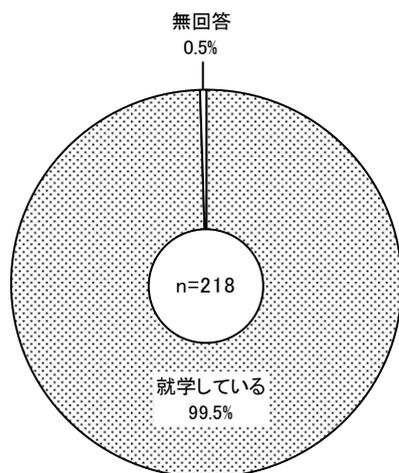
(1) 就学・就労の状況

〔高校生世代本人：問 14〕

高校生世代本人に現在の就学・就労の状況を尋ねたところ、「就学している」が 99.5%でほぼ全ての方が就学している。

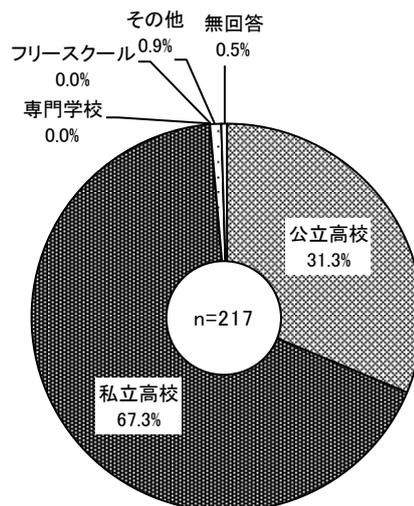
また、「就学している」と回答した方の就学している学校の区分は、「私立高校」が 67.3%で最も多く、次いで「公立高校」が 31.3%となっている。

現在の状況



就学している学校の区分

【[就学している]回答者】

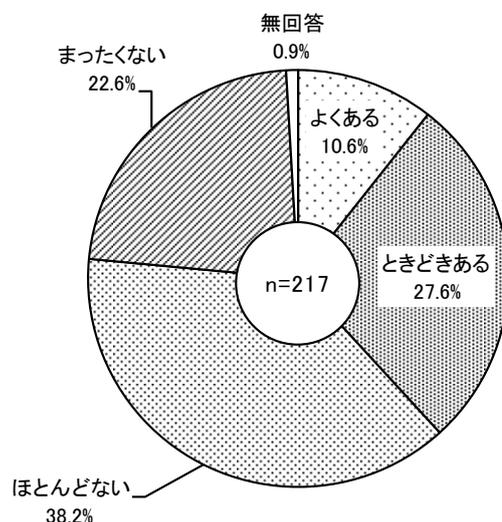


※「就労している」「働いていないが、求職活動をしている」「働いていないが、自分の趣味や用事などで外出している」「外出はほとんどせずに自宅で過ごしている」「自室からはほとんど出ずに過ごしている」はそれぞれ 0.0%。

(2) 【「就学している」人】学校に行きたくないと思ったことの有無

〔高校生世代本人：問 14-1〕

就学している高校生世代本人に、「学校に行きたくないと思ったことの有無」について尋ねたところ、「よくある」10.6%、「ときどきある」27.6%と、「思ったことがある」の計は 38.2%となっている。

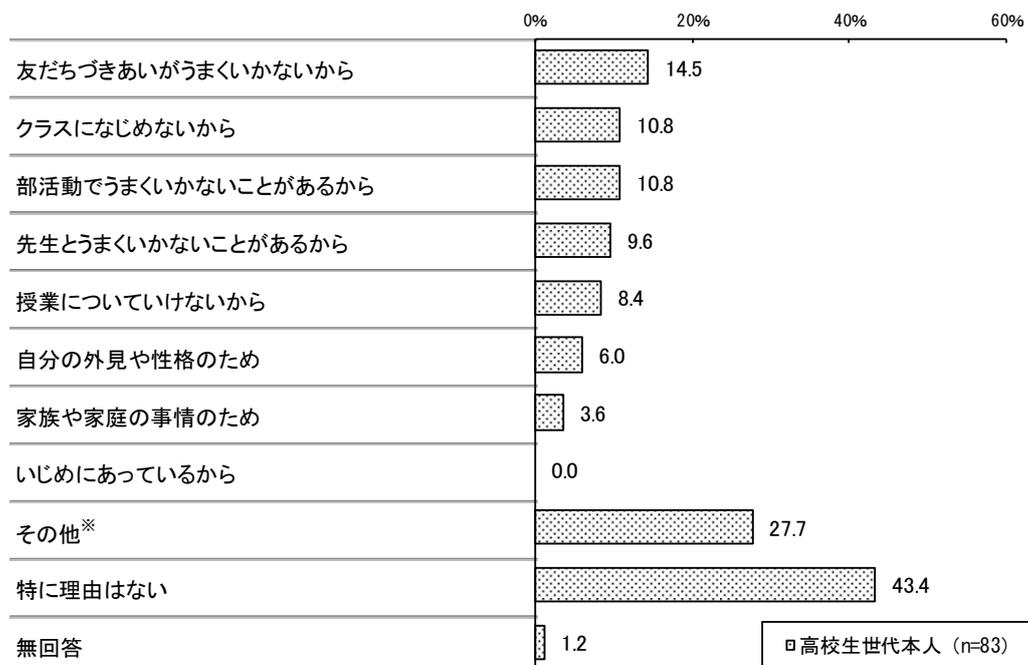


(3) 【学校に行きたくないと考えたことが「よくある」「ときどきある」人】学校に行きたくないと考えた理由
(複数回答)

〔高校生世代本人：問 14-2〕

学校に行きたくないと考えたことが「よくある」「ときどきある」と回答した方に、学校に行きたくないと考えた理由を尋ねたところ、「特に理由はない」が 43.4%と最も多くなっているが、その他の理由では「友だちづきあいがうまくいかないから」が 14.5%、「クラスになじめないから」「部活動でうまくいかないことがあるから」がともに 10.8%となっている。

また、「その他」が 27.7%となっており、選択肢にはあてはまらない様々な理由で学校に対する悩みや不安を抱えている様子が見えてくる。

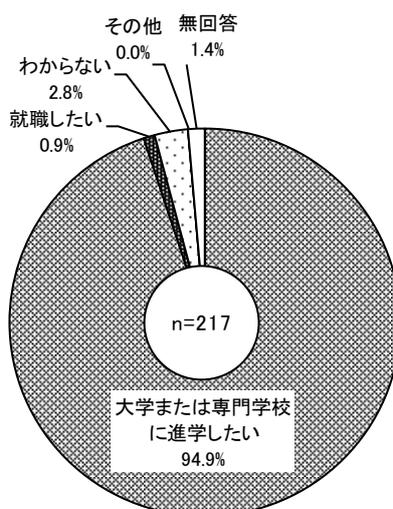


※その他：疲れる、面倒、寝ていたい、勉強をしたくない、授業がつまらないなど

(4) 【「就学している」人】卒業後の進路に対する考え方

〔高校生世代本人：問 14-3〕

就学している高校生世代本人に、卒業後の進路について尋ねたところ、「大学または専門学校に進学したい」が94.9%で最も多く、ほとんどの方が進学の意向であることがうかがえる。



(5) 【就労者等】今後の進路に対する考え方

〔高校生世代本人：問 14-4〕

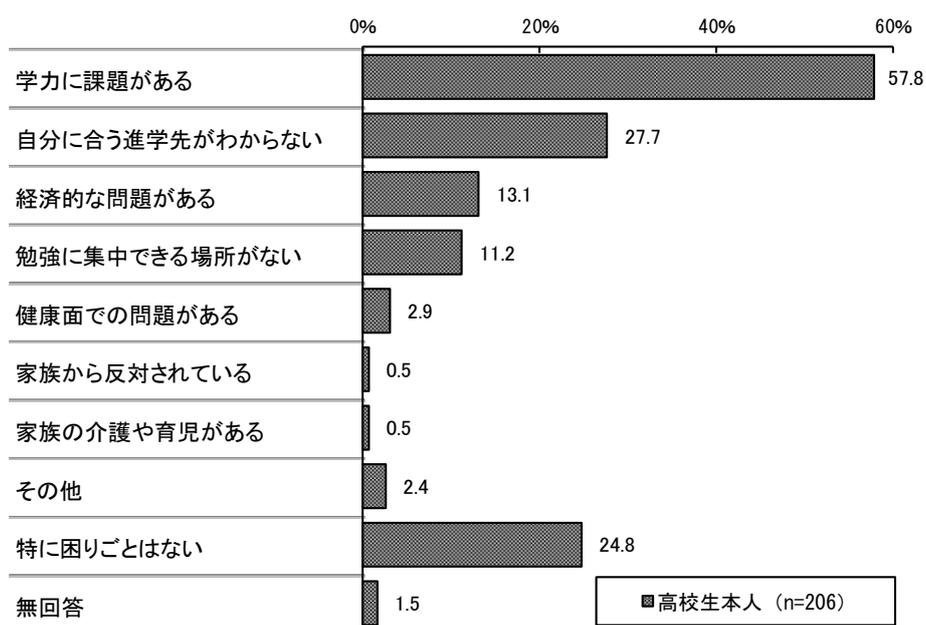
現在の就学・就労の状況で「就労している」と回答した者は0件であった。

※回答数がないため作図せず。

(6) 【卒業後の進路「大学または専門学校に進学したい」人】就学に当たっての困りごと（複数回答）

〔高校生世代本人：問 14-5〕

「就学を希望」「大学または専門学校に進学したい」と回答した方に、就学に当たっての困りごとを尋ねたところ、「学力に課題がある」が57.8%で最も多く、次いで「自分に合う進学先がわからない」が27.7%と、自分自身の学力やそれに見合う進学先に関する悩みを抱えている方が多い傾向となっている。



(7) 【就労希望者】就労に当たっての困りごと

〔高校生世代本人：問 14-6〕

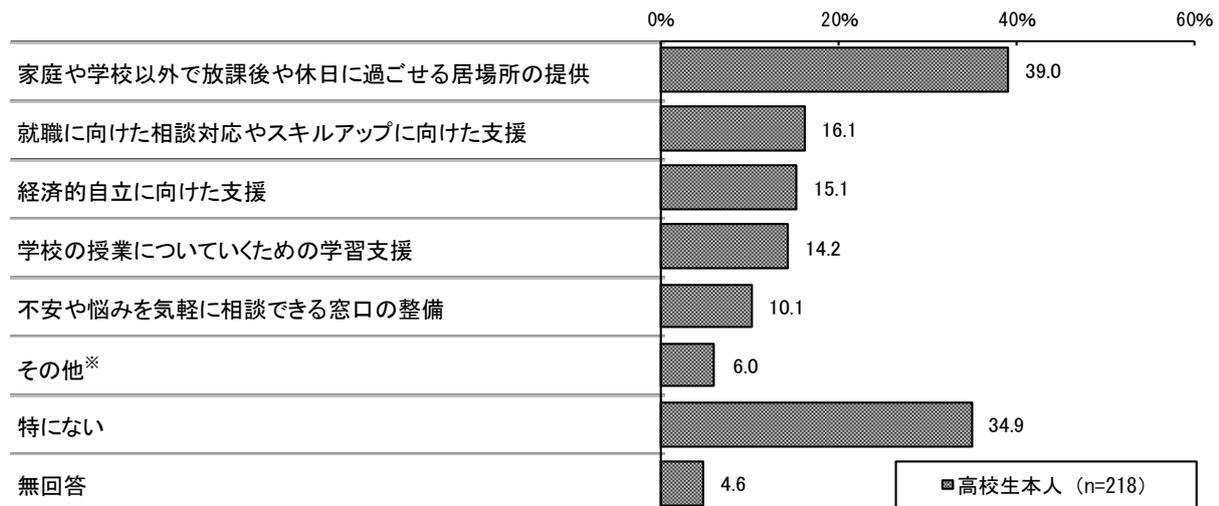
卒業後の進路で「就職したい」「就労を希望」との回答は2件であった。

※回答数が少ないため作図せず。

(8) 充実した生活を送れるようになるために必要な取組(支援)

〔高校生世代本人：問 16〕

高校生世代本人に、充実した生活を送れるようになるために必要な取り組みについて尋ねたところ、「家庭や学校以外で放課後や休日に過ごせる居場所の提供」が39.0%で最も多く、自宅や学校とは違う自分の居場所が求められている。

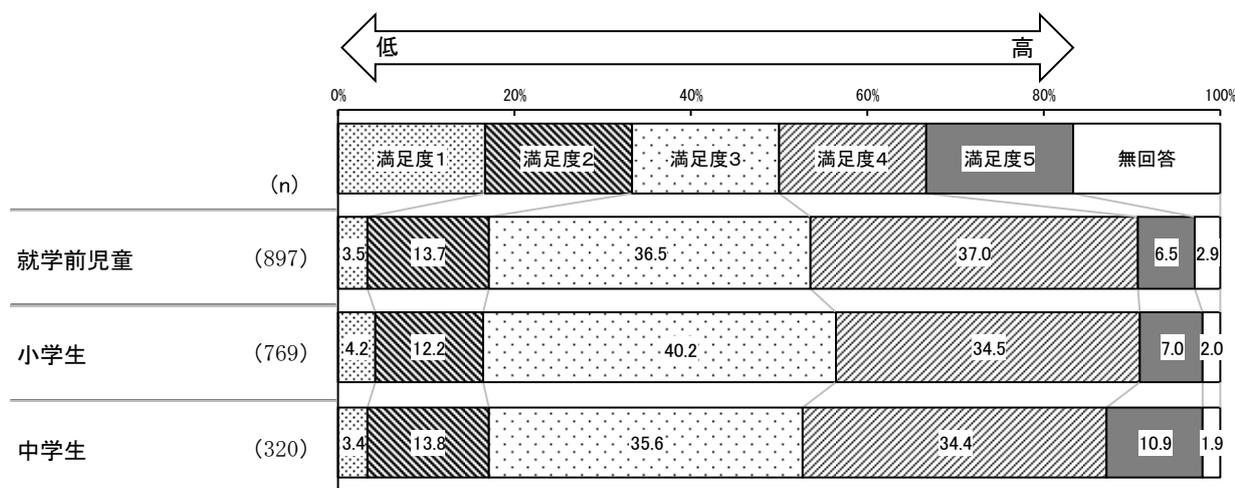


※その他：スポーツ施設、学習スペースの整備、医療費の無償化など

21. 子育て環境や支援への満足度について

〔就学前児童：問 45〕〔小学生：問 35〕〔中学生：問 18〕

区の子育ての環境や支援について、満足度を5段階評価で尋ねたところ、就学前児童の保護者、小学生の保護者、中学生の保護者ともに満足度が高い「満足度4」「満足度5」が満足度の低い「満足度1」「満足度2」の割合を上回っている。



《満足度1と2の合計》

就学前 17.2%

小学生 16.4%

中学生 17.2%

《満足度4と5の合計》

就学前 43.5%

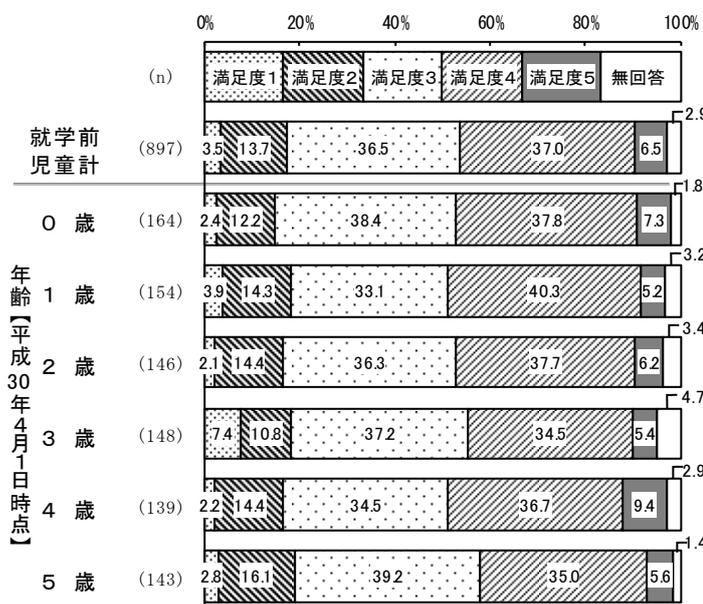
小学生 41.5%

中学生 45.3%

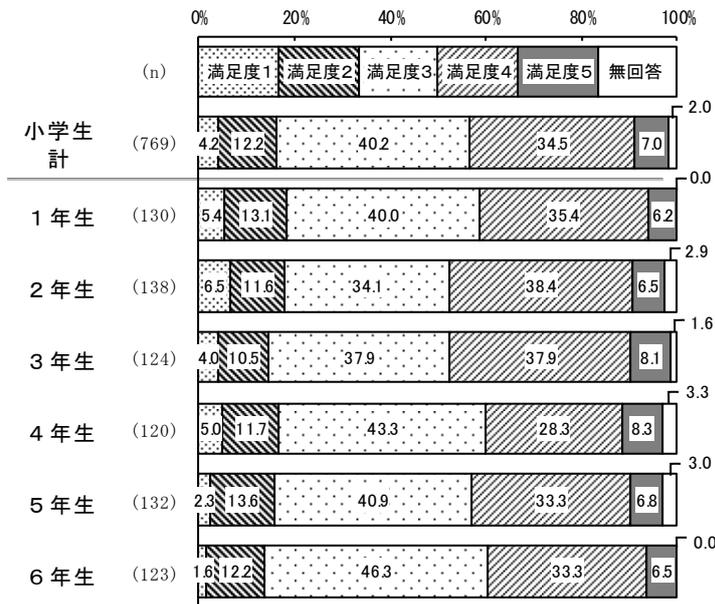
《子育て環境や支援への満足度一年齢／学年別》

子どもの年齢・学年別にみると、満足度が高い「満足度4」「満足度5」の合計が多い年齢・学年は、就学前児童の保護者では4歳が46.1%、小学生の保護者では3年生が46.0%、中学生の保護者では2年生が47.0%となっている。

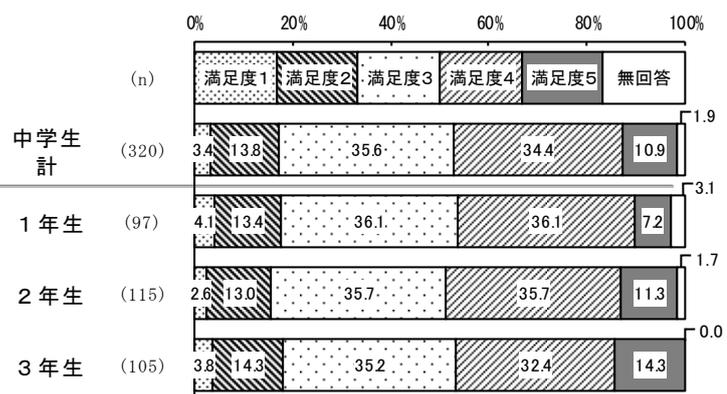
就学前児童の保護者



小学生の保護者



中学生の保護者



第3章 自由回答

区の子育て支援に関する意見・要望・提案

(1) 就学前児童の保護者

〔就学前児童：問46〕

就学前児童の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、500人から985件（延べ件数）の回答があった。その主な内容については、「保育園について」（282件）が最も多く、次いで「遊び場（公園・児童遊園など）について」（95件）、「一時預かり保育／病児・病後児保育などについて」（94件）、「幼稚園について」（76件）、「生活環境／安心・安全について」（55件）などの順となっている。

項 目	件数
保育園について	282
● 保育園の増設／定員数の増員／待機児童の解消（希望したら入れるように、誰もが理由や必要度を問わずに入れるように）	58
● 地域を選んで開設すべき（不足エリアへ／自宅、園、駅の距離）	20
● 建物・設備の改善（園庭の有無・広さ）	19
● サービスの充実・高い質の維持（投棄／受験対策／学習／園での販売物／給食／昼寝）	15
● 感謝・満足（保育園に入所できてよかった／日々お世話になっている／近年の増設に感謝／保育園の質が高い／保育士が親切）	15
● 選考基準／指数・加点基準／優先順位を再検討してほしい（不公平さ・矛盾の解消／家庭事情の配慮／派遣・自営業等への配慮／希望は第3希望迄では不足）	14
● 年度途中や希望時期に入園できるようにしてほしい（4月以外の入園枠を広げてほしい／生まれ月による格差の解消／職場復帰のタイミングへの対応など）	12
● 情報提供してほしい（保育園の情報が少ない／空きが出た時に教えてほしい／利用者の体験談があると参考になる）	12
● 3歳以降の預け先を増加してほしい	10
● 認証保育園の増設	10
● 利用者への利用条件の緩和（就労時間以外の利用／欠勤・有休時の利用／兄弟姉妹が休んだ時の利用／育休時の利用／育休期間が延びた時の利用／以前の入所辞退）	9
● 保育士の育成・質の向上（対応差をなくしてほしい／私立・区立での差の解消）・待遇改善・増員	9
● 幼稚園との質の格差	8
● 職員、園の対応	8
● 1歳児からの入園をやすくしてほしい（1歳児からは絶望的状況／0歳の間は家庭で育児したいが0歳で入園せざるを得ない）	7
● 土日・休日や年末等も利用できるようにしてほしい・土日の保育の質の確保	6
● 受け入れ体制を他区と同じように充実してほしい	6
● 保育料が高い／もう少し安くしてほしい	5
● 保護者・家族が病気の時の対応	5
● 転園を優先させてほしい（3歳以降が不安／以前はあったので復活させてほしい／希望が受け入れられない）	4
● 預かり時間を延長してほしい（勤務先の定時終了では迎えに間に合わない／勤務先が遠いと迎えに間に合わない／15分延ばせば延長にならずに済む人も多いのでは？）	3
● 療育と保育園の連携／障害児への対応	3
● 入園時の復職時期や就職時に融通をきかせてほしい	3
● 無償化必要ない／他の施策を優先	3
● 私立公立格差	3
● 兄弟姉妹で同じ保育園に入れるようにしてほしい	2
● 適正人数の受け入れ／受け入れ人数や広さに余裕を持ってほしい	2
● 平日の行事参加が負担	2

項 目	件数
● 育休中の預かり時間延長	2
● 入所できる確約・保障がほしい（両親がフルタイムの場合／育休終了後の場合など）	1
● 0歳児から預けられる保育園を増やしてほしい	1
● 入所するために点数稼ぎをしなくてはいけないのがおかしい・残念	1
● 入園・転園・転職時などの手続きを簡素化・デジタル化してほしい	1
● 区立の利用希望	1
● 2～3歳児枠の拡大	1
● アレルギー児対応	1
幼稚園について	76
● 3年保育・3歳児から入れる幼稚園を増やしてほしい	9
● サービスを充実してほしい（給食の導入／園バスの運行／公立でも薬を預かってほしい）	7
● 幼稚園の増設／定員数の増員／幼稚園に入園するのも大変	5
● 預かり時間が短い／預かり時間を長くしてほしい（他のサービスを併用せざるを得ない）／早い時間から預けたい	5
● 補助金の充実（所得制限／私立や区外／年齢制限／第三子無償化）	5
● 延長保育の時間が短い（幼稚園でももっと働きやすい環境を／延長があってもフルタイムでは働けない）	4
● 土日・休日・長期休暇中も利用できるようにしてほしい	4
● 感謝・満足（公立の幼稚園が充実している／ありがたい／園の職員の対応が良い）	4
● 入園の規定の見直し／求職中の入園対応／兄弟児の入園対応	4
● 地域格差がある	4
● 園庭の開放／園庭のある幼稚園での保育充実	3
● 障害児、発達が遅い子への対応	3
● 区立幼稚園の増設	2
● 平日の休業をなくしてほしい	2
● 職員の対応がよくない	2
● 建物・設備の改善・充実	2
● こども園にしてほしい／こども園と併願できるようにしてほしい	2
● 園のルール	2
● 休日の行事／振替の休み	2
● 幼稚園に関する情報を知りたい	2
● 質に力を入れてほしい（国立幼稚園／小学校の学習プログラム（研究成果）を、区立にも反映させてほしい）	1
● 住んでいる地区優先で受入れをしてほしい	1
● インターナショナルスクールに通わせる親にも補助金を出してほしい	1
ファミリー・サポート・センターについて	6
● 手続きが大変で面倒／申込み方法や利用方法に柔軟性がほしい（他区はもっと自由）	3
● 提供会員を増員してほしい（利用したいときに利用できない）	2
● 利用料をもう少し安くしてほしい（困っている人が高い頻度で利用できるように）	1
その他の定期的教育・保育事業全般について	22
● 保育施設を充実してほしい（増設／増員／施設設備の整備／地域格差）	10

項 目	件数
● 認定こども園（幼・保一体型／幼稚園からの転換）を整備してほしい	4
● 3～5歳の枠を増やしてほしい	2
● 母親が就労できるよう保育施設を充実してほしい（育休中に使用できても復帰後の利用ができない）	1
● 土日・祝日・長期休暇中も利用できる施設を充実させてほしい	1
● 気軽に預けられる施設を充実してほしい	1
● 保育料が高い（もっと気軽に利用できるように／認可外が高い）	1
● 保育ママの保育士の質を向上してほしい・保育ママの増員	1
● 3歳以降の幼稚園との教育の格差	1
一時預かり保育／病児・病後児保育などについて	94
● 病児・病後児、緊急一時保育の施設数を増やしてほしい／定員数を増やしてほしい／必ず利用できる枠を確保してほしい／利用時間を延長してほしい／病児保育でも給食を行ってほしい	29
● ベビーシッターの利用制限の緩和（もっと自由に利用できるように／夜勤者の日中は在宅扱いとみなされてしまうが在宅中でも手助けが必要）／サービスの充実	13
● （キッズルームを中心に）一時預かりの空きがない／希望日に予約が取りにくい／利用枠や施設数を増やしてほしい／事業を継続してほしい	9
● 感謝・満足（キッズルームがあって助かる・設備が整っている／キッズルームの先生方が温かい／病児・病後児預かりがあるので心強い／トワイライトステイを利用して良かった）	9
● 申込み手続きが現実的ではない（直前や当日も利用できるようにしてほしい／本当に必要な突発時に利用しづらい／事前面接や1週間前・1ヵ月前までの事前申し込みは大変／平日に子どもと一緒に申し込みは難しい／予約受付時間が短い）	8
● 保育園の一時預かりの空きがない／利用枠を増やしてほしい／土日祝日も利用したい／利用条件を緩和してほしい	6
● 職員の対応が悪い（対応が冷たかった／保育園のリフレッシュ利用で凄く迷惑そうな態度を取られた／緊急一時で非常に不快なことを言われた）	4
● 気軽に預けられる一時預かり施設や制度の充実	3
● ベビーシッターは当日でも電話で来てもらえると助かる	2
● 曜日・時間の制限が多くて利用しにくい（キッズルームの利用時間を延長してほしい／土日・祝日に利用できない／0歳の土日利用ができない／キッズルームは9時からでは遅い／15分前に到着しても手続きを始めてくれず時間のロス／万一の時に24時間だと心強い）	1
● 利用料が高い（月や年に数回でも無料にしてほしい／他区より高い／キャンセル料が高い）	1
● 地域に偏りがある／アクセス・利便性がよくない（近くにない／春日駅はエレベーターがなく通勤ラッシュと重なり利用しにくい／雨の日が大変／病児を遠くまで連れて行けない／病児施設は保育園に隣接してほしい）	1
● 情報提供をしてほしい（利用できるサービスのお知らせ／空きがなかった時の対応／利用者の感想／実質の利用時間の公表）	1
● 保育園の一時預かりは優先順位があって利用できない（緊急一時保育が優先／月極利用で枠が埋まっている）	1
● サービスの質を向上してほしい（キッズルームで給食を行ってほしい／キッズルームでは鼻水も拭いてくれない／オプションで送迎サービスをしてほしい）	1
● 職員の対応が良かった	1
● 認可外保育園の長期休暇の対応をしてほしい（仕事に支障がでる）	1
● 緊急一時預かりを優先してほしい	1
● ショートステイ対応施設を増やしてほしい	1
● 産後ショートステイの助成金をもっと増やしてほしい	1
子育て支援拠点事業など（子育てひろば、ぴよぴよひろば）について	18
● 子育てひろばの増設／子育てひろばが近くにない／子育てひろば西片の1年間の閉館は困る	4
● 子育てひろばの終了時間を遅くしてほしい／開始時間を早くしてほしい	2
● 子育てひろばの利用条件の緩和	2
● 子育てひろばの充実	2

項 目	件数
● ぴよぴよひろばの充実（手遊びや歌・絵本等）	2
● 子育てひろばを土日休日にも利用させてほしい	1
● 子育てひろばへの感謝・満足（職員の方が親切）	1
● 子育てひろばへの不満（職員の方が不親切）	1
● ぴよぴよひろばを土日にも利用させてほしい	1
● ぴよぴよひろばへの感謝・満足（サービスが充実していて特に妊娠中から1歳まで心強かった）	1
● ぴよぴよひろばの設備の充実（離乳食用に電子レンジを置いてほしい）	1
育成室（学童保育）・放課後事業について	24
● 育成室の増設／定員数の拡大（希望者全員が利用できるように／必要な地域への増設）	14
● 育成室の預かり時間の延長／18時迄では現実的でない（18時迄ではフルタイムでは帰宅できない／仕事を続けられない／下の子の保育園の迎えにも行けない／18時以降に子どもだけでは不安）	3
● 高学年になっても利用したい／高学年が放課後を過ごせる場所がほしい	3
● 利用条件の緩和（利用曜日／親が働いていなくても夏休みなど長期休暇に利用したい）	2
● サービスの質の向上（宿題のサポートなど）	1
● 育成室の情報開示してほしい（情報があまりないので保育園と同じくらい開示してほしい／民間の学童の情報もあればHPに載せてほしい）	1
放課後全児童向け事業（アクティ）	3
● 充実させてほしい	2
● 共働きには終了時間が早い	1
児童館について	50
● 土日にも利用したい（イベントやプログラムを土日に行ってほしい）	7
● 乳幼児の利用時間の改善（9時から利用したい／1日中利用可にしてほしい）	5
● 夏休みの午後や放課後は乳幼児と小学生が同じスペースにいるため危ない／曜日により使用できない日があったりすぐ追い出される	5
● 活動・イベント・遊び場などの充実（プログラム等のバリエーションが少ない）	4
● 他区の児童館が良い（ママ向けが充実している／預かり保育を行っている）	3
● イベント等の全てのスケジュールをHP等で一覧で見たい	3
● 感謝・満足（いつも利用している／手遊びや読み聞かせ）	2
● 施設が狭い	2
● 職員の対応が良くない	2
● 一時預かりを行ってほしい	2
● 現状より減らさないでほしい／増やしてほしい	2
● 「グループ」ができていて交ざりにくい／遊ばせづらい	2
● 施設が古い・暗い・老朽化している	1
● 夏休み・冬休みなど長期休暇中に利用できないのが残念	1
● 児童館がエリアにより少ない（後楽）	1
● 放課後は小学生のスペースになってしまう	1
● 他区のように利用カードを作ってほしい	1
● ベビーカーで入りにくいのでエレベーターを設置してほしい	1
● 多胎児にも配慮してほしい（複数子に対して親は一人なので）	1
● 授乳室がほしい	1

項 目	件数
● プログラム時間開始を早めてほしい	1
● きれいに衛生的にしてほしい	1
● おもちゃが壊れている	1
その他の区の施設（図書館・交流館・スポーツセンターなど）について	14
● 区の水泳教室がいつも満員なので増やしてほしい	4
● 図書館を充実してほしい（本を増やしてほしい）／図書館のない地域（後楽）に作ってほしい	2
● 体操教室の定員を増やしてほしい（3倍のキャンセル待ちなのでニーズと合っていない）	2
● スポーツセンターなどの施設を園庭のない保育園へ遊び場を提供するものの一つとしてほしい	2
● 感謝・満足（図書館のサービス内容（読み聞かせ、人形劇など）が充実していて喜んでいる）	1
● 転入してきた子にも1才児の時にもらえる図書館用の手さげ袋がほしい	1
● 体育館のプールが区民でありながらなかなか利用が出来ない	1
● 交流館にピアノや楽器を設置してほしい	1
遊び場（公園・児童遊園など）について	95
● 公園が狭い／広くてのびのび遊べる公園がほしい（体を動かせる）／大きな公園がほしい	14
● 公園の設備・整備・美化（遊具が古い・汚い・暗い／子どもを遊ばせるのに不安／明るくきれいに／おむつ台がほしい／トイレ清掃／砂場の美化／動物が入らないような柵の設置／整備など）	8
● 公園に遊具が少ない／遊具を増やしてほしい／遊具のある公園を増やしてほしい／小日向エリアの公園の遊具を増やしてほしい	8
● 公園でボール遊び禁止が多い／ボール遊びをできるようにしてほしい	8
● 子どもが遊べる場所を増やしてほしい／土日・祝日も遊べる屋内施設がほしい／雨の日でも遊べる室内施設がほしい／無料や低料金で遊べる場所（土日含めて）がほしい／自由に遊べる場所がほしい	8
● 公園の遊具が魅力的でない（ブランコやすべり台がほしい／充実してほしい／小さい子向けばかりで体力向上にならない／大きい遊具（ダイナミックに動けるものなど）があったらいい）	7
● 近くに公園が少ない（大塚）／公園を増やしてほしい（緑の多い安全な／芝生のある）	6
● 満足・感謝（公園に満足している／公園のプログラムに満足している／重宝している／定期的な巡回／よく利用している／新しい公園ができた／遊具もきちんと管理され安心／公園や親子で立ち寄れる場所が多くあり助かっている／公園を掃除していただいで気持ちよく使用している／利用者のマナーがよい／トラブルなく楽しく利用している）	6
● 公園の不審者対策／大人がたむろしている／コスプレして写真をとっている人等迷惑行為をしている人がいる	3
● 交通ルールを学べる公園がほしい（交通公園など）	3
● 公園に喫煙所を設置しないでほしい／公園の煙草の煙が気になる	2
● 公園に制約が多く思いっきり遊ばせられない	2
● 公園の周辺の安全確保	2
● 公園に虫が多い／夏の蚊対策	2
● 児童遊園の整備をしてほしい（植栽含めて）	2
● 公園にアスレチックなどができる設備がほしい	1
● 公園の整備・改修（芝生／柵／親子で休めるベンチ／噴水や池／入口の階段をなくすなど）	1
● 園児専用になりがち	1
● 児童遊園は、大きな木の木陰で涼しいところが多く、夏場も遊びやすかった	1
● 大塚公園にできた大人の健康器具は作る必要があったのか	1
● ラクアアの「アソボーノ」のような小学生未満向けの施設がもっとあれば良い	1
● 坂の多いエリアなので、もっと公園や施設を分散させてほしい	1
● 遊べるプールを作ってほしい	1
● 園庭のない私立保育園の急増で公園の取り合いが起きている	1

項 目	件数
● 切通公園を使いやすく改修してほしい	1
● 児童遊園の喫煙所は撤去してほしい	1
● 気軽に利用できる安全な遊び場の情報がほしい	1
● 他区の公園が充実している	1
● 柳町幼稚園工事中の遊び場の確保問題	1
学校について	10
● 校庭を開放してほしい（乳幼児向け）	1
● 小中学校のプールや体育館などで子供向けプログラムを実施してほしい	1
● 学区内の文林中に進学させたいが、あまりに人数が少なく不安	1
● 小学校の1クラスの人数を、3年生以上も、35名までにしてもらいたい	1
● 生徒数の減りが著しい中学校施設を保育・育児拠点として転用	1
● 就学後の障害児のサポート	1
● 区立中学校間の設備の格差を少なくする	1
● 子育ての本当の姿を学校教育のころから知ること	1
● 一部の人気小学校に生徒が集中する等し、1学年1クラスの学校がある等、使い辛い	1
● 特別支援学級をすべての区立小学校におく	1
相談事業／保健サービスセンターなどの講座・イベントなどについて	51
● 講座・イベント等の内容の充実（子育て相談できるママ友の集まり／働くお母さんの定期的なイベント／働く人向けの幼児食教室／ひとり親の交流の場／現役子育て世代の自発的・企画持込型の参加型サークル／親がリフレッシュできる場／親子で楽しめるイベント・サークル／子どもを預けてできるサークル／保健センターで地域別・年齢（月齢）別などでの集い／「母性」を育てるための講座／親子の交流の場／子連れ親のマナー／産後の父親学級／地域との交流の場／小さい子に特化／パパ主体／野外）	11
● 相談窓口の充実（ひとり親が相談できる場／いじめの相談／幼稚園・小学校等の進路相談／突発的な事への対応など）	11
● 職員の対応に不満（物足りない／保健師の専門性を高めてほしい／不親切／保健サービスセンターの対応が画一的・事務的で不満／栄養士が高圧的で全く利用しようと思わなかった／保健師が突然ノーアポで来るのは非常識）	6
● その他のサービスへの感謝・満足（産後の母子支援がとてもありがたい／相談窓口の充実や保健サービスなどとても助かった／妊娠中～1歳まで母親学級が充実していて心強かった）	6
● 母親学級・イベント等の定員数を増やす／回数を増やす／母親学級は産前と産後で開きがあるので十分な定員を確保してほしい／2種類の講座とも人数制限で行けなかった	2
● 産後の精神的ケア	2
● イベントのスケジュールを把握できる一覧やHPなどがあると良い	2
● 土・日に開催している講習・イベント・サークル（親子で参加）／土・日の相談の充実	1
● 施設のアクセス・利便性がよくない（保健センターが遠くてあまり活用できない／フレッシュママの集まりは楽しかったが場所がわかりにくく遠かった／本郷保健センターは駅にエレベーターがなく、坂もあり、不便な為に、選択できれば）	1
● 情報提供してほしい（保健所等で日々の子どもの様子をSNS等を活用して知らせてくれると、安心して仕事ができる）	1
● ファミリー向けのイベント等を運営する団体への支援	1
● ハガキ等でサービスやイベントなどの案内がほしい	1
● 保健サービスセンターのイベントや検診は平日、日中のものが多くフルタイム共働き世帯は対象外なのか	1
● きれいな施設、子どもがのびのび遊べる場所がほしい／イベント事があれば、遊びに行ける	1
● 他区のイベントが充実している	1
● 母親学級や両親学級は土曜開催が少ない働くお母さんが増えているので改善すべき	1
● 相談先、支援施設等を細分化せず、まずマルチに対応できる窓口を明確にほしい	1

項 目	件数
● 相談、情報提供を保育園で行うワンストップサービスとしてほしい	1
医療について	12
● 予防接種の支援	2
● 障害児の支援対応	2
● 小児科の待ち時間・混雑の解消（小児科が少ないので混雑／医師が少ないので混雑／医療費が無料は助かる反面ちょっとしたことで来るので混雑）	1
● 健診を土日にも実施してほしい（共働きのため平日には行けない／会社を休んで行かなければならない） 予備日を設けてほしい	1
● 予防接種の内容など、誰に聞いてもすぐに回答が得られるようにしてほしい	1
● 感謝・満足（妊娠中～1歳時に健診が充実していて心強かった）	1
● 予防接種の間診票を最初に全部渡されると気がついたら時期をすぎていることがあるので都度送付してほしい	1
● 職員の医療や制度の教育（一定レベルの知識を維持）	1
● 安心できる病院を増やす	1
● 医療費の後日請求の改善	1
生活環境／安心・安全について	55
● 歩道が狭い／歩道を広くしてほしい（子どもを乗せて通れない／車道は車が飛ばしているので危ない）	12
● エレベーター・エスカレーター、スロープ等の設置（後楽園駅からシビックセンター、春日駅／江戸川橋駅／飯田橋駅、飯田橋の歩道橋／千駄木駅工事中など）	11
● 子育てに良い環境の維持	8
● 区内の全面禁煙化／歩きタバコ禁止の徹底（ルール化の徹底／マナー違反者には厳罰してほしい）	6
● 自転車・自動車のルール・マナーの啓発や違反者の取り締まりの強化（スピードの出しすぎ／夜間無灯／歩道の走行／スクールゾーンの路上駐車／違法駐車）	5
● 道路の舗装が汚い（デコボコでベビーカーがスムーズに押せない／ガタガタで歩きにくい）	2
● 文京区は治安がよい／治安を維持してほしい	2
● 子ども、子育てに不寛容	2
● 赤ちゃん・子ども連れでも外出しやすいまちづくり（トイレ・おむつ替え・授乳等がしやすい環境やMAP／ベビーカー移動に便利なエレベーターMAPなど）	1
● まちの美化（トイレをきれいに／神田川の臭いを何とかしてほしい／ホームレス対策など）	1
● 子どもへの犯罪等の安全対策（犯罪に巻き込まれないよう下校時～夕方に見守りをしてほしい／児童の通り道の資材置場化の行政指導をしてほしい）	1
● 災害時の避難所の周知強化	1
● 区の子育ての環境については、あまり子供を外で遊ばせる環境は整っていない、子育てしづらい	1
● 住民の親切	1
● 転入後の生活不安	1
地域・社会環境について	14
● 地域・周囲の協力が必要（理解や温かみのあるサポート・見守りがあるとありがたい／子育ての大変さと喜びを共感し合えるよう啓発／皆が子どもを愛せるような地域になるとよい）	9
● 子ども達が地域と関わりのあるようなイベントを設けてほしい	2
● 大人・シニア世代と子どもとが共存できる場所・環境や活動を／子どもと人にやさしい区であってほしい	1
● インフラも整ってないのにマンション建てるのをやめてほしい	1
● ベビーカーが入れるくらいの広さの通路があるスーパーが近くにほしい	1
経済的支援について	40
● 収入に依存しない経済的支援／助成金・補助金の所得差や制限をなくしてほしい（子育てにお金がかかるのは皆同じ／働く意欲がそがれる）	11

項 目	件数
● 認証・認可外・私立の保育園・幼稚園利用の補助金の増額（区立の空きがなく利用せざるを得ないので平等に補助金を）／無認可の負担があまりにも大きい／私立の入園料を補助してほしい	6
● 子ども手当・助成金を増額してほしい／条件の緩和	5
● 2人目以降には経済的支援（金銭給付）を厚くしてほしい／3人目出産時に支援が何もない／兄弟姉妹がいる場合の保育料を軽減してほしい	4
● ベビーシッター補助券ありがたい／増やしてほしい／利用条件の緩和	3
● 医療費免除は大変助かっている／予防接種補助ありがたい／予防接種補助拡大してほしい／他の区より充実していて素晴らしい	2
● 子育て訪問支援券の利用条件の緩和／ありがたい	2
● 一時保育やベビーシッターの利用料の補助（または減額）／長期利用での割引	1
● 家賃補助・住宅の優先（「子育てファミリー世帯住替え家賃補助」がなくなり残念・復活してほしい／祖父母に近くに住んでもらう援助／都営住宅への優先入居）	1
● 経済的支援の情報がほしい	1
● 区内の保育園やインターナショナルスクールでは金額が高い	1
● 出産費用や妊婦健診の費用の自己負担が大きすぎる	1
● 子育て支援金の額を増額してほしい	1
● 教育費の無償化	1
子育て支援全般について	29
● 全般の感謝・満足（子育ての環境がよい／子育てしやすい・適した環境／子育て支援が充実している／様々な面で利用しやすい／いつもお世話になっており大変感謝／文京区は素晴らしいので関係者の方々に感謝／各施設のスタッフが親切）	1
● 今後への期待・激励（頑張ってください／安心して子育てできる環境整備に引き続き尽力してほしい／すべての子どもの健やかな成長、明るい未来のために尽力してほしい／保育施設の職場環境・就労状況の整備は利用者への間接的支援となる）	1
● ワンオペ育児をしている親が急に体調を崩した際のフォロー体制があるとありがたい（当日利用可のベビーシッター事業助成等）／安全で信頼できる保育園の増設／待機児童を減らす為の小規模保育等では3歳の壁がある／学童保育時間の延長	1
● 区立幼稚園の3年保育の拡充を→年少枠が少なく止むなく私立から区立へ転園させざるを得なかった／子供に精神的な苦痛（情緒不安定になるなど）を与えてしまった／保育事業の充実を→本当は働きたいが、預かってもらえる施設がないため家庭に留まっている／数値に現れない潜在的なニーズがあることを理解してほしい	1
● 0才-2才まで本当に助けられた／子育て支援メールと、ベビーシッターの補助がよかった／3才以降も少しでもベビーシッター補助がいただけると精神的に助かる	1
● 0歳児を預けられる施設を増やしてほしい	1
● JR御茶ノ水駅のエレベーター、エスカレーター設置を急いでほしい／子連れで参加できる母親のためのレッスン（スイミング、ダンス、クッキング、フラワーアレンジメントなど）を作してほしい	1
● いつもお心づかいに感謝する	1
● フルタイム勤務でなくとも保育できる環境であれば（学童期含め）子育てと仕事を両立しやすくなるのではないかと	1
● 一時保育など充実しているが、予約や預ける準備が大変で利用しにくい／予約もなかなかとれない（病気になった当日、区の事業も）／子供や自身が病気の時など急な場合の助けがなく毎回困っている／働いていなくても兄弟がいる場合はもう少し預けやすくして頂きたい／子供がいる世帯は経済負担が大きいので、もう少し軽くなるとありがたい／家庭内において手が足りないので、一時保育よりもベビーシッターや家事の手伝いが助かる	1
● 各事業の利便性（利用条件等の利用のしやすさ）を高めてほしい	1
● 共稼ぎ世帯が増えているので、それに見合った施設・サービスの充実を図ってほしい	1
● 今後、小学校へ入学した場合、どのような生活リズムになるのか分からないが、是非、制度を整えて地域全体で子育てを考えて頂けるよう要望する	1
● 国に従わなければならないのかもしれないが、文京区（独自）の良さを活かした制度などを考えてもらえるとよい／国に従うとこのままでは日本が減じる／子どもや女性、老人などが住みやすい安心して過ごせるまちづくりをお願いしたい	1
● 父、母とも就業時間の短縮、休みの取得をしやすい職場環境にしてほしい／病児、夜間保育に予算をつけるより、病気の子を父又は母が看るために休める環境づくりにお金をかけてもらいたい	1

項 目	件数
● 子どもに優しい区であることを願う	1
● 子育て支援券が当日予約できなくなったのが困る／せめて前日に予約できるように戻してほしい	1
● 子育て支援券は現状、3日前からベビーシッターへ予約をしていないと利用ができず、民営のベビーシッターを利用せざるをえない／共働きの場合、どうしても急きよ外せない仕事が夫婦共に入ってしまう、当日にベビーシッターを予約しなければならないシーンがある／当日予約を可にして頂けると大変助かる	1
● 子供達が参加できるプログラムの充実を願う	1
● 質のよい保育事業が増えてほしい	1
● 就学前後の幼児は、じっとしていられない時期なので、持て余す体力のやり場、大声、物を壊すといった点に預けることをためらいがち／事故への不安も大きい	1
● 小さな子連れでも気軽に入れる飲食店（店内にキッズスペース有）0～1才のママの為の休けい場（寝てる間に子供をみてくれる）／土、日、祝に預けられる施設の増設	1
● 待機児童を0にしてほしい	1
● 定期的なきずなメールとても参考になる	1
● 働きたい女性はたくさんいる／預けたい時に子を預けられる制度の充実をお願いしたい／バリアフリーを進めてほしい（特に駅）	1
● 日本は女性の育児に対する負担が大きい／人を雇うにも高いし、施設利用しようとしても空きがなかった／ベビーシッター制度（援助金）の充実、施設もより利用しやすくする（施設の増加、人員増）と良い	1
● 文京区は子育てしやすい区として有名だが、実際は、働く人にとっては公務員のように9～17時で働けるような人向けの子育て事業中心／働き方は様々で、その社会にあった保育事業の拡充を求める／乳児向けのサービスは充実しているが、子供が成長するとともに、利用出来るサービスが少ないことも問題／千代田区や港区のように、都心部向けの保育事業を拡大してほしい	1
● 文京区は子育て支援の歴史もそれなりにある為、ノウハウが確立されている側面がある一方、これまでのやり方や慣習にとらわれている印象を受ける／都内他区と比べ、改革速度が遅いと感じることもある	1
● 様々な施策に感謝する	1
療育について	15
● 障害のある子の相談先、支援施設等を細分化せず、まずマルチに対応できる窓口を明確にしてほしい	2
● 障害のある子供たちも普通の生活が送れるよう、支援して下さる施設を増やしてほしい	1
● 発達障害の診断の情報をホームページに掲載してほしい	1
● 一時預かり制度や教育センターにおける療育の充実	1
● 発達障害児への温かい対応を望む	1
● 就業していても療育を受けられるように保育園からの通所にしたい	1
● 区の担当者の対応への不満	1
● 障害のある子どもの子育て支援施策の充実	1
● 投薬が必要な子へ対応	1
● 肢体不自由児が通える施設が少なく今後が心配	1
● ユニバーサルシートがあるトイレの情報がほしい／増設	1
● 発達障害児の教育環境／支援学級の増設	1
● 障害児支援の大学・病院との連携の充実	1
● 療育機関の初回の待ち時間の短縮化	1
育児休業について	19
● 2人目育児取得により、1人目の育成も制限があり復帰の目途をつけるのが困難で、復職の為の施策か理解に苦しむ	2
● とにかく保育園に入りづらく、育休中のほとんどが、そのことについてやされた／育休中の保活が大変だった	2
● 縦割りでない部署横断的、総括的な取り組み	1
● 入園のため早めに育休をきりあげたりするのが必須となっている	1

項 目	件数
● 育休を取らざるを得ない状況なので経済的支援を望む	1
● 育休を3才まで取得できるようになると、働き方改革にも繋がる	1
● 育休後入園できない場合は退職するか文京区を離れないといけない	1
● 育休中の保育園預入れ時間が他の子より短く、子供も輪に入りづらい	1
● 保育所は育休中の入園を歓迎してはいないようで必要性和実際にギャップがある	1
● 入園のため、6カ月で育休を切り上げ復帰したが、0歳で入園させなくても、1～2歳で復帰できればゆっくり育休をとり、その後しっかり働くことで社会貢献できる	1
● 育休を長くとっても復職しキャリアをつめるという選択肢をふやすためにも、保育園の数をふやしてほしい	1
● 育休を3年にしてほしい	1
● 育休に入ったら、子は、短時間保育にするのはやめてほしい	1
● 子育て支援につきましては育児休業中、大変お世話になった	1
● 知人が、第3子出産の際、第2子を、長子と同じ保育園に転園させたところ、育休取得制限をうけていた	1
● 区外だが育休復帰してみて、育児と仕事の両立、自身の健康、メンタルヘルスの維持が想像以上に大変だった	1
● 保育園について、3歳児までの園に入れても、その後途中で育休を取得することは不可能であるため、制策転園制度を復活させるか、保育園は5歳児までの園に限定してほしい	1
産後ケアについて	12
● 産後うつへのケアの充実	4
● 産後の入院や、支援券が充実していて本当に助かる	1
● 出産後に「子育て訪問支援券」を頂きましたが、一度も使っていない	1
● ショートステイのできる施設を区内にもう少し増やしてほしい	1
● 韓国みたいに産後、母子共に面倒みてくれる施設があればいい	1
● 港区のように、産後ドゥーラやベビーシッターの利用を充実してほしい	1
● 保健師の対応が良くない	1
● 産後ショートステイの助成金をもっと増やして利用しやすくしてほしい	1
● 産後サポート系を利用するまでの手続きが多かったり、時間がかかったりして結局使えなかった	1
多子多産について	4
● 多子の場合、1人が病気で保育園を休むともう1人は保育園に預けられなくなる	1
● 子育てと障害児の窓口を一つにしてほしい	1
● 感謝（双子のサービス）	1
● タクシー券の配布等希望	1
今回の調査について	23
● アンケートはWEBの方がよいのではないか（時間、回答率、誤解の防止、コストが低いなど）／オンライン回答も可としてほしい／NETが良い／デジタル化／スマホで回答	7
● アンケートの項目が多すぎる／長すぎる（忙しい子育て世帯にこのボリュームは酷／もっと項目を絞るべき）	4
● アンケート結果を活かしてほしい／アンケート実施を無駄にしないでほしい（より良い施策・子育て支援の実行に結びつくことを期待／きちんと形になることを期待／ただ聞くだけなら意味がない／結果をしっかりと吟味して）	3
● アンケートが難しすぎる／複雑すぎる	2
● 設問が適応していない、答えに困るものがあるので、記述形式にした方がより細かなケアができるのではないか	2
● アンケートの実施がありがたい（当事者の意見を聞いてもらえるのはありがたい／区の中枢に意見要望を伝えることはできないのでありがたい）	2
● アンケートは長いと回収が少ない（短くてすぐに答えられる方が返信が増えると思う）	1

項	目	件数
	● 区の取組を知りたい	1
	● このアンケートに記入していて、区立幼稚園をこども園化させていく考えかと心配になった	1
その他（行政等）について		17
	● 今後も今の区の水準を維持してほしい	2
	● 区のHPが見づらい	1
	● HP及びSNSでの情報発信をより充実させてほしい	1
	● 区外の幼稚園に通っているため、区内の情報がほとんど入ってこない	1
	● 文京区はファミリーで住めるマンション（3LDK～）がもう少し増えるといい	1
	● 子どもや女性、老人などが住みやすい安心して過ごせるまちづくりをお願いしたい	1
	● 災害時の備えを区内の様々な施設に設置しておいてほしい	1
	● 自分で調べないと知らない制度などがあるので、もっと当たり前知れるような仕組みにしてほしい	1
	● 専業主婦の就業支援／キャリアアップ制度など	1
	● 他の区や他県と比べてとても育児しやすい環境である	1
	● 就業のため預けたい時に子を預けられる制度の充実をお願いしたい	1
	● 道路は短期間で工事をしすぎてガタガタしている場所が多い／税金の使い方に不満	1
	● 産後の区の利用可能な施設や事業を区報を通して知らせてほしい	1
	● 家族の病気の入院期間や療養期間中の区からのヘルプが無い	1
	● 防犯カメラの設置台数を増やしてほしい	1
	● 本当に支援の必要な方に必要なサービスがあることを知らせ子育てしやすい社会にしてほしい	1

小学生の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、410人から588件（延べ件数）の回答があった。その主な内容については、「育成室（学童保育）について」（106件）が最も多く、次いで、「遊び場（公園・児童遊園など）について」（88件）、「子育て支援全般について」（54件）、「その他の放課後事業・子どもの居場所全般について」（46件）などの順となっている。

項 目	件数
育成室（学童保育）について	106
● 高学年の育成室の整備（6年生まで利用できるようにしてほしい／民間の学童は料金が高いため、育成が利用できると良い／卒室してから地域とのつながりがなく、孤立を感じている）	31
● 育成室の時間拡充（終わる時間が早すぎる／19～20時まで延長してほしい／保育園と同じ時間までみてほしい）	15
● 感謝・満足（質が高く恵まれた環境である／共働きのため、大変助かっている／充実している）	11
● 利用料が高額	8
● 育成室の充実（定員を増やしてほしい／待機問題の解消が必要／学校施設内で開設してほしい／中学のように選択できるようにしてほしい）	7
● 育成室の保護者活動の負担軽減	5
● 育成室の質の確保・質の向上（自由度を上げてほしい／落ちついて勉強できる環境にしてほしい／学校との情報共有がない／児童館併設の育成室では、学校への迎えや通学路の見守り・声かけをしてほしい）	4
● 育成室の施設・整備の充実（十分なスペースを確保してほしい／施設の老朽化対策が必要）	4
● 長期休暇中にも育成室が利用できるようにしてほしい（長期休暇中のみ育成率の登録ができるとうい）	5
● 土・休日の利用	4
● 指導員の充実	4
● 育成室の利用条件の緩和（フルタイムで働いていないと入れない／出産理由・パートでは入れなかった）	3
● 長期休暇中の高学年の利用（長期休暇中の過ごし方が不安／長期休暇のみ、利用できるようにしてほしい）	3
● 一時利用の受け入れ（週に数日といった利用もできるとよい）	2
放課後全児童向け事業（アクティ）について	21
● 感謝・満足	9
● 休みについて（アクティが休みの日があるのが困る（柳町小学校）／長期休暇中や土、休日にも利用したい／アクティが休みの期間を短縮してほしい）	6
● アクティの時間拡充（終わる時間が早すぎる／19～20時まで延長してほしい／保育園と同じ時間までみてほしい）	3
● アクティを導入してほしい	1
● おやつがでるとうれしい	1
● アクティの質の確保・質の向上（目が行き届かないことが多いと思われ不安）	1
児童館について	18
● 施設の充実（老朽化対策／スペースの確保／湯島児童館の全面リニューアル）	7
● 休日の利用（日曜や祝日に利用したい／休日に父親が子どもと遊べる場がない）	4
● 利用時間の拡充（9:00から／土曜日は8:30から）	2
● 子どもの自由と安全のバランスはあるが、管理・制約される面が多く、不自由に感じる	1
● 学校との連携	1
● 職員の専門性の向上	1
● 低学年の子供の利用しやすさへの配慮（高学年の子どもの配慮がないと、低学年の子どもは楽しくないと感じてしまう）	1
● 感謝・満足（子どもが一人で安全に遊びに行けて友達と交流できる）	1

項 目	件数
スポーツ施設・スポーツ事業について	12
● スポーツ教室・スクールの定員数を拡充してほしい／水泳教室を通年にしてほしい	4
● 球技が可能な施設やグラウンドがほしい	3
● スポーツ教室の内容充実（ダンス教室がほしい／バスケット教室がほしい）	2
● 親子で気軽にスポーツをできる施設がほしい	1
● 夏の暑い日など室内で体を使って遊べる施設がほしい	1
● 水泳の指導を授業で行ってほしい	1
その他の施設（図書館・地域センターなど）／イベント・教室全般について	30
● イベント・講座の拡充（定員数・回数を増やしてほしい／抽選で落選することが多い／休日にもイベントを実施してほしい／参加しやすい時間帯でイベントを実施してほしい）	7
● 感謝・満足（文京アカデミアによる講座がよかった／区立の施設での習い事が充実していてよい）	5
● 図書館で子供が勉強しやすい環境がほしい（自習室、子供専用ルームなど）	4
● 図書館の設備を拡充してほしい（蔵書数が少ない／大きくて広い図書館がほしい）	3
● 遊びながら学べる施設がほしい（足立区のギャラクシティーのような施設）	3
● 小学校高学年や中学生でも楽しめる施設がほしい（b-1abのような施設、アスレチック設備など）	2
● スポーツ以外のイベントを充実してほしい（工作、絵画、陶芸教室など）	1
● 子供だけでも通いやすい図書館がほしい（旧人事院の研修センター等を利用して子供向けの図書館を作る）	1
● 図書館の機能を拡充してほしい（図書館で予約した本を地域活動センター等で受け取れる）	1
● 中学校体育館のトイレをちゃんと管理してほしい	1
● 区立中学校に通う生徒にとってb-1abがあまり役にたっていない	1
● 銭湯がもう少しほしい	1
その他の放課後事業・子どもの居場所全般について	46
● 小学生（中学生）が放課後に過ごせる場所の確保（安全に過ごせる場所／育成室を利用できない子が過ごす場所がほしい／未就学児しかできない施設を小学生も利用できるようにしてほしい／毎日放課後の校庭開放をしてほしい／子供をフレキシブルに預けられる場（キッズルーム）がほしい／低学年の不登校児にむけた施設がほしい）	23
● 放課後全児童向け事業の拡充（全ての小学校にアクティを導入してほしい／子供に対して目が行き届くようにしてほしい／自主学習できるよう教室を開放してほしい／遊ぶこと学習する環境を分けてほしい／学習室を配置し学習ボランティアを配置してほしい／当日帰宅後に飛び込みでも参加できるようにしてほしい／時間を延長してほしい）	10
● 土日（就労時）に子供を預けられる場所がほしい（小学生を一次的に預けられる施設がほしい）	6
● 長期休暇中にも子供を預けられる施設がほしい（新宿区が行っている制度がよい）	4
● 感謝・満足（子育て支援施設が充実していてよく利用している）	2
● 中高生に向けた放課後デイサービスの充実	1
遊び場（公園・児童遊園など）について	88
● 子どもがのびのびと思いっきり遊べる公園・広場等の整備（子どもが自由に体を動せる公園や運動場が少ない／公園の規制が多く、自由に遊べない／狭くてうす暗く、入りにくい雰囲気の公園が多い／大きい公園は人がいっぱい活動できない／アスレチックなどがある広い公園）	51
● 公園の遊具の充実（数・内容／アスレチックなど／遊具が物足りない／遊具や遊具のバリエーションが少ない）	14
● 公園の美化・設備の充実（トイレに明るさがあると安心／きたない／駒込公園のフェンス（入口）がうまくしまらない／駐輪場の設置）	8
● 公園の充実／公園が少ない／公園が近くにない	5
● 公園の安全・安心（不審者／喫煙者／暗い）	5
● 公園の遊具が古い（新しい遊具に代えてほしい）	1

項 目	件数
● 夏休みに何回かは公園で花火ができる日を設けてほしい	1
● 公園の遊具が子供が喜ぶものではない	1
● ボールを使える公園を増やしてほしい	2
学校について	32
● 特別学級の設置（すべての小学校・中学校に設置してほしい）	4
● 教職員の充実（人数を増やしてほしい／教員レベルが低い／特別支援教育の理解や実践が足りない）	4
● 学校施設の改善（トイレは全て洋式にしてほしい／図書館を充実してほしい／建物の格差をなくしてほしい／校庭が狭い）	3
● 児童数の偏り解消	3
● 校庭開放の充実（土日の利用／通学校以外の利用）	2
● PTA 業務の負担軽減	2
● 学区の見直し（自宅から遠い学校の学区になっている）	2
● 教育内容の充実（塾や習い事に行っている子を基準にしない／先進的、特色のある取り組みを取り入れてほしい）	2
● 区立中学校の魅力向上（学校間格差の解消／学区選択制の廃止）	2
● クラス編成の改善（少人数学級にしてほしい）	1
● 共働き世帯への対応（連絡事項を IT 化してほしい／平日の荷物持ち帰りや宿題の添削の負担を減らしてほしい）	1
● 連絡システムの導入	1
● 移動教室の実施時期の検討（6年生で2回あるのは負担が大きい）	1
● 宿題が多い（放課後、休日の自由時間が少ない）	1
● 土曜授業公開は減らしてよい	1
● 生徒数の非常に少ない区立中学校を保育園や老人ホームに建て替える	1
● 配布されるチラシがとても多い	1
教育環境全般について	18
● 学習に関する相談や補習の充実（自習できる補習の場がほしい／中・高校生用の自習室がほしい）	4
● 教育環境の偏り（塾通いの子との格差／中学受験の過熱）	3
● 安価で質の良い教育環境の充実（都主導で、民間学童のような教育サービスの提供／高いお金を必要としなくても良質な教育を受けられる環境を）	2
● 外遊びの場の不足	2
● 区の水泳や体操教室の充実（定員を増やしてほしい）	1
● 中高一貫校の実施	1
● 教育センターのイベント（理科教室の利用をしている）	1
● インターナショナルスクールへの進学や受け入れの対応	1
● 学校トラブルなどの対処の不满	1
● 施設間で連携をとって環境づくりをしてほしい	1
● 所得に関係なく語学支援等を提供してほしい	1
医療について	20
● 医療費助成の拡充／18歳（高校生）まで医療費を無料にしてほしい	8
● 子供の任意の予防接種やインフルエンザの予防接種への助成を増やしてほしい	8
● 休日、夜間に診察してくれる病院がほしい	2
● 小児科の休院日をまちまちにしてほしい	1

項 目	件数
● 医療費全額助成だと、無料だからという理由で病院に行く人が増え病院が混雑するため、一部自己負担にするべき	1
生活環境／安心・安全について	23
● 子どもが安全に生活できるまちの取り組みをしてほしい／通学路のパトール強化をしてほしい／街灯を増やしてほしい	6
● 道路整備・交通規制（歩道の幅が十分でない／不要な電柱の撤去／見通しがわるく自転車が危ない道がある／坂道で危険が多い）	3
● 安心・安全メール・不審者情報等の内容の充実（不審者情報が古い／不審者情報の入手方法がわからない／より詳細な不審者情報を配信してほしい）	3
● Bーぐるを双方向で走らせてほしい	3
● ファミリー向けの住宅を整備してほしい	3
● 犯罪防止・治安強化・取り締まりの強化（夕方から夜にかけて街の安全を守る仕組みを作ってほしい）	1
● 自転車・自動車のルール・マナー違反の取り締まり・規制の強化（小学生のための自転車教室を実施してほしい／駅前歩道へ自転車置場を整備してほしい）	1
● 子供服や食料品などを購入できる複合施設がほしい	1
● 若い女性が安心してらせる街にしてほしい	1
● これからもずっと住み続けたい	1
地域・社会環境について	11
● 赤ちゃんの泣き声や子供の遊び声に対して警察を呼ばれた／子供の声への苦情により遊ぶ場が限られる／都バスの運転士や一部の高齢者に子供に厳しい人がいる	5
● 地域ぐるみの支援がほしい（ボランティアによる事故防止のための指導があるとよい／歩きタバコを取り締まってほしい／ファミリーサポートセンターを利用しようとしたが利用できなかった）	2
● 子供が参加できるイベントがあるとうれしい	2
● 歩道や駅のバリアフリー化が進んでいない	1
● 児童公園の設備が古いので充実させてほしい	1
経済的支援について	23
● 金銭・経済的支援をしてほしい（経済的支援の充実／複数の子どもがいる家庭への経済的支援の拡充／ひとり親への援助／親の介護等で働けない場合の援助／高校までは経済的負担なく希望する教育の支援／低所得者の家庭への現物支援）	10
● 平等な手当・経済的支援をしてほしい（一定所得を超えた際の助成がほとんどない／扶養義務者の所得制限額を超えたため児童扶養手当が支給停止／所得制限の設定は一世帯の子供の人数も加味した金額にしてほしい／「保護者負担軽減補助金・就園奨励費補助金」について、年齢の上限を設けるのは支援になってない／手当にフルタイムとパートで差をつけないでほしい）	8
● 無料券を配布してほしい（年2回くらいファミリー・サポート・センターや病児病後児保育を利用できるようにしてほしい／妊婦健診などに使えるタクシー券／子供の通院にかかるタクシー代を割引）	2
● 住宅支援があってほしい／補助がほしい	1
● 現状を考えた給付を考えてほしい（土日や夜遅くまで共働きしている世帯への対応策）	1
● 感謝・満足（児童手当／幼稚園や保育園の時の補助）	1
定期的利用の教育・保育事業（保育園・幼稚園など）について	30
● 感謝・満足（6年間保育園に通わせており、先生方の手厚いサポートに満足／保育園の増設／区立の幼稚園が18時まで預かり可能になった／支援施設の質が高くとても有難い）	6
● 保育園の充実（定員増／施設増／保育園に入りづらいという理由で2人目、3人目をあきらめる人が多々いるように思う／両親が近くに住んでいない人を優先してほしい／区立保育園を増やしてほしい）	5
● 保育園の利用条件の緩和（保育時間や親の体調不良時の対応／在宅ワーカー等、毎日でなくても就労している母親が週2～3回定期的に子どもを預けられる環境の整備を希望／1人を病院に連れて行くのに預かってもらえなかったり、有給休暇時はあずかってもらえなかった／リフレッシュの為のあずかりも認めてほしい／どんな就労スタイルの家庭でも幼稚園と保育園、保育の内容で選択できる様な体制だとい）	5
● 保育園の質・サービスの向上（保育時間や親の体調不良時の柔軟性がない／私立園の保育の質改善へ区の指導、支援強化を／費用が高く負担が大きい／保育の質の維持・向上も重要／具体的には保育士配置や面積基準）	4
● 区立幼稚園の充実（定員増／施設増／建物にお金をかけてほしい）	3

項 目	件数
● 幼稚園の預かり保育の利用条件の緩和（幼稚園入園後、就労条件が足りず、勤務日数を増やした／幼稚園と関わりながら仕事と両立したい人のことを考慮してほしい）	2
● 保育士の質の向上（子育ての専門家・保育士を区行政の中に増やすべき）	2
● 私立幼稚園に園庭を確保してほしい	2
● 保育園の父母会活動の負担低減（効率化）	1
一時預かり保育／病児・病後児保育などについて	40
● 病児保育の拡充（施設増／遠いので近くにほしい／就労していない主婦でも気軽に利用したい／高学年になっても利用したい／緊急対応がほしい／定員オーバーでなかなか予約がとれない／病児保育の枠と受入時間を大幅に拡大してほしい／利用料が高い）	16
● 一時保育の受入れ条件の緩和（数時間でも／夜間預かりでも／朝一番でも／「小3まで」の制限解除をなんとかお願いしたい／急な事情への対応／18～20時の夜間に理由を問わず預けられればよい）	11
● 一時保育の定員増（預ける先がない／予約がいっぱい／未就園児のあずかりの充実／あずかり枠が少ない）	5
● 一時保育の利用料が高い	3
● ファミリー・サポート・センター以外でも地域の方のサポートを受けられるような制度（例えば短時間、緊急な依頼など）／実際にファミサポ手続きをしても近くに支援してくれる方がいない	2
● ファミリーサポートセンターについて（利用には1ヶ月以前からの予約が必要と言われ、ハードルがかなり高いと感じた／前日当日からでも利用申請できるようなフレキシブルなサポート体制があるとよい）	1
● 感謝・満足（一時保育を利用しており、大変助かっている）	1
● フローレンスのサービスを区で補助してほしい	1
子育て支援拠点・相談事業などについて	13
● スタッフの充実（教育センターの相談員の質の向上／専門知識を持ったカウンセラーの配置）	4
● サービスの充実（発達障害への支援の充実／学校でのいじめをうけた際の先生の対応について相談できる先を設けてほしい／ママ友達の人間関係に特化した相談先）	3
● 講座・学級・イベント内容の充実（両親の子育て講座やカウンセリング／子育てをしながら介護・介助をしている人向けの勉強会や交流の場）	2
● 感謝・満足（教育センターは様々な不安も一緒に考えて頂けるので有難い／子育て広場は悩み事を気軽に話すことが出来、とても助かっている）	2
● 子育て広場の時間拡充（土曜日 9:00～17:00）	1
● 子育て広場が少ない	1
子育て支援全般について	54
● 子育て支援の充実（子育て支援ができていない／他区より遅れている／子育てに人気で文京区に転入したがその実感はない／他区より子育てしにくい／環境の悪さに失望／子どもを産みたいと思えるような支援をしてほしい／ワーク・ライフ・バランスが取れている上でのニーズに合わせた支援をしてほしい／ベビーシッターの充実／必要な人に必要なサービスを／成長に応じた支援）	19
● 情報の提供（区の子育て支援について知らないことばかり／知る手段がない／今回の調査でサービス一覧を初めて見た／ひとり親家庭に情報がほしい／発達に課題のある子の支援のガイドラインがほしい／区報などで相談例などを載せ悩みを共有できるとよい）	6
● 情報提供の方法に工夫してほしい（部門は統合してわかりやすくしてほしい／保存版的な一目でわかるパンフレットがほしい／各種のイベント情報を集約してHPでカレンダー式にする／携帯サイトのHPの充実／年齢別にほしい情報の提供／色々な情報が見ることのできるツールの開発）	5
● 子育ての悩み（ほとんどの子どもが習い事や塾で多忙で遊んでくれる子どもがいないのでどうしたらよいか／子育てがうまくいかず子どもが近所からよく注意を受けるのでどうしたらよいか／母親へのケアの充実）	4
● 療育支援の拡充（発達障害やグレーゾーンの子に継続したサポートをしてほしい（就学と同時に福祉センターを卒業しなくてはならない）／ST（スピーチセラピー：言語療法）の受入れを福祉センター・教育センターとで分けず一貫する／土・日・祝もST（言語療法）を受け入れるようにしてほしい）／サービスやサポートに対する不満	4
● あまり期待していないので民間に充実を望む／あてにしていない／民間活用	4
● 平等に子育て支援をしてほしい（すべての子どもたちのことを考えてほしい／共働き世帯ばかりに力を入れないでほしい／仕事を持つ人も持たない人も安心して保育を受けられるように／就労している母親には選択する施設が限られている／地域による格差の改善／どんな人にもオープンな文京区であってほしい）	3

項 目	件数
● ファミリーサポートセンター（利用条件、優先度）	2
● 区の子育て支援政策について	2
● 区の子育て施設について（図書館、児童館、育成室、公園等子供が集まれる場所の老朽化／狭さ／暗さ）／シビックセンター以外の施設（学校含む）が古い	2
● 小学校4年生以上のサポートの充実	1
● 窓口対応への不満（どこか他人事のように処理／特のお堅いマニュアルのような対応に失望する／24時間預かり対応は区では無理なので民間を探せと言われた／遠くて不便）	1
● 小学校と育成室の連携	1
今回の調査について	3
● 感謝／頼もしい	1
● この調査で知った施策もある	1
● 調査協力を無駄にしないで	1

中学生の保護者に対し、区の子育て支援施策に関する意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、119人から187件（延べ件数）の回答があった。その主な内容については、「その他の施設（図書館等）／イベント等について」（45件）が最も多く、次いで、「子どもの居場所・遊び場について」（41件）、「学校について」（26件）、「経済的支援について」（22件）などの順となっている。

項 目	件 数
育成室（学童保育）について	2
● 開始時間を保育園と同じ8:00からにしてほしい	1
● 育成室の価格上昇の理由に納得がいかない	1
スポーツ施設・事業について	10
● 友達同士でスポーツ（球技、ボール遊び）のできる場所（体育館／公園／グラウンド）がほしい（園庭や校庭の活用／野球、テニス、バスケットボール、サッカー）	7
● プールを作してほしい（本駒込付近）	1
● 総合体育館で行われた水泳教室の受付方法と案内を改善してほしい	1
● 庶民的な料金で利用できるスポーツ施設や回数券で参加できるスクールがほしい	1
その他の施設（図書館等）／イベント等について	45
● 図書館の設備の充実（自習室を増やしてほしい／勉強ができるスペースがあるとよい／明るい個室スペースがほしい）	11
● b-labのような施設を増やしてほしい（近くにほしい／各中学校の中に）	11
● 放課後や休日にb-labを利用している	6
● 中学生向けの施設がほしい（子どもだけで遊べる場所がほしい）	4
● 図書館以外で勉強できるスペースがほしい	3
● 図書館に行きづらい（大人に占領されている）	1
● b-labで勉強中に飲み物可としてほしい	1
● 図書館や施設が老朽化している	1
● 児童館には行きづらい（児童館は小学生の行くところ／狭い）	1
● バーベキューできる広場がほしい	1
● 大塚車庫の跡地を図書館等こどもも利用できる施設にしてほしい	1
● 小石川植物園に年間パスポートを導入してほしい	1
● どんな立派な施設も遠ければ利用できない	1
● 施設の休館日を月曜以外にしてほしい（振替休日で利用できない）	1
● 部活動の成果を発表できる機会があるとよい（区のスポーツ大会や音楽発表会）	1
子どもの居場所・遊び場について	41
● 子どもが自由に遊べる公園が少ない（ボールで遊べない／年齢別や中高生を対象とした公園がほしい）	18
● 中学生の居場所／遊び場がない（中学生が放課後や休日利用できる場所が少ない／雨や暑い日に集まる場所がない／ボール等を使用して遊べる場所がない）	12
● 中学生が元気に遊べる／体を動かせる／自由に遊べる場所がない（ボールで遊べない／土のランニングコースがない）	6
● 公園について（大きい公園がない／朝から鍵を開けてほしい／保育園の子どもがたくさん遊んでいて遠慮してしまう）	3
● 小学校時代の友人と過ごせる場所があるとよい	1
● 私立へ進学すると地域との交流がほとんどなくなるので私立の子同士で交流する場があるとよい	1

項 目	件 数
学校について	26
● 学区／区域について（区内小学校統廃合、越境入学の推進／1学年3クラス100人以上になるように再編を考えてほしい／生徒数の偏りが大きい／学校からの距離で見直してほしい／選択制のせいで生徒数、取組に学校間格差が生まれている）	7
● 教育／授業内容の充実（中高一貫校やIT／英語に特化した学校の設立／小学校高学年から私立進学クラスと公立進学クラスを分ける／ソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの常駐／特色ある学校づくり）	5
● PTAについて（負担が重い／決まった顔しか出てこない）	3
● 教員の質の向上（専門性の充実／教員への教育）	2
● 設備の充実（校舎が古い）	2
● 少人数学級の実現（28人程度）	1
● 学校の規模が小さすぎて行事や部活が十分にできない	1
● 荷物が重すぎて体が心配	1
● 学校に対するクレームまがいの意見に対して毅然とした対応をしてほしい	1
● サッカークラブの開始時間が6:00で暗いので対応してほしい	1
● 子どもの考える力をそぐような校則をやめてほしい	1
● 中学校の校庭、体育館を開放して、有効活用してほしい	1
教育環境全般について	13
● 学校に行けない子どもの支援が十分でない（予防が大切である、学校以外の所を提供してほしい）	2
● 支援級を配置してほしい（千駄木、根津、八中）	2
● いじめ等の申出があった場合は、現場にとどめず、教育委員会で共有し、対応をチェックする仕組みが必要である	1
● 給付金の増額や学費の無償化等で区民をサポートし、学問の区として、全国に模範を示してほしい	1
● 小学校から中学校へ進学するにあたり、生徒による学校紹介のみでなく、先生の紹介もしてほしい	1
● 「質」を落とさず今後もより良い方向を目指していただきたい	1
● 自転車／ネット／性について、子供の判断力をつけるために、もっと教育が必要（学校教育では対応しきれないので区の施策として）	1
● 目白台に完成予定の東大の海外留学生寮との交流を区がリードして進めてほしい	1
● 通学、定時、通信ごとの学費がよく分からない	1
● プログラミングを学習させたいが何からしたらよいか迷う	1
● 「学力」も大事だが、その前に「人」としての教育に力を注いでほしい	1
子どもの姿勢・態度／保護者などとの関わりについて	10
● 感謝／満足（安心して暮らせる／安全で環境が大変良い）	2
● 道が狭く暗いところを改善してほしい	2
● Bーぐるの路線、運行時間、本数の拡充	2
● 駐輪場について（区内の登録駐輪場を複数使えると便利／駒込駅／本駒込駅、千駄木駅付近に作ってほしい）	2
● 治安の強化／パトロール（夜の街に補導員がいると安心）	1
● 防災（防災放送が聞こえない／「文の京」安心／防災メールはその後の経過（犯人が捕まった等）も送ってほしい）	1
経済的支援について	22
● 医療費を援助してほしい／医療費を18歳（高校卒業）まで無料にしてほしい	7
● 学費／教育費の援助（卒業後何年間か区立中学校の教員になるなど条件付きで区から返還の必要のない奨学金を出してほしい／保育園では小3以下に3人の子どもがいると保育料が免除になるそうだが、歳の差がある兄弟の場合支援がないので不公平／お金がかかる高校生の支援がほしい）	4

項 目	件 数
● 経済的支援は一律にしてほしい（収入に関係なく出してほしい／年収による支給差をなくしてほしい／所得制限の金額を見直してほしい）	4
● 感謝／満足（小児の医療補助等充実している）	2
● 経済的な負担が大きく不安／経済的に苦しい／経済的援助を手厚くしてほしい	1
● 住宅供給の充実（子育て世帯に向けた住宅のあっせん／手当て）	1
● 子どもが3人以上いる人への支援を充実してほしい	1
● インフルエンザの予防接種を補助してほしい	1
● 医療証のサイズは保険証と同じにしてほしい／更新コストが無駄なので、一年更新ではなく、該当しなくなったら返却してほしい	1
保育事業について	2
● 保育園だけでなく、幼稚園にも配慮してほしい	1
● 3歳児の幼稚園枠を増やしてほしい（3年保育は倍率が高くてあきらめた）	1
相談事業について	4
● 中学生をテーマとした家庭教室講座やその後、保護者同士が気軽に話せる会があるといい	1
● LINE やチャット等を活用した情報発信や子育て相談等があるとよいのでは	1
● スクールカウンセラーや教育支援の方に相談しても、具体的な策や答えを出してくれない／NPO やお金を出して支援をたのまないと親身に相談にのってもらえない	1
● 17時以降、土／日／祝日に相談窓口がないと就労している方は利用が難しい	1
子育て支援全般について	12
● 感謝／満足（教育センターの発達支援グループに助けられた／子育て広場に毎日通った／これまで通り子育て支援を行っていただくことを期待している）	3
● 子育て支援の内容がよくわからない（積極的に情報収集しないと分からない／家庭教師の募集など昔は掲示板があったが、今はどこで探せばいいか分からない／中学生の子育て支援や安全等の情報が分からない）	3
● 子育て支援のあり方（中学生になると、自立していくので、中学生より園児や児童の支援を充実する方がよいのでは、本当に困っている人に特化して支援できるとよい）	2
● 発達や成長に少し不安を感じる子どもへの支援の幅を広げてほしい	1
● 今の子育て支援は共働き家庭向けばかりのように思える（専業主婦の親への支援も考えてほしい）	1
● 親が働いていても、子どもの状況をきちんと知ることができるようにしてほしい	1
● 親に対する教育をしてほしい	1

中学生本人に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、83人から92件（延べ件数）の回答があった。その主な内容については、「生活環境／安心・安全について」（27件）が最も多く、次いで、「スポーツ施設・事業について」（26件）、「その他の施設（図書館等）／イベント等について」（17件）、「学校について」（9件）などの順となっている。

項 目	件数
スポーツ施設・事業について	26
● 球技やスポーツのできる施設がほしい（バスケットボール／サッカー／球技全般／テニスコート／硬式球が使える野球場／ボール遊び／スケートボード／バレーボール／バドミントン／スカッシュコート）	16
● スポーツのできる場所を作って（増やして）ほしい（気軽にスポーツができる場所／体育館／ダンスができるホール／広い運動場）	6
● プールがほしい（千駄木、本駒込付近）	2
● 総合体育館のような施設を増やしてほしい	1
● 小／中／高校生が参加できる運動の活動を増やしてほしい	1
その他の施設（図書館等）／イベント等について	17
● 施設／場所の要望（パソコン教室／一人でも行ける個室のある施設／区を象徴する建物）	3
● 図書館に自習室をもっと増やしてほしい（千石図書館／女性専用自習室）	3
● b-labを増やしてほしい	2
● b-labがおもしろくない／もっと充実させてほしい	2
● 相談や悩みを気軽に話せる場所がほしい（身近な相談所／学校の先生との関係を相談できる場所）	2
● シビックセンター内の大画面を若者向けにしてほしい（流行りの音楽を流すなど）	1
● 図書館の蔵書を増やしてほしい（英語の本／中／高生向けの本）	1
● b-labに区外の人が来られるようにしてほしい	1
● 施設の人の対応が雑、不適切	1
● 英語圏の人と交流できる場所がほしい	1
自分たちの居場所・遊び場について	7
● ボールが使える、球技ができる公園を増やしてほしい	3
● 公園を増やしてほしい（広くフェンスのしっかりした安全、安心の公園）	3
● 公園整備をもっとすることで子育て支援につながる	1
学校について	9
● 学校のカバンが重い	2
● 学校の時間が長い	1
● 意味のない校則はいらぬ／衣替えは自分で決めたい	1
● 文京区立第三中学校の音響設備を改善してほしい	1
● 区内の私立公立関係なく学校で交流する会がほしい	1
● プールの授業はいらぬ	1
● 推薦をもっと増やしてほしい	1
● 部活が忙しい	1
教育環境全般について	2
● 勉強スペースがほしい	1
● 高校まで義務教育としてほしい	1

項 目	件数
生活環境／安心・安全について	27
● 道路の広さ／明るさ等改善（道が狭いところを広くしてほしい／街灯を増やしてほしい／歩きやすい道路を作してほしい／壱岐坂交番前の信号の待ち時間が長い）	6
● Bーぐるのルート、本数を増やしてほしい	4
● 感謝／満足（過ごしやすい／不自由はない）	3
● 商業／娯楽施設の建設（総合的な商業施設／ペットショップ／家電量販店）	2
● Wi-Fiを増やしてほしい（すべての公園でFree Wi-Fiを利用できるようにしてほしい）	2
● その他（何をすることもお金がかかる／コンサートに行きたい）	2
● 防犯カメラを増やしてほしい	1
● 喫煙の取り締まり（歩行中や自転車に乗りながらの喫煙）	1
● 痰を吐く人に対応してほしい	1
● 大音量で音楽を流している人がいるのでやめてほしい	1
● 地震などの放送が聞こえにくい	1
● ネットカフェやパチンコなどの危なそうな場所を減らしてほしい	1
● バリアフリーを増やしてほしい	1
● 駐輪場を増やしてほしい（駅の近く／無料）	1
経済的支援について	3
● 医療費無料を高校3年生までにしてほしい	1
● 子どもに対する援助を拡充してほしい	1
● 子どものインフルエンザ等のワクチンの補助	1
今回の調査について	1
● アンケートでは微妙な感情を表現できない	1

高校生世代本人に対し、区への意見・要望・提案などを自由記述形式で尋ねたところ、56人から61件（延べ件数）の回答があった。その主な内容については、「その他の施設（図書館等）・イベント等」（24件）が最も多く、次いで、「生活環境・安心・安全」（10件）、「スポーツ施設・事業」（9件）、「教育環境全般」（8件）などの順となっている。

項 目	件数
スポーツ施設・事業	9
● 球技のできる施設がほしい（バスケットボール／サッカー／キャッチボール）	4
● 自由に運動できる広場／手軽に運動できる場所がほしい	2
● トレーニングルームやプールをもう少し安くしてほしい	2
● 区のスポーツ支援が部活で役立った	1
その他の施設（図書館等）・イベント等	24
● 自習室をもっと増やしてほしい（図書館に自習室が少ない／自習室のある施設を増やしてほしい／図書館の自習スペースは空いていないことが多い／自習できる公共の場が少ない／休館日でも利用でできる勉強スペース）	13
● 図書館の増設／増書／参考書が借りられるとよい／新しいきれいな小説	4
● 楽器練習／バンド活動について（b-lab は防音室があり、ありがたい／無料でバンド活動ができる施設がほしい）	2
● シビックセンターの駐輪場所が分かりにくい	1
● 図書館の開放時間を延長してほしい	1
● LaQua に映画館があったらもっと便利で人も集まると思う	1
● b-lab や地域センターのホールを、未成年には無料で貸してほしい	1
● シビックホールを使ったカラオケ大会等、区民が参加できるイベントがあるとよい	1
学校	2
● 災害時には早めに休校にしてほしい	1
● 公立中学校の整備が学校ごとに差があるように思う	1
生活環境・安心・安全	10
● まち（道）の改善（暗い道に街灯を増やしてほしい／もっと道路を広げて歩きやすい街になってほしい）	2
● 自転車について（自転車用道路を増やしてほしい／歩道を走る自転車が危ない）	2
● 喫煙の取り締まり（歩きタバコをしている人が多い）	1
● 居住地の周辺でゴミ処理、清掃に問題が発生しているがどこに連絡したらよいか分からない	1
● B-ぐるのルートを増やしてほしい	1
● 蚊が多いので駆除してほしい	1
● 地震で大きな揺れを感知したら、自動でブレーカが落ちる装置を全家庭に配ってほしい	1
● 安心して文京区で住み続けられるようにしてほしい	1
地域・社会環境	2
● 過去に存在した川や施設など文京区の歴史をより身近にするべき	1
● 気軽に地域のお祭のボランティアに参加できるようにしてほしい	1
経済的支援	5
● 医療費助成を延長してほしい（年度ではなく、生まれてから15年間／18歳まで）	2
● ハンディのある方への支援（気軽に銭湯に行ける入浴フリーカード／B-ぐるの割引／無料化）	2
● 若い世代が教育費がかからないような政策を充実してほしい（母子家庭への無償の就学補助等）	1

項 目	件数
教育環境全般	8
● 大学が多いという特徴を活かして、大学と提携したイベントやプログラムを増やしてほしい	2
● 教育制度のレベルが低い（例えば短期留学が2年に1回で人数も少ない）	1
● 自分らしく生きる方法や例を見せてくれる機会があるとよい	1
● 金銭面を含め気軽に進学相談できる場所がほしい	1
● 就職や資格取得に向けた支援がほしい	1
● 相談窓口について、利用したい子どもがわかりやすい案内があるとよい	1
● 助言ではなく、共感を求めて東京都児童相談センターに電話する場合もある	1
今回の調査	1
● コスト削減や利用者の手間を考えるとネット／スマートフォンに対応したアンケートを実施してほしい	1

使用した調査票

文京区子育て支援に関するニーズ調査

～ 調査へのご協力をお願い ～

ご投函締切り

10月26日(金)

日頃より文京区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
文京区では、平成26年度に、「文京区次世代育成支援行動計画」と「文京区子ども・子育て支援事業計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画（平成27年度～31年度）」を策定することで、子どもの健やかな成長の支援や地域社会全体で子どもを育む体制の構築などを推進し、“地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち”を目指しています。

この調査は、次期計画となる「子育て支援計画（平成32年度～36年度）」の策定に当たり、区民の皆さまの子育てやサービスの利用に関する状況や利用希望、ご意見等を把握するために実施するもので、0歳～中学生までの保護者と中高生世代本人を対象に無作為に抽出し、それぞれ該当の調査票をお送りさせていただきました。

ご回答いただきました内容は、子育ての当事者などが参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、プライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

質問数が多くご負担をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年10月

文京区長 成 澤 廣 修

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- アンケートは、お子さんの保護者をご記入ください。
- 回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、(○は1つ)、(○は3つまで)、(○はいくつでも)などと表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入してください。
- 数字(日数、回数、時間、年齢など)をご回答いただく場合は、一枠に一字ご記入ください。
- 時間をご回答いただく場合は、24時間制の時間単位でご記入ください。
分単位については、29分までを切り捨て、30分以上を1時間に切り上げてください。
(例) ①「8時45分」の場合⇒「9」時と記入 ②「18時15分」の場合⇒「18」時と記入
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。)

【 お問い合わせ先 】

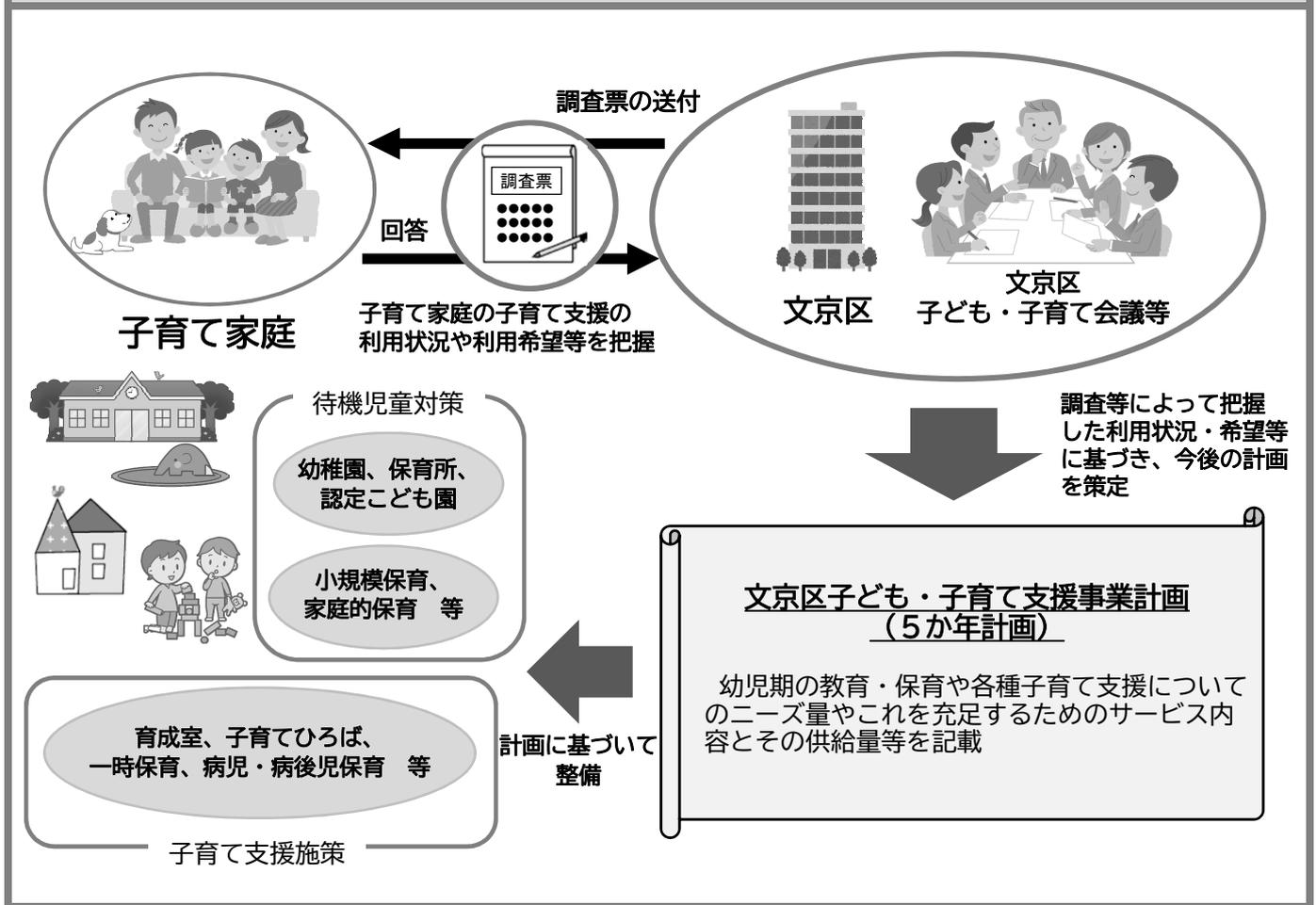
文京区 子ども家庭部 子育て支援課

〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号

電 話 : 03-5803-1256 (直通)

FAX : 03-5803-1345

いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます



- ご回答内容は、今後の文京区の子ども・子育て支援事業計画策定のための大変重要な資料となります。
- 現在、文京区の子ども・子育て支援事業や施設を利用されている方のみならず、利用されていない方のご意見も、今後の事業計画策定のために大切なデータとなります。
- 質問数が非常に多く、子育て中の皆様においてはご多忙の折、ご負担をおかけし、誠に申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、何卒ご協力くださいますよう改めてお願い申し上げます。
- なお、別紙に、「文京区の子育て支援サービス・保育サービスの一覧(用語の説明)」を同封しております。調査票ご回答時にご参照ください。

■ お住まいの地域についておうかがいします。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. 後楽	0.7%	6. 水道	4.0%	11. 音羽	2.9%	16. 弥生	1.1%
2. 春日	2.8%	7. 小日向	4.8%	12. 本郷	8.9%	17. 根津	3.1%
3. 小石川	10.8%	8. 大塚	8.0%	13. 湯島	3.5%	18. 千駄木	9.0%
4. 白山	8.6%	9. 関口	3.8%	14. 西片	1.4%	19. 本駒込	11.5%
5. 千石	7.5%	10. 目白台	3.3%	15. 向丘	3.1%	無回答	1.1%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ 封筒のあて名のお子さんご家族についておうかがいします。

問2 あて名のお子さんの生年月と平成30年4月1日現在の年齢をご記入ください。

n=897

平成 年 月 生まれ

平成30年4月1日現在 歳

0歳 18.3% 1歳 17.2% 2歳 16.3% 3歳 16.5% 4歳 15.5% 5歳 15.9% 無回答 0.3%

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。

また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

n=897

(あて名のお子さんを含めて)

きょうだい数 人 1人 43.5% 2人 36.6% 3人 7.0% 4人以上 1.3% 無回答 11.6%

(2人以上の方)

n=403

末子の生年月 平成 年 月 生まれ

0歳 30.3% 1歳 18.4% 2歳 15.1% 3歳 10.4% 4歳 7.7% 5歳 9.4% 無回答 8.7%

問4 この調査票にご回答(記入)いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. 父親 11.7% 2. 母親 88.0% 3. その他 0.2% 無回答 0.1%

問5 この調査票にご回答(記入)いただいている方の配偶関係についてお答えください。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. 配偶者がいる 96.2% 2. 配偶者がいない 3.5% 無回答 0.3%

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に 行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係であてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. 父母ともに 57.5% 3. 主に母親 40.9% 5. その他 0.1%
2. 主に父親 1.1% 4. 主に祖父母 0.2% 無回答 0.1%

■ 子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなたですか。
お子さんからみた関係であてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=897

1. 父母ともに	73.5%	4. 祖父母	24.9%	7. 習い事等の指導者	15.2%
2. 父親	3.5%	5. 幼稚園の先生	16.1%	8. その他	3.0%
3. 母親	26.1%	6. 保育士	35.9%	無回答	0.4%

問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響が強いと思われる環境すべてに○をつけてください。

n=897

1. 家庭	96.2%	5. 習い事など	25.8%	無回答	0.7%
2. 地域	28.2%	6. 療育機関	3.8%		
3. 幼稚園	28.4%	7. その他	2.7%		
4. 保育所(認可保育所、東京都認証保育所、認可外保育所)	54.1%				

問9 あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=897

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	14.4%	→ 問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる	59.9%	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	1.6%	→ 問9-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には、みてもらえる友人・知人がいる	10.0%	
5. いずれもない	20.4%	→ 問10へ
無回答	9.5%	

問9-1 問9で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=613

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	54.2%	
2. 負担をかけていることが心苦しい	39.6%	
3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	10.9%	
4. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	25.0%	
5. その他()	9.8%	無回答 1.8%

問9-2 問9で「3.」または「4.」とお答えの方におうかがいします。

知人・友人にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=94

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	26.6%	
2. 負担をかけていることが心苦しい	52.1%	
3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	4.3%	
4. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	30.9%	
5. その他()	7.4%	無回答 4.3%

■ すべての方に、あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします。

問10 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者含む)をおうかがいします。

(1) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	92.2%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.3%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1.3%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.0%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	0.7%
6. これまで就労したことがない	0.0%
無回答	5.5%

→ (1)-3へ

(1)父親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方におうかがいします。

(1)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
 日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり 日 1日あたり(残業含む) 時間
 家を出る時間 時 ~ 帰宅時間 時
 ※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 ~ 18時

(1)父親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方におうかがいします。

(1)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=12

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	8.3%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	41.7%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	33.3%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	0.0%
無回答	16.7%

(1)父親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方におうかがいします。

(1)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。

n=6

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	0.0%
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったときに就労したい	0.0%
3. すぐにではないが、1年以内に就労したい	50.0%
4. すぐにでも就労したい	33.3%
無回答	16.7%

希望する就労形態 ⇒

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	100.0%
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	0.0%
無回答	0.0%

1週あたり 日 1日あたり 時間を希望

n=5

(2) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	41.1%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15.3%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	9.9%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.8%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	29.3%
6. これまで就労したことがない	0.8%
(2)-3へ	無回答 2.8%

(2)母親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方におうかがいします。

(2)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり	<input type="text"/> 日	1日あたり(残業含む)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	
家を出る時間	<input type="text"/>	時	~	帰宅時間	<input type="text"/>	時
※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 ~ 18時						

(2)母親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方におうかがいします。

(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=96

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	13.5%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	25.0%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	43.8%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	3.1%
無回答	14.6%

(2)母親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方におうかがいします。

(2)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号 それぞれ1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。

n=270

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	26.3%
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったころに就労したい	45.9%
3. すぐにではないが、1年以内に就労したい	10.4%
4. すぐにでも就労したい	7.0%
無回答	10.4%
希望する就労形態 →	
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	18.7%
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	58.5%
無回答	22.8%
→ 1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/>	時間を希望
n=171	

■ すべての方に、あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についておうかがいします。

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
 具体的には、幼稚園や保育所など、問11-1 に示した事業が含まれます。

問11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=897

1. 利用している 74.4% 2. 利用していない 24.9% → 問11-5へ 無回答 0.8%

問11-1～問11-4は、問11で「1.」とお答えの方におうかがいします。

問11-1 平日どのような事業を利用していますか。
 年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n=667

1. 区立幼稚園	通常の就園時間の利用	8.7%
2. 国立大学付属幼稚園	通常の就園時間の利用	1.0%
3. 私立幼稚園	通常の就園時間の利用	20.4%
4. 区立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	1.9%
5. 私立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	4.5%
6. 認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を合わせ持つ施設	1.5%
7. 区立認可保育園	認可保育所	23.4%
8. 私立認可保育園	認可保育所	30.7%
9. 家庭的保育事業(保育ママ)	保育者の家庭等で少人数(定員5人以下)の子どもを保育する事業	0.0%
10. 小規模保育事業(0～2歳)	区の認可事業。少人数(定員6～19人)を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと保育を行う事業	0.9%
11. 事業所内保育事業	企業の事業所の保育施設などで、従業員の子どものもと区の子どもと一緒に保育する事業	0.7%
12. 居宅訪問型保育事業	医療的ケアや個別のケアが必要な場合などに、自宅において1対1で保育を行う事業	0.6%
13. 臨時保育所	認可保育所待機児童を対象に、1年間の期間限定で保育を行う公設の保育施設	0.1%
14. 定期利用保育事業	私立認可保育所の一部スペースを活用し、認可保育所待機児童を対象に、期間限定で保育を行う事業	0.6%
15. 東京都認証保育所	認可保育所ではないが、東京都が認証した施設	3.1%
16. 企業主導型保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設で、区民が利用できる場合もある施設	1.3%
17. グループ保育室	少人数(定員12人)を対象に、区の保育士が保育を行う公設の小規模な保育室	0.4%
18. その他の認可外の保育施設		5.1%
19. ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業	0.6%
20. 療育機関	発達上の課題があり、特別な支援を必要とする子どもに対し、専門的な訓練や相談等を行う機関	3.1%
21. その他()		2.4%
無回答		0.6%

問11-2 平日に利用している事業について、現在、どのくらい利用していますか。
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
 「1週あたり何日」、「1日あたり何時間(何時から何時まで)」かを**数字でご記入**ください。
 ※ 複数の事業等をご利用・ご希望の場合は、すべてを合算した内容でご記入ください。

(1) 現在の状況

1週あたり <input type="text"/> 日	1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 24時間制で記入(例)9時~18時 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで </div>
------------------------------	--	---

(2) 現在の希望

1週あたり <input type="text"/> 日	1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 24時間制で記入(例)9時~18時 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで </div>
------------------------------	--	---

問11-3 現在、主に利用している事業の実施場所について、あてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。 n=667

1. 文京区内	86.4%	2. 文京区外	13.0%	無回答	0.6%
---------	-------	---------	-------	-----	------

問11-4 平日に利用している理由として、あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。 n=667

1. 子どもの教育や発達のため	50.4%		
2. 保護者が現在就労している	70.5%		
3. 保護者が就労予定がある／求職中である	3.0%		
4. 保護者が家族・親族などを介護している	0.3%		
5. 保護者に病気や障がいがある	1.3%		
6. 保護者が学生である	1.0%		
7. その他()	2.1%	無回答	0.7%

→ 問12へ

問11-5は、問11で「2.利用していない」とお答えの方におうかがいします。

問11-5 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由についておうかがいします。理由としてあてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。 n=223

1. 利用する必要がない	29.1%		
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	8.5%		
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	0.4%		
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	31.4%		
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	6.3%		
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1.3%		
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	3.6%		
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ (<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)	48.0%		
9. その他()	8.1%	無回答	0.9%

すべての方におうかがいします。

問12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業を【A】にお答えください。

また、国において検討する「幼児教育の無償化」(一定の条件において、幼稚園、保育園等の費用を無償化すること)が実施された場合、利用したいと考える事業を【B】にお答えください。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

※ なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

※ 幼児教育の無償化とは

現在、平成31年(2019年)10月からの実施に向けて、以下のとおり、国が検討を行っています。

n=897

- ① 3～5歳児は認可保育所、認定こども園、幼稚園等を一律に無償化
- ② 0～2歳児は住民税非課税世帯に限り無償化
- ③ 認可外保育施設についても、保育の必要性があると認定された子どもであつて、認可保育所や認定こども園、幼稚園等を利用できていない世帯を対象に、月額3.7万円(0歳から2歳児については月額4.2万円)を上限額として補助

(○はいくつでも)

【A】	【B】
定期的に 利用を希望	無償化の場合 利用を希望

		↓	↓
1. 区立幼稚園	通常の就園時間の利用	38.8%	23.5%
2. 国立大学付属幼稚園	通常の就園時間の利用	35.1%	22.4%
3. 私立幼稚園	通常の就園時間の利用	39.4%	31.7%
4. 区立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	34.1%	27.4%
5. 私立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	33.1%	33.2%
6. 認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を合わせ持つ施設	37.3%	28.8%
7. 区立認可保育園	認可保育所	50.9%	35.9%
8. 私立認可保育園	認可保育所	43.4%	33.0%
9. 家庭的保育事業(保育ママ)	保育者の家庭等で少人数(定員5人以下)の子どもを保育する事業	4.1%	6.9%
10. 小規模保育事業(0～2歳)	区の認可事業。少人数(定員6～19人)を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと保育を行う事業	6.1%	8.0%
11. 事業所内保育事業	企業の事業所の保育施設などで、従業員の子どもの区の子どもと一緒に保育する事業	8.9%	9.8%
12. 居宅訪問型保育事業	医療的ケアや個別のケアが必要な場合などに、自宅において1対1で保育を行う事業	5.9%	10.0%
13. 臨時保育所	認可保育所待機児童を対象に、1年間の期間限定で保育を行う公設の保育施設	5.6%	7.2%
14. 定期利用保育事業	私立認可保育所の一部スペースを活用し、認可保育所待機児童を対象に、期間限定で保育を行う事業	4.5%	7.0%
15. 東京都認証保育所	認可保育所ではないが、東京都が認証した施設	11.0%	13.4%
16. 企業主導型保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設で、区民が利用できる場合もある施設	7.0%	8.4%
17. グループ保育室	少人数(定員12人)を対象に、区の保育士が保育を行う公設の小規模な保育室	5.2%	7.5%
18. その他の認可外の保育施設		3.8%	7.4%
19. ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業	10.9%	13.7%
20. 療育機関	発達上の課題があり、特別な支援を必要とする子どもに対し、専門的な訓練や相談等を行う機関	5.2%	5.2%
21. その他		2.2%	1.3%
22. 特にない	→ 問13へ	2.0%	3.9%
無回答		3.1%	25.1%

問12-1 問12【A】で、「1.」～「21.」のいずれかに○をつけた方へおうかがいします。
教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。いずれか1つに○をつけてください。

n=851

1. 文京区内	94.7%	2. 文京区外	3.2%	無回答	2.1%
---------	-------	---------	------	-----	------

問12-2 問12【A】で、「1.」～「5.」のいずれかに○をつけ、かつ「6.」～「21.」にも○をつけた方へおうかがいします。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。いずれか1つに○をつけてください。

n=356

1. はい	75.8%	2. いいえ	20.8%	無回答	3.4%
-------	-------	--------	-------	-----	------

■ すべての方に、あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についておうかがいします。

問13 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※ なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

n=897

1. 定期的にご利用する希望はない	65.2%	利用したい時間帯(24時間制で記入) <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時まで (例)9時~18時
2. ほぼ毎週定期的にご利用したい	6.1%	
3. 月に1~2回は定期的にご利用したい	25.1%	
無回答	3.6%	

(2) 日曜日・祝日

n=897

1. 定期的にご利用する希望はない	78.3%	利用したい時間帯(24時間制で記入) <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時まで (例)9時~18時
2. ほぼ毎週定期的にご利用したい	1.4%	
3. 月に1~2回は定期的にご利用したい	16.1%	
無回答	4.2%	

問13-1 問13の(1)または(2)で、「3.」とお答えの方におうかがいします。

毎週でなく、「月に1~2回」利用したい理由は何ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=263

1. 毎週仕事が入っているため	4.9%
2. 月に数回仕事が入るため	51.7%
3. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	47.9%
4. 親等の親族の介護や手伝いが必要なため	4.6%
5. リフレッシュのため	48.3%
6. その他()	10.3%
無回答	0.8%

「幼稚園」を利用されている方(問11-1で「1.」～「3.」とお答えの方)におうかがいします。

(該当しない方は、問15へお進みください)

問14 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※ なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

n=201

1. 利用する希望はない	23.9%	→	利用したい時間帯 (24時間制で記入)	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	21.9%		<input type="text"/>	時 ~ <input type="text"/>
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	52.2%		<input type="text"/>	時まで
無回答	2.0%		(例)9時~18時	

問14-1 問14で、「3.」とお答えの方におうかがいします。

毎日ではない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=105

1. 週に数回仕事が入るため	21.9%
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	58.1%
3. 親等の親族の介護や手伝いが必要なため	5.7%
4. リフレッシュのため	62.9%
5. その他()	21.9%
無回答	0.0%

■ あて名のお子さんの病気の際の対応についておうかがいします。

平日の教育・保育の事業を利用している方(問11で「1.利用している」とお答えの方)におうかがいします。

→ 該当しない方は問16へお進みください。

問15 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで平日の教育・保育の事業を利用しなかったことはありますか。いずれか1つに○をつけてください。

n=667

1. ある	90.1%	2. ない	6.7%	→ 問16へ	無回答	3.1%
-------	-------	-------	------	--------	-----	------

問15-1 問15で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

病気やケガで普段利用している事業を利用しなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ日数も数字でご記入ください。

※ 半日程度の対応の場合も1日としてカウントしてください。

n=601

		1年間の対処方法 (○はいくつでも)	1年間の日数	
問15-2へ ←	1.	父親が仕事を休んで子どもを見た	39.8%	<input type="text"/> 日
	2.	母親が仕事を休んで子どもを見た	73.0%	<input type="text"/> 日
問15-5へ ←	3.	親族・知人に子どもを看てもらった	33.9%	<input type="text"/> 日
	4.	父親または母親のうち就労してない方が子どもを見た	25.1%	<input type="text"/> 日
	5.	区の病児・病後児保育施設を利用した	5.0%	<input type="text"/> 日
	6.	民間の病児・病後児の保育施設を利用した	2.2%	<input type="text"/> 日
	7.	ベビーシッターによる病児・病後児の保育を利用した	6.3%	<input type="text"/> 日
	8.	ファミリー・サポート・センターを利用した	0.0%	<input type="text"/> 日
	9.	子どもだけで留守番させた	0.2%	<input type="text"/> 日
	10.	その他()	2.0%	<input type="text"/> 日
		無回答	0.5%	

問15-1で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

問15-2 父親または母親が仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。

※ なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

※ また、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。

n=450

- | | | | | | |
|-----------------------|-------|--------|----------------------|----------------------|------|
| 1. 病児・病後児保育施設を利用したかった | 42.2% | ⇒ 1年間に | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 利用したいと思わなかった | 50.7% | → | 問15-4へ | | |
| 無回答 | 7.1% | | | | |

問15-3 問15-2で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われませんか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=190

- | | |
|--|-------|
| 1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業 | 65.3% |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 | 91.6% |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) | 15.8% |
| 4. その他() | 4.2% |
| 無回答 | 1.1% |

問15-4 問15-2で、「2. 利用したいと思わなかった」とお答えの方におうかがいします。

そう思われる理由について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=228

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 56.6% |
| 2. 事業の質に不安がある | 14.9% |
| 3. 事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない | 39.5% |
| 4. 利用料の負担 | 17.5% |
| 5. 親が仕事を休んで対応する | 38.6% |
| 6. その他() | 28.1% |
| 無回答 | 1.8% |

問15-1で、「3.」~「10.」のいずれかにお答えの方におうかがいします。

(該当しない方は、問16へお進みください)

問15-5 その際、「父親または母親のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけ、問15-1の「3.」~「10.」の日数のうち、仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

n=389

- | | | | | | | | |
|------------------------|-------|--------|----------------------|----------------------|------|--------|-------|
| 1. 仕事を休んで見たかった | 23.7% | ⇒ 1年間に | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日くらい | } 問16へ | |
| 2. 仕事を休みたいとは思わなかった | 13.9% | | | | | | |
| 3. 仕事を休んで看ることは非常に難しかった | 40.9% | | | | | 無回答 | 21.6% |

問15-6 問15-5で、「3.」とお答えの方におうかがいします。

そう思われる理由についてあてはまる答えの番号をすべてに○をつけてください。

n=159

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 36.5% |
| 2. 自営業なので休めない | 12.6% |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 20.1% |
| 4. その他() | 49.1% |
| 無回答 | 1.3% |

■ すべての方に、あて名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についておうかがいします。

問16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している一時預かり事業はありますか。ある場合は、あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も数字でご記入ください。 n=897

1年間で利用している事業 (○はいくつでも)		1年間の利用日数
1. 一時保育所(キッズルーム)での一時預かり	10.3%	<input type="text"/> 日
2. 区立保育園での一時預かり(緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業)	6.7%	<input type="text"/> 日
3. 私立保育園・認証保育所等での一時預かり	1.8%	<input type="text"/> 日
4. 区立幼稚園の預かり保育	2.5%	<input type="text"/> 日
5. 私立幼稚園の預かり保育	6.2%	<input type="text"/> 日
6. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	1.0%	<input type="text"/> 日
7. ショートステイ(児童福祉施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0.3%	<input type="text"/> 日
8. トワイライトステイ(児童福祉施設等で夜間、子どもを保護する事業)	0.6%	<input type="text"/> 日
9. 区が行っているベビーシッター(「子育て訪問支援券事業」など)	6.5%	<input type="text"/> 日
10. 民間のベビーシッター	5.7%	<input type="text"/> 日
11. その他の事業()	1.1%	<input type="text"/> 日
12. 利用していない	63.5%	無回答 3.1%

問17へ

問16-1 問16で、「12.」とお答えの方におうかがいします。

現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

n=570

1. 特に利用する必要がない	57.2%	5. 空かないなど利用したい時に利用しにくい	22.5%
2. 利用したい事業が地域にない	4.0%	6. 利用料の負担	19.5%
3. 事業の質に不安がある	10.9%	7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	10.0%
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	13.9%	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない	13.0%
		9. その他()	10.0%
		無回答	1.6%

すべての方におうかがいします。

問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

n=897

1. 利用したい	67.2%	n=603	計 <input type="text"/> 日
ア. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	78.8%	<input type="text"/> 日	問17-1へ
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	64.3%	<input type="text"/> 日	
ウ. 不規則の就労	24.9%	<input type="text"/> 日	
エ. その他()	6.0%	<input type="text"/> 日	
無回答	0.5%		
2. 利用する必要はない	28.7%	→ 問18へ	
無回答	4.1%		

問17-1 問17で、「1. 利用したい」とお答えの方におうかがいします。

私用等の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=603

1. 一時保育専用施設での一時預かり	59.9%
2. 保育園での一時預かり	61.9%
3. 幼稚園の預かり保育	50.2%
4. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	15.6%
5. ベビーシッター	29.0%
6. その他の事業()	1.7%
無回答	1.0%

すべての方におうかがいします。

問18 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

n=897	1年間の対処方法 (○はいくつでも)	n=201	1年間の利用泊数
1. あった ⇒ 22.4%	ア. 親族・知人にみてもらった	81.6%	<input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(乳幼児ショートステイ事業、子どもショートステイ事業)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	1.5%	<input type="text"/> 泊
	ウ. イ.以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	2.0%	<input type="text"/> 泊
	エ. 子どもを同行させた	18.9%	<input type="text"/> 泊
	オ. 子どもだけで留守番をさせた	1.5%	<input type="text"/> 泊
	カ. その他()	2.5%	<input type="text"/> 泊
	無回答	0.5%	
2. なかった 75.8% 無回答 1.8%	→ 問19へ		

問18-1 問18で、「1. あった ア.親族・知人にみてもらった」とお答えの方におうかがいします。

(「ア。」以外を選択した方は 問19へお進みください)

その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=164

1. 非常に困難 26.2%	2. どちらかという困難 42.1%	3. 特に困難ではない 29.9%
		無回答 1.8%

■ すべての方に、あて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業(子育てひろば等)の利用状況についておうかがいします。

問19 あて名のお子さんは、次の施設を利用していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけて、利用している場合はおおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

n=897

1. 子育てひろば、こまびよのおうちでの親子の交流や相談(地域子育て支援拠点施設)	24.1%	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
2. ぴよぴよひろば(子ども家庭支援センター)	12.4%	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
3. 保育園の乳幼児子育て相談・地域子育てステーション等	2.7%	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
4. 児童館の館内開放や乳幼児プログラム等	26.4%	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
5. 保健サービスセンター(相談や交流の場)	4.2%	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
6. 利用していない	55.2%	
無回答	2.0%	

問20 問19にある施設を、今後利用したいと思いますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけて、おおよそのその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

※ 複数の施設の利用を希望される場合は、すべてを合算した内容でご記入ください。

n=897

1. 利用していないが、今後利用したい	18.7%	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり <input type="text"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	15.4%	増やしたい分をご記入ください 1週あたり さらに <input type="text"/> 回 もしくは、1ヵ月あたり さらに <input type="text"/> 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	63.4%	
無回答	2.5%	

■ あて名のお子さんが、平成31年4月に小学校へ入学される方に小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

→ 該当しない方は問25へお進みください。

問21 小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「5. 区立の育成室〔学童保育〕」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

n=141

1. 自宅	44.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	9.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	56.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く)	9.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学生低学年(1～3年生)を対象としています なお、要配慮児は6年生までを対象としています〕	44.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型の学童保育サービス	7.1%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. 民間の学童保育サービス	21.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	24.1%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	1.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	1.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	11.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
無回答	3.5%	

問22 小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「5. 区立の育成室〔学童保育〕」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。
※ だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

n=141

1. 自宅	57.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	9.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	82.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く)	17.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学生低学年(1～3年生)を対象としています なお、要配慮児は6年生までを対象としています〕	20.6%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型の学童保育サービス	5.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. 民間の学童保育サービス	14.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	23.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	1.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	1.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	15.6%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
無回答	4.3%	

問21 または 問22で、「5. 区立の育成室〔学童保育〕」とお答えの方におうかがいします。

(該当しない方は、問25へお進みください)

問23 **土曜日と日曜日・祝日に、定期的な「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。**(1)(2)それぞれについて、あてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。
また、利用したい時間帯を**数字**でご記入ください。

※ 現在は、小学生低学年(1～3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、土曜日は8時30分から17時までの時間帯で利用できます。また、日曜日・祝日の利用はできません。

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

(1) 土曜日

n=63

<table border="0"> <tr> <td>1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい</td> <td style="text-align: right;">17.5%</td> </tr> <tr> <td>2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい</td> <td style="text-align: right;">17.5%</td> </tr> <tr> <td>3. 利用希望はない</td> <td style="text-align: right;">63.5%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">1.6%</td> </tr> </table>	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	17.5%	2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	17.5%	3. 利用希望はない	63.5%	無回答	1.6%	→	<p>利用したい時間帯 (24時間制で記入)</p> <p><input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時まで</p> <p>(例)9時～18時</p>
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	17.5%									
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	17.5%									
3. 利用希望はない	63.5%									
無回答	1.6%									

(2) 日曜日・祝日

n=63

<table border="0"> <tr> <td>1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい</td> <td style="text-align: right;">7.9%</td> </tr> <tr> <td>2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい</td> <td style="text-align: right;">9.5%</td> </tr> <tr> <td>3. 利用希望はない</td> <td style="text-align: right;">82.5%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">0.0%</td> </tr> </table>	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	7.9%	2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	9.5%	3. 利用希望はない	82.5%	無回答	0.0%	→	<p>利用したい時間帯 (24時間制で記入)</p> <p><input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時まで</p> <p>(例)9時～18時</p>
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	7.9%									
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	9.5%									
3. 利用希望はない	82.5%									
無回答	0.0%									

問24 **お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。**あてはまる答えの番号**1つ**に○をつけてください。
また、利用したい時間帯を**数字**でご記入ください。

※ 現在、育成室の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用は、小学生低学年(1～3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、8時15分から18時30分まで(土曜日は8時30分から17時まで)の時間帯で利用できます。

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

n=63

<table border="0"> <tr> <td>1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい</td> <td style="text-align: right;">39.7%</td> </tr> <tr> <td>2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい</td> <td style="text-align: right;">54.0%</td> </tr> <tr> <td>3. 利用希望はない</td> <td style="text-align: right;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">6.3%</td> </tr> </table>	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	39.7%	2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	54.0%	3. 利用希望はない	0.0%	無回答	6.3%	→	<p>利用したい時間帯 (24時間制で記入)</p> <p><input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時まで</p> <p>(例)9時～18時</p>
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	39.7%									
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	54.0%									
3. 利用希望はない	0.0%									
無回答	6.3%									

■ すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についておうかがいします。

問25 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をご記入ください。

(1) 父親 (○は1つ)	n=897	(2) 母親 (○は1つ)	n=897
1. 働いていなかった	0.6%	1. 働いていなかった	30.9%
2. 取得した(取得中である)	6.4%	2. 取得した(取得中である)	56.3%
3. 取得していない	87.2%	3. 取得していない	10.3%
無回答	5.9%	無回答	2.6%
<p>取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)</p>		<p>取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)</p>	

取得していない理由 (あてはまる答えの番号を上枠の中にご記入ください)		
	(1)父親 n=782	(2)母親 n=92
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	36.1%	16.3%
2. 仕事が忙しかった	50.6%	19.6%
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	0.3%	19.6%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった(自身のスキル低下、休業に伴う退職勧告等)	5.5%	10.9%
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	9.3%	3.3%
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	22.9%	19.6%
7. 保育所(園)などに預けることができた	2.9%	16.3%
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	36.1%	1.1%
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	21.2%	3.3%
10. 子育てや家事に専念するため退職した	0.0%	22.8%
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	10.6%	19.6%
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	0.6%	13.0%
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	1.0%	0.0%
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0.0%	0.0%
15. その他()	9.3%	21.7%
無回答	0.9%	3.3%

すべての方におうかがいします。

■ 以下の仕組みをお読みください。

- 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み
- 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

問25-1 この仕組みをご存じでしたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=897

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	45.6%
2. 育児休業給付のみ知っていた	31.4%
3. 保険料免除のみ知っていた	1.2%
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	20.1%
無回答	1.7%

問25-2～問25-9は、問25で父親もしくは母親が、育児休業を「2. 取得した(取得中である)」とお答えの方におうかがいします。

(父親も母親も該当しない方は、問26へお進みください)

問25-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 父親 (○は1つ) n=57	(2) 母親 (○は1つ) n=505
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 89.5%	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 76.6%
2. 現在も育児休業中である 3.5% → 問25-9へ	2. 現在も育児休業中である 16.4% → 問25-9へ
3. 育児休業中に離職した 1.8% → 問26へ	3. 育児休業中に離職した 6.1% → 問26へ
無回答 5.3%	無回答 0.8%

問25-3 問25-2で、「1.」とお答えの方におうかがいします。
(父親も母親も該当しない方は、問25-9へお進みください)

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 父親 (○は1つ) n=51	(2) 母親 (○は1つ) n=387
1. 年度初めの入所に合わせた タイミングだった 5.9%	1. 年度初めの入所に合わせた タイミングだった 70.3%
2. それ以外だった 94.1%	2. それ以外だった 28.7%
無回答 0.0%	無回答 1.0%

問25-4 「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
数字でご記入ください。

(1) 父親		(2) 母親	
■ 実際	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	■ 実際	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
■ 希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	■ 希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問25-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては
お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

(1) 父親	(2) 母親
■ 3歳まで休暇取得 できる制度が あった場合の希望	■ 3歳まで休暇取得 できる制度が あった場合の希望
<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問25-6 問25-4で、実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。
(父親も母親も該当しない方は、問25-7へお進みください)

希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 「希望」より早く復帰した方

(1) 父親 (○はいくつでも) n=13	(2) 母親 (○はいくつでも) n=201
1. 希望する保育所に入るため 7.7%	1. 希望する保育所に入るため 83.6%
2. 配偶者や家族の希望があったため 0.0%	2. 配偶者や家族の希望があったため 3.5%
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 38.5%	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 14.4%
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 23.1%	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 11.4%
5. 職場からの要請や自らの仕事や地位を失わないため 61.5%	5. 職場からの要請や自らの仕事や地位を失わないため 25.9%
6. その他() 15.4%	6. その他() 10.4%
無回答 0.0%	無回答 2.5%

2. 「希望」より遅く復帰した方

(1) 父親 (○はいくつでも) n=1	(2) 母親 (○はいくつでも) n=63
1. 希望する保育所に入れなかったため 0.0%	1. 希望する保育所に入れなかったため 57.1%
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 0.0%	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 4.8%
3. 配偶者や家族の希望があったため 0.0%	3. 配偶者や家族の希望があったため 0.0%
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 0.0%	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 4.8%
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 0.0%	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 14.3%
6. その他() 0.0%	6. その他() 6.3%
無回答 100.0%	無回答 33.3%

問25-7 問25-2で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方におうかがいします。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 父親 (○は1つ) n=51	(2) 母親 (○は1つ) n=387
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった など) 72.5%	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった など) 17.6%
2. 利用した 2.0%	2. 利用した 63.0%
3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) 19.6%	3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) 17.3%
無回答 5.9%	無回答 2.1%
→ 問25-8へ	→ 問25-8へ

問25-8 問25-7で、「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」とお答えの方におうかがいします。

(父親も母親も該当しない方は、問25-9へお進みください)

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

あてはまる答えの理由をすべてに○をつけてください。

(1) 父親

n=10

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	70.0%
2. 仕事が忙しく、短時間勤務ではこなせなかった	90.0%
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	40.0%
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	10.0%
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	30.0%
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた	50.0%
7. 子育てや家事に専念するため退職した	0.0%
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	20.0%
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0.0%
10. 短時間勤務を利用しなくても支障がなかった	0.0%
11. その他()	0.0%
無回答	0.0%

(2) 母親

n=67

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	37.3%
2. 仕事が忙しく、短時間勤務ではこなせなかった	38.8%
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	34.3%
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	41.8%
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0.0%
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた	3.0%
7. 子育てや家事に専念するため退職した	1.5%
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	19.4%
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	1.5%
10. 短時間勤務を利用しなくても支障がなかった	1.5%
11. その他()	7.5%
無回答	1.5%

問25-9 問25-2で、「2. 現在も育児休業中である」とお答えの方におうかがいします。

(父親も母親も該当しない方は、問26へお進みください)

あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育園など)があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 父親 (○は1つ)	n=2	(2) 母親 (○は1つ)	n=83
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	100.0%	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	90.4%
2. 1歳になる前に復帰したい	0.0%	2. 1歳になる前に復帰したい	7.2%
無回答	0.0%	無回答	2.4%

■ すべての方に、子育てのイメージや子育ての不安や悩みなどについておうかがいします。

問26 あなたは、子育てを楽しいと思えますか。それとも辛いと思えますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. 楽しいと感じることの方が多い	68.3%
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	26.6%
3. 辛いと感じることの方が多い	3.1%
4. その他()	0.8%
無回答	1.1%

問27 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=897

1. 自分の時間がとれず、自由がない	62.5%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するように感じる	16.5%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	50.4%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している	3.3%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う	14.3%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	21.6%
7. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である	32.9%
8. 子どもの進路や進学のこと	40.7%
9. 子育てに伴う経済的な負担が大きい	24.6%
10. 子どもを邪魔に感じる時がある	4.8%
11. その他()	8.5%
12. 特に不安や悩みはない	8.4%
無回答	1.3%

問28 あなたは、児童虐待や不適切な子育てを防止するために、どうすれば効果的と思えますか。
もっとも効果的だと思う答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. 相談窓口の充実(子ども家庭支援センターなど)	6.8%
2. 子育てを支援する施策の充実(一時預かりやホームヘルプサービスなど)	25.1%
3. 関係機関のネットワークの強化(区・児童相談所・学校・警察・医療機関など)	14.8%
4. 訪問相談や指導の強化(乳児家庭全戸訪問事業など)	10.9%
5. 虐待や不適切な子育てを防止する親力向上講座の開催	1.8%
6. 親同士の集まりでの経験談や意見交換などの自立的な活動の充実	8.4%
7. 児童虐待防止啓発活動	0.9%
8. 子育てしやすい地域社会の形成	23.4%
9. その他()	6.3%
無回答	1.7%

問29 子育て(教育を含む)で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所がありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=897

1. いる/ある 90.5%

2. いない/ない 7.6%

→ 問30へ

無回答 1.9%

問29-1 問29で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=812

1. 祖父母等の親族	79.4%	7. 幼稚園の先生	16.4%
2. 友人や知人	76.1%	8. 民生委員・児童委員	0.1%
3. 近所の人	10.1%	9. かかりつけの医師	18.1%
4. 子育て支援施設(児童館等)	7.0%	10. 文京区の子育て関連担当窓口 (子ども家庭支援センター・子育てひろばなど)	6.5%
5. 保健所・保健サービスセンター	4.3%	11. その他()	4.8%
6. 保育士	37.2%	無回答	0.4%

すべての方におうかがいします。

問30 周囲の身近な人、行政担当者などからどのようなサポートがあればよいと思いますか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=897

○は3つまで

1. 近所の人にちょっとした頼みごとをお願いできるとよい	16.2%
2. 子どもの問題行動や子どもが迷惑行為をした場合は、遠慮せず教えてほしい	23.0%
3. 屋外で子どもがひとりの(側に保護者がいない)ときに、危なくないか少し気にかけてほしい	27.2%
4. 行政の相談に応じる人の専門性を高めてほしい	12.3%
5. 育児休業を取得しやすい雰囲気づくり	11.6%
6. 職場の人に、子どもの病気など緊急時に仕事を休むことを理解してほしい	27.0%
7. 一時的に子どもを遊ばせる場所(親のリフレッシュや買い物など)	48.6%
8. 自転車の運転など交通ルールを守ってほしい	14.3%
9. 授乳やオムツ替えをする場所や設備	16.6%
10. ベビーカーでの移動への配慮(歩道の段差、信号がない、駅にエレベーターがないなど)	40.2%
11. その他()	6.9%
12. 特になし	1.4%
無回答	8.1%

すべての方におうかがいします。

問31 次のサービスで、知っているもの、利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。

①～⑯の事業ごとに、【A】【B】【C】のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

n=897

		【A】	【B】	【C】	
		知っている	これまでに 利用したことが ある	今後利用したい	
①	母親学級、両親学級	1. はい 87.4% 2. いいえ 5.0% 無回答 7.6%	1. はい 68.1% 2. いいえ 26.4% 無回答 5.5%	1. はい 32.6% 2. いいえ 53.1% 無回答 14.4%	
②	保健サービスセンターの親子交流の場や 相談サービス	1. はい 78.5% 2. いいえ 14.8% 無回答 6.7%	1. はい 47.3% 2. いいえ 45.6% 無回答 7.1%	1. はい 43.5% 2. いいえ 43.7% 無回答 12.8%	
③	子どもの発達と教育の相談をする総合相談室 (教育センター)	1. はい 55.0% 2. いいえ 39.6% 無回答 5.5%	1. はい 14.6% 2. いいえ 75.5% 無回答 9.9%	1. はい 46.4% 2. いいえ 41.6% 無回答 12.0%	
④	保育園や幼稚園の園庭等の開放	1. はい 77.5% 2. いいえ 16.7% 無回答 5.8%	1. はい 36.6% 2. いいえ 55.0% 無回答 8.5%	1. はい 66.3% 2. いいえ 23.1% 無回答 10.6%	
⑤	身近な地域に おける親子の 交流の場	A. 児童館 (乳幼児と保護者の居場所)	1. はい 89.5% 2. いいえ 3.6% 無回答 6.9%	1. はい 69.8% 2. いいえ 25.3% 無回答 4.9%	1. はい 69.9% 2. いいえ 18.1% 無回答 12.0%
		B. 子育てひろば	1. はい 83.1% 2. いいえ 9.9% 無回答 7.0%	1. はい 58.9% 2. いいえ 35.8% 無回答 5.4%	1. はい 57.5% 2. いいえ 29.9% 無回答 12.6%
		C. ぴよぴよひろば (子ども家庭支援センター内)	1. はい 78.8% 2. いいえ 14.7% 無回答 6.5%	1. はい 50.4% 2. いいえ 43.0% 無回答 6.6%	1. はい 45.6% 2. いいえ 42.0% 無回答 12.4%
⑥	子ども家庭支援センターの相談事業	1. はい 44.7% 2. いいえ 50.1% 無回答 5.2%	1. はい 9.0% 2. いいえ 80.5% 無回答 10.5%	1. はい 35.8% 2. いいえ 51.4% 無回答 12.8%	
⑦	子育て応援メールマガジン(きずなメール)	1. はい 44.7% 2. いいえ 48.8% 無回答 6.5%	1. はい 30.0% 2. いいえ 61.4% 無回答 8.6%	1. はい 35.5% 2. いいえ 52.4% 無回答 12.2%	
⑧	子育てガイド (区が発行する子育て支援情報誌)	1. はい 66.1% 2. いいえ 27.9% 無回答 6.0%	1. はい 47.0% 2. いいえ 44.5% 無回答 8.5%	1. はい 58.4% 2. いいえ 29.0% 無回答 12.6%	
⑨	ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1. はい 73.9% 2. いいえ 20.7% 無回答 5.4%	1. はい 10.0% 2. いいえ 80.8% 無回答 9.1%	1. はい 43.6% 2. いいえ 46.0% 無回答 10.4%	
⑩	子育て訪問支援券(ベビーシッター)	1. はい 72.0% 2. いいえ 23.1% 無回答 4.9%	1. はい 18.3% 2. いいえ 73.1% 無回答 8.6%	1. はい 50.6% 2. いいえ 38.5% 無回答 10.9%	
⑪	一時保育事業(キッズルーム)	1. はい 81.9% 2. いいえ 12.5% 無回答 5.6%	1. はい 22.3% 2. いいえ 69.9% 無回答 7.8%	1. はい 59.2% 2. いいえ 30.4% 無回答 10.4%	
⑫	緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)	1. はい 76.9% 2. いいえ 17.5% 無回答 5.6%	1. はい 18.6% 2. いいえ 73.4% 無回答 8.0%	1. はい 56.4% 2. いいえ 33.0% 無回答 10.6%	
⑬	病児・病後児保育事業	1. はい 77.3% 2. いいえ 17.8% 無回答 4.9%	1. はい 9.3% 2. いいえ 82.1% 無回答 8.7%	1. はい 53.8% 2. いいえ 36.0% 無回答 10.1%	
⑭	訪問型病児・病後児保育利用料助成 (ベビーシッター)	1. はい 51.7% 2. いいえ 43.4% 無回答 4.9%	1. はい 5.8% 2. いいえ 84.6% 無回答 9.6%	1. はい 50.8% 2. いいえ 38.7% 無回答 10.5%	
⑮	ショートステイ・トワイライトステイ事業	1. はい 46.6% 2. いいえ 48.6% 無回答 4.8%	1. はい 1.7% 2. いいえ 88.9% 無回答 9.5%	1. はい 29.7% 2. いいえ 59.3% 無回答 11.0%	
⑯	民生委員・児童委員への子育てや 児童問題の相談・援助	1. はい 42.8% 2. いいえ 52.1% 無回答 5.1%	1. はい 2.0% 2. いいえ 88.3% 無回答 9.7%	1. はい 29.7% 2. いいえ 59.5% 無回答 10.8%	

問32 「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」について、それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 希望する子どもの人数

n=897

1. 1人	4.8%	3. 3人	37.9%	5. 5人	1.3%	無回答	1.8%
2. 2人	49.1%	4. 4人	4.8%	6. その他	0.3%		

(2) 実際に持つことができると思う子どもの人数

n=897

1. 1人	25.0%	3. 3人	11.7%	5. 5人	0.3%	無回答	2.2%
2. 2人	59.0%	4. 4人	1.8%	6. その他	0.0%		

問32-1 問32で、「(2)実際に持つことができると思う子どもの人数」が「(1)希望する子どもの人数」より少なかった方におうかがいします。
(該当しない方は、問33へお進みください)

少なかったのはどうしてですか。次のうち、少なかった理由にあてはまる番号すべてに○をつけてください。また、**最大の理由の番号1つ**に○をつけてください。

(1)	(2)
あてはまる理由	最大の理由
n=456	n=456

	(1) あてはまる理由 n=456	(2) 最大の理由 n=456
1. 育児の体力的な問題	66.9%	7.2%
2. 育児の経済的負担が大きい	68.6%	24.8%
3. 育児の心理的負担が大きい	37.7%	5.5%
4. 年齢的な理由で難しい	61.2%	24.1%
5. やりたいことができなくなる	20.0%	1.1%
6. 仕事と育児の両立が難しい	54.4%	10.5%
7. 教育をめぐる状況に対して不安	25.9%	0.0%
8. 将来の教育費の負担が不安	61.6%	11.6%
9. 家が狭い	51.8%	3.1%
10. その他()	12.7%	8.8%
無回答	0.7%	3.3%

■ すべての方に、あて名のお子さんとの体験や、経済的なことについておうかがいします。

問33 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

n=897

A~Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	ある	ない			無回答
		金銭的な理由でない	時間の制約でない	その他の理由でない	
A. 海水浴に行く	50.7%	1.4%	8.2%	37.2%	2.3%
B. 博物館・科学館・美術館などに行く	75.9%	0.4%	2.6%	18.7%	2.3%
C. キャンプやバーベキューに行く	39.6%	1.2%	8.5%	48.2%	2.6%
D. スポーツ観戦や劇場に行く	52.5%	1.4%	4.3%	39.5%	2.2%
E. 遊園地やテーマパークに行く	81.3%	1.4%	1.8%	13.4%	2.1%

問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

n=897

A~Hそれぞれについて、している場合は「1」を、していない場合はあてはまる理由を「2」~「3」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	している	していない		無回答
		したくない	経済的にできない	
A. 毎月お小遣いを渡す	5.9%	83.1%	1.4%	9.6%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	91.8%	4.0%	1.0%	3.2%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	59.9%	24.7%	5.6%	9.8%
D. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	23.0%	56.9%	9.1%	11.0%
E. 誕生日のお祝いをする	96.0%	0.6%	0.2%	3.2%
F. 1年に1回くらい家族旅行に行く	88.2%	2.1%	5.5%	4.2%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	90.5%	4.9%	0.2%	4.3%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	86.4%	4.7%	0.3%	8.6%

問35 次のもののうち、**金銭的理由のため**にあなたの世帯にないものはありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=897

1. 子どもの年齢に合った本	0.4%	9. 電子レンジ	0.2%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	0.7%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む)	1.3%
3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	5.8%	11. インターネットにつながるパソコン	2.0%
4. 洗濯機	0.1%	12. 新聞の定期購読(ネット含む)	9.1%
5. 炊飯器	0.2%	13. 世帯専用のおふろ	0.2%
6. 掃除機	0.2%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	2.5%
7. 暖房機器	0.1%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	3.1%
8. 冷房機器	0.2%	16. あてはまるものはない	69.5%
		無回答	15.7%

■ すべての方に、子育て支援サービスについておうかがいします。

問36 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手(収集)していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=897

1. 区報「ぶんきょう」	74.0%	8. 子育てひろば・キッズルーム・児童館などの区の施設	28.8%
2. 区のホームページ	43.0%	9. 子ども家庭支援センター	2.2%
3. 区のツイッターやフェイスブック	3.6%	10. 保健サービスセンター	5.4%
4. 子育てガイド(情報誌)	14.6%	11. 教育センター	4.2%
5. 子育て応援メールマガジン	14.7%	12. 担当部署に問い合わせまたは直接来所	7.5%
6. 母と子の保健バッグ(妊娠届のとき配付)	16.8%	13. 友人・知人	26.9%
7. 保育園・幼稚園・学校	49.7%	14. その他()	1.2%
		無回答	3.1%

問37 あなたにとって役立つ、子育て支援に関する施設・サービスは何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=897

○を3つまで

1. 子育て支援に関する情報提供(情報誌、メールマガジン、区報など)	30.1%
2. 妊娠・出産、乳幼児健診などを支える保健医療体制の整備	23.9%
3. 相談支援体制の整備(子育ての不安や悩み・いじめや虐待防止など)	5.8%
4. 地域での相互扶助体制の整備(親同士の助け合い活動など)	6.2%
5. 定期的に利用できる保育サービスの充実	30.9%
6. リフレッシュ等のために利用できる一時預かりサービスの充実	33.1%
7. 男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備	22.7%
8. 確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備	28.1%
9. 非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実	5.6%
10. 乳幼児連れでも活動しやすいまちづくり	26.8%
11. 子育て家庭のための住宅施策の推進	9.9%
12. 障がいのある子どもに対する支援の充実	4.3%
13. 経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)	25.8%
14. その他()	2.2%
15. 特にない	2.1%
無回答	6.2%

問38 出産から4か月健診を受けるまでにどのような保健サービスを利用したいですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=897

1. 保健師の家庭訪問	46.5%	6. 赤ちゃん健診や健康相談	66.4%
2. 助産師の家庭訪問	51.3%	7. お父さん・お母さんと赤ちゃんの集まり	29.4%
3. 母乳相談・乳房ケア	58.1%	8. ショートステイ(産後ケア事業)	26.4%
4. 沐浴(もくよく)相談・指導	14.4%	9. 離乳食講習会	33.9%
5. 電話相談	19.8%	10. その他()	2.6%
		無回答	4.9%

■ すべての方に、あて名のお子さんの生活の安全・安心についておうかがいします。

問39 あなたの子どもが、何らかの事故や犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。 n=897

1. 強く感じる 18.8%	2. 少し感じる 63.4%	3. あまり感じない 15.1%	4. まったく感じない 1.6%
			無回答 1.1%

問39-1 問39で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。
そう感じる理由は何ですか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。 n=738

○は3つまで

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	13.4%
2. 近所の住民の顔をほとんど知らないから	17.3%
3. 子どもが一人で外出する際に、事件・事故にあうかもしれないから	47.3%
4. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	62.9%
5. 近所で子どもが巻き込まれた事件が発生したから	2.7%
6. 近所に交通量の多い道路があるから	54.7%
7. 近所に見通しの悪い道が多いから	12.5%
8. 近所に歩道や信号がない道路があるから	7.6%
9. 通学が遠いから	2.7%
10. その他()	8.0%
無回答	3.1%

すべての方におうかがいします。

問40 子どもの安全や犯罪防止についての情報を何によって入手(収集)していますか。(1)(2)について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

(1)	(2)
不審者情報	日常的な予防情報
n=897	n=897

	(1) 不審者情報 n=897	(2) 日常的な予防情報 n=897
1. 新聞	13.3%	19.5%
2. チラシ・パンフレット・小冊子など	6.4%	13.2%
3. テレビ	31.9%	41.6%
4. ラジオ	2.2%	4.1%
5. ホームページ、ブログなど	14.6%	19.8%
6. ツイッター、フェイスブックなどのSNS	14.2%	12.9%
7. 区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)	15.4%	10.9%
8. 保育所等からのメール配信(フェアキャスト等)	31.5%	18.6%
9. 警視庁からのメール配信(メールけいしちょう)	7.5%	4.2%
10. その他()	3.8%	2.5%
11. 特に活用している情報ツールはない	23.1%	20.1%
無回答	8.4%	15.2%

問41 万一、災害が起こり、避難所生活を余儀なくされた場合に、粉ミルクや調整用飲料水、離乳食などの乳幼児用の食料、ほ乳瓶や離乳食などの乳幼児用の食器、紙おむつ、ウェットティッシュ以外に、子育てをするにあたって、こういった物資が必要ですか。自由にご記入ください。

■ すべての方に、住環境についておうかがいします。

問42 現在のお住まいはどちらになりますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=897

1. 賃貸住宅(一戸建)	4.6%	3. 持家(一戸建)	16.5%	5. その他	2.0%
2. 賃貸住宅(集合住宅)	43.0%	4. 持家(集合住宅)	32.8%	無回答	1.1%

問43 子育てをする上で住宅や住宅の周りの環境について、どのような点が重要だと思いますか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=897

○を3つ選ぶ

1. 住宅の広さ・間取り	44.3%	7. 幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性	39.5%
2. 安全性や遮音性などの住宅の居住性能	31.8%	8. 通勤の利便性	19.7%
3. 子どもの遊び場・公園などの利便性	30.8%	9. 小児科などの医療機関への利便性	21.2%
4. 周辺の道路の歩行時の安全性	16.1%	10. 親戚や近隣の人たちとのつながり	9.7%
5. 静かな環境や治安のよさ	51.5%	11. その他()	1.6%
6. 子どもを預かってくれる託児・保育所などの利便性	15.6%	12. 特にない	0.1%
		無回答	4.3%

問44 子どもの遊び場として、どのような場所を利用していますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=897

1. 公園・児童遊園	89.3%	問44-2へ
2. 保育園・幼稚園等の園庭開放	23.1%	
3. 子育てひろば、児童館等、身近な地域における親子ひろば・交流の場	39.1%	
4. 自宅内	69.8%	
5. 友人宅内	23.1%	
6. その他()	7.7%	
無回答	1.1%	

問44-1 問44で、「1.」とお答えの方におうかがいします。
公園・児童遊園について、どの程度利用していますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=801

1. ほぼ毎日	11.1%	2. 週に2~3回程度	34.2%	3. 週に1回程度	33.8%	4. 月に1~2回程度	20.7%	無回答	0.1%
---------	-------	-------------	-------	-----------	-------	-------------	-------	-----	------

→ 問44-3へ

問44-2 問44で、「1.」に○をつけなかった方におうかがいします。
公園・児童遊園を利用していない理由は何ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=96

1. 近隣に公園・児童遊園がない	11.5%
2. 近隣の公園・児童遊園が狭い	19.8%
3. 公園・児童遊園に魅力ある施設がない	25.0%
4. 公園・児童遊園に緑や花が少ない	6.3%
5. 公園のトイレが利用しづらい	12.5%
6. 他の公園利用者のマナーが悪く遊びづらい	7.3%
7. その他()	46.9%
無回答	13.5%

すべての方におうかがいします。

問44-3 公園・児童遊園にどのような施設があればよいと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

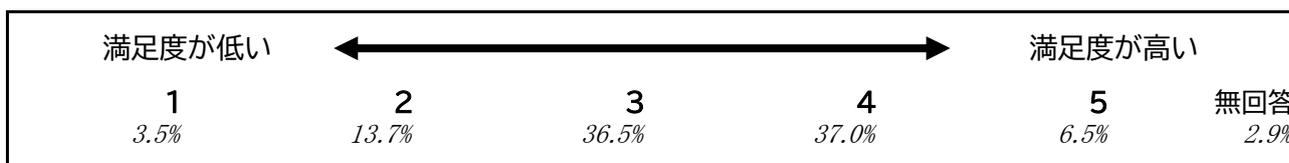
n=897

1. 広場	67.3%	5. トイレ	61.9%
2. 遊具	85.1%	6. 植栽等のみどり	41.2%
3. ベンチ	67.8%	7. その他()	18.6%
4. 水飲み	31.3%	無回答	2.6%

最後におうかがいします。

問45 区の子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

n=897



問46 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

数多くの質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。大切なお時間を頂戴し、恐縮しております。いただいた貴重なご回答は、施策の方向性、事業の量や内容を検討する基礎とし、今後の区の子育て支援施策の充実に生かしてまいります。なお、調査結果は、平成31年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、ご興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、平成30年10月26日(金)までにご投函ください。
(切手を貼る必要はございません)

文京区子育て支援に関するニーズ調査

～ 調査へのご協力をお願い ～

ご投函締切り

10月26日(金)

日頃より文京区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
文京区では、平成26年度に、「文京区次世代育成支援行動計画」と「文京区子ども・子育て支援事業計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画（平成27年度～31年度）」を策定することで、子どもの健やかな成長の支援や地域社会全体で子どもを育てる体制の構築などを推進し、“地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち”を目指しています。

この調査は、次期計画となる「子育て支援計画（平成32年度～36年度）」の策定に当たり、区民の皆さまの子育てやサービスの利用に関する状況や利用希望、ご意見等を把握するために実施するもので、0歳～中学生までの保護者と中高生世代本人を対象に無作為に抽出し、それぞれ該当の調査票をお送りさせていただきました。

ご回答いただきました内容は、子育ての当事者などが参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、プライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

質問数が多くご負担をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年10月

文京区長 成 澤 廣 修

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- アンケートは、お子さんの保護者をご記入ください。
- 回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、(○は1つ)、(○は3つまで)、(○はいくつでも)などと表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入してください。
- 数字(日数、回数、時間、年齢など)をご回答いただく場合は、一枠に一字ご記入ください。
- 時間をご回答いただく場合は、24時間制の時間単位でご記入ください。
分単位については、29分までを切り捨て、30分以上を1時間に切り上げてください。
(例) ①「8時45分」の場合⇒「9」時と記入 ②「18時15分」の場合⇒「18」時と記入
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。)

【 お問い合わせ先 】

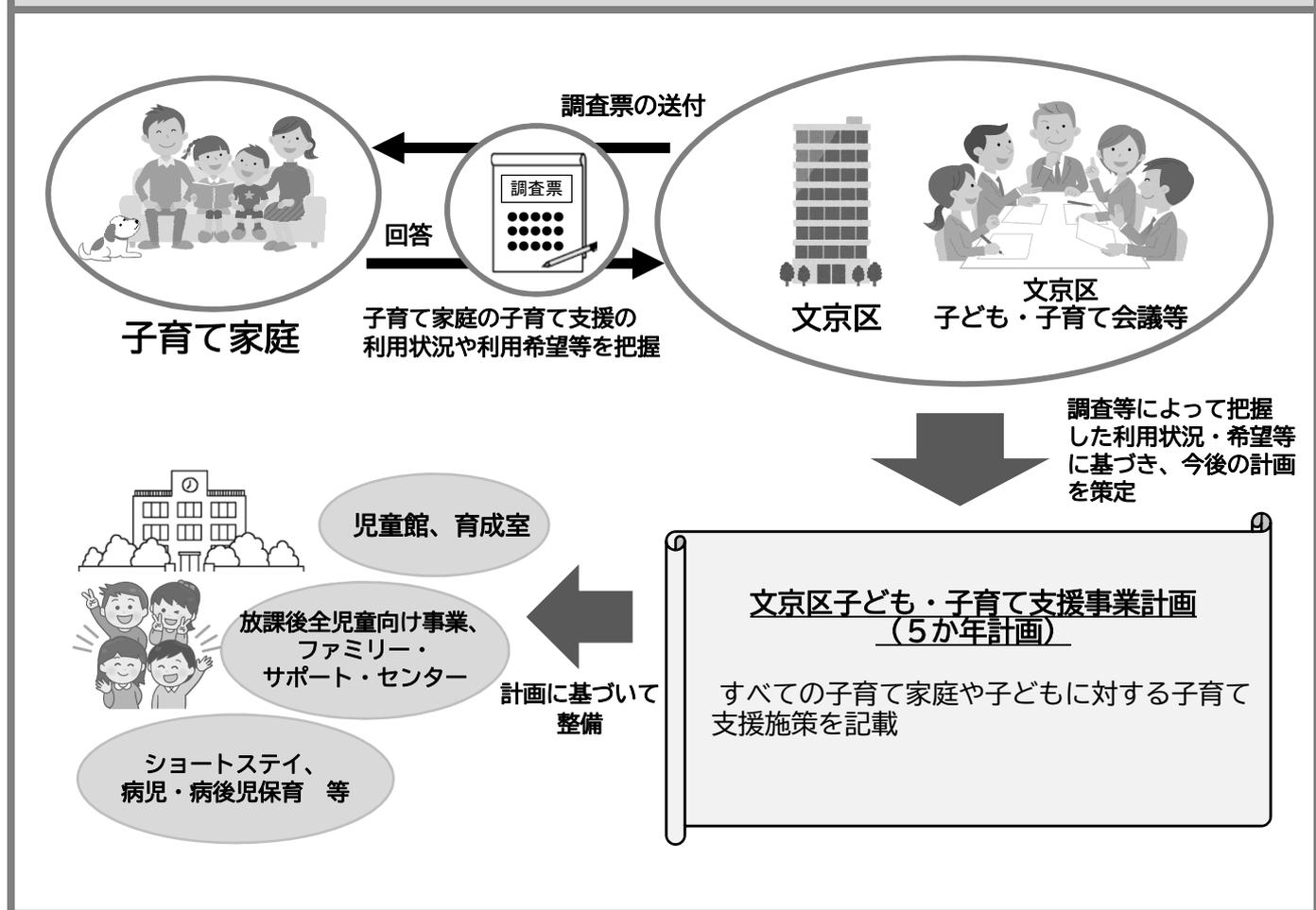
文京区 子ども家庭部 子育て支援課

〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号

電 話 : 03-5803-1256 (直通)

FAX : 03-5803-1345

いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます



- ご回答内容は、今後の文京区の子ども・子育て支援事業計画策定のための大変重要な資料となります。
- 現在、文京区の子ども・子育て支援事業や施設を利用されている方のみならず、利用されていない方のご意見も、今後の事業計画策定のために大切なデータとなります。
- 質問数が非常に多く、子育て中の皆様においてはご多忙の折、ご負担をおかけし、誠に申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、何卒ご協力くださいますよう改めてお願い申し上げます。
- なお、別紙に、「文京区の子育て支援サービスの一覧(用語の説明)」を同封しております。調査票ご回答時にご参照ください。

■ お住まいの地域についておうかがいします。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 後楽	0.3%	6. 水道	2.6%	11. 音羽	1.7%	16. 弥生	1.8%
2. 春日	3.3%	7. 小日向	3.9%	12. 本郷	8.3%	17. 根津	2.7%
3. 小石川	11.7%	8. 大塚	7.3%	13. 湯島	4.2%	18. 千駄木	8.1%
4. 白山	8.2%	9. 関口	2.6%	14. 西片	3.1%	19. 本駒込	13.7%
5. 千石	8.6%	10. 目白台	3.9%	15. 向丘	2.9%	無回答	1.3%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ 封筒のあて名のお子さんご家族についておうかがいします。

問2 あて名のお子さんの生年月と現在の学年をご記入ください。

n=769

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	生まれ	小学	<input type="text"/>	年生
1年生	16.9%	3年生	16.1%	5年生	17.2%	無回答	0.3%	
2年生	17.9%	4年生	15.6%	6年生	16.0%			

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。

また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

n=769

(あて名のお子さんを含めて)													
きょうだい数	<input type="text"/>	人	1人	29.0%	2人	50.1%	3人	15.0%	4人以上	2.1%	無回答	3.9%	
(2人以上の方)													
末子の生年月	平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	生まれ							
0歳	4.8%	2歳	7.2%	4歳	9.9%	6歳	9.7%	8歳	7.8%	10歳	7.6%	無回答	9.9%
1歳	5.0%	3歳	7.6%	5歳	10.1%	7歳	6.2%	9歳	7.9%	11歳	6.4%		

問4 この調査票にご回答(記入)いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 父親	12.6%	2. 母親	87.3%	3. その他	0.0%	無回答	0.1%
-------	-------	-------	-------	--------	------	-----	------

問5 この調査票にご回答(記入)いただいている方の配偶関係についてお答えください。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 配偶者がいる	92.7%	2. 配偶者がいない	7.2%	無回答	0.1%
-----------	-------	------------	------	-----	------

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に 行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係であてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 父母ともに	50.6%	3. 主に母親	47.7%	5. その他	0.3%
2. 主に父親	1.2%	4. 主に祖父母	0.3%	無回答	0.0%

■ 子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問7 小学校以外で、あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

1. 父母ともに	63.3%	4. 祖父母	24.2%	7. 習い事・塾の指導者	48.0%
2. 父親	6.8%	5. 育成室(学童保育)の指導員	18.1%	8. その他	5.6%
3. 母親	25.1%	6. 児童館の職員	7.3%	無回答	1.6%

問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

n=769

1. 家庭	94.3%	4. 育成室(学童保育)	19.6%	7. 療育機関	3.9%
2. 地域	25.7%	5. 児童館	6.4%	8. その他	2.2%
3. 小学校	90.6%	6. 習い事・塾	46.6%	無回答	1.3%

問9 あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	15.9%	→ 問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる	51.8%	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	3.5%	→ 問9-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には、みてもらえる友人・知人がいる	21.2%	
5. いずれもない	17.3%	→ 問10へ
無回答	12.7%	

問9-1 問9で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=490

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	42.2%
2. 負担をかけていることが心苦しい	24.9%
3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	9.8%
4. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	33.3%
5. その他()	11.0%
無回答	3.7%

問9-2 問9で「3.」または「4.」とお答えの方におうかがいします。

知人・友人にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=180

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	27.2%
2. 負担をかけていることが心苦しい	34.4%
3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	2.2%
4. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	36.1%
5. その他()	10.0%
無回答	2.2%

■ すべての方に、あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします。

問10 保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者含む)をおうかがいします。

(1) **父親** 【母子家庭の場合は記入は不要です】

父親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	87.6%	
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.5%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1.0%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.0%	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	0.1%	→ (1)-3へ
6. これまで就労したことがない	0.0%	
無回答	10.7%	

(1)父親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方におうかがいします。

(1)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり 日 1日あたり(残業含む) 時間

家を出る時間 時 ~ 帰宅時間 時

※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 ~ 18時

(1)父親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方におうかがいします。

(1)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=8

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	25.0%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	50.0%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	25.0%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	0.0%
無回答	0.0%

(1)父親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方におうかがいします。

(1)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。 n=1

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	0.0%
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったところに就労したい	100.0%
3. すぐにではないが、1年以内に就労したい	0.0%
4. すぐにでも就労したい	0.0%
無回答	0.0%

希望する就労形態 ⇒

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	0.0%
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	0.0%
無回答	100.0%

→ 1週あたり 日 1日あたり 時間を希望

(2) **母親** 【父子家庭の場合は記入は不要です】

母親の就労状況について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	33.3%	
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1.3%	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	26.0%	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.1%	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	31.2%	→ (2)-3へ
6. これまで就労したことがない	1.6%	
無回答	6.5%	

(2)母親で、「1.」~「4.」(就労している)とお答えの方におうかがいします。

(2)-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり 日 1日あたり(残業含む) 時間

家を出る時間 時 ~ 帰宅時間 時

※ 時間は必ず24時間制でお答えください → 記入例) 8時 ~ 18時

(2)母親で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)とお答えの方におうかがいします。

(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=201

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	6.5%
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	20.9%
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	62.2%
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて、子育てや家事に専念したい	2.0%
無回答	8.5%

(2)母親で、「5.」「6.」(現在就労していない・就労したことがない)とお答えの方におうかがいします。

(2)-3 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号 それぞれ1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。

n=252

1. 就労の希望はない(子育てや家事などに専念したいなど)	34.1%
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい	31.0%
3. すぐにではないが、1年以内に就労したい	18.3%
4. すぐにも就労したい	7.1%
無回答	9.5%

希望する就労形態 ⇒

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	11.3%
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	57.7%
無回答	31.0%

→ 1週あたり 日 1日あたり 時間を希望

n=142

■ すべての方に、子育てのイメージや不安・悩みなどについておうかがいします。

問11 あなたは、子育てを楽しいと思えますか。それとも辛いと思えますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 楽しいと感じることの方が多い	61.9%
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	32.1%
3. 辛いと感じることの方が多い	4.2%
4. その他()	0.8%
無回答	1.0%

問12 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

1. 自分の時間がとれず、自由がない	37.5%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するように感じる	8.5%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	36.4%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している	6.1%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う	12.2%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	18.5%
7. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である	36.5%
8. 子どもの進路や進学のこと	64.9%
9. 子どもの友人関係のこと	23.0%
10. 子育て(教育を含む)に伴う経済的な負担が大きいと感じる	33.8%
11. 子どもを邪魔に感じる時がある	3.6%
12. その他()	5.2%
13. 特に不安や悩みはない	8.5%
無回答	0.9%

問13 子育て(教育を含む)で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. いる/ある	84.4%	2. いない/ない	12.5%	→ 問14へ	無回答	3.1%
----------	-------	-----------	-------	--------	-----	------

問13-1 問13で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=649

1. 祖父母等の親族	72.3%	8. 塾・習い事の先生	23.4%
2. 友人や知人	78.3%	9. 民生委員・児童委員	0.2%
3. 近所の人	7.4%	10. かかりつけの医師	10.2%
4. 子育て支援施設(児童館等)	1.4%	11. 文京区の子育て関連担当窓口 (子ども家庭支援センター、教育センターなど)	5.7%
5. 育成室(学童保育)職員・指導員	7.4%	12. その他()	5.9%
6. 小学校の先生	23.9%	無回答	0.3%
7. スクールカウンセラー	5.7%		

すべての方におうかがいします。

問14 次のサービスで、知っているもの、利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。

①～⑳の事業ごとに、【A】【B】【C】のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

n=769

		【A】	【B】	【C】	
		知っている	これまでに 利用したことが ある	今後利用したい	
①	母親学級、両親学級	1. はい 83.5% 2. いいえ 10.3% 無回答 6.2%	1. はい 54.2% 2. いいえ 39.0% 無回答 6.8%		
②	保健サービスセンターの親子交流の場や 相談サービス	1. はい 71.3% 2. いいえ 23.4% 無回答 5.3%	1. はい 35.2% 2. いいえ 56.4% 無回答 8.3%	1. はい 12.6% 2. いいえ 55.8% 無回答 31.6%	
③	子どもの発達と教育の相談をする総合相談室 (教育センター)	1. はい 65.0% 2. いいえ 29.9% 無回答 5.1%	1. はい 20.7% 2. いいえ 69.4% 無回答 9.9%	1. はい 23.5% 2. いいえ 48.6% 無回答 27.8%	
④	保育園や幼稚園の園庭等の開放	1. はい 79.6% 2. いいえ 14.0% 無回答 6.4%	1. はい 51.0% 2. いいえ 41.2% 無回答 7.8%		
⑤	身近な地域に おける親子の 交流の場	A. 児童館 (乳幼児と保護者の居場所)	1. はい 91.4% 2. いいえ 1.4% 無回答 7.2%	1. はい 80.9% 2. いいえ 14.4% 無回答 4.7%	
		B. 子育てひろば	1. はい 77.2% 2. いいえ 15.9% 無回答 6.9%	1. はい 49.8% 2. いいえ 43.4% 無回答 6.8%	
		C. ぴよぴよひろば (子ども家庭支援センター内)	1. はい 66.7% 2. いいえ 27.2% 無回答 6.1%	1. はい 37.5% 2. いいえ 54.6% 無回答 7.9%	
⑥	子ども家庭支援センターの相談事業	1. はい 44.5% 2. いいえ 51.4% 無回答 4.2%	1. はい 5.5% 2. いいえ 84.3% 無回答 10.3%	1. はい 17.7% 2. いいえ 54.0% 無回答 28.3%	
⑦	子育て応援メールマガジン(きずなメール)	1. はい 15.6% 2. いいえ 80.9% 無回答 3.5%	1. はい 5.5% 2. いいえ 82.8% 無回答 11.7%		
⑧	子育てガイド (区が発行する子育て支援情報誌)	1. はい 59.0% 2. いいえ 37.2% 無回答 3.8%	1. はい 31.9% 2. いいえ 58.3% 無回答 9.9%	1. はい 33.7% 2. いいえ 35.6% 無回答 30.7%	
⑨	ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1. はい 79.5% 2. いいえ 16.9% 無回答 3.6%	1. はい 14.0% 2. いいえ 76.9% 無回答 9.1%	1. はい 19.2% 2. いいえ 54.9% 無回答 25.9%	
⑩	子育て訪問支援券(ベビーシッター)	1. はい 45.4% 2. いいえ 51.2% 無回答 3.4%	1. はい 7.4% 2. いいえ 82.3% 無回答 10.3%		
⑪	一時保育事業(キッズルーム)	1. はい 76.5% 2. いいえ 18.7% 無回答 4.8%	1. はい 29.9% 2. いいえ 62.4% 無回答 7.7%		
⑫	緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)	1. はい 66.7% 2. いいえ 28.6% 無回答 4.7%	1. はい 18.6% 2. いいえ 73.1% 無回答 8.3%		
⑬	病児・病後児保育事業	1. はい 71.5% 2. いいえ 24.3% 無回答 4.2%	1. はい 13.9% 2. いいえ 76.7% 無回答 9.4%	1. はい 22.9% 2. いいえ 54.9% 無回答 22.2%	
⑭	訪問型病児・病後児保育利用料助成 (ベビーシッター)	1. はい 37.3% 2. いいえ 59.0% 無回答 3.6%	1. はい 2.6% 2. いいえ 87.3% 無回答 10.1%	1. はい 17.8% 2. いいえ 62.4% 無回答 19.8%	
⑮	ショートステイ・トワイライトステイ事業	1. はい 30.7% 2. いいえ 65.8% 無回答 3.5%	1. はい 0.4% 2. いいえ 88.9% 無回答 10.7%	1. はい 14.4% 2. いいえ 65.8% 無回答 19.8%	
⑯	児童館(放課後の居場所)	1. はい 92.5% 2. いいえ 2.0% 無回答 5.6%	1. はい 73.6% 2. いいえ 20.3% 無回答 6.1%	1. はい 57.6% 2. いいえ 21.5% 無回答 20.9%	
⑰	区立の育成室(学童保育)	1. はい 90.6% 2. いいえ 4.7% 無回答 4.7%	1. はい 35.6% 2. いいえ 57.1% 無回答 7.3%	1. はい 29.5% 2. いいえ 50.3% 無回答 20.2%	
⑱	都型の学童保育サービス	1. はい 35.8% 2. いいえ 60.6% 無回答 3.6%	1. はい 2.5% 2. いいえ 87.4% 無回答 10.1%	1. はい 19.6% 2. いいえ 60.3% 無回答 20.0%	
⑲	民間の学童保育サービス	1. はい 80.4% 2. いいえ 15.3% 無回答 4.3%	1. はい 17.3% 2. いいえ 74.3% 無回答 8.5%	1. はい 24.8% 2. いいえ 55.8% 無回答 19.4%	
⑳	放課後全児童向け事業(アクティなど)	1. はい 75.4% 2. いいえ 19.4% 無回答 5.2%	1. はい 41.4% 2. いいえ 51.4% 無回答 7.3%	1. はい 53.4% 2. いいえ 26.9% 無回答 19.6%	
㉑	民生委員・児童委員への子育てや 児童問題の相談・援助	1. はい 46.6% 2. いいえ 50.1% 無回答 3.4%	1. はい 2.2% 2. いいえ 87.8% 無回答 10.0%	1. はい 16.0% 2. いいえ 65.3% 無回答 18.7%	

問15 周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいと思いますか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=769

○は3つまで

1. 近所の人にちょっとした頼みごとをお願いできるとよい	20.0%
2. 子どもの問題行動や子どもが迷惑行為をした場合は、遠慮せず教えてほしい	43.3%
3. 屋外で子どもがひとりの(側に保護者がいない)ときに、危なくないか少し気にかけてほしい	49.3%
4. 行政の相談に応じる人の専門性を高めてほしい	15.5%
5. 子育ての悩みや不安を気軽に相談できる育児の経験者を紹介してほしい	5.6%
6. 職場の人に、子どもの病気など緊急時に仕事を休むことを理解してほしい	17.8%
7. 一時的に子どもを遊ばせる場所(親のリフレッシュや買い物など)	36.3%
8. 自転車の運転など交通ルールを守ってほしい	23.9%
9. その他()	5.1%
10. 特になし	4.8%
無回答	4.2%

問16 あなたは、児童虐待や不適切な子育てを防止するために、どうすれば効果的だと思いますか。
もっとも効果的だと思う答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. 相談窓口の充実(子ども家庭支援センターなど)	7.3%
2. 子育てを支援する施策の充実(一時預かりやホームヘルプサービスなど)	18.1%
3. 関係機関のネットワークの強化(区・児童相談所・学校・警察・医療機関など)	24.9%
4. 虐待や不適切な子育てを防止する親力向上講座の開催	3.5%
5. 親同士の集まりでの経験談や意見交換などの自立的な活動の充実	6.6%
6. 児童虐待防止啓発活動	2.1%
7. 子育てしやすい地域社会の形成	27.9%
8. その他()	7.5%
無回答	2.0%

■ すべての方に、あて名のお子さんとの体験や、経済的なことについておうかがいします。

問17 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

n=769

A~Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」~「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	ある	ない			無回答
		金銭的な理由でない	時間の制約でない	その他の理由でない	
A. 海水浴に行く	58.8%	2.1%	11.7%	25.7%	1.7%
B. 博物館・科学館・美術館などに行く	87.3%	0.5%	3.0%	7.4%	1.8%
C. キャンプやバーベキューに行く	57.6%	2.0%	12.2%	26.4%	1.8%
D. スポーツ観戦や劇場に行く	71.7%	2.9%	5.3%	18.5%	1.7%
E. 遊園地やテーマパークに行く	87.1%	2.5%	3.1%	5.6%	1.7%

問18 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

n=769

A~Hそれぞれについて、している場合は「1」を、していない場合はあてはまる理由を「2」~「3」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	している	していない		無回答
		したくない	経済的にできない	
A. 毎月お小遣いを渡す	33.0%	61.8%	2.1%	3.1%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	93.9%	3.4%	1.0%	1.7%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	91.9%	3.6%	2.1%	2.3%
D. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	66.3%	24.3%	5.5%	3.9%
E. 誕生日のお祝いをする	98.3%	0.0%	0.1%	1.6%
F. 1年に1回くらい家族旅行に行く	92.3%	1.6%	3.9%	2.2%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	97.3%	1.0%	0.1%	1.6%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	97.7%	0.4%	0.3%	1.7%

問19 次のもののうち、**金銭的理由のため**にあなたの世帯にないものはありますか。あてはまる答えの番号**すべて**に○をつけてください。

n=769

1. 子どもの年齢に合った本	1.7%	9. 電子レンジ	0.4%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	0.8%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む)	0.8%
3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	3.1%	11. インターネットにつながるパソコン	2.0%
4. 洗濯機	0.4%	12. 新聞の定期購読(ネット含む)	7.0%
5. 炊飯器	0.1%	13. 世帯専用のおふろ	0.1%
6. 掃除機	0.3%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	2.2%
7. 暖房機器	0.1%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	3.3%
8. 冷房機器	0.4%	16. あてはまるものはない	73.5%
		無回答	14.6%

問20 あなたにとって役立つ、子育て支援に関する施設・サービスは何ですか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=769

○はまる番号

1. 子育て支援に関する情報提供(情報誌、メールマガジン、区報など)	13.7%
2. 子どもの健康や成長を支える保健医療体制の整備	24.2%
3. 相談支援体制の整備(子育ての不安や悩み・いじめや虐待防止など)	8.3%
4. 地域での相互扶助体制の整備(親同士の助け合い活動など)	4.4%
5. 育成室(学童保育)・児童館などの放課後・休日に児童が利用できる施設の充実	39.0%
6. 土日や夜間など定期的に利用できる保育サービスの充実	12.7%
7. 男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備	18.5%
8. 確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備	35.0%
9. 子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備	48.6%
10. 非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実	3.6%
11. 子ども連れでも活動しやすいまちづくり	13.0%
12. 子育て家庭のための住宅施策の推進	7.3%
13. 障がいのある子どもに対する支援の充実	5.5%
14. 経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)	19.9%
15. その他()	4.2%
16. 特にない	2.1%
無回答	4.2%

問21 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手(収集)していますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=769

1. 区報「ぶんきょう」	78.0%	7. 子ども家庭支援センター	0.5%
2. 区のホームページ	30.2%	8. 保健サービスセンター	0.9%
3. 区のツイッターやフェイスブック	1.6%	9. 教育センター	6.0%
4. 小学校	63.6%	10. 担当部署に問い合わせまたは直接来所	3.6%
5. 児童館	10.3%	11. 友人・知人	27.2%
6. 育成室(学童保育)	16.0%	12. その他()	2.3%
		無回答	3.0%

問22 「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」について、それぞれあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

(1) 希望する子どもの人数

n=769

1. 1人	8.2%	3. 3人	38.5%	5. 5人	1.3%	無回答	1.3%
2. 2人	44.6%	4. 4人	5.2%	6. その他	0.9%		

(2) 実際に持つことができると思う子どもの人数

n=769

1. 1人	23.4%	3. 3人	17.8%	5. 5人	0.3%	無回答	1.3%
2. 2人	55.5%	4. 4人	1.6%	6. その他	0.1%		

問22-1 問22で、「(2)実際に持つことができると思う子どもの人数」が「(1)希望する子どもの人数」より少なかった方におうかがいします。

(該当しない方は、問23へお進みください)

少なかったのはどうしてですか。次のうち、少なかった理由にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、最大の理由の番号1つに○をつけてください。

(1)	(2)
あてはまる理由	最大の理由
n=334	n=334

	(1) あてはまる理由 n=334	(2) 最大の理由 n=334
1. 育児の体力的な問題	59.6%	6.6%
2. 育児の経済的負担が大きい	61.1%	16.8%
3. 育児の心理的負担が大きい	35.6%	6.6%
4. 年齢的な理由で難しい	57.8%	24.9%
5. やりたいことができなくなる	18.0%	0.3%
6. 仕事と家庭の両立が難しい	39.5%	9.3%
7. 教育をめぐる状況に対して不安	23.1%	0.6%
8. 将来の教育費の負担が不安	61.1%	17.7%
9. 家が狭い	45.2%	1.5%
10. その他()	9.6%	7.8%
無回答	2.1%	8.1%

■ すべての方に、あて名のお子さんの生活の安全・安心についておうかがいします。

問23 あなたの子どもが、何らかの事故や犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=769

1. 強く感じる 18.7%	2. 少し感じる 66.1%	3. あまり感じない 12.6%	4. まったく感じない 1.3%	無回答 1.3%
-------------------	-------------------	---------------------	---------------------	-------------

問23-1 問23で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。
そう感じる理由は何ですか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=652

○の番号

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	18.6%
2. 近所の住民の顔をほとんど知らないから	11.0%
3. 子どもが一人で外出する際に、事件・事故にあうかもしれないから	71.0%
4. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	61.0%
5. 近所で子どもが巻き込まれた事件が発生したから	3.5%
6. 近所に交通量の多い道路があるから	34.7%
7. 近所に見通しの悪い道が多いから	9.7%
8. 近所に歩道や信号がない道路があるから	4.3%
9. 通学が遠いから	6.4%
10. その他()	9.7%
無回答	2.9%

すべての方におうかがいします。

問24 子どもの安全や犯罪防止についての情報を何によって入手(収集)していますか。(1)(2)について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

(1) 不審者情報 n=769	(2) 日常的な予防情報 n=769
-----------------------	--------------------------

	(1) 不審者情報 n=769	(2) 日常的な予防情報 n=769
1. 新聞	18.6%	25.9%
2. チラシ・パンフレット・小冊子など	7.0%	14.2%
3. テレビ	32.9%	46.0%
4. ラジオ	4.3%	4.9%
5. ホームページ、ブログなど	11.7%	18.5%
6. ツイッター、フェイスブックなどのSNS	13.3%	12.5%
7. 区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)	33.6%	19.9%
8. 小学校・育成室等からのメール配信(フェアキャスト等)	73.0%	45.4%
9. 警視庁からのメール配信(メールけいしちょう)	18.5%	11.6%
10. その他()	4.2%	3.5%
11. 特に活用している情報ツールはない	7.0%	9.1%
無回答	2.5%	11.1%

■ すべての方に、あて名のお子さんの放課後を過ごす場所についておうかがいします。

問25 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ週あたり日数を数字でご記入ください。
 また、「5.」～「7.」の場合には、利用時間も数字でご記入ください。
 時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

n=769

1. 自宅	72.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	11.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	78.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く)	13.8%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学生低学年(1～3年生)を対象としています なお、要配慮児は6年生までを対象としています〕	16.6%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型の学童保育サービス	0.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. 民間の学童保育サービス	7.5%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	18.2%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.5%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	1.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	15.3%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
無回答	0.7%	

問25で、「5.」～「7.」とお答えの方におうかがいします。

(該当しない方は、問25-2へお進みください)

問25-1 今後、区立の育成室や学童保育サービスの利用を希望する時間について、
 数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

⇒ 下校時から 時まで

問25で、「5.」～「7.」を「利用していない」とお答え(○をつけていない方)の方のうち、小学校低学年(1～3年生)のお子さんの保護者の方におうかがいします。

(該当しない方は、問26へお進みください)

問25-2 区立の育成室や学童保育サービスを利用していない理由について、
 もっともあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=228

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

- | | |
|--|-------|
| 1. 現在就労していないから | 55.7% |
| 2. 就労しているが、子どもの祖父母や親戚の人がみているから | 5.3% |
| 3. 就労しているが、近所の人や父母の友人・知人がみているから | 0.0% |
| 4. 就労しているが、育成室(学童保育)を知らなかったから | 0.9% |
| 5. 就労しており、利用を希望しているが、近くに育成室(学童保育)がないから | 0.4% |
| 6. 就労しており、利用を希望しているが、育成室(学童保育)に空きがないから | 0.9% |
| 7. 就労しており、利用を希望しているが、育成室(学童保育)の開所時間が短いから | 0.0% |
| 8. 就労しており、利用を希望しているが、利用料がかかるから | 0.0% |
| 9. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから | 5.3% |
| 10. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから | 2.6% |
| 11. 就労しているが、他の施設に預けているから | 0.4% |
| 12. その他() | 12.7% |
| 無回答 | 15.8% |

■ すべての方に、あて名のお子さんの放課後を過ごす場所の希望についておうかがいします。

問26 小学校高学年(4～6年生)のとき、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

- 現在、あて名のお子さんが小学校低学年(1～3年生)の場合は、将来についてお聞かせください。
- 現在、あて名のお子さんが小学校高学年(4～6年生)の場合は、希望についてお聞かせください。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「5.」～「7.」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

※ なお、事業によって、利用には一定の利用者負担が発生します。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

n=769

1. 自宅	62.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	13.0%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	81.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館(育成室を除く)	17.4%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 区立の育成室〔学童保育〕 〔現在は、小学生低学年(1～3年生)を対象としています なお、要配慮児は6年生までを対象としています〕	9.1%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. 都型の学童保育サービス	2.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. 民間の学童保育サービス	7.9%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ⇒ 下校時から <input type="text"/> 時まで
8. 放課後全児童向け事業(アクティなど)	27.7%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.5%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. 療育機関(児童発達支援、放課後デイサービスなど)	1.6%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
11. その他(図書館、公園など)	22.5%	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
無回答	3.3%	

問26-1 問26で、「5.」～「7.」とお答えの方(○をつけた方)におうかがいします。

(該当しない方は、問26-2へお進みください)

今後、区立の育成室や学童保育サービスを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=137

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 就労しているから | 80.3% |
| 2. 就労予定がある／求職中であるから | 2.9% |
| 3. そのうち就労したいと考えているから | 5.1% |
| 4. 家族・親族などを介護しなければならないから | 0.0% |
| 5. 病気や障がいがあるから | 0.7% |
| 6. 学生である／就学したいから | 0.0% |
| 7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたいから | 2.2% |
| 8. その他() | 1.5% |
| 無回答 | 7.3% |

問26-2 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。
 (1)(2)それぞれについて、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。
 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※ 現在は、小学生低学年(1~3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、土曜日は8時30分から17時までの時間帯で利用できます。また、日曜日・祝日の利用はできません。

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

(1) 土曜日

n=769

<table border="0"> <tr> <td>1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい</td> <td style="text-align: right;">6.5%</td> </tr> <tr> <td>2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい</td> <td style="text-align: right;">9.0%</td> </tr> <tr> <td>3. 利用希望はない</td> <td style="text-align: right;">79.2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">5.3%</td> </tr> </table>	1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	6.5%	2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	9.0%	3. 利用希望はない	79.2%	無回答	5.3%	→	<p>利用したい時間帯(24時間制で記入)</p> <p><input type="text"/>時 ~ <input type="text"/>時まで</p> <p>(例)9時~18時</p>
1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	6.5%									
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	9.0%									
3. 利用希望はない	79.2%									
無回答	5.3%									

(2) 日曜日・祝日

n=769

<table border="0"> <tr> <td>1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい</td> <td style="text-align: right;">3.1%</td> </tr> <tr> <td>2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい</td> <td style="text-align: right;">5.5%</td> </tr> <tr> <td>3. 利用希望はない</td> <td style="text-align: right;">86.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">5.5%</td> </tr> </table>	1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	3.1%	2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	5.5%	3. 利用希望はない	86.0%	無回答	5.5%	→	<p>利用したい時間帯(24時間制で記入)</p> <p><input type="text"/>時 ~ <input type="text"/>時まで</p> <p>(例)9時~18時</p>
1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	3.1%									
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	5.5%									
3. 利用希望はない	86.0%									
無回答	5.5%									

問26-3 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、「区立の育成室(学童保育)」の利用希望はありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。
 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※ 現在、育成室の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用は、小学生低学年(1~3年生)を対象(要配慮児は6年生まで対象)としており、8時15分から18時30分まで(土曜日は8時30分から17時まで)の時間帯で利用できます。

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

n=769

<table border="0"> <tr> <td>1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい</td> <td style="text-align: right;">10.9%</td> </tr> <tr> <td>2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい</td> <td style="text-align: right;">34.6%</td> </tr> <tr> <td>3. 利用希望はない</td> <td style="text-align: right;">49.2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">5.3%</td> </tr> </table>	1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	10.9%	2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	34.6%	3. 利用希望はない	49.2%	無回答	5.3%	→	<p>利用したい時間帯(24時間制で記入)</p> <p><input type="text"/>時 ~ <input type="text"/>時まで</p> <p>(例)9時~18時</p>
1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	10.9%									
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	34.6%									
3. 利用希望はない	49.2%									
無回答	5.3%									

■ すべての方に、あて名のお子さんの児童館の利用についておうかがいします。

問27 児童館(育成室としての利用は除く)を利用していますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=769

1. ほぼ毎日利用している	3.0%	→ 問27-1へ
2. 週に2、3回程度利用している	4.4%	
3. 週に1回程度利用している	8.5%	
4. 月に1、2回程度利用している	15.9%	
5. 以前利用していたが、現在は利用していない	25.5%	→ 問27-2へ
6. ほとんど利用していない	41.4%	
無回答	1.4%	

問27-1 問27で、「1.」~「4.」とお答えの方におうかがいします。

児童館として充実したらよいと考える活動にどのようなものがありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=244

1. 小学生向けの体を動かす遊び(ダンス・スポーツ活動)や行事	83.6%
2. 小学生向けの文化的活動(音楽、工作など)や行事	67.6%
3. 中高生の居場所づくり	29.1%
4. 幼児クラブ活動、子育てサロンなど	7.4%
5. 子育て相談	7.0%
6. 児童・生徒と乳幼児や高齢者との交流	12.3%
7. その他()	4.9%
無回答	1.6%

→ 問28へ

問27-2 問27で、「5.」または「6.」とお答えの方におうかがいします。

児童館を利用していない理由について、次の中からあてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=514

1. 習い事等で、子どもが利用する時間がないから	52.7%
2. 他に遊んでいる場所があり、児童館を利用する必要がないから	25.1%
3. 近くに児童館がなく、利用するのが困難だから	7.2%
4. 児童館の行っている活動に魅力を感じないから	11.5%
5. その他()	32.7%
無回答	1.9%

すべての方におうかがいします。

問28 今後、児童館を利用させたいと思いますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。

n=769

1. 今後、子どもに利用させたい ⇒ 1週あたり <input type="text"/> 日くらい	57.2%
2. 今後、子どもに利用させたいとは思わない	38.6%
無回答	4.2%

■ あて名のお子さんが小学1年生から3年生の方に、病児・病後児の対応についておうかがいします。

→ 該当しない方は問30へお進みください。

問29 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=392

1. ある 69.4% 2. ない 27.3% → 問30へ 無回答 3.3%

問29-1 問29で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

この1年間にお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法としてあてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれ日数も数字でご記入ください。

※ 半日程度の対応の場合も1日としてカウントしてください。

n=272

1年間の対処方法 (○はいくつでも)		1年間の日数
問29-2へ ←	1. 父親が仕事を休んで子どもを看た	18.8% <input type="text"/> 日
	2. 母親が仕事を休んで子どもを看た	51.8% <input type="text"/> 日
	3. 親族・知人に子どもを看てもらった	18.0% <input type="text"/> 日
	4. 父親または母親のうち就労してない方が子どもを看た	40.8% <input type="text"/> 日
	5. 区の病児・病後児の保育施設を利用した	3.7% <input type="text"/> 日
問29-5へ ←	6. 民間の病児・病後児の保育施設を利用した	1.1% <input type="text"/> 日
	7. ベビーシッターによる病児・病後児の保育を利用した	3.3% <input type="text"/> 日
	8. ファミリー・サポート・センターを利用した	0.4% <input type="text"/> 日
	9. 子どもだけで留守番させた	2.2% <input type="text"/> 日
	10. その他()	1.1% <input type="text"/> 日
	無回答	0.4%

問29-1で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

問29-2 父親または母親が仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。

※ なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 利用料は、別紙の「用語の説明」をご参照ください。

※ また、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。

n=149

1. 病児・病後児保育施設を利用したかった 23.5% ⇒ 1年間に 日くらい

2. 利用したいと思わなかった 67.8% → 問29-4へ

無回答 8.7%

問29-3 問29-2で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われませんか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=35

- | | |
|--|-------|
| 1. 他の施設(例:育成室・児童館等)に併設した施設で子どもを保育する事業 | 51.4% |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 | 85.7% |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) | 14.3% |
| 4. その他() | 2.9% |
| 無回答 | 0.0% |

問29-4 問29-2で、「2. 利用したいと思わなかった」とお答えの方におうかがいします。
 そう思われる理由について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=101

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	39.6%
2. 事業の質に不安がある	6.9%
3. 事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない	37.6%
4. 利用料の負担	14.9%
5. 親が仕事を休んで対応する	57.4%
6. その他()	18.8%
無回答	0.0%

問29-1で、「3.」～「10.」のいずれかにお答えの方におうかがいします。

(該当しない方は、問30へお進みください)

問29-5 その際、「父親あるいは母親のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
 あてはまる答えの番号1つに○をつけ、問29-1の「3.」～「10.」の日数のうち、仕事を休んで
 看たかった日数についても数字でご記入ください。

n=179

1. 仕事を休んで看たかった	17.3%	⇒ 1年間に	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日くらい	} 問30へ
2. 仕事を休みたいとは思わなかった	23.5%					
3. 仕事を休んで看ることは非常に難しかった	31.3%					
無回答	27.9%					

問29-6 問29-5で、「3.」とお答えの方におうかがいします。
 そう思われる理由についてあてはまる答えの番号をすべてに○をつけてください。

n=56

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	42.9%
2. 自営業なので休めない	8.9%
3. 休暇日数が足りないので休めない	12.5%
4. その他()	37.5%
無回答	0.0%

■ すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについておうかがいします。

問30 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

n=769	1年間の対処方法 (○はいくつでも)	n=126	1年間の利用泊数
1. あった ⇒ 16.4%	ア. 親族・知人にみてもらった	86.5%	<input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(子どもショートステイ事業)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0.0%	<input type="text"/> 泊
	ウ. 民間のシッター等のサービスを利用した	0.8%	<input type="text"/> 泊
	エ. 子どもを同行させた	12.7%	<input type="text"/> 泊
	オ. 子どもだけで留守番をさせた	0.8%	<input type="text"/> 泊
	カ. その他()	3.2%	<input type="text"/> 泊
	無回答	0.8%	
2. なかった 82.2% 無回答 1.4%	→ 問31へ		

問30-1 問30で、「1.あった ア.親族・知人にみてもらった」とお答えの方にうかがいます。

(「ア。」以外を選択した方は 問31へお進みください)

その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=126

1. 非常に困難 15.9%	2. どちらかという困難 27.0%	3. 特に困難ではない 43.7%
無回答 13.5%		

■ すべての方に、住環境についておうかがいします。

問31 現在のお住まいはどちらになりますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=769

1. 賃貸住宅(一戸建) 3.8%	3. 持家(一戸建) 28.9%	5. その他 0.8%
2. 賃貸住宅(集合住宅) 26.5%	4. 持家(集合住宅) 39.3%	無回答 0.8%

問32 子育てをする上で住宅や住宅の周りの環境について、どのような点が重要だと思いますか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=769

○は3つまで

1. 住宅の広さ・間取り 41.9%	7. 幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性 54.2%
2. 安全性や遮音性などの住宅の居住性能 26.4%	8. 通勤の利便性 21.7%
3. 子どもの遊び場・公園などの利便性 22.4%	9. 小児科などの医療機関への利便性 16.5%
4. 周辺の道路の歩行時の安全性 23.3%	10. 親戚や近隣の人たちとのつながり 9.8%
5. 静かな環境や治安のよさ 55.7%	11. その他() 1.4%
6. 子どもを預かってくれる託児・保育所などの利便性 5.5%	12. 特にない 0.4%
	無回答 4.6%

すべての方におうかがいします。

問33 子どもの遊び場として、主にどのような場所を利用していますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=769

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 公園・児童遊園 | 76.1% |
| 2. 小学校の校庭開放等 | 28.6% |
| 3. 児童館、育成室など身近な地域における施設 | 35.9% |
| 4. 自宅内 | 66.3% |
| 5. 子どもの友人宅内 | 30.8% |
| 6. 自宅や子どもの友人宅の近所(屋外) | 21.7% |
| 7. その他() | 3.4% |
| 無回答 | 1.2% |

問33-2へ

問33-1 問33で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

公園・児童遊園について、どの程度利用していますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=585

- | | |
|-------------|-------|
| 1. ほぼ毎日 | 5.3% |
| 2. 週に2~3回程度 | 18.1% |
| 3. 週に1回程度 | 40.0% |
| 4. 月に1~2回程度 | 35.2% |
| 無回答 | 1.4% |

→ 問34へ

問33-2 問33で、「1.」に○をつけなかった方におうかがいします。

公園・児童遊園を利用していない理由は何ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=184

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 近隣に公園・児童遊園がない | 10.3% |
| 2. 近隣の公園・児童遊園が狭い | 29.3% |
| 3. 公園・児童遊園に魅力ある施設がない | 30.4% |
| 4. 公園・児童遊園に緑や花が少ない | 1.6% |
| 5. 公園のトイレが利用しづらい | 9.8% |
| 6. 他の公園利用者のマナーが悪く遊びづらい | 8.2% |
| 7. その他() | 39.1% |
| 無回答 | 11.4% |

■ すべての方に、あて名のお子さんの運動の状況についておうかがいします。

問34 あて名のお子さんは、学校の授業以外で、日頃どの程度運動で身体を動かしていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけください。

n=769

- | | | |
|--------------|-------|----------|
| 1. ほぼ毎日 | 15.3% | |
| 2. 週に2~3回程度 | 38.0% | |
| 3. 週に1回程度 | 23.9% | |
| 4. 月に1~2回程度 | 4.6% | |
| 5. ほとんどしていない | 17.7% | → 問34-2へ |
| 無回答 | 0.5% | |

問34-1 問34で、「1.」~「4.」とお答えの方におうかがいします。

運動をする理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=629

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 健康や体力づくりのため | 66.9% |
| 2. 運動能力の向上のため | 58.0% |
| 3. 運動不足解消のため | 32.1% |
| 4. 気持ちを落ち着かせたり、ストレス発散のため | 33.7% |
| 5. 精神面を鍛えたいから | 22.9% |
| 6. 人間関係を学んでもらいたいから | 20.0% |
| 7. 本人が自発的にやりたいと言ったため | 45.8% |
| 8. その他() | 3.2% |
| 無回答 | 0.6% |

→ 問35へ

問34-2は、問34で「5. ほとんどしていない」とお答えの方におうかがいします。

問34-2 運動をしていない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

n=136

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 本人が運動に興味がないから | 46.3% |
| 2. 近隣に施設や場所がないから | 19.9% |
| 3. 指導者がいないから | 2.2% |
| 4. 魅力的なスポーツ事業がないから | 6.6% |
| 5. 運動に関する情報がないから | 4.4% |
| 6. 勉強との両立が難しいから・時間がないから | 58.1% |
| 7. お金がかかるから | 11.0% |
| 8. 特に理由はない | 10.3% |
| 9. その他() | 6.6% |
| 無回答 | 0.0% |

文京区子育て支援に関するニーズ調査

～ 調査へのご協力をお願い ～

ご投函締切り

10月26日(金)

日頃より文京区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
文京区では、平成26年度に、「文京区次世代育成支援行動計画」と「文京区子ども・子育て支援事業計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画（平成27年度～31年度）」を策定することで、子どもの健やかな成長の支援や地域社会全体で子どもを育む体制の構築などを推進し、“地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち”を目指しています。

この調査は、次期計画となる「子育て支援計画（平成32年度～36年度）」の策定に当たり、区民の皆さまの子育てやサービスの利用に関する状況や利用希望、ご意見等を把握するために実施するもので、0歳～中学生までの保護者と中高生世代本人を対象に無作為に抽出し、それぞれ該当の調査票をお送りさせていただきました。

ご回答いただきました内容は、子育ての当事者などが参加する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきますもので、回答者個人が特定されたり、プライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

質問数が多くご負担をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年10月

文京区長 成 澤 廣 修

【 ご記入にあたってのお願い 】

◇ この調査票

⇒ あて名のお子さんの保護者の方がお答えください。

◇ 別冊の「中学生本人用」調査票

⇒ あて名のお子さん本人にお答えいただくようお渡しく下さい。

⇒ お子さん本人の回答が終わりましたら、同封の青色の封筒に入れて封をしてもらい、保護者用調査票とまとめて、ご投函ください。

- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- 回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、（○は1つ）、（○は3つまで）、（○はいくつでも）などと表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 数字（人数など）をご回答いただく場合は、一枠に一字ご記入ください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、「中学生本人用調査票」（別封筒に入れて封をしたもの）と合わせて、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

（切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。）

【 お問い合わせ先 】

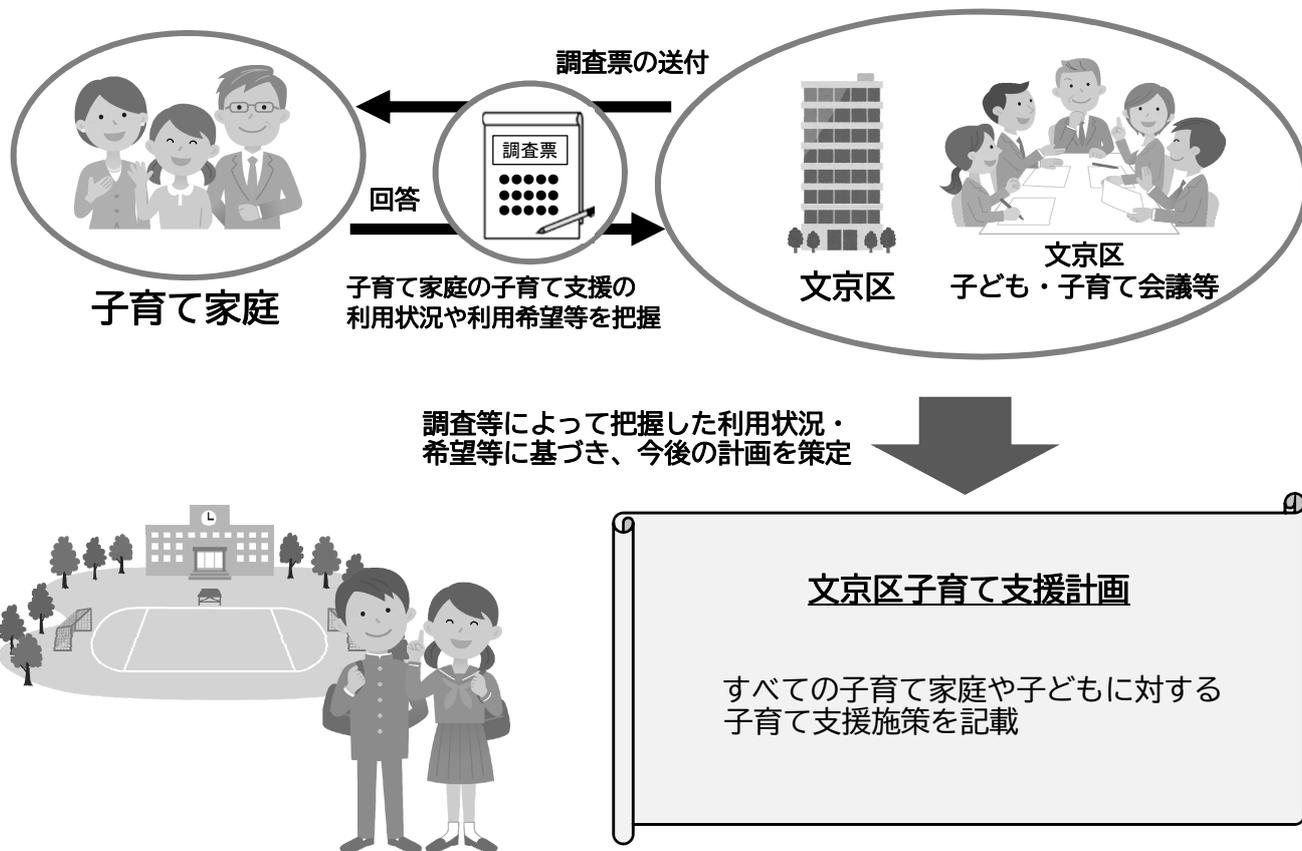
文京区 子ども家庭部 子育て支援課

〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号

電話：03-5803-1256（直通）

FAX：03-5803-1345

いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます



- ご回答内容は、今後の文京区の子育て支援計画策定のための大変重要な資料となります。
- 現在、文京区の子ども・子育て支援事業や施設を利用されている方のみならず、利用されていない方のご意見も、今後の事業計画策定のために大切なデータとなります。
- 子育て中の皆様においてはご多忙の折、ご負担をおかけし、誠に申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。
- 別紙に「文京区の子育て支援サービスの一覧(用語の説明)」を同封しております。調査票回答時にご参照ください。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=320

1. 後楽 1.9%	6. 水道 3.4%	11. 音羽 2.2%	16. 弥生 1.6%
2. 春日 1.6%	7. 小日向 5.9%	12. 本郷 9.1%	17. 根津 1.3%
3. 小石川 9.7%	8. 大塚 5.3%	13. 湯島 0.9%	18. 千駄木 9.7%
4. 白山 10.9%	9. 関口 3.1%	14. 西片 2.8%	19. 本駒込 12.8%
5. 千石 9.7%	10. 目白台 2.5%	15. 向丘 3.8%	無回答 1.9%

問1-1 お住まいの丁目をご記入ください。

丁目

■ 封筒のあて名のお子さんご家族についておうかがいします。

問2 あて名のお子さんの学年をお答えください。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=320

1. 中学1年 30.3%	2. 中学2年 35.9%	3. 中学3年 32.8%	無回答 0.9%
---------------	---------------	---------------	----------

問3 あて名のお子さん同居されている方はどなたですか。なお、続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=320

1. 父親 90.9%	3. 兄弟姉妹 73.8%	5. 祖父 3.1%	無回答 1.3%
2. 母親 96.6%	4. 祖母 8.1%	6. その他 0.6%	

問4 あて名のお子さん同居されている家族全員(あて名のお子さんを含む)の人数は何人ですか。

n=320

人 1人 0.9% 2人 4.1% 3人 20.6% 4人 48.8% 5人 20.0% 6人以上 4.4% 無回答 1.3%

問5 あて名のお子さん何人きょうだいの何番目ですか。

n=320

人 きょうだいの 番目 番目

1人 20.0% 2人 55.3% 3人 19.1% 4人以上 3.4% 無回答 2.2%

1番目 62.2% 2番目 28.8% 3番目 5.9% 4番目以上 0.9% 無回答 2.2%

問6 この調査票にご回答(記入)いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=320

1. 父親 20.3%	2. 母親 78.4%	3. その他 0.0%	無回答 1.3%
-------------	-------------	-------------	----------

■ すべての方に、親子のコミュニケーションについておうかがいします。

問7 あて名のお子さんご家族でよく話をしますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=320

1. よく話をする 81.3%	2. ととき話をする 15.6%	3. あまり話はない 1.6%	→ 問8へ
		無回答 1.6%	

問7-1 問7で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

あて名のお子さんは、主に誰と話をしますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=310

1. 父親 57.7%	3. 兄弟姉妹 58.4%	5. 祖父 4.8%	無回答 0.0%
2. 母親 98.1%	4. 祖母 12.3%	6. その他 1.0%	

■ すべての方に、子育てのイメージや子育て支援についておうかがいします。

問8 あなたは、子育てを楽しいと思えますか。それとも辛いと思えますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=320

1. 楽しいと感じることの方が多い	70.9%
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	24.4%
3. 辛いと感じることの方が多い	2.5%
4. その他()	0.9%
無回答	1.3%

問9 子育て支援にはどのような施設やサービスが有効だと思えますか。
あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=320

〇は3つまで

1. 子育て支援に関する情報提供(情報誌、メールマガジン、区報など)	11.9%
2. 子どもの健康や成長を支える保健医療体制の整備	43.8%
3. 相談支援体制の整備(子育ての不安や悩み・いじめや虐待防止など)	17.5%
4. 地域での相互扶助体制の整備(親同士の助け合い活動など)	5.9%
5. 放課後・休日に中学生が利用できる施設の充実	31.9%
6. 男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備	26.6%
7. 確かな学力、豊かな人間性、体力を育成する教育環境の整備	35.9%
8. 安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備	33.1%
9. 非行防止等、子どもが健全に育つための対策の充実	9.1%
10. 子ども連れでも活動しやすいまちづくり	6.6%
11. 子育て家庭のための住宅施策の推進	6.3%
12. 障がいのある子どもに対する支援の充実	8.4%
13. 経済的援助(児童手当の給付や利用料減免など)	29.4%
14. その他()	2.5%
15. 特にない	1.3%
無回答	2.5%

問10 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=320

1. 自分の時間がとれず、自由がない	18.4%
2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる	4.7%
3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	27.2%
4. 子育てと親等の介護が同時に発生している	9.7%
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う	13.1%
6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない	13.1%
7. 子どもの学習・授業の進捗のこと	31.9%
8. 子どもの進路や進学のこと	58.4%
9. 子どもの友人関係のこと	20.9%
10. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である	26.6%
11. 子どもの性別に関すること	0.0%
12. 子育て(教育を含む)に伴う経済的な負担が大きいと感じる	39.4%
13. 子どもを邪魔に感じる時がある	1.9%
14. その他()	4.1%
15. 特に不安や悩みはない	10.6%
無回答	0.3%

問11 子育て(教育を含む)を気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=320

1. いる/ある 83.8% 2. いない/ない 15.6% → 問12へ 無回答 0.6%

問11-1 問11で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=268

1. 祖父母等の親族	63.4%	7. 民生委員・児童委員	0.0%
2. 友人や知人	79.5%	8. かかりつけの医師	7.1%
3. 近所の人	9.3%	9. 文京区の子育て関連相談窓口 (子ども家庭支援センター、教育センターなど)	3.0%
4. 中学校の先生	24.3%	10. その他()	6.7%
5. スクールカウンセラー	5.6%	無回答	0.0%
6. 塾・習い事の先生	22.8%		

■ すべての方に、あて名のお子さんの放課後を過ごす場所についておうかがいします。

問12 学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=320

1. いろいろなスポーツができる体育館や運動場	66.3%
2. ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所	45.9%
3. 緑がたくさんある公園や広場	30.3%
4. 音楽鑑賞やバンド活動などができる場所	16.9%
5. 静かに勉強ができる場所	59.7%
6. 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	18.8%
7. ひとりでも気軽に、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所	23.8%
8. 気軽におしゃべりができる場所	24.4%
9. ゲームやパソコンができる場所	9.4%
10. 障がいのある生徒が放課後を過ごす場所	7.2%
11. その他()	4.4%
12. 特にない	4.1%
無回答	0.6%

■ すべての方に、あて名のお子さんとの体験や、経済的なことについておうかがいします。

問13 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

n=320

A～Eそれぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」～「4」からそれぞれ1つに○をつけてください。

	ある	ない			無回答
		金銭的な理由でない	時間の制約でない	その他の理由でない	
A. 海水浴に行く	35.3%	1.6%	21.9%	39.1%	2.2%
B. 博物館・科学館・美術館などに行く	64.7%	1.3%	11.6%	20.9%	1.6%
C. キャンプやバーベキューに行く	27.8%	2.2%	22.8%	45.0%	2.2%
D. スポーツ観戦や劇場に行く	62.2%	2.2%	9.4%	24.4%	1.9%
E. 遊園地やテーマパークに行く	64.4%	2.8%	10.0%	21.6%	1.3%

問14 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

n=320

A~Hそれぞれについて、している場合は「1」を、
していない場合はあてはまる理由を「2」~「3」
からそれぞれ1つに○をつけてください。

している	していない	
	したくない	経済的にできない

無回答

	している	したくない	経済的にできない	無回答
A. 毎月お小遣いを渡す	65.9%	29.4%	1.9%	2.8%
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	95.3%	2.5%	1.3%	0.9%
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	69.1%	22.5%	5.0%	3.4%
D. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	64.7%	25.6%	6.9%	2.8%
E. 誕生日のお祝いをする	98.1%	0.6%	1.3%	0.0%
F. 1年に1回くらい家族旅行に行く	84.1%	4.1%	9.4%	2.5%
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	95.9%	1.9%	1.3%	0.9%
H. 子どもの学校行事などに親が参加する	96.3%	1.9%	0.6%	1.3%

問15 次のもののうち、**金銭的理由のために**あなたの世帯にないものはありますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=320

1. 子どもの年齢に合った本	1.3%	9. 電子レンジ	0.0%
2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	0.9%	10. 電話(固定電話・携帯電話を含む)	0.3%
3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	3.1%	11. インターネットにつながるパソコン	0.6%
4. 洗濯機	0.0%	12. 新聞の定期購読(ネット含む)	9.1%
5. 炊飯器	0.0%	13. 世帯専用のお風呂	0.0%
6. 掃除機	0.0%	14. 世帯人数分のベッドまたは布団	1.6%
7. 暖房機器	0.3%	15. 急な出費のための貯金(5万円以上)	6.3%
8. 冷房機器	0.3%	16. あてはまるものはない	70.0%
		無回答	13.8%

■ **すべての方に、あて名のお子さんの生活の安全・安心についておうかがいします。**

問16 あなたの子どもや身近にいる子どもたちが、何らかの事故や犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=320

1. 強く感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. まったく感じない	無回答
10.3%	59.4%	24.4%	4.1%	1.9%

問16-1 問16で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

そう感じる理由は何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=223

○は3つまで

1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから	24.7%
2. 子どもが塾や習い事などで遅く帰ることがあるから	54.7%
3. 子どもが一人で外出する際に、事件・事故にあうかもしれないから	50.2%
4. 近所の住民の顔をほとんど知らないから	3.6%
5. テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	48.9%
6. 近所で子どもが巻き込まれた事件が発生したから	2.7%
7. 近所に交通量の多い道路があるから	14.8%
8. 近所に見通しの悪い道が多いから	3.6%
9. 近所に歩道や信号がない道路があるから	2.7%
10. 通学が遠いから	7.2%
11. その他()	10.8%
無回答	5.4%

すべての方におうかがいします。

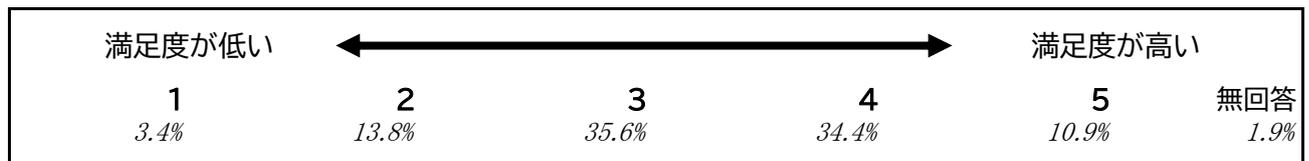
問17 子どもの安全や犯罪防止についての情報を何によって入手(収集)していますか。(1)(2)について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけください。

	(1)	(2)
	不審者情報 n=320	日常的な予防情報 n=320
1. 新聞	21.9%	39.7%
2. チラシ・パンフレット・小冊子など	8.4%	23.4%
3. テレビ	31.9%	52.2%
4. ラジオ	3.1%	6.6%
5. ホームページ、ブログなど	13.8%	21.6%
6. ツイッター、フェイスブックなどのSNS	11.3%	9.1%
7. 区からのメール配信(「文の京」安心・防災メール)	44.4%	20.9%
8. 中学校等からのメール配信(フェアキャスト等)	57.5%	32.8%
9. 警視庁からのメール配信(メールけいしちょう)	16.9%	5.9%
10. その他()	2.5%	3.1%
11. 特に活用している情報ツールはない	7.8%	6.6%
無回答	6.9%	15.0%

最後におうかがいします。

問18 区の子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

n=320



問19 最後に、区の子育て支援施策に関するご意見、ご要望やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございました。

別冊の、「中学生本人用調査票」は、あて名のお子さんにお渡しいただき、あわせてご協力をいただけますと幸いです。

なお、調査結果は、平成31年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、ご興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、平成30年10月26日(金)までにご投函ください。
(切手を貼る必要はありません)

調査へのご協力をお願い

18歳までを対象とした文京区子育て支援に関するニーズ調査

締切り

10月26日(金)

この調査は、18歳までを対象とした「子育て支援計画（平成32年度～36年度）」の策定に当たり実施するものです。当事者の意見をお聞きするため、中高生世代の皆さんには、無作為抽出により、調査票をお送りさせていただきました。

皆さんがふだん思っていることや日常の様子についてお聞かせください。

ご回答いただきました内容は、文京区が主催する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の施策の検討にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、プライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

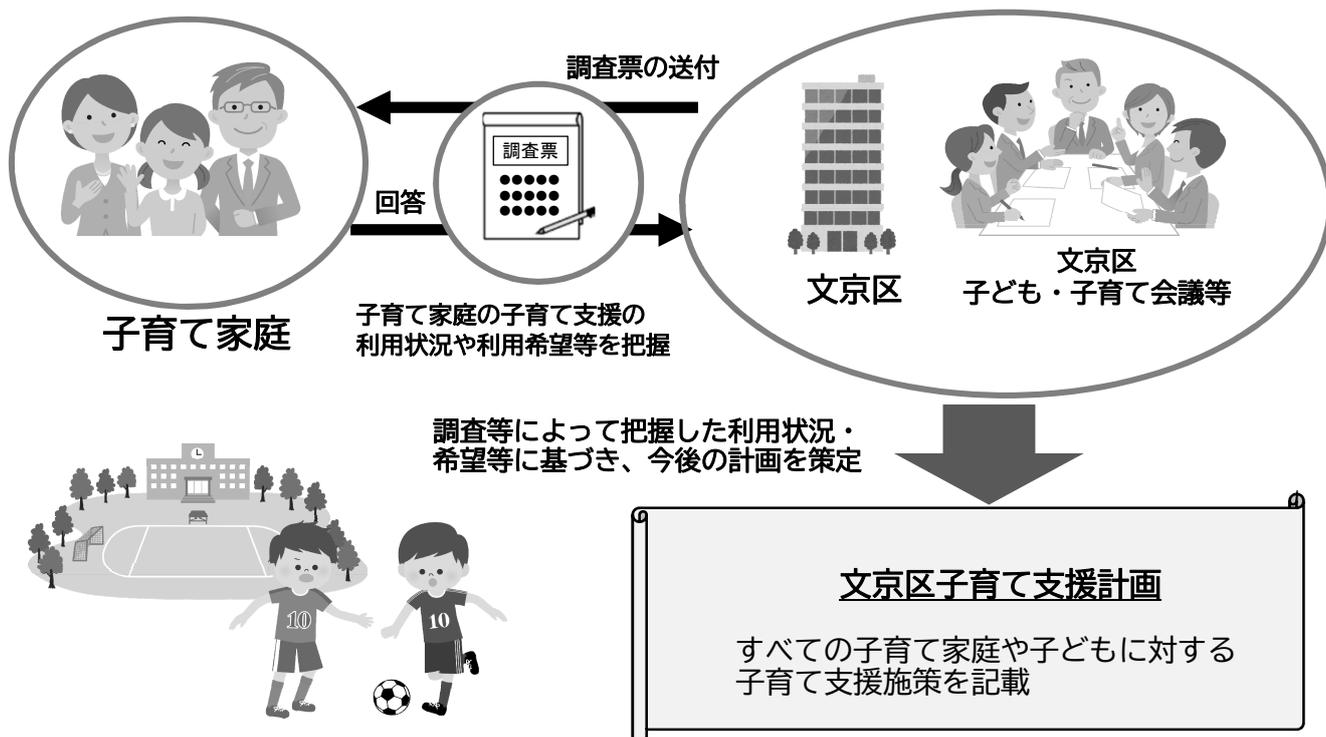
答えにくい質問があったときは、無理に答える必要はありません。答えられる範囲で、ご記入をお願いします。

この調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

平成30年10月

文京区長 成澤 廣修

いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます



ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして、同封の青色の封筒(返信先のあて名のないもの)に入れて、シールで封をしていただき、**10月26日(金)までに保護者の方にお渡しください。**

文京区では、平成26年度に、「文京区次世代育成支援行動計画」と「文京区子ども・子育て支援事業計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画（平成27年度～31年度）」を策定することで、子どもの健やかな成長の支援や地域社会全体で子どもを育む体制の構築などを推進し、“地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち”を目指しています。



- ご回答内容は、今後の文京区の子育て支援計画策定のための大変重要な資料となります。
- 現在、文京区の子ども・子育て支援事業や施設を利用されている方のみならず、利用されていない方のご意見も、今後の事業計画策定のために大切なデータとなります。
- 勉強や部活動などでお忙しい中、ご負担をおかけし、誠に申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、何卒ご協力くださいますよう改めてお願い申し上げます。
- 別紙に「文京区の子育て支援サービスの一覧(用語の説明)」を同封しております。調査票回答時にご参照ください。

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 質問の答えの番号を選んで○印をつけてください。
- ご回答の○印の数は、（○は1つ）、（○は3つまで）、（○はいくつでも）など并表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

■ すべての方に、親子のコミュニケーションについておうかがいします。

問1 あなたは、家族とよく話をしますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=314

1. よく話をする	67.5%	} → 問2へ
2. 必要なこと以外もときどき話を する	21.0%	
3. 必要なこと以外はあまり話を しない	3.8%	
4. あまり話ほしない	0.0%	
無回答	7.6%	

問1-1 問1で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

主に誰と話をしますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=278

1. 父親	66.9%	3. 兄弟姉妹	59.4%	5. 祖父	8.6%	無回答	1.4%
2. 母親	95.3%	4. 祖母	15.1%	6. その他	3.2%		

■ すべての方に、不安や悩みごとについておうかがいします。

問2 あなたは今、不安や悩みはありますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=314

1. 成績・受験のこと	60.8%	10. 健康や病気	9.9%
2. 部活動のこと	22.3%	11. 外見に関する こと	13.1%
3. 将来のこと	34.7%	12. 性別に関する こと	2.5%
4. 先生との関係	5.1%	13. 好きなことを する時間がない	9.6%
5. 友だちとの関係	20.1%	14. 日常的に育児を 手伝わなければならない	0.3%
6. 先輩・後輩との 関係	6.7%	15. 日常的に家族の 介護をしなければならない	0.0%
7. 異性との関係	4.5%	16. その他()	2.2%
8. 家族との関係	6.1%	17. 特に不安や 悩みはない	15.9%
9. 家の経済状況	5.1%	18. わからない	6.4%
		無回答	5.4%

問3 あなたが悩みごとや心配ごとを相談する
としたら、誰に相談しますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=314

1. 兄弟姉妹	9.6%	6. 母親	57.0%
2. 友だち	51.0%	7. それ以外の 人()	5.7%
3. 先輩	8.6%	8. 相談する 人はいない	6.4%
4. 学校の先生	13.4%	9. わからない	11.1%
5. 父親	24.8%	無回答	4.5%

■ すべての方に、放課後を過ごす場所についておうかがいします。

問4 あなたは、普段、どこで過ごすことが多いですか。
①平日の放課後、②土曜日・休日・祝日(学校のない日)の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

①	②
平日の放課後	土曜日・休日・祝日 (学校のない日) の昼間
n=314	n=314

1. 自宅でひとりで過ごす	43.3%	28.0%
2. 自宅で家族と過ごす	52.2%	76.8%
3. 友だちの家で過ごす	5.1%	7.3%
4. 学校で過ごす(部活動を除く)	13.1%	2.2%
5. 部活動に行く	63.7%	30.6%
6. 学習塾や習い事に行く	51.9%	29.0%
7. 児童館で過ごす	0.6%	0.6%
8. 青少年プラザ(b-lab)で過ごす	2.2%	4.1%
9. 図書館などの公共施設で過ごす	1.9%	6.7%
10. 近所の公園、児童遊園で過ごす	2.2%	5.1%
11. 買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	2.2%	24.2%
12. その他()	2.5%	6.4%
無回答	1.0%	2.9%

○は3つまで

問5 あなたは、普段、何をして過ごすことが多いですか。
①平日の放課後、②土曜日・休日・祝日(学校のない日)の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

①	②
平日の放課後	土曜日・休日・祝日 (学校のない日) の昼間
n=314	n=314

1. おしゃべりをする	24.5%	12.1%
2. 勉強や宿題をする	59.9%	55.7%
3. テレビやビデオをみる	36.9%	39.2%
4. 友だちと電話する	0.6%	2.2%
5. 友だちとメールやラインなどをする	31.5%	26.1%
6. パソコンやインターネットをする	21.7%	23.6%
7. スポーツなど体を動かす	21.3%	21.7%
8. 本、雑誌、マンガなどを読む	17.8%	21.0%
9. ゲームをする	26.4%	28.0%
10. ショッピングをする	1.6%	9.6%
11. 家事などの手伝いをする	5.1%	3.5%
12. 何もしないで休む	9.6%	10.8%
13. その他()	4.5%	5.4%
無回答	4.5%	5.4%

○は3つまで

問6 あなたは、学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=314

1. いろいろなスポーツができる体育館や運動場	40.4%
2. ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所	40.8%
3. 緑がたくさんある公園や広場	22.6%
4. 音楽鑑賞やバンド活動などができる場所	13.7%
5. 文化活動(囲碁・将棋・生け花・陶芸・料理・俳句など)ができる場所	7.6%
6. 静かに勉強できる場所	31.8%
7. 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	3.8%
8. ひとりでも気軽に、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所	4.8%
9. 気軽におしゃべりができる場所	24.5%
10. ゲームやパソコンができる場所	28.3%
11. その他()	5.7%
12. 特にない	14.3%
無回答	2.9%

■ すべての方に、青少年プラザ(b-lab)の利用状況についておうかがいします。

問7 文京区では、中高生の自主的な活動を支援することを目的として、中高生向け施設「青少年プラザ(b-lab)」を開設しています。

あなたは、b-labを知っていますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=314

- | | | | | | | |
|----------|-------|---------|-------|-------|-----|------|
| 1. 知っている | 58.6% | 2. 知らない | 40.1% | → 問8へ | 無回答 | 1.3% |
|----------|-------|---------|-------|-------|-----|------|

問7-1 問7で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

あなたはb-labを利用したことがありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=184

- | | | |
|------------------|-------|-----------|
| 1. よく利用する | 4.9% | } → 問7-3へ |
| 2. ときどき利用する | 24.5% | |
| 3. ほとんど利用したことがない | 26.1% | } |
| 4. 利用したことがない | 44.6% | |
| 無回答 | 0.0% | |

問7-2 問7-1で、「3.」または「4.」とお答えの方におうかがいします。

b-labを利用しない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=130

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 部活や塾・習い事で忙しいから | 52.3% |
| 2. 興味・関心がないから | 42.3% |
| 3. 利用の方法がわからないから | 24.6% |
| 4. どのような施設かわからないから | 13.8% |
| 5. 自分ひとりでは行きにくいから | 35.4% |
| 6. 自宅または学校から遠いから | 40.8% |
| 7. その他() | 5.4% |
| 無回答 | 1.5% |

→ 問7-3へ

問7で「1. 知っている」とお答えの方におうかがいします。

問7-3 b-labがどのような施設になれば、(さらに)利用したいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=184

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 事業を充実する
〔具体的な内容〕 | 6.0% |
| 2. 音響機材等の設備や機器を充実する
〔具体的な設備・機器名称〕 | 9.2% |
| 3. ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある | 21.2% |
| 4. 自宅または学校の近くにある | 44.6% |
| 5. 悩みごとや心配ごとを相談できる | 2.7% |
| 6. 特にない | 27.2% |
| 7. その他() | 6.0% |
| 無回答 | 10.9% |

■ すべての方に、近所の人や地域との関わり方についておうかがいします。

問8 あなたは、近所の人とあいさつや話をすることがありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=314

- | | | | | | | | | |
|---------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|------|------|
| 1. よくある | 31.2% | 2. ときどきある | 48.1% | 3. ほとんどない | 14.6% | 4. まったくない | 4.5% | |
| | | | | | | | 無回答 | 1.6% |

問9 あなたは、中学生になってから学校以外で行われる区や地域の活動、またはボランティア活動に参加したことがありますか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=314

- | | | | | |
|---------------|-------|----------------|-------|---------|
| 1. 参加している | 8.9% | 3. ほとんど参加していない | 29.0% | → 問9-2へ |
| 2. ときどき参加している | 14.3% | 4. まったく参加していない | 46.2% | |
| | | | 無回答 | 1.6% |

問9-1 問9で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

どのような地域の活動やボランティア活動に参加していますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=73

- | | |
|---|----------|
| 1. 環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など) | 27.4% |
| 2. 身近な緑を守る活動(花壇づくりなど) | 4.1% |
| 3. 子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもの遊び相手をするなど) | 9.6% |
| 4. 高齢者・障害者福祉に関する活動(お年寄りや障害者への介護、食事の提供など) | 5.5% |
| 5. スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど) | 12.3% |
| 6. 学習活動に関する指導、助言、運営の協力などの活動(料理、英語、書道など) | 0.0% |
| 7. 国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど) | 0.0% |
| 8. 地域のイベントやお祭りの手伝い | 65.8% |
| 9. その他() | 9.6% |
| | 無回答 1.4% |

→ 問10へ

問9-2 問9で、「3.」または「4.」とお答えの方におうかがいします。

参加しない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=236

- | | | | |
|-----------------------|-------|-------------------|-------|
| 1. 時間が合わないから | 39.0% | 5. 参加するきっかけがないから | 50.0% |
| 2. 忙しいから | 49.6% | 6. 地域の活動等に興味がないから | 33.9% |
| 3. 友だちが参加しないから | 13.6% | 7. その他() | 4.7% |
| 4. 地域の活動等があることを知らないから | 38.6% | 無回答 | 0.8% |

すべての方におうかがいします。

問10 あなたは、どのような地域の活動やボランティア活動に参加してみたいと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=314

- | | |
|---|----------|
| 1. 環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など) | 23.2% |
| 2. 身近な緑を守る活動(花壇づくりなど) | 15.0% |
| 3. 子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもの遊び相手をするなど) | 17.8% |
| 4. 高齢者・障害者福祉に関する活動(お年寄りや障害者への介護、食事の提供など) | 6.1% |
| 5. スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど) | 26.8% |
| 6. 学習活動に関する指導、助言、運営の協力などの活動(料理、英語、書道など) | 14.6% |
| 7. 国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど) | 25.8% |
| 8. 地域のイベントやお祭りの手伝い | 31.8% |
| 9. その他() | 2.9% |
| 10. 特になし | 24.2% |
| | 無回答 1.9% |

■ すべての方に、生活の安全・安心についておうかがいします。

問11 あなたは、何らかの事故や犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=314

- | | | | | |
|------------------|-------------------|---------------------|----------------------|-------------|
| 1. 強く感じる
8.9% | 2. 少し感じる
31.8% | 3. あまり感じない
37.6% | 4. まったく感じない
19.7% | 無回答
1.9% |
|------------------|-------------------|---------------------|----------------------|-------------|

問11-1 問11で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

そう感じる理由は何ですか。

あてはまる答えの番号3つまで○をつけてください。

n=128

○つける番号

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 近所に暗く人気のない道や場所があるから | 35.2% |
| 2. 塾や習い事などで遅く帰ることがあるから | 42.2% |
| 3. 一人で外出する際に、事件・事故にあうかもしれないから | 36.7% |
| 4. 近所の住民の顔をほとんど知らないから | 3.9% |
| 5. テレビや新聞で、中高生が巻き込まれる事件がよく取り上げられるから | 39.1% |
| 6. 近所で子どもが巻き込まれた事件が発生したから | 2.3% |
| 7. 近所に交通量の多い道路があるから | 9.4% |
| 8. 近所に見通しの悪い道が多いから | 7.8% |
| 9. 近所に歩道や信号がない道路があるから | 2.3% |
| 10. 通学が遠いから | 13.3% |
| 11. その他() | 7.8% |
| 無回答 | 9.4% |

■ すべての方に、運動の状況についておうかがいします。

問12 あなたは、学校の授業以外で、日頃どの程度運動で身体を動かしていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=314

- | | | |
|----------------------|-----------------------|----------|
| 1. ほぼ毎日
37.6% | 5. ほとんどしていない
19.7% | → 問12-2へ |
| 2. 週に2~3回程度
23.2% | 無回答
1.6% | |
| 3. 週に1回程度
10.8% | | |
| 4. 月に1~2回程度
7.0% | | |

問12-1 問12で、「1.」~「4.」とお答えの方におうかがいします。

運動をやりたいと思う理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=247

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 運動が好きだから・楽しいから | 67.6% |
| 2. 上手になりたいから・運動能力を向上させたいから | 60.7% |
| 3. 健康や体力づくりのため | 50.2% |
| 4. 運動不足解消のため | 36.4% |
| 5. 気持ちを落ち着かせたり、ストレス発散のため | 34.0% |
| 6. 精神面を鍛えたいから | 17.8% |
| 7. 友だちができるから・友だちと一緒に頑張りたいから | 28.3% |
| 8. その他() | 8.1% |
| 無回答 | 0.4% |

→ 問13へ

問12-2は、問12で「5. ほとんどしていない」とお答えの方におうかがいします。

問12-2 運動をしていない理由は何ですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=62

1. 運動に興味がないから	46.8%
2. 近くに運動をできる施設や場所がないから	12.9%
3. 指導者がいないから	3.2%
4. 魅力的なスポーツ事業がないから	17.7%
5. 運動に関する情報がないから	6.5%
6. 勉強との両立が難しいから・時間がないから	50.0%
7. お金がかかるから	4.8%
8. 特に理由はない	17.7%
9. その他()	17.7%
無回答	0.0%

最後におうかがいします。

問13 最後に、区へのご意見やご要望またはご提案等がありましたら、自由にご記入ください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。
このアンケートの結果は、平成31年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、ご興味のある方はご参照いただければと思います。

ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして、同封の青色の封筒に入れて、シールで封をしていただき、**平成30年10月26日(金)までに保護者の方にお渡しください。**

調査へのご協力をお願い

18歳までを対象とした文京区子育て支援に関するニーズ調査

ご投函締切り

10月26日(金)

この調査は、18歳までを対象とした「子育て支援計画（平成32年度～36年度）」の策定に当たり実施するものです。当事者の意見をお聞きするため、中高生世代の皆さんには、無作為抽出により、調査票をお送りさせていただきました。

皆さんがふだん思っていることや日常の様子についてお聞かせください。

ご回答いただきました内容は、文京区が主催する「文京区子ども・子育て会議」等において審議し、計画に反映するとともに、今後の区の施策の検討にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、プライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

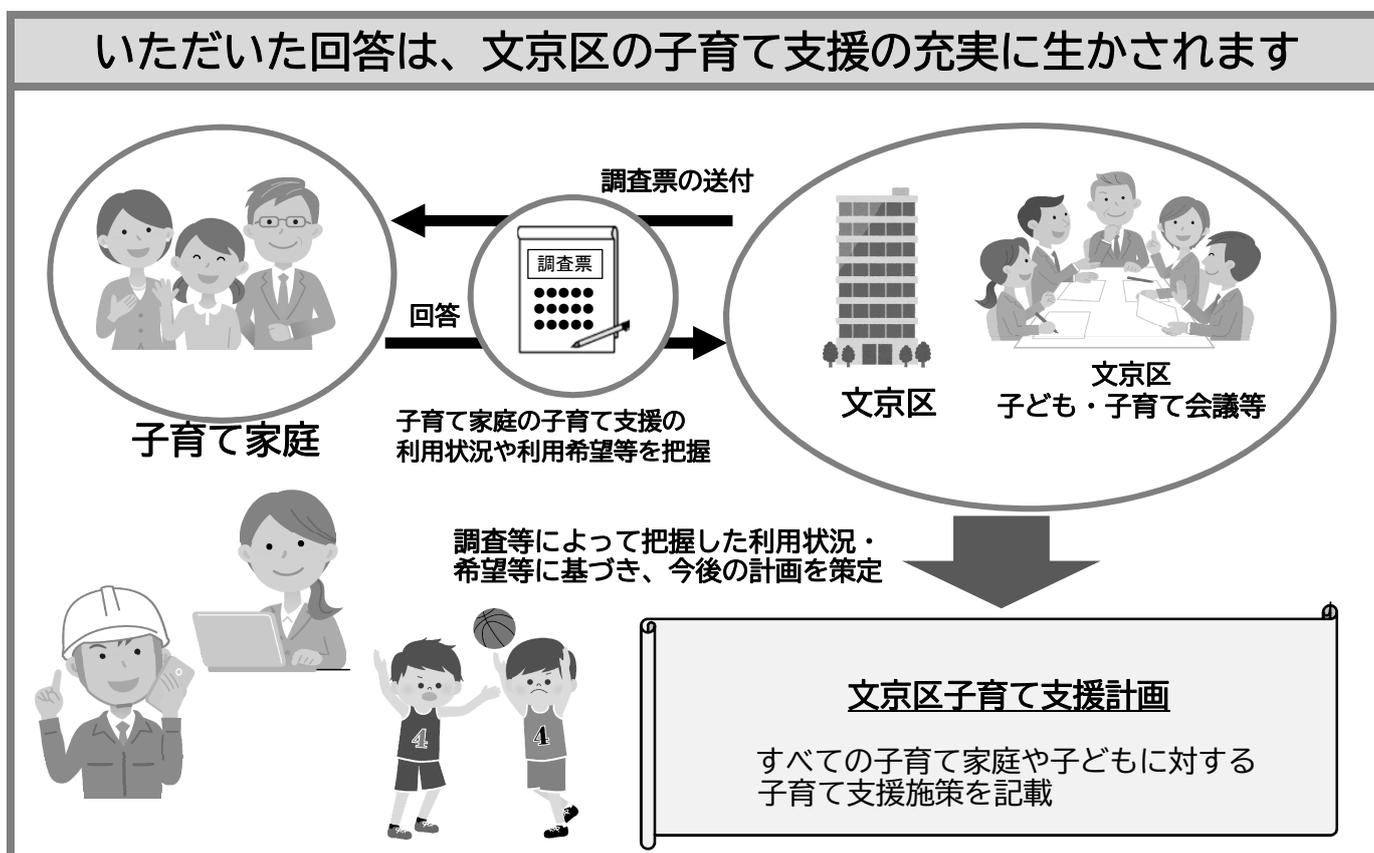
答えにくい質問があったときは、無理に答える必要はありません。答えられる範囲で、ご記入をお願いします。

この調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年10月

文京区長 成澤 廣修

いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます



ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。)

文京区では、平成26年度に、「文京区次世代育成支援行動計画」と「文京区子ども・子育て支援事業計画」を一体のものとした「文京区子育て支援計画（平成27年度～31年度）」を策定することで、子どもの健やかな成長の支援や地域社会全体で子どもを育む体制の構築などを推進し、“地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち”を目指しています。



- ご回答内容は、今後の文京区の子育て支援計画策定のための大変重要な資料となります。
- 現在、文京区の子ども・子育て支援事業や施設を利用されている方のみならず、利用されていない方のご意見も、今後の事業計画策定のために大切なデータとなります。
- 勉強または仕事などでお忙しい中、ご負担をおかけし、誠に申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、何卒ご協力くださいますよう改めてお願い申し上げます。
- 別紙に「文京区の子育て支援サービスの一覧(用語の説明)」を同封しております。調査票回答時にご参照ください。

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 質問の答えの番号を選んで○印をつけてください。
- ご回答の○印の数は、（○は1つ）、（○は3つまで）、（○はいくつでも）など并表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

【 お問い合わせ先 】

文京区 子ども家庭部 子育て支援課

〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号

電話：03-5803-1256（直通）

FAX：03-5803-1345

■ あなた自身のことやご家族についておうかがいします。

問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=218

1. 後楽	0.0%	6. 水道	1.8%	11. 音羽	2.8%	16. 弥生	0.5%
2. 春日	3.2%	7. 小日向	3.7%	12. 本郷	10.6%	17. 根津	1.4%
3. 小石川	8.7%	8. 大塚	5.0%	13. 湯島	3.2%	18. 千駄木	11.5%
4. 白山	10.6%	9. 関口	0.9%	14. 西片	2.8%	19. 本駒込	16.5%
5. 千石	10.1%	10. 目白台	4.1%	15. 向丘	2.8%	無回答	0.0%

問2 あなたの平成30年4月1日現在の年齢をお答えください。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=218

1. 15歳	(2002年4月2日 ~ 2003年4月1日生まれの方)	33.5%
2. 16歳	(2001年4月2日 ~ 2002年4月1日生まれの方)	26.6%
3. 17歳	(2000年4月2日 ~ 2001年4月1日生まれの方)	39.9%
無回答		0.0%

問3 あなたと同居されている方はどなたですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=218

1. 父親	82.6%	3. 兄弟姉妹	68.8%	5. 祖父	5.0%	無回答	0.0%
2. 母親	99.1%	4. 祖母	9.2%	6. その他	2.3%		

問4 家族全員(あなたを含む)の人数は何人ですか。

n=218

<input type="text"/>	人	1人	0.0%	2人	5.0%	3人	22.0%	4人	47.2%	5人	17.9%	6人以上	6.9%	無回答	0.9%
----------------------	---	----	------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	------	------	-----	------

問5 あなたは、家族とよく話をしますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=218

1. よく話をする	67.0%	} → 問6へ
2. 必要なこと以外もときどき話をする	27.1%	
3. 必要なこと以外はあまり話をしない	3.7%	
4. あまり話はしない	1.8%	
無回答	0.5%	

問5-1 問5で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。

主に誰と話をしますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=205

1. 父親	53.7%	3. 兄弟姉妹	53.7%	5. 祖父	2.4%	無回答	1.0%
2. 母親	96.1%	4. 祖母	7.8%	6. その他	1.5%		

■ すべての方に、不安や悩みごとについておうかがいします。

問6 あなたは今、不安や悩みはありますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=218

1. 成績・受験のこと	69.3%	11. 健康や病気	7.3%
2. 部活動のこと	12.8%	12. 外見に関すること	13.3%
3. 将来のこと	48.6%	13. 性別に関すること	1.8%
4. 先生との関係	1.8%	14. 好きなことをする時間がない	9.2%
5. 友だちとの関係	11.5%	15. 日常的に育児を手伝わなければならない	0.5%
6. 先輩・後輩との関係	2.8%	16. 日常的に家族の介護をしなければならない	0.0%
7. 異性との関係	3.2%	17. その他()	2.8%
8. 家族との関係・家庭での居場所	4.6%	18. 特に不安や悩みはない	12.8%
9. 家の経済状況	8.7%	19. わからない	2.3%
10. 就労(仕事)のこと	7.3%	無回答	0.9%

問7 あなたが悩みごとや心配ごとを相談するとしたら、誰に相談しますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=218

1. 兄弟姉妹	17.4%	8. 父親	30.7%
2. 友だち	67.9%	9. 母親	66.5%
3. 先輩	8.3%	10. 区や都の相談窓口	0.5%
4. 学校の先生	17.0%	11. ハローワーク等の相談窓口	0.0%
5. スクールカウンセラー	1.8%	12. それ以外の人()	2.3%
6. 青少年プラザ(b-lab)の職員	0.9%	13. 相談する人はいない	3.2%
7. 習い事・塾の先生	11.9%	無回答	0.9%

■ すべての方に、普段の過ごし方や過ごす場所についておうかがいします。

問8 あなたは、普段、どこで過ごすことが多いですか。
①平日の放課後(就業後)、
②土曜日・休日・祝日(学校・就労のない日)
の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号3つまで
○をつけてください。

①	②
平日の放課後 (就業後)	土曜日・休日・祝日 (学校・就労のない日) の昼間
n=218	n=218

1. 自宅でひとりで過ごす	42.2%	36.7%
2. 自宅で家族と過ごす	53.7%	73.4%
3. 友だちの家で過ごす	1.8%	4.6%
4. 学校で過ごす(部活動を除く)	16.1%	0.9%
5. 部活動に行く	45.9%	18.8%
6. 学習塾や習い事に行く	49.5%	25.2%
7. アルバイトに行く	3.2%	3.2%
8. 児童館で過ごす	0.0%	0.5%
9. 青少年プラザ(b-lab)で過ごす	0.5%	1.8%
10. 図書館などの公共施設で過ごす	5.5%	9.6%
11. 買い物や食事のできる場所(繁華街など)に行く	7.8%	32.1%
12. その他()	2.3%	2.8%
無回答	1.4%	3.2%

○は3つまで

問8-1 問8で、「5.」~「7.」とお答えの方におうかがいします。

その頻度はどのくらいですか。

回数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

5. 部活動	週 <input type="text"/> 回 くらい	1回あたり <input type="text"/> 時間 くらい
6. 学習塾・習い事	週 <input type="text"/> 回 くらい	1回あたり <input type="text"/> 時間 くらい
7. アルバイト	週 <input type="text"/> 回 くらい	1回あたり <input type="text"/> 時間 くらい

問9 あなたは、普段、何をして過ごすことが多いですか。
 ①平日の放課後(就業後)、
 ②土曜日・休日・祝日(学校・就労のない日)
 の昼間について、それぞれあてはまる答えの番号3つまで
 ○をつけてください。

①	②
平日の放課後 (就業後)	土曜日・休日・祝日 (学校のない日)の 昼間
n=218	n=218

1. 友だちまたは家族とおしゃべりする	49.1%	39.9%
2. 勉強や宿題をする	63.8%	56.4%
3. 友だちとメールやラインなどをする	39.0%	34.4%
4. パソコンやインターネットをする	29.8%	29.4%
5. 友だちと電話する	1.4%	1.8%
6. テレビやDVDを見る	18.8%	21.1%
7. 本、雑誌、マンガなどを読む	11.9%	12.8%
8. ゲームをする	17.0%	21.1%
9. スポーツなどで体を動かす	11.9%	8.3%
10. ショッピングをする	1.4%	12.4%
11. 家事などの手伝いをする	3.2%	3.7%
12. アルバイトをする	3.2%	3.2%
13. 何もしないで休む	6.4%	11.5%
14. その他()	1.8%	2.8%
無回答	4.1%	4.1%

○は3つまで

問10 あなたは、学校等と家以外で、放課後や就業後に過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。
 あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=218

1. ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所	47.2%
2. 静かに勉強できる場所	47.2%
3. 音楽鑑賞やバンド活動などができる場所	15.1%
4. 気軽におしゃべりができる場所	21.6%
5. ゲームやパソコンができる場所	19.7%
6. 文化活動(料理・読書など)ができる場所	10.6%
7. スポーツができる体育館や運動場	37.6%
8. 子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	2.8%
9. 緑がたくさんある公園や広場	23.9%
10. ひとりでも気軽に、家族や友だちには話せない悩みの相談に行ける場所	5.5%
11. その他()	3.7%
12. 特にない	8.7%
無回答	1.8%

■ すべての方に、青少年プラザ(b-lab)の利用状況についておうかがいします。

問11 文京区では、中高生の自主的な活動を支援することを目的として、中高生向け施設「青少年プラザ(b-lab)」を開設しています。

あなたは、b-labを知っていますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=218

- | | | | | | | |
|----------|-------|---------|-------|--------|-----|------|
| 1. 知っている | 56.0% | 2. 知らない | 43.1% | → 問12へ | 無回答 | 0.9% |
|----------|-------|---------|-------|--------|-----|------|

問11-1 問11で、「1.」とお答えの方におうかがいします。

あなたはb-labを利用したことがありますか。

あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=122

- | | | |
|------------------|-------|------------|
| 1. よく利用する | 3.3% | } → 問11-3へ |
| 2. ときどき利用する | 24.6% | |
| 3. ほとんど利用したことがない | 33.6% | } |
| 4. 利用したことがない | 38.5% | |
| 無回答 | 0.0% | |

問11-2 問11-1で、「3.」または「4.」とお答えの方におうかがいします。

b-labを利用しない理由は何ですか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=88

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 部活や塾・習い事で忙しいから | 33.0% |
| 2. 興味・関心がないから | 40.9% |
| 3. 利用の方法がわからないから | 10.2% |
| 4. どのような施設かわからないから | 11.4% |
| 5. 自分ひとりでは行きにくいから | 27.3% |
| 6. 自宅または学校から遠いから | 38.6% |
| 7. その他() | 9.1% |
| 無回答 | 1.1% |

→ 問11-3へ

問11で「1. 知っている」とお答えの方におうかがいします。

問11-3 b-labがどのような施設になれば、(さらに)利用したいと思いますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=122

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 事業を充実する
〔具体的な内容〕 | 7.4% |
| 2. 音響機材等の設備や機器を充実する
〔具体的な設備・機器名称〕 | 6.6% |
| 3. ひとりでも気軽に利用できる施設や参加できる事業がある | 22.1% |
| 4. 自宅または学校の近くにある | 41.8% |
| 5. 悩みごとや心配ごとを相談できる | 2.5% |
| 6. 特にない | 31.1% |
| 7. その他() | 8.2% |
| 無回答 | 8.2% |

■ すべての方に、近所の人や地域との関わり方についておうかがいします。

問12 あなたは、近所の人とあいさつや話をすることがありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

n=218

1. よくある 25.7%	2. ときどきある 53.2%	3. ほとんどない 15.1%	4. まったくない 4.6% 無回答 1.4%
------------------	--------------------	--------------------	-------------------------------

問13 あなたは、中学校を卒業してから、学校または職場以外で行われる区や地域の活動、またはボランティア活動について、(A)参加したことがありますか。
また、(B)今後参加してみたいと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(A)	(B)
参加したことがある	今後参加してみたい
n=218	n=218

	(A)	(B)
1. 環境を守る活動 (清掃美化活動、リサイクル活動など)	8.7%	13.8%
2. 身近な緑を守る活動 (花壇づくりなど)	0.9%	8.3%
3. 子育てに関する活動(保育所での赤ちゃんの世話、年下の子どもとの遊び相手をするなど)	9.2%	21.1%
4. 高齢者・障害者福祉に関する活動 (お年寄りや障害者への介護、食事の提供など)	7.3%	10.1%
5. スポーツ・文化に関する活動 (小学生にスポーツを教えるなど)	4.1%	17.9%
6. 学習活動に関する指導、助言、運営の協力 などの活動(料理、英語、書道など)	1.8%	16.1%
7. 国際交流、国際協力に関する活動 (通訳、外国人を助けるなど)	4.1%	30.3%
8. 地域のイベントやお祭りの手伝い	11.0%	19.3%
9. 特にない	52.3%	32.6%
10. その他()	0.5%	2.3%
無回答	21.1%	7.8%

■ すべての方に、現在の状況についておうかがいします。

問14 あなたの現在の状況についておうかがいします。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。
「1. 就学している」「2. 就労している」とお答えの方は学校の区分や就労形態についてもお答えください。 n=218

1. 就学している 99.5%	n=217				問 14-1 へ
【就学している学校の区分】					
ア. 公立高校	31.3%	エ. フリースクール	0.0%		
イ. 私立高校	67.3%	オ. その他()	0.9%		
ウ. 専門学校	0.0%	無回答	0.5%		
2. 就労している 0.0%	n=0				問 14-4 へ
【現在の就労形態】					
ア. 正規職員	0.0%	オ. 自営業・自由業	0.0%		
イ. 非常勤職員	0.0%	カ. 家業を手伝っている	0.0%		
ウ. 派遣社員・契約社員	0.0%	キ. その他()	0.0%		
エ. パート・アルバイト	0.0%	無回答	0.0%		
3. 働いていないが、求職活動をしている			0.0%		
4. 働いていないが、自分の趣味や用事などで外出している			0.0%		
5. 外出はほとんどせずに自宅で過ごしている			0.0%		
6. 自室からはほとんど出ずに過ごしている			0.0%		
7. その他()			0.0%		
無回答			0.5%		

問14-1～問14-3は、問14で「1. 就学している」とお答えの方におうかがいします。

問14-1 あなたは、学校に行きたくないと思ったことがありますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=217

1. よくある 10.6%	2. ときどきある 27.6%	3. ほとんどない 38.2%	4. まったくない 22.6%	無回答 0.9%
------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------

問14-3へ

問14-2 問14-1で、「1.」または「2.」とお答えの方におうかがいします。
学校に行きたくないと思った理由はどのようなことですか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。 n=83

1. 友だちづきあいがうまくいかないから	14.5%	6. いじめにあっているから	0.0%
2. クラスになじめないから	10.8%	7. 自分の外見や性格のため	6.0%
3. 部活動でうまくいかないことがあるから	10.8%	8. 家族や家庭の事情のため	3.6%
4. 先生とうまくいかないことがあるから	9.6%	9. その他()	27.7%
5. 授業についていけないから	8.4%	10. 特に理由はない	43.4%
		無回答	1.2%

→ 問14-3へ

問14-3 あなたは、卒業後の進路についてどのように考えていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。 n=217

1. 大学または専門学校に進学したい	94.9%	→ 問14-5へ
2. 就職したい	0.9%	→ 問14-6へ
3. わからない	2.8%	} 問15へ
4. その他()	0.0%	
無回答	1.4%	

問14-4は、問14で「2.」～「7.」とお答えの方におうかがいします。

問14-4 あなたは、今後の進路についてどのように考えていますか。
あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「1. 就学を希望」とお答えの方は希望する学校の区分についてもお答えください。

n=0

1. 就学を希望	0.0%			} 問 14-5 へ
【希望する学校の区分】				
ア. 公立高校	0.0%	エ. フリースクール	0.0%	
イ. 私立高校	0.0%	オ. その他()	0.0%	
ウ. 専門学校	0.0%			
2. 就労を希望	0.0%	→ 問14-6へ		} 問 15へ
3. 決まっていない	0.0%			
4. その他()	0.0%			

問14-3で「1. 大学または専門学校に進学したい」、問14-4で「1. 就学を希望」とお答えの方におうかがいします。

問14-5 就学にあたっての困りごとがありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=206

1. 学力に課題がある	57.8%	6. 勉強に集中できる場所がない	11.2%
2. 家族から反対されている	0.5%	7. 家族の介護や育児がある	0.5%
3. 健康面での問題がある	2.9%	8. その他()	2.4%
4. 経済的な問題がある	13.1%	9. 特に困りごとはない	24.8%
5. 自分に合う進学先がわからない	27.7%	無回答	1.5%

→ 問15へ

問14-3で「2. 就職したい」、問14-4で「2. 就労を希望」とお答えの方におうかがいします。

問14-6 就労にあたっての困りごとがありますか。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=2

1. 就職先が見つかるか不安である	50.0%	7. 職場の人間関係が不安である	50.0%
2. 希望する会社に採用されるか不安である	50.0%	8. 長時間労働の不安がある	50.0%
3. 給料や待遇面が不安である	50.0%	9. 家族の介護や育児がある	0.0%
4. 通勤に時間がかかることが不安である	0.0%	10. その他()	0.0%
5. 自分に合う仕事がわからない	50.0%	11. 特に困りごとはない	0.0%
6. 仕事を続けていけるか不安である	100.0%	無回答	0.0%

→ 問15へ

すべての方におうかがいします。

問15 困ったときの相談窓口で、知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。

①～⑤の事業ごとに、【A】【B】【C】のそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。

n=218

	【A】	【B】	【C】
	知っている	これまでに 利用したことが ある	今後利用したい
① 保健サービスセンターの相談サービス	1. はい 17.4% 2. いいえ 75.2% 無回答 7.3%	1. はい 0.9% 2. いいえ 86.7% 無回答 12.4%	1. はい 9.6% 2. いいえ 83.0% 無回答 7.3%
② 教育センターの総合相談室	1. はい 21.1% 2. いいえ 71.1% 無回答 7.8%	1. はい 2.8% 2. いいえ 84.9% 無回答 12.4%	1. はい 9.2% 2. いいえ 83.0% 無回答 7.8%
③ 子ども家庭支援センターの相談事業	1. はい 17.9% 2. いいえ 74.3% 無回答 7.8%	1. はい 0.5% 2. いいえ 87.2% 無回答 12.4%	1. はい 7.8% 2. いいえ 85.3% 無回答 6.9%
④ 文京福祉事務所の自立相談支援窓口	1. はい 7.8% 2. いいえ 83.9% 無回答 8.3%	1. はい 0.0% 2. いいえ 87.2% 無回答 12.8%	1. はい 7.8% 2. いいえ 85.3% 無回答 6.9%
⑤ 東京都児童相談センター	1. はい 34.4% 2. いいえ 58.3% 無回答 7.3%	1. はい 2.3% 2. いいえ 85.3% 無回答 12.4%	1. はい 9.2% 2. いいえ 83.5% 無回答 7.3%

すべての方におうかがいします。

問16 あなたが充実した生活を送れるようになるために必要と考える区の取り組み(支援)はありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

n=218

1. 家庭や学校以外で放課後や休日に過ごせる居場所の提供	39.0%
2. 不安や悩みを気軽に相談できる窓口の整備	10.1%
3. 学校の授業についていくための学習支援	14.2%
4. 就職に向けた相談対応やスキルアップに向けた支援	16.1%
5. 経済的自立に向けた支援	15.1%
6. その他()	6.0%
7. 特にない	34.9%
無回答	4.6%

最後におうかがいします。

問17 最後に、区へのご意見やご要望またはご提案等がありましたら、自由にご記入ください。

質問はこれで終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。

このアンケートの結果は、平成31年3月以降に区のホームページに掲載する予定ですので、ご興味のある方はご参照いただければと思います。

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、平成30年10月26日(金)までにご投函ください。
(切手を貼る必要はございません)

文京区子育て支援に関するニーズ調査 報告書

平成31年3月発行

発行 文京区子ども家庭部子育て支援課
文京区春日1丁目16番21号
電話 03-3812-7111 (代表)

調査 株式会社 都市計画21
東京都中央区日本橋人形町1丁目6番10号 ユニコム人形町ビル6階
電話 03-5623-6371 (代表)

印刷物番号 D0118105
有償頒布価格 1,200円